

平成 30 年度
足立区基礎学力定着に関する総合調査
調査結果報告書

平成 30 年 8 月
足立区教育委員会

目 次

■はじめに-----	2
■「学習定着度調査」区全体と学年ごとの状況-----	7
1 足立区小学生観点別正答率-----	8
2 足立区小学生学習意識 肯定的な回答の割合-----	9
3 足立区小学生正答率度数分布-----	10
4 足立区小学校 基礎学力を身に付けている児童の割合等-----	11
5 「学習定着度調査」小学校全体の分析と課題-----	11
6 足立区中学生観点別正答率-----	12
7 足立区中学生学習意識 肯定的な回答の割合-----	12
8 足立区中学生正答率度数分布-----	13
9 足立区中学校 基礎学力を身に付けている生徒の割合等-----	14
10 「学習定着度調査」中学校全体の分析と課題-----	14
■「学習意識調査」学習や生活についてのアンケート-----	15
1 学習に対する意識と取り組み方に関する質問について-----	16
2 教科に関する質問について-----	19
3 読書-----	24
4 起床時間・就寝時間-----	25
5 歯磨き・朝食-----	27
6 メディア接触-----	28
7 学習定着度と学習意識との関係-----	31
8 学習定着度と教科の好き嫌いとの関係-----	34
9 学年別クロス集計の結果一覧表-----	37
■小学校の調査結果概要と学力向上への取り組み-----	81
■中学校の調査結果概要と学力向上への取り組み-----	151

はじめに

本報告書は、平成 30 年 4 月 12 日に実施した「基礎学力定着に関する総合調査」の結果を報告するものです。

■ 調査の目的

- (1) 学習指導要領に示されている目標及び内容に基づき、基礎的・基本的な内容を中心として児童・生徒の学力の定着状況を的確に把握します。
- (2) 児童・生徒の生活・学習習慣等の現状を的確に把握します。
- (3) 各学校が区全体の結果を踏まえた上で、自校の結果を分析することにより自校の課題を明確にするとともに、指導内容や指導方法、家庭との連携等における工夫・改善を図ります。
- (4) 調査結果を分析し、区の教育行政施策に生かします。
- (5) 個人票などを基に、児童・生徒個々の実態に応じた指導改善に生かします。

■ 調査の対象

小学校：全 69 校の 2 年生から 6 年生の児童

中学校：全 35 校の 1 年生から 3 年生の生徒

■ 調査の時期

平成 30 年 4 月 12 日（木）に一斉実施

■ 調査内容

● 学習定着度調査

前学年における基礎的・基本的な学習内容の定着状況を把握するため、観点（知識理解・技能表現・思考判断）ごとの正答率を測ることができるよう設計された問題です。教科・対象学年は次のとおりです。

- ・ 小学校 2 年生から 6 年生：国語・算数（各 40 分）
- ・ 中学校 1 年生：国語・数学（各 45 分）
- ・ 中学校 2・3 年生：国語・数学・英語（各 45 分）

どの科目も基礎問題と活用問題で構成しています。

また、国語と英語については、聞き取り問題が含まれています。

● 学習意識調査

児童・生徒の「学びの基礎力（学びを支える基礎的な力）」や「生きる力（これからの社会に必要とされる力）」がどの程度身に付いているかを把握することや、それが学力とどのような関係性を示しているかといったことを分析するために、日常生活や、学校・家庭での学習状況等を調査しています。発達段階に合わせた質問内容で「学習や生活についてのアンケート」調査としています（調査時間：小学校 25 分、中学校 20 分）。

■ 調査の実施人数

小・中別	学年	国語	算数・数学	英語	学習意識
小学校	2年生	4,910	4,917	—	4,938
	3年生	5,044	5,047	—	5,070
	4年生	5,109	5,113	—	5,136
	5年生	5,070	5,079	—	5,098
	6年生	5,022	5,034	—	5,055
小計		25,155	25,190	—	25,297
中学校	1年生	4,088	4,091	—	4,094
	2年生	4,238	4,268	4,265	4,273
	3年生	4,285	4,290	4,292	4,294
小計		12,611	12,649	8,557	12,661
合計		37,766	37,839	8,557	37,958

■ 調査の公表方法

平成 19 年度より、「観点別正答率」、「学習意識」を公表し、学校ごとの取り組み結果をお知らせしています。

平成 26 年度より、各校の取り組み成果をさらに分かりやすく表現できるよう、「平均正答率」「目標値」「通過率」を2カ年分示し、比較・検証がしやすいようにしています。各校1ページにまとめ、昨年度の成果と、分析結果、今後の学習指導の主な取り組みを記載しました。

■ 語句の説明

学習定着度調査は、学年・科目ごとに問題数が違います。一般的なテストとは違い、「〇〇点満点」といった得点方式で採点を行っておりません。

また、各調査の結果で使用されている語句は、一般的なテスト結果等で使われない語句もあるため、下記に説明を掲載いたします。

観 点：国が定めた学習指導要領に基づき、学習の評価を行うポイント

正答率：出題された問題の中で、何問正解したかの割合（正答数÷出題数×100（%））

目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が理解できていれば正解できると期待される値（目標正答率のこと）。この値は、設問ごとに設定されており、組み合わせた設問からテスト全体の目標値を導き出しています。

通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合（目標値以上の児童・生徒÷受検者数×100（%））

平均正答率：本調査を受検した対象者の正答率の平均値

■ 学力定着に向けた取り組み

各校のページに紹介されているように、足立区では基礎学力の定着のために様々な取り組みを行っています。

● 学力の定着状況の分析

本調査結果をはじめ、校内で行われる単元ごとのテストや定期テストでは、指導した内容がどの程度理解され、定着しているかを確認しています。定着度の確認方法や分析手法の中から主な二つをご紹介します。

SP表による分析

SP表とは、問題ごとに、受検した児童・生徒一人ひとりの正答・誤答の状況を一覧表としたものです。表の左側ほど正答率の高い問題（やさしかった問題）が並び、表の上段から正答率の高い児童・生徒が並び表となります。

この分布一覧表に統計グラフ（S曲線：Student Score とP曲線：Problem Score）を実線と破線で表示することで、得点状況だけでは見えない、一人ひとりの理解度や、誤答内容を把握することができ、実態と指導上の課題を洗い出すことができます。

小学校6年 国語		SP表																				足立区立〇〇小学校 6年1組										
出席番号	名前	小問別解答と正誤状況																				正答数										
		1	2	2	2	7	2	7	2	5	4	7	7	2	5	3	4	1	6	5	1		3	4	4	2	3	6	2	3		
24		②	①	①	①	①	①	①	①	①	④	③	①	①	①	②	③	①	③	④	①	①	④	②	2	①	①	①	①	④	27	
35		②	①	①	①	①	①	①	①	①	④	③	①	①	①	②	③	①	③	④	①	①	④	②	2	①	①	①	①	④	27	
5		②	①	①	①	①	①	①	①	①	④	③	①	①	①	②	③	①	③	④	①	9	④	②	④	①	①	<2>	①	1	26	
15		②	①	①	①	①	①	①	①	①	④	③	①	①	①	②	③	①	③	④	①	①	3	②	④	①	2	<2>	①	④	26	
19		②	①	①	①	①	①	①	①	①	④	③	①	①	①	②	③	①	③	④	①	①	④	②	④	①	①	①	9	3	26	
21		②	①	①	①	①	①	①	①	①	④	③	①	①	①	②	③	4	③	④	①	9	④	②	④	①	①	①	①	④	26	
27		②	①	①	①	①	①	①	①	①	④	③	①	①	①	②	③	①	4	④	①	<2>	④	②	④	①	①	<2>	①	1	26	
34		②	①	①	①	①	①	①	①	①	④	③	①	①	①	②	③	①	③	④	①	①	④	②	④	①	4	<2>	9	④	26	
1		②	①	①	①	①	①	①	①	①	④	③	①	①	①	②	③	①	③	④	①	①	④	②	2	①	①	9	9	④	25	
4		②	①	①	①	①	①	①	①	①	④	③	①	<2>	②	③	①	③	④	①	①	④	②	④	①	①	①	9	1	25		
28		②	①	①	①	①	①	①	①	①	④	③	①	①	①	②	③	①	③	④	①	①	④	1	④	9	①	①	①	3	25	
2		②	①	①	①	①	①	①	①	①	④	③	①	<2>	②	2	1	③	④	①	①	④	②	1	9	①	①	①	1	24		
9		②	①	①	①	①	①	①	①	①	④	③	①	①	①	②	2	3	③	④	①	<2>	④	②	④	①	9	-	④	24		
32		②	①	①	①	①	①	①	①	①	④	③	①	①	①	4	③	①	③	④	①	9	④	②	2	①	①	<2>	①	1	24	
38		②	①	①	①	①	①	①	①	①	④	③	①	①	①	②	2	1	4	④	①	①	④	1	④	①	①	①	9	④	24	
6		②	①	①	①	①	①	①	①	①	④	③	①	①	①	3	③	①	③	④	①	①	3	②	1	①	*	9	①	④	23	
17		②	①	①	①	①	①	①	①	①	④	③	①	①	①	②	1	2	③	④	①	9	④	②	④	①	①	9	-	④	23	
29		②	①	①	①	①	①	①	①	①	④	③	①	①	①	②	③	①	③	④	①	①	3	1	2	9	①	9	①	④	23	
13		②	①	①	①	①	①	①	①	9	④	③	①	①	①	②	③	①	③	3	①	3	②	④	9	①	①	9	2	22		
26		②	①	①	①	①	①	①	①	①	④	③	2	②	①	②	③	①	4	2	①	-	④	1	④	①	①	9	④	22		
36		②	①	①	①	①	9	①	①	④	③	①	①	①	②	③	①	2	3	①	①	④	②	④	①	3	①	-	2	22		
3		②	①	①	①	①	①	①	①	①	④	③	①	<2>	②	③	①	③	-	-	9	④	②	④	-	2	-	-	④	21		
31		②	①	①	①	①	①	①	①	①	④	③	①	①	①	②	③	①	4	④	①	9	④	②	2	9	①	-	1	21		
33		②	①	①	①	①	①	①	①	①	④	1	①	①	①	②	③	3	③	④	4	①	3	②	2	①	2	9	①	④	21	
7		②	①	①	①	①	①	①	①	①	④	4	①	①	①	②	③	3	③	④	2	9	3	1	④	①	4	<2>	①	1	20	
11		②	①	①	①	①	①	①	①	9	④	③	①	①	9	②	1	3	4	④	①	<2>	④	1	④	①	①	9	①	④	20	
14		②	①	①	①	①	①	9	①	④	③	9	9	-	②	③	①	③	-	3	①	④	②	④	①	2	9	①	④	20		
20		②	①	①	①	①	①	①	①	①	④	③	①	①	①	4	③	2	③	④	2	9	④	1	④	9	2	<2>	①	1	20	
39		②	①	①	①	①	①	①	①	①	2	③	①	①	①	②	③	3	2	④	①	①	3	②	1	-	①	①	9	1	20	
12		②	①	①	①	①	①	①	①	①	2	③	2	9	①	②	2	①	③	1	2	①	1	4	④	9	①	①	①	2	18	
22		②	①	①	①	①	①	①	①	①	④	③	①	3	-	②	2	①	4	④	①	①	1	②	2	-	3	<2>	-	1	18	
23		②	①	①	①	①	9	①	①	④	③	①	①	①	①	②	③	①	4	③	①	4	3	①	④	1	④	9	①	9	-	18
30		②	①	①	①	①	①	①	①	①	④	③	①	①	①	②	③	4	③	3	4	①	3	3	2	-	4	9	9	1	17	
10		②	①	①	①	①	①	①	①	①	2	③	①	②	-	4	2	①	2	3	-	9	②	1	-	①	-	-	1	14		
25		②	①	①	①	①	①	①	①	①	④	4	①	9	-	3	③	①	③	④	4	9	1	1	3	-	2	9	-	1	14	
18		②	①	①	①	①	①	9	9	④	4	9	9	-	②	4	①	4	-	4	-	3	1	①	4	-	-	-	-	10		
8		②	①	①	①	9	-	9	-	9	2	2	-	-	-	1	-	3	③	1	3	9	-	1	④	-	-	9	9	-	5	
正答数		37	37	37	36	36	34	34	33	33	32	32	31	30	30	27	27	26	26	25	24	23	23	23	22	22	21	17	15			

※ S曲線は太実線、P曲線は太破線で表しています。

※ S曲線は、個人の正答数を左から数えた位置に線を、P曲線は問題ごとに正答できた児童・生徒の数を上から数えた位置に線を引いています。

学力ポートフォリオによる分析

義務教育期間中を通じ、進級や学習指導において、領域や観点におけるつまずきの傾向を把握したい場合、単独のテストによるSP分析では、全体像をつかむことが難しくなります。

そこで、足立区では、学力を分析する手法として、ポートフォリオを活用しています。

それぞれのテストの問題ごとの正答・誤答を一覧表とし、個人カルテとして、定期的に結果を蓄積します。これにより、一人ひとりが苦手とする「観点」「領域」がはっきりと読み取れるようになります。また、この結果をクラス単位、学年単位でも活用することができます。

集団や個人につまずきや課題を洗い出すための手段を活用し、そこから見えた傾向に対し、「授業改善プラン」の作成など学習指導計画の重点化や指導方法の工夫を検討し、日々の指導に生かしていきます。また、児童・生徒一人ひとりの状況に合わせた学習のサポート（補習等）で個のつまずきを解消していきます。

● 授業力の向上

学力の確かな定着を図るには、まず何よりも日々の授業の中で理解と定着が徹底できるかにあります。そのために、指導方法の研究・改善を図っています。

足立スタンダード

教師が児童・生徒の基礎学力を保障するには、どのような授業が大切かという視点から生まれた「授業の基本型」を「足立スタンダード」といいます。誰もが分かる授業を目指しています。

足立スタンダードでは、「めあてを明確にし、考えて、伝え合い、まとめて、書く授業」を基本とし、プリントやドリルを繰り返すだけの授業ではなく、「課題を解決する学習過程、ノートづくり及び板書計画を重視した授業」を展開していきます。

具体的には、教科別に「学習の規律」「板書の見本」「ノート指導の見本」「進め方」「指導の重点ポイント」などをまとめた基本型があり、各校の推進担当教員を中心に取り組んでいます。

授業の基本を徹底することで、授業の「めあて」（教えるべきこと）を明確にし、一人ひとりの学びで自分の考えを持ち、集団の学びで自分の考えを整理するといった学習過程を、小・中学校問わずどの学年・どのクラスでも行える環境を整えていきます。

小中連携事業

9年間を見通した確かな力（学力、人間性、社会性）の定着のために、小学校と中学校の教員が協力して、それぞれの指導力や経験を生かした学校生活の実現を目指していきます。

各教科では、それぞれの学年で学ぶべきこと、その内容が中学校3年生までの学習にどのように関連付いているかといった理解を基本に、その学年で付けるべき力は、その学年で確実に身に付けさせることができるよう、教科指導を行っていきます。

教科指導専門員

授業力の高い専門非常勤教諭が、各学校を定期的に巡回し、授業観察と授業後の面談指導を通じて、学習効果の高い授業展開や板書、児童・生徒への発問方法など、より質の高い授業に向けて教員の授業改善を支援します。

● 個に応じた学習指導

各学年の教科・単元は、過去の学習の積み重ねによって構成されており、一つをつまずきが原因で、さらにつまずきが広がるという悪循環に陥る恐れがあります。

このため、日々の授業を通じてつまずきの生じた児童・生徒に対しては、一人ひとりの習熟度に応じた個別指導により、そのつまずきを早期に解決していくことが重要です。

各学校においては、放課後や長期休業中の補充教室など、様々な個に応じた補充学習の取り組みをしておりますが、ここでは全小学校を対象に実施している、そだち指導員及びMIM（多層指導モデル）を紹介します。

そだち指導員

小学校に配置された専門非常勤教諭が、学習の理解や定着の過程で発生するつまずきの多くなる小学校3年生及び4年生の児童を中心に、国語と算数の個別指導を実施し、つまずきを早期に解決することで学習意欲の向上と基礎学力の定着を目指します。

対象児童は、学校の校内委員会において、学力調査結果や単元テスト等から基礎学力の定着度に応じて選定し、保護者の同意を得た上で、「そだち指導計画」に基づき実施します。

MIM（ミム/Multilayer Instruction Model/多層指導モデル）

国語の「読み」はすべての学習の基礎となるものです。小学校低学年においては、特に文字と音との結び付きを確実に理解することが非常に大切ですが、ここでつまずきやすいのが「特殊音節（※）」です。MIMは、月1回の小テスト（アセスメント）により苦手としている学習箇所に関心を当てた指導をします。児童の理解状況はいくつかの層に分かれるため、それぞれの層に合った指導をきめ細かく行います。

また、低学年では、ことば（文字）を一字ずつ拾い読みする傾向があり、これでは文章の意味が理解できません。MIMにより、ことばをかたまりで素早く正確に読む力を身に付けることで、その後の学習で必要となる「読解力」の向上につながっていくものと考えています。

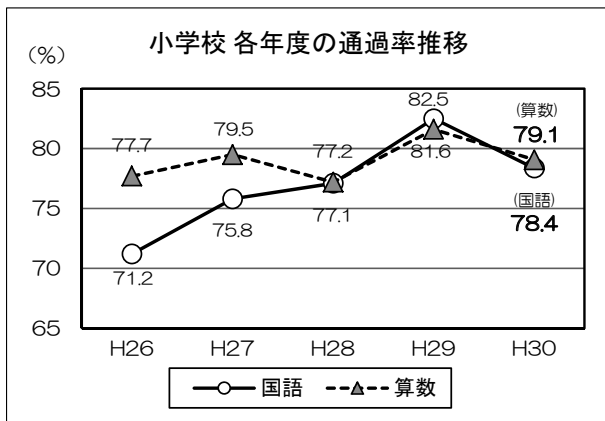
（※）特殊音節とは…伸びる音（例：「おかあさん」の「あ」）、詰まる音（例：「がっこう」の「っ」）、ねじれる音（例：「くじゃく」の「ゃ」）を指します。

「学習定着度調査」

区全体と学年ごとの状況

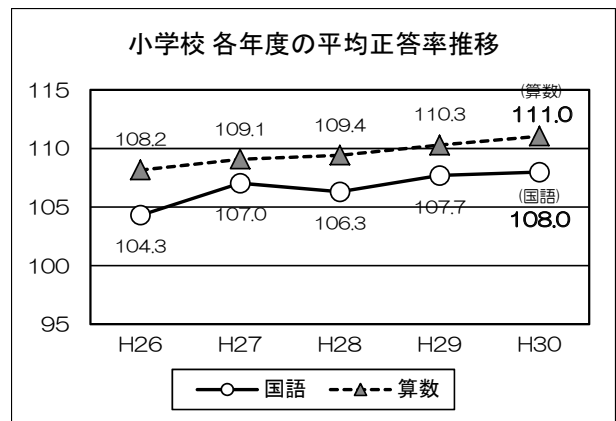
※表やグラフの指標は%（パーセント）。

足立区全体の通過率推移

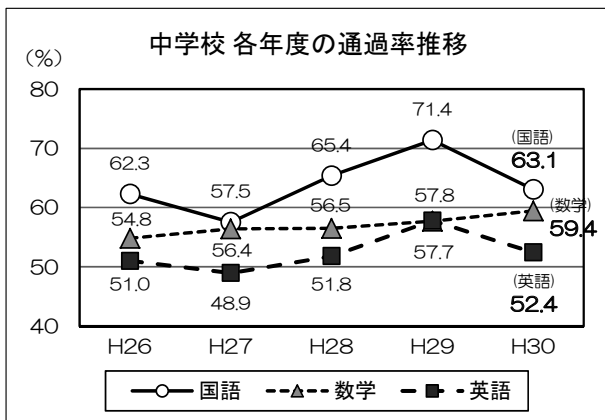


足立区全体の平均正答率*推移

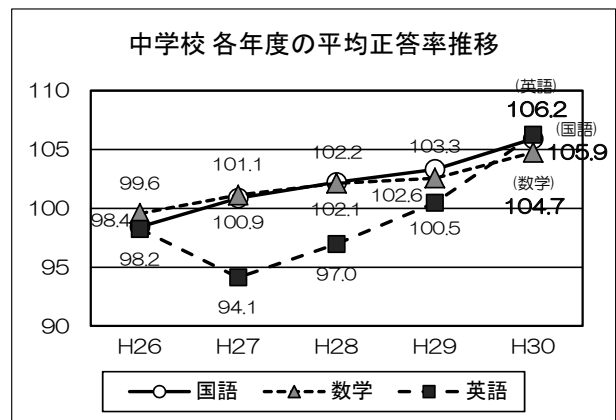
* 全国値を 100 とした指数



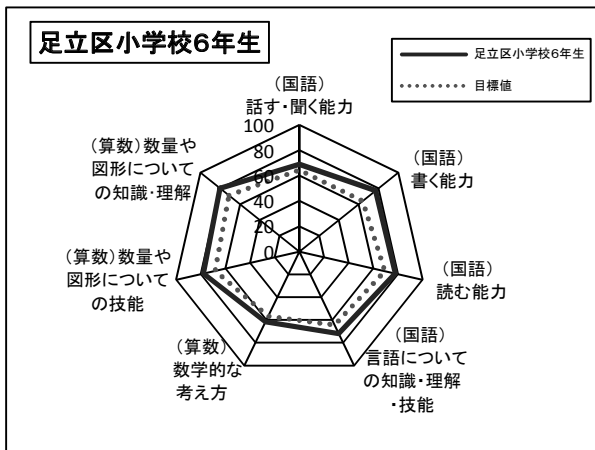
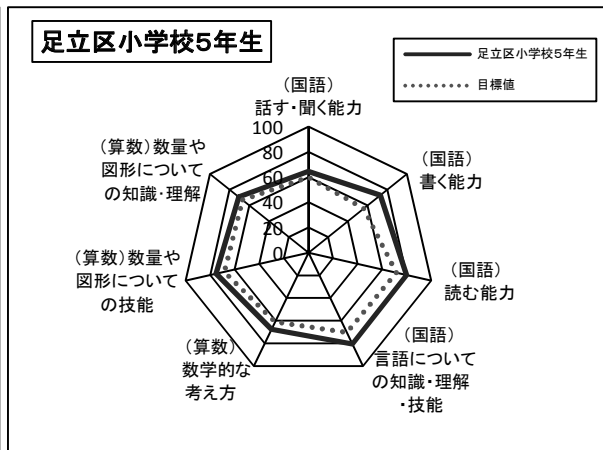
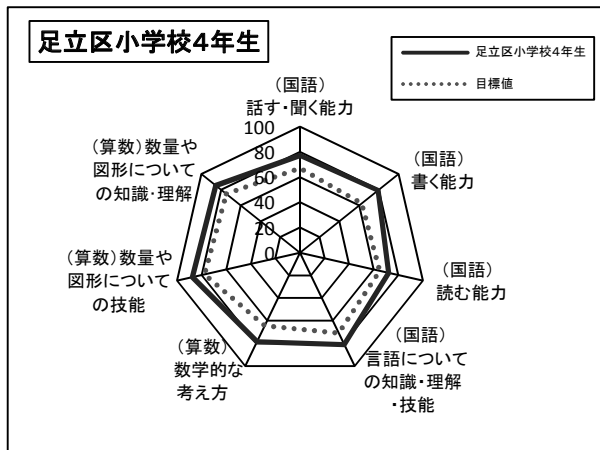
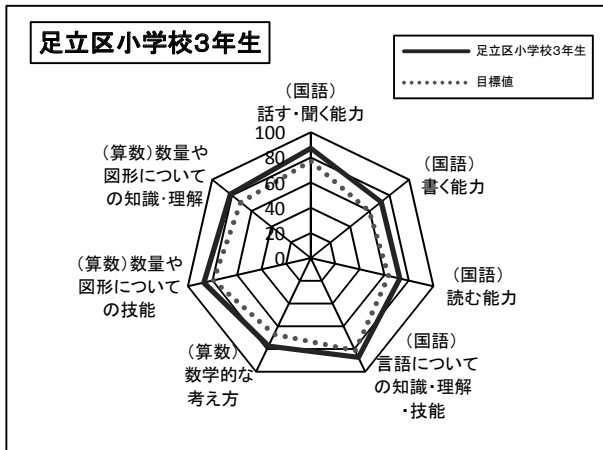
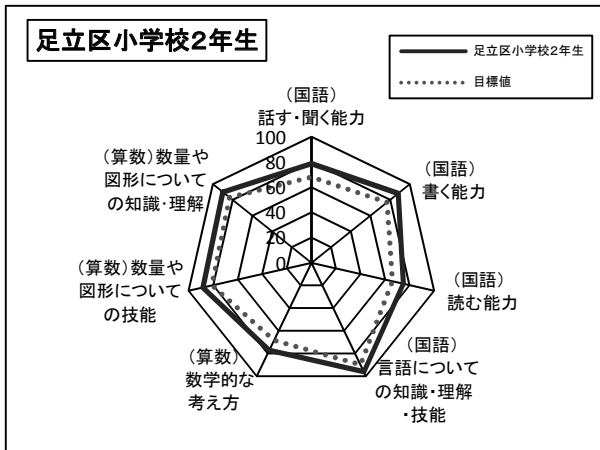
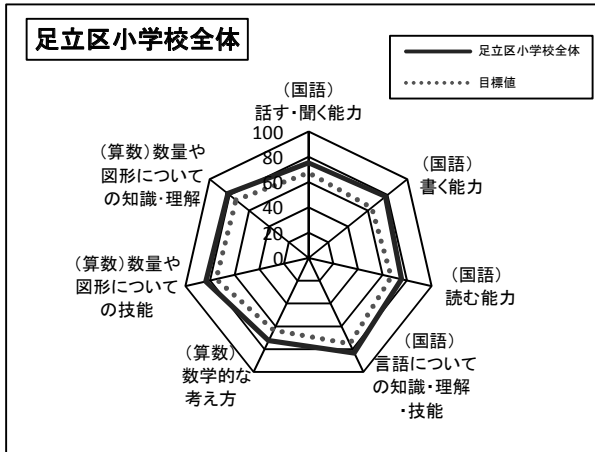
中学校 各年度の通過率推移



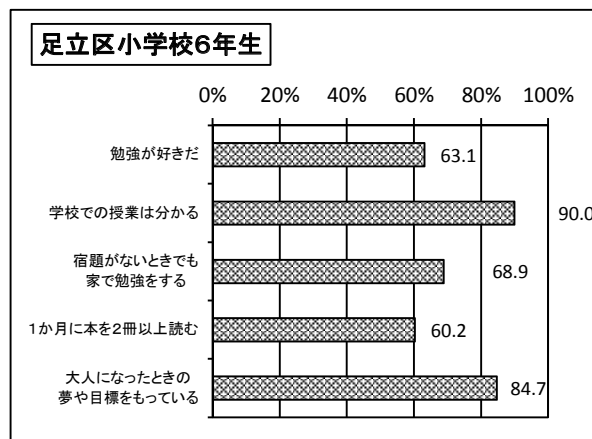
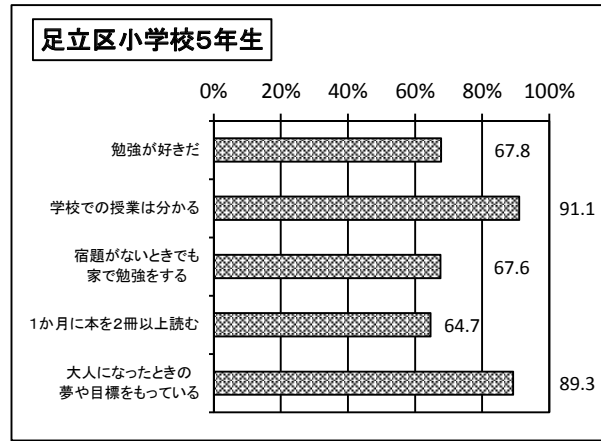
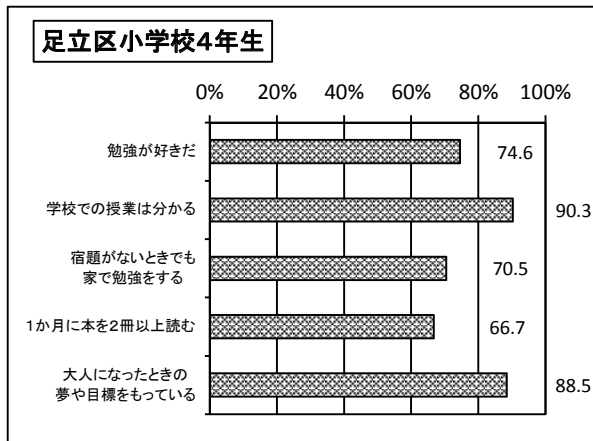
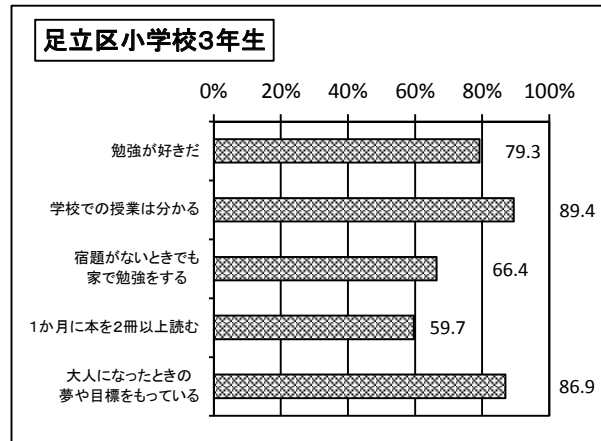
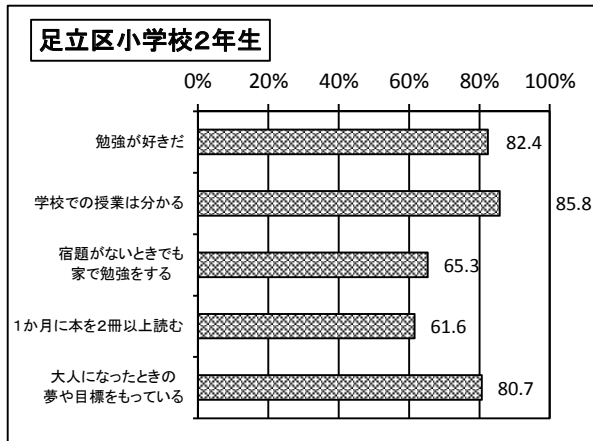
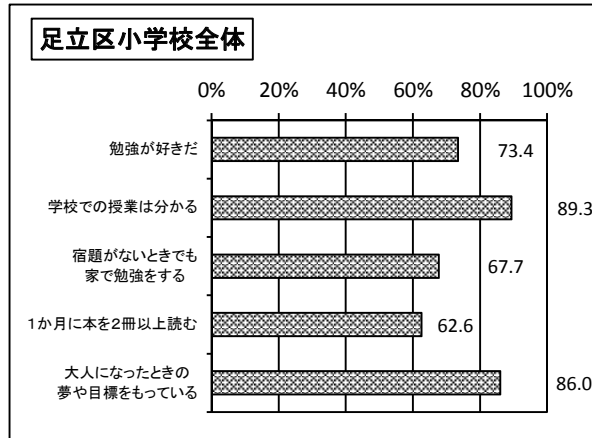
中学校 各年度の平均正答率推移



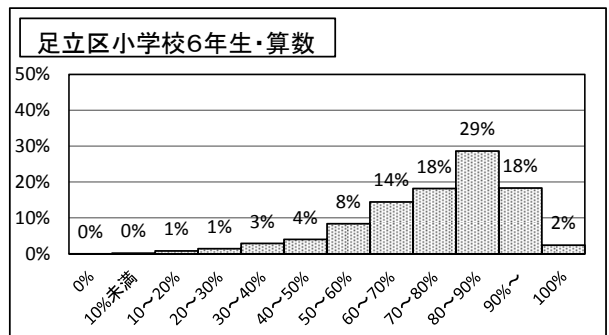
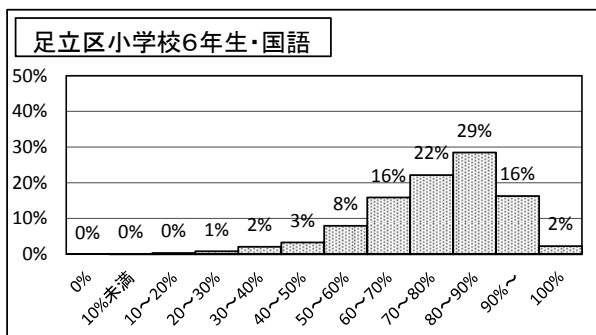
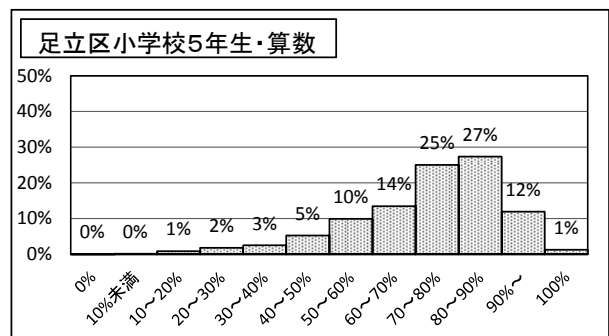
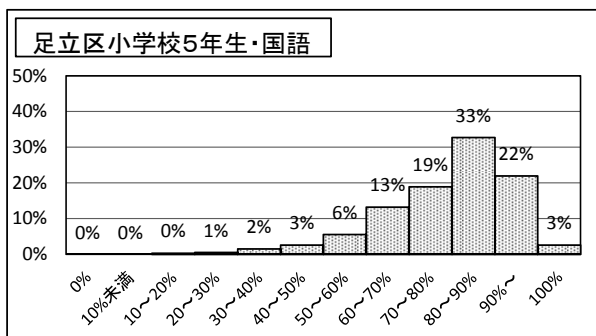
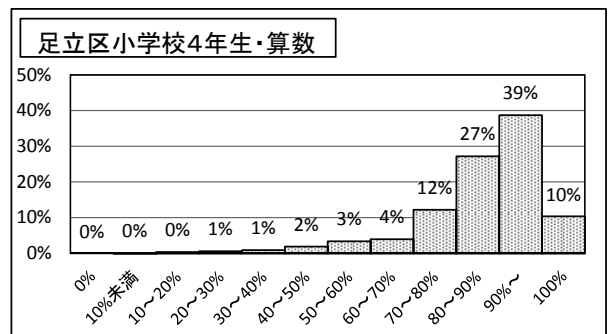
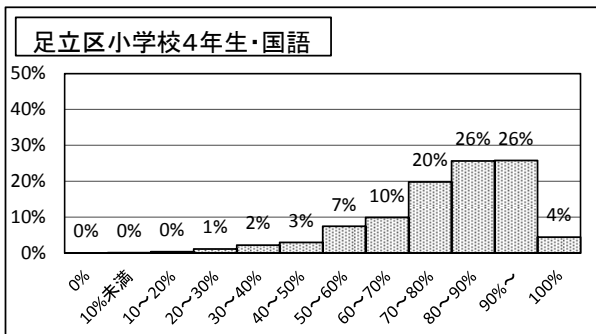
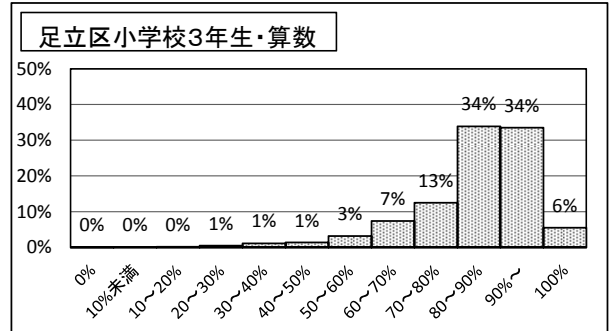
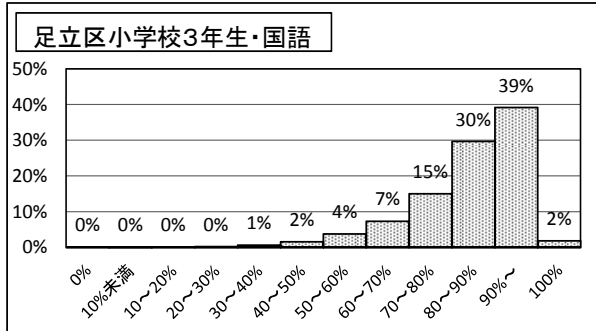
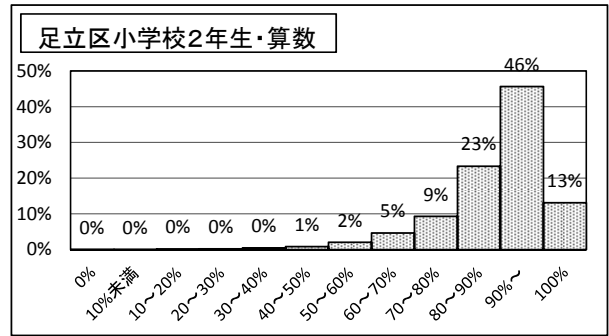
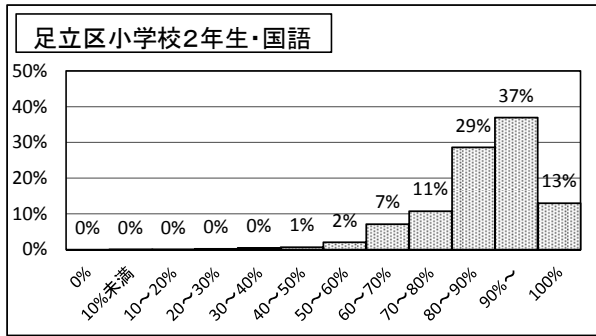
足立区小学生観点別正答率



足立区小学生学習意識 肯定的な回答の割合



足立区小学生正答率度数分布



足立区小学校 基礎学力を身に付けている児童の割合等

●足立区小学校全体

	H30					H29				
	目標値	全国値	平均正答率	平均正答率と全国値との差	通過率	目標値	全国値	平均正答率	平均正答率と全国値との差	通過率
国語	71.4	74.5	80.4	+5.9	78.4	71.6	77.4	83.3	+5.9	82.5
算数	72.6	73.0	81.1	+8.1	79.1	72.7	75.7	83.4	+7.7	81.6

●足立区小学校2年生

	H30					H29				
	目標値	全国値	平均正答率	平均正答率と全国値との差	通過率	目標値	全国値	平均正答率	平均正答率と全国値との差	通過率
国語	78.5	82.2	86.9	+4.7	78.6	78.9	83.8	87.5	+3.7	77.8
算数	80.0	82.2	87.6	+5.4	82.2	80.9	83.6	88.3	+4.7	80.3

●足立区小学校3年生

	H30					H29				
	目標値	全国値	平均正答率	平均正答率と全国値との差	通過率	目標値	全国値	平均正答率	平均正答率と全国値との差	通過率
国語	74.0	75.8	82.8	+7.0	81.3	73.0	80.3	86.4	+6.1	86.3
算数	74.0	74.4	83.6	+9.2	82.8	72.2	76.7	84.3	+7.6	87.5

●足立区小学校4年生

	H30					H29				
	目標値	全国値	平均正答率	平均正答率と全国値との差	通過率	目標値	全国値	平均正答率	平均正答率と全国値との差	通過率
国語	68.5	69.6	78.7	+9.1	77.7	67.2	71.1	79.6	+8.5	81.0
算数	75.0	76.4	85.6	+9.2	83.6	73.3	77.4	86.7	+9.3	85.8

●足立区小学校5年生

	H30					H29				
	目標値	全国値	平均正答率	平均正答率と全国値との差	通過率	目標値	全国値	平均正答率	平均正答率と全国値との差	通過率
国語	68.9	72.9	79.1	+6.2	78.4	69.3	76.2	82.6	+6.4	84.3
算数	67.4	64.8	72.9	+8.1	70.7	69.6	72.5	80.6	+8.1	79.9

●足立区小学校6年生

	H30					H29				
	目標値	全国値	平均正答率	平均正答率と全国値との差	通過率	目標値	全国値	平均正答率	平均正答率と全国値との差	通過率
国語	67.3	71.7	76.0	+4.3	75.8	69.6	75.4	81.1	+5.7	83.3
算数	66.7	67.1	75.1	+8.0	76.1	67.3	68.1	76.0	+7.9	73.8

- ◎目標値:本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値(目標正答率)
- ◎正答率:出題数中何問正解したかの割合(正答数÷出題数×100%)
- ◎全国値:本調査と同一の調査を行った全国の対象者の正答率の平均値
- ◎平均正答率:足立区において本調査を受検した対象者の正答率の平均値
- ◎通過率:目標値以上の正答があった児童・生徒の割合(目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100%)

●「学習定着度調査」小学校全体の分析と課題

【国語科】

小学校全体の平均正答率が目標値、全国値を上回り、観点別正答率もすべての観点で目標値を上回ったが、通過率は昨年度の82.5%から78.4%に4.1ポイント低下した。学年別で見ると、2年生を除いた学年で通過率が昨年度の同一学年の通過率を下回った。

【算数科】

小学校全体の平均正答率が目標値、全国値を上回り、観点別正答率もすべての観点で目標値を上回ったが、通過率は昨年度の81.6%から79.1%に2.5ポイント低下した。学年別で見ると、2年生及び6年生を除いた学年で通過率が昨年度の同一学年の通過率を下回った。

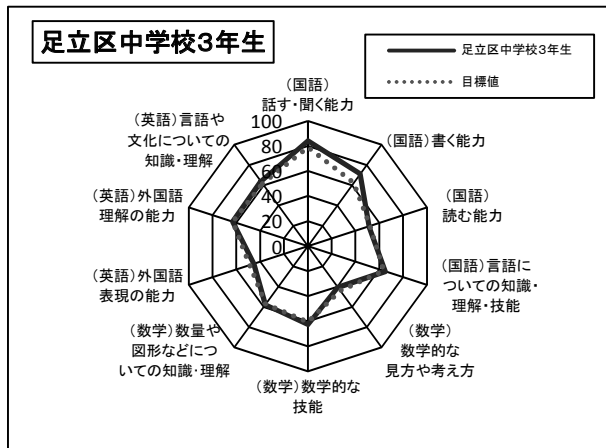
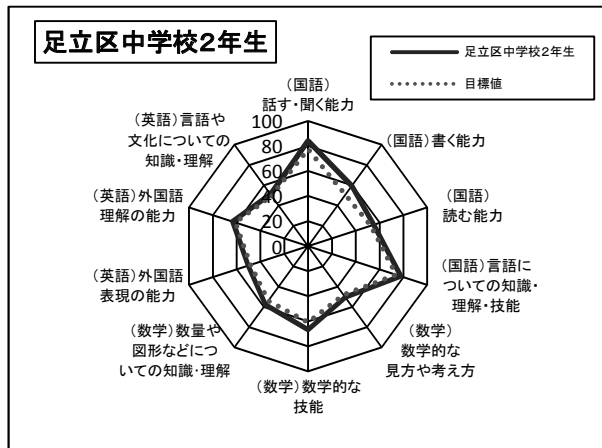
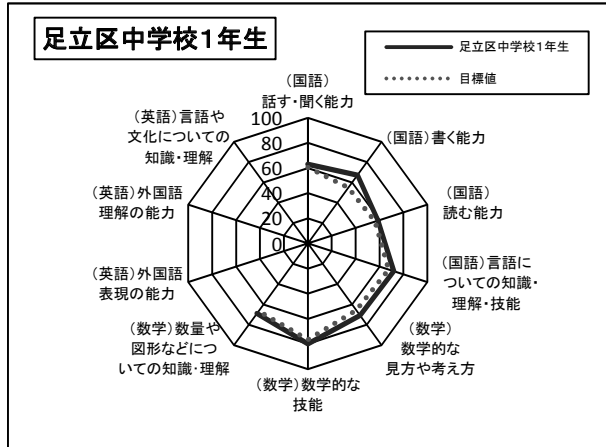
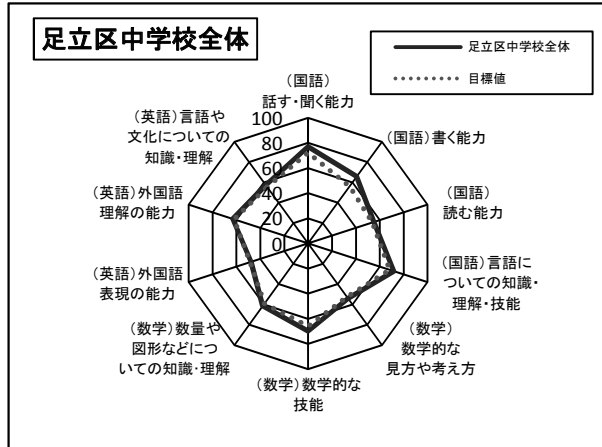
【全体の傾向】

平均正答率と全国値との差を見ると、国語+5.9ポイント、算数+8.1ポイントであり、足立区の平均正答率は全国値を大きく上回るレベルにある。各学校の取り組みの成果は着実に表れている。しかし、基礎学力が身に付いた児童の割合の指標となる通過率はほとんどの学年・教科で低下しており、さらなる基礎学力の定着が求められる。また、H29年度はすべての学校で国語・算数の通過率の平均が70%以上であったが、H30年度は70%を下回る学校が再び見られるようになった。

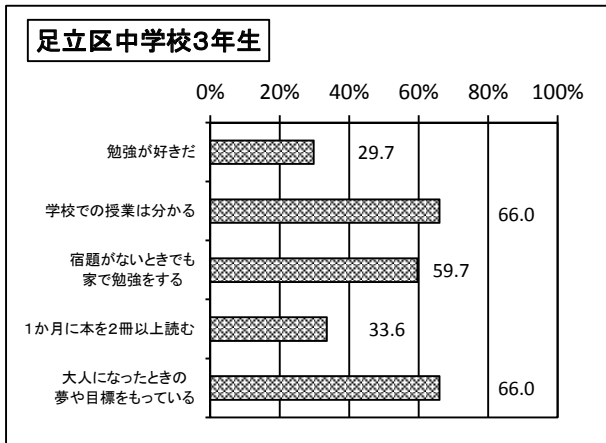
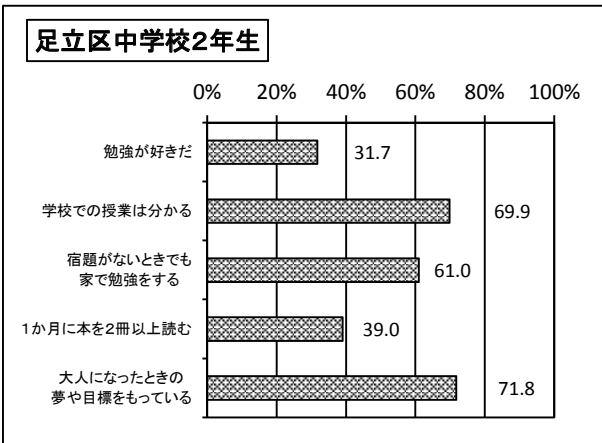
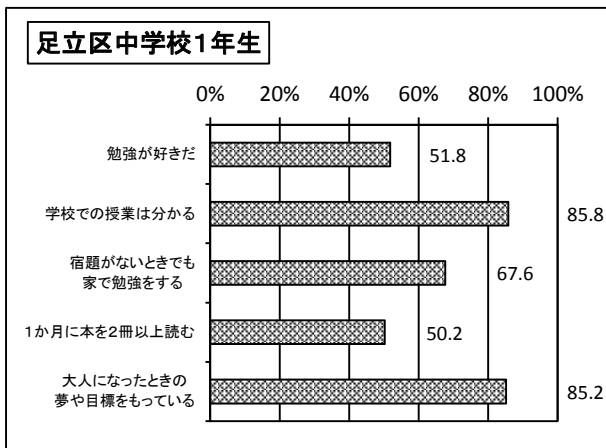
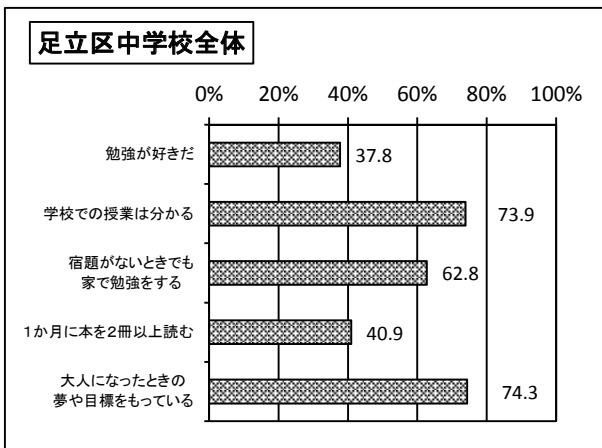
【今後の課題】

区全体の通過率は低下したものの、平均正答率で見れば、全国値と比べて高い水準を維持できていると考えられる。しかし、学力向上の取り組みの手を緩めれば学力の低下は容易である。また、各学校の学年・教科を個別に見れば、著しく低い通過率も見受けられる。一人でも多くの児童の学力を定着させるためには、日常的に学力調査等から児童一人ひとりの学力の定着状況を把握し、児童個々のつまづきを授業や補習等で早期に解消するとともに、児童のつまづきを予防するため指導計画や指導方法を工夫し、日々授業改善を図っていく努力が欠かせない。今後、各学校と連携して学力定着の取り組みを継続し、改めて全校での通過率70%以上を目指していく。

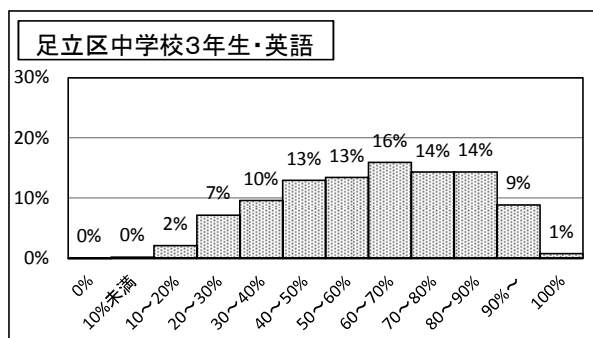
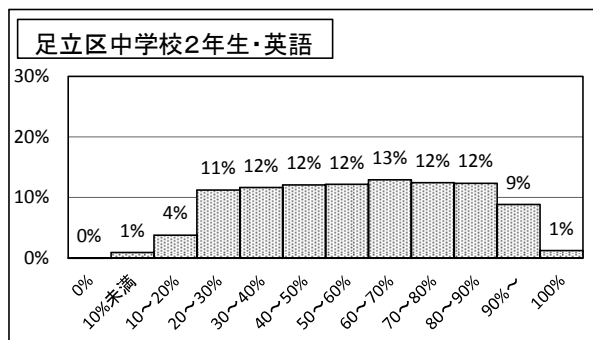
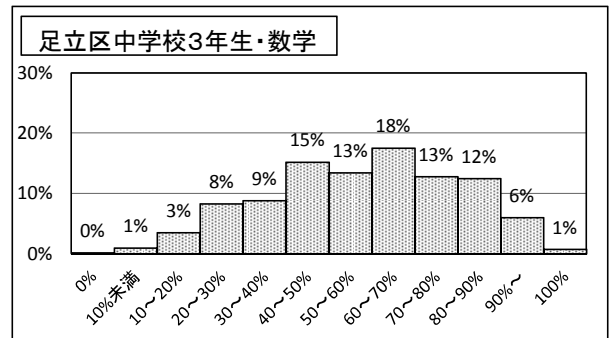
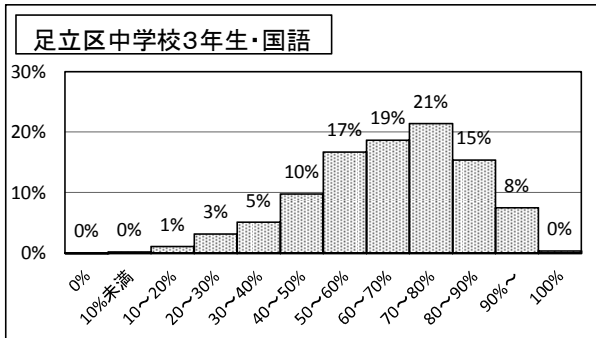
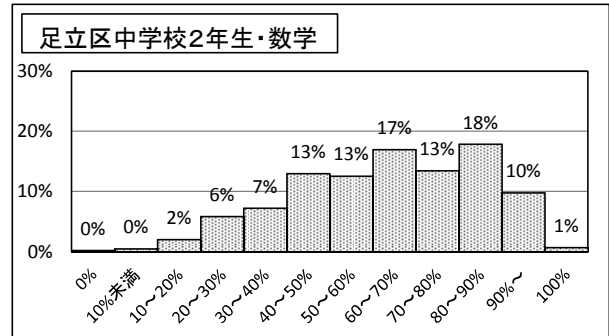
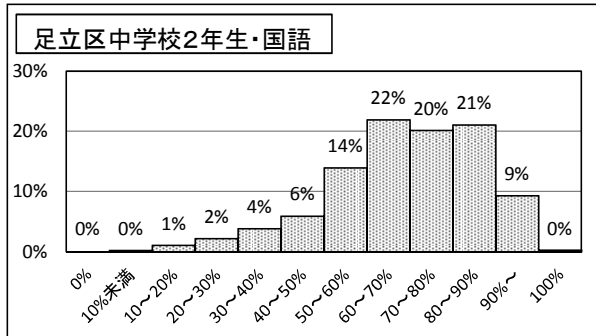
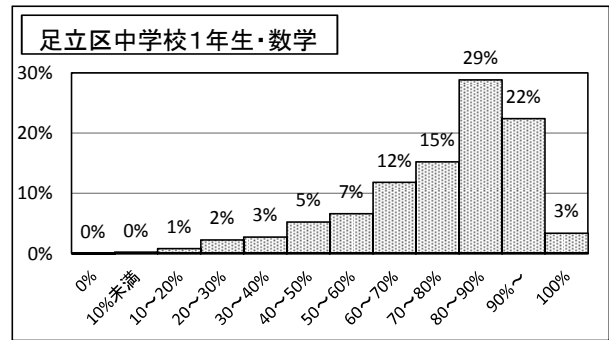
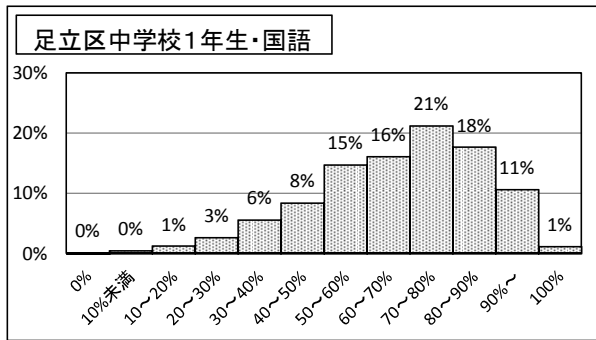
足立区中学生観点別正答率



足立区中学生学習意識 肯定的な回答の割合



足立区中学生正答率度数分布



足立区中学校 基礎学力を身に付けている生徒の割合等

●足立区中学校全体

	H30					H29				
	目標値	全国値	平均正答率	平均正答率と全国値との差	通過率	目標値	全国値	平均正答率	平均正答率と全国値との差	通過率
国語	62.8	63.3	67.1	+3.8	63.1	67.8	72.3	74.7	+2.4	71.4
数学	62.5	62.1	65.1	+3.0	59.4	61.5	62.6	64.2	+1.6	57.7
英語	57.9	55.3	58.8	+3.5	52.4	61.6	63.4	63.7	+0.3	57.8

●足立区中学校 1 年生

	H30					H29				
	目標値	全国値	平均正答率	平均正答率と全国値との差	通過率	目標値	全国値	平均正答率	平均正答率と全国値との差	通過率
国語	62.0	62.7	67.2	+4.5	64.5	68.3	73.5	78.8	+5.3	80.0
数学	72.4	72.8	75.7	+2.9	66.0	66.3	68.3	72.5	+4.2	67.9

●足立区中学校 2 年生

	H30					H29				
	目標値	全国値	平均正答率	平均正答率と全国値との差	通過率	目標値	全国値	平均正答率	平均正答率と全国値との差	通過率
国語	63.6	64.2	68.7	+4.5	66.9	67.2	70.4	73.0	+2.6	69.3
数学	58.1	58.1	62.6	+4.5	58.8	58.0	58.4	60.1	+1.7	54.1
英語	55.1	51.2	57.0	+5.8	53.3	59.1	59.4	63.1	+3.7	59.8

●足立区中学校 3 年生

	H30					H29				
	目標値	全国値	平均正答率	平均正答率と全国値との差	通過率	目標値	全国値	平均正答率	平均正答率と全国値との差	通過率
国語	62.7	63.1	65.3	+2.2	58.0	67.8	73.0	72.1	-0.9	64.6
数学	56.9	55.4	57.4	+2.0	53.8	60.1	61.1	59.9	-1.2	50.9
英語	60.6	59.5	60.5	+1.0	51.5	64.1	67.4	64.4	-3.0	55.9

- ◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値(目標正答率)
- ◎正答率：出題数中何問正解したかの割合(正答数÷出題数×100%)
- ◎全国値：本調査と同一の調査を行った全国の対象者の正答率の平均値
- ◎平均正答率：足立区において本調査を受検した対象者の正答率の平均値
- ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合(目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100%)

●「学習定着度調査」中学校全体の分析と課題

【国語科】

中学校全体の平均正答率が目標値、全国値を上回り、観点別正答率もすべての観点で目標値を上回ったが、通過率は昨年度の71.4%から63.1%に8.3ポイント低下した。学年別で見ると、すべての学年で通過率が昨年度の同一学年の通過率を下回っており、特に1年生では15.5ポイント下回っている。

【数学科】

中学校全体の平均正答率が目標値、全国値を上回り、観点別正答率もすべての観点で目標値を上回った。通過率は昨年度の57.7%から59.4%に1.7ポイント向上した。学年別で見ると、2、3年生の通過率が昨年度の同一学年の通過率を上回っているが、1年生は1.9ポイント下回っている。

【英語科】

中学校全体の平均正答率が目標値、全国値を上回り、観点別正答率は3項目中2項目の「外国語理解の能力」と「言語や文化についての知識・理解」とで目標値を上回った。通過率は昨年度の57.8%から52.4%に5.4ポイント低下した。学年別で見ると、2、3年生ともに通過率が昨年度の同一学年の通過率を下回っている。

【全体の傾向】

平均正答率と全国値との差を見ると、足立区の平均正答率はすべての教科で全国値を3ポイント程度上回っており、全体として学力の底上げが進み、各学校における授業改善や補充学習の取り組みが成果につながりつつある様子がうかがえる。一方で、基礎学力が身に付いた生徒の割合の指標となる通過率では、数学が昨年度の数値を上回ったものの、国語・英語は昨年度の数値を下回っており、基礎学力の定着に向けたさらなる取り組みが求められる。

【今後の課題】

各学校における学力定着の取り組みをさらに充実させていく必要がある。各教科では、学力調査や定期考査等から生徒一人ひとりの学力の定着状況を継続的に把握し、個々のつまづきが深刻化する前に、授業や補習等で丁寧につまづきを解消させていく日々の積み重ねが重要である。また、各教員が授業改善を進め、「分かる授業」「魅力ある授業」を実現することが、生徒一人ひとりのつまづきを予防するために最も重要な取り組みである。教育委員会では、課題のある学校に重点的に支援にあたるなど、各学校の学力向上アクションプランの進行管理を行い、学力低位層の底上げに努めていく。教科別では、数学及び英語の基礎学力の定着に取り組んでいく。なお、調査対象が小学校6年生の履修事項である中学校1年生の通過率が低下したことは、小学校も含めた課題として、小中連携の枠組みの中で取り組んでいく。

「学習意識調査」

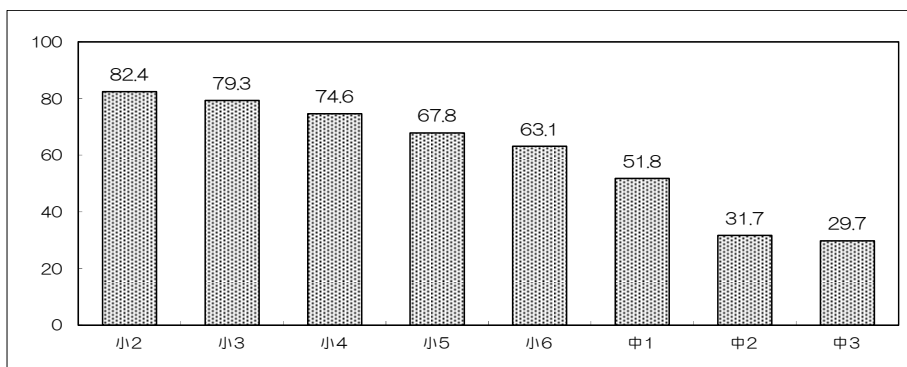
学習や生活についてのアンケート

※表やグラフの指標は%（パーセント）。無回答及び小数第2位以下を四捨五入しているため、表示された数値を合計しても100にならない場合があります。また、小学校2、3年生については「はい・いいえ」の2択で回答する質問があり、一部のグラフについては掲載していません。

1 学習に対する意識と取り組み方に関する質問について

①「勉強が好きだ」の学年比較

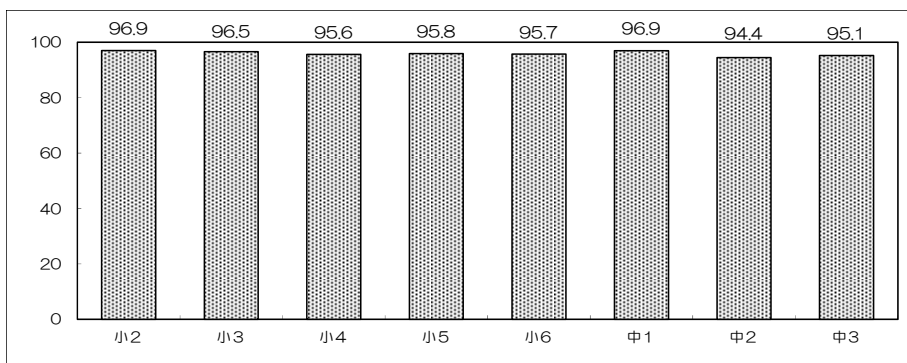
※肯定的な回答の割合(%)



「勉強が好きだ」という意識について、学年ごとに見ると、肯定的な回答の割合は、学年が上がるにつれて減少する。中学生になると、肯定的な回答の割合は目立って低くなり、中2、中3では、約70%の生徒が肯定的な回答をしていない。

②「勉強は大切だ」の学年比較

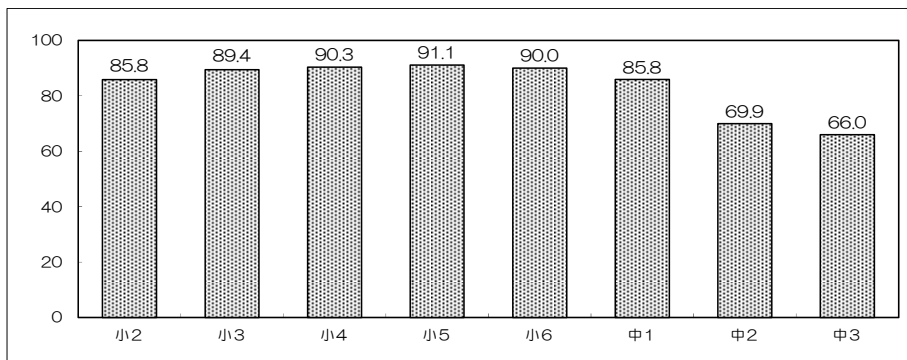
※肯定的な回答の割合(%)



「勉強は大切だ」という意識について、学年ごとに見ると、肯定的な回答の割合は、すべての学年で90%台である。①「勉強が好きだ」との関連を見ると、「勉強が好きだ」に肯定的な意識をもっていない児童・生徒でも、「勉強は大切だ」という意識をもっていることが分かる。

③「学校での授業はどの程度分かりますか」の学年比較

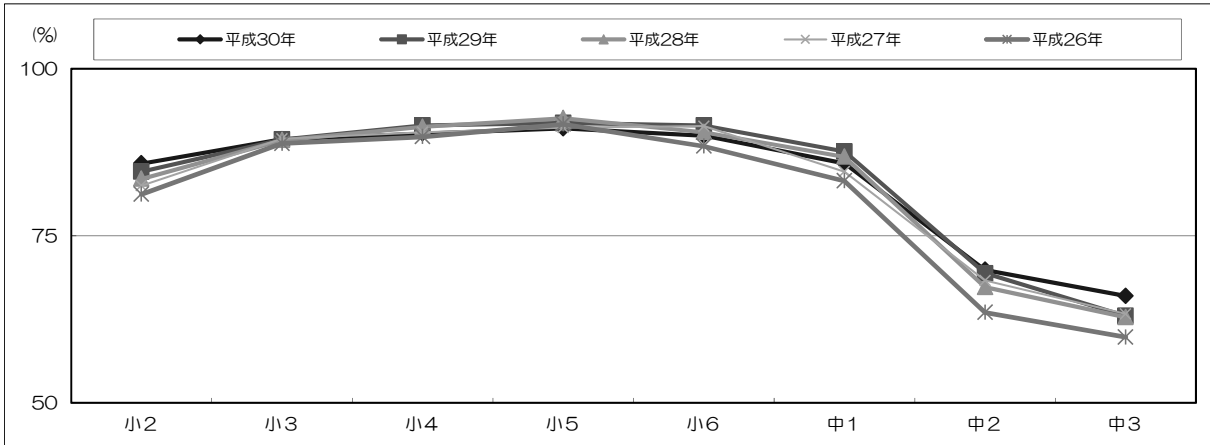
※「はい」/「よく分かる」+「だいたい分かる」の割合(%)



「学校での授業の理解度」について、学年ごとに見ると、肯定的な回答の割合は、小2～中1では80～90%台と高いが、中2、中3では60%台に低下する。中2以降では、学習内容に難しさを感じる生徒が多いことが分かる。

④「学校での授業はどの程度分かりますか」の「はい」／「よく分かる」＋「だいたい分かる」の経年変化 (単位:%)

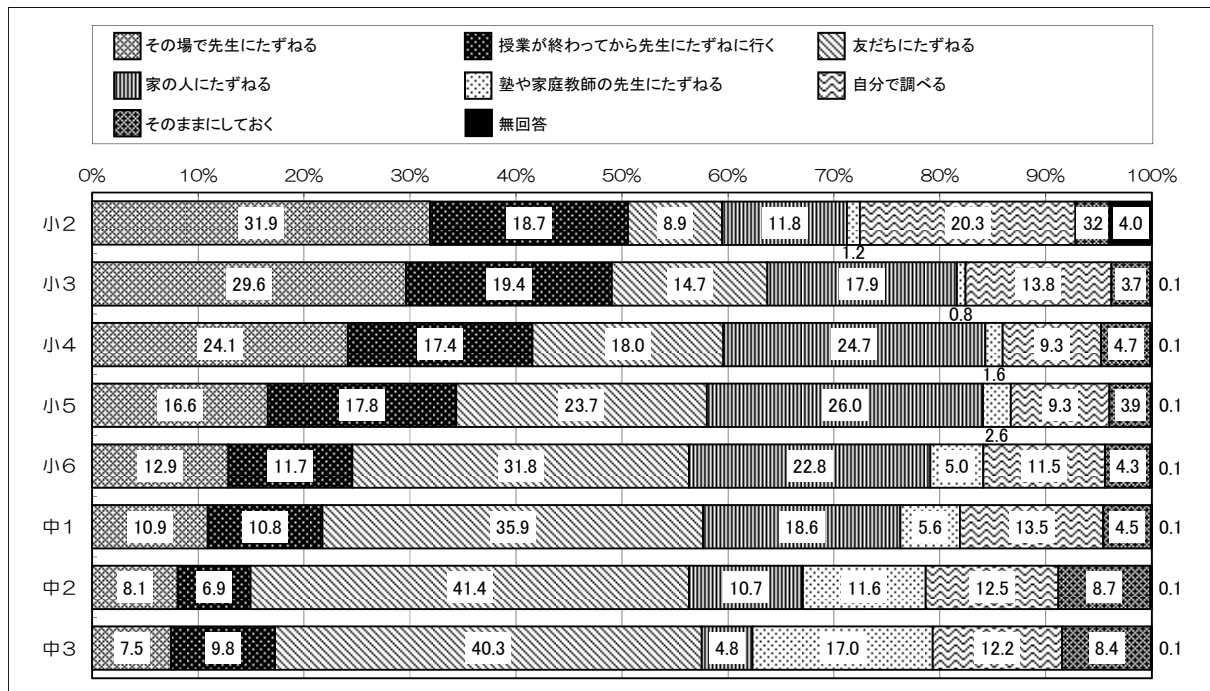
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
平成30年	85.8	89.4	90.3	91.1	90.0	85.8	69.9	66.0
平成29年	84.6	89.4	91.5	91.9	91.5	87.6	69.4	63.0
平成28年	83.5	89.3	91.3	92.6	90.5	86.8	67.3	62.8
平成27年	82.5	89.5	90.5	91.2	91.4	84.6	68.3	63.3
平成26年	81.2	88.8	89.8	91.7	88.4	83.2	63.5	59.8



「学校での授業の理解度」について、5年間で経年比較すると、全体的に年々増加傾向にあることが分かる。

⑤「授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか」の学年比較

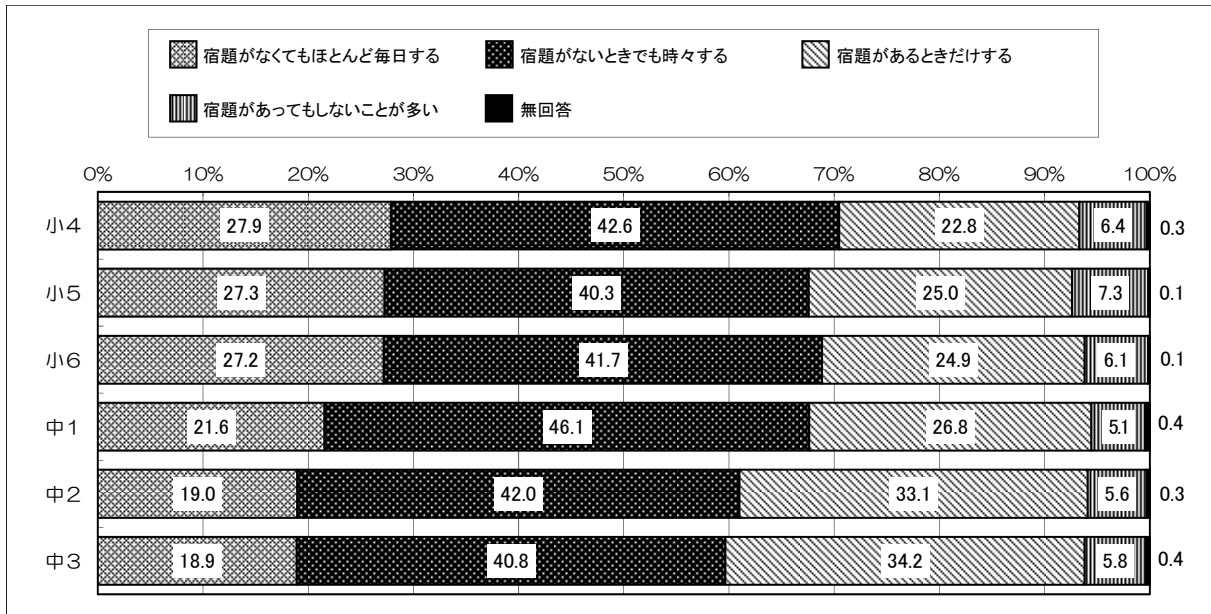
※各選択肢の割合 (%)



「授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いか」について、学年ごとに見ると、先生にたずねる割合（「その場で先生にたずねる」＋「授業が終わってから先生にたずねに行く」の割合）は、小2は50%台、小3、小4では40%台であるが、小5～中2では学年が上がるにつれて減少する。また、「そのままにしておく」の割合は、中2（8.7%）、中3（8.4%）と高くなっている。

⑥「ふだん家庭でしている勉強は、次のうちどれに近いですか」の学年比較

※各選択肢の割合（％）

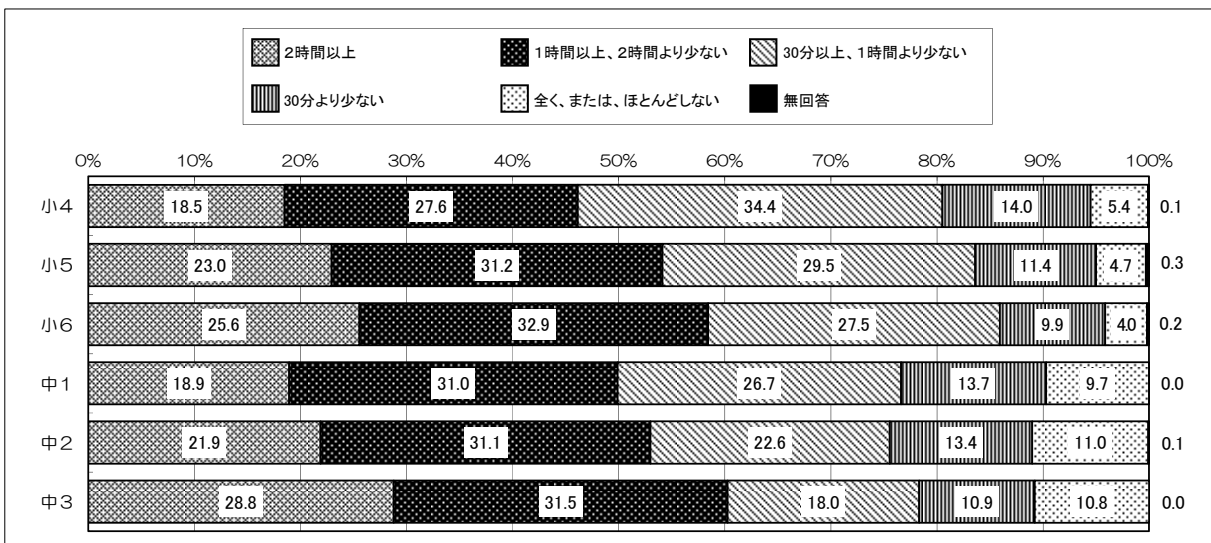


「ふだん家庭でしている勉強」について、学年ごとに見ると、すべての学年で「宿題がないときでも時々する」の割合が最も高い。また、「宿題があるときだけする」の割合は、中2、中3では30%台と高くなっている。

⑦「学校の授業時間以外に、1日にだいたいどのくらい勉強しますか」の学年比較

（土曜日、日曜日は除く。塾や家庭教師の時間も含める。）

※各選択肢の割合（％）

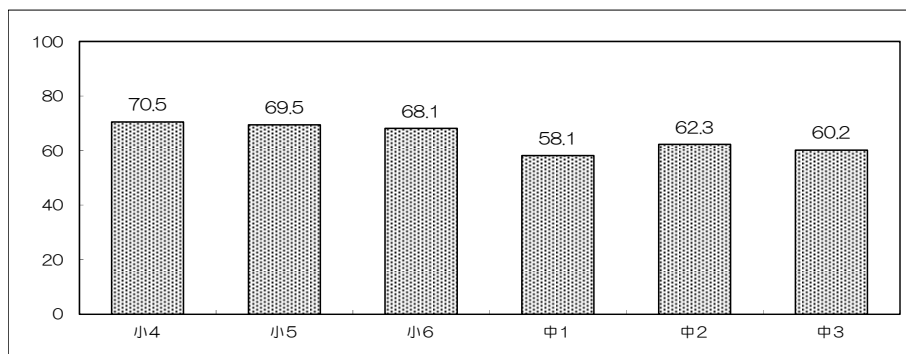


「1日の勉強時間」について、学年ごとに見ると、「1時間以上」と回答した割合（「2時間以上」＋「1時間以上、2時間より少ない」の割合）は、小5、小6、中2では50%以上であり、中3では60%を超えている。「1時間以上」の割合が最も高いのは中3（60.3%）で、最も低い小4（46.1%）との差は14.2ポイントである。一方、「全く、または、ほとんどしない」の割合は、中2、中3では10%を超えている。

2 教科に関する質問について

①「国語の勉強は好きですか」の学年比較

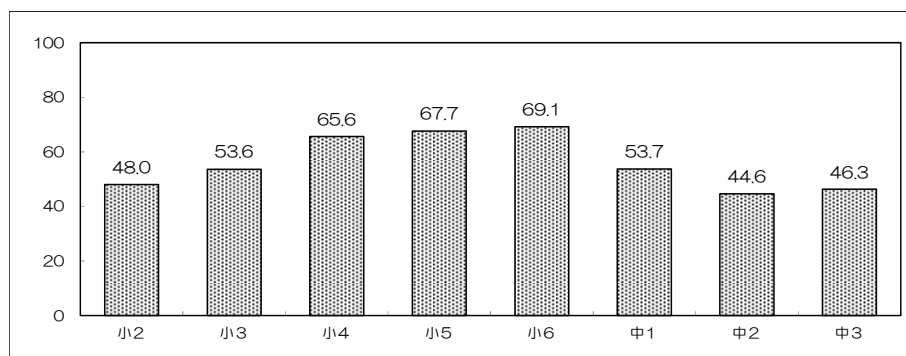
※肯定的な回答の割合（％）



「国語の勉強は好きだ」という意識について、学年ごとに見ると、肯定的な回答の割合は、小学生の方が中学生よりも高い。肯定的な回答の割合が最も高い小4（70.5％）と最も低い中1（58.1％）との差は12.4ポイントである。

②「分からない言葉があるときは国語辞典（電子辞書を含みます）を使いますか」の学年比較

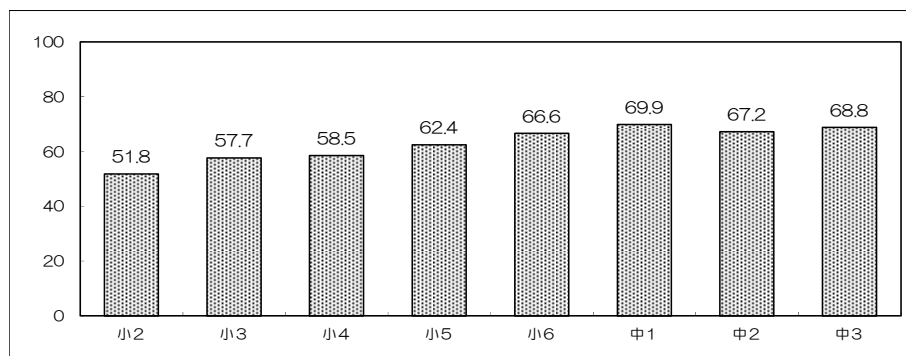
※肯定的な回答の割合（％）



「分からない言葉があるときは国語辞典を使うこと」について、学年ごとに見ると、肯定的な回答の割合は、小2～小6まで学年が上がるにつれて増加するが、以降の学年では減少し、中1は50％台、中2、中3は40％台である。肯定的な回答の割合が最も高い小6（69.1％）と最も低い中2（44.6％）との差は24.5ポイントである。

③「日常生活の中で、自分の思いや考えを積極的に話していますか」の学年比較

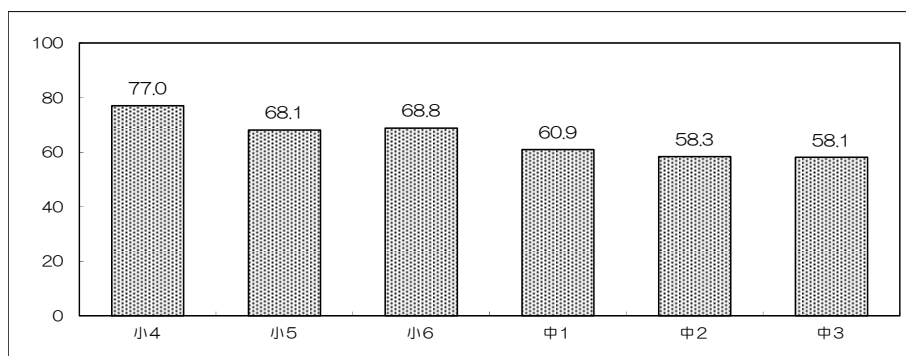
※肯定的な回答の割合（％）



「日常生活の中で、自分の思いや考えを積極的に話すこと」について、学年ごとに見ると、肯定的な回答の割合は、小2～小4では50％台であるが、小5以降では60％台である。肯定的な回答の割合が最も高い中1（69.9％）と最も低い小2（51.8％）との差は18.1ポイントである。

④「社会の勉強は好きですか」の学年比較

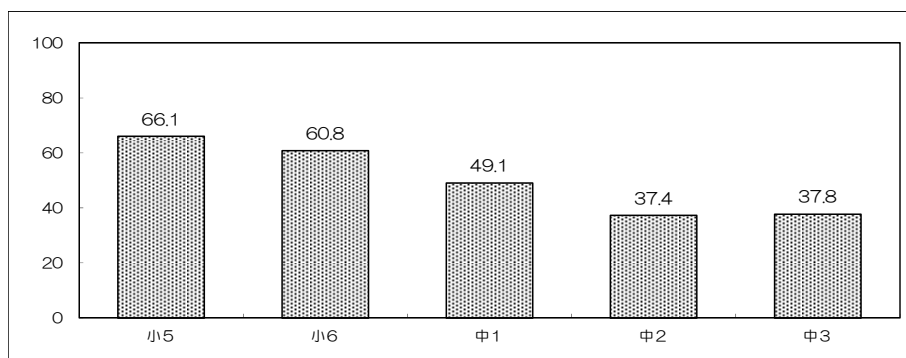
※肯定的な回答の割合（％）



「社会の勉強は好きだ」という意識について、学年ごとに見ると、肯定的な回答の割合は、小学生の方が中学生よりも高い。肯定的な回答の割合が最も高い小4（77.0％）と最も低い中3（58.1％）との差は18.9ポイントである。

⑤「分からない地名に出会ったら、自分で地図帳などを使って調べますか」の学年比較

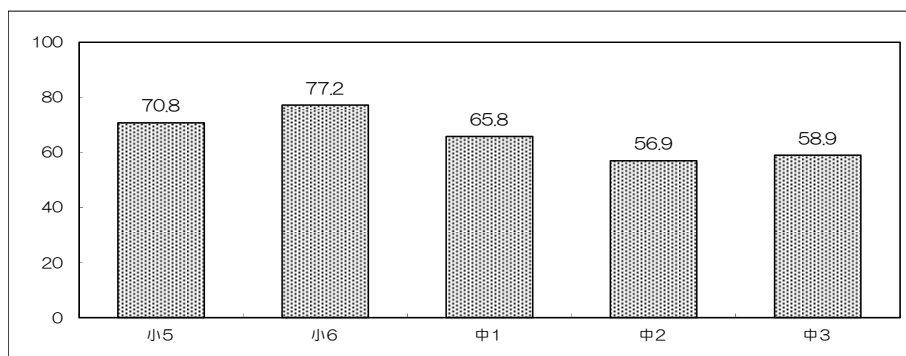
※肯定的な回答の割合（％）



「分からない地名を、自分で地図帳などを使って調べること」について、学年ごとに見ると、肯定的な回答の割合は、小5～中2では学年が上がるにつれて減少する。肯定的な回答の割合が最も高い小5（66.1％）と最も低い中2（37.4％）との差は28.7ポイントである。また、中2、中3の肯定的な回答の割合は30％台後半であり、他の学年に比べて落ち込みが大きい。

⑥「社会の勉強をしたことによって、新聞やニュースに関心をもつようになりましたか」の学年比較

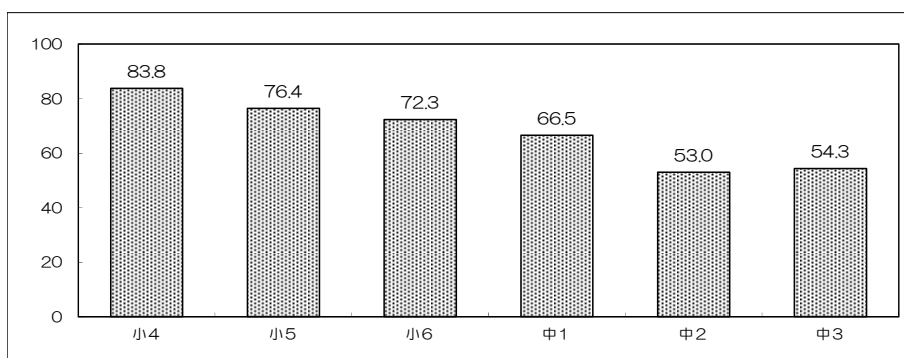
※肯定的な回答の割合（％）



「社会を勉強したことによって、新聞やニュースに関心をもつようになったこと」について、学年ごとに見ると、肯定的な回答の割合は、小学生の方が中学生よりも高い。肯定的な回答の割合が最も高い小6（77.2％）と最も低い中2（56.9％）との差は20.3ポイントである。

⑦「算数・数学の勉強は好きですか」の学年比較

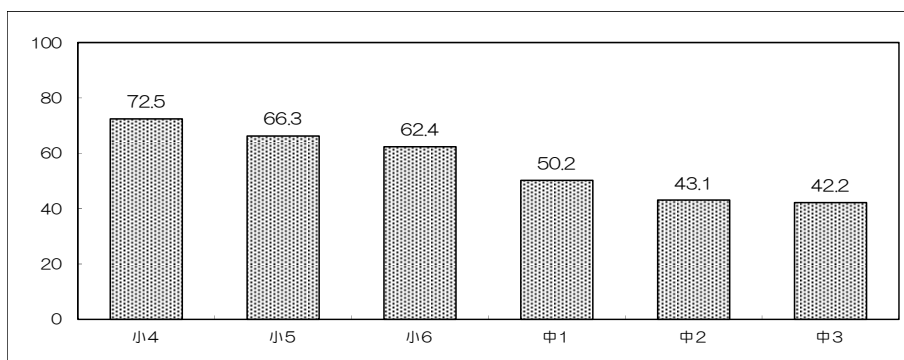
※肯定的な回答の割合（％）



「算数・数学の勉強は好きだ」という意識について、学年ごとに見ると、肯定的な回答の割合は、小4～中2では学年が上がるにつれて減少する。肯定的な回答の割合が最も高い小4（83.8％）と最も低い中2（53.0％）との差は30.8ポイントである。

⑧「算数・数学の時間に、いろいろな考え方を発表し合うことは好きですか」の学年比較

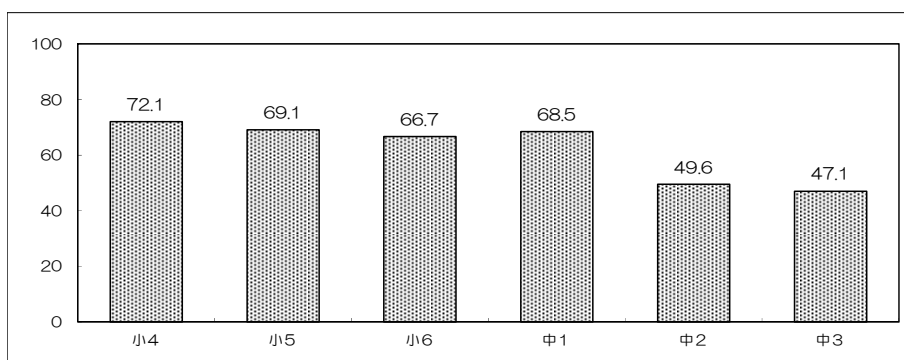
※肯定的な回答の割合（％）



「算数・数学の時間に、いろいろな考え方を発表し合うことは好きだ」という意識について、学年ごとに見ると、肯定的な回答の割合は、学年が上がるにつれて減少する。肯定的な回答の割合が最も高い小4（72.5％）と最も低い中3（42.2％）との差は30.3ポイントである。また、中2、中3の肯定的な回答の割合は40％台であり、他の学年に比べて落ち込みが大きい。

⑨「問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか」の学年比較

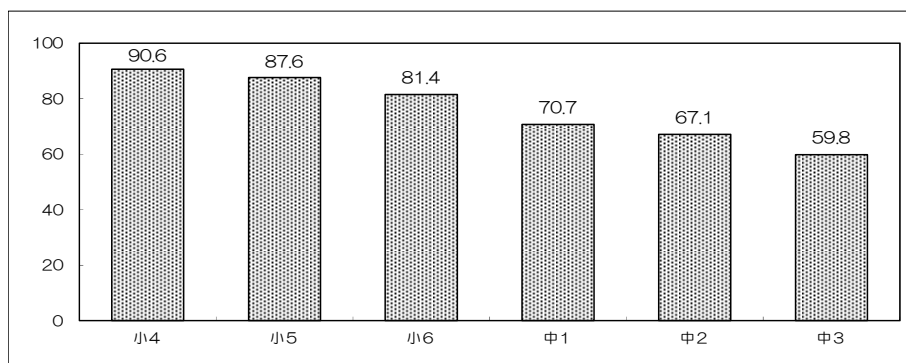
※肯定的な回答の割合（％）



「問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていること」について、学年ごとに見ると、肯定的な回答の割合は、小4～中1では60％台～70％台前半であるが、中2、中3では40％台にまで落ち込む。肯定的な回答の割合が最も高い小4（72.1％）と最も低い中3（47.1％）との差は25.0ポイントである。

⑩「理科の勉強は好きですか」の学年比較

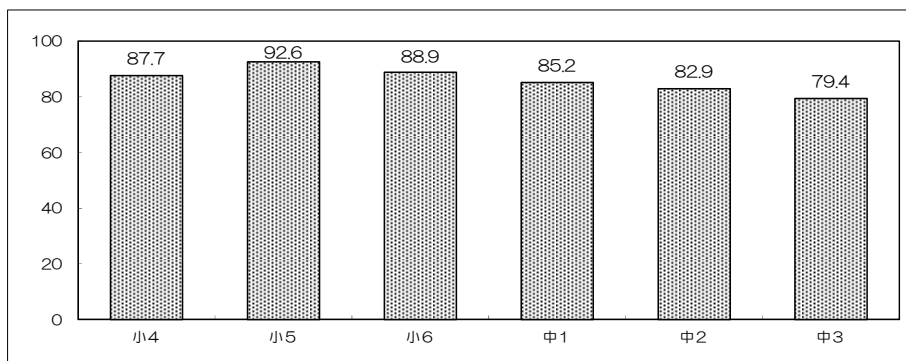
※肯定的な回答の割合（％）



「理科の勉強は好きだ」という意識について、学年ごとに見ると、肯定的な回答の割合は、小4では90%を超えているが、学年が上がるにつれて減少する。肯定的な回答の割合が最も高い小4（90.6%）と最も低い中3（59.8%）との差は30.8ポイントである。

⑪「理科の勉強で、実験や観察をすることは好きですか」の学年比較

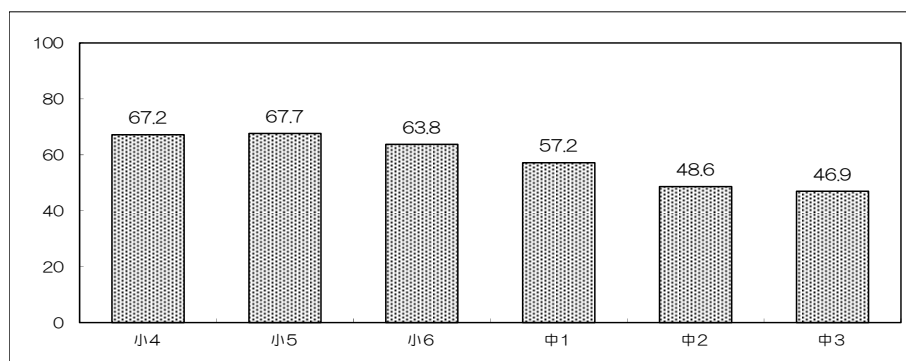
※肯定的な回答の割合（％）



「理科の勉強で、実験や観察をすることは好きだ」という意識について、学年ごとに見ると、肯定的な回答の割合は、全体を通して70%台後半～90%台前半と高く、特に小5では90%を超えている。肯定的な回答の割合が最も高い小5（92.6%）と最も低い中3（79.4%）との差は13.2ポイントである。

⑫「理科の勉強で、分からないことや興味・関心をもったことについて自分から調べようとしていますか」の学年比較

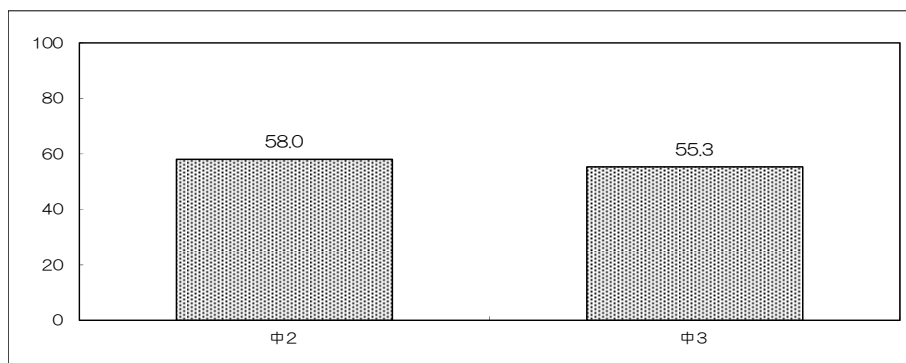
※肯定的な回答の割合（％）



「理科の勉強で、分からないことや興味・関心をもったことについて自分から調べること」について、学年ごとに見ると、肯定的な回答の割合は、小5～中3では学年が上がるにつれて減少し、中2からは半数を下回る。肯定的な回答の割合が最も高い小5（67.7%）と最も低い中3（46.9%）との差は20.8ポイントである。

⑬「英語の勉強は好きですか」の学年比較

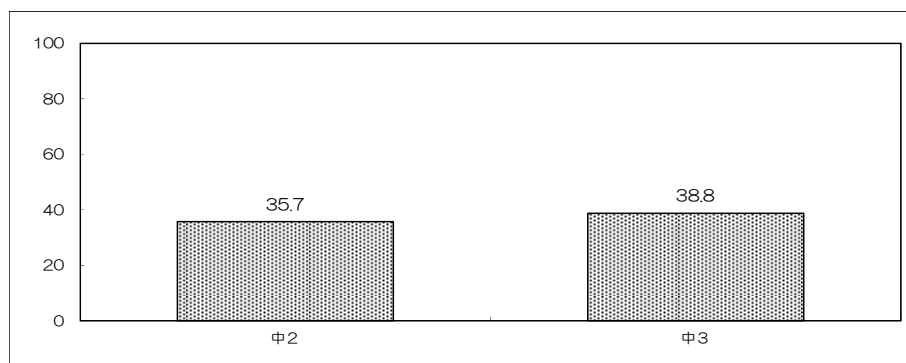
※肯定的な回答の割合（％）



「英語の勉強は好きだ」という意識について、学年ごとに見ると、肯定的な回答の割合は、中2の方が中3よりも高い。その差は2.7ポイントである。

⑭「英語の辞書（電子辞書を含みます）を使いますか」の学年比較

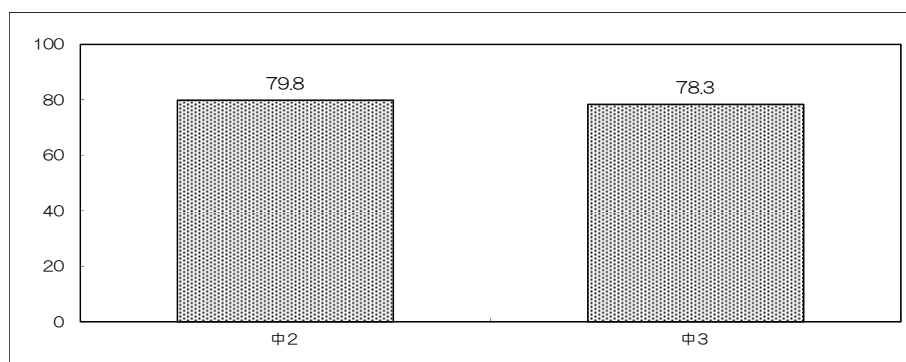
※肯定的な回答の割合（％）



「英語の辞書を使うこと」について、学年ごとに見ると、肯定的な回答の割合は、中2よりも中3の方が高い。その差は3.1ポイントである。

⑮「英語の勉強をしたことで、生活の中で役に立つと感じることはありますか」の学年比較

※肯定的な回答の割合（％）



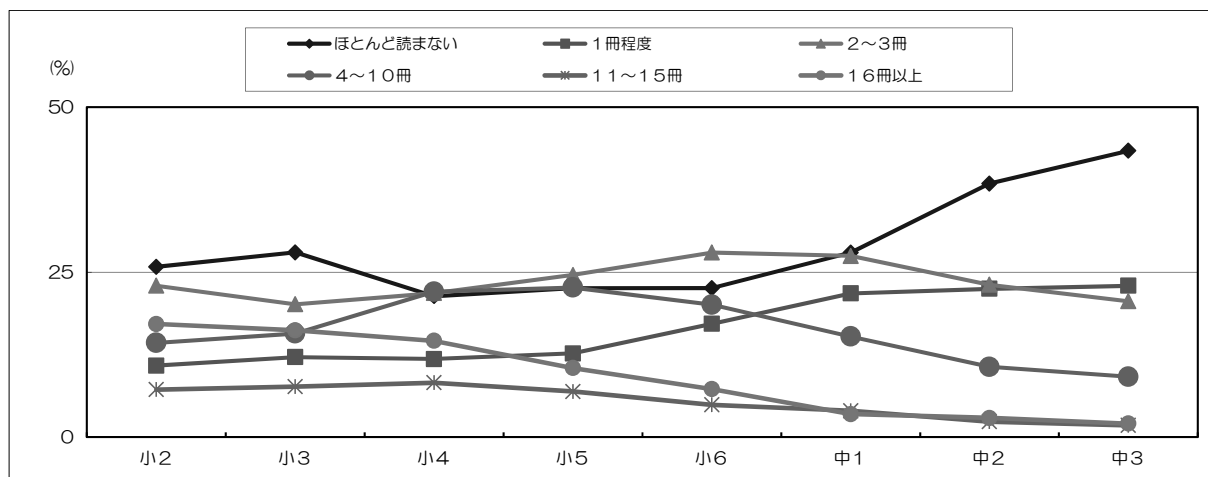
「英語の勉強をしたことで、生活の中で役に立つと感じることがある」という意識について、学年ごとに見ると、肯定的な回答の割合は、中2、中3とも70%台後半である。英語が生活の中で役立った経験をもつ生徒が多いことが分かる。

3 読書

①「1か月に、何冊くらい本を読むか」の学年比較

(単位:%)

	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
ほとんど読まない	25.8	28.0	21.4	22.6	22.6	28.0	38.4	43.4
1冊程度	10.9	12.1	11.8	12.7	17.2	21.8	22.5	22.9
2～3冊	22.9	20.1	21.8	24.6	28.0	27.5	23.1	20.6
4～10冊	14.3	15.7	22.0	22.7	20.1	15.2	10.6	9.2
11～15冊	7.2	7.7	8.3	6.9	4.9	4.0	2.3	1.8
16冊以上	17.2	16.2	14.6	10.5	7.3	3.5	2.9	2.0
「2冊以上」の合計	61.6	59.7	66.7	64.7	60.3	50.2	38.9	33.6

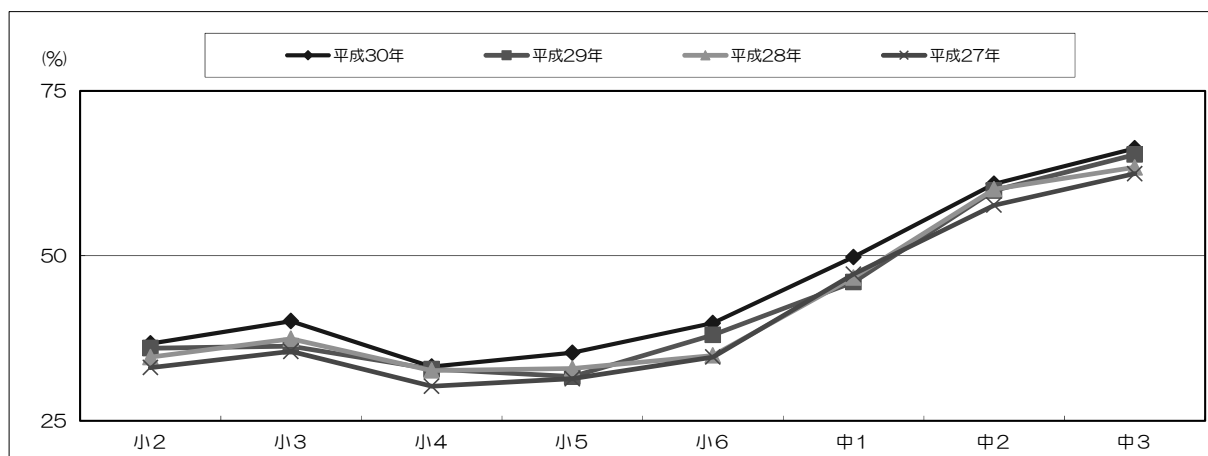


「1か月に、何冊くらい本を読むか」について、学年ごとに見ると、「2冊以上」と回答した割合（「2～3冊」＋「4～10冊」＋「11～15冊」＋「16冊以上」の割合）は、小2では60%台、小3では50%台、小4～小6では60%台であるが、中1では50%台、中2、中3では30%台になる。「2冊以上」の割合が最も高い小4（66.7%）と最も低い中3（33.6%）との差は33.1ポイントである。

②「1か月に、何冊くらい本を読むか」の「ほとんど読まない」＋「1冊程度」の経年変化

(単位:%)

	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
平成30年	36.7	40.1	33.2	35.3	39.8	49.8	60.9	66.3
平成29年	36.0	36.3	32.8	31.7	38.0	46.0	59.9	65.4
平成28年	34.6	37.4	32.6	32.9	34.9	46.7	60.1	63.4
平成27年	33.0	35.5	30.2	31.4	34.7	47.2	57.7	62.4



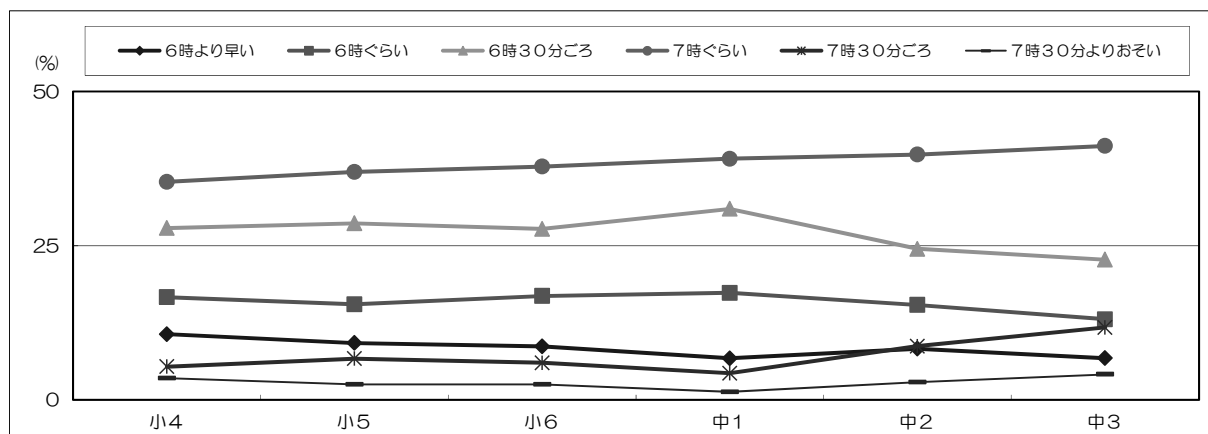
「1か月に、何冊くらい本を読むか」の「ほとんど読まない」＋「1冊程度」の割合を昨年度と比較すると、すべての学年で増加していることが分かる。中2、中3では60%を超えている。

4 起床時間・就寝時間

①「平日の起床時間」の学年比較

(単位:%)

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
6時より早い	10.6	9.2	8.7	6.7	8.3	6.8
6時ぐらい	16.6	15.5	16.8	17.3	15.4	13.1
6時30分ごろ	27.9	28.6	27.7	31.0	24.5	22.7
7時ぐらい	35.3	37.0	37.8	39.1	39.8	41.2
7時30分ごろ	5.4	6.7	6.0	4.3	8.7	11.7
7時30分よりおそい	3.5	2.5	2.5	1.3	2.9	4.1

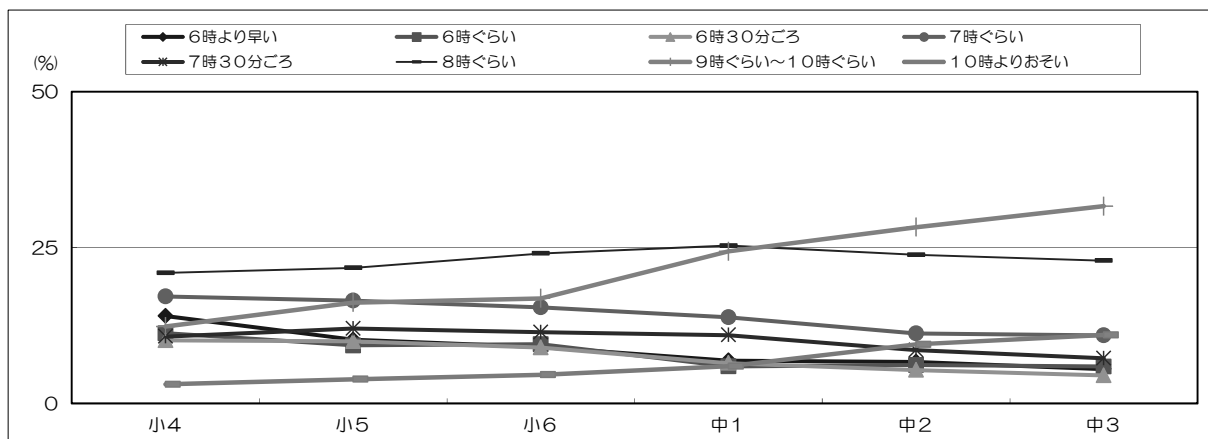


「平日の起床時間」について、学年ごとに見ると、すべての学年で「7時ぐらい」と回答した割合が最も高い。また、「7時30分以降」と回答した割合（「7時30分ごろ」＋「7時30分よりおそい」の割合）は、小4～中1では10%未満であるが、中2では11.6%、中3では15.8%である。

②「休日の起床時間」の学年比較

(単位:%)

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
6時より早い	14.0	10.2	9.1	6.9	6.7	5.5
6時ぐらい	11.3	9.3	9.5	6.0	6.2	5.9
6時30分ごろ	10.1	9.9	9.0	6.5	5.4	4.5
7時ぐらい	17.2	16.5	15.4	13.8	11.3	10.9
7時30分ごろ	10.7	12.0	11.4	11.0	8.6	7.2
8時ぐらい	20.9	21.8	24.1	25.3	23.8	22.9
9時ぐらい～10時ぐらい	12.3	16.2	16.9	24.4	28.3	31.6
10時よりおそい	3.1	3.9	4.6	6.0	9.5	11.0

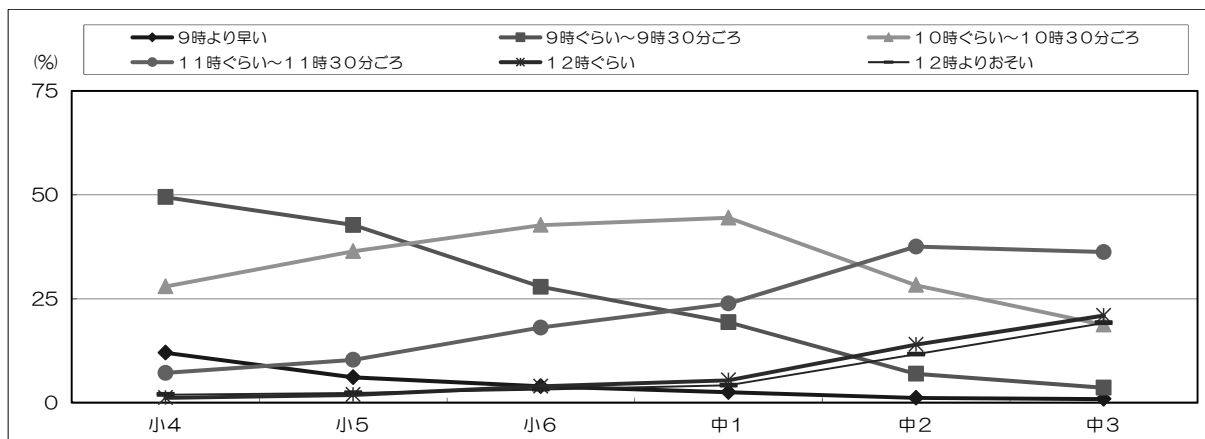


「休日の起床時間」について、学年ごとに見ると、小4～中1では「8時ぐらい」、中2、中3では「9時ぐらい～10時ぐらい」と回答した割合が最も高い。また、「10時よりおそい」の割合は、中3では10%を超えている。

③「平日の就寝時間」の学年比較

(単位:%)

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
9時より早い	12.0	6.1	3.9	2.5	1.1	0.9
9時ぐらい～9時30分ごろ	49.5	42.7	27.9	19.4	7.0	3.6
10時ぐらい～10時30分ごろ	27.9	36.4	42.7	44.5	28.3	18.7
11時ぐらい～11時30分ごろ	7.2	10.3	18.1	23.9	37.6	36.2
12時ぐらい	1.2	1.9	4.0	5.4	14.0	21.0
12時よりおそい	1.9	2.4	3.2	4.2	11.7	19.2

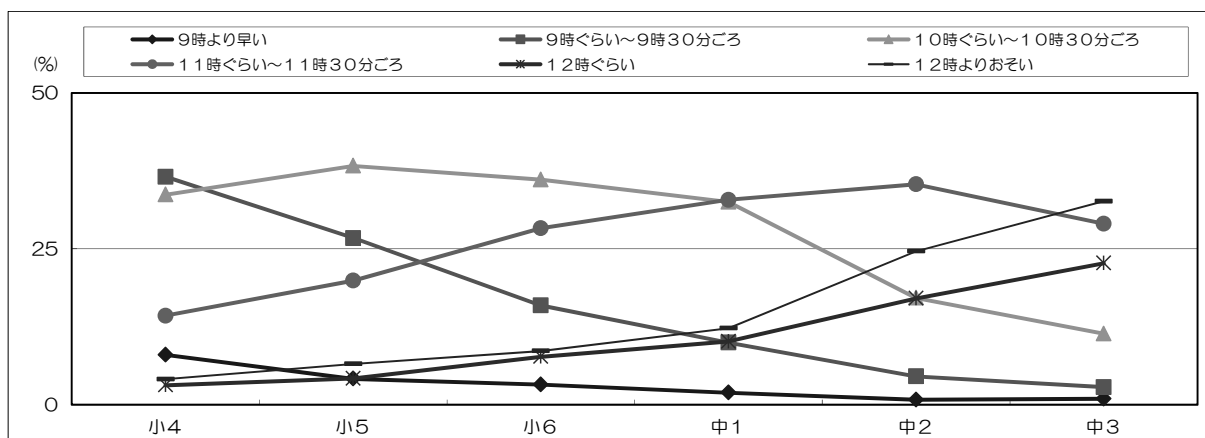


「平日の就寝時間」について、学年ごとに見ると、小4、小5では「9時ぐらい～9時30分ごろ」、小6、中1では「10時ぐらい～10時30分ごろ」、中2、中3では「11時ぐらい～11時30分ごろ」と回答した割合が最も高い。また、「12時以降」と回答した割合（「12時ぐらい」＋「12時よりおそい」の割合）は、小4～小6では3～7%台であるが、中1では9.6%、中2では25.7%、中3では40.2%である。

④「休前日の就寝時間」の学年比較

(単位:%)

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
9時より早い	8.0	4.2	3.2	1.9	0.8	1.0
9時ぐらい～9時30分ごろ	36.6	26.8	15.9	10.0	4.6	2.8
10時ぐらい～10時30分ごろ	33.7	38.3	36.1	32.5	17.1	11.4
11時ぐらい～11時30分ごろ	14.3	19.9	28.3	32.9	35.4	29.0
12時ぐらい	3.1	4.2	7.7	10.2	17.1	22.7
12時よりおそい	4.1	6.6	8.6	12.3	24.6	32.6



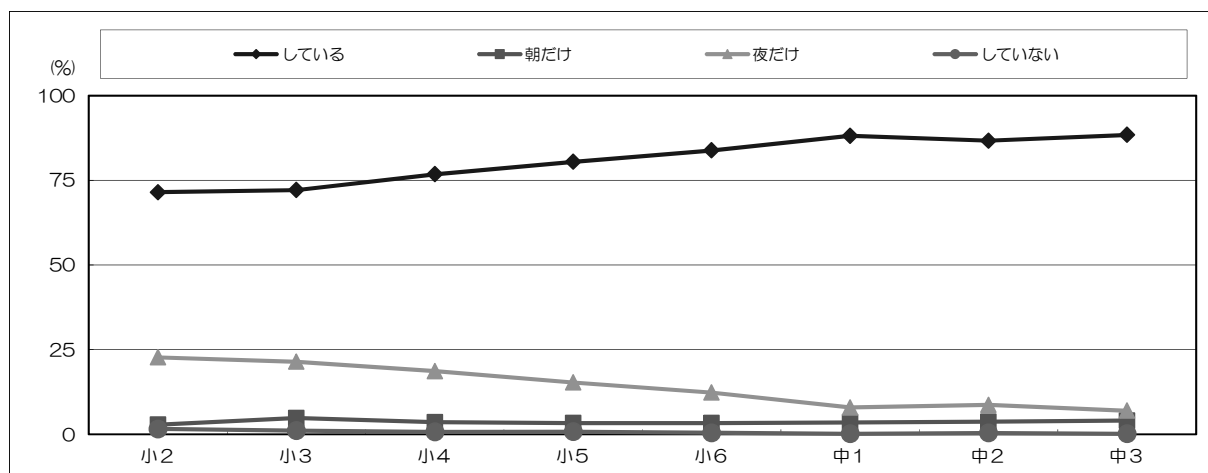
「休前日の就寝時間」について、学年ごとに見ると、小4では「9時ぐらい～9時30分ごろ」、小5、小6では「10時ぐらい～10時30分ごろ」、中1、中2では「11時ぐらい～11時30分ごろ」、中3では「12時よりおそい」と回答した割合が最も高い。また、「12時以降」と回答した割合（「12時ぐらい」＋「12時よりおそい」の割合）は、学年が上がるにつれて増加し、中3では55%を超えている。

5 歯磨き・朝食

①「朝と夜、歯磨きをしている」の学年比較

(単位:%)

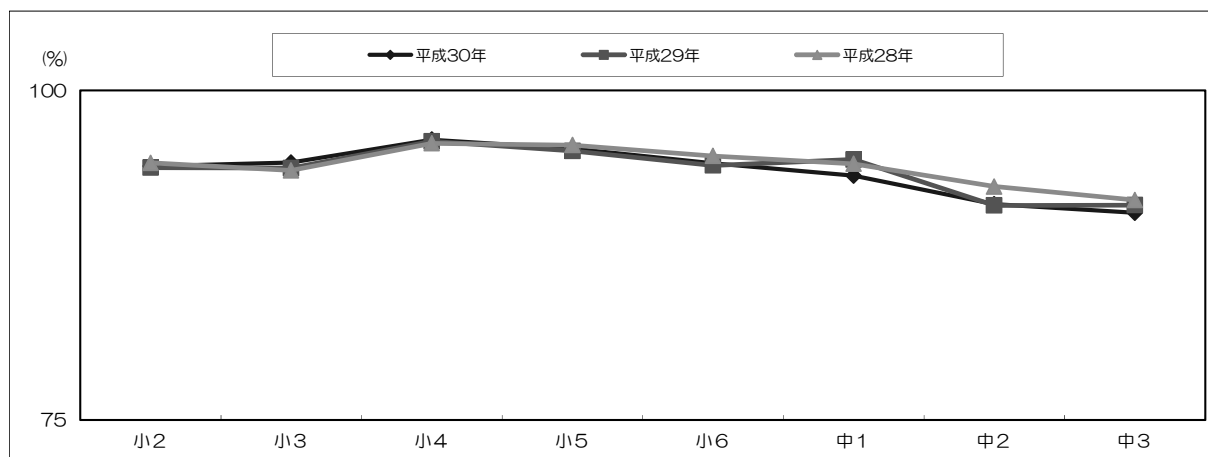
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
している	71.5	72.1	76.8	80.5	83.8	88.1	86.7	88.4
朝だけ	2.9	4.8	3.6	3.3	3.3	3.6	3.8	4.1
夜だけ	22.7	21.5	18.7	15.3	12.4	7.9	8.7	7.0
していない	1.6	1.1	0.7	0.8	0.5	0.2	0.4	0.2



「歯磨き」について、学年ごとに見ると、朝と夜に歯磨きをする割合（「している」の割合）は、小2～小4では70%台、小5以降の学年では80%台である。朝と夜に歯磨きをする割合が最も高い中3（88.4%）と最も低い小2（71.5%）との差は16.9ポイントである。

②「毎日（学校に行く前に）朝食をとる」の「必ずとる」＋「たいていとる」の経年変化 (単位:%)

	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
平成30年	94.2	94.5	96.3	95.6	94.5	93.5	91.4	90.7
平成29年	94.1	94.1	96.1	95.4	94.3	94.8	91.3	91.3
平成28年	94.5	93.9	96.0	95.8	95.0	94.4	92.7	91.7



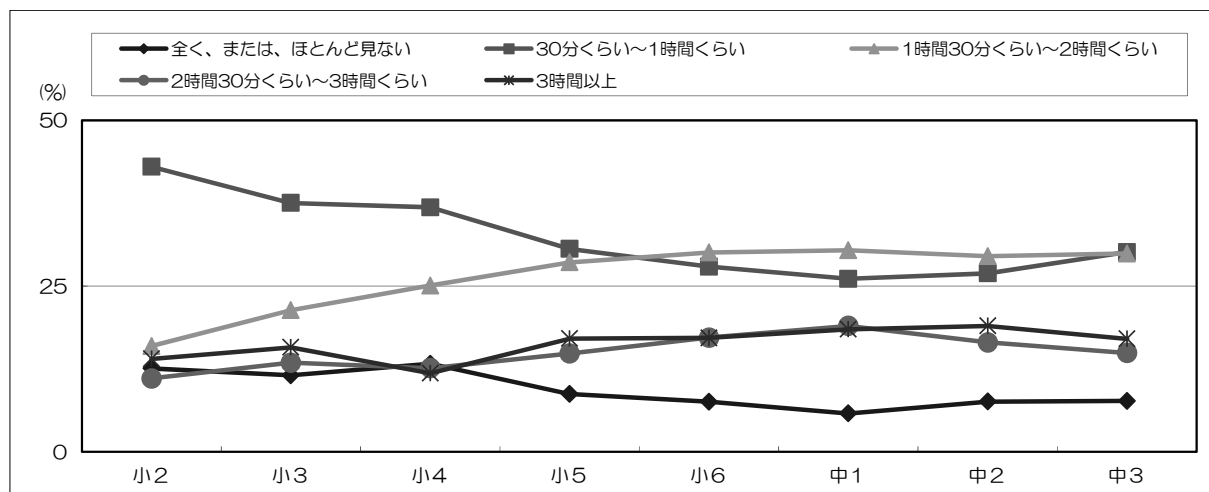
「毎日（学校に行く前に）朝食をとる」の「必ずとる」＋「たいていとる」の割合を昨年度と比較すると、小2～小6、中2では増加し、それ以外の学年では減少していることが分かる。

6 メディア接触

①「平日のテレビやビデオ・DVDの視聴時間」の学年比較

(単位:%)

	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
全く、または、ほとんど見ない	12.6	11.6	13.3	8.7	7.6	5.8	7.6	7.7
30分くらい～1時間くらい	43.0	37.6	36.9	30.6	27.9	26.1	26.9	30.1
1時間30分くらい～2時間くらい	16.0	21.4	25.1	28.6	30.1	30.4	29.5	29.9
2時間30分くらい～3時間くらい	11.1	13.5	12.6	14.8	17.2	19.0	16.5	14.9
3時間以上	14.0	15.8	11.9	17.1	17.2	18.5	19.0	17.0
「2時間30分くらい以上」の合計	25.1	29.3	24.5	31.9	34.4	37.5	35.5	31.9

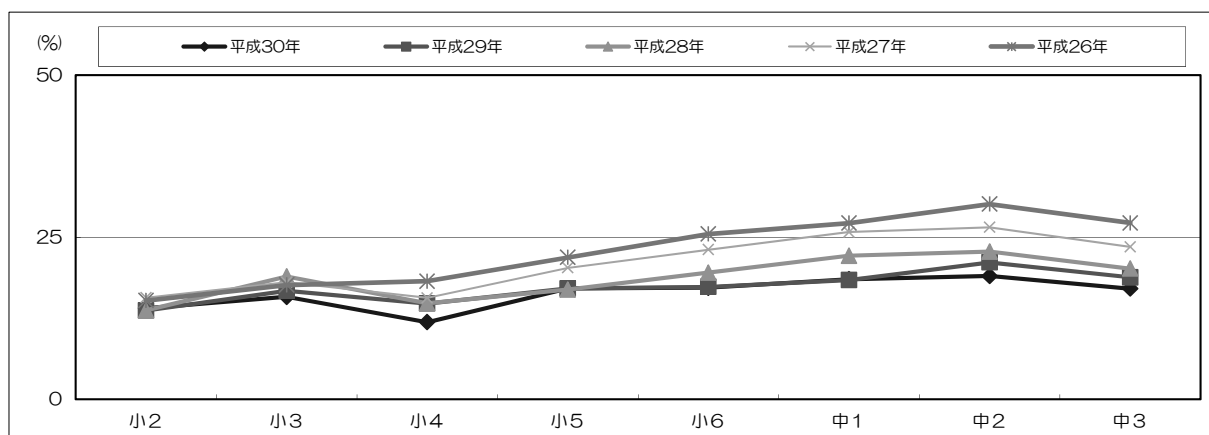


「テレビ等の視聴時間」について、学年ごとに見ると、「2時間30分くらい以上」と回答した割合（「2時間30分くらい～3時間くらい」＋「3時間以上」の割合）は、小2～小4は25%前後であるが、小5～中1までは、学年が上がるにつれて増加する。「2時間30分くらい以上」の割合が最も高い中1（37.5%）と最も低い小4（24.5%）との差は13.0ポイントである。

②「平日のテレビやビデオ・DVDの視聴時間」の「3時間以上」の経年変化

(単位:%)

	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
平成30年	14.0	15.8	11.9	17.1	17.2	18.5	19.0	17.0
平成29年	13.7	16.7	14.8	17.1	17.3	18.4	21.1	18.8
平成28年	13.7	18.9	14.8	16.9	19.5	22.1	22.8	20.1
平成27年	15.6	18.0	15.6	20.3	23.1	25.8	26.5	23.5
平成26年	15.2	17.6	18.2	21.9	25.5	27.2	30.1	27.2

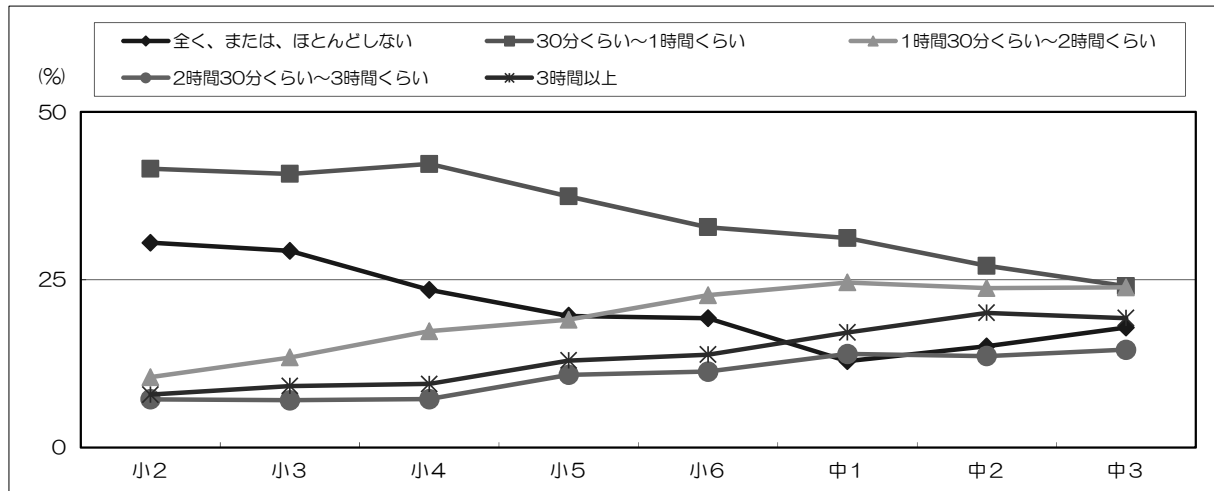


「テレビ等の視聴時間」の「3時間以上」の割合を昨年度と比較すると、小2、中1では増加し、小5では昨年度と同率で、小3、小4、小6、中2、中3では減少していることが分かる。

③「平日のテレビゲーム（携帯ゲーム、その他）で遊ぶ時間」の学年比較

(単位:%)

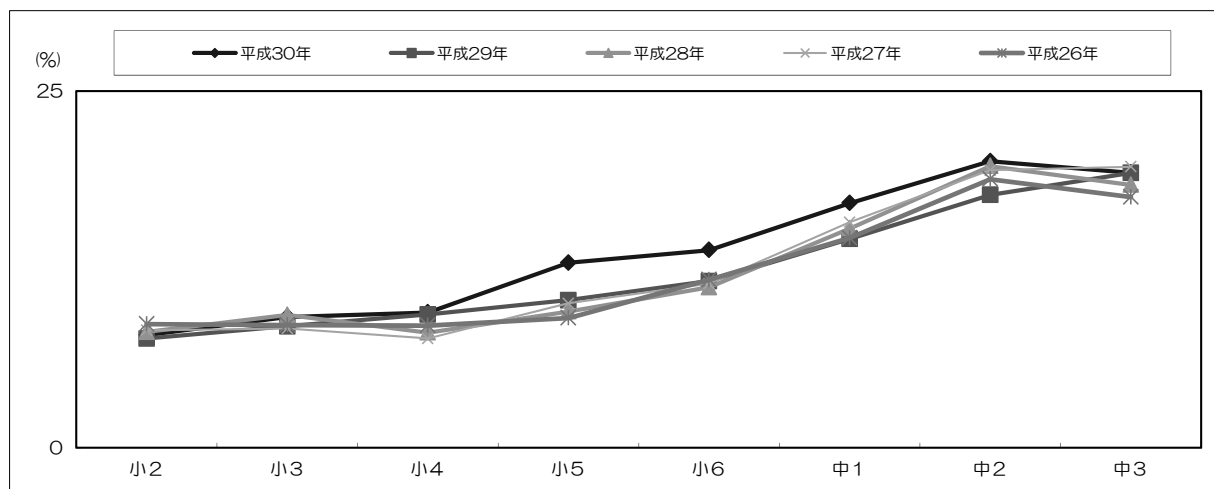
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
全く、または、ほとんどしない	30.5	29.3	23.5	19.6	19.3	12.9	15.1	17.9
30分くらい～1時間くらい	41.6	40.8	42.3	37.4	32.8	31.2	27.1	24.1
1時間30分くらい～2時間くらい	10.5	13.4	17.3	19.0	22.7	24.6	23.8	23.9
2時間30分くらい～3時間くらい	7.2	7.1	7.2	10.8	11.3	13.9	13.6	14.6
3時間以上	7.9	9.2	9.5	13.0	13.8	17.1	20.1	19.3
「2時間30分くらい以上」の合計	15.1	16.3	16.7	23.8	25.1	31.0	33.7	33.9



「ゲーム時間」について、学年ごとに見ると、「2時間30分くらい以上」と回答した割合（「2時間30分くらい～3時間くらい」＋「3時間以上」の割合）は、小2～小4では15%前後、小5、小6では25%前後、中1～中3では30%台に増加する。「2時間30分くらい以上」の割合が最も高い中3（33.9%）と最も低い小2（15.1%）との差は18.8ポイントである。

④「平日のテレビゲーム（携帯ゲーム、その他）で遊ぶ時間」の「3時間以上」の経年変化（単位:%)

	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
平成30年	7.9	9.2	9.5	13.0	13.8	17.1	20.1	19.3
平成29年	7.7	8.5	9.3	10.3	11.7	14.6	17.7	19.3
平成28年	8.1	9.3	8.1	9.6	11.2	15.4	19.7	18.4
平成27年	8.2	8.4	7.7	10.1	11.5	15.8	19.5	19.7
平成26年	8.7	8.6	8.6	9.1	11.8	14.7	18.8	17.6

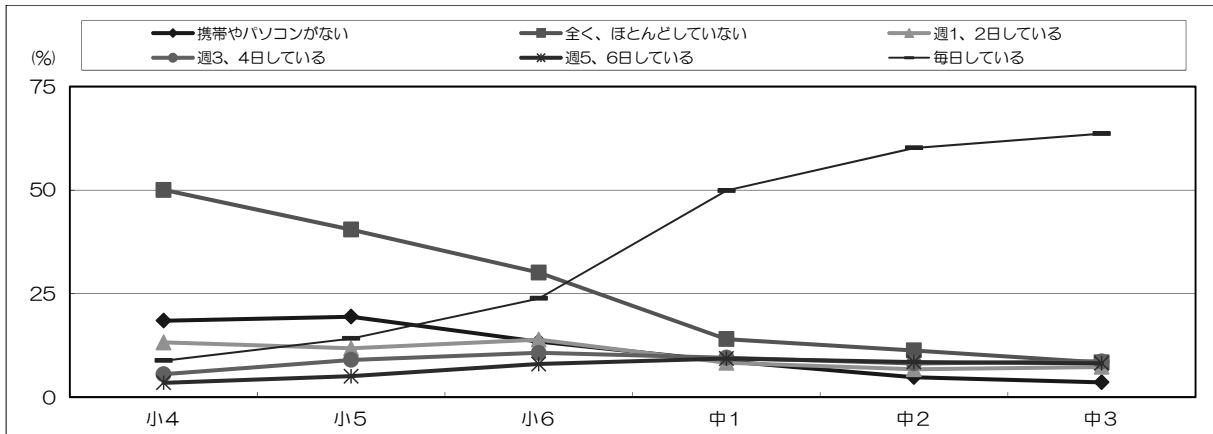


「ゲーム時間」の「3時間以上」の割合を昨年度と比較すると、小2～中2では増加し、中3では昨年度と同率である。小5～中3では10%を超えており、中1～中3では20%前後である。

⑤「携帯電話や家にあるパソコンでインターネットやメールをしていますか」の学年比較

(単位:%)

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
携帯やパソコンがない	18.5	19.4	13.4	8.6	4.8	3.6
全く、ほとんどしていない	50.0	40.4	30.1	14.0	11.3	8.4
週1、2日している	13.2	11.8	13.9	8.3	6.7	7.3
週3、4日している	5.5	9.0	10.7	9.5	8.1	8.6
週5、6日している	3.4	5.0	8.0	9.3	8.5	8.2
毎日している	8.8	14.1	23.8	49.9	60.2	63.6

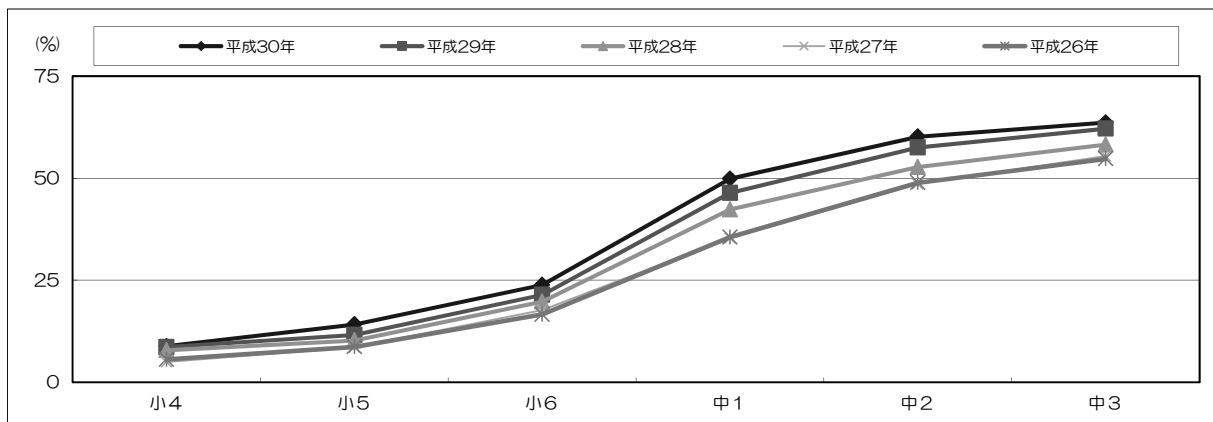


「インターネットの使用状況」について、学年ごとに見ると、「携帯やパソコンがない」と回答した割合は、小4～小6では10%台、中1では10%未満、中2、中3では5%未満である。また、「全く、ほとんどしていない」と回答した割合は、学年が上がるにつれて減少する。一方、「毎日している」と回答した割合は、学年が上がるにつれて増加し、中1で40%を超え、中2、中3では60%を超えている。

⑥「携帯電話や家にあるパソコンでインターネットやメールをしていますか」の「毎日している」の経年変化

(単位:%)

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
平成30年	8.8	14.1	23.8	49.9	60.2	63.6
平成29年	8.6	11.6	21.4	46.4	57.5	62.1
平成28年	7.8	10.2	19.8	42.3	52.7	58.2
平成27年	4.9	8.6	17.7	35.3	48.6	55.4
平成26年	5.6	8.7	16.6	35.5	48.9	54.8



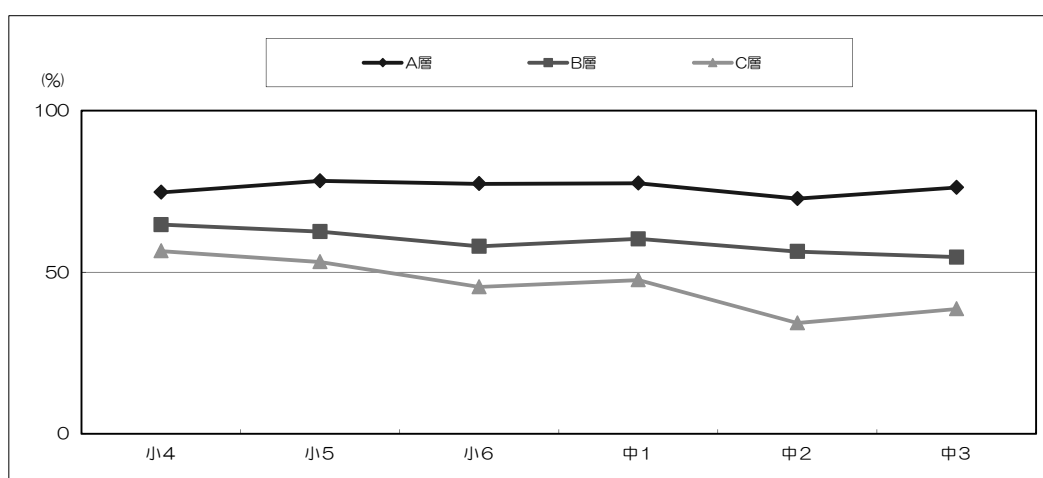
「インターネットの使用状況」の「毎日している」の割合を昨年度と比較すると、すべての学年で増加していることが分かる。また、すべての学年で、ここ5年間で最も割合が高い。

7 学習定着度と学習意識との関係

表とグラフのA層（上位層）、B層（中位層）、C層（下位層）は、成績順に均等になるよう3層に区分したものです。グラフの数値は、各学年の肯定的な回答の割合(%)です。補足説明は79ページを参照。

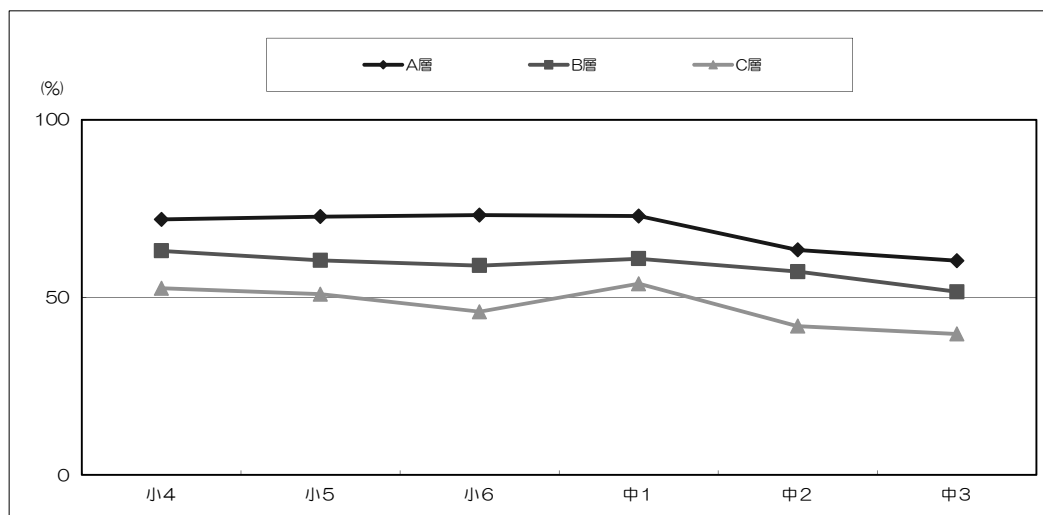
①「まちがえた問題やよく分からなかった問題を、できるようになるまで勉強している」の成績層別比較 (単位:%)

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
A層	74.7	78.2	77.3	77.5	72.7	76.2
B層	64.7	62.5	58.0	60.3	56.4	54.7
C層	56.5	53.2	45.4	47.6	34.2	38.6



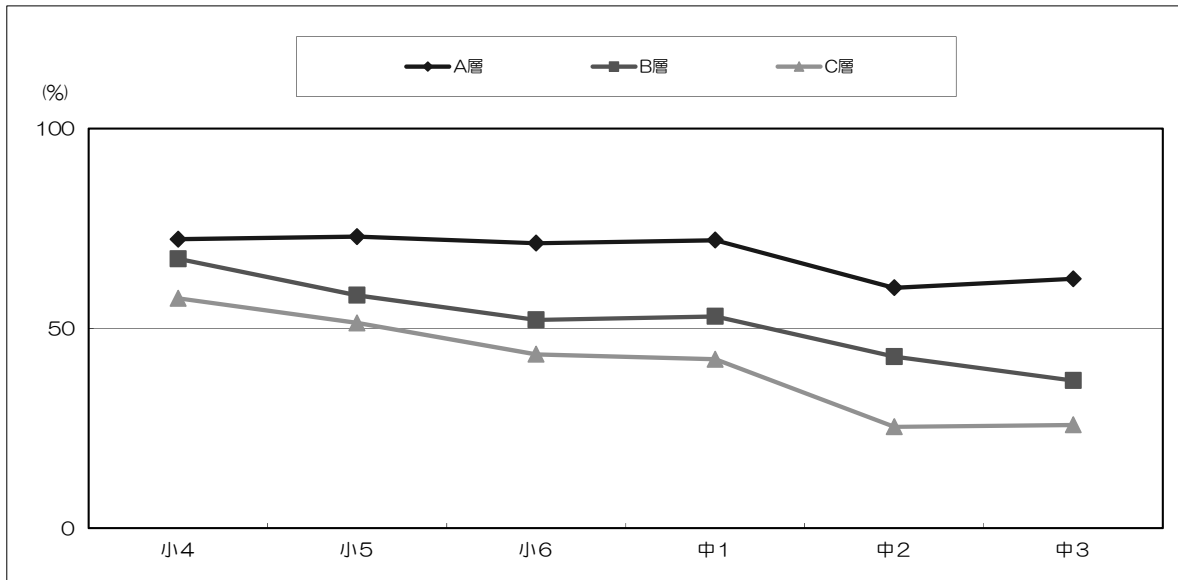
②「自分が考えたことをノートに工夫して書いている」の成績層別比較 (単位:%)

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
A層	71.9	72.7	73.1	72.9	63.4	60.3
B層	63.1	60.4	59.0	60.9	57.2	51.6
C層	52.5	50.9	46.0	53.8	41.9	39.7



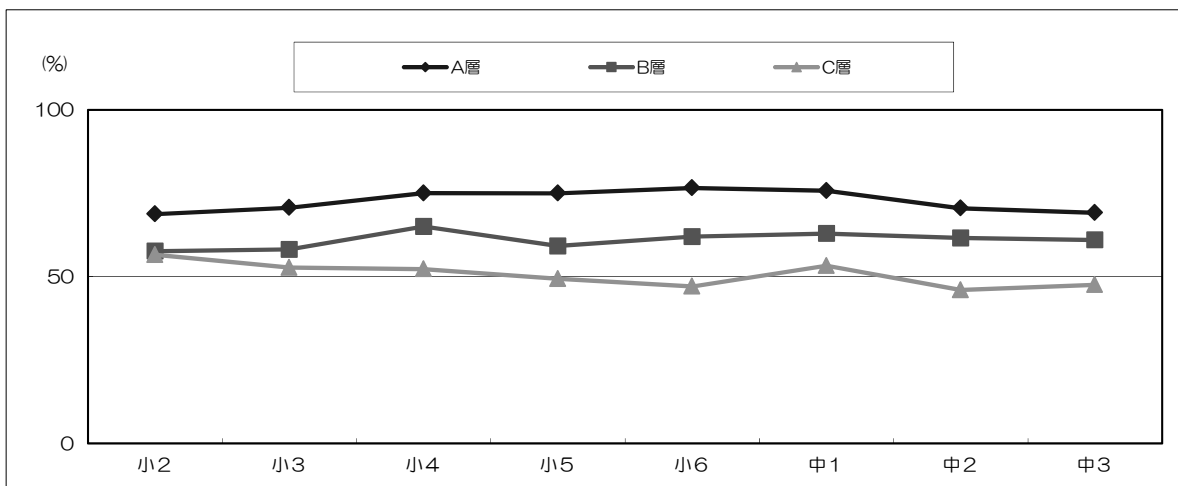
③「これまで学習したことを使って新しい問題を工夫して解決している」の成績層別比較
(単位:%)

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
A層	72.3	72.9	71.3	72.1	60.2	62.4
B層	67.4	58.3	52.1	53.0	42.9	37.0
C層	57.5	51.4	43.5	42.3	25.4	25.9



④「宿題がないときでも家で勉強する」の成績層別比較
(単位:%)

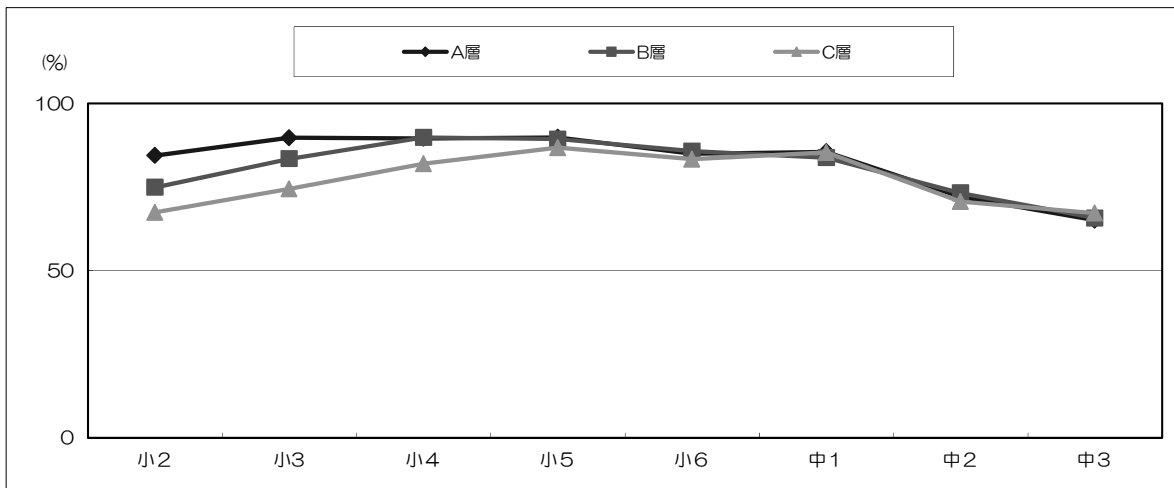
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
A層	68.8	70.6	75.0	75.0	76.6	75.7	70.5	69.1
B層	57.6	58.1	65.0	59.2	62.0	62.9	61.6	61.0
C層	56.5	52.7	52.3	49.3	47.1	53.3	46.0	47.5



⑤ 「大人になったときの夢や目標をもっている」の成績層別比較

(単位:%)

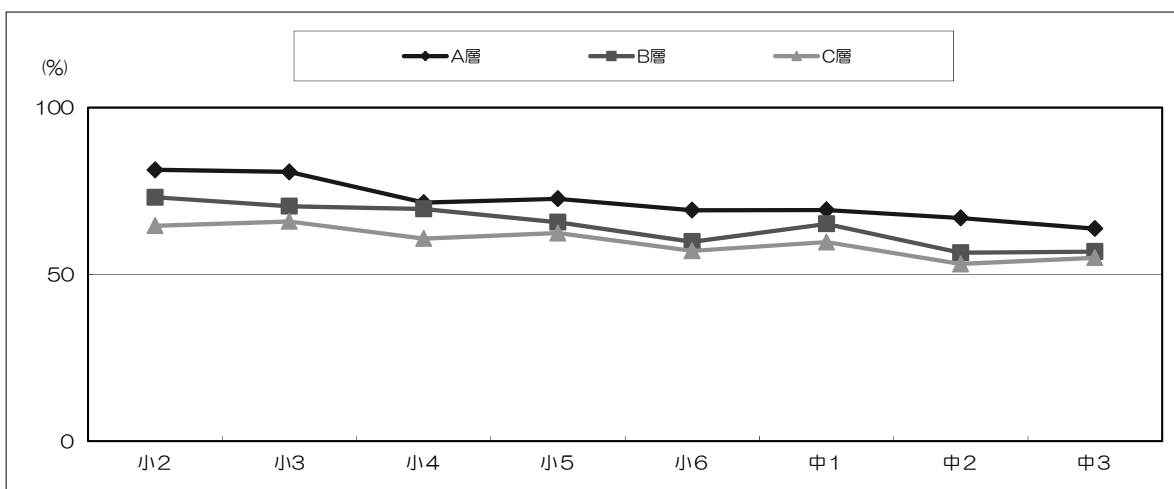
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
A層	84.5	89.8	89.5	89.9	85.0	85.6	72.1	65.1
B層	74.9	83.5	89.8	89.4	85.7	83.8	73.3	65.8
C層	67.4	74.5	82.0	86.8	83.4	85.4	70.7	67.2



⑥ 「自分にはよいところがあると思う」の成績層別比較

(単位:%)

	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
A層	81.4	80.7	71.5	72.7	69.2	69.3	66.9	63.7
B層	73.1	70.4	69.7	65.7	59.8	65.2	56.5	56.8
C層	64.6	65.9	60.8	62.4	57.1	59.7	53.1	55.0

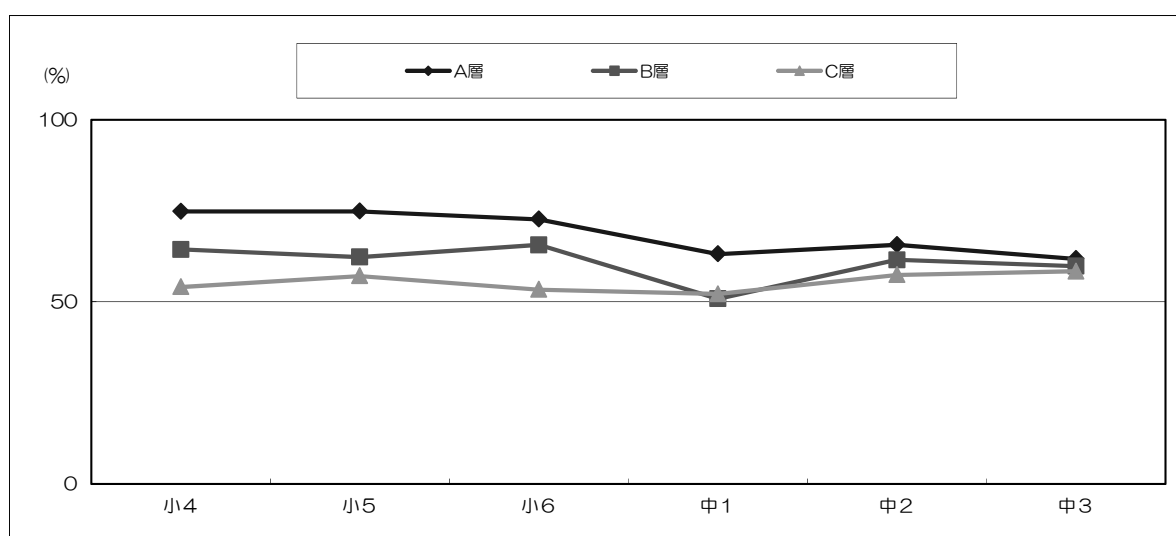


8 学習定着度と教科の好き嫌いとの関係

表とグラフのA層（上位層）、B層（中位層）、C層（下位層）は、成績順に均等になるよう3層に区分したものです。グラフの数値は、各学年の肯定的な回答の割合(%)です。補足説明は79ページを参照。

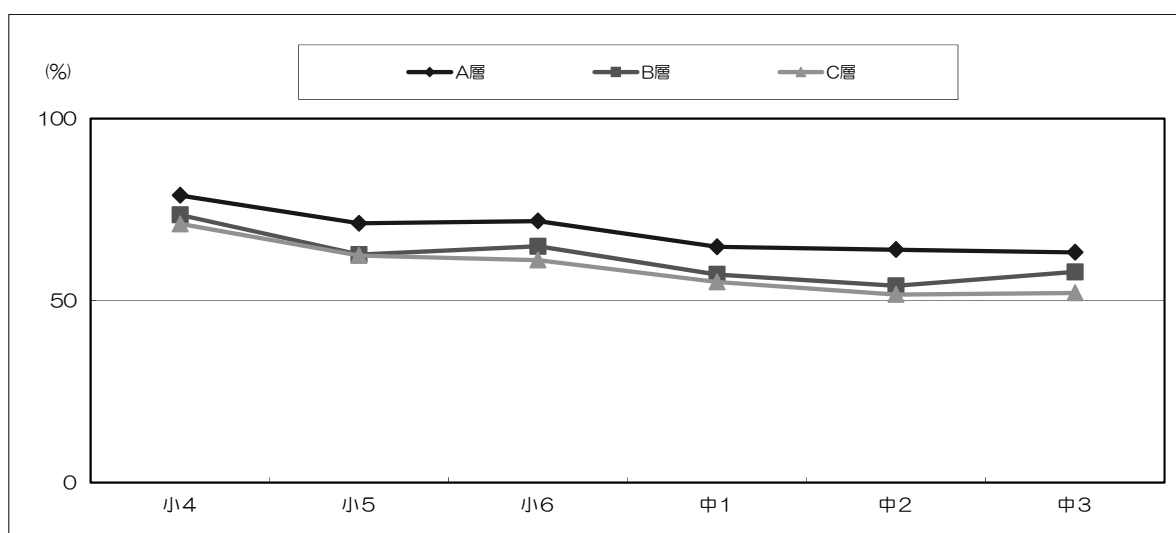
①「国語の勉強は好きですか」の成績層別比較 (単位:%)

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
A層	74.8	74.9	72.7	63.1	65.7	61.8
B層	64.4	62.3	65.7	50.9	61.6	59.8
C層	54.1	57.1	53.4	52.1	57.4	58.4



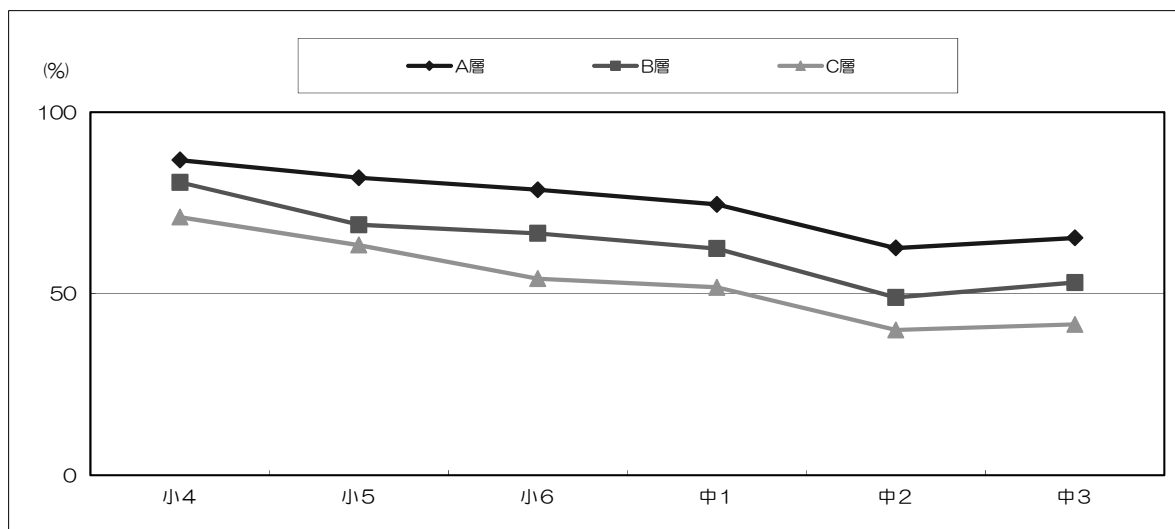
②「社会の勉強は好きですか」の成績層別比較 (単位:%)

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
A層	78.9	71.2	71.8	64.8	64.0	63.3
B層	73.5	62.6	64.9	57.2	54.0	57.9
C層	71.1	62.4	61.1	55.1	51.7	52.1



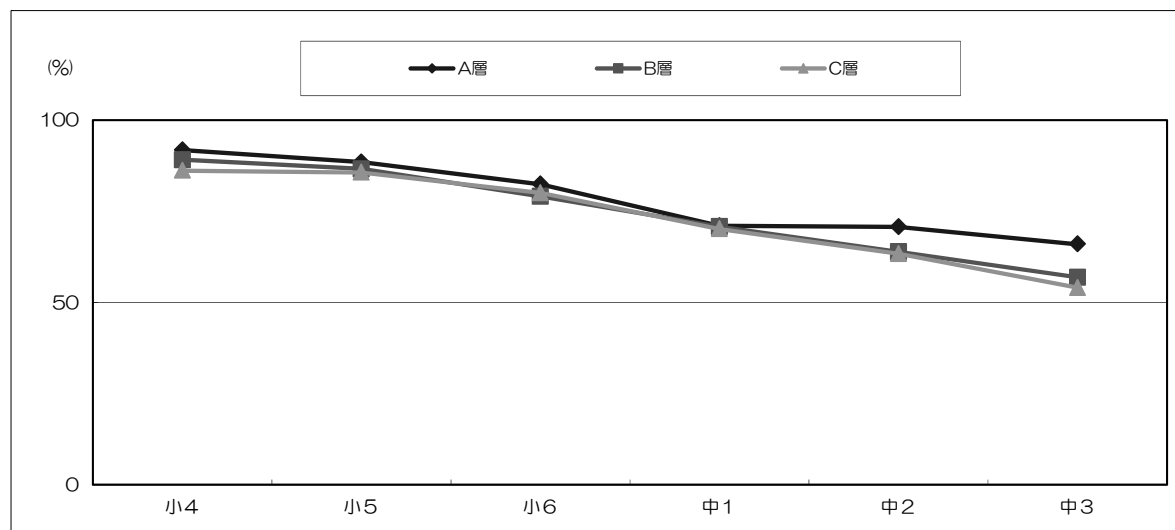
③「算数・数学の勉強は好きですか」の成績層別比較 (単位:%)

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
A層	86.8	82.0	78.6	74.6	62.6	65.4
B層	80.7	69.0	66.6	62.5	49.0	53.1
C層	71.1	63.4	54.2	51.8	40.0	41.6



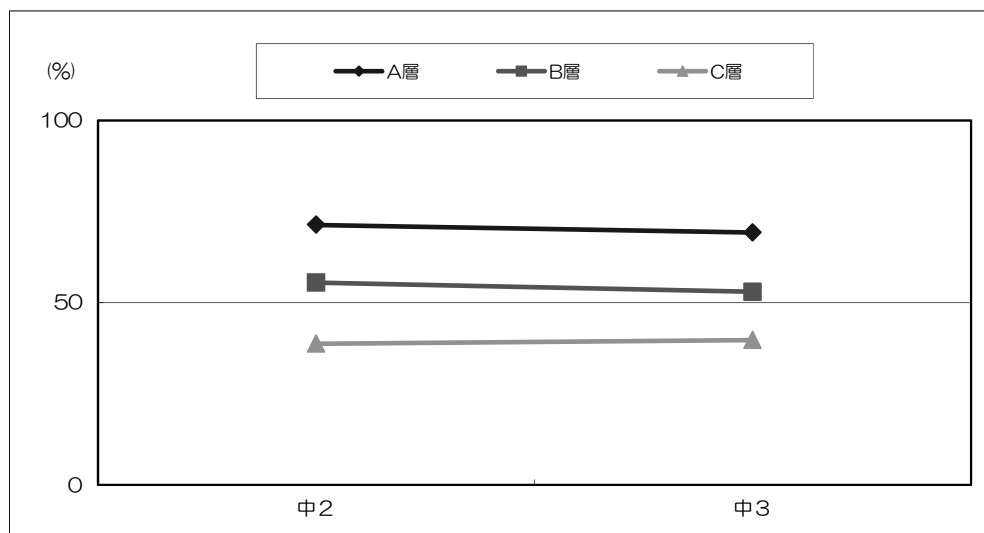
④「理科の勉強は好きですか」の成績層別比較 (単位:%)

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
A層	91.7	88.4	82.4	70.9	70.7	65.9
B層	89.1	86.6	79.0	70.8	63.9	56.8
C層	86.1	85.6	80.0	70.1	63.3	54.0



⑤「英語の勉強は好きですか」の成績層別比較
(単位:%)

	中2	中3
A層	71.3	69.2
B層	55.5	53.0
C層	38.7	39.7



9 学年別クロス集計の結果一覧表

全ての質問について、各選択肢の割合(%)を学年ごとに一覧化しています。また、表のA層(上位層)、B層(中位層)、C層(下位層)は、成績順に均等になるよう3層に区分したものです。補足説明は79ページを参照。

①小学校2年生

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
学校に行くのは、たのしいですか。	はい	92.1	88.5	83.2	8.9
	いいえ	7.7	11.0	14.6	-6.9
べんきょうは、すきですか。	はい	86.1	78.0	67.6	18.5
	いいえ	13.6	20.9	28.9	-15.3
べんきょうは、たいせつだとおもいますか。	はい	98.4	95.9	90.8	7.6
	いいえ	1.2	3.2	6.4	-5.2
学校のじゅぎょうは、たのしいですか。	はい	91.3	85.1	81.0	10.3
	いいえ	8.3	14.5	15.9	-7.6
学校でのじゅぎょうは、よくわかりますか。	はい	91.3	78.3	65.4	25.9
	いいえ	8.4	21.2	32.4	-24.0
じゅぎょう中に、わからないことがあったら、どうしますか。	じゅぎょう中に先生にきく	31.1	31.6	36.7	-5.6
	じゅぎょうがおわってから先生にきく	20.4	16.6	11.1	9.3
	ともだちにきく	9.3	6.6	9.6	-0.3
	おうちの人にきく	12.4	12.6	7.2	5.2
	じゅくやかていきょうしの先生にきく	0.6	2.9	2.9	-2.3
	じぶんでしらべる	21.8	19.6	13.3	8.5
	そのままにしておく	2.7	3.7	5.2	-2.5
あなたは、おうちで1日にどのくらいべんきょうしますか。〔月よう日から金よう日。〕	1じかんよりおおい	13.9	17.3	21.6	-7.7
	1じかんくらい	21.1	28.0	23.7	-2.6
	30ぶんくらい	56.1	41.9	37.1	19.0
	しない	6.9	7.7	9.2	-2.3
やすみの日には、おうちで1日にどのくらいべんきょうしますか。	1じかんよりおおい	9.9	14.4	18.0	-8.1
	1じかんくらい	17.0	21.7	18.5	-1.5
	30ぶんくらい	46.7	33.7	29.7	17.0
	しない	25.0	25.3	24.7	0.3
しゅくだいは、きちんとやりますか。	はい	96.3	92.8	85.1	11.2
	いいえ	1.4	3.4	7.9	-6.5
ふだん、あさなんじにおきますか。	6じよりはやい	12.3	17.5	24.8	-12.5
	6じくらい	18.5	19.6	13.9	4.6
	6じ30ぶんごろ	24.2	13.2	8.2	16.0
	7じくらい	37.3	34.5	31.9	5.4
	7じ30ぶんごろ	5.4	8.4	10.4	-5.0
	7じ30ぶんよりおそい	1.5	4.4	4.7	-3.2
あさ、じぶんでおきることができますか。	はい	71.9	68.5	60.7	11.2
	いいえ	26.5	28.2	32.4	-5.9
まい日、あさごはんをたべますか。	はい	95.8	92.8	87.4	8.4
	いいえ	3.5	5.8	8.9	-5.4
学校にもっていくものは、まえの日にきちんととよいますか。	はい	90.2	87.0	81.0	9.2
	いいえ	9.2	12.0	15.3	-6.1
ふだん、よるなんじにねますか。	8じぐらい	12.7	19.7	21.0	-8.3
	8じ30ぶんごろ	9.9	7.1	7.2	2.7
	9じぐらい	35.2	27.7	21.3	13.9
	9じ30ぶんごろ	20.2	18.2	18.0	2.2
	10じぐらい	14.0	14.4	15.1	-1.1
	10じよりおそい	7.4	11.3	10.4	-3.0
よるおそくまでおきていることがありますか。	はい	51.8	54.0	54.9	-3.1
	いいえ	46.5	42.5	39.8	6.7

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
1か月に、なんさつぐらい本(マンガ・ざっしをのぞく)をよみますか。	ほとんどよまない	23.2	31.1	32.4	-9.2
	1さつていど	10.1	13.4	11.7	-1.6
	2~3さつ	22.7	23.9	23.7	-1.0
	4~10さつ	16.8	8.8	7.7	9.1
	11~15さつ	7.5	6.7	6.4	1.1
	16さつよりおおい	19.3	13.7	9.6	9.7
わからないことばがでてきたら、こくごじてんでし らべますか。	はい	47.6	48.5	50.5	-2.9
	いいえ	50.7	48.7	44.3	6.4
じぶんのおもっていることや、かんがえているこ とを、まわりの人にはなしますか。	はい	53.9	46.8	46.8	7.1
	いいえ	44.6	50.7	48.2	-3.6
さんすうのけいさんのもんだいは、こたえをだし たあとで、きちんとたしかめをしますか。	はい	88.9	83.0	75.7	13.2
	いいえ	10.4	16.1	20.6	-10.2
もんだいができなかったとき、なぜまちがえたの か、ちゃんとしらべますか。	はい	81.7	76.0	70.3	11.4
	いいえ	17.3	22.1	25.7	-8.4
みんなで、みのまわりのたんけんをしたり、かん さつしたりするのはたのしいですか。	はい	90.7	84.8	79.9	10.8
	いいえ	7.9	13.1	16.3	-8.4
たんけんしたり、かんさつをしてわかったことを、 みんなではっぴょうしあうことは、すきですか。	はい	63.5	57.5	57.2	6.3
	いいえ	35.9	41.4	39.9	-4.0
べんきょうをしていて、ふしぎだなとおもったこと があったら、じぶんでしらべてみますか。	はい	62.5	58.8	61.2	1.3
	いいえ	36.9	40.3	35.6	1.3
じぶんがふしぎだなとおもったり、おもしろいとお もったことについての、よみものやずかん、テレ ビのぼんぐみなどを見ますか。	はい	78.5	75.5	74.2	4.3
	いいえ	21.2	23.6	22.8	-1.6
あさとよる、はみがきをしていますか。	している	73.7	68.9	62.8	10.9
	あさだけ	2.4	3.5	5.2	-2.8
	よるだけ	22.9	23.0	21.1	1.8
	していない	0.7	2.8	4.9	-4.2
学校のきゆうしよくは、どれくらいたべています か。	いつものこさずたべている	55.9	55.9	54.7	1.2
	だいたいこさずたべている	34.6	28.7	20.1	14.5
	のこすことがおおい	6.3	9.2	13.1	-6.8
	ほとんどまい日のこしている	2.5	3.1	3.9	-1.4
ふだん(月よう日から金よう日)、1日にテレビを どれくらい見ますか。	まったく、または、ほとんど見ない	11.2	14.4	18.0	-6.8
	30分くらい	23.6	20.4	13.8	9.8
	1時間くらい	21.3	20.4	21.5	-0.2
	1時間30分くらい	8.1	5.0	5.2	2.9
	2時間くらい	9.1	8.2	7.2	1.9
	2時間30分くらい	6.0	4.1	4.4	1.6
	3時間くらい	5.5	5.4	6.7	-1.2
	3時間よりおおい	12.8	18.1	15.3	-2.5
ふだん(月よう日から金よう日)、1日にテレビ ゲーム(けいたいゲーム、その他)をどれくらいし ますか。	まったく、または、ほとんどしない	32.9	24.4	25.7	7.2
	30分くらい	25.4	19.2	13.9	11.5
	1時間くらい	18.0	20.8	19.8	-1.8
	1時間30分くらい	5.2	4.2	4.0	1.2
	2時間くらい	5.3	6.5	5.9	-0.6
	2時間30分くらい	3.1	3.8	2.2	0.9
	3時間くらい	3.2	5.5	7.0	-3.8
	3時間よりおおい	5.8	12.7	13.1	-7.3
いえでしているべんきょうはつぎのうちどれにち かいですか。	しゆくだいがなくてもまい日べんきょうする	33.1	34.9	34.4	-1.3
	しゆくだいがなくてもときどきべんきょうする	35.7	22.7	22.1	13.6
	しゆくだいがあるときだけべんきょうする	24.8	31.5	30.0	-5.2
	しゆくだいがあってもあまりべんきょうしない	5.7	9.0	10.9	-5.2
がくしゆうじゆくにかよっていますか。 [※ピアノやえ・しゆうじなどのおけいこやスポー ツは入れません。こくご・さんすうなどのきょうか のべんきょうをするじゆくです。]	かよっている	36.1	38.8	33.9	2.2
	かよっていない	62.7	56.9	58.1	4.6
大人になったときのゆめやもくひょうがあります か。	はっきりある	58.8	55.5	54.7	4.1
	なんとなくある	25.7	19.4	12.8	12.9
	あまりない	8.7	12.4	11.9	-3.2
	ない	6.5	10.2	14.6	-8.1

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
むずかしいことでもしっぱいをおそれずにちょうせんしているとおもいますか。	そうおもう	52.1	48.9	45.3	6.8
	すこしそうおもう	32.8	26.1	22.0	10.8
	あまりそうおもわない	9.3	10.2	13.1	-3.8
	おもわない	4.6	11.0	12.6	-8.0
じぶんにはよいところがあるとおもいますか。	そうおもう	50.6	46.0	41.8	8.8
	すこしそうおもう	30.7	27.1	22.8	7.9
	あまりそうおもわない	10.1	11.9	12.4	-2.3
	おもわない	7.6	12.1	14.4	-6.8
どこで学校のしゅくだいをやっていますか。	いえ	69.0	69.4	65.3	3.7
	学校	4.0	5.3	7.9	-3.9
	じゅく	0.9	3.5	5.2	-4.3
	その他	23.5	17.6	15.1	8.4
いますんでいるちいきのぎょうじにさんかしていますか。	さんかしている	30.4	30.5	32.2	-1.8
	ときどきさんかしている	27.3	17.8	11.6	15.7
	あまりさんかしていない	14.8	13.3	15.1	-0.3
	さんかしたことがない	26.7	34.5	33.9	-7.2
いちばんすきなきょうかはなんですか。	こくご	3.7	2.4	5.0	-1.3
	さんすう	10.9	8.4	7.0	3.9
	せいかつ	5.7	4.3	3.5	2.2
	たいいく	34.7	40.9	40.6	-5.9
	おんがく	10.4	9.5	8.6	1.8
	ずこう	33.0	29.3	27.2	5.8
いちばんすきなきょうかをえらんだ、いちばんちかいりゆうはなんですか。	先生がすき	11.3	23.9	26.7	-15.4
	とくだとおもう	23.0	18.0	15.8	7.2
	せいせきがよい	8.6	7.1	6.5	2.1
	じゅぎょうがたのしい	46.7	32.9	29.2	17.5
	よくわかる	8.9	13.6	13.6	-4.7

②小学校3年生

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
学校に行くのは、楽しいですか。	はい	93.6	90.0	86.0	7.6
	いいえ	6.3	9.6	13.7	-7.4
勉強は、好きですか。	はい	83.1	72.7	65.2	17.9
	いいえ	16.8	27.2	34.6	-17.8
勉強は、大切だと思いますか。	はい	98.3	95.9	87.0	11.3
	いいえ	1.7	4.1	12.8	-11.1
学校のじゆぎょうは、楽しいですか。	はい	92.9	88.2	86.1	6.8
	いいえ	7.0	11.5	12.7	-5.7
学校でのじゆぎょうは、よくわかりますか。	はい	93.2	85.4	73.6	19.6
	いいえ	6.2	13.8	25.0	-18.8
じゆぎょう中に、わからないことがあったら、どうしますか。	じゆぎょう中に先生にきく	27.9	31.6	37.3	-9.4
	じゆぎょうが終わってから先生にきく	20.4	17.6	15.7	4.7
	友だちにきく	15.3	15.2	10.3	5.0
	家の人にきく	19.0	14.7	15.2	3.8
	じゆくやかていきょうしの先生にきく	0.6	0.3	3.0	-2.4
	自分でしらべる	13.8	14.8	12.3	1.5
	そのまましておく	2.9	5.6	5.7	-2.8
あなたは、家で1日にどのくらい勉強しますか。 〔月よう日から金よう日。〕	1時間より多い	17.7	16.6	18.2	-0.5
	1時間くらい	24.6	20.2	21.1	3.5
	30分くらい	48.6	50.9	45.1	3.5
	しない	9.0	12.1	14.4	-5.4
休みの日には、家で1日にどのくらい勉強しますか。	1時間より多い	15.9	17.3	19.6	-3.7
	1時間くらい	17.0	16.6	20.1	-3.1
	30分くらい	44.7	40.0	34.6	10.1
	しない	22.2	26.1	25.0	-2.8
しゆくだいは、きちんとやりますか。	はい	94.5	92.8	83.4	11.1
	いいえ	2.2	3.3	10.0	-7.8
ふだん、朝なん時におきますか。	6時より早い	13.9	18.3	23.5	-9.6
	6時くらい	16.1	16.6	14.9	1.2
	6時30分ごろ	27.5	21.2	16.6	10.9
	7時くらい	36.1	34.9	32.1	4.0
	7時30分ごろ	5.1	5.8	8.1	-3.0
	7時30分よりおそい	1.1	2.9	4.1	-3.0
朝、自分でおきることができますか。	はい	75.2	67.9	67.2	8.0
	いいえ	24.6	31.5	31.4	-6.8
毎日、朝ごはんを食べますか。	はい	96.0	92.6	88.3	7.7
	いいえ	3.6	6.9	10.3	-6.7
学校にもって行くものは、前の日にきちんととよいしますか。	はい	86.3	81.5	73.1	13.2
	いいえ	10.5	14.8	22.8	-12.3
ふだん、夜なん時にねますか。	8時ぐらい	8.6	10.9	17.1	-8.5
	8時30分ごろ	9.7	9.4	8.6	1.1
	9時ぐらい	33.2	29.6	27.4	5.8
	9時30分ごろ	25.0	20.7	12.8	12.2
	10時ぐらい	15.4	17.1	19.4	-4.0
	10時よりおそい	8.0	11.7	13.9	-5.9
夜おそくまでおきていることがありますか。	はい	55.8	60.8	61.1	-5.3
	いいえ	41.7	36.3	34.8	6.9
1か月に、何さつぐらい本(マンガ・ざっしきのぞく)を読みますか。	ほとんど読まない	23.5	36.4	44.4	-20.9
	1さつていど	11.2	12.6	17.1	-5.9
	2～3さつ	19.9	22.1	18.9	1.0
	4～10さつ	18.1	12.2	6.1	12.0
	11～15さつ	8.7	4.7	5.2	3.5
	16さつ以上	18.5	11.9	7.8	10.7
わからないことばがでてきたら、国語じてんでしらべますか。	はい	54.4	51.9	51.4	3.0
	いいえ	45.1	47.3	47.5	-2.4

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
自分の思っていることや、考えていることを、まわりの人に話しますか。	はい	60.5	52.8	46.8	13.7
	いいえ	39.3	47.1	52.9	-13.6
計算もんだいは、答えを出したあとで、きちんとたしかめをしますか。	はい	82.8	78.7	73.0	9.8
	いいえ	17.0	20.8	26.0	-9.0
もんだいができなかったとき、なぜまちがえたのか、ちゃんとしらべますか。	はい	76.1	70.8	65.0	11.1
	いいえ	23.7	29.1	34.5	-10.8
みんなで、みのまわりのたんけんをしたり、かんさつしたりするのは楽しいですか。	はい	90.3	89.5	84.8	5.5
	いいえ	9.5	10.3	14.7	-5.2
たんけんしたり、かんさつをしてわかったことを、みんなではっぴょうしあうことは、すきですか。	はい	61.9	54.6	48.0	13.9
	いいえ	37.9	45.1	51.2	-13.3
勉強をされていて、ふしぎだなと思ったことがあったら、自分でしらべてみますか。	はい	59.1	56.0	53.2	5.9
	いいえ	40.5	43.7	45.1	-4.6
自分がふしぎだなと思ったり、おもしろいと思ったことについての、読みものや図かん、テレビのばん組などを見ますか。	はい	78.9	77.9	72.1	6.8
	いいえ	20.4	20.9	25.3	-4.9
朝と夜、歯みがきをしていますか。	している	75.1	68.5	58.3	16.8
	朝だけ	3.7	6.3	10.1	-6.4
	夜だけ	20.3	22.8	27.0	-6.7
	していない	0.5	1.9	3.5	-3.0
学校のきゅう食は、どれくらい食べていますか。	いつものこさず食べている	63.5	60.5	55.9	7.6
	だいたいこさず食べている	28.9	30.1	27.9	1.0
	のこすことが多い	5.3	5.8	9.0	-3.7
	ほとんど毎日のこしている	1.4	1.8	4.6	-3.2
ふだん(月曜日から金曜日)、1日にテレビをどれくらい見ますか。	まったく、または、ほとんど見ない	10.3	11.5	19.1	-8.8
	30分くらい	18.4	21.1	17.2	1.2
	1時間くらい	19.5	17.6	16.6	2.9
	1時間30分くらい	12.4	8.1	8.1	4.3
	2時間くらい	11.1	8.1	7.6	3.5
	2時間30分くらい	7.7	6.5	4.9	2.8
	3時間くらい	6.2	7.2	5.6	0.6
	3時間以上	14.4	19.4	19.8	-5.4
ふだん(月曜日から金曜日)、1日にテレビゲーム(携帯ゲーム、その他)をどれくらいしますか。	まったく、または、ほとんどしない	31.5	22.5	24.8	6.7
	30分くらい	23.4	23.5	22.0	1.4
	1時間くらい	17.8	18.0	14.9	2.9
	1時間30分くらい	7.2	7.7	6.6	0.6
	2時間くらい	6.3	6.5	6.1	0.2
	2時間30分くらい	3.7	4.3	3.0	0.7
	3時間くらい	2.8	4.8	5.1	-2.3
	3時間以上	7.3	12.4	16.4	-9.1
家でしている勉強はつぎのうちどれに近いですか。	しゅくだいがなくても毎日勉強する	31.2	26.8	27.9	3.3
	しゅくだいがなくてもときどき勉強する	39.5	31.3	24.8	14.7
	しゅくだいがあるときだけ勉強する	21.6	33.1	32.6	-11.0
	しゅくだいがあってもあまり勉強しない	7.7	8.2	13.3	-5.6
がくしゅうじゅくに通っていますか。 [※ピアノや絵・習字などのおけいこやスポーツは入れません。国語・算数などの教科の勉強をするじゅくです。]	通っている	38.4	37.8	32.8	5.6
	通っていない	60.8	61.0	63.3	-2.5
大人になったときのゆめやもくひょうがありますか。	はっきりある	58.0	57.9	53.5	4.5
	なんとなくある	31.7	25.6	20.9	10.8
	あまりない	5.6	9.6	12.0	-6.4
	ない	4.5	6.7	11.8	-7.3
むずかしいことでもしっばいをおそれずにちょうせんしていると思いますか。	そう思う	44.8	44.4	36.5	8.3
	すこし思う	41.1	36.7	34.3	6.8
	あまりそう思わない	9.6	11.8	15.7	-6.1
	思わない	4.4	6.6	11.5	-7.1

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
自分にはよいところがあると思いますか。	そう思う	44.5	35.7	35.8	8.7
	すこしそう思う	36.2	34.8	30.1	6.1
	あまりそう思わない	12.3	16.9	14.9	-2.6
	思わない	6.9	12.4	17.9	-11.0
どこで学校のしゅくだいをやっていますか。	家	78.5	77.9	75.3	3.2
	学校	3.3	3.9	5.7	-2.4
	じゅく	1.1	2.2	2.5	-1.4
	その他	16.6	15.5	14.9	1.7
今すんでいるちいきのぎょうじにさんかしていますか。	さんかしている	25.4	25.1	22.3	3.1
	ときどきさんかしている	36.3	23.7	18.2	18.1
	あまりさんかしていない	20.1	18.1	16.7	3.4
	さんかしたことがない	17.8	32.1	40.0	-22.2
一番すきな教科はなんですか。	国語	5.0	3.9	6.1	-1.1
	算数	10.0	6.3	4.6	5.4
	理科	12.4	13.8	13.2	-0.8
	社会	3.5	2.8	4.2	-0.7
	体育	35.4	40.0	37.8	-2.4
	音楽	9.7	7.9	6.3	3.4
	図工	23.6	24.7	25.8	-2.2
一番すきな教科をえらんだ、一番近いりゆうはなんですか。	先生がすき	4.2	7.9	16.9	-12.7
	とくだと思う	32.6	25.9	24.2	8.4
	せいせきがよい	5.9	5.7	4.7	1.2
	じゅぎょうが楽しい	51.9	50.4	41.2	10.7
	よくわかる	5.1	9.6	10.8	-5.7

③小学校4年生

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
学校に行くのは、楽しいですか。	楽しい	65.1	59.0	54.1	11.0
	わりと楽しい	25.4	28.6	25.5	-0.1
	あまり楽しくない	4.5	4.6	7.5	-3.0
	楽しくない	1.5	3.4	6.2	-4.7
	わからない	3.5	4.3	6.5	-3.0
勉強は、好きですか。	好き	42.7	31.8	24.2	18.5
	わりと好き	36.7	36.2	31.6	5.1
	あまり好きではない	14.0	19.9	23.5	-9.5
	きらい	3.6	6.7	14.0	-10.4
	わからない	3.0	5.4	6.5	-3.5
勉強は、大切だと思いますか。	大切だと思う	86.6	81.0	77.6	9.0
	わりと大切だと思う	10.3	13.2	12.9	-2.6
	あまり大切だと思わない	1.6	2.8	2.5	-0.9
	大切だと思わない	0.4	0.3	2.1	-1.7
	わからない	1.2	2.4	4.5	-3.3
学校のじゅ業は、楽しいですか。	とても楽しい	54.2	48.7	39.4	14.8
	わりと楽しい	37.1	39.2	41.2	-4.1
	あまり楽しくない	4.5	7.9	8.9	-4.4
	楽しくない	1.6	1.5	4.7	-3.1
	わからない	2.6	2.7	5.5	-2.9
学校でのじゅ業は、よくわかりますか。	よくわかる	61.7	45.0	32.6	29.1
	だいたいわかる	32.8	39.9	41.9	-9.1
	半分くらいわかる	3.9	10.2	13.2	-9.3
	すこしわかる	1.3	3.7	8.5	-7.2
	ほとんどわからない	0.2	0.9	3.5	-3.3
じゅ業の中でわからないことがあったら、どうしますか。	じゅ業中に先生にきく	23.3	22.7	29.6	-6.3
	じゅ業が終わってから先生にきく	18.7	15.8	12.5	6.2
	友だちにきく	18.6	18.2	15.2	3.4
	家の人にきく	25.3	24.5	22.4	2.9
	じゅくや家庭教師の先生にきく	1.4	1.8	2.1	-0.7
	自分で調べる	9.2	10.2	8.8	0.4
	そのまましておく	3.4	6.6	8.9	-5.5
家で、1日にどのくらい勉強しますか。 〔※月曜日から金曜日。じゅくや家庭教師の時間もふくめましょう。〕	2時間以上	19.9	14.6	14.6	5.3
	1時間以上、2時間より少ない	29.8	25.7	18.8	11.0
	30分以上、1時間より少ない	34.1	36.9	34.0	0.1
	30分より少ない	12.5	14.6	21.0	-8.5
	しない	3.7	8.1	11.3	-7.6
休日には、1日にどのくらい勉強しますか。 〔※じゅくや家庭教師の時間もふくめましょう。〕	2時間以上	13.4	10.6	9.9	3.5
	1時間以上、2時間より少ない	20.3	15.4	17.3	3.0
	30分以上、1時間より少ない	29.6	29.0	26.1	3.5
	30分より少ない	21.4	25.6	22.0	-0.6
	しない	15.2	19.4	24.6	-9.4
家でしている勉強は、次のうちどれに近いですか。	宿題がなくても毎日勉強する	31.1	22.3	16.6	14.5
	宿題がなくてもときどき勉強する	43.9	42.8	35.7	8.2
	宿題があるときだけ勉強する	19.5	27.5	35.7	-16.2
	宿題があってもあまり勉強しない	5.3	7.5	11.2	-5.9
学習じゅくに通っていますか。 〔※ピアノや絵・習字などのおけいこやスポーツは入れません。国語・算数などの教科の勉強をするじゅくです。〕	通っている	40.7	35.4	30.3	10.4
	通っていない	58.5	62.8	66.9	-8.4

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
1日に、どのくらいすいみん時間をとりますか。 〔※月曜日から金曜日〕	10時間以上	21.3	23.8	29.0	-7.7
	9時間以上、10時間より少ない	39.2	33.9	20.3	18.9
	8時間以上、9時間より少ない	25.4	22.1	18.7	6.7
	7時間以上、8時間より少ない	8.5	9.6	9.5	-1.0
	6時間以上、7時間より少ない	3.5	5.5	9.1	-5.6
	6時間より少ない	2.0	4.8	11.9	-9.9
朝、自分で起きることができますか。	起きる	43.9	44.5	41.1	2.8
	たいてい起きる	29.2	27.4	26.5	2.7
	起こしてもらおうことが多い	20.5	20.0	22.7	-2.2
	いつも起こしてもらおう	6.3	8.1	9.3	-3.0
毎日、朝食を食べますか。	必ず食べる	87.6	79.2	67.7	19.9
	たいてい食べる	10.4	16.3	20.7	-10.3
	食べないことが多い	1.7	4.0	8.5	-6.8
	食べない	0.3	0.4	2.7	-2.4
学校に持って行くものは、前の日にきちんと用意しますか。	必ず用意する	58.1	54.9	44.1	14.0
	たいてい用意する	36.0	35.1	38.5	-2.5
	あまり用意しない	4.7	8.5	13.0	-8.3
	用意しない	1.1	1.5	4.0	-2.9
夜、おそくまで起きていますことがありますか。	ある	20.2	27.5	34.7	-14.5
	ときどきある	46.9	50.7	42.8	4.1
	あまりない	22.1	14.5	13.7	8.4
	ない	10.7	7.3	8.6	2.1
国語の勉強は好きですか。	好き	36.9	32.6	25.9	11.0
	わりと好き	37.9	31.8	28.2	9.7
	あまり好きではない	19.5	26.6	28.5	-9.0
	きらい	5.5	9.0	16.6	-11.1
1か月に、何さつぐらい本(マンガ・ざっしをのぞく)を読みますか。	ほとんど読まない	18.3	26.6	31.6	-13.3
	1さつていど	10.3	15.2	16.6	-6.3
	2～3さつ	21.4	24.4	22.0	-0.6
	4～10さつ	24.5	17.0	14.3	10.2
	11～15さつ	9.5	5.5	4.2	5.3
	16さつ以上	15.9	11.2	11.0	4.9
わからない言葉がでてきたら、国語じてんで調べますか。	調べる	31.0	24.8	19.5	11.5
	ときどき調べる	38.6	34.2	31.9	6.7
	あまり調べない	18.5	20.3	23.9	-5.4
	調べない	11.9	20.6	24.1	-12.2
自分の思っていることや、考えていることを、まわりの人に話しますか。	話す	27.8	28.7	23.1	4.7
	わりと話す	33.6	25.6	25.1	8.5
	あまり話さない	31.5	34.2	33.0	-1.5
	話さない	7.1	11.5	18.3	-11.2
社会の勉強は好きですか。	好き	45.4	42.9	41.6	3.8
	わりと好き	33.5	30.6	29.5	4.0
	あまり好きではない	16.4	19.0	20.1	-3.7
	きらい	4.6	7.5	8.2	-3.6
学校のまわりや、町の様子のたんけんは、楽しいですか。	とても楽しい	67.3	67.6	59.1	8.2
	わりと楽しい	24.0	22.1	24.9	-0.9
	あまり楽しくない	6.6	6.9	9.3	-2.7
	楽しくない	2.0	3.4	5.9	-3.9
たんけんしてわかったことを、みんなで発表しあうのは好きですか。	好き	31.5	26.9	22.9	8.6
	わりと好き	37.8	30.8	25.9	11.9
	あまり好きではない	24.1	29.0	33.9	-9.8
	きらい	6.6	13.3	16.6	-10.0
社会の勉強をして、ふしぎだなと思ったことがあったら、自分で調べてみますか。	調べる	24.7	26.3	21.4	3.3
	ときどき調べる	38.7	32.6	31.0	7.7
	あまり調べない	23.5	23.6	24.8	-1.3
	調べない	13.0	17.5	22.2	-9.2

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
自分の知っている町のできごとや様子などについて、読み物やテレビ番組などをよく見ますか。	よく見る	33.1	41.6	35.7	-2.6
	ときどき見る	36.0	30.9	31.7	4.3
	あまり見ない	22.2	18.1	18.6	3.6
	見ない	8.7	9.4	13.2	-4.5
算数の勉強は好きですか。	好き	63.3	55.8	47.3	16.0
	わりと好き	23.5	25.0	23.8	-0.3
	あまり好きではない	10.0	12.9	17.3	-7.3
	きらい	3.0	6.3	11.0	-8.0
算数の時間に、みんなでいろいろな考え方を発表しあうことは好きですか。	好き	43.0	36.9	28.6	14.4
	わりと好き	34.1	28.1	27.9	6.2
	あまり好きではない	17.7	25.1	29.2	-11.5
	きらい	5.3	9.7	13.6	-8.3
問題がとけたとき、ちがうとき方がほかにか、考えてみますか。	考える	44.4	38.6	32.6	11.8
	わりと考える	30.8	28.6	28.3	2.5
	あまり考えない	17.7	21.8	24.4	-6.7
	考えない	7.1	11.1	14.0	-6.9
理科の勉強は好きですか。	好き	70.6	70.3	67.0	3.6
	わりと好き	21.1	18.8	19.1	2.0
	あまり好きではない	6.5	8.2	7.9	-1.4
	きらい	1.7	2.7	5.0	-3.3
理科の勉強で、かんさつをすることは好きですか。	好き	66.7	67.0	63.6	3.1
	わりと好き	22.2	19.7	18.8	3.4
	あまり好きではない	8.2	8.8	10.3	-2.1
	きらい	2.8	4.5	6.4	-3.6
かんさつをしてわかったことを、みんなで発表しあうのは好きですか。	好き	39.6	31.1	31.7	7.9
	わりと好き	33.8	33.5	26.8	7.0
	あまり好きではない	20.5	24.1	26.3	-5.8
	きらい	6.0	11.4	14.3	-8.3
理科の勉強で、わからないことや、ふしぎだなど思ったことは自分で調べてみますか。	調べる	32.9	29.7	33.3	-0.4
	ときどき調べる	36.0	33.5	29.0	7.0
	あまり調べない	20.7	21.8	19.8	0.9
	調べない	10.4	14.9	16.9	-6.5
しぜんや理科についての読み物や図かん、テレビ番組などをよく見ますか。	よく見る	34.2	35.9	35.0	-0.8
	ときどき見る	33.7	26.9	27.5	6.2
	あまり見ない	21.9	21.8	19.5	2.4
	見ない	10.1	15.2	17.0	-6.9
朝と夜、歯みがきをしていますか。	している	79.0	74.6	68.0	11.0
	朝だけ	2.8	4.5	6.7	-3.9
	夜だけ	17.6	19.7	23.2	-5.6
	していない	0.5	1.0	1.4	-0.9
学校のきゅう食は、どれくらい食べていますか。	いつものこさず食べている	67.3	63.1	58.1	9.2
	だいたいこさず食べている	27.3	31.1	30.6	-3.3
	のこすことが多い	3.8	5.1	8.4	-4.6
	ほとんど毎日のこしている	1.4	0.6	2.4	-1.0
ふだん(月曜日から金曜日)、学校に登校する日には、何時に起きますか。	6時より早い	9.4	10.5	17.3	-7.9
	6時ぐらい	17.5	14.1	14.3	3.2
	6時30分ごろ	30.7	28.3	13.3	17.4
	7時ぐらい	35.6	35.3	34.0	1.6
	7時30分よりおそい	4.1	6.7	10.9	-6.8
		2.2	4.5	9.3	-7.1

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
ふだん(土曜日と日曜日)、学校に登校しない日には、何時に起きますか。	6時より早い	12.1	16.7	22.0	-9.9
	6時ぐらい	11.5	10.5	10.9	0.6
	6時30分ごろ	10.5	9.4	8.4	2.1
	7時ぐらい	18.4	14.5	12.7	5.7
	7時30分ごろ	11.4	11.1	7.2	4.2
	8時ぐらい	21.9	20.2	16.6	5.3
	9時ぐらい	8.7	8.7	10.1	-1.4
	10時ぐらい	2.7	4.9	5.9	-3.2
	10時よりおそい	2.5	3.7	5.2	-2.7
	ふだん(日曜日から木曜日)、学校に登校する日の前日には、何時にねますか。	9時より早い	11.4	9.7	17.1
9時ぐらい		26.8	25.6	20.5	6.3
9時30分ごろ		25.5	21.7	16.1	9.4
10時ぐらい		20.2	20.5	19.3	0.9
10時30分ごろ		7.3	8.7	10.2	-2.9
11時ぐらい		4.1	5.8	6.2	-2.1
11時30分ごろ		2.4	2.8	3.0	-0.6
12時ぐらい		0.9	1.6	2.3	-1.4
12時よりおそい		1.3	3.1	4.5	-3.2
ふだん(金曜日と土曜日)、学校に登校しない日の前日には、何時にねますか。	9時より早い	7.4	6.3	12.6	-5.2
	9時ぐらい	18.0	16.7	15.9	2.1
	9時30分ごろ	20.9	15.7	12.7	8.2
	10時ぐらい	22.8	24.2	18.3	4.5
	10時30分ごろ	11.7	11.7	9.2	2.5
	11時ぐらい	8.9	9.1	10.2	-1.3
	11時30分ごろ	4.9	6.0	6.4	-1.5
	12時ぐらい	2.6	3.3	5.7	-3.1
	12時よりおそい	2.9	6.6	8.2	-5.3
ふだん(月曜日から金曜日)、1日にテレビやビデオ・DVDをどれくらい見ますか。	まったく、または、ほとんど見ない	11.8	13.5	20.7	-8.9
	30分くらい	16.9	19.7	17.1	-0.2
	1時間くらい	20.3	17.9	17.6	2.7
	1時間30分くらい	14.5	10.8	8.5	6.0
	2時間くらい	13.0	9.3	8.9	4.1
	2時間30分くらい	8.2	8.1	4.2	4.0
	3時間くらい	4.6	5.2	6.8	-2.2
	3時間以上	10.6	15.5	15.2	-4.6
ふだん(月曜日から金曜日)、1日にテレビゲーム(携帯ゲーム、その他)をどれくらいしますか。	まったく、または、ほとんどしない	25.3	19.6	17.6	7.7
	30分くらい	24.2	22.0	20.4	3.8
	1時間くらい	19.1	17.3	19.4	-0.3
	1時間30分くらい	10.1	8.4	9.3	0.8
	2時間くらい	7.0	11.5	6.8	0.2
	2時間30分くらい	4.5	5.1	5.1	-0.6
	3時間くらい	2.3	3.3	3.3	-1.0
	3時間以上	7.4	12.7	17.3	-9.9
家にあるコンピュータでインターネットをしていますか。	家にコンピュータがない、家のコンピュータがインターネットにつながっていない	16.8	21.7	24.4	-7.6
	まったく、ほとんどしていない	52.7	45.6	40.1	12.6
	週1、2日している	13.3	13.8	12.7	0.6
	週3、4日している	5.6	5.1	5.5	0.1
	週5、6日している	3.5	3.9	2.7	0.8
	毎日している	7.9	9.1	13.3	-5.4
	している	31.1	22.9	20.0	11.1
まちがえた問題やよくわからなかった問題を、できるようにするまで勉強していますか。	だいたいしている	43.5	41.9	36.5	7.0
	あまりしていない	18.9	26.6	26.2	-7.3
	していない	6.0	8.1	15.7	-9.7

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
これまで学習したことを使って新しい問題を工夫して解決していますか。	している	31.8	24.4	20.1	11.7
	だいたいしている	40.4	43.0	37.4	3.0
	あまりしていない	21.0	22.3	26.8	-5.8
	していない	6.7	10.2	14.6	-7.9
自分が考えたことをノートに工夫して書いていますか。	している	36.1	30.2	22.2	13.9
	だいたいしている	35.8	32.9	30.3	5.5
	あまりしていない	20.6	26.9	28.9	-8.3
	していない	7.4	10.0	17.6	-10.2
家庭で学習するときに、あなたが困っていることや悩んでいることで、あてはまるものをいくつかもえらんで、回答してください。	何をどのように勉強してよいかわからない	12.0	18.4	26.2	-14.2
	なぜ勉強しなければならないかわからない	4.8	6.9	13.3	-8.5
	他のことが気になって勉強できない	24.3	31.5	33.1	-8.8
	弟や妹などがじゃまをする	21.0	22.4	25.5	-4.5
	どう勉強してもわからない	4.4	9.9	19.0	-14.6
	どうしてもすきになれない教科がある	31.1	36.0	38.2	-7.1
	勉強する場所がない	1.8	4.6	8.4	-6.6
	勉強を教えてくれる人がいない	5.2	9.9	12.7	-7.5
大人になったときの夢や目標がありますか。	はっきりある	58.5	60.5	57.2	1.3
	なんとなくある	31.0	29.3	24.8	6.2
	あまりない	5.8	4.5	8.5	-2.7
	ない	4.5	5.4	8.5	-4.0
むずかしいことでもしっぱいをおそれずにちょうせんしていると思いますか。	そう思う	36.9	37.8	32.0	4.9
	すこしそう思う	43.5	38.4	37.0	6.5
	あまりそう思わない	15.0	16.0	18.7	-3.7
	思わない	4.5	7.6	11.2	-6.7
自分にはよいところがあると思いますか。	そう思う	37.0	31.7	31.2	5.8
	すこしそう思う	34.5	38.0	29.6	4.9
	あまりそう思わない	18.5	16.9	19.5	-1.0
	思わない	9.9	13.2	18.4	-8.5
どこで学校の宿題をやっていますか。	家	88.2	87.6	82.3	5.9
	学校	3.1	3.6	4.2	-1.1
	じゆく	1.5	0.9	2.5	-1.0
	その他	6.8	7.3	9.1	-2.3
今すんでいるちいきの行事にさんかしていますか。	さんかしている	23.9	25.4	18.7	5.2
	ときどきさんかしている	38.7	26.8	27.3	11.4
	あまりさんかしていない	25.2	26.0	23.7	1.5
	さんかしたことがない	11.9	21.4	28.6	-16.7
じゆ業のはじめに目標(めあて・ねらい)がしめされていたと思いますか。	そう思う	37.2	29.7	24.5	12.7
	すこしそう思う	39.1	36.5	35.6	3.5
	あまりそう思わない	17.1	22.3	20.7	-3.6
	思わない	6.4	10.9	17.4	-11.0
一番すきな教科はなんですか。	国語	3.9	2.5	2.7	1.2
	算数	13.0	9.9	8.1	4.9
	理科	10.5	9.1	12.2	-1.7
	社会	3.2	2.2	1.8	1.4
	体育	36.5	42.2	43.9	-7.4
	音楽	10.9	9.3	6.5	4.4
	図工	21.7	24.2	23.2	-1.5
一番すきな教科をえらんだ一番近い理由はなんですか。	先生がすき	2.8	5.5	8.9	-6.1
	得意だと思ふ	37.2	34.1	31.3	5.9
	せいせきがよい	7.1	6.7	5.2	1.9
	じゆ業が楽しい	48.8	46.5	42.6	6.2
	よくわかる	3.5	6.9	9.9	-6.4

④小学校5年生

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
学校に行くのは、楽しいですか。	楽しい	62.8	53.2	54.4	8.4
	わりと楽しい	28.0	33.1	27.8	0.2
	あまり楽しくない	4.2	6.8	8.1	-3.9
	楽しくない	1.7	2.7	5.3	-3.6
	わからない	3.3	4.1	4.4	-1.1
勉強は、好きですか。	好き	35.4	18.7	17.3	18.1
	わりと好き	39.7	38.6	34.5	5.2
	あまり好きではない	17.9	30.6	27.3	-9.4
	きらい	4.6	9.1	16.9	-12.3
	わからない	2.3	2.9	4.1	-1.8
勉強は、大切だと思いますか。	大切だと思う	85.3	75.3	74.8	10.5
	わりと大切だと思う	12.1	19.6	16.7	-4.6
	あまり大切だと思わない	1.1	2.8	3.0	-1.9
	大切だと思わない	0.5	0.8	1.6	-1.1
	わからない	1.1	1.6	3.9	-2.8
学校の授業は、楽しいですか。	とても楽しい	49.3	40.8	40.1	9.2
	わりと楽しい	41.0	45.3	40.3	0.7
	あまり楽しくない	5.7	7.5	9.7	-4.0
	楽しくない	1.4	3.1	5.3	-3.9
	わからない	2.6	3.2	4.6	-2.0
学校での授業は、よくわかりますか。	よくわかる	63.4	46.6	36.4	27.0
	だいたいわかる	32.5	42.3	39.6	-7.1
	半分くらいわかる	3.1	8.4	13.2	-10.1
	すこしわかる	0.7	1.9	7.3	-6.6
	ほとんどわからない	0.2	0.7	2.8	-2.6
授業の中でわからないことがあったら、どうしますか。	授業中に先生にきく	15.5	17.4	19.5	-4.0
	授業が終わってから先生にきく	18.0	17.8	17.2	0.8
	友だちにきく	24.1	23.0	23.1	1.0
	家の人にきく	26.8	27.1	22.5	4.3
	塾や家庭教師の先生にきく	2.4	3.0	2.9	-0.5
	自分で調べる	10.5	7.7	6.8	3.7
	そのまましておく	2.7	3.9	8.0	-5.3
家で、1日にどのくらい勉強しますか。 〔※月曜日から金曜日。塾や家庭教師の時間もふくめましょう。〕	2時間以上	28.1	14.0	12.8	15.3
	1時間以上、2時間より少ない	32.5	32.1	25.6	6.9
	30分以上、1時間より少ない	27.8	34.0	31.0	-3.2
	30分より少ない	8.9	13.5	18.4	-9.5
	しない	2.4	6.0	11.6	-9.2
休日には、1日にどのくらい勉強しますか。 〔※塾や家庭教師の時間もふくめましょう。〕	3時間以上	12.3	3.6	5.2	7.1
	2時間以上、3時間より少ない	11.3	8.1	5.5	5.8
	1時間以上、2時間より少ない	21.7	17.9	17.9	3.8
	30分以上、1時間より少ない	23.7	27.0	20.5	3.2
	30分より少ない	18.4	20.6	20.2	-1.8
	しない	12.6	22.9	30.6	-18.0
家でしている勉強は、次のうちどれに近いですか。	宿題がなくても毎日勉強する	33.8	17.1	13.5	20.3
	宿題がなくてもときどき勉強する	41.1	42.1	35.8	5.3
	宿題があるときだけ勉強する	20.4	31.8	35.2	-14.8
	宿題があってもあまり勉強しない	4.6	8.8	15.1	-10.5
学習塾に通っていますか。 〔※ピアノや絵・習字などのおけいこやスポーツは入れません。国語・算数などの教科の勉強をする塾です。〕	通っている	46.3	35.6	29.1	17.2
	通っていない	53.4	63.8	69.6	-16.2

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
1日に、どのくらい睡眠時間をとりますか。〔※月曜日から金曜日〕	10時間以上	14.1	17.8	23.9	-9.8
	9時間以上、10時間より少ない	35.3	34.8	25.7	9.6
	8時間以上、9時間より少ない	32.2	27.5	23.2	9.0
	7時間以上、8時間より少ない	12.6	12.0	11.6	1.0
	6時間以上、7時間より少ない	4.5	5.6	8.7	-4.2
	6時間より少ない	1.3	2.3	6.9	-5.6
朝、自分で起きることができますか。	起きる	45.0	38.6	41.1	3.9
	たいてい起きる	29.9	31.5	27.7	2.2
	起こしてもらおうことが多い	19.9	22.7	22.5	-2.6
	いつも起こしてもらおう	5.2	7.2	8.6	-3.4
毎日、朝食を食べますか。	必ず食べる	87.3	78.3	68.6	18.7
	たいてい食べる	10.2	16.2	21.4	-11.2
	食べないことが多い	2.2	4.9	7.5	-5.3
	食べない	0.3	0.4	2.3	-2.0
学校に持って行くものは、前の日にきちんと用意しますか。	必ず用意する	55.6	51.8	47.6	8.0
	たいてい用意する	36.9	39.5	38.2	-1.3
	あまり用意しない	6.2	6.7	10.5	-4.3
	用意しない	1.2	1.9	3.5	-2.3
夜、おそくまで起きていることがありますか。	ある	27.5	29.4	36.1	-8.6
	ときどきある	42.7	47.2	45.8	-3.1
	あまりない	21.9	16.8	12.0	9.9
	ない	7.9	6.6	5.9	2.0
国語の勉強は好きですか。	好き	36.7	28.1	24.5	12.2
	わりと好き	38.2	34.2	32.5	5.7
	あまり好きではない	20.3	27.4	26.7	-6.4
	きらい	4.7	10.3	16.2	-11.5
1か月に、何さつぐらい本(マンガ・ざっしをのぞく)を読みますか。	ほとんど読まない	17.6	27.6	35.8	-18.2
	1さつくらい	11.3	15.1	15.5	-4.2
	2～3さつ	25.0	24.2	23.4	1.6
	4～10さつ	26.3	18.2	13.7	12.6
	11～15さつ	7.7	6.7	4.3	3.4
	16さつ以上	12.0	8.2	7.1	4.9
わからない言葉が出てきたら、国語辞典(電子辞書をふくみます)で調べますか。	調べる	35.6	21.7	19.0	16.6
	ときどき調べる	39.5	37.2	30.2	9.3
	あまり調べない	15.5	23.2	23.0	-7.5
	調べない	9.3	17.9	27.6	-18.3
自分の思っていることや、考えていることを、まわりの人に話しますか。	話す	28.7	26.7	23.5	5.2
	わりと話す	37.0	32.7	30.1	6.9
	あまり話さない	29.5	31.9	32.5	-3.0
	話さない	4.8	8.7	13.6	-8.8
国語の勉強が、生活の中で役に立つと思いますか。	とても役に立つと思う	56.3	46.1	43.4	12.9
	役に立つと思う	38.9	44.6	42.9	-4.0
	あまり役に立たないと思う	3.8	7.5	8.4	-4.6
	思わない	1.0	1.8	5.3	-4.3
社会の勉強は好きですか。	好き	37.5	29.1	28.4	9.1
	わりと好き	33.8	33.6	34.0	-0.2
	あまり好きではない	22.3	24.8	22.7	-0.4
	きらい	6.5	12.5	14.8	-8.3
わからない地名が出てきたら、自分で地図帳などを使って調べますか。	調べる	37.4	28.0	26.9	10.5
	ときどき調べる	33.0	32.6	29.1	3.9
	あまり調べない	20.0	22.5	20.7	-0.7
	調べない	9.6	17.0	23.3	-13.7
歴史上の人物や出来事をつづけている本を読むことは好きですか。	好き	36.2	26.8	23.8	12.4
	わりと好き	27.4	23.9	25.1	2.3
	あまり好きではない	28.5	34.3	32.2	-3.7
	きらい	7.9	14.9	18.9	-11.0

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
社会の勉強をして、新聞を読んだり、ニュースを見るようになりましたか。	読む(見る)	39.9	28.9	25.1	14.8
	ときどき読む(見る)	35.9	36.9	33.0	2.9
	あまり読まない(見ない)	14.3	17.6	20.0	-5.7
	読まない(見ない)	10.0	16.7	21.6	-11.6
社会の勉強が、生活の中で役に立つと思いますか。	とても役に立つと思う	59.9	50.0	48.3	11.6
	役に立つと思う	35.2	39.3	36.9	-1.7
	あまり役に立たないと思う	3.9	7.5	8.8	-4.9
	思わない	1.0	3.0	6.0	-5.0
算数の勉強は好きですか。	好き	54.9	38.5	34.9	20.0
	わりと好き	27.1	30.5	28.5	-1.4
	あまり好きではない	13.5	20.2	20.8	-7.3
	きらい	4.5	10.7	15.8	-11.3
算数の時間に、みんなでいろいろな考え方を発表しあうことは好きですか。	好き	39.6	26.6	24.1	15.5
	わりと好き	32.8	32.6	26.9	5.9
	あまり好きではない	22.1	30.3	32.0	-9.9
	きらい	5.6	10.5	17.0	-11.4
問題が解けたとき、別の解き方も考えてみますか。	考える	43.5	29.6	24.1	19.4
	わりと考える	32.1	33.7	27.5	4.6
	あまり考えない	19.0	26.0	27.8	-8.8
	考えない	5.5	10.6	20.6	-15.1
算数の勉強が、生活の中で役に立つと思いますか。	とても役に立つと思う	73.7	63.5	62.6	11.1
	役に立つと思う	23.6	31.3	27.0	-3.4
	あまり役に立たないと思う	2.1	3.6	6.0	-3.9
	思わない	0.6	1.6	4.3	-3.7
理科の勉強は好きですか。	好き	61.5	58.9	63.1	-1.6
	わりと好き	26.9	27.6	22.5	4.4
	あまり好きではない	8.8	9.4	8.6	0.2
	きらい	2.8	3.9	5.9	-3.1
理科の勉強で、実験や観察をすることは好きですか。	好き	76.7	74.4	75.6	1.1
	わりと好き	16.7	18.6	14.2	2.5
	あまり好きではない	4.8	4.6	6.6	-1.8
	きらい	1.8	2.3	3.6	-1.8
理科の勉強で、わからないことや、興味や関心をもったことは自分で調べてみますか。	調べる	32.7	29.4	28.2	4.5
	ときどき調べる	38.1	32.0	34.2	3.9
	あまり調べない	20.6	24.3	19.3	1.3
	調べない	8.6	14.2	18.4	-9.8
自然や理科についての読み物や図かん、テレビ番組などをよく見ますか。	よく見る	32.5	32.8	39.6	-7.1
	ときどき見る	37.3	33.3	29.7	7.6
	あまり見ない	20.1	20.6	15.9	4.2
	見ない	10.0	13.2	14.8	-4.8
理科の勉強が、生活の中で役に立つと思いますか。	とても役に立つと思う	44.4	40.5	46.4	-2.0
	役に立つと思う	42.0	42.5	34.1	7.9
	あまり役に立たないと思う	10.8	12.3	12.2	-1.4
	思わない	2.8	4.6	7.2	-4.4
朝と夜、歯みがきをしていますか。	している	82.9	79.4	73.1	9.8
	朝だけ	2.4	3.5	6.4	-4.0
	夜だけ	14.0	16.6	19.0	-5.0
	していない	0.7	0.2	1.5	-0.8
学校の給食は、どれくらい食べていますか。	いつも残さず食べている	69.2	64.5	62.6	6.6
	だいたい残さず食べている	25.6	28.4	30.3	-4.7
	残すことが多い	4.0	5.5	4.6	-0.6
	ほとんど毎日残している	1.1	1.2	2.0	-0.9

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
ふだん(月曜日から金曜日), 学校に登校する日には, 何時に起きますか。	6時より早い	8.4	10.4	10.8	-2.4
	6時ぐらい	15.9	15.0	14.5	1.4
	6時30分ごろ	31.8	25.1	20.9	10.9
	7時ぐらい	36.8	38.5	36.1	0.7
	7時30分ごろ	5.5	7.3	10.2	-4.7
	7時30分よりおそい	1.4	3.1	5.9	-4.5
ふだん(土曜日と日曜日), 学校に登校しない日には, 何時に起きますか。	6時より早い	9.4	12.2	11.4	-2.0
	6時ぐらい	9.4	8.8	9.2	0.2
	6時30分ごろ	10.9	7.2	9.2	1.7
	7時ぐらい	17.3	16.6	14.0	3.3
	7時30分ごろ	13.6	10.9	7.2	6.4
	8時ぐらい	22.3	22.3	19.5	2.8
	9時ぐらい	11.6	12.6	13.9	-2.3
	10時ぐらい	3.0	5.0	6.5	-3.5
ふだん(日曜日から木曜日), 学校に登校する日の前日には, 何時にねますか。	9時より早い	5.1	6.8	9.0	-3.9
	9時ぐらい	20.8	20.0	19.1	1.7
	9時30分ごろ	23.9	20.5	18.6	5.3
	10時ぐらい	23.8	25.4	23.0	0.8
	10時30分ごろ	13.4	12.4	9.3	4.1
	11時ぐらい	6.8	7.0	7.2	-0.4
	11時30分ごろ	3.1	3.4	4.4	-1.3
	12時ぐらい	1.7	1.8	2.8	-1.1
	12時よりおそい	1.3	2.5	6.3	-5.0
ふだん(金曜日と土曜日), 学校に登校しない日の前日には, 何時にねますか。	9時より早い	3.5	4.3	6.2	-2.7
	9時ぐらい	11.3	12.3	12.8	-1.5
	9時30分ごろ	16.0	14.2	11.7	4.3
	10時ぐらい	24.8	22.0	20.0	4.8
	10時30分ごろ	16.9	12.6	9.6	7.3
	11時ぐらい	13.0	14.5	12.7	0.3
	11時30分ごろ	6.3	6.8	8.4	-2.1
	12時ぐらい	3.7	4.7	5.6	-1.9
ふだん(月曜日から金曜日), 1日にテレビやビデオ・DVDをどれくらい見ますか。	まったく, または, ほとんど見ない	7.9	7.4	13.0	-5.1
	30分ぐらい	12.2	10.5	14.2	-2.0
	1時間ぐらい	19.9	15.9	15.2	4.7
	1時間30分ぐらい	15.2	12.0	10.1	5.1
	2時間ぐらい	16.5	13.5	10.4	6.1
	2時間30分ぐらい	8.3	7.7	9.5	-1.2
	3時間ぐらい	6.5	7.7	5.0	1.5
	3時間以上	13.6	25.1	22.4	-8.8
ふだん(月曜日から金曜日), 1日にテレビゲーム(携帯ゲーム, その他)をどれくらいしますか。	まったく, または, ほとんどしない	23.7	12.8	11.5	12.2
	30分ぐらい	20.0	16.4	17.1	2.9
	1時間ぐらい	19.0	19.1	16.3	2.7
	1時間30分ぐらい	10.2	10.7	9.9	0.3
	2時間ぐらい	8.4	9.8	9.3	-0.9
	2時間30分ぐらい	5.1	7.5	8.1	-3.0
	3時間以上	4.5	4.6	6.1	-1.6
ふだん(月曜日から金曜日), 携帯電話や家にあるパソコンでインターネットやメールをしていますか。	携帯電話やパソコンがない, 携帯電話やパソコンがインターネットにつながっていない	19.6	20.1	18.0	1.6
	まったく, ほとんどしていない	40.6	41.9	38.6	2.0
	週1, 2日している	12.3	9.3	12.3	0.0
	週3, 4日している	9.5	8.2	7.8	1.7
	週5, 6日している	5.4	4.7	4.3	1.1
	毎日している	12.6	15.5	18.6	-6.0

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
まちがえた問題やよくわからなかった問題を、できるようにするまで勉強していますか。	している	30.5	16.3	12.7	17.8
	だいたいしている	47.7	46.2	40.4	7.3
	あまりしていない	17.7	27.1	29.3	-11.6
	していない	3.9	10.0	17.3	-13.4
これまで学習したことを使って新しい問題を工夫して解決していますか。	している	32.3	17.0	14.3	18.0
	だいたいしている	40.6	41.3	37.0	3.6
	あまりしていない	20.9	30.0	30.5	-9.6
	していない	6.1	11.6	17.9	-11.8
自分が考えたことをノートに工夫して書いていますか。	している	37.8	27.4	21.1	16.7
	だいたいしている	34.9	33.0	29.8	5.1
	あまりしていない	20.8	28.6	27.6	-6.8
	していない	6.4	10.7	21.4	-15.0
家庭で学習するときに、あなたが困っていることや悩んでいることで、あてはまるものをいくつかもえらんで、回答してください。	何をどのように勉強してよいかわからない	12.0	18.0	26.4	-14.4
	なぜ勉強しなければならないかわからない	4.8	7.9	14.6	-9.8
	他のことが気になって勉強できない	24.0	28.3	32.2	-8.2
	弟や妹などがじゃまをする	19.6	18.1	22.1	-2.5
	どう勉強してもわからない	4.4	7.8	15.9	-11.5
	どうしても好きになれない教科がある	31.5	44.4	49.2	-17.7
	勉強する場所がない	1.4	1.8	4.2	-2.8
	勉強を教えてくれる人がいない	4.3	5.7	10.7	-6.4
大人になったときの夢や目標がありますか。	はっきりある	58.8	61.6	61.8	-3.0
	なんとなくある	31.1	27.7	25.0	6.1
	あまりない	6.1	5.6	6.8	-0.7
	ない	4.0	4.8	6.0	-2.0
むずかしいことでも失敗をおそれずにちょうせんしていると思いますか。	そう思う	36.9	34.5	31.9	5.0
	すこしそう思う	45.4	44.1	39.2	6.2
	あまりそう思わない	13.8	15.5	16.2	-2.4
	思わない	3.9	5.8	12.5	-8.6
自分にはよいところがあると思いますか。	そう思う	36.4	30.3	28.9	7.5
	すこしそう思う	36.3	35.3	33.4	2.9
	あまりそう思わない	17.3	21.5	18.5	-1.2
	思わない	9.9	12.8	18.7	-8.8
どこで学校の宿題をやっていますか。	家	92.8	91.8	88.6	4.2
	学校	2.1	2.9	1.9	0.2
	塾	2.2	1.3	2.8	-0.6
	その他	2.8	3.6	5.7	-2.9
今すんでいる地域の行事に参加していますか。	参加している	20.5	19.5	17.5	3.0
	ときどき参加している	39.1	34.7	29.1	10.0
	あまり参加していない	29.4	29.2	26.1	3.3
	参加したことがない	10.9	16.3	26.7	-15.8
授業のはじめに目標(めあて・ねらい)がしめされていたと思いますか。	そう思う	41.5	26.7	23.1	18.4
	すこしそう思う	39.5	41.5	36.0	3.5
	あまりそう思わない	14.0	22.6	22.4	-8.4
	思わない	5.0	8.9	17.6	-12.6
一番好きな教科はなんですか。	国語	5.5	3.9	4.8	0.7
	算数	12.7	6.4	6.3	6.4
	理科	9.7	8.6	9.5	0.2
	社会	4.2	2.5	2.8	1.4
	体育	32.8	39.7	36.4	-3.6
	音楽	9.5	7.9	8.1	1.4
	図工	17.3	21.3	21.1	-3.8
	家庭科	8.1	9.5	10.1	-2.0
一番好きな教科を選んだ一番近い理由はなんですか。	先生が好き	2.0	2.3	5.5	-3.5
	得意だと思う	37.1	40.9	31.9	5.2
	成績がよい	7.1	3.9	3.6	3.5
	授業が楽しい	48.7	48.3	50.1	-1.4
	よくわかる	4.8	4.4	8.0	-3.2

⑤小学校6年生

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
学校に行くのは、楽しいですか。	楽しい	61.4	51.9	43.5	17.9
	わりと楽しい	28.8	36.1	37.1	-8.3
	あまり楽しくない	4.8	4.8	9.0	-4.2
	楽しくない	2.1	3.0	4.8	-2.7
	わからない	2.8	4.3	5.5	-2.7
勉強は、好きですか。	好き	30.4	17.3	9.3	21.1
	わりと好き	40.3	39.0	31.9	8.4
	あまり好きではない	21.1	31.4	39.8	-18.7
	きらい	5.4	9.0	15.6	-10.2
	わからない	2.8	3.3	3.3	-0.5
勉強は、大切だと思いますか。	大切だと思う	82.2	73.9	66.4	15.8
	わりと大切だと思う	14.7	21.9	24.6	-9.9
	あまり大切だと思わない	1.4	2.6	4.5	-3.1
	大切だと思わない	0.5	0.4	1.1	-0.6
	わからない	1.3	1.2	2.9	-1.6
学校の授業は、楽しいですか。	とても楽しい	42.1	37.0	28.7	13.4
	わりと楽しい	46.4	46.5	49.9	-3.5
	あまり楽しくない	6.5	9.6	12.0	-5.5
	楽しくない	2.1	1.7	3.9	-1.8
	わからない	2.8	5.0	5.2	-2.4
学校での授業は、よくわかりますか。	よくわかる	59.5	37.1	28.5	31.0
	だいたいわかる	35.5	49.9	45.6	-10.1
	半分くらいわかる	3.6	9.5	17.0	-13.4
	すこしわかる	0.7	2.6	6.9	-6.2
	ほとんどわからない	0.3	0.5	1.7	-1.4
授業の中でわからないことがあったら、どうしますか。	授業中に先生にきく	13.1	12.3	12.5	0.6
	授業が終わってから先生にきく	12.1	10.7	11.1	1.0
	友だちにきく	30.6	35.0	33.0	-2.4
	家の人にきく	23.8	22.7	19.6	4.2
	塾や家庭教師の先生にきく	4.6	5.2	6.3	-1.7
	自分で調べる	13.2	8.8	7.5	5.7
	そのままにしておく	2.6	5.2	9.7	-7.1
家で、1日にどのくらい勉強しますか。 〔※月曜日から金曜日。塾や家庭教師の時間もふくめましょう。〕	2時間以上	31.7	16.4	11.7	20.0
	1時間以上、2時間より少ない	34.3	33.1	26.9	7.4
	30分以上、1時間より少ない	24.4	33.4	34.2	-9.8
	30分より少ない	7.3	12.5	17.1	-9.8
	しない	2.2	4.3	10.0	-7.8
休日には、1日にどのくらい勉強しますか。 〔※塾や家庭教師の時間もふくめましょう。〕	3時間以上	17.5	4.9	2.8	14.7
	2時間以上、3時間より少ない	10.2	6.0	7.6	2.6
	1時間以上、2時間より少ない	21.5	19.4	16.6	4.9
	30分以上、1時間より少ない	23.5	27.8	22.1	1.4
	30分より少ない	16.2	24.2	25.3	-9.1
	しない	11.0	17.7	25.3	-14.3
家でしている勉強は、次のうちどれに近いですか。	宿題がなくても毎日勉強する	34.1	15.8	11.9	22.2
	宿題がなくてもときどき勉強する	42.4	46.2	35.2	7.2
	宿題があるときだけ勉強する	19.7	31.1	38.3	-18.6
	宿題があってもあまり勉強しない	3.6	6.9	14.3	-10.7
学習塾に通っていますか。 〔※ピアノや絵・習字などのおけいこやスポーツは入れません。国語・算数などの教科の勉強をする塾です。〕	通っている	50.9	35.0	30.9	20.0
	通っていない	48.5	64.2	68.0	-19.5

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
1日に、どのくらい睡眠時間をとりますか。〔※月曜日から金曜日〕	10時間以上	8.8	12.2	14.2	-5.4
	9時間以上、10時間より少ない	26.3	26.3	23.8	2.5
	8時間以上、9時間より少ない	36.1	31.9	29.3	6.8
	7時間以上、8時間より少ない	18.8	19.0	17.5	1.3
	6時間以上、7時間より少ない	7.7	8.0	9.0	-1.3
	6時間より少ない	2.4	2.4	6.0	-3.6
朝、自分で起きることができますか。	起きる	44.2	44.0	46.2	-2.0
	たいてい起きる	31.2	28.3	25.7	5.5
	起こしてもらおうことが多い	19.6	22.3	20.2	-0.6
	いつも起こしてもらおう	5.0	5.5	7.5	-2.5
毎日、朝食を食べますか。	必ず食べる	86.3	76.5	68.1	18.2
	たいてい食べる	10.1	16.6	20.6	-10.5
	食べないことが多い	2.9	5.5	9.3	-6.4
	食べない	0.7	1.5	1.9	-1.2
学校に持って行くものは、前の日にきちんと用意しますか。	必ず用意する	47.7	47.7	34.8	12.9
	たいてい用意する	40.4	39.3	45.2	-4.8
	あまり用意しない	9.8	11.0	15.3	-5.5
	用意しない	2.1	1.9	4.6	-2.5
夜、おそくまで起きていることがありますか。	ある	33.8	35.8	42.9	-9.1
	ときどきある	39.5	45.3	41.7	-2.2
	あまりない	20.2	14.5	10.7	9.5
	ない	6.6	4.1	4.4	2.2
国語の勉強は好きですか。	好き	33.7	24.6	19.4	14.3
	わりと好き	39.0	41.0	33.9	5.1
	あまり好きではない	22.0	25.3	33.5	-11.5
	きらい	5.3	8.8	13.0	-7.7
1か月に、何さつぐらい本(マンガ・ざっしをのぞく)を読みますか。	ほとんど読まない	18.1	26.7	35.3	-17.2
	1さつくらい	16.5	19.0	17.8	-1.3
	2～3さつ	28.7	27.2	26.3	2.4
	4～10さつ	22.4	16.7	14.7	7.7
	11～15さつ	5.7	4.8	2.1	3.6
	16さつ以上	8.7	5.7	3.7	5.0
わからない言葉が出てきたら、国語辞典(電子辞書をふくみます)で調べますか。	調べる	35.0	21.8	19.0	16.0
	ときどき調べる	39.9	41.0	34.6	5.3
	あまり調べない	17.6	24.4	24.9	-7.3
	調べない	7.5	12.7	21.3	-13.8
自分の思っていることや、考えていることを、まわりの人に話しますか。	話す	32.0	25.5	21.9	10.1
	わりと話す	38.6	34.1	36.7	1.9
	あまり話さない	25.1	34.2	30.1	-5.0
	話さない	4.2	6.2	11.1	-6.9
国語の勉強が、生活の中で役に立つと思いますか。	とても役に立つと思う	55.0	47.1	40.2	14.8
	役に立つと思う	40.2	44.6	46.4	-6.2
	あまり役に立たないと思う	3.3	6.8	10.0	-6.7
	思わない	1.5	1.5	3.3	-1.8
社会の勉強は好きですか。	好き	41.1	33.5	29.0	12.1
	わりと好き	30.7	31.4	32.1	-1.4
	あまり好きではない	21.1	23.9	24.8	-3.7
	きらい	7.0	11.1	13.8	-6.8
わからない地名が出てきたら、自分で地図帳などを使って調べますか。	調べる	31.4	22.8	18.4	13.0
	ときどき調べる	33.7	33.4	31.3	2.4
	あまり調べない	24.4	27.4	28.8	-4.4
	調べない	10.5	16.4	21.3	-10.8
歴史上の人物や出来事をおぼえている本を読むことは好きですか。	好き	45.5	35.7	27.4	18.1
	わりと好き	28.8	27.6	25.5	3.3
	あまり好きではない	20.5	28.7	33.3	-12.8
	きらい	5.1	7.8	13.5	-8.4

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
社会の勉強をして、新聞を読んだり、ニュースを見るようになりましたか。	読む(見る)	44.6	34.3	29.7	14.9
	ときどき読む(見る)	36.2	39.7	37.0	-0.8
	あまり読まない(見ない)	12.2	16.6	15.6	-3.4
	読まない(見ない)	7.0	9.3	17.5	-10.5
社会の勉強が、生活の中で役に立つと思いますか。	とても役に立つと思う	59.2	50.3	47.1	12.1
	役に立つと思う	33.8	40.0	38.7	-4.9
	あまり役に立たないと思う	5.1	6.9	9.4	-4.3
	思わない	1.8	2.7	4.6	-2.8
算数の勉強は好きですか。	好き	48.7	33.7	25.3	23.4
	わりと好き	30.0	32.9	28.9	1.1
	あまり好きではない	15.0	20.6	28.2	-13.2
	きらい	6.4	12.7	17.4	-11.0
算数の時間に、みんなでいろいろな考え方を発表しあうことは好きですか。	好き	35.0	22.0	19.1	15.9
	わりと好き	33.7	33.1	26.3	7.4
	あまり好きではない	24.5	33.9	38.0	-13.5
	きらい	6.7	11.0	16.4	-9.7
問題が解けたとき、別の解き方も考えてみますか。	考える	39.2	25.0	19.6	19.6
	わりと考える	35.1	30.3	30.0	5.1
	あまり考えない	21.0	34.3	31.7	-10.7
	考えない	4.7	10.4	18.5	-13.8
算数の勉強が、生活の中で役に立つと思いますか。	とても役に立つと思う	70.3	62.7	55.1	15.2
	役に立つと思う	26.3	31.8	36.9	-10.6
	あまり役に立たないと思う	2.4	4.0	4.9	-2.5
	思わない	1.0	1.3	3.0	-2.0
理科の勉強は好きですか。	好き	50.0	49.7	50.1	-0.1
	わりと好き	32.4	29.4	29.9	2.5
	あまり好きではない	13.1	15.0	13.5	-0.4
	きらい	4.5	5.8	6.3	-1.8
理科の勉強で、実験や観察をすることは好きですか。	好き	66.8	65.2	67.2	-0.4
	わりと好き	22.5	22.5	21.3	1.2
	あまり好きではない	8.4	7.6	7.9	0.5
	きらい	2.3	4.6	3.4	-1.1
理科の勉強で、わからないことや、興味や関心をもったことは自分で調べてみますか。	調べる	28.5	22.7	23.8	4.7
	ときどき調べる	37.8	35.4	35.6	2.2
	あまり調べない	23.6	27.6	22.6	1.0
	調べない	10.1	14.3	17.9	-7.8
自然や理科についての読み物や図かん、テレビ番組などをよく見ますか。	よく見る	29.1	29.1	32.5	-3.4
	ときどき見る	34.7	35.9	32.7	2.0
	あまり見ない	24.2	22.2	20.1	4.1
	見ない	12.0	12.7	14.6	-2.6
理科の勉強が、生活の中で役に立つと思いますか。	とても役に立つと思う	36.8	34.1	32.4	4.4
	役に立つと思う	43.2	40.8	40.8	2.4
	あまり役に立たないと思う	15.6	19.9	18.4	-2.8
	思わない	4.5	5.2	8.1	-3.6
朝と夜、歯みがきをしていますか。	している	86.5	82.0	76.0	10.5
	朝だけ	2.3	4.1	6.2	-3.9
	夜だけ	10.7	13.6	17.0	-6.3
	していない	0.4	0.2	0.8	-0.4
学校の給食は、どれくらい食べていますか。	いつも残さず食べている	74.1	69.8	61.6	12.5
	だいたい残さず食べている	22.2	26.2	31.6	-9.4
	残すことが多い	2.9	2.8	5.1	-2.2
	ほとんど毎日残している	0.8	1.0	1.5	-0.7

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
ふだん(月曜日から金曜日), 学校に登校する日には, 何時に起きますか。	6時より早い	7.7	9.5	11.6	-3.9
	6時ぐらい	17.7	14.5	15.8	1.9
	6時30分ごろ	29.6	26.6	21.9	7.7
	7時ぐらい	37.9	37.9	37.8	0.1
	7時30分ごろ	5.3	8.3	6.3	-1.0
	7時30分よりおそい	1.5	2.4	6.0	-4.5
ふだん(土曜日と日曜日), 学校に登校しない日には, 何時に起きますか。	6時より早い	7.5	11.0	13.0	-5.5
	6時ぐらい	9.2	9.5	10.6	-1.4
	6時30分ごろ	9.5	8.5	7.1	2.4
	7時ぐらい	17.5	13.5	9.6	7.9
	7時30分ごろ	13.1	8.4	8.2	4.9
	8時ぐらい	24.5	25.9	21.2	3.3
	9時ぐらい	11.7	13.3	15.3	-3.6
	10時ぐらい	3.4	5.2	6.1	-2.7
ふだん(日曜日から木曜日), 学校に登校する日の前日には, 何時にねますか。	9時より早い	3.4	3.9	5.8	-2.4
	9時ぐらい	13.0	11.7	11.6	1.4
	9時30分ごろ	16.2	15.8	11.7	4.5
	10時ぐらい	25.9	26.4	23.8	2.1
	10時30分ごろ	17.2	17.8	15.8	1.4
	11時ぐらい	12.1	10.2	11.7	0.4
	11時30分ごろ	5.9	8.6	6.2	-0.3
	12時ぐらい	3.2	3.2	7.3	-4.1
ふだん(金曜日と土曜日), 学校に登校しない日の前日には, 何時にねますか。	12時よりおそい	2.8	2.3	5.5	-2.7
	9時より早い	2.9	3.8	4.0	-1.1
	9時ぐらい	7.2	6.3	7.1	0.1
	9時30分ごろ	9.0	11.1	6.5	2.5
	10時ぐらい	22.0	16.1	15.2	6.8
	10時30分ごろ	17.5	15.3	13.3	4.2
	11時ぐらい	18.3	19.2	16.3	2.0
	11時30分ごろ	9.7	11.1	11.5	-1.8
ふだん(月曜日から金曜日), 1日にテレビやビデオ・DVDをどれくらい見ますか。	12時よりおそい	6.6	9.0	16.0	-9.4
	まったく, または, ほとんど見ない	7.8	5.4	8.5	-0.7
	30分ぐらい	11.3	11.1	11.7	-0.4
	1時間ぐらい	18.6	12.9	12.9	5.7
	1時間30分ぐらい	14.9	15.5	11.3	3.6
	2時間ぐらい	16.8	14.6	12.2	4.6
	2時間30分ぐらい	8.4	11.3	11.7	-3.3
	3時間ぐらい	7.6	8.4	7.9	-0.3
ふだん(月曜日から金曜日), 1日にテレビゲーム(携帯ゲーム, その他)をどれくらいしますか。	3時間以上	14.6	20.8	23.6	-9.0
	まったく, または, ほとんどしない	23.0	13.4	10.9	12.1
	30分ぐらい	18.2	15.0	11.8	6.4
	1時間ぐらい	17.6	15.6	12.1	5.5
	1時間30分ぐらい	12.1	13.5	10.9	1.2
	2時間ぐらい	10.6	10.0	10.8	-0.2
	2時間30分ぐらい	5.5	8.8	9.6	-4.1
	3時間ぐらい	3.8	6.6	5.6	-1.8
ふだん(月曜日から金曜日), 携帯電話や家にあるパソコンでインターネットやメールをしていますか。	3時間以上	9.2	17.2	28.0	-18.8
	携帯電話やパソコンがない, 携帯電話やパソコンがインターネットにつながっていない	13.8	13.6	11.9	1.9
	まったく, ほとんどしていない	31.3	24.5	29.9	1.4
	週1, 2日している	13.8	17.1	11.2	2.6
	週3, 4日している	11.3	10.4	8.8	2.5
	週5, 6日している	8.3	7.9	6.7	1.6
毎日している	21.3	26.3	31.2	-9.9	

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
まちがえた問題やよくわからなかった問題を、できるようにするまで勉強していますか。	している	29.7	13.8	8.5	21.2
	だいたいしている	47.5	44.2	36.9	10.6
	あまりしていない	18.8	33.1	38.4	-19.6
	していない	3.7	8.8	15.7	-12.0
これまで学習したことを使って新しい問題を工夫して解決していますか。	している	31.5	14.9	11.7	19.8
	だいたいしている	39.8	37.3	31.8	8.0
	あまりしていない	23.2	36.2	38.9	-15.7
	していない	5.5	11.6	17.2	-11.7
自分が考えたことをノートに工夫して書いていますか。	している	38.5	24.6	16.3	22.2
	だいたいしている	34.7	34.3	29.7	5.0
	あまりしていない	20.8	28.3	34.7	-13.9
	していない	6.0	12.8	19.2	-13.2
家庭で学習するときに、あなたが困っていることや悩んでいることで、あてはまるものをいくつかもえらんで、回答してください。	何をどのように勉強してよいかわからない	14.7	24.1	30.3	-15.6
	なぜ勉強しなければならないかわからない	6.7	10.4	14.3	-7.6
	他のことが気になって勉強できない	26.4	28.3	30.7	-4.3
	弟や妹などがじゃまをする	17.7	18.3	16.9	0.8
	どう勉強してもわからない	5.0	10.0	20.1	-15.1
	どうしても好きになれない教科がある	34.2	46.2	51.5	-17.3
	勉強する場所がない	0.9	1.1	3.1	-2.2
	勉強を教えてくれる人がいない	3.8	7.6	9.2	-5.4
困ったり、悩んでいることはない	43.9	32.9	26.5	17.4	
	はつきりある	45.2	51.2	49.9	-4.7
	なんとなくある	39.7	34.6	33.5	6.2
	あまりない	9.0	8.4	8.0	1.0
大人になったときの夢や目標がありますか。	ない	6.0	5.8	8.2	-2.2
	そう思う	32.9	29.5	29.1	3.8
	すこしそう思う	44.3	46.9	41.1	3.2
	あまりそう思わない	17.5	18.0	19.9	-2.4
むずかしいことでも失敗をおそれずにちょうせんしていると思いますか。	思わない	5.3	5.6	9.7	-4.4
	そう思う	32.9	24.7	26.4	6.5
	すこしそう思う	36.3	35.1	30.7	5.6
	あまりそう思わない	20.2	25.9	22.9	-2.7
自分にはよいところがあると思いますか。	思わない	10.5	14.1	19.8	-9.3
	家	93.9	94.0	90.9	3.0
	学校	1.6	1.7	2.6	-1.0
	塾	3.6	1.9	2.8	0.8
どこで学校の宿題をやっていますか。	その他	1.0	2.1	3.1	-2.1
	参加している	18.6	18.1	17.3	1.3
	ときどき参加している	36.5	33.7	26.7	9.8
	あまり参加していない	34.7	31.8	33.4	1.3
今すんでいる地域の行事に参加していますか。	参加したことがない	10.1	16.3	21.9	-11.8
	そう思う	50.8	31.8	21.6	29.2
	すこしそう思う	34.3	38.9	37.1	-2.8
	あまりそう思わない	11.2	23.0	28.2	-17.0
授業のはじめに目標(めあて・ねらい)がしめされていたと思いますか。	思わない	3.6	6.1	12.8	-9.2
	国語	5.2	4.4	3.9	1.3
	算数	12.7	7.7	4.0	8.7
	理科	6.1	4.9	6.9	-0.8
一番好きな教科はなんですか。	社会	8.5	7.4	6.9	1.6
	体育	34.3	42.3	43.3	-9.0
	音楽	10.0	8.0	7.1	2.9
	図工	14.3	16.7	18.5	-4.2
	家庭科	8.8	8.0	8.4	0.4
	先生が好き	2.0	2.8	3.7	-1.7
一番好きな教科を選んだ一番近い理由はなんですか。	得意だと思う	34.3	36.2	35.5	-1.2
	成績がよい	5.7	4.3	3.8	1.9
	授業が楽しい	53.1	52.1	49.4	3.7
	よくわかる	4.8	4.4	6.5	-1.7

◎中学校1年生

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
学校が好きだ。	そう思う	51.2	48.3	43.2	8.0
	どちらかといえばそう思う	35.4	35.7	34.1	1.3
	どちらかといえばそう思わない	6.9	7.2	10.6	-3.7
	そう思わない	2.9	4.0	5.4	-2.5
	分からない	3.6	4.9	6.5	-2.9
勉強が好きだ。	そう思う	20.7	9.5	9.7	11.0
	どちらかといえばそう思う	40.1	34.2	27.9	12.2
	どちらかといえばそう思わない	25.7	34.5	34.4	-8.7
	そう思わない	10.5	18.3	22.8	-12.3
	分からない	2.9	3.4	5.0	-2.1
勉強は大切だ。	そう思う	82.8	75.5	66.9	15.9
	どちらかといえばそう思う	15.4	21.6	27.2	-11.8
	どちらかといえばそう思わない	1.2	1.7	3.4	-2.2
	そう思わない	0.3	0.7	1.2	-0.9
	分からない	0.4	0.4	1.0	-0.6
勉強は受験に関係なくても大切だ。	そう思う	72.3	67.2	56.6	15.7
	どちらかといえばそう思う	22.5	24.4	31.1	-8.6
	どちらかといえばそう思わない	2.8	4.2	5.7	-2.9
	そう思わない	1.0	2.9	3.6	-2.6
	分からない	1.4	1.4	2.6	-1.2
勉強すれば、自分はよい成績をとれる。	そう思う	51.1	45.7	42.9	8.2
	どちらかといえばそう思う	37.1	36.0	34.8	2.3
	どちらかといえばそう思わない	4.7	10.6	11.2	-6.5
	そう思わない	1.4	1.7	4.9	-3.5
	分からない	5.6	6.0	6.0	-0.4
勉強すれば、自分の受験に役立つ。	そう思う	86.0	81.8	72.1	13.9
	どちらかといえばそう思う	11.9	14.5	21.2	-9.3
	どちらかといえばそう思わない	0.4	1.6	2.7	-2.3
	そう思わない	0.2	0.3	1.8	-1.6
	分からない	1.4	1.9	2.0	-0.6
勉強すれば、自分の好きな仕事につくことに役立つ。	そう思う	70.5	64.3	64.2	6.3
	どちらかといえばそう思う	22.2	26.5	23.3	-1.1
	どちらかといえばそう思わない	2.8	5.3	6.0	-3.2
	そう思わない	1.2	1.7	2.6	-1.4
	分からない	3.3	2.1	3.8	-0.5
勉強すれば、自分は、分からないことでも自分の力で答えを見つけられるようになる。	そう思う	51.9	48.9	47.5	4.4
	どちらかといえばそう思う	37.7	37.8	35.8	1.9
	どちらかといえばそう思わない	5.5	8.0	10.1	-4.6
	そう思わない	1.1	1.7	2.6	-1.5
	分からない	3.8	3.6	3.8	0.0
勉強すれば、自分のふだんの生活や社会に出て役立つ。	そう思う	71.2	64.6	61.7	9.5
	どちらかといえばそう思う	24.2	26.8	28.0	-3.8
	どちらかといえばそう思わない	2.3	4.3	5.6	-3.3
	そう思わない	0.7	1.1	1.8	-1.1
	分からない	1.5	3.2	2.7	-1.2
勉強すれば、家の人がほめてくれる。	そう思う	36.4	34.2	32.3	4.1
	どちらかといえばそう思う	33.5	31.9	32.7	0.8
	どちらかといえばそう思わない	13.6	14.9	13.8	-0.2
	そう思わない	9.4	9.7	12.8	-3.4
	分からない	7.0	9.2	8.2	-1.2
勉強すれば、先生がほめてくれる。	そう思う	28.1	27.2	24.9	3.2
	どちらかといえばそう思う	35.7	34.2	35.8	-0.1
	どちらかといえばそう思わない	13.9	16.2	14.1	-0.2
	そう思わない	5.2	6.3	8.8	-3.6
	分からない	17.1	16.0	16.3	0.8

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
よい成績がとれるよう、勉強したい。	そう思う	64.8	54.4	48.6	16.2
	どちらかといえばそう思う	27.8	34.4	35.4	-7.6
	どちらかといえばそう思わない	5.0	7.9	8.7	-3.7
	そう思わない	1.8	2.1	4.3	-2.5
	分からない	0.5	1.1	2.7	-2.2
受験に役立つよう、勉強したい。	そう思う	71.6	62.6	56.1	15.5
	どちらかといえばそう思う	23.6	29.7	31.6	-8.0
	どちらかといえばそう思わない	2.9	4.9	7.8	-4.9
	そう思わない	0.9	0.9	2.4	-1.5
	分からない	1.0	2.0	1.9	-0.9
自分の好きな仕事につけるよう、勉強したい。	そう思う	69.8	63.0	59.5	10.3
	どちらかといえばそう思う	24.3	28.8	28.9	-4.6
	どちらかといえばそう思わない	3.0	4.0	7.6	-4.6
	そう思わない	1.0	1.9	1.8	-0.8
	分からない	1.8	2.3	2.0	-0.2
分からないことでも自分の力で答えを見つけられるよう、勉強したい。	そう思う	52.4	47.7	45.1	7.3
	どちらかといえばそう思う	36.4	38.0	36.1	0.3
	どちらかといえばそう思わない	7.5	10.2	11.8	-4.3
	そう思わない	2.0	2.3	3.6	-1.6
	分からない	1.6	1.9	3.2	-1.6
ふだんの生活や社会に出て役立つよう、勉強したい。	そう思う	62.7	51.6	48.5	14.2
	どちらかといえばそう思う	30.1	36.2	37.0	-6.9
	どちらかといえばそう思わない	4.5	8.6	8.0	-3.5
	そう思わない	1.5	1.9	3.4	-1.9
	分からない	1.2	1.7	2.9	-1.7
家の人にほめられるよう、勉強したい。	そう思う	29.0	30.4	30.5	-1.5
	どちらかといえばそう思う	29.5	28.8	29.9	-0.4
	どちらかといえばそう思わない	20.0	20.6	18.0	2.0
	そう思わない	17.7	16.0	16.4	1.3
	分からない	3.8	4.2	5.0	-1.2
先生にほめられるよう、勉強したい。	そう思う	27.2	28.8	27.1	0.1
	どちらかといえばそう思う	30.1	29.9	30.5	-0.4
	どちらかといえばそう思わない	20.6	20.3	19.7	0.9
	そう思わない	17.4	15.3	15.6	1.8
	分からない	4.6	5.4	6.8	-2.2
学校での授業はどの程度分かりますか。	よく分かる	46.7	26.8	20.8	25.9
	だいたい分かる	48.3	57.7	46.2	2.1
	半分くらい分かる	4.4	12.5	22.3	-17.9
	分からないことが多い	0.4	2.6	8.3	-7.9
	ほとんど分からない	0.1	0.1	2.3	-2.2
学校の授業は楽しいですか。	とても楽しい	31.2	28.4	25.6	5.6
	楽しい	45.7	43.1	42.3	3.4
	どちらとも言えない	19.2	22.5	25.0	-5.8
	あまり楽しくない	2.2	3.7	4.4	-2.2
	楽しくない	1.4	2.0	2.5	-1.1
授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか。	その場で先生にたずねる	9.9	11.3	12.8	-2.9
	授業が終わってから先生にたずねに行く	11.5	10.2	9.9	1.6
	友だちにたずねる	36.1	37.4	34.5	1.6
	家の人にたずねる	18.6	19.6	18.0	0.6
	塾や家庭教師の先生にたずねる	5.6	6.0	5.5	0.1
	自分で調べる	16.4	9.7	9.8	6.6
	そのままにしておく	1.9	5.6	9.3	-7.4

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
学校の授業時間以外に、1日にだいたいどのくらい勉強しますか。 〔※土曜日、日曜日は除いてください。塾や家庭教師の時間もふくめます。〕	3時間以上	6.0	3.3	2.9	3.1
	2時間以上、3時間より少ない	16.4	12.6	10.7	5.7
	1時間以上、2時間より少ない	33.0	31.9	25.8	7.2
	30分以上、1時間より少ない	27.1	25.4	26.9	0.2
	30分より少ない	11.4	14.6	18.0	-6.6
	全く、または、ほとんどしない	6.2	12.0	15.6	-9.4
土曜日、日曜日には、合わせてどのくらい勉強しますか。 〔※塾や家庭教師の時間もふくめます。〕	6時間以上	2.1	0.9	1.9	0.2
	4時間以上、6時間より少ない	5.1	4.2	3.4	1.7
	2時間以上、4時間より少ない	18.0	13.2	11.7	6.3
	1時間以上、2時間より少ない	26.5	23.1	20.6	5.9
	1時間より少ない	30.9	31.4	32.7	-1.8
	全く、または、ほとんどしない	17.4	27.2	29.6	-12.2
ふだん家庭でしている勉強は、次のうちどれに近いですか。	宿題がなくてもほとんど毎日する	28.5	14.0	11.5	17.0
	宿題がないときでも時々する	47.2	48.9	41.8	5.4
	宿題があるときだけする	21.0	30.8	36.7	-15.7
	宿題があってもしないことが多い	3.1	5.9	9.1	-6.0
学習塾に通っていますか。 〔※ピアノや絵画・習字などのお稽古やスポーツは除きます。国語・数学(算数)・英語などの教科の勉強をする塾です。〕	通っている	40.1	32.8	29.5	10.6
	通っていない	59.9	66.3	69.5	-9.6
1日にどのくらい睡眠時間をとりますか。 〔※土曜日、日曜日は除いてください。〕	10時間以上	4.6	6.0	8.0	-3.4
	9時間以上、10時間より少ない	18.9	19.6	18.6	0.3
	8時間以上、9時間より少ない	42.2	37.5	33.1	9.1
	7時間以上、8時間より少ない	22.4	21.6	22.1	0.3
	6時間以上、7時間より少ない	9.2	11.3	12.8	-3.6
	6時間より少ない	2.5	3.9	5.1	-2.6
学校に行く前に朝食をとりますか。	必ずとる	86.9	77.1	66.1	20.8
	たいていとる	9.7	16.3	20.9	-11.2
	とらないことが多い	2.7	4.7	9.6	-6.9
	全く、または、ほとんどとらない	0.7	1.9	3.2	-2.5
国語の勉強は好きですか。	好きだ	24.1	16.9	15.6	8.5
	どちらかといえば好きだ	39.0	34.0	36.5	2.5
	どちらかといえば好きではない	27.8	31.9	29.0	-1.2
	好きではない	9.1	17.2	18.7	-9.6
1か月に、何冊くらい本(マンガ・雑誌を除く)を読みますか。	ほとんど読まない	20.2	34.0	40.8	-20.6
	1冊程度	21.2	23.8	21.7	-0.5
	2～3冊	30.4	24.6	23.0	7.4
	4～10冊	18.5	11.7	10.4	8.1
	11～15冊	5.3	2.7	2.1	3.2
	16冊以上	4.4	3.2	1.9	2.5
わからない言葉があるときは国語辞典(電子辞書をふくみます)を使いますか。	よく使う	24.8	18.8	14.8	10.0
	どちらかといえばよく使う	35.1	30.4	28.5	6.6
	どちらかといえば使わない	26.9	30.2	31.0	-4.1
	使わない	13.2	20.6	25.6	-12.4
日常生活の中で、自分の思いや考えを積極的に話していますか。	そうしている	31.7	29.1	23.6	8.1
	どちらかといえばそうしている	41.9	41.0	37.9	4.0
	どちらかといえばそうしていない	20.8	22.1	24.4	-3.6
	そうしていない	5.6	7.7	14.0	-8.4
国語の勉強をしたことで、生活の中で役に立つと感じることはありますか。	ある	60.3	54.0	48.7	11.6
	どちらかといえばある	31.1	34.7	35.5	-4.4
	どちらかといえばない	6.4	8.2	9.8	-3.4
	ない	2.2	3.2	6.0	-3.8
社会の勉強は好きですか。	好きだ	35.5	28.1	27.2	8.3
	どちらかといえば好きだ	29.2	29.1	27.9	1.3
	どちらかといえば好きではない	24.2	25.4	26.6	-2.4
	好きではない	11.0	17.5	18.1	-7.1

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
わからない地名に出会ったら、自分で地図帳などを使って調べますか。	調べる	20.1	18.6	18.6	1.5
	どちらかといえば調べる	30.3	29.5	28.3	2.0
	どちらかといえば調べない	31.4	29.4	28.1	3.3
	調べない	18.1	22.5	24.8	-6.7
歴史上の人物や出来事をつかっている本を読むことは好きですか。	好きだ	40.7	30.2	28.8	11.9
	どちらかといえば好きだ	28.3	28.7	25.8	2.5
	どちらかといえば好きではない	19.0	21.2	24.5	-5.5
	好きではない	12.0	19.9	20.8	-8.8
社会の勉強をしたことによって、新聞やニュースに関心をもつようになりましたか。	関心をもつようになった	31.3	23.5	19.6	11.7
	どちらかといえば関心をもつようになった	41.7	35.8	35.0	6.7
	どちらかといえば関心はない	16.9	22.9	24.4	-7.5
	関心はない	10.1	17.8	20.9	-10.8
社会の勉強をしたことで、生活の中で役に立つと感じることはありますか。	ある	48.6	44.6	38.7	9.9
	どちらかといえばある	33.5	32.4	32.5	1.0
	どちらかといえばない	12.4	16.5	19.9	-7.5
	ない	5.4	6.6	8.8	-3.4
数学(算数)の勉強は好きですか。	好きだ	45.7	32.4	24.4	21.3
	どちらかといえば好きだ	28.9	30.1	27.4	1.5
	どちらかといえば好きではない	16.6	21.1	25.5	-8.9
	好きではない	8.8	16.5	22.5	-13.7
数学(算数)の時間に、いろいろな考え方を発表し合うことは好きですか。	好きだ	26.0	19.9	13.4	12.6
	どちらかといえば好きだ	32.6	26.2	21.6	11.0
	どちらかといえば好きではない	29.2	31.4	35.8	-6.6
	好きではない	12.2	22.5	29.1	-16.9
問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか。	考えようとしている	34.8	27.7	19.3	15.5
	どちらかといえば考えようとしている	41.1	36.2	36.6	4.5
	どちらかといえば考えようとしていない	17.9	24.1	26.6	-8.7
	考えようとしていない	6.3	12.0	17.3	-11.0
問題が解けなかったとき、なぜ解けなかったかをふり返って考えようとしていますか。	考えようとしている	43.4	28.2	21.0	22.4
	どちらかといえば考えようとしている	37.3	40.5	39.5	-2.2
	どちらかといえば考えようとしていない	14.1	21.2	23.0	-8.9
	考えようとしていない	5.1	10.0	16.3	-11.2
数学(算数)の勉強をしたことで、生活の中で役に立つと感じることはありますか。	ある	75.2	68.3	59.0	16.2
	どちらかといえばある	20.6	24.4	28.8	-8.2
	どちらかといえばない	2.9	5.0	7.9	-5.0
	ない	1.3	2.3	4.2	-2.9
理科の勉強は好きですか。	好きだ	36.3	29.4	35.7	0.6
	どちらかといえば好きだ	34.6	41.4	34.5	0.1
	どちらかといえば好きではない	20.7	18.1	19.6	1.1
	好きではない	8.4	11.2	10.1	-1.7
理科の勉強で、実験や観察をすることは好きですか。	好きだ	60.7	59.7	57.4	3.3
	どちらかといえば好きだ	24.7	25.4	27.7	-3.0
	どちらかといえば好きではない	9.5	8.5	8.8	0.7
	好きではない	5.1	6.4	5.8	-0.7
理科の勉強で、分からないことや興味・関心をもったことについて自分から調べようとしていますか。	調べようとしている	22.3	18.9	18.4	3.9
	どちらかといえば調べようとしている	38.9	34.0	33.0	5.9
	どちらかといえば調べようとしていない	27.6	29.7	30.8	-3.2
	調べようとしていない	11.1	17.5	17.6	-6.5
自然や理科についての読み物や図かん、テレビ番組などをよく見えていますか。	よく見ている	21.4	19.9	23.3	-1.9
	どちらかといえばよく見えている	27.5	26.8	28.0	-0.5
	どちらかといえば見ていない	30.6	31.8	27.7	2.9
	見ていない	20.4	21.5	20.9	-0.5
理科の勉強をしたことで、生活の中で役に立つと感じることはありますか。	ある	35.1	33.4	31.8	3.3
	どちらかといえばある	37.3	33.4	30.9	6.4
	どちらかといえばない	19.2	20.6	23.9	-4.7
	ない	8.5	12.6	12.9	-4.4

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
朝と夜、歯みがきをしていますか。	している	90.0	88.3	84.2	5.8
	朝だけ	2.8	3.3	5.3	-2.5
	夜だけ	7.1	8.2	9.6	-2.5
	していない	0.0	0.3	0.5	-0.5
学校の給食は、どれくらい食べていますか。	いつも残さず食べている	70.6	70.3	65.6	5.0
	だいたい残さず食べている	24.2	25.8	27.4	-3.2
	残すことが多い	4.1	3.3	5.7	-1.6
	ほとんど毎日残している	1.0	0.6	0.8	0.2
ふだん(月曜日から金曜日)、学校に登校する日には、何時に起きますか。	6時より早い	6.3	5.2	8.6	-2.3
	6時ぐらい	17.6	16.9	17.1	0.5
	6時30分ごろ	33.9	29.4	25.8	8.1
	7時ぐらい	38.3	42.4	38.6	-0.3
	7時30分ごろ	3.1	4.6	6.7	-3.6
	7時30分よりおそい	0.6	1.4	2.6	-2.0
ふだん(土曜日と日曜日)、学校に登校しない日には、何時に起きますか。	6時より早い	6.3	6.3	8.4	-2.1
	6時ぐらい	6.0	6.3	5.6	0.4
	6時30分ごろ	7.2	5.4	5.6	1.6
	7時ぐらい	15.1	11.9	12.3	2.8
	7時30分ごろ	12.2	9.7	9.0	3.2
	8時ぐらい	26.6	26.1	22.0	4.6
	9時ぐらい	16.8	21.6	18.1	-1.3
	10時ぐらい	5.0	7.0	9.1	-4.1
	10時よりおそい	4.5	5.4	9.4	-4.9
ふだん(日曜日から木曜日)、学校に登校する日の前日には、何時に寝ますか。	9時より早い	2.1	1.6	4.0	-1.9
	9時ぐらい	8.3	8.2	9.8	-1.5
	9時30分ごろ	11.4	12.0	8.3	3.1
	10時ぐらい	25.9	22.3	19.7	6.2
	10時30分ごろ	22.1	20.1	18.7	3.4
	11時ぐらい	16.1	17.0	16.8	-0.7
	11時30分ごろ	6.5	8.2	8.9	-2.4
	12時ぐらい	4.4	6.3	6.9	-2.5
	12時よりおそい	3.1	4.3	6.4	-3.3
ふだん(金曜日と土曜日)、学校に登校しない日の前日には、何時に寝ますか。	9時より早い	1.6	1.6	3.0	-1.4
	9時ぐらい	5.1	4.3	5.1	0.0
	9時30分ごろ	5.8	4.4	3.6	2.2
	10時ぐらい	18.1	16.6	14.1	4.0
	10時30分ごろ	17.3	14.6	13.0	4.3
	11時ぐらい	22.0	18.6	18.8	3.2
	11時30分ごろ	12.2	14.2	11.4	0.8
	12時ぐらい	9.1	11.3	11.6	-2.5
	12時よりおそい	8.7	14.0	18.8	-10.1
ふだん(月曜日から金曜日)、1日にテレビやビデオ・DVDをどれくらい見ますか。	まったく、または、ほとんど見ない	5.5	4.4	7.4	-1.9
	30分ぐらい	9.4	9.2	8.1	1.3
	1時間ぐらい	19.3	14.0	14.4	4.9
	1時間30分ぐらい	15.3	11.3	11.7	3.6
	2時間ぐらい	17.9	16.6	14.3	3.6
	2時間30分ぐらい	9.9	11.6	9.3	0.6
	3時間ぐらい	8.2	10.5	9.6	-1.4
	3時間以上	14.5	22.3	24.7	-10.2
ふだん(月曜日から金曜日)、1日にテレビゲーム(携帯ゲーム、その他)をどれくらいしますか。	まったく、または、ほとんどしない	15.6	10.0	8.8	6.8
	30分ぐらい	16.8	13.8	10.8	6.0
	1時間ぐらい	19.3	12.6	13.0	6.3
	1時間30分ぐらい	12.4	11.9	9.9	2.5
	2時間ぐらい	12.8	14.9	12.1	0.7
	2時間30分ぐらい	6.4	9.3	10.2	-3.8
	3時間ぐらい	4.5	8.9	7.6	-3.1
	3時間以上	12.1	18.6	26.9	-14.8

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
ふだん(月曜日から金曜日)、携帯電話や家にあるパソコンでインターネットやメールをしていますか。	携帯電話やパソコンがない、携帯電話やパソコンがインターネットにつながっていない	8.6	9.7	8.1	0.5
	まったく、ほとんどしていない	13.7	13.0	15.3	-1.6
	週1、2日している	8.5	7.6	8.3	0.2
	週3、4日している	9.9	7.6	10.0	-0.1
	週5、6日している	10.5	10.5	5.9	4.6
	毎日している	48.6	51.4	51.6	-3.0
まちがえた問題やよくわからなかった問題を、できるようにするまで勉強していますか。	している	26.9	14.0	9.6	17.3
	だいたいしている	50.6	46.3	38.0	12.6
	あまりしていない	18.6	29.4	36.9	-18.3
	していない	3.8	10.2	14.5	-10.7
これまで学習したことを使って新しい問題を工夫して解決していますか。	している	28.7	15.6	11.4	17.3
	だいたいしている	43.3	37.4	30.9	12.4
	あまりしていない	21.9	33.7	36.8	-14.9
	していない	6.0	13.2	20.2	-14.2
自分が考えたことをノートに工夫して書いていますか。	している	38.8	28.4	21.4	17.4
	だいたいしている	34.1	32.5	32.4	1.7
	あまりしていない	21.3	27.9	29.5	-8.2
	していない	5.6	10.9	16.1	-10.5
家庭で学習するときに、あなたが困っていることや悩んでいることで、あてはまるものをいくつかもえらんで、回答してください。	何をどのように勉強してよいかわからない	24.2	32.4	38.0	-13.8
	なぜ勉強しなければならないかわからない	4.7	4.9	8.6	-3.9
	他のことが気になって勉強できない	23.9	21.6	28.5	-4.6
	弟や妹などがじゃまをする	14.7	14.6	14.3	0.4
	どう勉強してもわからない	5.6	11.6	21.3	-15.7
	どうしても好きになれない教科がある	39.5	50.3	53.7	-14.2
	勉強する場所がない	1.5	1.7	3.3	-1.8
	勉強を教えてくれる人がいない	5.6	7.2	10.2	-4.6
	困ったり、悩んでいることはない	38.4	30.8	23.9	14.5
大人になったときの夢や目標がありますか。	はっきりある	43.6	45.6	50.9	-7.3
	なんとなくある	42.0	38.3	34.5	7.5
	あまりない	9.3	8.9	7.3	2.0
	ない	5.0	7.0	6.8	-1.8
難しいことでも失敗を恐れずに挑戦していますか。	そう思う	27.7	31.4	27.1	0.6
	少しそう思う	47.6	43.7	45.3	2.3
	あまりそう思わない	19.7	19.2	20.1	-0.4
	思わない	4.8	5.3	6.6	-1.8
自分にはよいところがあると思いますか。	そう思う	30.2	26.9	24.0	6.2
	少しそう思う	39.1	38.3	35.7	3.4
	あまりそう思わない	21.5	20.6	24.6	-3.1
	思わない	9.0	14.0	15.1	-6.1
どこで学校の宿題をやっていますか。	家	97.7	97.0	94.1	3.6
	学校	0.4	1.6	1.8	-1.4
	塾	1.2	1.3	1.6	-0.4
	その他	0.5	0.0	1.8	-1.3
今すんでいる地域の行事に参加していますか。	参加している	13.7	10.9	12.1	1.6
	時々参加している	36.0	34.8	29.1	6.9
	あまり参加していない	39.8	37.7	37.2	2.6
	参加したことがない	10.3	16.5	20.8	-10.5
授業のはじめに目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか。	そう思う	47.0	32.2	22.4	24.6
	少しそう思う	39.3	43.7	43.9	-4.6
	あまりそう思わない	10.2	18.9	21.5	-11.3
	思わない	3.2	4.7	11.4	-8.2

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
一番好きな教科はなんですか。	国語	4.3	3.4	4.5	-0.2
	数学(算数)	16.9	12.2	8.2	8.7
	理科	5.8	5.2	7.9	-2.1
	社会	10.4	8.0	8.2	2.2
	体育	30.4	45.0	43.3	-12.9
	音楽	11.3	7.0	8.4	2.9
	美術	8.2	8.0	9.0	-0.8
	技術	2.4	2.4	1.8	0.6
	家庭科	4.7	5.0	4.6	0.1
	英語	5.5	3.4	3.2	2.3
	一番好きな教科を選んだ一番近い理由はなんですか。	先生が好き	0.5	1.0	2.1
得意だと思う		45.2	43.8	44.3	0.9
成績がよい		5.1	5.3	4.2	0.9
授業が楽しい		41.2	41.3	40.5	0.7
よくわかる		7.8	7.9	7.9	-0.1

⑦中学校2年生

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
学校が好きだ。	そう思う	45.2	38.0	33.9	11.3
	どちらかといえばそう思う	37.0	38.9	34.2	2.8
	どちらかといえばそう思わない	9.3	13.0	15.7	-6.4
	そう思わない	5.5	6.6	11.4	-5.9
	分からない	3.2	3.5	4.9	-1.7
勉強が好きだ。	そう思う	11.8	4.3	4.2	7.6
	どちらかといえばそう思う	30.4	20.5	14.6	15.8
	どちらかといえばそう思わない	33.9	37.9	34.5	-0.6
	そう思わない	20.3	34.0	41.7	-21.4
	分からない	3.6	3.3	5.1	-1.5
勉強は大切だ。	そう思う	76.0	67.6	57.3	18.7
	どちらかといえばそう思う	21.0	26.7	33.1	-12.1
	どちらかといえばそう思わない	1.3	4.2	5.1	-3.8
	そう思わない	0.6	0.4	2.1	-1.5
	分からない	1.0	1.0	2.3	-1.3
勉強は受験に関係なくても大切だ。	そう思う	58.6	49.6	43.5	15.1
	どちらかといえばそう思う	30.8	34.7	37.0	-6.2
	どちらかといえばそう思わない	5.9	8.7	8.6	-2.7
	そう思わない	2.5	4.2	6.4	-3.9
	分からない	2.2	2.9	4.4	-2.2
勉強すれば、自分はよい成績をとれる。	そう思う	49.9	37.1	35.4	14.5
	どちらかといえばそう思う	37.3	40.3	34.4	2.9
	どちらかといえばそう思わない	6.1	11.6	15.7	-9.6
	そう思わない	1.7	3.2	6.1	-4.4
	分からない	5.0	7.8	8.3	-3.3
勉強すれば、自分の受験に役立つ。	そう思う	87.2	81.1	71.0	16.2
	どちらかといえばそう思う	10.8	15.8	22.1	-11.3
	どちらかといえばそう思わない	0.6	1.6	3.5	-2.9
	そう思わない	0.2	0.3	0.9	-0.7
	分からない	1.1	1.3	2.4	-1.3
勉強すれば、自分の好きな仕事につくことに役立つ。	そう思う	65.0	58.7	58.1	6.9
	どちらかといえばそう思う	24.9	29.8	26.3	-1.4
	どちらかといえばそう思わない	4.1	5.8	8.0	-3.9
	そう思わない	1.5	1.7	2.3	-0.8
	分からない	4.4	4.0	5.1	-0.7
勉強すれば、自分は、分からないことでも自分の力で答えを見つけられるようになる。	そう思う	41.4	35.7	38.7	2.7
	どちらかといえばそう思う	41.2	40.9	35.9	5.3
	どちらかといえばそう思わない	9.2	12.0	13.3	-4.1
	そう思わない	2.0	4.2	4.5	-2.5
	分からない	6.1	7.2	7.5	-1.4
勉強すれば、自分のふだんの生活や社会に出て役立つ。	そう思う	59.3	53.2	49.7	9.6
	どちらかといえばそう思う	31.7	34.5	34.0	-2.3
	どちらかといえばそう思わない	5.3	6.5	9.1	-3.8
	そう思わない	1.4	2.3	2.1	-0.7
	分からない	2.2	3.3	5.0	-2.8
勉強すれば、家の人がほめてくれる。	そう思う	34.3	31.5	33.0	1.3
	どちらかといえばそう思う	32.7	30.6	28.5	4.2
	どちらかといえばそう思わない	13.7	14.9	15.9	-2.2
	そう思わない	11.6	14.5	13.4	-1.8
	分からない	7.7	8.5	9.0	-1.3
勉強すれば、先生がほめてくれる。	そう思う	24.9	22.4	22.7	2.2
	どちらかといえばそう思う	33.4	29.8	31.2	2.2
	どちらかといえばそう思わない	18.1	18.6	18.9	-0.8
	そう思わない	10.1	12.4	12.2	-2.1
	分からない	13.5	16.8	14.8	-1.3

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
よい成績がとれるよう、勉強したい。	そう思う	60.1	53.3	41.7	18.4
	どちらかといえばそう思う	31.6	35.0	38.0	-6.4
	どちらかといえばそう思わない	4.7	6.5	11.3	-6.6
	そう思わない	2.1	2.5	5.6	-3.5
	分からない	1.5	2.7	3.1	-1.6
受験に役立つよう、勉強したい。	そう思う	72.4	65.5	53.3	19.1
	どちらかといえばそう思う	23.9	28.8	33.5	-9.6
	どちらかといえばそう思わない	1.5	2.9	7.8	-6.3
	そう思わない	1.1	1.0	2.8	-1.7
	分からない	1.1	1.9	2.5	-1.4
自分の好きな仕事につけるよう、勉強したい。	そう思う	63.2	57.7	50.8	12.4
	どちらかといえばそう思う	27.3	29.3	32.6	-5.3
	どちらかといえばそう思わない	4.8	6.8	8.8	-4.0
	そう思わない	1.8	1.9	3.4	-1.6
	分からない	2.9	4.3	4.4	-1.5
分からないことでも自分の力で答えを見つけられるよう、勉強したい。	そう思う	45.3	38.0	34.2	11.1
	どちらかといえばそう思う	38.2	37.4	38.8	-0.6
	どちらかといえばそう思わない	11.1	16.8	16.4	-5.3
	そう思わない	3.6	4.2	5.6	-2.0
	分からない	1.9	3.6	4.8	-2.9
ふだんの生活や社会に出て役立つよう、勉強したい。	そう思う	54.6	44.4	37.7	16.9
	どちらかといえばそう思う	33.9	36.6	37.4	-3.5
	どちらかといえばそう思わない	7.5	12.0	14.4	-6.9
	そう思わない	2.6	3.8	5.1	-2.5
	分からない	1.5	3.2	5.2	-3.7
家の人にほめられるよう、勉強したい。	そう思う	25.9	26.4	24.0	1.9
	どちらかといえばそう思う	25.6	24.3	26.4	-0.8
	どちらかといえばそう思わない	20.4	20.4	21.0	-0.6
	そう思わない	24.3	23.1	22.0	2.3
	分からない	3.9	5.8	6.4	-2.5
先生にほめられるよう、勉強したい。	そう思う	21.4	21.1	19.1	2.3
	どちらかといえばそう思う	26.0	23.8	26.7	-0.7
	どちらかといえばそう思わない	23.1	24.0	23.2	-0.1
	そう思わない	24.7	24.3	22.7	2.0
	分からない	4.9	6.5	7.9	-3.0
学校での授業はどの程度分かりますか。	よく分かる	26.9	11.3	8.7	18.2
	だいたい分かる	60.3	53.2	36.9	23.4
	半分くらい分かる	11.0	27.6	34.0	-23.0
	分からないことが多い	1.4	6.8	16.4	-15.0
	ほとんど分からない	0.3	1.0	3.9	-3.6
学校の授業は楽しいですか。	とても楽しい	18.7	15.9	14.1	4.6
	楽しい	45.0	39.7	35.2	9.8
	どちらとも言えない	28.2	32.4	35.2	-7.0
	あまり楽しくない	4.4	6.5	7.6	-3.2
	楽しくない	3.7	5.5	7.7	-4.0
授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか。	その場で先生にたずねる	8.0	7.2	8.6	-0.6
	授業が終わってから先生にたずねに行く	9.0	5.9	4.1	4.9
	友だちにたずねる	40.3	42.5	42.6	-2.3
	家の人にたずねる	12.3	9.1	9.1	3.2
	塾や家庭教師の先生にたずねる	11.0	14.2	11.3	-0.3
	自分で調べる	15.5	13.3	7.5	8.0
	そのままにしておく	4.0	7.7	16.5	-12.5

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
学校の授業時間以外に、1日にだいたいどのくらい勉強しますか。 〔※土曜日、日曜日は除いてください。塾や家庭教師の時間もふくめます。〕	3時間以上	5.1	3.9	2.4	2.7
	2時間以上、3時間より少ない	21.9	17.5	11.7	10.2
	1時間以上、2時間より少ない	32.6	32.7	27.9	4.7
	30分以上、1時間より少ない	23.6	22.7	20.9	2.7
	30分より少ない	10.5	12.3	18.5	-8.0
	全く、または、ほとんどしない	6.2	11.0	18.4	-12.2
土曜日、日曜日には、合わせてどのくらい勉強しますか。 〔※塾や家庭教師の時間もふくめます。〕	6時間以上	3.3	1.7	1.1	2.2
	4時間以上、6時間より少ない	6.3	5.6	5.1	1.2
	2時間以上、4時間より少ない	25.1	21.4	12.7	12.4
	1時間以上、2時間より少ない	28.7	26.2	25.5	3.2
	1時間より少ない	23.3	25.6	27.1	-3.8
	全く、または、ほとんどしない	13.3	19.5	28.3	-15.0
ふだん家庭でしている勉強は、次のうちどれに近いですか。	宿題がなくてもほとんど毎日する	24.3	17.9	11.2	13.1
	宿題がないときでも時々する	46.2	43.6	34.8	11.4
	宿題があるときだけする	27.4	33.2	41.9	-14.5
	宿題があってもしないことが多い	1.9	5.1	11.7	-9.8
学習塾に通っていますか。 〔※ピアノや絵画・習字などのお稽古やスポーツは除きます。国語・数学・英語などの教科の勉強をする塾です。〕	通っている	52.1	41.3	33.5	18.6
	通っていない	47.7	57.8	66.0	-18.3
1日にどのくらい睡眠時間をとりますか。 〔※土曜日、日曜日は除いてください。〕	10時間以上	1.5	2.9	4.5	-3.0
	9時間以上、10時間より少ない	6.9	9.1	8.0	-1.1
	8時間以上、9時間より少ない	26.6	25.9	23.9	2.7
	7時間以上、8時間より少ない	38.3	35.1	30.2	8.1
	6時間以上、7時間より少ない	20.8	20.7	20.6	0.2
	6時間より少ない	5.9	6.4	12.6	-6.7
学校に行く前に朝食をとりますか。	必ずとる	85.1	76.9	63.4	21.7
	たいていとる	10.3	17.2	20.4	-10.1
	とらないことが多い	3.2	3.6	9.9	-6.7
	全く、または、ほとんどとらない	1.4	2.3	6.0	-4.6
国語の勉強は好きですか。	好きだ	28.1	22.4	19.1	9.0
	どちらかといえば好きだ	37.6	39.2	38.3	-0.7
	どちらかといえば好きではない	24.9	25.6	27.0	-2.1
	好きではない	9.5	12.7	15.4	-5.9
1か月に、何冊くらい本(マンガ・雑誌を除く)を読みますか。	ほとんど読まない	32.5	38.4	47.7	-15.2
	1冊程度	22.8	26.6	20.0	2.8
	2～3冊	26.5	20.8	19.0	7.5
	4～10冊	12.2	10.0	8.6	3.6
	11～15冊	2.9	1.3	1.9	1.0
	16冊以上	3.2	2.7	2.6	0.6
わからない言葉があるときは国語辞典(電子辞書をふくみます)を使いますか。	よく使う	20.5	15.2	10.9	9.6
	どちらかといえばよく使う	32.8	24.9	22.4	10.4
	どちらかといえば使わない	28.0	33.7	30.6	-2.6
	使わない	18.6	26.2	36.1	-17.5
日常生活の中で、自分の思いや考えを積極的に話していますか。	そうしている	31.8	30.5	24.8	7.0
	どちらかといえばそうしている	40.1	40.0	33.7	6.4
	どちらかといえばそうしていない	21.1	20.4	25.2	-4.1
	そうしていない	7.0	8.8	16.2	-9.2
国語の勉強をしたことで、生活の中で役に立つと感じることはありますか。	ある	54.1	48.8	40.4	13.7
	どちらかといえばある	33.4	36.4	41.0	-7.6
	どちらかといえばない	8.3	9.7	11.3	-3.0
	ない	4.2	4.8	7.2	-3.0
社会の勉強は好きですか。	好きだ	32.6	25.3	23.1	9.5
	どちらかといえば好きだ	31.4	28.8	28.6	2.8
	どちらかといえば好きではない	22.1	24.4	25.4	-3.3
	好きではない	13.9	21.4	22.8	-8.9

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
わからない地名に出会ったら、自分で地図帳などを使って調べますか。	調べる	16.0	12.3	12.8	3.2
	どちらかといえば調べる	24.2	23.0	21.2	3.0
	どちらかといえば調べない	32.2	30.3	29.7	2.5
	調べない	27.6	34.2	36.3	-8.7
歴史上の人物や出来事をつかっている本を読むことは好きですか。	好きだ	33.5	28.2	24.8	8.7
	どちらかといえば好きだ	29.4	27.6	25.2	4.2
	どちらかといえば好きではない	20.1	20.2	22.9	-2.8
	好きではない	17.1	23.8	26.9	-9.8
社会の勉強をしたことによって、新聞やニュースに関心をもつようになりましたか。	関心をもつようになった	25.3	22.3	16.0	9.3
	どちらかといえば関心をもつようになった	38.2	30.3	33.0	5.2
	どちらかといえば関心はない	22.0	23.6	24.7	-2.7
	関心はない	14.5	23.7	26.3	-11.8
社会の勉強をしたことで、生活の中で役に立つと感じることはありますか。	ある	39.5	30.9	28.2	11.3
	どちらかといえばある	34.0	33.8	34.7	-0.7
	どちらかといえばない	16.9	20.4	21.1	-4.2
	ない	9.6	14.7	15.9	-6.3
数学の勉強は好きですか。	好きだ	33.5	21.7	15.4	18.1
	どちらかといえば好きだ	29.1	27.3	24.7	4.4
	どちらかといえば好きではない	22.4	27.3	25.4	-3.0
	好きではない	15.0	23.4	34.5	-19.5
数学の時間に、いろいろな考え方を発表し合うことは好きですか。	好きだ	22.4	13.4	8.8	13.6
	どちらかといえば好きだ	30.9	24.7	20.8	10.1
	どちらかといえば好きではない	28.8	34.8	32.8	-4.0
	好きではない	17.8	26.9	37.5	-19.7
問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか。	考えようとしている	21.7	13.7	11.0	10.7
	どちらかといえば考えようとしている	38.1	31.4	24.8	13.3
	どちらかといえば考えようとしていない	26.3	32.7	32.5	-6.2
	考えようとしていない	13.8	22.1	31.7	-17.9
問題が解けなかったとき、なぜ解けなかったかをふり返って考えようとしていますか。	考えようとしている	43.6	25.4	14.8	28.8
	どちらかといえば考えようとしている	38.1	42.2	32.8	5.3
	どちらかといえば考えようとしていない	12.4	20.1	26.8	-14.4
	考えようとしていない	5.9	12.1	25.5	-19.6
数学の勉強をしたことで、生活の中で役に立つと感じることはありますか。	ある	57.1	51.0	45.3	11.8
	どちらかといえばある	29.1	32.4	31.8	-2.7
	どちらかといえばない	8.9	10.3	12.9	-4.0
	ない	4.9	6.2	9.8	-4.9
理科の勉強は好きですか。	好きだ	34.5	29.0	27.2	7.3
	どちらかといえば好きだ	36.1	34.8	36.1	0.0
	どちらかといえば好きではない	19.1	22.5	21.1	-2.0
	好きではない	10.3	13.4	15.5	-5.2
理科の勉強で、実験や観察をすることは好きですか。	好きだ	56.8	52.7	53.0	3.8
	どちらかといえば好きだ	28.1	27.3	28.4	-0.3
	どちらかといえば好きではない	9.3	11.6	9.8	-0.5
	好きではない	5.8	8.2	8.7	-2.9
理科の勉強で、分からないことや興味・関心をもったことについて自分から調べようとしていますか。	調べようとしている	20.5	15.8	13.4	7.1
	どちらかといえば調べようとしている	34.7	27.6	27.7	7.0
	どちらかといえば調べようとしていない	29.1	35.3	32.7	-3.6
	調べようとしていない	15.7	21.2	26.2	-10.5
自然や理科についての読み物や図かん、テレビ番組などをよく見えていますか。	よく見えている	19.2	19.2	19.9	-0.7
	どちらかといえばよく見えている	22.6	22.5	26.1	-3.5
	どちらかといえば見ていない	32.0	30.3	26.9	5.1
	見ていない	26.1	27.7	27.1	-1.0
理科の勉強をしたことで、生活の中で役に立つと感じることはありますか。	ある	30.7	23.6	23.9	6.8
	どちらかといえばある	34.8	34.1	34.4	0.4
	どちらかといえばない	21.9	25.0	22.5	-0.6
	ない	12.5	17.2	18.9	-6.4

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
英語の勉強は好きですか。	好きだ	42.1	24.9	15.4	26.7
	どちらかといえば好きだ	29.2	30.6	23.3	5.9
	どちらかといえば好きではない	17.0	24.0	26.5	-9.5
	好きではない	11.7	20.4	34.7	-23.0
テレビやラジオで英語番組を見たり聞いたりするなど、家庭で英語の勉強をすることはありますか。	ある	30.7	20.8	12.2	18.5
	どちらかといえばある	24.6	28.0	21.5	3.1
	どちらかといえばない	23.2	22.4	24.4	-1.2
	ない	21.5	28.6	41.7	-20.2
英語の辞書(電子辞書をふくみます)を使いますか。	よく使う	24.2	14.0	8.6	15.6
	どちらかといえばよく使う	22.0	18.2	12.6	9.4
	どちらかといえばあまり使わない	18.7	21.2	20.1	-1.4
	あまり使わない	35.1	46.4	58.6	-23.5
学校の廊下で外国人講師の先生に英語で話しかけられたら、あなたはどうしますか。	積極的に英語で会話しようとする	19.4	13.2	8.1	11.3
	なんとか英語で会話しようとする	66.6	64.5	55.0	11.6
	日本語で会話しようとする	8.8	16.2	20.5	-11.7
	黙ってしまう	5.1	6.1	16.1	-11.0
英語の勉強をしたことで、生活の中で役に立つと感じることはありますか。	ある	61.3	49.4	41.5	19.8
	どちらかといえばある	23.5	29.5	31.1	-7.6
	どちらかといえばない	9.4	10.5	12.4	-3.0
	ない	5.9	10.3	14.9	-9.0
朝と夜、歯みがきをしていますか。	している	88.9	89.2	82.1	6.8
	朝だけ	2.9	2.9	5.6	-2.7
	夜だけ	7.9	7.4	10.7	-2.8
	していない	0.2	0.3	0.8	-0.6
学校の給食は、どれくらい食べていますか。	いつも残さず食べている	62.0	57.7	59.3	2.7
	だいたい残さず食べている	30.6	33.1	30.6	0.0
	残すことが多い	5.8	6.6	7.1	-1.3
	ほとんど毎日残している	1.5	2.3	2.1	-0.6
ふだん(月曜日から金曜日)、学校に登校する日には、何時に起きますか。	6時より早い	7.4	8.1	9.7	-2.3
	6時ぐらい	16.3	14.2	14.6	1.7
	6時30分ごろ	27.0	22.8	21.4	5.6
	7時ぐらい	40.6	43.6	36.6	4.0
	7時30分ごろ	7.1	8.1	11.6	-4.5
	7時30分よりおそい	1.5	2.6	5.1	-3.6
ふだん(土曜日と日曜日)、学校に登校しない日には、何時に起きますか。	6時より早い	5.6	4.9	9.1	-3.5
	6時ぐらい	5.8	7.7	6.1	-0.3
	6時30分ごろ	5.4	5.9	5.0	0.4
	7時ぐらい	12.7	9.5	9.9	2.8
	7時30分ごろ	9.7	7.9	7.1	2.6
	8時ぐらい	25.4	24.6	21.0	4.4
	9時ぐらい	20.3	21.5	18.9	1.4
	10時ぐらい	7.3	9.0	9.2	-1.9
	10時よりおそい	7.7	8.7	12.7	-5.0
	ふだん(日曜日から木曜日)、学校に登校する日の前日には、何時に寝ますか。	9時より早い	0.6	0.4	2.4
9時ぐらい		2.5	4.2	4.1	-1.6
9時30分ごろ		3.5	4.5	3.4	0.1
10時ぐらい		13.7	11.7	11.6	2.1
10時30分ごろ		17.5	12.9	14.1	3.4
11時ぐらい		23.6	23.7	19.6	4.0
11時30分ごろ		15.7	16.9	13.8	1.9
12時ぐらい		13.8	13.6	14.5	-0.7
12時よりおそい		9.1	11.8	15.5	-6.4

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
ふだん(金曜日と土曜日)、学校に登校しない日の前日には、何時に寝ますか。	9時より早い	0.5	0.4	1.5	-1.0
	9時ぐらい	1.7	2.6	3.4	-1.7
	9時30分ごろ	2.4	2.7	1.6	0.8
	10時ぐらい	8.4	8.5	7.8	0.6
	10時30分ごろ	10.4	8.2	7.0	3.4
	11時ぐらい	23.6	18.9	17.0	6.6
	11時30分ごろ	15.9	16.8	11.8	4.1
	12時ぐらい	18.2	17.3	15.2	3.0
	12時よりおそい	18.9	24.1	33.7	-14.8
ふだん(月曜日から金曜日)、1日にテレビやビデオ・DVDをどれくらい見ますか。	まったく、または、ほとんど見ない	7.4	7.4	8.0	-0.6
	30分くらい	11.0	6.5	7.4	3.6
	1時間くらい	20.6	16.9	14.1	6.5
	1時間30分くらい	13.3	12.4	10.2	3.1
	2時間くらい	18.2	18.4	15.8	2.4
	2時間30分くらい	7.4	11.7	8.4	-1.0
	3時間くらい	8.3	7.4	8.2	0.1
	3時間以上	13.8	19.1	27.1	-13.3
ふだん(月曜日から金曜日)、1日にテレビゲーム(携帯ゲーム、その他)をどれくらい見ますか。	まったく、または、ほとんどしない	19.5	13.6	8.9	10.6
	30分くらい	15.2	11.0	8.4	6.8
	1時間くらい	17.8	12.6	11.2	6.6
	1時間30分くらい	10.6	10.5	9.6	1.0
	2時間くらい	12.7	16.3	13.2	-0.5
	2時間30分くらい	6.2	8.5	7.8	-1.6
	3時間くらい	5.2	7.8	8.0	-2.8
	3時間以上	12.7	19.4	32.0	-19.3
ふだん(月曜日から金曜日)、携帯電話や家にあるパソコンでインターネットやメールをしていますか。	携帯電話やパソコンがない、携帯電話やパソコンがインターネットにつながっていない	4.6	4.5	5.4	-0.8
	まったく、ほとんどしていない	11.2	10.7	11.6	-0.4
	週1、2日している	6.9	6.8	6.4	0.5
	週3、4日している	7.8	7.9	8.7	-0.9
	週5、6日している	9.4	8.5	7.1	2.3
	毎日している	60.0	61.1	60.0	0.0
	している	20.9	9.2	5.3	15.6
まちがえた問題やよくわからなかった問題を、できるようにするまで勉強していますか。	だいたいしている	51.9	47.1	28.9	23.0
	あまりしていない	22.4	34.7	40.5	-18.1
	していない	4.7	8.7	24.2	-19.5
	している	22.4	10.8	6.5	15.9
これまで学習したことを使って新しい問題を工夫して解決していますか。	だいたいしている	37.7	32.1	18.9	18.8
	あまりしていない	28.9	37.4	42.5	-13.6
	していない	10.9	19.4	31.1	-20.2
自分が考えたことをノートに工夫して書いていますか。	している	33.1	27.7	16.3	16.8
	だいたいしている	30.2	29.5	25.6	4.6
	あまりしていない	25.2	27.6	32.2	-7.0
	していない	11.3	14.6	24.9	-13.6
家庭で学習するときに、あなたが困っていることや悩んでいることで、あてはまるものをいくつかもえらんで、回答してください。	何をどのように勉強してよいかわからない	38.4	51.9	58.3	-19.9
	なぜ勉強しなければならないのかわからない	7.4	9.5	15.2	-7.8
	他のことが気になって勉強できない	31.4	35.8	38.1	-6.7
	弟や妹などがじゃまをする	9.7	10.1	12.2	-2.5
	どう勉強してもわからない	11.3	24.4	36.5	-25.2
	どうしても好きになれない教科がある	53.0	61.8	61.0	-8.0
	勉強する場所がない	2.4	2.7	4.0	-1.6
	勉強を教えてくれる人がいない	6.7	8.8	12.7	-6.0
	困ったり、悩んでいることはない	25.7	17.1	13.5	12.2

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
大人になったときの夢や目標がありますか。	はっきりある	27.7	31.5	35.7	-8.0
	なんとなくある	44.3	41.8	35.0	9.3
	あまりない	17.1	13.7	16.4	0.7
	ない	10.8	12.7	12.1	-1.3
難しいことでも失敗を恐れずに挑戦していると思いますか。	そう思う	24.4	24.4	27.1	-2.7
	少しそう思う	41.7	43.6	38.0	3.7
	あまりそう思わない	26.9	23.1	22.3	4.6
	思わない	6.8	8.4	11.7	-4.9
自分にはよいところがあると思いますか。	そう思う	26.8	22.0	23.1	3.7
	少しそう思う	40.2	34.5	30.0	10.2
	あまりそう思わない	22.6	27.3	26.9	-4.3
	思わない	10.4	15.8	19.1	-8.7
どこで学校の宿題をやっていますか。	家	94.7	93.8	89.1	5.6
	学校	2.4	1.9	3.2	-0.8
	塾	2.1	3.5	4.2	-2.1
	その他	0.7	0.6	2.1	-1.4
今すんでいる地域の行事に参加していますか。	参加している	8.9	9.1	9.6	-0.7
	時々参加している	32.2	30.1	25.8	6.4
	あまり参加していない	44.8	42.3	38.7	6.1
	参加したことがない	14.0	18.2	24.8	-10.8
授業のはじめに目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか。	そう思う	34.3	28.2	19.7	14.6
	少しそう思う	41.2	40.2	37.5	3.7
	あまりそう思わない	17.9	21.7	25.6	-7.7
	思わない	6.5	9.7	16.3	-9.8
一番好きな教科はなんですか。	国語	6.1	5.9	5.9	0.2
	数学	10.8	4.8	5.9	4.9
	理科	7.5	7.4	6.1	1.4
	社会	9.9	8.2	7.2	2.7
	体育	27.6	38.0	41.8	-14.2
	音楽	11.1	11.3	9.8	1.3
	美術	8.5	11.8	8.6	-0.1
	技術	2.2	3.5	5.6	-3.4
	家庭科	2.4	1.9	3.4	-1.0
	英語	13.9	6.9	4.2	9.7
一番好きな教科を選んだ一番近い理由はなんですか。	先生が好き	4.8	5.3	5.8	-1.0
	得意だと思ふ	40.7	42.3	38.5	2.2
	成績がよい	6.0	3.2	2.9	3.1
	授業が楽しい	39.4	43.1	43.7	-4.3
	よくわかる	8.9	5.8	7.3	1.6

㊤中学校3年生

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
学校が好きだ。	そう思う	36.4	33.9	32.8	3.6
	どちらかといえばそう思う	41.2	39.4	33.3	7.9
	どちらかといえばそう思わない	10.8	13.3	15.1	-4.3
	そう思わない	7.0	7.5	13.7	-6.7
	分からない	4.6	5.9	5.1	-0.5
勉強が好きだ。	そう思う	12.1	4.0	3.9	8.2
	どちらかといえばそう思う	29.6	19.6	14.4	15.2
	どちらかといえばそう思わない	32.6	39.0	34.1	-1.5
	そう思わない	21.5	32.4	43.6	-22.1
	分からない	4.2	4.9	4.0	0.2
勉強は大切だ。	そう思う	75.0	69.3	62.4	12.6
	どちらかといえばそう思う	22.0	27.3	29.8	-7.8
	どちらかといえばそう思わない	1.7	2.2	3.3	-1.6
	そう思わない	0.3	0.5	2.1	-1.8
	分からない	1.0	0.8	2.4	-1.4
勉強は受験に関係なくても大切だ。	そう思う	56.9	48.2	46.0	10.9
	どちらかといえばそう思う	32.8	38.6	35.7	-2.9
	どちらかといえばそう思わない	6.5	7.8	8.6	-2.1
	そう思わない	2.2	3.7	5.9	-3.7
	分からない	1.7	1.7	3.8	-2.1
勉強すれば、自分はよい成績をとれる。	そう思う	45.1	35.0	31.8	13.3
	どちらかといえばそう思う	40.4	41.6	37.0	3.4
	どちらかといえばそう思わない	6.8	11.9	15.3	-8.5
	そう思わない	2.0	3.6	6.1	-4.1
	分からない	5.6	7.9	9.9	-4.3
勉強すれば、自分の受験に役立つ。	そう思う	85.8	81.9	74.1	11.7
	どちらかといえばそう思う	12.3	15.4	20.5	-8.2
	どちらかといえばそう思わない	0.9	1.2	1.7	-0.8
	そう思わない	0.1	0.3	1.0	-0.9
	分からない	0.9	1.0	2.5	-1.6
勉強すれば、自分の好きな仕事につくことに役立つ。	そう思う	58.7	55.0	53.4	5.3
	どちらかといえばそう思う	27.1	28.9	28.9	-1.8
	どちらかといえばそう思わない	5.2	7.2	7.7	-2.5
	そう思わない	1.7	2.2	3.6	-1.9
	分からない	7.2	6.6	6.4	0.8
勉強すれば、自分は、分からないことでも自分の力で答えを見つけられるようになる。	そう思う	36.9	33.9	31.5	5.4
	どちらかといえばそう思う	43.1	41.0	39.1	4.0
	どちらかといえばそう思わない	10.8	12.9	14.8	-4.0
	そう思わない	2.3	3.9	5.5	-3.2
	分からない	6.8	8.4	9.2	-2.4
勉強すれば、自分のふだんの生活や社会に出て役立つ。	そう思う	53.6	48.3	45.8	7.8
	どちらかといえばそう思う	34.0	36.4	35.2	-1.2
	どちらかといえばそう思わない	6.9	9.2	10.0	-3.1
	そう思わない	2.0	2.3	4.4	-2.4
	分からない	3.5	3.7	4.5	-1.0
勉強すれば、家の人がほめてくれる。	そう思う	30.8	31.7	30.4	0.4
	どちらかといえばそう思う	32.0	29.2	30.8	1.2
	どちらかといえばそう思わない	16.6	15.8	14.9	1.7
	そう思わない	12.3	14.3	13.5	-1.2
	分からない	8.2	9.0	10.4	-2.2
勉強すれば、先生がほめてくれる。	そう思う	23.0	21.1	24.0	-1.0
	どちらかといえばそう思う	33.9	31.5	29.6	4.3
	どちらかといえばそう思わない	18.9	17.6	16.8	2.1
	そう思わない	10.8	13.6	13.1	-2.3
	分からない	13.4	16.3	16.6	-3.2

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
よい成績がとれるよう、勉強したい。	そう思う	64.7	57.0	51.1	13.6
	どちらかといえばそう思う	27.8	33.6	35.2	-7.4
	どちらかといえばそう思わない	4.3	4.9	7.3	-3.0
	そう思わない	2.1	3.0	3.5	-1.4
	分からない	1.0	1.6	2.8	-1.8
受験に役立つよう、勉強したい。	そう思う	76.9	73.6	64.2	12.7
	どちらかといえばそう思う	20.0	22.1	27.6	-7.6
	どちらかといえばそう思わない	1.4	3.2	4.5	-3.1
	そう思わない	1.0	0.8	1.8	-0.8
	分からない	0.6	0.3	1.9	-1.3
自分の好きな仕事につけるよう、勉強したい。	そう思う	62.4	58.3	52.4	10.0
	どちらかといえばそう思う	27.7	26.9	31.5	-3.8
	どちらかといえばそう思わない	4.7	7.2	8.3	-3.6
	そう思わない	1.8	2.3	3.2	-1.4
	分からない	3.3	5.3	4.4	-1.1
分からないことでも自分の力で答えを見つけられるよう、勉強したい。	そう思う	46.0	42.1	39.0	7.0
	どちらかといえばそう思う	37.3	38.0	35.8	1.5
	どちらかといえばそう思わない	11.0	12.3	15.0	-4.0
	そう思わない	3.1	4.8	6.0	-2.9
	分からない	2.5	2.8	4.2	-1.7
ふだんの生活や社会に出て役立つよう、勉強したい。	そう思う	52.2	45.6	41.8	10.4
	どちらかといえばそう思う	36.1	38.1	36.9	-0.8
	どちらかといえばそう思わない	7.9	9.8	12.6	-4.7
	そう思わない	2.4	4.0	5.3	-2.9
	分からない	1.4	2.5	3.4	-2.0
家の人にほめられるよう、勉強したい。	そう思う	21.5	23.6	23.7	-2.2
	どちらかといえばそう思う	23.4	22.1	24.4	-1.0
	どちらかといえばそう思わない	22.7	22.2	21.0	1.7
	そう思わない	28.4	27.0	24.5	3.9
	分からない	4.0	5.0	6.3	-2.3
先生にほめられるよう、勉強したい。	そう思う	18.2	19.4	20.2	-2.0
	どちらかといえばそう思う	22.8	23.1	24.0	-1.2
	どちらかといえばそう思わない	24.5	23.3	22.0	2.5
	そう思わない	29.7	29.2	26.7	3.0
	分からない	4.7	4.8	6.7	-2.0
学校での授業はどの程度分かりますか。	よく分かる	26.5	10.3	6.3	20.2
	だいたい分かる	61.3	56.2	33.3	28.0
	半分くらい分かる	11.1	27.9	37.1	-26.0
	分からないことが多い	0.9	4.9	19.1	-18.2
	ほとんど分からない	0.3	0.6	4.2	-3.9
学校の授業は楽しいですか。	とても楽しい	13.7	11.1	11.0	2.7
	楽しい	42.0	40.3	33.2	8.8
	どちらとも言えない	33.8	35.5	36.2	-2.4
	あまり楽しくない	6.2	6.3	10.0	-3.8
	楽しくない	4.2	6.6	9.4	-5.2
授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか。	その場で先生にたずねる	7.6	7.1	7.4	0.2
	授業が終わってから先生にたずねに行く	13.5	6.1	7.1	6.4
	友だちにたずねる	36.8	49.9	39.9	-3.1
	家の人にたずねる	5.4	3.4	4.7	0.7
	塾や家庭教師の先生にたずねる	16.9	18.2	16.6	0.3
	自分で調べる	16.9	8.8	8.3	8.6
	そのままにしておく	2.9	6.6	15.9	-13.0

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
学校の授業時間以外に、1日にだいたいどのくらい勉強しますか。 〔※土曜日、日曜日は除いてください。塾や家庭教師の時間もふくめます。〕	3時間以上	9.2	4.0	4.5	4.7
	2時間以上、3時間より少ない	27.4	20.5	16.8	10.6
	1時間以上、2時間より少ない	32.4	34.4	29.0	3.4
	30分以上、1時間より少ない	15.7	21.7	19.1	-3.4
	30分より少ない	8.8	9.8	14.0	-5.2
	全く、または、ほとんどしない	6.5	9.6	16.5	-10.0
土曜日、日曜日には、合わせてどのくらい勉強しますか。 〔※塾や家庭教師の時間もふくめます。〕	6時間以上	7.0	2.6	1.7	5.3
	4時間以上、6時間より少ない	9.6	3.0	4.4	5.2
	2時間以上、4時間より少ない	29.5	24.5	19.5	10.0
	1時間以上、2時間より少ない	21.9	26.1	22.4	-0.5
	1時間より少ない	18.5	24.2	24.9	-6.4
	全く、または、ほとんどしない	13.5	19.6	27.1	-13.6
ふだん家庭でしている勉強は、次のうちどれに近いですか。	宿題がなくてもほとんど毎日する	25.9	17.7	11.1	14.8
	宿題がないときでも時々する	43.3	43.3	36.4	6.9
	宿題があるときだけする	28.8	34.4	40.6	-11.8
	宿題があってもしないことが多い	1.8	4.5	11.2	-9.4
学習塾に通っていますか。 〔※ピアノや絵画・習字などのお稽古やスポーツは除きます。国語・数学・英語などの教科の勉強をする塾です。〕	通っている	69.0	55.7	48.5	20.5
	通っていない	30.9	44.3	51.0	-20.1
1日にどのくらい睡眠時間をとりますか。 〔※土曜日、日曜日は除いてください。〕	10時間以上	0.9	1.2	3.3	-2.4
	9時間以上、10時間より少ない	4.3	5.2	6.4	-2.1
	8時間以上、9時間より少ない	18.7	16.4	19.0	-0.3
	7時間以上、8時間より少ない	37.5	37.6	28.4	9.1
	6時間以上、7時間より少ない	28.6	28.0	26.6	2.0
	6時間より少ない	9.9	11.6	16.1	-6.2
学校に行く前に朝食をとりますか。	必ずとる	84.0	78.4	64.0	20.0
	たいていとる	11.0	13.7	20.9	-9.9
	とらないことが多い	3.1	5.2	8.3	-5.2
	全く、または、ほとんどとらない	1.8	2.6	6.6	-4.8
国語の勉強は好きですか。	好きだ	22.9	23.1	18.6	4.3
	どちらかといえば好きだ	38.9	36.7	39.7	-0.8
	どちらかといえば好きではない	25.7	27.3	25.4	0.3
	好きではない	12.5	12.9	16.2	-3.7
1か月に、何冊ぐらい本(マンガ・雑誌を除く)を読みますか。	ほとんど読まない	36.3	45.6	50.8	-14.5
	1冊程度	26.4	20.2	20.2	6.2
	2～3冊	22.6	21.4	17.8	4.8
	4～10冊	10.4	9.0	7.7	2.7
	11～15冊	1.8	1.9	1.7	0.1
	16冊以上	2.5	1.6	1.8	0.7
わからない言葉があるときは国語辞典(電子辞書をふくみます)を使いますか。	よく使う	21.2	16.0	12.2	9.0
	どちらかといえばよく使う	34.5	27.6	23.9	10.6
	どちらかといえば使わない	27.4	31.0	30.3	-2.9
	使わない	16.9	25.3	33.6	-16.7
日常生活の中で、自分の思いや考えを積極的に話していますか。	そうしている	32.4	31.1	27.6	4.8
	どちらかといえばそうしている	40.3	38.9	36.0	4.3
	どちらかといえばそうしていない	20.0	21.6	22.5	-2.5
	そうしていない	7.3	8.4	13.7	-6.4
国語の勉強をしたことで、生活の中で役に立つと感じることはありますか。	ある	48.5	43.9	42.8	5.7
	どちらかといえばある	37.6	41.6	37.7	-0.1
	どちらかといえばない	8.9	9.4	11.3	-2.4
	ない	4.9	5.0	8.2	-3.3

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
社会の勉強は好きですか。	好きだ	33.1	28.0	24.2	8.9
	どちらかといえば好きだ	30.1	29.8	27.9	2.2
	どちらかといえば好きではない	21.1	23.9	27.0	-5.9
	好きではない	15.7	18.2	20.8	-5.1
わからない地名に出会ったら、自分で地図帳などを使って調べますか。	調べる	14.9	13.2	12.7	2.2
	どちらかといえば調べる	25.9	23.3	22.0	3.9
	どちらかといえば調べない	28.7	26.9	26.2	2.5
	調べない	30.4	36.7	39.1	-8.7
歴史上の人物や出来事をつかっている本を読むことは好きですか。	好きだ	31.5	30.4	24.5	7.0
	どちらかといえば好きだ	29.2	23.8	25.6	3.6
	どちらかといえば好きではない	20.1	22.0	21.7	-1.6
	好きではない	19.2	23.9	28.2	-9.0
社会の勉強をしたことによって、新聞やニュースに関心をもつようになりましたか。	関心をもつようになった	26.7	20.2	18.4	8.3
	どちらかといえば関心をもつようになった	39.6	37.6	32.3	7.3
	どちらかといえば関心はない	20.2	22.2	24.1	-3.9
	関心はない	13.5	20.0	25.1	-11.6
社会の勉強をしたことで、生活の中で役に立つと感じることはありますか。	ある	34.9	29.5	28.0	6.9
	どちらかといえばある	36.1	35.1	34.5	1.6
	どちらかといえばない	17.8	20.2	20.1	-2.3
	ない	11.2	15.2	17.3	-6.1
数学の勉強は好きですか。	好きだ	35.1	22.5	16.2	18.9
	どちらかといえば好きだ	30.3	30.6	25.4	4.9
	どちらかといえば好きではない	20.1	24.3	26.0	-5.9
	好きではない	14.5	22.6	32.3	-17.8
数学の時間に、いろいろな考え方を発表し合うことは好きですか。	好きだ	21.4	10.6	9.9	11.5
	どちらかといえば好きだ	30.5	29.1	21.7	8.8
	どちらかといえば好きではない	29.3	31.9	31.2	-1.9
	好きではない	18.7	28.4	37.2	-18.5
問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか。	考えようとしている	21.8	13.2	10.2	11.6
	どちらかといえば考えようとしている	37.6	29.2	24.3	13.3
	どちらかといえば考えようとしていない	27.0	34.9	31.5	-4.5
	考えようとしていない	13.6	22.7	34.1	-20.5
問題が解けなかったとき、なぜ解けなかったかをふり返って考えようとしていますか。	考えようとしている	51.0	31.8	18.3	32.7
	どちらかといえば考えようとしている	36.8	42.1	38.1	-1.3
	どちらかといえば考えようとしていない	9.1	16.0	21.9	-12.8
	考えようとしていない	3.1	10.1	21.7	-18.6
数学の勉強をしたことで、生活の中で役に立つと感じることはありますか。	ある	45.6	41.7	38.9	6.7
	どちらかといえばある	33.8	34.4	33.8	0.0
	どちらかといえばない	13.2	14.5	13.3	-0.1
	ない	7.4	9.4	13.9	-6.5
理科の勉強は好きですか。	好きだ	30.7	20.9	22.1	8.6
	どちらかといえば好きだ	35.2	35.9	31.9	3.3
	どちらかといえば好きではない	20.2	24.3	25.7	-5.5
	好きではない	13.9	18.9	20.3	-6.4
理科の勉強で、実験や観察をすることは好きですか。	好きだ	48.6	46.5	47.8	0.8
	どちらかといえば好きだ	31.9	31.1	31.1	0.8
	どちらかといえば好きではない	11.8	13.4	11.8	0.0
	好きではない	7.6	8.9	9.3	-1.7
理科の勉強で、分からないことや興味・関心をもったことについて自分から調べようとしていますか。	調べようとしている	20.8	13.3	11.4	9.4
	どちらかといえば調べようとしている	35.7	29.1	26.2	9.5
	どちらかといえば調べようとしていない	27.8	31.1	33.1	-5.3
	調べようとしていない	15.6	26.5	29.3	-13.7

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
自然や理科についての読み物や図かん、テレビ番組などをよく見ていますか。	よく見ている	15.2	16.8	18.7	-3.5
	どちらかといえばよく見ている	24.6	20.5	24.7	-0.1
	どちらかといえば見ていない	31.3	30.7	24.7	6.6
	見ていない	28.9	31.9	31.7	-2.8
理科の勉強をしたことで、生活の中で役に立つと感じることはありますか。	ある	27.5	19.9	21.2	6.3
	どちらかといえばある	35.1	31.8	28.6	6.5
	どちらかといえばない	23.5	28.8	27.1	-3.6
	ない	13.9	19.5	23.0	-9.1
英語の勉強は好きですか。	好きだ	39.4	24.9	15.5	23.9
	どちらかといえば好きだ	29.8	28.0	24.2	5.6
	どちらかといえば好きではない	18.6	24.7	26.5	-7.9
	好きではない	12.2	22.4	33.8	-21.6
テレビやラジオで英語番組を見たり聞いたりするなど、家庭で英語の勉強をすることはありますか。	ある	27.6	19.1	13.7	13.9
	どちらかといえばある	23.9	22.2	19.8	4.1
	どちらかといえばない	25.6	25.7	23.9	1.7
	ない	22.9	32.8	42.5	-19.6
英語の辞書(電子辞書をふくみます)を使いますか。	よく使う	25.8	17.1	10.4	15.4
	どちらかといえばよく使う	23.9	21.3	15.3	8.6
	どちらかといえばあまり使わない	20.5	21.2	19.3	1.2
	あまり使わない	29.8	40.4	55.0	-25.2
学校の廊下で外国人講師の先生に英語で話しかけられたら、あなたはどうしますか。	積極的に英語で会話しようとする	18.4	12.7	9.5	8.9
	なんとか英語で会話しようとする	71.0	69.0	59.4	11.6
	日本語で会話しようとする	6.5	11.4	15.3	-8.8
	黙ってしまう	4.2	6.8	15.5	-11.3
英語の勉強をしたことで、生活の中で役に立つと感じることはありますか。	ある	55.5	45.7	39.9	15.6
	どちらかといえばある	28.5	32.6	31.6	-3.1
	どちらかといえばない	9.8	11.2	11.9	-2.1
	ない	6.2	10.5	16.6	-10.4
朝と夜、歯みがきをしていますか。	している	90.0	89.7	85.8	4.2
	朝だけ	3.0	3.6	5.5	-2.5
	夜だけ	6.8	6.1	7.7	-0.9
	していない	0.1	0.3	0.4	-0.3
学校の給食は、どれくらい食べていますか。	いつも残さず食べている	61.6	58.8	56.1	5.5
	だいたい残さず食べている	30.1	32.3	31.3	-1.2
	残すことが多い	6.2	5.9	8.2	-2.0
	ほとんど毎日残している	2.0	2.6	4.0	-2.0
ふだん(月曜日から金曜日)、学校に登校する日には、何時に起きますか。	6時より早い	6.5	6.6	7.2	-0.7
	6時ぐらい	13.5	13.6	12.4	1.1
	6時30分ごろ	24.3	24.0	20.2	4.1
	7時ぐらい	42.1	38.5	41.3	0.8
	7時30分ごろ	10.7	12.8	12.6	-1.9
	7時30分よりおそい	2.8	4.0	5.6	-2.8
ふだん(土曜日と日曜日)、学校に登校しない日には、何時に起きますか。	6時より早い	4.5	5.8	6.6	-2.1
	6時ぐらい	6.2	5.9	5.6	0.6
	6時30分ごろ	4.9	3.6	4.5	0.4
	7時ぐらい	12.7	12.3	8.1	4.6
	7時30分ごろ	8.2	8.1	5.7	2.5
	8時ぐらい	24.3	22.7	21.2	3.1
	9時ぐらい	22.6	21.8	21.8	0.8
	10時よりおそい	8.1	10.5	14.8	-6.7

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
ふだん(日曜日から木曜日), 学校に登校する日の前日には, 何時に寝ますか。	9時より早い	0.5	0.8	1.4	-0.9
	9時ぐらい	1.6	2.1	1.9	-0.3
	9時30分ごろ	1.7	1.0	2.3	-0.6
	10時ぐらい	8.4	8.0	7.8	0.6
	10時30分ごろ	11.5	11.2	9.2	2.3
	11時ぐらい	21.0	21.6	17.8	3.2
	11時30分ごろ	17.8	16.0	14.7	3.1
	12時ぐらい	21.6	21.2	20.2	1.4
	12時よりおそい	15.7	17.7	24.1	-8.4
ふだん(金曜日と土曜日), 学校に登校しない日の前日には, 何時に寝ますか。	9時より早い	0.6	0.8	1.5	-0.9
	9時ぐらい	1.5	1.4	1.2	0.3
	9時30分ごろ	1.5	0.9	1.8	-0.3
	10時ぐらい	6.1	5.4	3.8	2.3
	10時30分ごろ	7.2	5.9	5.3	1.9
	11時ぐらい	17.8	16.0	12.8	5.0
	11時30分ごろ	14.8	12.9	12.0	2.8
	12時ぐらい	24.3	24.2	20.1	4.2
	12時よりおそい	26.0	31.9	40.9	-14.9
ふだん(月曜日から金曜日), 1日にテレビやビデオ・DVDをどれくらい見ますか。	まったく, または, ほとんど見ない	7.4	6.2	8.8	-1.4
	30分ぐらい	14.2	8.9	7.8	6.4
	1時間ぐらい	22.9	18.6	15.1	7.8
	1時間30分ぐらい	13.5	12.8	9.2	4.3
	2時間ぐらい	17.4	21.6	17.4	0.0
	2時間30分ぐらい	6.0	6.2	9.0	-3.0
	3時間ぐらい	6.5	7.8	9.3	-2.8
	3時間以上	11.9	17.6	23.0	-11.1
	ふだん(月曜日から金曜日), 1日にテレビゲーム(携帯ゲーム, その他)をどれくらいしますか。	まったく, または, ほとんどしない	23.2	15.5	12.6
30分ぐらい		13.5	11.1	7.0	6.5
1時間ぐらい		15.6	14.1	10.5	5.1
1時間30分ぐらい		9.6	11.9	8.5	1.1
2時間ぐらい		14.9	13.2	14.0	0.9
2時間30分ぐらい		6.5	6.7	9.0	-2.5
3時間ぐらい		6.1	8.1	7.9	-1.8
3時間以上		10.5	18.9	30.1	-19.6
ふだん(月曜日から金曜日), 携帯電話や家にあるパソコンでインターネットやメールをしていますか。		携帯電話やパソコンがない, 携帯電話やパソコンがインターネットにつながっていない	3.7	3.4	3.4
	まったく, ほとんどしていない	8.1	7.6	9.2	-1.1
	週1, 2日している	8.1	5.2	7.3	0.8
	週3, 4日している	10.0	7.6	7.5	2.5
	週5, 6日している	9.1	7.2	7.5	1.6
	毎日している	60.8	68.6	64.6	-3.8
まちがえた問題やよくわからなかった問題を, できるようにするまで勉強していますか。	している	23.9	9.2	6.2	17.7
	だいたいしている	52.3	45.5	32.5	19.8
	あまりしていない	20.4	36.7	38.9	-18.5
	していない	3.2	8.3	22.0	-18.8
これまで学習したことを使って新しい問題を工夫して解決していますか。	している	22.5	8.8	5.6	16.9
	だいたいしている	39.9	28.2	20.2	19.7
	あまりしていない	27.0	40.2	40.9	-13.9
	していない	10.6	22.5	32.8	-22.2
自分が考えたことをノートに工夫して書いていますか。	している	29.0	20.0	15.4	13.6
	だいたいしている	31.3	31.5	24.3	7.0
	あまりしていない	26.7	31.5	32.4	-5.7
	していない	12.9	16.3	27.3	-14.4

質問内容	選択肢	A層	B層	C層	差(A-C)
家庭で学習するときに、あなたが困っていることや悩んでいることで、あてはまるものをいくつかもえらんで、回答してください。	何をどのように勉強してよいかわからない	39.4	58.5	62.7	-23.3
	なぜ勉強しなければならないかわからない	7.4	8.9	12.7	-5.3
	他のことが気になって勉強できない	31.0	35.9	36.5	-5.5
	弟や妹などがじゃまをする	7.7	6.8	8.9	-1.2
	どう勉強してもわからない	10.7	23.1	35.2	-24.5
	どうしても好きになれない教科がある	50.8	64.0	60.1	-9.3
	勉強する場所がない	2.9	3.1	4.2	-1.3
	勉強を教えてくれる人がいない	7.1	11.5	13.7	-6.6
	困ったり、悩んでいることはない	24.6	13.7	12.3	12.3
大人になったときの夢や目標がありますか。	はっきりある	22.4	25.3	28.1	-5.7
	なんとなくある	42.8	40.4	39.1	3.7
	あまりない	21.7	18.1	18.1	3.6
	ない	13.1	15.8	14.1	-1.0
難しいことでも失敗を恐れずに挑戦していると思いますか。	そう思う	20.7	21.2	22.3	-1.6
	少しそう思う	42.6	42.6	39.6	3.0
	あまりそう思わない	27.3	26.1	25.7	1.6
	思わない	9.3	9.6	11.7	-2.4
自分にはよいところがあると思いますか。	そう思う	22.4	22.4	22.6	-0.2
	少しそう思う	41.3	34.5	32.4	8.9
	あまりそう思わない	24.4	26.9	25.9	-1.5
	思わない	11.7	15.9	18.5	-6.8
どこで学校の宿題をやっていますか。	家	91.0	88.8	83.6	7.4
	学校	4.6	4.5	6.0	-1.4
	塾	3.6	4.9	6.8	-3.2
	その他	0.7	1.4	2.8	-2.1
今すんでいる地域の行事に参加していますか。	参加している	6.5	7.4	8.4	-1.9
	時々参加している	25.8	25.8	21.5	4.3
	あまり参加していない	47.5	43.7	40.2	7.3
	参加したことがない	20.1	22.7	29.4	-9.3
授業のはじめに目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか。	そう思う	33.4	29.6	26.1	7.3
	少しそう思う	46.0	46.3	37.7	8.3
	あまりそう思わない	15.2	17.4	21.5	-6.3
	思わない	5.3	6.3	14.1	-8.8
一番好きな教科はなんですか。	国語	5.2	7.4	6.2	-1.0
	数学	15.4	8.7	6.3	9.1
	理科	8.1	5.0	5.4	2.7
	社会	11.0	11.6	8.3	2.7
	体育	24.1	35.7	38.9	-14.8
	音楽	9.4	8.7	9.7	-0.3
	美術	7.3	7.1	11.2	-3.9
	技術	1.7	4.3	5.3	-3.6
	家庭科	2.0	2.8	3.1	-1.1
	英語	15.6	7.9	4.8	10.8
一番好きな教科を選んだ一番近い理由はなんですか。	先生が好き	5.2	5.4	6.3	-1.1
	得意だと思う	41.3	41.6	41.0	0.3
	成績がよい	8.4	6.6	4.3	4.1
	授業が楽しい	34.5	37.9	40.9	-6.4
	よくわかる	10.5	7.6	6.6	3.9

※補足説明

P31「7 学習定着度と学習意識との関係」

P34「8 学習定着度と教科の好き嫌いとの関係」

P37「9 学年別クロス集計の結果一覧表」

児童・生徒を学習定着度調査の成績順に3層の成績層、A層（上位層）、B層（中位層）、C層（下位層）に分割します。次に、この成績層ごとに、学習意識調査の各選択肢の回答割合を算出します。そして、各質問の選択肢について、各成績層の回答の割合から、成績と学習や生活習慣との関連性を見ることができます。

例えば、児童99名を成績順におおむね3等分し、1番から33番をA層、34番から66番をB層、67番から99番をC層に分けます。次に、下の表のような質問の選択肢に対してのA層、B層、C層の肯定的な回答層と否定的な回答層の割合を算出します。肯定的な回答をした児童が多かったのは、「とてもあてはまる」におけるA層（上位層）の78.8%で、否定的な回答をした児童が多かったのは、「あまりあてはまらない」におけるC層（下位層）の8.7%です。「とてもあてはまる」のA層－C層の差は約25ポイント、「あまりあてはまらない」のA層－C層の差は約－7ポイントです。このことから、各成績層における宿題の影響と必要性を見ることができます。

例 宿題はきちんとしている。

(%)

選択肢	A層	B層	C層	差(A－C)
とてもあてはまる	78.8	73.5	54.0	24.8
少しあてはまる	18.6	23.1	34.6	－16.0
あまりあてはまらない	2.0	3.1	8.7	－6.7
まったくあてはまらない	0.4	0.0	2.5	－2.1

また、各割合(%)は、実際の実データ上では小数第2位以下も存在する桁数の数値であり、それを基にA層－C層の差の計算を行っているため、報告書に表示されている数値(小数第1位)を基にする見ための計算とは一致しないものもあります。

小学校の調査結果概要と学力向上への取り組み

千寿小学校・・・82	足立入谷小学校・・・109	大谷田小学校・・・136
千寿本町小学校・・・83	古千谷小学校・・・110	長門小学校・・・137
千寿双葉小学校・・・84	梅島小学校・・・111	花畑小学校・・・138
千寿常東小学校・・・85	梅島第一小学校・・・112	花畑第一小学校・・・139
足立小学校・・・86	梅島第二小学校・・・113	花畑西小学校・・・140
千寿桜小学校・・・87	島根小学校・・・114	桜花小学校・・・141
千寿第八小学校・・・88	中島根小学校・・・115	花保小学校・・・142
西新井小学校・・・89	亀田小学校・・・116	六木小学校・・・143
西新井第一小学校・・・90	栗原小学校・・・117	渚江小学校・・・144
西新井第二小学校・・・91	栗原北小学校・・・118	渚江第一小学校・・・145
西伊興小学校・・・92	栗島小学校・・・119	西保木間小学校・・・146
興本小学校・・・93	加平小学校・・・120	保木間小学校・・・147
本木小学校・・・94	東栗原小学校・・・121	竹の塚小学校・・・148
寺地小学校・・・95	平野小学校・・・122	伊興小学校・・・149
関原小学校・・・96	弥生小学校・・・123	東伊興小学校・・・150
江北小学校・・・97	弘道小学校・・・124	
高野小学校・・・98	弘道第一小学校・・・125	
扇小学校・・・99	青井小学校・・・126	
鹿浜第一小学校・・・100	綾瀬小学校・・・127	
北鹿浜小学校・・・101	東綾瀬小学校・・・128	
鹿浜西小学校・・・102	東加平小学校・・・129	
鹿浜五色桜小学校・・・103	東渚江小学校・・・130	
皿沼小学校・・・104	中川小学校・・・131	
新田小学校・・・105	中川北小学校・・・132	
宮城小学校・・・106	辰沼小学校・・・133	
舎人小学校・・・107	中川東小学校・・・134	
舎人第一小学校・・・108	北三谷小学校・・・135	

【各校ページの語句の説明】

観 点：国が定めた学習指導要領に基づき、学習の評価を行うポイント

正答率：出題された問題の中で、何問正解したかの割合（正答数÷出題数×100）

目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が理解できていれば正解できると期待される値（目標正答率のこと）。

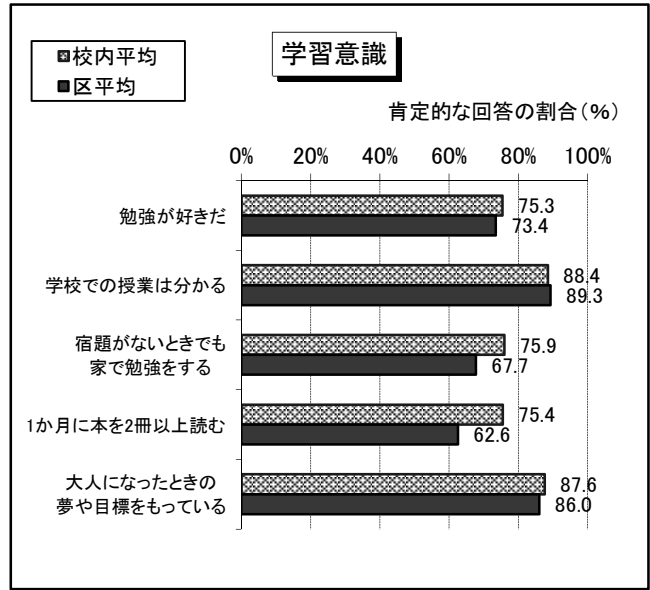
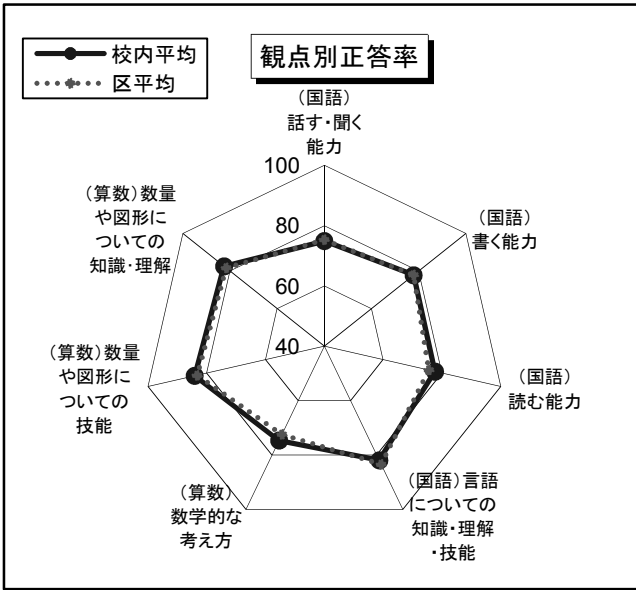
この値は、設問ごとに設定されており、組み合わせた設問からテスト全体の目標値を導き出しています。

通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合（目標値以上の児童・生徒÷受検者数×100）

平均正答率：本調査を受検した対象者の正答率の平均値

※ 各グラフの指標は％（パーセント）。

足立区立千寿小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	80.6	80.1	86.8	87.7	83.3	84.2	76.0	80.0	81.2	67.1	73.2	78.9
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	83.7	81.3	80.4	85.3	88.2	83.9	84.3	84.3	83.1	76.1	82.4	74.3
平均正答率 (H30)	80.7	82.8	90.3	90.6	84.1	85.7	75.2	83.6	77.9	73.6	75.7	76.2
平均正答率 (H29)	84.6	83.3	89.7	90.1	86.0	82.6	81.6	87.8	82.5	77.3	82.6	74.2

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

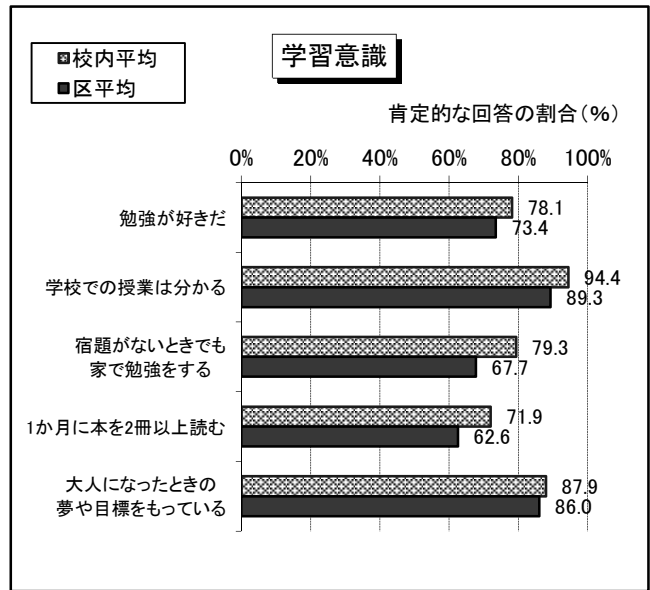
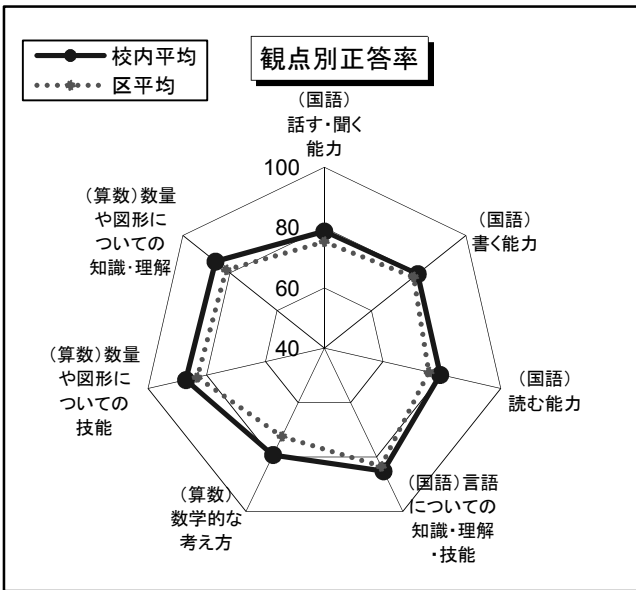
「学習定着度調査」分析結果

- 本校の平均正答率は、目標値を国語、算数とも全学年で上回っている。
- 学校全体の結果を昨年度と比較すると、国語では通過率が3.1ポイント、平均正答率が3.9ポイント下降し、算数では通過率が1.2ポイント、平均正答率が0.5ポイント下降している。しかし、区の通過率や平均正答率も昨年度と比べると下降していることから、問題自体の難易度が上がっていると考えられる。区の通過率と本校の通過率を比較すると、昨年度は国語が1.2ポイント上回り、算数は0.3ポイント下回った。今年度は、国語が2.2ポイント、算数が1.0ポイント区平均を上回った。よって、昨年度と比較して学力が下降しているとは言い難い。
- 国語の作文の問題では、全学年を通して自分の考えを書ける児童が多い。全校で取り組んでいる100文字作文の成果であると考えられる。
- 算数では、活用問題に着目すると、正答率が目標値を平均して11.2ポイント上回っている。区の「活用力向上モデル校」として取り組んできた成果と考えられる。
- 意識調査では、「宿題がないときでも家で勉強をする」という設問の肯定的な回答の割合が区平均を上回っている。「家庭学習の手引き」を作成し、全家庭へ配付し取り組みを継続している成果と考えられる。

学校による学力向上への主な取り組み

- 第2～6学年の算数は、習熟度別学習や学習支援員制度を活用し、必要があれば前学年の学習に戻って理解ができるまで指導するなど、指導内容を工夫する。
- 第3、4学年は、「そだち指導員制度」を活用して、未通過児童のつまづきを個別に解消する。
- 前年度の学習が未定着な児童に関しては、週2回の放課後補習教室及び、夏季休業中の補充教室において、担当者1名につき、児童2名体制で個別指導を行う。主に東京ベーシック・ドリルを基に進め、一人ひとりのつまづきに応じて指導する。放課後教室は、実施時期を6月から開始し、学習時間を確保する。
- 100文字作文の取り組みを継続し、月に一度、各クラスの優れた作文を掲示したり、給食時の放送で紹介したりし、他の児童の参考となるようにする。
- 家庭学習の充実を図るため、第2学年以上の全児童に「自学自習」の取り組みを継続し、自分で学習課題を設定し、主体的に学習を進める力を育てる。さらに、自学自習ノートの提出率100%を目指す。月に一度、各学年の優れたノートを掲示し、他の児童の参考となるようにする。

足立区立千寿本町小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率(H30)	82.2	87.9	86.4	97.0	82.6	84.3	79.4	92.6	86.6	83.6	76.1	82.1
目標値(H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率(H29)	86.4	86.7	82.6	87.0	92.4	93.9	92.3	93.8	89.4	87.9	77.2	73.4
平均正答率(H30)	82.7	85.7	90.0	92.4	83.2	85.9	80.5	90.1	83.1	80.0	78.3	79.4
平均正答率(H29)	85.1	86.1	88.3	90.3	89.2	89.7	83.4	90.7	86.4	84.1	80.2	76.8

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

「学習定着度調査」分析結果

<全般>全国値の正答率を50とした標準スコアに対して、国語・算数とも全学年で50を大きく上回り、良好な結果であるといえる。標準スコアの全学年平均を見ると、国語は55.0、算数は57.0で算数の方が高く、習熟度別指導や繰り返し学習、個別指導、ノート指導の充実などが成果につながった。

<国語>観点別正答率は「言語についての知識・理解・技能」の平均正答率が85%を上回っており、良好である。4観点の中で最も正答率が低い「話す・聞く能力」は、言葉の意味や相手の伝えたい内容を的確に聞き取り、自分の考えを表現する力をさらに伸ばすための取り組みが求められる。

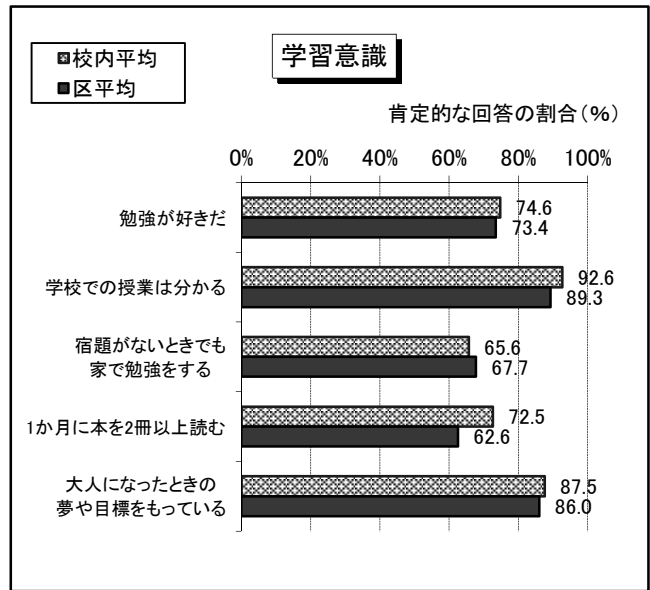
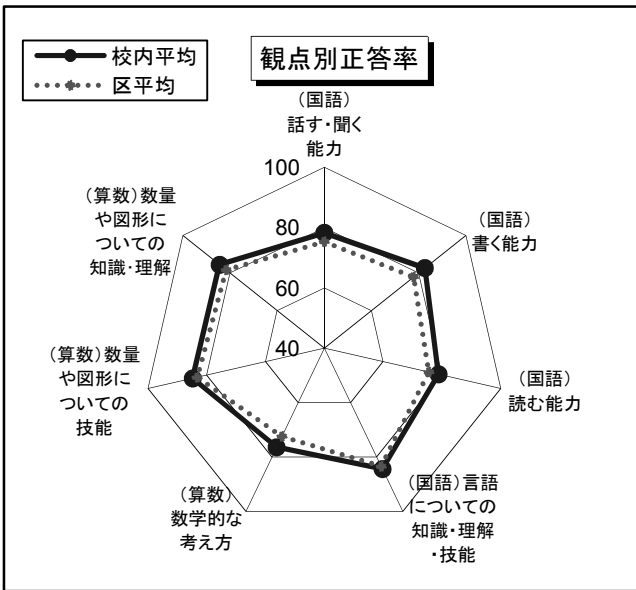
<算数>観点別正答率は、「数量や図形についての技能」「数量や図形についての知識・理解」で平均正答率が85%を上回っており、良好である。「数学的な考え方」の平均正答率は約79%で他の2観点に比べて約7ポイント低く、引き続き、帰納的・演繹的・類推的な考え方や一般化・単純化等の考え方が身に付くよう、意図的・計画的な指導が必要である。

<学習意識>生活点検カード「本町小のよい子」の活用、年4回の読書週間の実施などにより、生活リズムを含めた家庭学習や読書の習慣は概ね身に付いている。夢や目標については、さらに自己肯定感を高めたり、体験を通して満足感や達成感を味わったりするための指導の工夫が求められる。

学校による学力向上への主な取り組み

- 算数の習熟度別指導やそだち指導、あだち小学生夏休み学習教室、サマースクール等との連携により基礎学力の確実な定着を図る。
- 朝学習「本町タイム」における漢字・計算、視写・暗唱、音読発表会・俳句づくりの取り組みで、流暢な読み、書くスピード、計算の速さ・正確さの向上を図るとともに、記憶力・語彙力・集中力・時間感覚等を高める。
- 話し合いや発表すること、自分の考えを書いてまとめることなどを重視した「話して書いて伝え合う授業」を心がけて、思考・判断・表現する力の育成を図り、活用力の向上を目指す。
- 「自分の考えを書く力」を伸ばすためにノート指導の充実を図るとともに、家庭学習の手引きを作成して「自学ノート」で自主的な家庭学習に取り組むよう啓発する。
- 新聞を活用した学習で、多読する力、比較する力、自分の考えをまとめる力などを伸ばす。
- 年4回の読書週間の設定により、本に親しむ機会を増やすとともに、読書への意欲を高める。
- 「わたしの一週間」や「生活見直し表」の取り組みを通して、家庭学習を含めた生活リズムの安定を図る。児童の努力した姿を積極的に認め励ますことで、一人ひとりに自信をもたせる。

足立区立千寿双葉小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	82.2	83.9	81.8	85.9	83.3	89.3	80.6	81.9	87.9	83.3	77.9	78.2
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	85.4	86.2	81.1	83.3	84.5	85.9	90.8	93.8	85.5	80.3	86.8	90.6
平均正答率 (H30)	82.9	83.5	88.1	87.6	85.5	86.9	80.8	85.8	83.9	78.7	76.9	77.5
平均正答率 (H29)	86.2	85.4	89.2	89.6	85.0	83.7	87.0	90.4	83.6	80.7	86.2	79.9

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

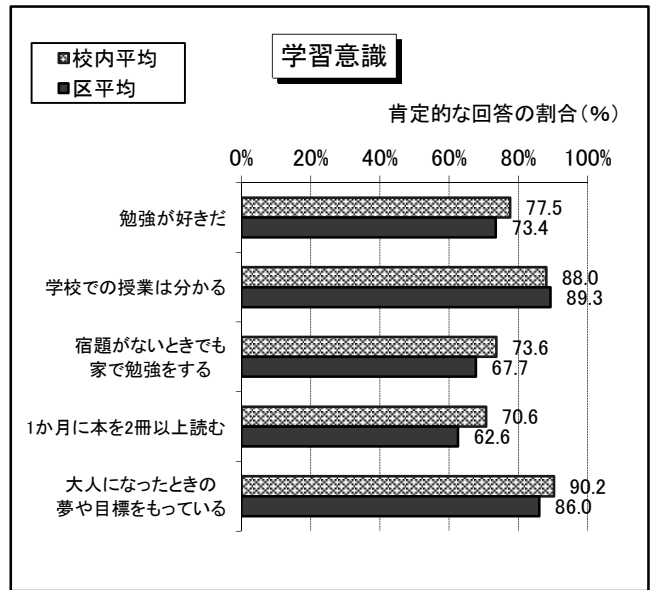
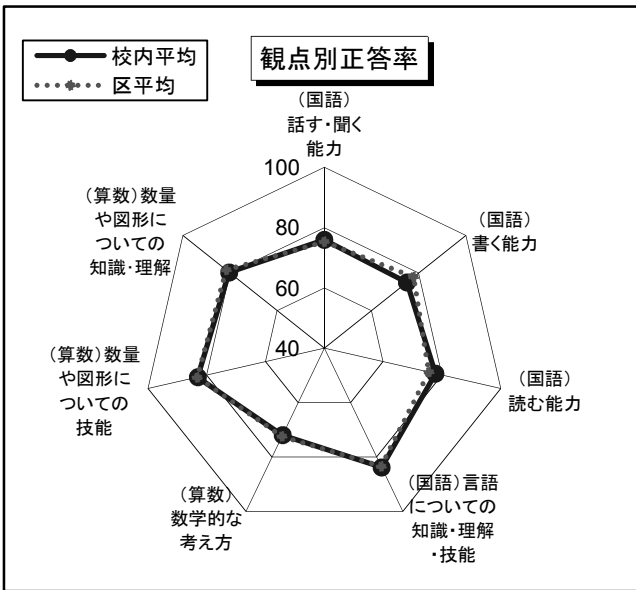
「学習定着度調査」分析結果

- 国語・算数とも、本校の平均正答率、通過率ともに区平均を上回ることができた。ただし、現6年については同一集団で経年変化を見ると平均正答率と通過率ともに昨年度を下回り、通過率は8割を下回っている。学年が上がるにつれて内容が難しくなり、つまずきが大きくなると考えられるが、学習意欲の向上をさらに図ることができるように対策を講じていく。
- 観点別正答率では、国語の「言語についての知識・理解・技能」と算数の「数量や図形についての知識・理解」ともに区平均を超え、8割を超えている。週3回始業前に行っている取り組みの成果と考えている。一方、国語の「話す・聞く能力」「読む能力」や算数の「数学的な考え方」については区平均を超えているものの、8割に満たないので対策を講じていく。
- 問題分析をすると、国語について、2年では物語文の読み取り問題、3年では発表用の文章について構成を考えて書く問題、4年では説明的文章の読み取り問題、5年では文章から求められている情報を取り出し、適切な言葉で表現する問題、6年では読み取った情報から案内文を作る問題の正答率が低い。算数について、2年ではひき算に関する文章題、3年ではかけ算に関する文章題、4年では分数の大きさに関する問題、5年では面積に関して説明する問題、6年では求め方を説明する問題の正答率が低い。それぞれについて、繰り返し学習する機会を設けて児童が理解するまで指導していく。

学校による学力向上への主な取り組み

- 授業改善：足立スタンダードを基に双葉ミニマムを活用した学習指導を実施する。また、校内で教員相互が授業を公開し、研修する機会を計画的に設ける。
- 補充学習：国語、算数のつまずきの解消のために、放課後や土曜授業、長期休業中に学級担任だけでなく専科教員も含め、全教員で補充学習を行う。
- 基礎学力の定着：国語について、週2回始業前に漢字の読み書きの学習を行う。また、月1回検定を実施する。算数について、週1回始業前に算数のドリル学習を行う。また、月1回東京ベーシック・ドリルを活用した学習を行う。
- 学習習慣の確立：家庭学習として、音読・漢字・算数・学習日記に毎日取り組ませる。
- 読書習慣の確立：週4日、午後の授業前に読書の時間を5分間設定し、読書の日常化を図る。
- 長期休業中の取り組み：算数・漢字チャレンジ、自主学習教室、補習教室、あだち夏休み学習教室

足立区立千寿常東小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率(H30)	77.8	76.9	88.4	81.1	81.3	69.8	64.3	79.6	75.9	67.5	79.3	86.6
目標値(H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率(H29)	82.3	77.8	81.4	83.5	86.3	79.2	77.9	89.5	83.1	72.3	82.5	65.3
平均正答率(H30)	80.9	80.8	90.3	87.3	83.9	79.9	73.8	82.8	78.9	71.5	78.9	80.6
平均正答率(H29)	83.2	82.2	89.3	89.7	85.3	81.2	78.3	90.0	83.0	78.5	80.8	71.0

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

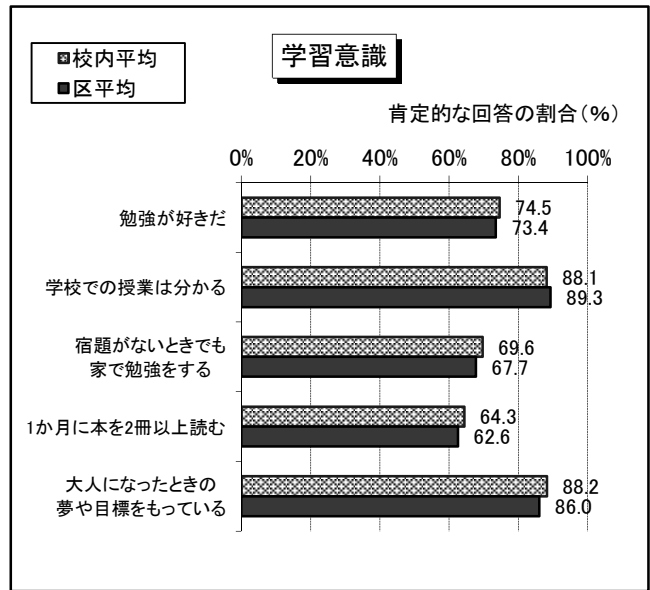
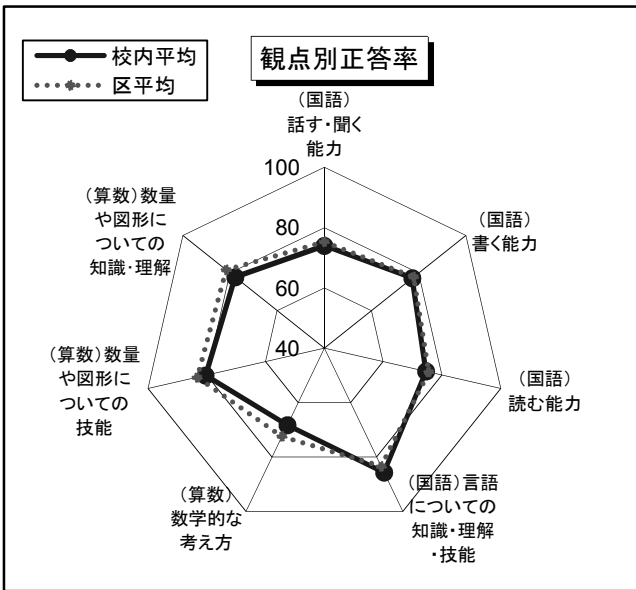
「学習定着度調査」分析結果

- 区学力調査の通過率の経年比較
 経年比較(過去4年間)は国語は右肩上がり、算数は横ばい傾向にあったが、今年度の通過率は、国語、-4.5ポイント、算数-0.9ポイントであった。特に、算数では中学年で通過率が10ポイント近く低下している一方、第6学年では21.3ポイント上昇した。個人差への対応が課題である。
- 学習意識
 「大人になったときの夢や目標をもっている」という問いに対する肯定的な回答は、90.2%と非常に高くなっている。昨年度、「1か月に本を2冊以上読む」の項目は区平均より-4.0ポイントであったが、日常の取り組みや読書週間での「読書貯金カード」の活用により、今年度は区平均から+8.0ポイントとなった。
- 国語(観点別に見る区平均との比較)
 第6学年は「話す・聞く能力」以外の観点で区平均を上回っている。第4、5学年ではほとんどの観点で区平均を下回っている。
- 算数(観点別に見る全国値との比較)
 平均正答率は、全学年とも全国値を超えている。

学校による学力向上への主な取り組み

- 朝学習(パワーアップタイム)
 週3回(15分間)を年間100回確保し、国語・算数の基礎的な知識・技能の定着を図っている。学校長が作成した基礎的・基本的な理解を図るためのオリジナルの算数プリント、東京ベーシック・ドリルなどに取り組んでいる。
- 放課後学習教室
 学力調査の結果を基に、火・水曜日、学力低位層を中心に個別の課題に応じた指導を行っている。
- 夏季パワーアップ教室・サマー教室
 学力調査の結果を基に、10日間個別の課題に応じた指導を行っている。
- 校内研究「進んで学ぶ子の育成」-「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて-
 研究授業を年間7日設定した。教科の内容理解を深めたり、指導法を共有したりしている。ほかにも、校長による算数科の授業改善について講義・研修を行っている。さらに、日頃から学年・分科会を超えて互いの授業を参観し学び合う文化を創り、指導力向上に努めている。

足立区立足立小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	82.3	72.2	80.6	73.1	89.6	87.6	79.6	72.5	83.7	62.8	76.5	61.2
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	84.8	79.2	76.4	71.6	94.5	89.0	82.6	87.2	82.8	75.9	88.5	75.2
平均正答率 (H30)	81.0	78.4	86.9	84.6	84.8	85.8	78.0	81.2	81.5	69.9	74.5	67.2
平均正答率 (H29)	83.6	82.3	85.9	86.8	88.7	83.8	81.5	87.5	79.6	76.1	82.6	76.8

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

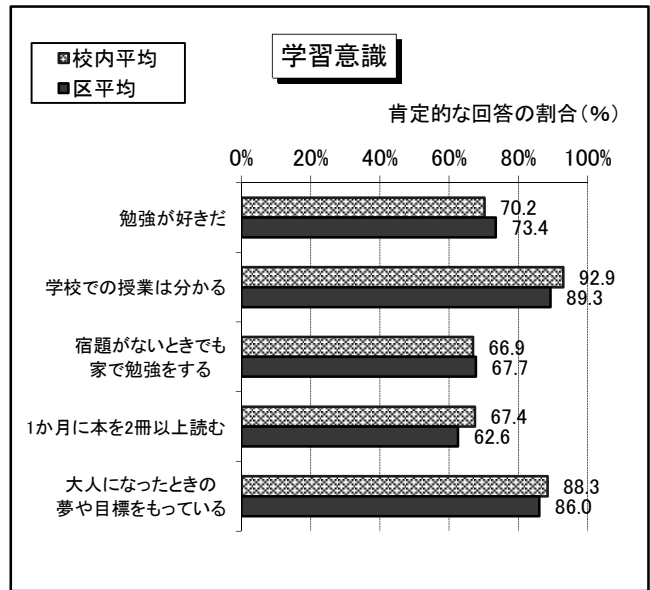
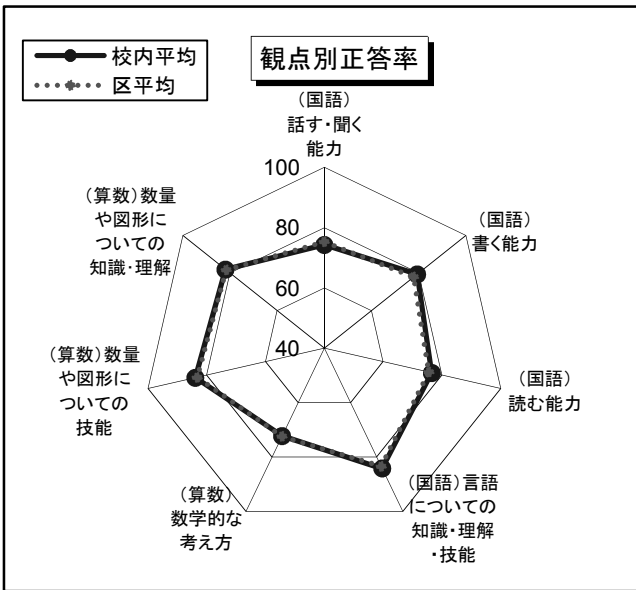
「学習定着度調査」分析結果

- 観点別正答率では、国語は区平均とほぼ同じであるが、算数はすべての項目で区平均を下回った。
- 学習意識に関しては、家庭での学習習慣は身に付いているものの、授業の理解度がやや低い傾向が見られる。
- 平成29年度に比べると、学校全体の通過率が低下した。特に算数での通過率が低く、これまでに取り組んできたパワーアップタイムの実施方法や学力向上の時間の取り組み内容について検討が必要である。
- 国語は、平成29年度に引き続き、全学年で平均正答率が70%を超え、学校全体では80%を超えた。校内で国語の研究に取り組んできた成果が表れていると考えられる。
- 算数は、2～4学年では平均正答率が80%を超えているが、5、6学年で平均正答率が低くなっている。算数少人数指導の効果的な活用や補習学習等の実施で、つまづきを早期に発見し、解消していくことが課題となる。

学校による学力向上への主な取り組み

- 週4日のパワーアップタイムを継続して実施する。漢字と基礎計算の学習を中心にを行い、年3回のパワーアップテストで定着状況を確認する。算数は、学年の実態に応じて基礎計算以外の学習も取り入れ、基礎学力の定着を図る。
- 毎週の放課後補習教室及び個人面談時の補習を継続して実施する。専科教員も指導に入り、全教員でつまづきが見られる児童を中心に個別指導を行い、学力と学習意欲の向上を図る。
- 夏季休業中のサマースクールを10日間実施する。学習内容で理解が十分ではない内容に対する補充問題などに取り組ませ、各学年における学習内容の確実な定着を図る。
- 「家庭学習の手引き」の配付と年5回の家庭学習週間を実施する。家庭学習について保護者との共通理解を図り、家庭学習の定着を促す。
- 小中連携にあわせて校内で五つの分科会に分かれ、「主体的、対話的で深い学びを導く授業の工夫」について研究する。思考に関わる語彙を増やすための学習活動に全学年で取り組む。
- 算数は、単元ごとの定着確認を確実にを行うとともに、校内の「フォローアップ計画」に基づいて区調査再テストや東京ベーシック・ドリルを実施し、定着率の低い児童には補習を行っていく。

足立区立千寿桜小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)	78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7		
通過率 (H30)	79.1	82.6	79.0	87.1	82.9	86.8	75.3	78.1	83.0	63.8	76.2	92.1
目標値 (H29)	78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3		
通過率 (H29)	84.7	87.6	80.3	77.6	84.7	93.1	84.4	93.3	93.8	95.3	80.7	80.7
平均正答率 (H30)	81.2	82.2	87.7	89.5	84.2	85.3	77.5	83.0	80.9	70.5	76.9	78.6
平均正答率 (H29)	84.5	85.3	88.1	86.6	85.6	87.5	80.7	88.5	87.4	84.0	79.0	79.2

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

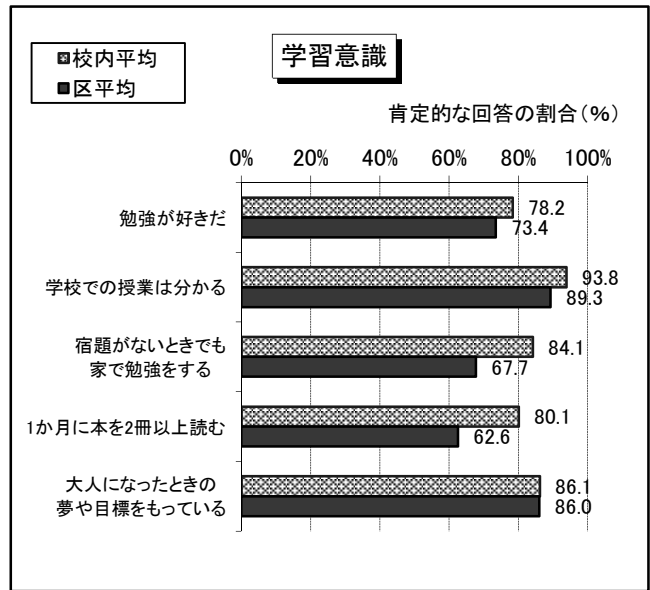
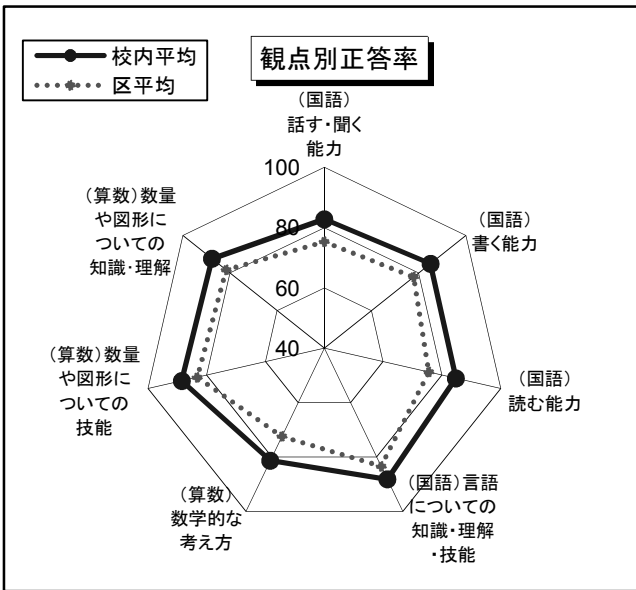
「学習定着度調査」分析結果

- 本校の平均正答率は、国語、算数とも全学年で目標値を上回っている。
- 観点別正答率を見ると、国語の「書く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」は、区平均を0.8~1.4ポイント上回っている。昨年度までの国語科を中心とした校内研究の成果が表れている。また、算数の「数量や図形についての技能」「数量や図形についての知識・理解」は、区平均を0.3~0.7ポイント上回っている。全校の取り組みとして朝のパワーアップタイムや放課後補習教室で、基礎的な計算の反復練習を丁寧に行ってきた成果と考えられる。ただし、その成果は学年によって偏りがある。今後も取り組みを継続していく必要がある。
- 学習意識調査を見ると、「学校での授業は分かる」は90%を超え、分かる授業づくりに取り組んだ成果といえる。「宿題がないときでも家で勉強をする」や「勉強が好きだ」は、昨年度よりも下降している。卒業後の中学校の学習に、主体的に取り組む生徒とするためにも授業改善を行っていく。
- 昨年度課題であった「1か月に本を2冊以上読む」は、肯定的な回答の割合が62.1%から67.4%に上昇し、区平均より4.8ポイント上回った。昨年度から読書通帳を活用し、読書量を見える化してきた成果である。しかし、学年の差は大きいので、各学年の課題図書を見える化し、児童の手の届くところに置き、本に親しみやすい環境づくりを今年度も継続していく。

学校による学力向上への主な取り組み

- ①放課後補習教室を計画的・組織的に実施する。(毎週月・金に放課後補習教室を実施し、担任と補助教員で指導にあたる。また、知的好奇心を高めるために、放課後補習教室時に「校長塾」を行う。さらに長期休業中は、基礎学習室を実施し、全教員で指導する。)
- ②放課後補習教室、朝のパワーアップタイムをリンクさせ、内容の充実を図る。(学級全体の習熟の低い内容は一斉指導し、個々の習熟の低い内容は放課後に個別指導するなど、未定着な内容に取り組ませる。その際、「東京ベーシック・ドリル」や「次へのステップ」「学習定着度調査復習問題」等の教材を活用する。)
- ③若手教員のみならず、全教員が教科指導専門員の指導を受け、発問や板書の仕方、ノート指導などを学ぶ機会を計画的にもつ。
- ④少人数加配教員が中心になり、「問題、めあて、自分の考え、まとめ」等のマグネットカードを作成し、全教員が足立スタンダードに基づいた授業を行い、授業改善に努め、「できる」から「分かる」授業を実践する。

足立区立千寿第八小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率(H30)	89.9	91.3	94.8	94.8	90.5	98.9	91.7	91.7	87.7	82.7	85.2	87.5
目標値(H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率(H29)	91.9	95.0	89.5	98.9	94.8	94.8	93.6	96.2	91.0	94.4	90.5	88.9
平均正答率(H30)	86.9	87.2	93.5	93.3	87.9	91.3	87.0	90.2	85.2	79.1	82.3	81.2
平均正答率(H29)	89.2	90.5	92.5	95.1	91.1	89.3	88.3	93.3	87.5	89.0	85.7	83.0

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)]の平均値

「学習定着度調査」分析結果

【国語】昨年度比で、通過率は2.0ポイント、平均正答率は2.3ポイント下降した。2～4年は通過率が90%を超えた。しかし、5、6年は同一学年での昨年度比で通過率が約6ポイント下降している。音読や読書、詩の暗唱、読解問題への組織的な取り組みは成果として表れている反面、5、6年の個別指導の徹底が不十分であったと考えられる。また、観点・領域別では「言語についての知識・理解・技能」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に課題が見られる。今後も授業改善を進め、「話す・聞く」「書く」「読む」はもちろん「言語事項」の能力の向上を図っていく。

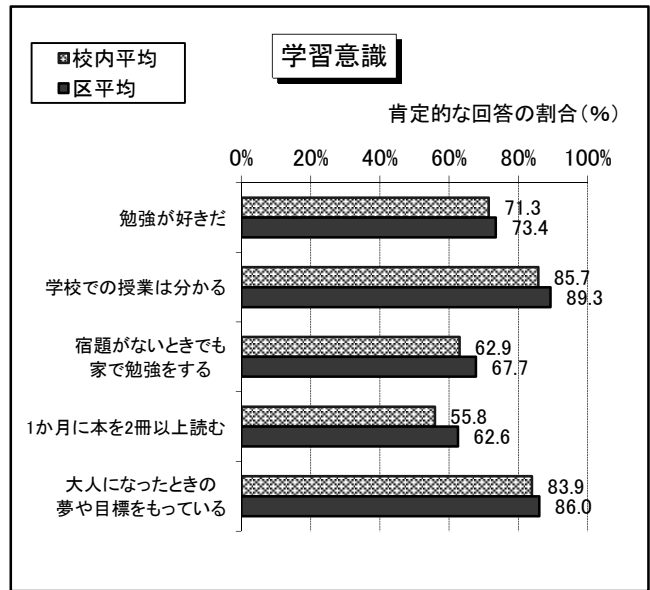
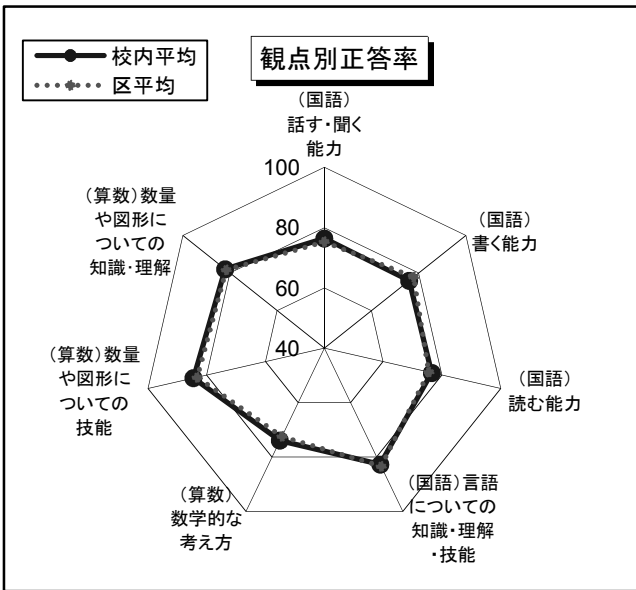
【算数】本校の目標通過率90%は達成することができた。昨年度比で、通過率は3.7ポイント、平均正答率は3.3ポイント下降した。課題は、5年が同一学年での昨年度比で通過率が13.5ポイント下降したことにある。放課後や夏季休業中の補充教室の内容と方法の改善を図る必要がある。習熟度別指導においても下位層の引き上げを図っていく。観点別では、全学年で図形の指導を重視する。

【学習意識】いずれの項目も、区平均を上回っている。毎月実施している学習がんばり週間や読書月間、年間読書目標の取り組みの成果が表れている。今後、さらに「勉強が好きだ」「大人になったときの夢や目標をもっている」の項目の向上を目指し、児童が主体的に取り組む学習活動を行っていく。

学校による学力向上への主な取り組み

- 「ジャンプタイム」…漢字・読解問題・100マス作文を実施し、書く力と読む力の向上を図る。
- 「朝のチャレンジタイム」…音読・マス計算を実施し、表現力と計算力の向上を図る。
- 「放課後補充教室」「夏休み補充教室」「あだち小学生学習教室」…学力調査結果を基に定着が不十分な児童への個別指導を中心に、3、4年の国語の発展コースも取り入れる。
- 「学習がんばり週間」…毎月第2週調査。毎日の宿題とし家庭学習(15分間×学年)を実施する。
- 「そだち指導」…そだち指導員による3、4年の個別指導を実施し、基礎学力の定着を図る。
- 「読書活動の充実」…朝読書や年3回の読書月間、夏季休業中の学校図書館開放、読書目標の設定等により、本に親しむ機会をより多く設ける。
- 「問題解決的な学習の充実」…算数を中心にして授業改善を図り、数学的な考え方を伸ばし、課題解決力、思考力・判断力・表現力等を高める。
- 「話型指導、話す・聞く、話し合う活動の充実」…コミュニケーション能力や表現力を高める。
- 「体験的な活動の充実」…多様な体験的な活動によって、学びに向かう力を向上させ、自ら積極的に学ぶ意欲や態度を高め、将来への夢や目標を育てていく。

足立区立西新井小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率(H30)	76.5	81.8	74.2	78.7	84.8	84.8	69.6	85.3	79.8	78.7	74.7	80.7
目標値(H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率(H29)	80.3	85.7	72.6	83.2	81.9	91.4	79.5	89.8	85.4	80.5	82.9	81.6
平均正答率(H30)	80.1	82.5	86.4	85.9	83.1	83.6	74.3	86.7	80.7	76.1	77.8	78.8
平均正答率(H29)	83.5	84.3	87.0	88.1	84.5	85.5	78.8	87.1	84.4	81.7	83.2	76.8

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

「学習定着度調査」分析結果

○国語：目標値の通過率は76.5%となり、昨年度より3.8ポイント下降した。観点別正答率から考えると「話す・聞く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」については区平均と同程度か、やや上回っている。問題の内容別正答率から考えると、4学年以外では「作文」の正答率が86%を超える。パワーアップタイムの短作文指導の成果と考える。一方で、「漢字を書く」ことに関しては目標値を下回っている学年が2学年あるため、帯時間を活用した漢字テストを繰り返し行い、定着率を上げる必要がある。

○算数：目標値の通過率は81.8%となり、80%を超えることができた。しかし、昨年度より3.9ポイント下降した。観点別正答率から考えると「数学的な考え方」「数量や図形についての知識・理解」は、区平均と同程度か、やや上回っている。問題の内容別正答率から考えると、四則計算については全学年で平均正答率が目標値を超えている。これは、昨年度から行っているパワーアップタイムの繰り返し計算ドリルの活用の成果と考えている。一方で、平面図形、立体図形、面積など図形につまずきがある。ICTを積極的に利用したイメージ化の促進を行っていく。

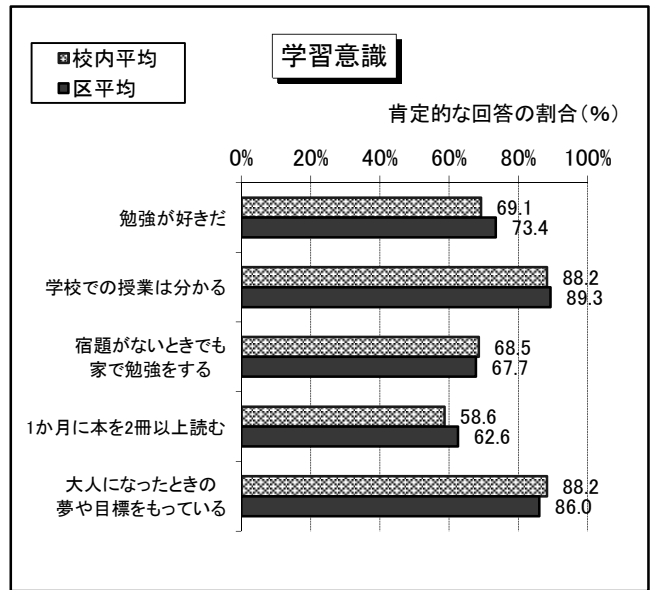
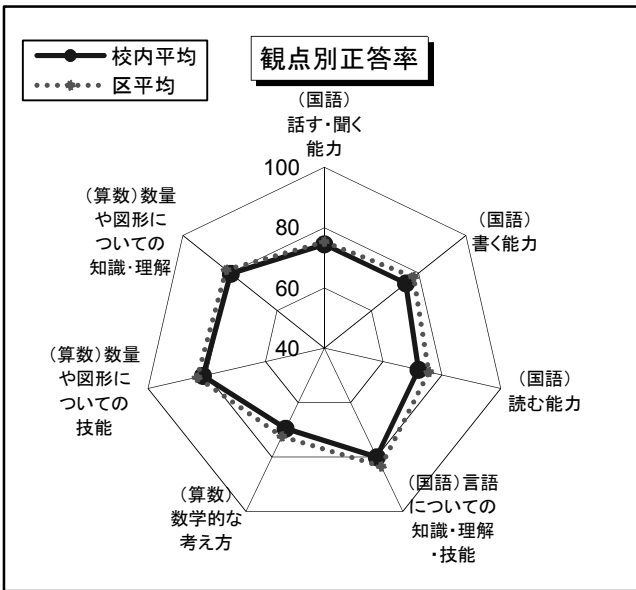
学校による学力向上への主な取り組み

学校全体の課題を見極め克服していく指導を基盤としながら、「児童個々のつまずきに応じた指導」を重点的に展開していく。また、正答率が低い問題についての復習を朝学習、授業の帯時間帯、放課後教室で積極的に展開していくことを今年度も学校共通で推進していく。

○授業の進め方 「足立スタンダード」「西新井小スタンダード」の共通実践をする。 ○学習規律 「学びの約束」の共通理解と徹底を行う。 ○個々のつまずきを解消する「そだち指導」「未通過児童一覧」「放課後学習教室」「フィードバックシステム」「つまずき解決シート」の活用と充実を図る。

○「授業力カルテ」の活用(日常・定期授業観察・OJT) ○帯時間帯の設定 学習前に、習熟や課題克服の時間を3分間程度を目安に設定する。 ○ICTの活用 「よく分かる授業」に直結する「ICTの良さを生かした授業」を積極的に展開する。 ○ノート指導 学習の過程が分かるノートづくりを行う。時系列の整った板書を共通実践する。 ○朝の帯時間(パワーアップタイム) 繰り返し計算ドリル、課題作文による書く力、計算の習熟を図る。 ○放課後学習教室 学年体制で週3回実施する。週1回は区学力調査結果、単元のワークテストを基に抽出した児童に、個々のつまずきの原点に戻った極少数指導を行う。

足立区立西新井第一小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	71.6	73.7	71.6	73.1	74.5	81.8	79.2	83.3	64.5	51.6	68.3	76.8
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	79.2	83.3	75.9	84.2	82.4	88.1	66.7	82.5	83.8	85.0	85.7	76.2
平均正答率 (H30)	77.1	78.9	83.8	84.7	81.4	85.0	78.3	84.8	72.0	65.2	72.9	74.9
平均正答率 (H29)	82.2	84.0	87.1	89.2	87.7	85.4	73.9	84.5	81.8	83.5	82.0	77.2

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

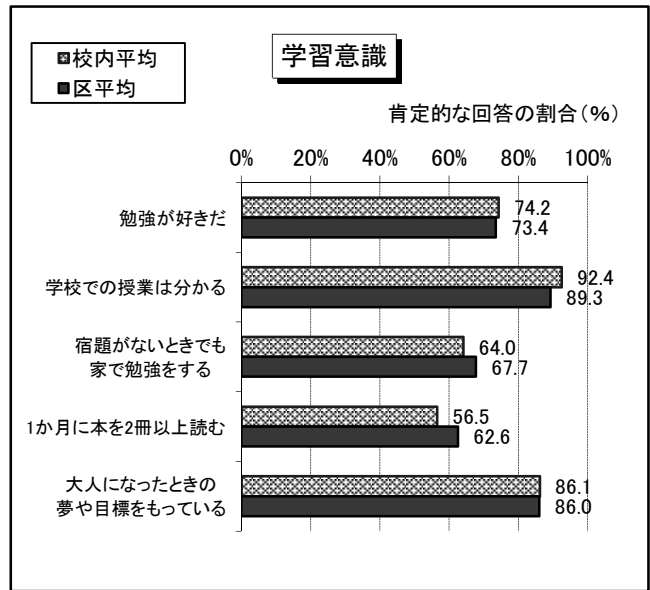
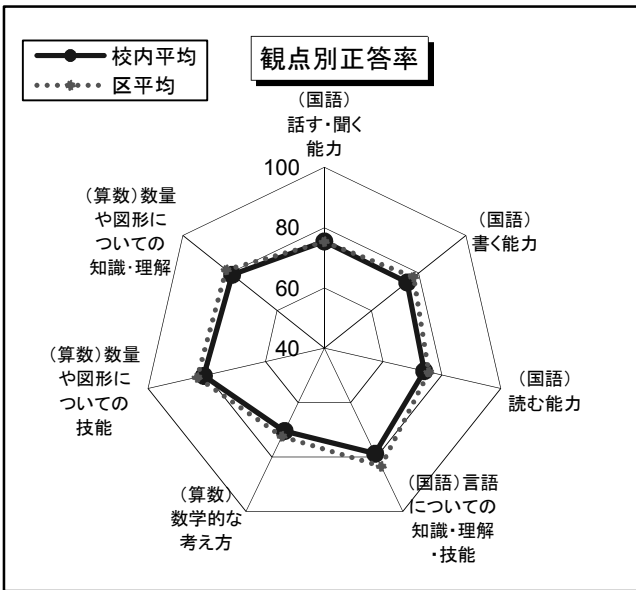
「学習定着度調査」分析結果

- 国語：昨年度との経年比較で平均正答率は5.1ポイント、通過率は7.6ポイント下回った。学年別に同一集団の経年比較で見ると、どの学年も昨年度の平均正答率、通過率をともに下回っている。特に6年生は昨年度より通過率は15.5ポイント、平均正答率は8.9ポイント下回っている。各学年の観点別正答率を目標値と比較すると、話す・聞く、言語に課題が見られる学年が多く見られる。また、各学年の観点別正答率を区平均と比較すると、2年生は関心・意欲・態度、話す・聞く、書く、4年生は書く、5年生は書く、読む、言語、6年生は言語において、区平均を5ポイント以上下回っている。
- 算数：昨年度との経年比較で平均正答率は5.1ポイント、通過率は9.6ポイント下回った。学年別に同一集団の経年比較で見ると、どの学年も昨年度の平均正答率、通過率をともに下回っている。特に5年生は昨年度より通過率は30.9ポイント、平均正答率は19.3ポイント、6年生は通過率は8.2ポイント、平均正答率は8.6ポイント下回っている。各学年の観点別正答率を目標値と比較すると、関心・意欲・態度、数学的な考え方に課題が見られる学年が多い。また、各学年の観点別正答率を区平均と比較すると、2年生は数学的な考え方、5年生はすべての観点で、区平均を5ポイント以上下回っている。

学校による学力向上への主な取り組み

- 朝の帯時間に加え水曜日の昼の時間を使い「パワーアップタイム」を行う。
- 毎週水曜日の5校時を「西一タイム」として位置付け、当該学年の国語・算数の復習を継続的に行う。担任が中間層を、専科教員が下位層を取り出して個別指導する。また、低学年は金曜日6校時を、高学年は木曜日放課後を「すつきりタイム」と位置付け、当該学年もしくは前学年での既習内容で不十分な事項を担当や専科、管理職が協力して「西一タイム」同様に指導し、基礎・基本の定着を図る。
- 夏季休業期間に「西一サマースクール」を10日間、「あだち小学生夏休み学習教室」を5日間実施し、学力に課題のある児童や、ある程度基礎学力が定着している児童の学力向上を目指す。
- 学力調査の過去問に10月、12月、2月の年間3回取り組み、児童の学習定着度を調べるとともに教員の意識改革を図る。
- 春休みにも課題を出し、1年間の総復習ができるようにする。また、新年度には3日間、前年度の学習の振り返りをする期間を設定し、全学年で取り組む。
- 小中連携の話合いを基に学校で統一して話形や学習規律をもう一度確認し、定着を図る。
- 「家庭学習がんばろう週間」を月初めの1週間に設定し、児童、保護者への意識付けを図る。
- 文章読解問題集を全学年で用意し、すべての学習の基礎となる「読む能力」の向上を図る。

足立区立西新井第二小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率(H30)	69.8	73.7	82.6	91.7	76.4	74.5	65.1	81.0	64.6	55.4	64.5	71.0
目標値(H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率(H29)	74.6	70.7	77.2	64.9	75.4	83.6	60.6	80.3	81.7	68.3	79.7	55.0
平均正答率(H30)	76.7	78.2	87.0	88.7	80.6	80.1	73.8	84.4	75.1	66.3	71.9	73.7
平均正答率(H29)	79.9	78.8	87.2	83.1	81.5	80.9	70.8	82.6	82.2	76.6	79.8	69.8

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

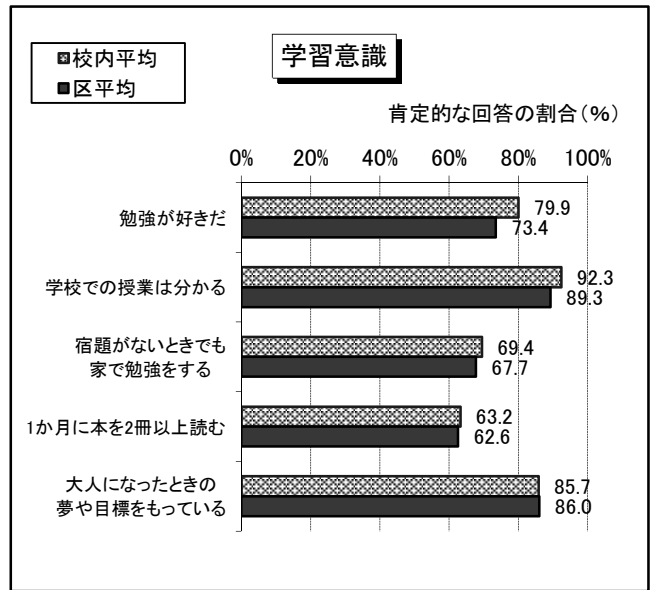
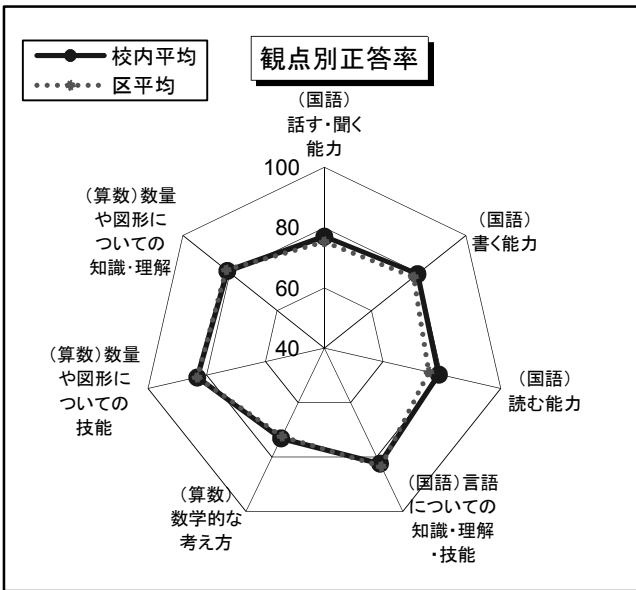
「学習定着度調査」分析結果

- 学習意識調査から「学校での授業は分かる」児童が9割を超えている。昨年度に比べ、全体的にも学習に取り組もうとする姿勢が見られるようになってきた。
- 国語の場合、昨年度に比べ、通過率が4.8ポイント下がっている。観点別正答率から「言語についての知識・理解・技能」が区平均を下回っていることが原因であると考えられる。今後は漢字や文法などの指導を重点的に行いたい。
- 算数の場合、昨年度に比べ、通過率が3.0ポイントアップしたことからも、担任や算数少数教員の指導が着実に身に付くようになってきた。一方で、平均正答率においては昨年度よりも下がっている傾向が見られる。これは計算ミスや問題の意図を読み間違えるなどのことが普通の授業からも見て取れるため、その小さいミスが一つの要因であることがうかがえる。よって、計算ミスがないように技能をアップさせたり、問題の意図をとらえられるように見通しや自力解決の時間を確保したりするなどの、日々の授業づくりと補習の取り組みが重要であると考えられる。

学校による学力向上への主な取り組み

- 普通の授業で「分かる授業」「楽しい授業」
 本校の児童は真面目に学習に取り組もうとする姿勢が大いに見られる。子供自身の「学びたい」「分かりたい」という気持ちを促すことができるよう、授業改善に取り組む方針である。例えばOJT研修では少数グループ(主任教諭1+教諭2)で構成され、互いの授業を見合い、感じたことや改善点を交流しやすい環境を設け取り組むことを、昨年度から行うようにした。また、本年度は主幹教諭も転任したため、グループの垣根を越え、主幹教諭が授業を参観したり、授業を観察させてもらったりするなど、授業スキルの向上に取り組む方向性を今後さらに明確にして取り組んでいく。
- 朝や放課後での観点・個人別指導
 通常の授業では補うことができない個に対する指導や、学級内全体が苦手な分野での指導を、朝や放課後の時間を有効に扱い、指導にあたっている。基本的には朝は計算学習と国語全般の指導を行い、放課後は朝学習や現在取り組んでいる単元で一層の理解が必要とされる児童を中心に教室で個別指導にあたっている。そうした全体と個人への指導を繰り返し行いながら、今後は授業以外でのスキルアップを目指し、取り組んでいく。

足立区立西伊興小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	81.5	79.6	81.4	83.5	79.7	78.5	84.0	87.7	83.9	71.0	78.0	72.9
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	83.4	83.4	80.0	88.0	90.5	90.5	80.6	88.7	84.7	72.9	79.4	73.0
平均正答率 (H30)	82.0	82.3	87.8	88.6	80.9	82.2	83.3	87.5	81.7	74.3	73.9	72.2
平均正答率 (H29)	84.9	83.4	90.0	90.8	90.9	84.9	80.2	87.0	82.1	76.0	79.8	74.3

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

「学習定着度調査」分析結果

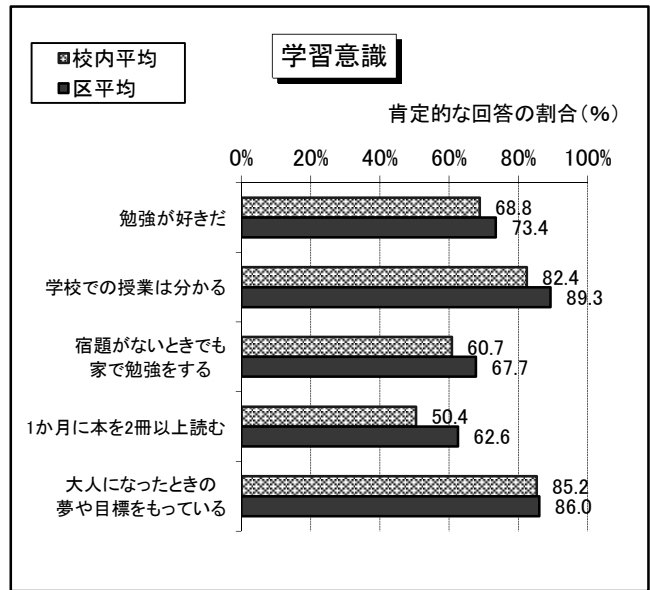
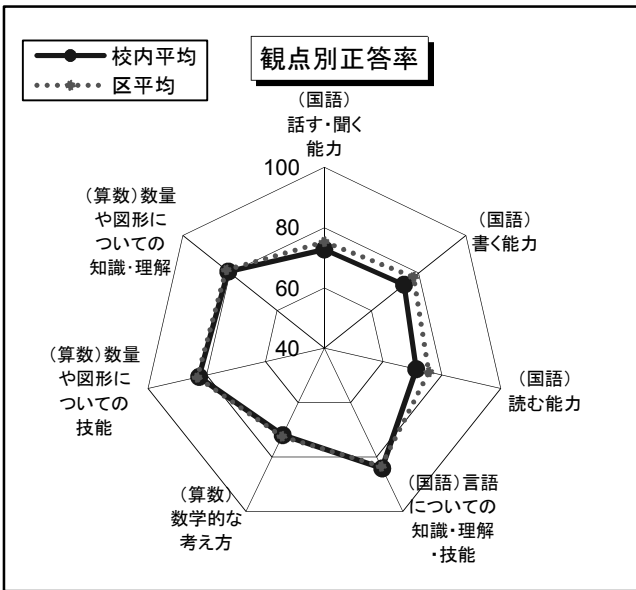
- 学校全体で昨年度と比較すると、通過率が国語、算数ともに2～4ポイント程度減少している。
- 国語では、3、5、6年生の通過率が昨年度と比較すると減少しているが、2、4年生の通過率は昨年度を上回っている。
- 算数では、全学年で、昨年度と比較すると、通過率が減少している。
- 観点別正答率の国語では、「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」では、区平均よりも2～3ポイント程度上回っている。その反面、「言語についての知識・理解・技能」については、区平均よりも1ポイント程度下回っている。
- 観点別正答率の算数では、「数学的な考え方」は、区平均を1ポイント程度上回っているが、学校全体の平均正答率より著しく低い。

以上の点から、学習したことを用いて問題を解く力や筋道を立てて推論する力、応用する力を身に付けることが課題である。

学校による学力向上への主な取り組み

- 月曜日放課後「アフタースクール」で、区学力調査で抽出した低習熟児童に対してつまづきを重点とした補習学習の実施。
- 水曜日5時間目「基礎・基本の時間」で、国語・算数の教科を中心に、復習や習熟を深める学習、東京ベーシック・ドリルを活用した学習に取り組む。また、区学力調査での正答率が低い問題にも全体、個別で取り組む。
- 毎月1回、校内学力テスト、漢字コンテスト、計算コンテストを行い、児童の学力の定着度を分析する。
- 朝学習 (火曜日…計算、水曜日…読書、木曜日…漢字、金曜日…百人一首) に取り組む。
- 中学年全体の底上げをするために、そだち指導を活用する。
- よく分かる授業を目指し、「足立スタンダード」の理解を深め、板書とノートの統一を徹底する。
- 1時間の授業の中で、思考する場面や話し合いをする場面を取り入れ、児童が主体的に活動できるようにする。

足立区立興本小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	73.3	79.1	72.9	81.4	84.5	90.1	76.5	92.6	71.4	76.6	61.6	56.2
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	79.1	80.9	75.0	75.4	85.7	87.1	79.5	91.0	74.3	75.7	81.0	72.9
平均正答率 (H30)	78.6	80.3	84.0	86.6	83.6	85.0	79.1	89.8	78.6	76.2	69.7	64.1
平均正答率 (H29)	81.4	83.4	86.8	88.1	85.9	85.4	79.5	87.7	77.3	78.4	79.0	74.6

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

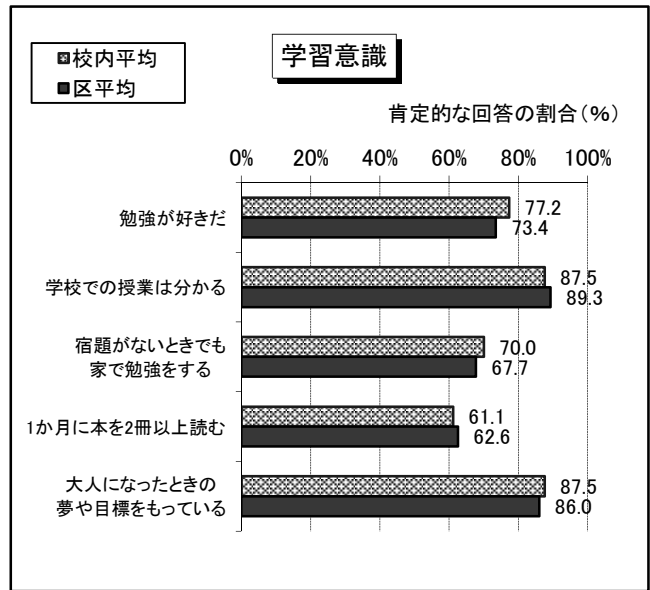
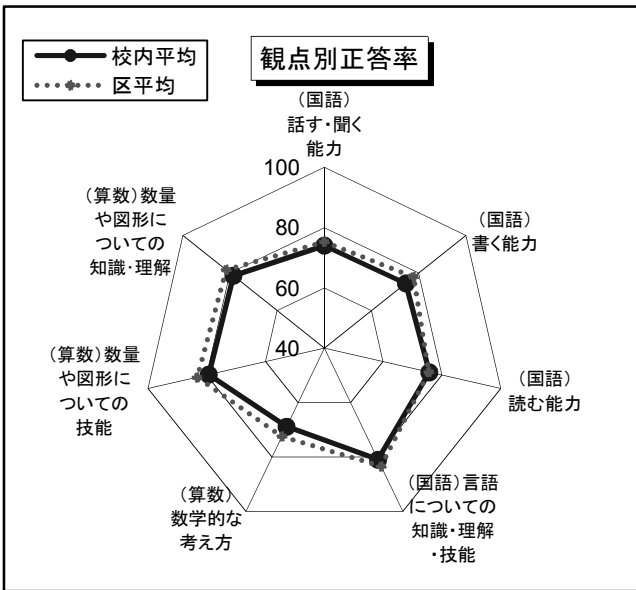
「学習定着度調査」分析結果

- 各学年の通過率を見ると、3年生の国語、3～5年生の算数が区平均を上回っていた。学校全体でも、算数は区平均と同率であった。
- 国語の観点別正答率では、区平均に比べ「書く能力」が4.1ポイント、「読む能力」が4.3ポイント低い。授業だけでなく、読書をする習慣や日記、視写など文章を書く機会も日常生活の中で継続していく。
- 算数の通過率は、6学年以外は昨年度より上がっている。しかし、観点別正答率ではどの観点も昨年度より下がってしまった。SP表を活用して一人ひとりの児童のつまずきを明らかにして指導してきたが、まだ十分定着させることができなかった。
- 国語、算数とも約20%の児童が目標値に達していない。授業や補充教室等で一人ひとりのつまずきに対応したより丁寧な指導を続ける。

学校による学力向上への主な取り組み

- 小中連携研究授業を通して、系統的な指導の実践をし、主体的に学習する児童を育成する。
- どの教科も教科書の内容を正確に読み取れる力を付ける。音読を意図的に取り入れる。
- 特に国語の授業では、音読や暗唱などの他に視写を取り入れ基礎・基本の習熟を図る。
- 算数の授業では自分の考えを説明する活動を意図的に取り上げる。
- 放課後補充教室を継続する。1～4年生は週2日放課後20分間、全教員がマンツーマンで指導する日と学年ごとに指導する日とに分ける。5、6年生は週4日放課後20分間行い、月1回は中学生に教えてもらう。
- 「O(オー)タイム」と称して基礎・基本の定着を図る時間を設定する。計算問題だけでなく文章題の復習をする。一問一問丁寧に組み立てる。1、2年生は国語も取り入れ、日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
- 小中一貫教育校の特徴を生かして、1～4年生までは、年間7時間の「Oタイム」で中学生にプリントの丸付けをしてもらう。5、6年生は放課後の補充教室で中学生に分からないところを教えてもらう。交流を通して、長期的な学習意欲への持続へと結び付け、自己実現を図っていく。
- 基礎・基本定着のための時間を設ける。1～4年生は朝10分間の「パワーアップタイム」に、5、6年生は国語、算数の授業開始5分間と朝10分間に、音読、漢字、計算などを行う。

足立区立本木小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	76.0	72.1	88.5	91.9	82.7	85.2	71.4	68.6	74.2	60.2	64.9	59.5
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	80.1	71.7	84.0	82.7	85.3	76.8	78.0	80.2	80.3	67.6	72.7	45.5
平均正答率 (H30)	78.2	76.7	90.5	91.1	81.9	84.9	75.7	79.7	75.1	66.8	72.4	64.1
平均正答率 (H29)	81.4	80.2	88.6	88.6	86.2	81.2	76.7	84.1	80.8	76.4	77.0	65.8

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

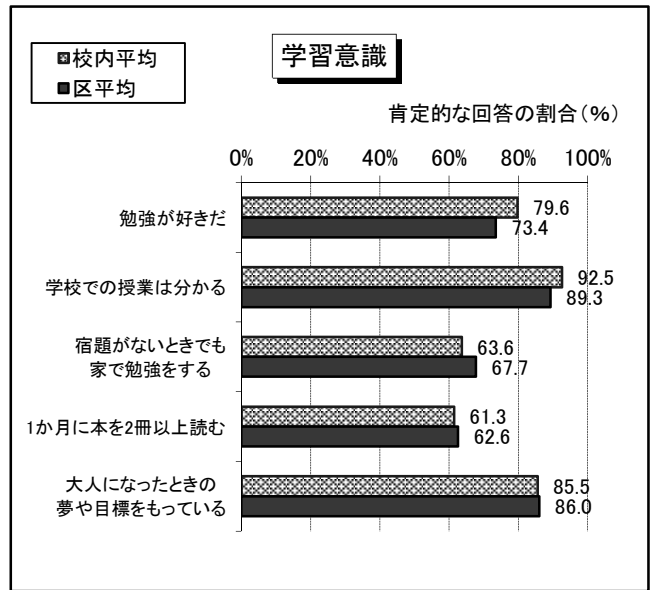
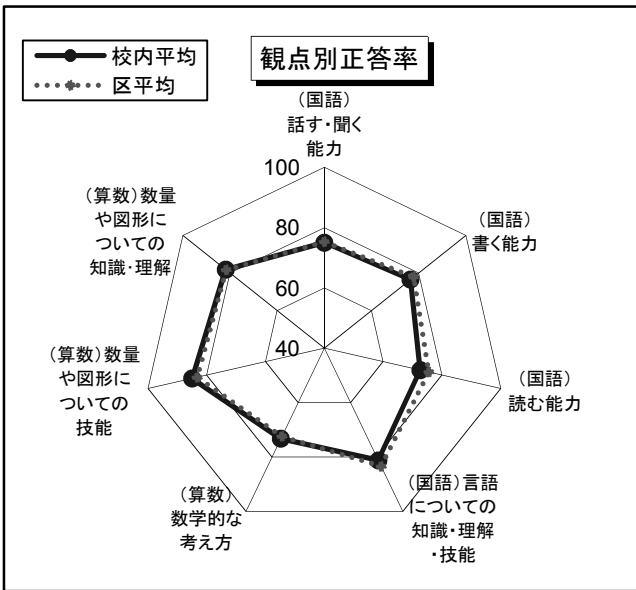
「学習定着度調査」分析結果

- 学校全体の平均正答率を昨年度と比較すると、国語は3.2ポイント、算数は3.5ポイント低下している。また、学校全体の通過率を昨年度と比較すると、国語は4.1ポイント低下し、算数は0.4ポイント上昇している。学年別に見ると、国語の通過率は、昨年度と比べ、2年生が4.5ポイント上昇している。算数の通過率は、昨年度と比べ2年生で9.2ポイント、3年生で8.4ポイント、6年生で14.0ポイント上昇している。しかし4年生の算数は11.6ポイントと大幅に低下している。
- 観点別正答率を見ると、全体的に区平均を下回っているが、最大で約4ポイントほどの差にとどまっている。
- 学習意識調査については、「勉強が好きだ」「宿題がないときでも家で勉強をする」「大人になったときの夢や目標をもっている」は、校内平均が区平均よりも高い。しかし、「学校での授業は分かる」は、6年生が区平均よりも明らかに下回っている。

学校による学力向上への主な取り組み

- 互いの人権の尊重を重視し、安心して生活できる学級環境と、全学年安定した授業の雰囲気をつくるとともに「考える力を育てる授業」を実践する。また、本校の研究主題とも関連させながら、主体的・対話的な学びを通して学力の定着を図っていく。そのために、「自分で考える」「自分の考えを友達に伝える」「自分の考えと友達の考えを比較する」等の学習過程を大切にしていく。
- パワーアップタイム、スキルアップタイム、本木タイム等を活用した基礎・基本の徹底。朝、火・木の15分間はパワーアップタイムとして、音読・計算に取り組み、5時間目の授業前、月・火・木・金の10分間はスキルアップタイムとして、計算・漢字の練習をしている。また、水曜日の1時間、ゴーゴータイムとして、全校で学力テストの過去問の読解問題及び短作文に取り組んでいる。木曜日の放課後には本木タイムを設定し、学年10名程度を対象に個別指導を行っている。
- 夏のサマースクールでは、学年20名程度を選出し、算数5日間、国語5日間の補習教室(個別指導)を行っている。算数のサマースクールでは、第六中生徒がボランティアで参加し、丁寧にアドバイスをしてくれている。また、昨年度からはサマースクールに加えて、そだち指導の他に民間教育事業者に委託して「あだち小学生夏休み学習教室」を実施している(3、4年生対象)。

足立区立寺地小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	73.3	80.5	76.6	89.1	89.7	84.5	71.7	88.7	67.3	65.3	58.5	71.7
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	82.3	83.5	67.3	72.7	81.1	86.8	93.6	97.9	86.8	84.9	85.0	75.0
平均正答率 (H30)	78.8	82.7	87.5	88.9	84.6	85.1	75.6	87.0	75.7	73.9	70.5	75.6
平均正答率 (H29)	83.7	84.7	84.4	86.3	83.6	83.9	85.0	92.0	83.6	82.5	81.5	77.7

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

「学習定着度調査」分析結果

【国語】学校平均正答率は78.8%で、昨年度比-4.9ポイントである。通過率は、昨年度比-9.0ポイントである。平均正答率の同一集団による経年比較では、3年 (昨年度2年) +0.2ポイント、4年 (昨年度3年) -8.0ポイント、5年 (昨年度4年) -9.3ポイント、6年 (昨年度5年) -13.1ポイントである。通過率の同一集団による経年比較では、3年 (昨年度2年) +22.4ポイント、4年 (昨年度3年) -9.4ポイント、5年 (昨年度4年) -26.3ポイント、6年 (昨年度5年) -28.3ポイントである。3年以外の通過率は、昨年度より大幅に下がっている。観点別正答率では、「話す・聞く能力」は区平均と同程度だが、それ以外の観点は下回っている。特に「読む能力」は課題があるため、さらに音読指導の充実と読書活動の推進を図る。

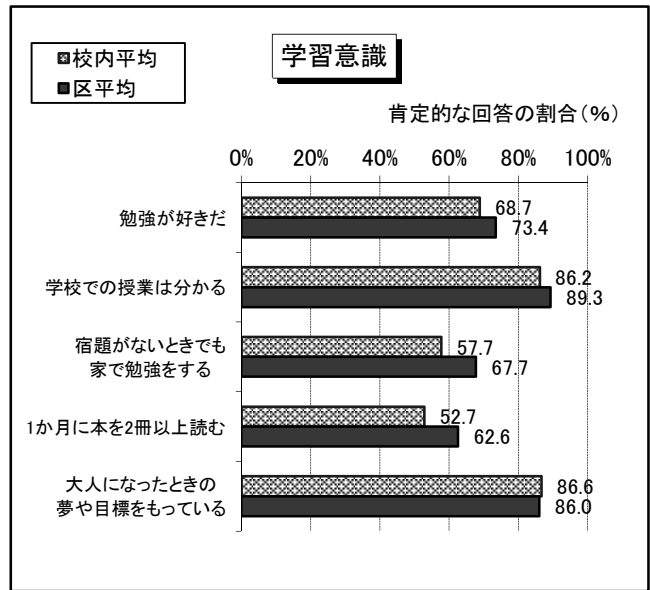
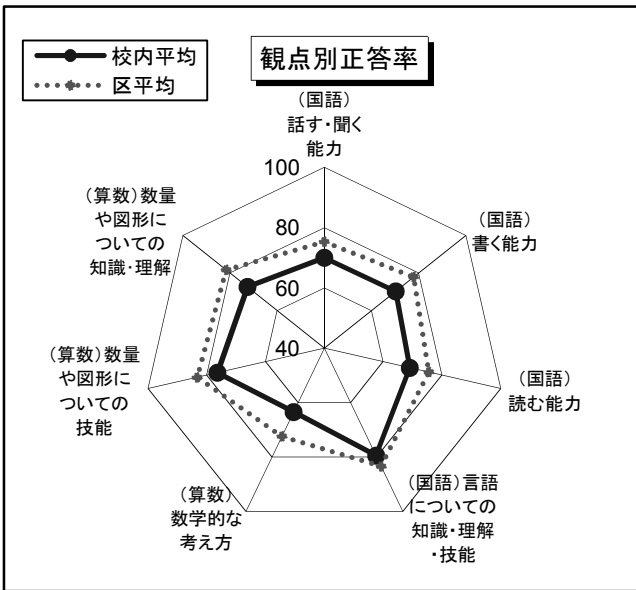
【算数】学校平均正答率は82.7%で、昨年度比-2.0ポイントである。通過率は、昨年度比-3.0ポイントである。平均正答率の同一集団による経年比較では、3年 (昨年度2年) -1.2ポイント、4年 (昨年度3年) +3.1ポイント、5年 (昨年度4年) -18.1ポイント、6年 (昨年度5年) -6.9ポイントである。4年は向上し他の学年は下がっている。通過率は3、4年は向上が見られる。観点別正答率ではすべての観点で区平均と同程度か少し上回っている。昨年度より、正答率の減少が見られたので、個々の課題を分析し、今までの取り組みを徹底すると同時に個に応じた指導の充実を図っていく。

学校による学力向上への主な取り組み

【国語】①音読指導を徹底し、読む力を付けるための指導を工夫する。②文章で表現する活動を他領域、他教科において意図的に取り入れ書く習慣を身に付ける。③言語事項について計画的に反復練習をする。低学年ではMIMの指導を徹底する。④聞き取りテストを年間6回実施し、聞き取る力を高める。⑤ノート指導と日記指導及び作文指導を充実する。⑥寺地漢字指導法による漢字指導の徹底を図る。⑦テストでは、題材文、問題文をよく読んでから取り組む習慣を付ける。⑧学級において放課後学習の時間を充実させ、個に応じた指導を実施する。⑨テストの見直しを確実にし、学校と家庭で徹底する。⑩話し合い活動の充実を図り、よりよく課題解決できる力を養う。⑪授業の中で視写の指導を取り入れる。⑫読書活動に力を入れ、個々の読書量を増やす。

【算数】①ノートは見やすく1行空けて丁寧に書く、直線は定規を使用する等のノート指導を徹底する。②問題文の必要な箇所を線に引くなど、題意をつかむまでよく読む。③寺地計算検定で基礎・基本を習得する。④ノートを基に自分の考えを分かりやすく発表する。⑤復習プリントを毎日実施する。⑥各学級における日々の放課後学習をポートフォリオ活用して、内容の充実と徹底を図る。⑦東京ベーシック・ドリルの診断テストを活用した計画的な指導を行う。

足立区立関原小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	66.7	64.5	67.7	81.5	66.7	49.2	69.8	63.5	65.1	61.9	64.2	65.7
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	80.7	76.2	70.0	70.0	89.2	88.9	78.1	81.0	82.4	70.1	83.3	70.4
平均正答率 (H30)	74.9	73.3	83.1	85.6	71.9	65.4	75.9	77.8	75.5	67.7	69.6	68.4
平均正答率 (H29)	80.6	80.9	83.7	85.9	84.9	82.9	80.2	84.3	76.4	76.4	79.1	73.5

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

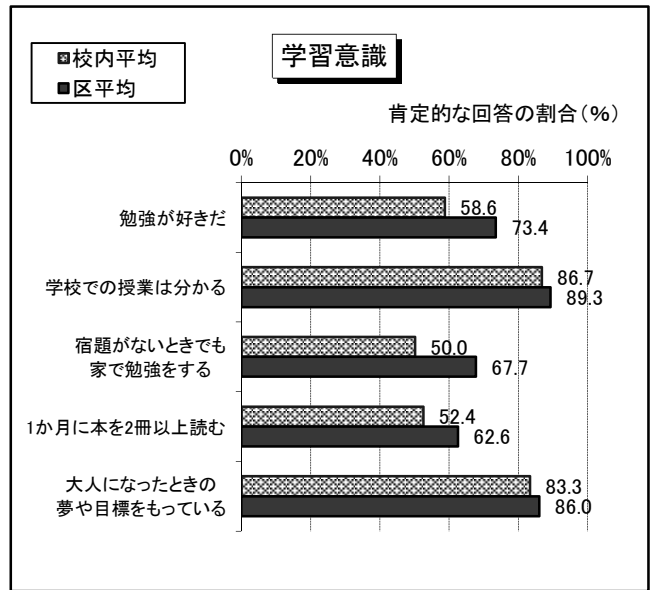
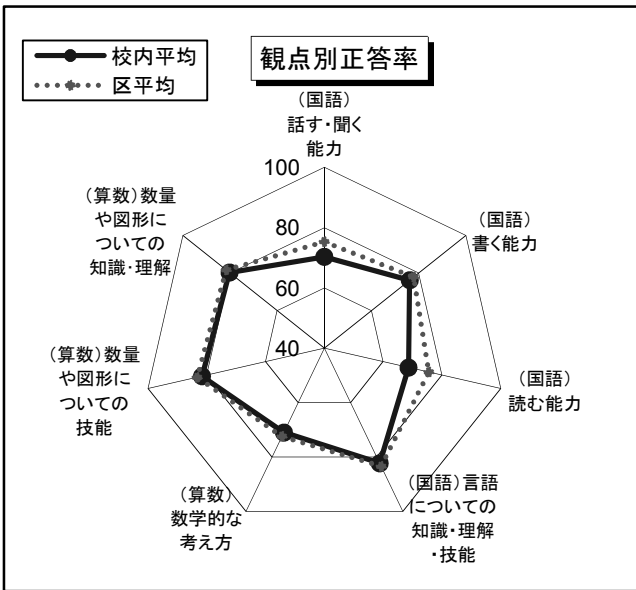
「学習定着度調査」分析結果

- 学校全体の通過率は、昨年度と比較して、国語で-14.0ポイント、算数では、-11.7ポイントであった。
- 第2学年の算数の通過率は、昨年度よりも11.5ポイント上がった。
- 通過率が大きく下がった学年及び教科は、第3学年の国語で-22.5ポイント、同算数で-39.7ポイントであった。
- また、国語では、第5学年と第6学年がそれぞれ-17.3ポイント、-19.1ポイントであったので、学校全体の国語通過率の昨年度との差が大きくなったと考えられる。
- 観点別正答率で見ると、国語も算数も全項目で区平均を下回っており、国語の「言語についての知識・理解・技能」以外は、区平均正答率を大きく下回っている。
- 学習意識の結果から、「大人になったときの夢や目標をもっている」に肯定的な回答をした児童は、区平均を0.6ポイント上回っている。
- 学習意識の結果で、区平均より大きく下回っているのは、「宿題がないときでも家で勉強をする」 (-10.0ポイント)、「1か月に本を2冊以上読む」 (-9.9ポイント)であった。

学校による学力向上への主な取り組み

- 基礎・基本の定着と思考力・判断力・活用力・表現力の育成
 - ・足立スタンダードによる板書計画とノート指導の徹底及び定着を図る。
 - ・課題解決型の学習展開と学び合いによる分かる授業の展開を行う。
 - ・単元テスト、チャレンジテスト後のフォローを徹底する。
 - ・パワーアップタイムと放課後補習教室において基礎・基本を徹底する。
- 学習習慣の確立
 - ・学習規律の繰り返し指導による学ぶ姿勢と学び合う態度を育成する。
 - ・家庭学習の習慣化と確実な定着を図る (学年×10分+10分)。
- 読書活動の充実
 - ・パワーアップタイムの読み語りや読書活動による読書の機会を確保することを通して読解力を強化する。
 - ・読書貯金において頑張り目標を設定させ、読書貯金を奨励する。
- 学びを支える健康な身体づくり

足立区立江北小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率(H30)	71.7	78.4	70.0	80.6	78.8	84.8	72.1	86.0	73.8	73.8	63.9	66.7
目標値(H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率(H29)	72.9	77.4	64.7	82.4	83.7	90.7	79.1	79.1	62.2	64.9	71.4	69.0
平均正答率(H30)	77.2	79.4	83.3	87.0	79.5	82.3	76.9	85.2	78.7	71.2	69.7	72.4
平均正答率(H29)	79.3	80.7	84.6	88.0	83.6	84.9	78.6	82.2	75.1	73.7	76.1	74.1

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

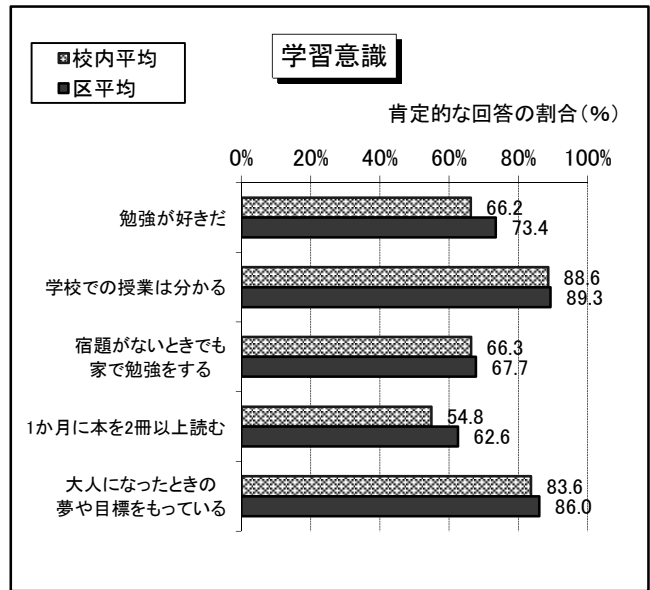
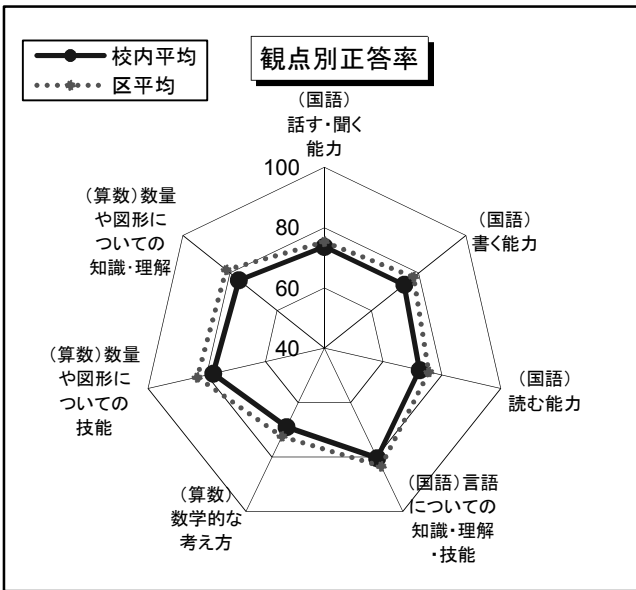
「学習定着度調査」分析結果

- 学校全体の平均正答率は、昨年度より国語が2.1ポイント、算数が1.3ポイント低下したが、すべての学年の平均正答率が目標値を上回った。通過率においては、昨年度より国語が1.2ポイント低下、算数は1.0ポイント向上した。2教科合計の通過率は、昨年度と同値であった。平均正答率は低下したが、通過率が変わらないことから、全体の平均値も低下したことが考えられる。
- 学年別により同一集団による比較で見ると、3年生の国語が昨年度の学年次から大幅に通過率が向上し、3年生の算数、6年生の国語・算数がわずかず向上した。一方、4、5年生の国語・算数は、昨年度の学年次から通過率を下げている。6年生においては、通過率自体は高くないが、前年度比では向上している。
- 観点別に見ると、国語では「話す・聞く能力」「読む能力」に課題が見られる。物語文や説明文の要点や要旨を正しくとらえる問題や、資料を読んだり放送を聞いたりしたことを基に正しい文を選択・構成するなどの問題で正答率が低い。算数においては、区平均をやや下回るものもあるが、際立って落ち込みのある観点はなく、昨年度までの取り組みが徐々に成果となって表れてきているととらえている。

学校による学力向上への主な取り組み

- 9学級と特別支援教室のうち、本校を初任校とする教員が7名いる。教科指導専門員と連携して、足立スタンダードによる「ねらい」と「指導」「評価」が一体となった授業づくりをさらに進めていく。若手教員による研修会を継続し、互いに授業を公開しながら、発問や板書、ノート指導等、具体的な指導のあり方について高め合う。
- 週3回、始業前の15分間を計算と漢字、読書の時間とし、既習内容復習と反復による定着、読解力の育成に充てる。
- 放課後学習の対象学年を増やし、全校体制で児童のつまずきに応じた個別指導を行う(月～金曜日)。
- 水曜日のクラブ・委員会の時間を活用し、2、3年生の課題のある児童を対象に個別指導を行い、基礎・基本の定着を図る。
- 10日間の「夏季学習教室」の対象者を中・下位層、「あだち小学生夏休み学習教室」の対象者を上位層とすることで、幅広い児童の学力向上に資する。
- そだち指導、特別支援教室との連携を図り、課題のある児童への個別支援を充実させる。

足立区立高野小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率(H30)	71.7	68.8	77.6	79.6	58.2	76.8	78.3	76.1	67.3	44.9	78.0	66.7
目標値(H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率(H29)	77.6	76.5	72.4	72.4	83.0	87.2	70.8	83.3	80.0	75.0	82.6	65.2
平均正答率(H30)	77.1	75.8	88.5	88.1	75.4	78.0	76.9	83.3	72.1	61.0	75.1	69.0
平均正答率(H29)	80.9	80.7	84.8	84.6	83.6	83.4	74.7	83.3	80.5	77.6	80.9	73.2

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

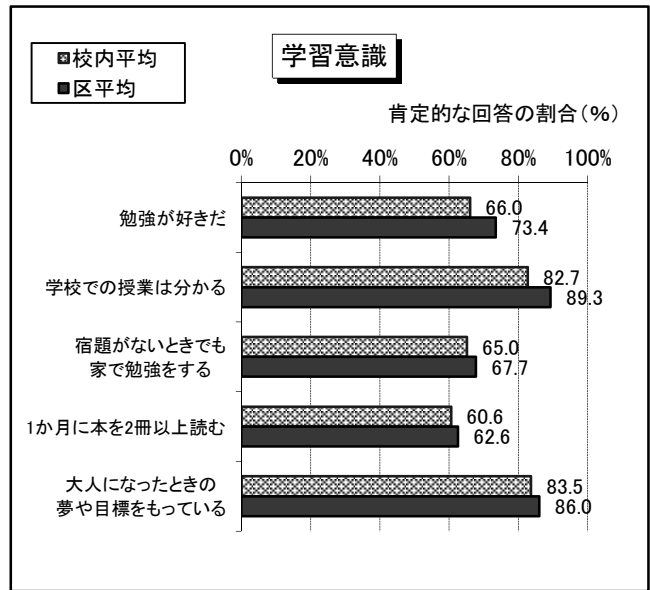
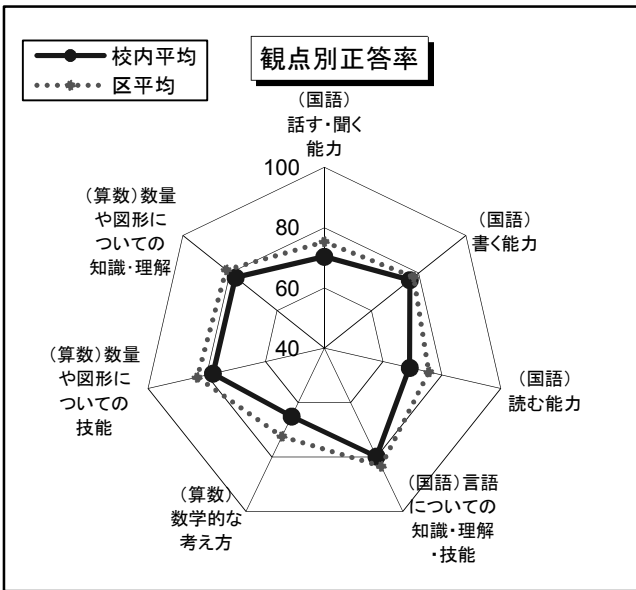
「学習定着度調査」分析結果

- 学校全体で見ると、通過率は昨年度より国語は5.9ポイントの降下、算数は7.7ポイントの降下が見られ、平均正答率においては、昨年度より国語は3.8ポイントの降下、算数は4.9ポイントの降下が見られた。これらのことより、本校の課題は、国語と算数ともに、その基礎学力の定着と向上にある。特に、国語においては3年生、算数においては5年生と6年生に課題がある。
- これらの学年について、算数における解答を分析したところ、5年生は、応用力・思考力を求められる問題の正答率が低い傾向が見られた。3年生は、文章題の正答率が低く、これは文章題の文章の読解ができていないことが指摘される。6年生は、計算ミスが多く、最後の問題まで取り組めていない児童も見られた。また、3年生と同様に文章問題の文章読解力が課題である。
- 国語においては、特に3年生に課題がある。この学年について国語における解答を分析したところ、3年生は文章の読み取り問題の正答率が低い傾向が見られ、特に説明文の読解力に課題がある。作文では、指定された条件のもとで書くことに課題がある。

学校による学力向上への主な取り組み

- 学力向上への主な取り組みとして、足立スタンダードに基づいた授業改善【国語を中心とした校内研究の実施】、朝の音読と読書【始業前の時間に実施】、高野塾【放課後補充学習】、高野タイム【個別学習】、漢字コンテスト【毎月1回、満点の児童に対して校長より表彰】等を行っている。
- これらの取り組みを通して、分析によって得られた課題に対して次のような対策を講じる。算数について、5年生は、計算問題を十分に練習させ、自分の考えを説明する活動を多く設定する。6年生は、既習事項について理解を深めさせ、それを生かして課題解決する学習を展開していく。また、計算練習の時間を確保する。国語について、3年生は読み取った内容を基に考えたことを話し合うなど主体的に取り組む活動を多く設定する。そして、言語事項が身に付くよう練習を繰り返し、短作文にも取り組ませる。

足立区立扇小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率(H30)	70.8	67.8	75.0	73.1	69.8	79.1	64.8	68.5	78.6	54.8	67.3	62.5
目標値(H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率(H29)	81.6	78.1	80.0	75.6	84.9	81.5	75.6	78.0	81.3	83.3	86.1	69.4
平均正答率(H30)	76.3	76.2	84.7	82.4	77.1	81.8	70.1	78.0	78.3	67.0	73.1	69.8
平均正答率(H29)	82.4	80.9	87.8	87.4	86.2	78.4	75.0	83.5	82.0	81.1	80.6	71.9

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

「学習定着度調査」分析結果

【国語】学校全体の通過率は70.8%で昨年度よりも10.8ポイント下がり、平均正答率も76.3%で6.1ポイント下がってしまった。観点別に見ると「書く能力」「言語についての知識・理解・技能」は、区平均とほぼ同等であるが、「話す・聞く能力」「読む能力」に課題があることが分かる。学年別に見ると、3、4、6年生の通過率に課題があり、特に4年生に課題があるといえる。

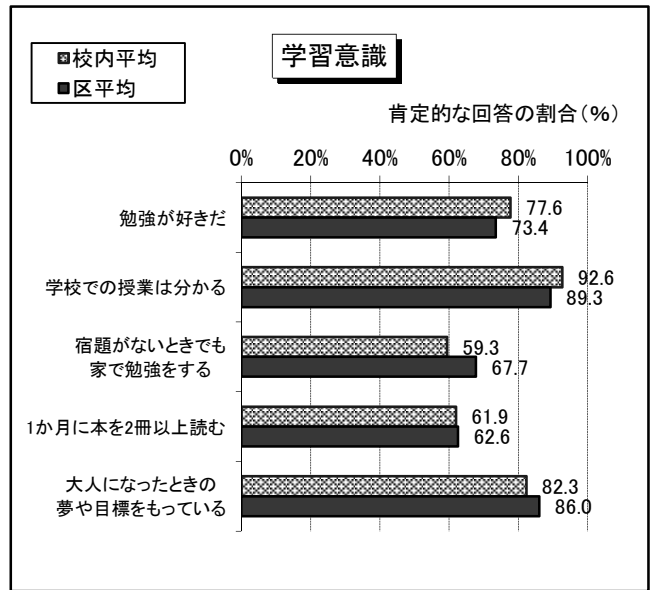
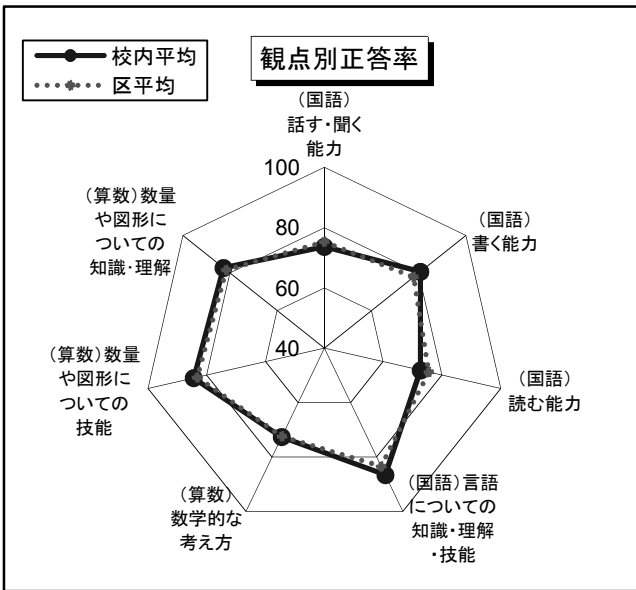
【算数】学校全体の通過率は67.8%で昨年度よりも10.3ポイント下がり、平均正答率も76.2%で4.7ポイント下がってしまった。観点別に見ると「数量や図形についての知識・理解」は区平均とほぼ同等であるが、「数学的な考え方」「数量や図形についての技能」に課題があることが分かる。学年別に見ると、4、5、6年生の通過率に課題があり、特に5年生に課題があるといえる。

【学習意識】どの項目も区平均より下回っているが、「1か月に本を2冊以上読む」が、昨年度に比べて5.0ポイント向上した。しかし、「勉強が好きだ」「学校での授業は分かる」が区平均を6ポイント以上下回っている。どの児童も「授業がよく分かる」「勉強が好きだ」と思えるよう、さらに授業改善を進めていく必要がある。

学校による学力向上への主な取り組み

- 学力調査結果等の分析に基づく補習及び授業改善
 - ・区学力調査の結果や国語・算数の各単元のテスト結果をSP表等を用いて分析し、課題のある学習内容、課題のある児童を絞り込む。個人カルテを作成し、現在学習している内容についての補習(A補習)、前学年の学習内容についての補習(B補習)を並行して、計画的に実施する。
 - ・学期中の補習教室のほか、長期休業日中の補習など管理職・専科を含め全教職員で補習を行う。
- 区学力調査問題を活用した調査を年4回(4・9・11・2月)実施し、学習定着状況の確認、補習内容の見直しをする。
- ・小学生夏休み学習教室において、算数基礎コースに限定して既習事項の定着を図る。
- 教員の授業力向上
 - ・近隣校との小中連携における授業研究、指導案検討(4校×6分科会)を通して、互いの授業力を向上させる。また、校内でも、互いの授業を見合う活動を一人最低10回以上行う。
 - ・区教科指導専門員による授業観察及び事後指導を通して授業力を向上させる。
- 読書活動の推進、言葉の力を付ける
 - ・図書ボランティアや教員による読み聞かせや読書記録カードを活用し、本好きな児童を育てる。
 - ・言葉の力を育てるための校長講話の題付け、俳句制作、百人一首等の国語的活動を行う。

足立区立鹿浜第一小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	81.0	80.6	75.8	85.7	83.3	77.8	79.5	85.2	85.3	74.3	80.2	81.3
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	80.7	78.5	69.6	73.9	85.1	82.8	82.1	82.0	86.2	77.7	80.2	75.3
平均正答率 (H30)	81.5	81.9	85.1	89.3	82.9	82.6	80.2	85.7	82.0	74.7	78.1	78.2
平均正答率 (H29)	82.5	81.9	84.3	85.4	84.4	81.9	80.0	85.1	83.8	79.5	81.0	75.7

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

「学習定着度調査」分析結果

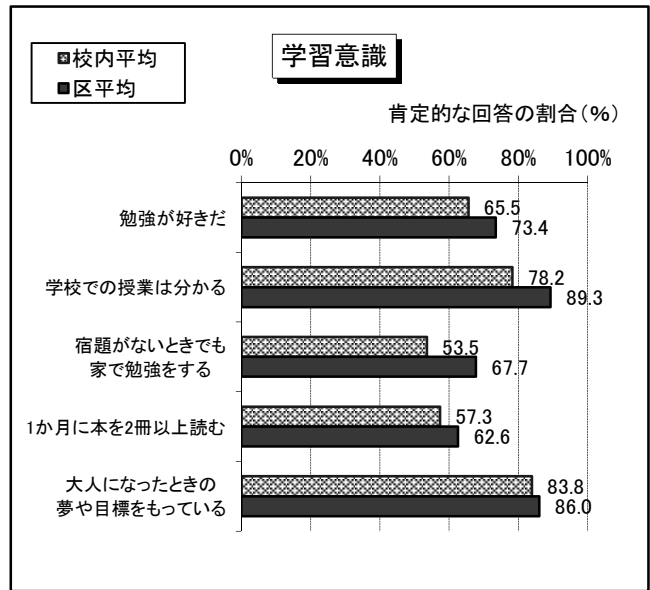
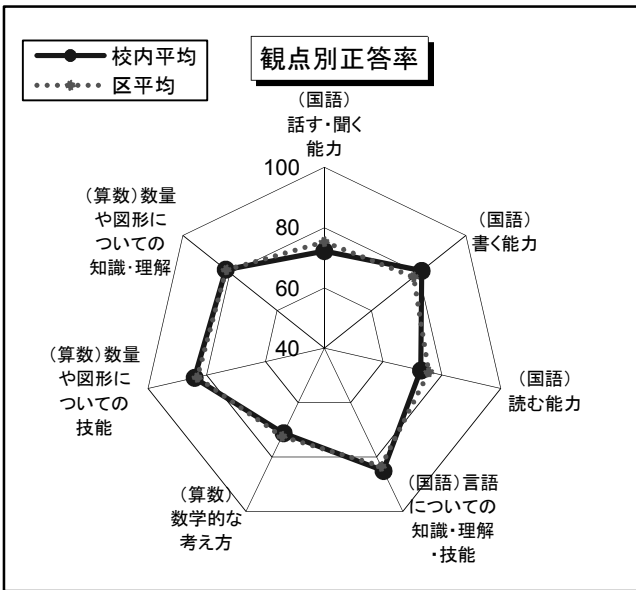
○学力に関する結果分析
 平均正答率では、国語、算数ともに区平均を上回った。通過率では、国語、算数ともに区平均を上回り、昨年度と比較しても2教科平均で1.2ポイント上昇している。また、各学年と区の通過率との比較では、6年生国語+4.4ポイント、算数+5.2ポイント、5年生国語+6.9ポイント、算数+3.6ポイント、4年生国語+1.8ポイント、算数+1.6ポイント、3年生国語+2.0ポイント、算数-5.0ポイント、2年生国語-2.8ポイント、算数+3.5ポイントとなった。3年生については前学年時の通過率と比較して、国語では13.7ポイント増と改善が見られる。算数は改善傾向にあるが、継続して重点的に取り組みを進めていく必要がある。

○学習意識調査の結果分析
 5項目中「勉強が好きだ」は4.2ポイント、「学校での授業は分かる」は3.3ポイントといずれも区平均を上回っている。一方、「1か月に本を2冊以上読む」に関しては、昨年度より1.7ポイント伸びが見られた。しかし、家庭学習に関する項目では8.4ポイント区平均を下回り、昨年度と比べても9.5ポイント下回っている。宿題の提出状況は悪くはないことから、引き続き家庭と連携しながら、音読、算数ドリル、漢字などの宿題を中心とした家庭でのスキルアップに取り組む必要がある。

学校による学力向上への主な取り組み

- 学習規律の基本を明確に示し、特に話の聞き方、話し方指導を充実させる。「はい。立つ。～です。」の発言ルールの定着を図る。
- 学習内容の定着を図るための4つの柱を充実させる。
 - 学力調査や単元テストの分析を基に個々の課題を明確にすることによる指導の充実
 - 朝昼のパワーアップタイム (朝は全校読書、昼は基礎・基本習熟) による学習の充実
 - 学習をしっかり定着させるための補充・補習教室の実施と充実 (含プレジデントタイム)
 - 読む、聞く、話す能力の向上に向けて、言語活動を重視した問題解決型の授業の推進
- 教員の指導力の向上
 - 若手教員研修会、ミドルリーダー研修を通年で実施し、人材育成及び指導力の向上を図っていく。
 - 校内のOJTラインを活用し、若手への積極的な授業公開を進め、教える側、教えられる側、双方が学びを高める人材育成を図る。

足立区立北鹿浜小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)	78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7		
通過率 (H30)	79.5	77.4	71.9	71.9	84.4	82.2	80.6	88.9	76.6	60.4	81.7	83.3
目標値 (H29)	78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3		
通過率 (H29)	79.7	82.3	72.3	76.6	94.6	94.7	77.1	87.5	79.3	79.3	78.0	75.6
平均正答率 (H30)	80.2	80.4	86.5	87.3	83.5	83.6	79.1	86.9	78.5	71.1	77.2	77.8
平均正答率 (H29)	81.8	83.9	86.4	87.8	90.7	89.3	78.7	85.2	78.9	81.8	78.1	74.9

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

「学習定着度調査」分析結果

○学校全体で見ると、通過率は目標としていた75%を国語は4.5ポイント、算数は2.4ポイント上回った。しかし、2年生の国語・算数、5年生の算数の通過率については、目標を超えることができなかった。また、通過率、平均正答率が昨年度より下がっている。

○国語は、どの学年も語彙量の不足と、文章の題意や言葉から場面を想像したり心情を考えたりすることに課題が残った。聞き取り問題は、学年が上がるにつれて正答率が上がっている。

○算数は、文章問題の正答率が低い。これは、文章を読んで具体的なイメージをつかむことができないことに起因している。

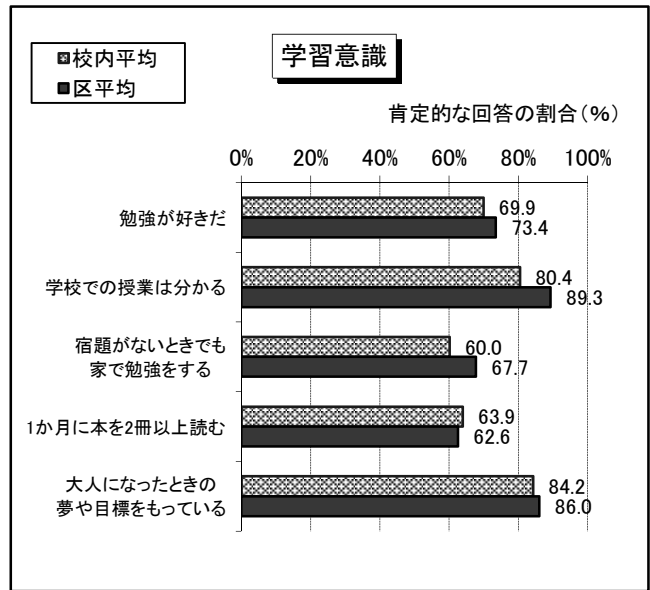
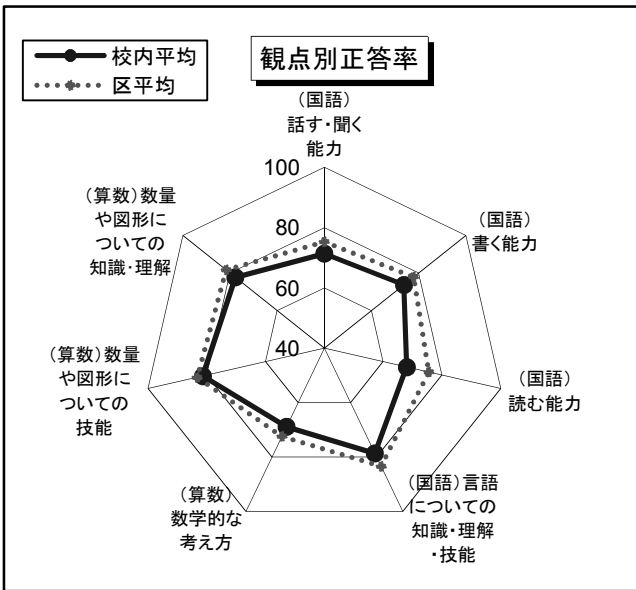
○学習意識調査の結果より、すべての項目で区平均より下回っている。特に、「宿題がないときでも家で勉強をする」が14.2ポイント低いこと、「学校での授業は分かる」が11.1ポイント低いことは、家庭の協力による家庭学習の習慣化と学校における実態に応じた授業改善が必要である。

学校による学力向上への主な取り組み

○区の施策を受け、児童一人ひとりに対して、各々の学習状況を把握しながら基礎学力の定着を図る。(具体的な取り組み)

- ・15分間の朝学習を週3回設定し、国語・算数の基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る。また、5分間読書を取り入れ、読書活動の充実及び習慣化と集中力の伸長を図る。
- ・区・都・全国の学力テストの結果の分析と考察、毎月1回のMIM実施などを通して、学力ポートフォリオを作成して児童一人ひとりの学習における課題を明確にし、個に応じた指導の一層の充実を図る。児童一人ひとりの達成状況を詳細に分析しながら、「放課後のびタイム」(放課後の補習授業：週4回)の中で達成状況の低い児童の学力向上を目指す。
- ・夏季休業中には、少人数による補習教室を計10日間設定する。「あだち小学生基礎学習教室」の効果的な活用を図る。そだち指導員との連携を密にし、より効果的な活用を図る。これらのことを通して、学力の定着が不十分である児童に対して、行き届いた環境の中でできる喜びを保障し、学習意欲を高めていくとともに、基礎的・基本的な内容や学習習慣などの一層の定着を図る。
- ・今後、「北鹿浜小 家庭学習のてびき」を作成し、家庭学習の習慣化を図っていく。

足立区立鹿浜西小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)	74.3	77.5	78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	69.0	74.2	78.3	87.0	84.8	75.8	37.5	65.6	75.0	72.7	71.1	73.7
目標値 (H29)	74.3	77.5	78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	73.7	77.5	71.0	90.3	70.0	65.6	75.0	75.0	76.9	74.4	74.5	81.3
平均正答率 (H30)	74.3	77.5	87.9	88.0	81.5	82.5	62.0	77.4	76.3	70.3	70.1	72.6
平均正答率 (H29)	79.5	80.8	86.0	90.8	80.1	75.9	76.4	84.2	79.6	76.8	77.6	77.8

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

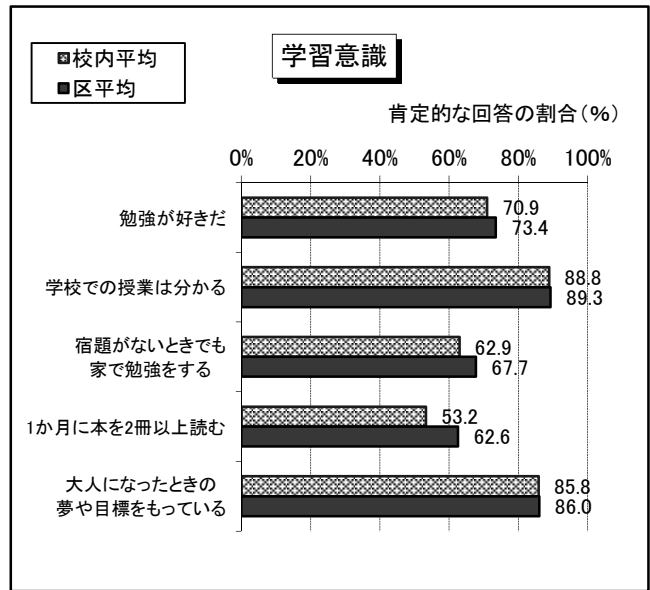
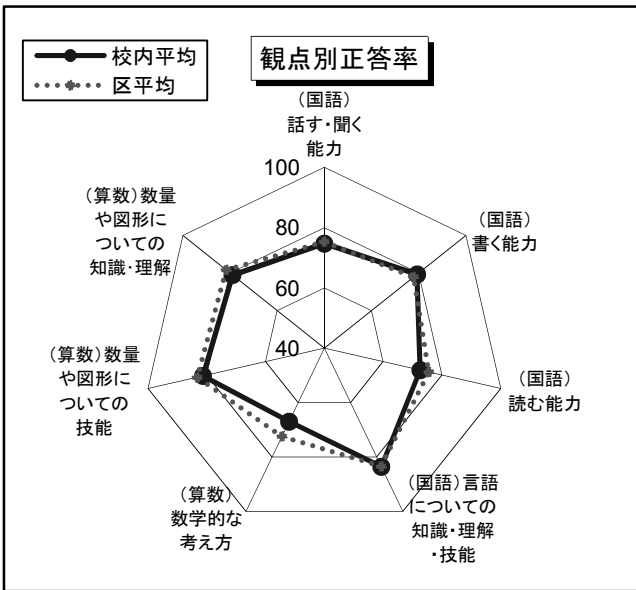
「学習定着度調査」分析結果

- 学校全体として、通過率は、前年度 (平成29年度) に比べ、国語 (▲4.7ポイントDOWN)、算数 (▲3.3ポイントDOWN) となっている。
- 学年ごとの国語の通過率を比較すると、前年度 (平成29年度) に比べ、2年生 (7.3ポイントUP)、3年生 (14.8ポイントUP)、4年生 (▲37.5ポイントDOWN)、5年生 (▲1.9ポイントDOWN)、6年生 (▲3.4ポイントDOWN) であった。
- 学年ごとの算数の通過率を比較すると、前年度 (平成29年度) に比べ、2年生 (▲3.3ポイントDOWN)、3年生 (10.2ポイントUP)、4年生 (▲9.4ポイントDOWN)、5年生 (▲1.7ポイントDOWN)、6年生 (▲7.6ポイントDOWN) であった。
- 算数は全校的に通過率が下がっている。「数学的な考え方」についての指導方法の改善が課題である。
- 4年生は、昨年度3年生時の調査結果に比べ、国語の通過率が▲32.5ポイントと大きく下がり、国語の指導体制の見直しが課題である。
- 学習意識調査では、「宿題がないときでも家で勉強をする」の項目は、区平均に比べ▲7.7ポイントと、昨年度よりほとんど改善されなかった。学習意欲の向上が引き続きの課題である。

学校による学力向上への主な取り組み

- 授業規律の徹底
 - ・学習の準備、身の回りの整理整頓を徹底する。
 - ・呼名されたら、「はい」という返事、発言時に「立つ」、「です」とはっきり言い切る。
- 「足立スタンダード」を活用した授業づくり
 - ・全学年でノート指導を統一する。
 - ・児童の発表・発言を生かした授業展開を工夫する。
- 読書活動の推進
 - ・学年ごとに読書目標を設定し、読書への意識を高め、読書量を増やす。
 - ・「読み聞かせ週間」を設定し、保護者の「朝の読み聞かせ」を促進する。
 - ・開かれた学校づくり協議会の委員による「朝の読み聞かせ」を随時、実施する。
- 補習教室の推進
 - ・パワーアップタイム (国語) を継続して実施する。
 - ・ぐんぐんタイム (算数) を水曜日5校時に継続して実施する。
 - ・補充学習教室「鹿西タイム」を放課後継続して実施する。

足立区立鹿浜五色桜小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)	80.1	78.3	78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	78.9	72.6	73.6	65.6	85.9	84.4	75.0	75.4	79.4	66.2	81.4	74.4
目標値 (H29)	83.3	79.2	78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	83.3	79.2	65.6	68.8	86.2	84.5	81.8	81.8	89.9	85.4	90.8	73.8
平均正答率 (H30)	80.1	78.3	82.9	82.1	84.0	83.6	77.1	81.6	78.0	70.9	78.4	73.8
平均正答率 (H29)	83.5	82.7	82.5	84.6	85.3	81.9	82.3	85.9	84.2	82.9	82.8	77.5

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

「学習定着度調査」分析結果

○学校全体では、通過率は2教科平均で75.8%であり、区平均より-2.9ポイントであった。教科別では国語で+0.5ポイント、算数で-6.5ポイントの区平均との差があった。学年ごとに見ると、国語は3、5、6年生が区平均を上回り、算数では3年生のみが上回った。観点別に見ると、特に区平均を下回っているのが、国語の「読む能力」と算数の「数学的な考え方」「数量や図形についての知識・理解」である。課題に関しては、各学級、学年で相違が見られる。ここでは、共通する項目を記載する。

国語：文章読解や複数の資料から情報を抜き出す問題の正答率が概ね低調であることが分かる。
 算数：長文を読む文章題や、図形の知識を用いた問題の正答率が概ね低調であることが分かる。

以上2点より、文章を読んで理解し、表現する問題に課題があると考えます。

○学習意識調査では、すべての項目で区平均を下回っているが、特に「1か月に本を2冊以上読む」という読書と「宿題がないときでも家で勉強をする」という家で勉強することに関する項目の乖離が大きい。学校では読書の時間を週に3回設けているが、家庭で自ら読書や学習をする環境が乏しい現状が浮き彫りになった。

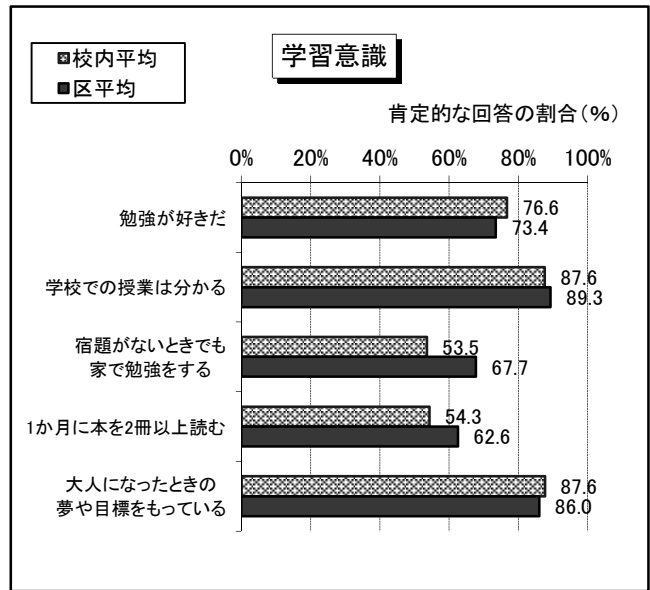
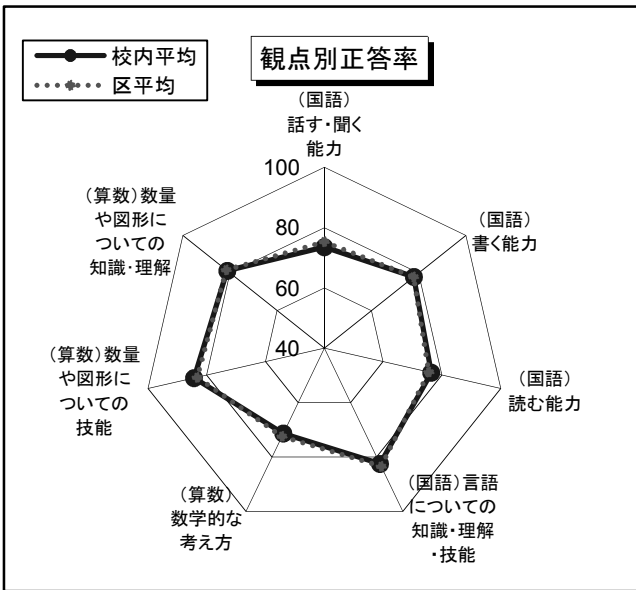
学校による学力向上への主な取り組み

○2教科を共通して正答率70%未満の児童の割合が高い、2、4～6年生に関しては、課題の単元を絞り、学級全体の底上げをねらった取り組みを推進していく。また、学級に正答率50%未満の児童が存在する場合、補充教室等での個別指導が効果的である。それぞれの児童の傾向を分析し、継続的に指導することで、学習内容の定着を図る。

○具体的にはSP表を基にして、学級・学年の課題を抽出し、水曜5校時のさくらタイムで一斉指導する。また、SP表とポートフォリオを基に、学力低位層の課題を個々に明らかにし、放課後のさくら教室で個別指導を行う。それぞれの成果をマンスリー調査で確認して取り組みの改善を行い、翌月につなげる「PDCAサイクル」を機能させ、成果目標を立てながら12月の再調査に向けて取り組みを推進していく。

○家庭学習や読書について啓発し、宿題のないときでも読書や学習が習慣となるよう呼びかけていく。

足立区立皿沼小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	78.3	78.8	74.3	77.1	71.2	71.2	88.1	90.5	79.7	73.3	78.8	87.9
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	86.1	85.4	77.1	78.0	90.9	88.6	82.0	83.6	94.3	91.4	90.7	88.4
平均正答率 (H30)	79.9	80.4	85.3	84.9	79.7	78.2	82.0	89.6	77.6	72.5	76.7	81.2
平均正答率 (H29)	85.2	85.6	87.0	87.2	87.6	84.7	81.8	87.0	88.3	86.9	83.5	81.4

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

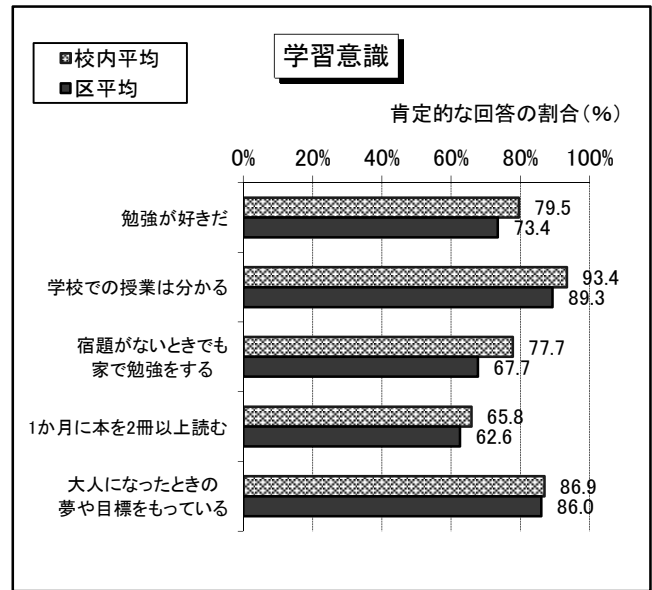
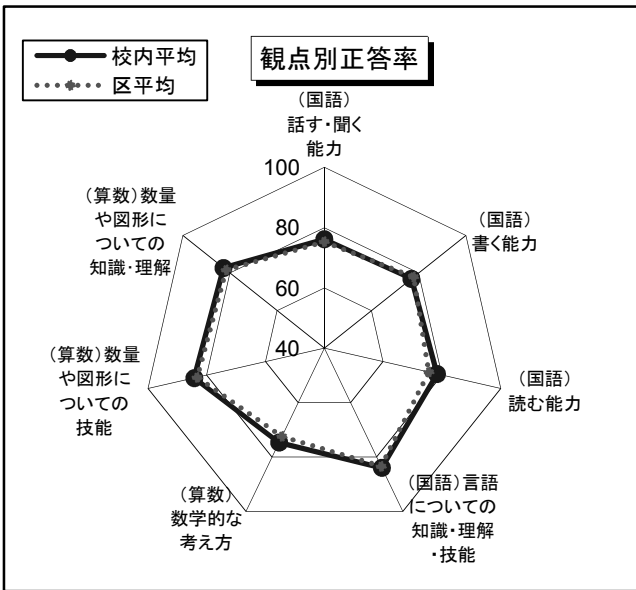
「学習定着度調査」分析結果

- 全体では、前年度と比較して、国語と算数の平均正答率、通過率とも4年生を除いて減である。
- 通常、学年が上がれば内容も高度になり、習熟もより難しくなるが、4年生の国語と算数の平均正答率は前年度よりも0.2～2.6ポイント伸びている。同一集団による経年変化の対比では、平均正答率は減であるが、通過率は「算数3年生⇒4年生 1.9ポイント増」と、つまずきを分析した個別学習等の日々の学習成果が表れている。これからも学年の実態に応じて、個別に指導していくことが必要である。
- 観点別正答率からは、どの観点も区平均と同程度である。
- 学習意識からは、「勉強が好きだ」「大人になったときの夢や目標をもっている」が区平均を上回っているが、前年度と比較して、「宿題がないときでも家で勉強をする」という児童が減っている。意欲的に学ぶ児童を増やすための授業改善や、学校で学んだことを生活や家庭で生かす工夫、家庭との共通理解や連携協力がより一層必要だと考える。

学校による学力向上への主な取り組み

- 指導力の向上、授業改善の推進
 - ・管理職や教科指導専門員等による授業参観及び、事後指導を年間を通して実施し、若手教員を中心に指導力向上を図り、授業改善を推進する。さらに、校内研究実技研修を年間4回程度行う。
 - ・加賀中、加賀保育園との保小中連携では、年間10回の研究会を行い、各教科指導の工夫改善を図る。
- パワーアップタイム
 - ・年間計画に基づき、朝(週3回)と中休み後(週4回)に実施する(10分×7回 計70分)。
 - ・音読、歌、漢字、計算、読解等に学年同一歩調で計画的に取り組み、年2回の音読発表会を行う。
- 放課後補習教室
 - ・算数のつまずきを改善するために、放課後に補習教室を担当や専科教員が指導する。
 - ・漢字、計算、音読の宿題を毎日出して、忘れた児童は担任がその日に指導をする。
- 土曜授業日での担任及び専科教員による習熟度別指導(基礎学力の定着及び活用力の育成)
 - ・中・高学年で習熟度別グループに分かれ、つまずきの克服、発展的学習に取り組ませる。
- そだち指導やコミュニケーション教室により、課題のある児童への個別指導を充実させる。

足立区立新田小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	81.5	80.9	80.0	85.7	87.2	84.5	79.1	82.0	83.7	71.3	77.9	79.7
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	83.2	81.3	83.9	81.8	86.3	86.8	78.5	86.8	85.3	81.0	80.7	67.4
平均正答率 (H30)	81.4	82.6	86.9	88.9	84.8	85.9	77.9	85.8	81.5	73.7	77.0	76.7
平均正答率 (H29)	83.5	83.2	89.1	88.1	87.1	84.9	78.0	86.7	83.2	80.3	79.8	73.2

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

「学習定着度調査」分析結果

○国語…昨年度に比べ、学校全体としての通過率は1.7ポイント下回っている。各学年の比較を見ると、2年生が3.9ポイント、5年生が1.6ポイント、6年生が2.8ポイントそれぞれ下がっている。「書く能力」については3、5年生を除く学年が区平均を下回っているため、既習漢字についても繰り返し学習する機会を計画的に設けていく。あわせて授業や宿題で文を書く場面を意図的に取り入れ、作文指導の徹底を図るなどして、目標値到達を目指す。一方、「読む能力」については、すべての学年が区平均を上回っている。図書に親しませたり幅広い知識に触れさせたりしながら、読む力を伸ばす指導を継続していく。

○算数…昨年度に比べ、学校全体としての通過率は0.4ポイント下回っている。各学年の比較を見ると、3年生が2.3ポイント、4年生が4.8ポイント、5年生が9.7ポイントそれぞれ下がっている。「数学的な考え方」「数量や図形についての知識・理解」では全学年で区平均を上回っているが、「数量や図形についての技能」では、区平均を下回っている学年がある。授業での比較・検討の進め方を見直したり、算数習熟度別学習での個別指導や放課後補充教室で繰り返し復習したりするなど指導の徹底を図る。

○平均正答率は全体的に昨年度の同一学年の平均正答率を下回ったものの、学習意識については区平均を上回っている。児童の学習意欲を損なうことなく、主体的に学ぶことができるよう配慮し、学力の基礎・基本の定着・向上を目指す。

学校による学力向上への主な取り組み

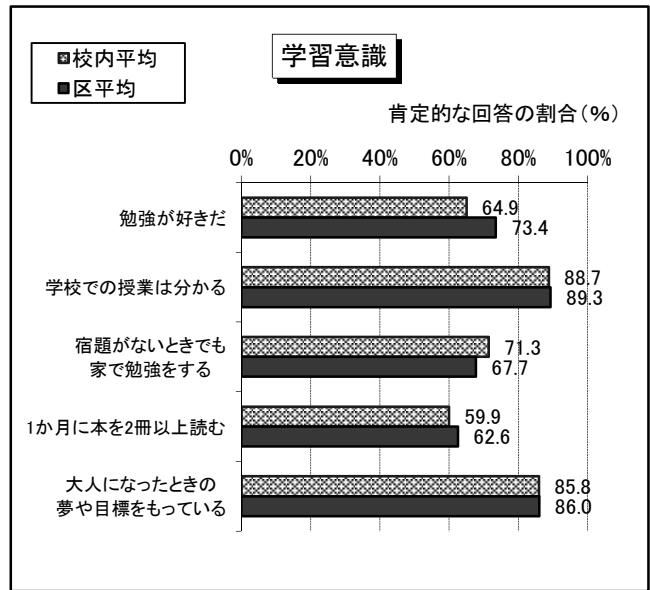
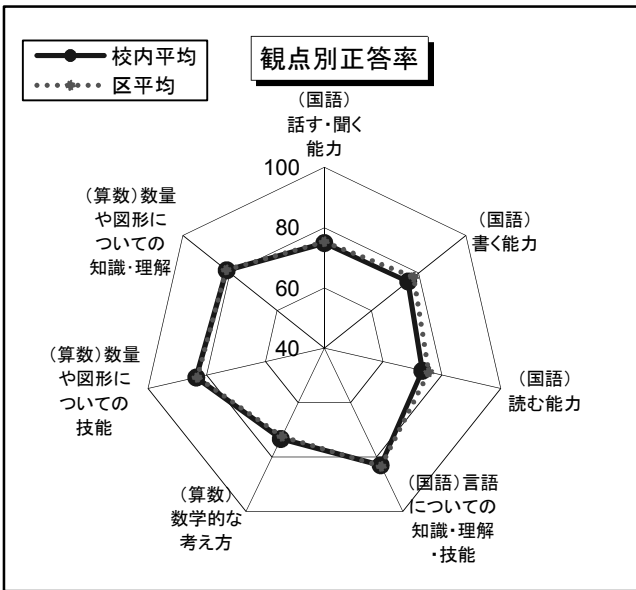
○小中一貫教育校として、小学部から9年間の学びの継続性を加味したシラバスに基づき、それぞれの学年で身に付ける知識や経験を確実に定着させた学習展開を図る。

○家庭学習の習慣化を図る。1年生から6年生までの系統的な内容を考慮し、各学年ごとに家庭学習の課題や実践方法を工夫した取り組みを一層徹底していく。

○サマースクールにおいては、中学部の生徒が小学部の児童の学習を支援しながら、小中一貫教育校としての環境を十分に生かしていく。

○平均正答率に満たない児童等の対象者を絞って実施する放課後補充教室及び夏季休業中を利用したサマースクール、全員実施の朝のパワーアップタイム及び1年生のM I M学習等の場を活用して計画的な補充を行い、基礎学力の底上げを図る。

足立区立宮城小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	76.1	80.5	78.5	88.6	65.9	68.1	84.5	88.1	66.7	62.1	83.7	93.0
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	82.0	81.2	70.6	65.9	85.4	87.8	83.9	85.5	85.9	83.5	85.9	85.9
平均正答率 (H30)	79.3	81.8	86.8	91.1	76.0	77.5	81.9	88.7	73.8	67.2	78.6	81.4
平均正答率 (H29)	83.1	82.7	82.2	82.5	85.6	83.4	80.3	85.8	84.4	81.4	82.1	80.4

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

「学習定着度調査」分析結果

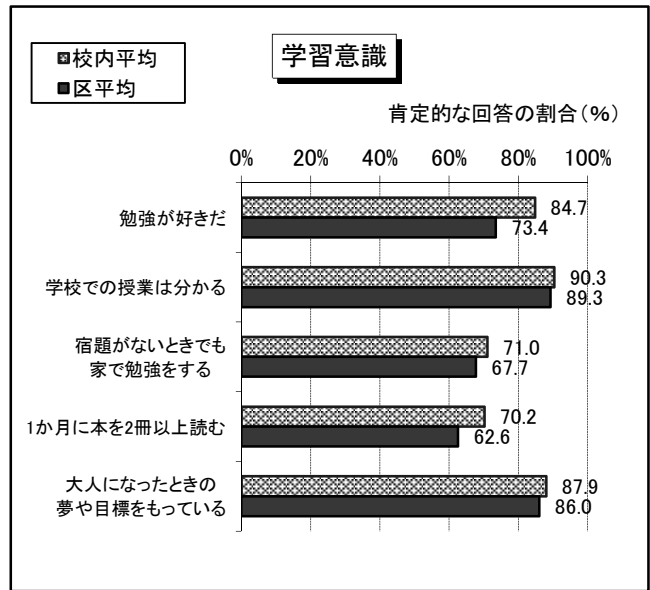
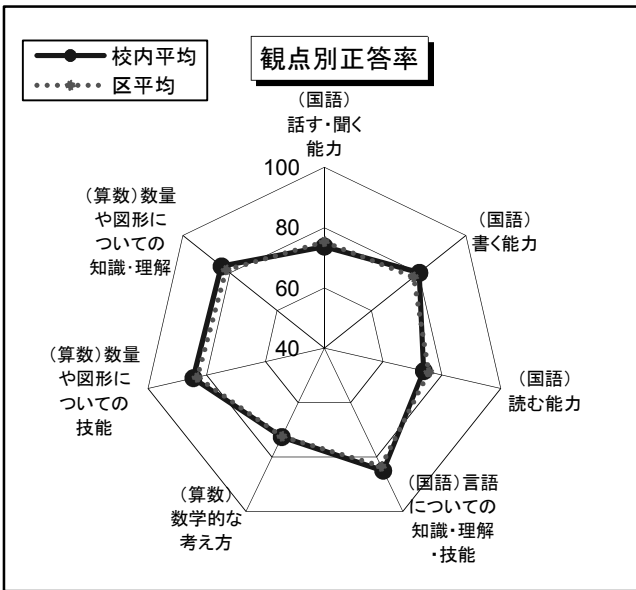
○学校全体の平均正答率を昨年度と比較すると、国語で3.8ポイント、算数で0.9ポイント下回った。また、目標値に対する通過率では、昨年度に比べ国語で5.9ポイント、算数で0.7ポイント下回った。学年別に見ると、算数で、2年生、4年生、6年生の通過率は80%以上なのに対し、3年生、5年生では60%台であることから、学年により差が大きいことが分かる。3年生、5年生を重点学年とし、個別指導の充実を図っていく必要がある。また、学年によって差が出ないように、どの学年も統一した授業を行うため、校内で「足立スタンダード」を徹底していく。

○学習意識調査では、「宿題がないときでも家で勉強をする」の項目で、昨年度と同様に区平均を上回った。しかし、その他の項目ではすべて区平均を下回り、特に「勉強が好きだ」では8.5ポイント、「1か月に本を2冊以上読む」では2.7ポイント下回った。学習意欲の向上に向け、全校体制で児童の学習意欲を高めるような指導の工夫が必要である。また、読書の充実を図るため、新たに読書活動のやり方を考えていく。

学校による学力向上への主な取り組み

- 算数習熟度別学習により、個に応じた指導の充実を図る (第1学年から第6学年で実施)。
- パワーアップタイムで、既習事項の復習を計画的に行う (毎日10分間必ず確保する)。
- 基礎・基本の時間を通して、学習定着度調査の分析結果を基に、弱点と判断した項目の補充や基礎・基本の定着に向けた指導を行う (毎週水曜日5校時)。
- 読書タイムを週2回行う。また、毎週金曜日に読書ボランティアによる「読み聞かせ」を行い、本を読む楽しさを育てる。
- 指導力向上、授業改善を計画的に進め、OJT推進計画を基に授業を見合う時間を設ける (年2回、各学年の主任教諭による授業観察)。
- 全教員が公開授業を行い、各教科の系統的な指導法の開発及び工夫改善を図り、児童の学習意欲の向上へとつなげる。
- 放課後補習教室を通して、児童の学力向上と苦手分野の課題克服を行う (毎週金曜日放課後)。
- 重点学年の個別指導の充実を図るため、基礎の時間、放課後教室の時間に専科教員を該当学年に配当する。

足立区立舎人小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	80.3	83.6	75.6	84.6	84.7	84.7	83.5	86.1	81.9	82.9	73.1	79.1
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	82.8	82.8	73.5	79.6	93.6	94.9	88.7	89.7	76.9	72.3	81.2	73.5
平均正答率 (H30)	81.2	82.5	86.2	87.2	83.9	84.8	81.4	88.3	81.1	77.2	72.9	74.6
平均正答率 (H29)	83.1	84.5	85.4	88.5	89.4	87.5	80.7	89.5	81.0	76.2	79.3	74.6

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

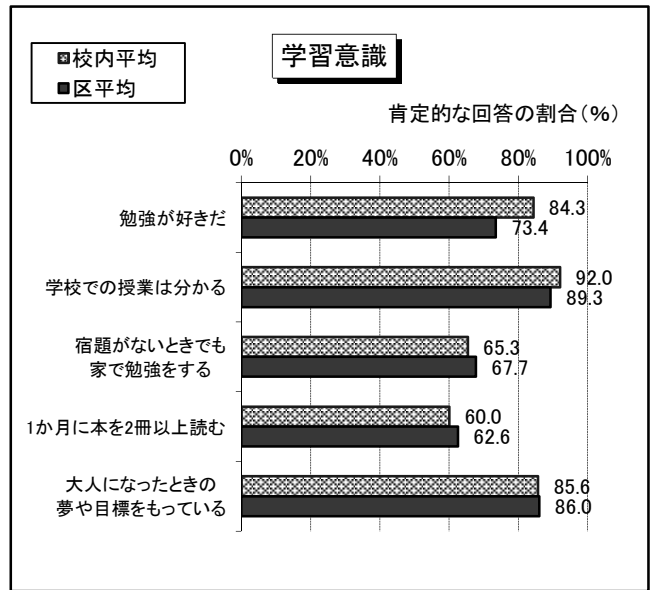
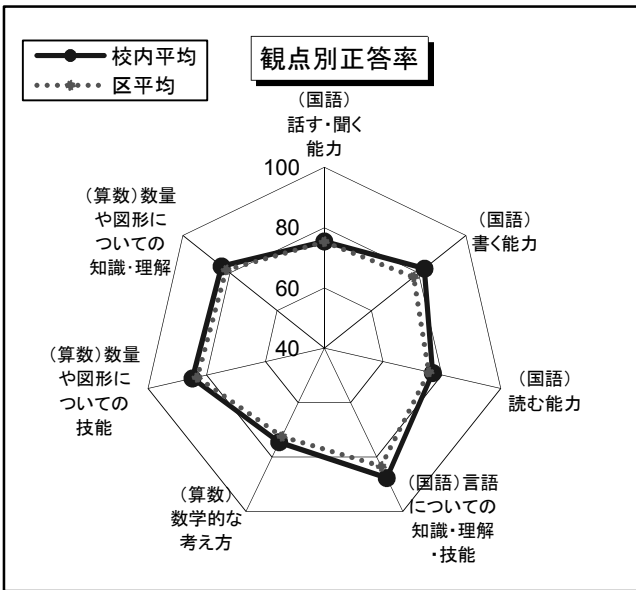
「学習定着度調査」分析結果

- 国語、算数をまとめた学校全体の通過率は82.0%で、前年度よりも0.8ポイント下回った。国語は2.5ポイント下回ったが、算数は0.8ポイント前年度を上回った。
- 学年ごとに通過率を見ると、国語では2年生が2.1ポイント、5年生が5.0ポイント上げることができた。算数では2年生が5.0ポイント、5年生が10.6ポイント、6年生が5.6ポイント上げることができた。
- 学年ごとの平均正答率を見ると、国語は2年生が0.8ポイント、4年生が0.7ポイント、5年生が0.1ポイント上げることができた。算数は5年生が1.0ポイント上げることができた。
- 学習意識調査では、全項目が区平均を上回っている。特に「1か月に本を2冊以上読む」については、区平均を大きく上回った。学校全体で読書量の目標を掲げ、年間を通して取り組んだ成果が出た。また、「勉強が好きだ」についても10ポイント以上区平均を上回り、児童の学習に対しての満足感や関心・意欲が高いことが表れた。

学校による学力向上への主な取り組み

- ポートフォリオの活用とSP表の分析から、学級、学年の課題を把握し、各学級で作成した「授業改善プラン」を基に指導方法の改善を行い、基礎的・基本的内容の定着と思考力、表現力の育成を行う。
- 算数の授業では、3年生以上で習熟度別少人数学習指導を行い、層に応じた指導の充実を図る。また、東京ベーシック・ドリルなどを活用し、つまずきに応じて前学年の内容までさかのぼって指導を行う。
- 読書活動を重視し、学年ごとに読書量の目標を設定し、いつも本を読める環境をつくる。
- 年3回の家庭学習強化週間を実施し、家庭学習の習慣化を図る。
- そだち指導(3、4年)を通して、児童のつまずきの解消を図り、学習の積み上げを行う。
- 朝のパワーアップタイム、放課後の補習を実施する。既習事項の復習を行い、定着を図る。
- 夏季休業中は10日間、サマースクールを実施し夏季休業前までのつまずきの解消を図る。
- 1年生は年間を通して、MIMによる特殊音節理解の定着を行う。
- 学習支援員や時間講師による、低学年児童に対する個別指導を実施する。

足立区立舎人第一小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率(H30)	84.1	83.5	81.3	90.7	97.5	95.0	77.9	83.1	84.0	76.5	78.9	72.4
目標値(H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率(H29)	93.1	86.0	92.4	92.5	91.1	86.1	93.5	92.2	93.2	80.8	95.7	77.1
平均正答率(H30)	83.5	82.9	88.9	90.7	90.3	88.6	81.0	86.0	81.0	74.5	77.7	74.6
平均正答率(H29)	87.6	85.9	91.4	91.8	88.4	85.2	86.6	90.1	86.0	82.1	85.9	78.0

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

「学習定着度調査」分析結果

○国語

- どの学年も平均正答率が目標値を上回ることができたが、学校全体の通過率が昨年度に比べ9.0ポイント下がった。また、平均正答率も4.1ポイント下がった。どの学年も授業や補習等で基礎的な内容の定着を図っていく。観点別正答率は「書く能力」が区平均を大きく上回っている。これは、年間を通して視写に力を入れたことや、朝学習等で漢字や文字を書く活動を多く取り入れたことの成果と見られる。
- 学習意識調査の「1か月に本を2冊以上読む」では、昨年度より4.4ポイント上がった。国語全体の能力向上に向け、読書活動の充実への取り組みを引き続き進めていく。

○算数

- 学校全体の通過率が昨年度に比べ2.5ポイント、平均正答率が3.0ポイント下がった。学年別に見ると3年生は向上している。3年生以降の学習内容について定着を図るために、「足立スタンダード」を活用した授業の推進のほか、既習事項の活用やまとめ、振り返りを重視した授業を進めていく。

○学習意識調査で「勉強が好きだ」「学校での授業は分かる」と答えた児童の割合が昨年度に比べそれぞれ10.1ポイント、2.3ポイント上がっている。今後も学習に対する意識を高め、学力向上を図っていく。

学校による学力向上への主な取り組み

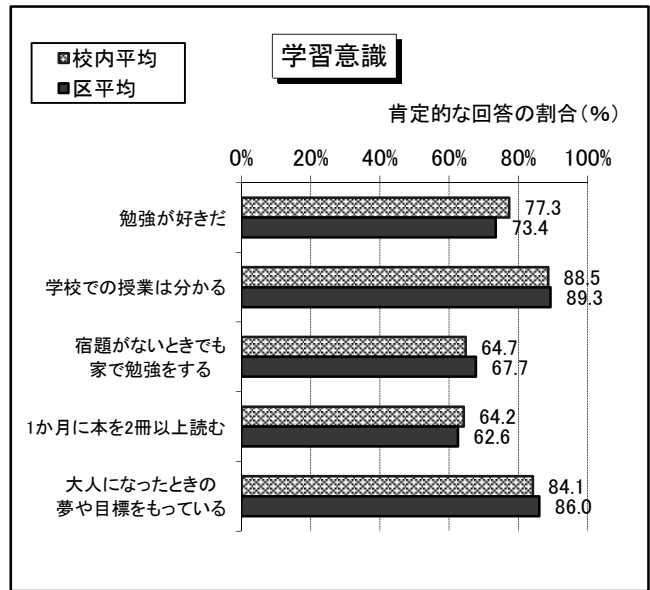
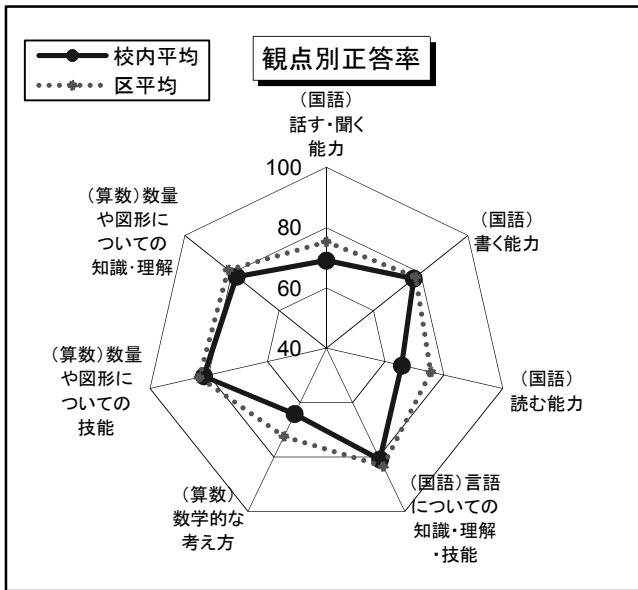
○学校全体の取り組み

- 学級ごとの朝学習(パワーアップタイム)の実施(週2回)では、国語や算数の基礎学習の定着を図る。また音読や視写、読書を行う。
- 放課後の個別学習(週4日各30分間)、夏季休業中のサマースクール(全10日各75分間)、「あだち夏休み学習教室」(5日間)を実施する。学習意欲の向上、個別課題やつまづきへの対応を図る。
- 家庭学習強化週間を年3回設けて、家庭学習習慣の定着を図る。
- 舎一小スタンダードを設けて、学習に取り組む基本的なルールを明確にし、全校で実施する。

○学年による取り組み

- 1年生ではMIMを活用し、学習のつまづきを早期に把握し、指導・支援を行う。
- 3年生以上の算数科では、習熟度別指導により、一人ひとりの力を伸ばす。
- 3、4年生では、区の学習支援事業(そだち)を活用し、個に応じた基礎学力の定着を図る。
- 朝読書、読書月間、図書ボランティアや地域図書館との連携等、読書活動の充実を図る。

足立区立足立入谷小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	69.7	74.8	77.3	77.3	41.2	64.7	77.8	80.6	81.3	70.6	64.5	74.2
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	75.2	71.4	35.3	64.7	84.2	79.5	72.2	68.4	74.2	71.0	85.4	68.3
平均正答率 (H30)	76.1	78.7	85.4	86.6	71.1	73.0	77.1	83.8	77.1	69.9	71.7	74.6
平均正答率 (H29)	78.4	78.3	80.3	83.7	83.4	80.5	69.2	80.0	77.5	79.2	78.3	72.1

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

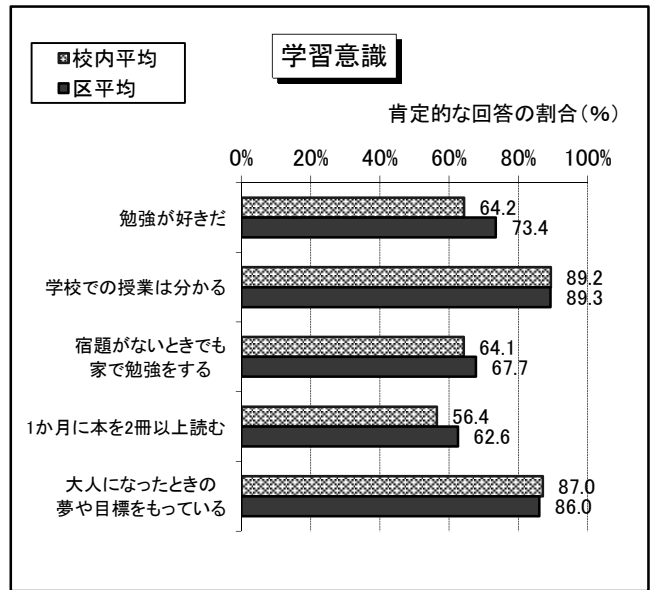
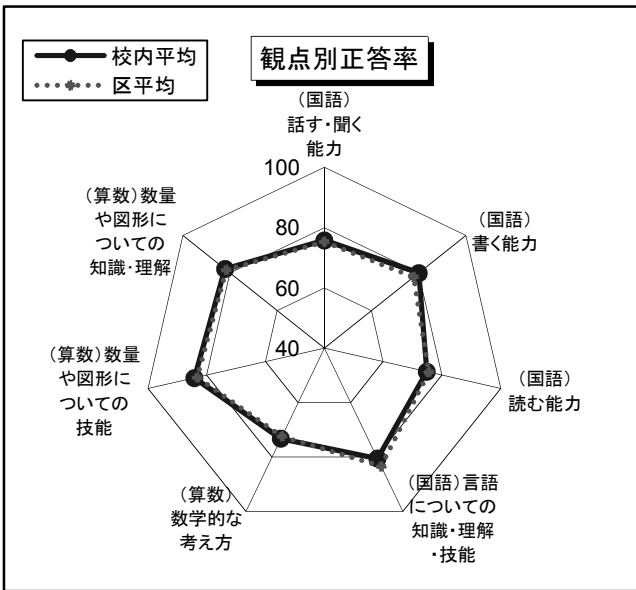
「学習定着度調査」分析結果

- 国語は、学校全体で平均正答率が2.3ポイント、通過率が5.5ポイント下降している。算数は、正答率が0.4ポイント、通過率が3.4ポイント上昇している。学年ごとに前学年時と同一集団で比較すると、算数は全学年で通過率が同率か上昇している。国語では、3、5年で上昇、4、6年で下降している。算数は全体的に向上しているものの、国語の伸びに関しては学年により差がある。
- 観点別正答率では、2教科のすべての観点で区平均を下回っている。特に国語の「話す・聞く能力」「読む能力」、算数の「数学的な考え方」は区平均を大きく下回っている。読み書き・計算に力を入れて指導してきたことは成果として表れている。今後は、読んだこと、聞いたこと、学習したことを基に、自分の考えや解答を導き出せるようにする指導が必要である。
- 学習意識の結果は、「勉強が好きだ」「宿題がないときでも家で勉強をする」「1か月に本を2冊以上読む」「大人になったときの夢や目標を持っている」が昨年度より約3～9ポイント上昇している。児童が勉強や読書を楽しみ、家庭でも学習や読書の習慣が身に付きつつあることが分かる。また、将来に向けて、夢や希望をもてるようになったことは、自己肯定感が高まってきていることの表れである。

学校による学力向上への主な取り組み

- 考えさせる授業…知識・理解や技能では成果が上がりつつある。「足立スタンダード」を基に、児童一人ひとりがしっかりと自立解決をし、意見交換で考えを深めることに重点を置いて授業を行う。国語や算数に限らず、全教科で思考力・判断力・表現力等を高められるよう、授業改善を行う。「足立入谷学習スタンダード」の徹底を図り、授業規律の確立と指導の効率を高める。また、学習の基盤となる語彙力を高めるため、一層読書習慣の確立を図り、3年生では辞書引き学習法を取り入れる。
- 学力の定着…国語や算数では、適用問題やノートでの見取りを行い、学習の理解度を測りながら、次時や放課後等に補習を行い、学習内容を理解させる。また、学力調査や計算検定の結果を分析し、一人ひとりの課題に応じた放課後補充教室やサマースクールを行う。
- 家庭学習の確立…家庭との連携を図りつつ、自ら家庭学習に取り組めるように、宿題の出し方を工夫する。まずは毎日の宿題と読書マラソンで家庭での学習のリズムをつくり、家庭学習の習慣をつくる。宿題は、学年×10分を基本に、一人ひとりに応じた分量となるよう調整し、勉強することが楽しくなるよう工夫する。授業、補習、家庭学習の3段階で学習内容の定着を図る。

足立区立古千谷小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(H30)	76.5	83.8	78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率(H30)	76.5	83.8	79.5	84.1	77.2	82.2	72.6	85.4	82.6	78.2	71.4	88.8
目標値(H29)	88.0	85.8	78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率(H29)	88.0	85.8	84.0	77.0	91.9	89.9	87.4	90.8	91.8	86.7	84.1	85.4
平均正答率(H30)	79.4	82.0	87.4	88.6	80.5	82.6	76.9	84.6	80.4	75.1	73.7	78.6
平均正答率(H29)	85.5	85.9	89.2	88.5	87.9	85.7	81.9	90.5	86.5	84.0	81.9	79.6

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

「学習定着度調査」分析結果

- 学校全体では、国語、算数とも通過率が昨年度より下がった。国語については、11.5ポイント下回っている。
- 観点別正答率を見ると、国語では「話す・聞く能力」「書く能力」について正答率が区平均を上回っている。一方「言語についての知識・理解・技能」は区平均より3ポイント程度低く課題である。
- 算数では通過率が80%を超え、「基礎的な問題」の正答率は、5学年で78.7%、その他の学年では85%以上であることから、基礎的な計算力は概ね身に付いていると考えられる。
- 「学校での授業は分かる」という児童の割合が、昨年度を上回り区平均と同程度となった。
- 「1か月に本を2冊以上読む」と答えた児童の割合は区平均を下回っており、さらにほとんど読まないという児童も多くいる(2年生19.3%、3年生29.7%、4年生27.1%、5年生27.9%、6年生32.3%)。

学校による学力向上への主な取り組み

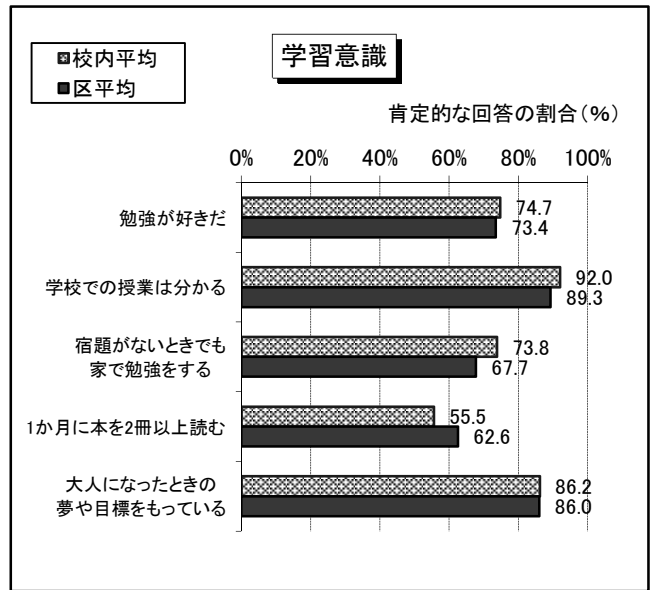
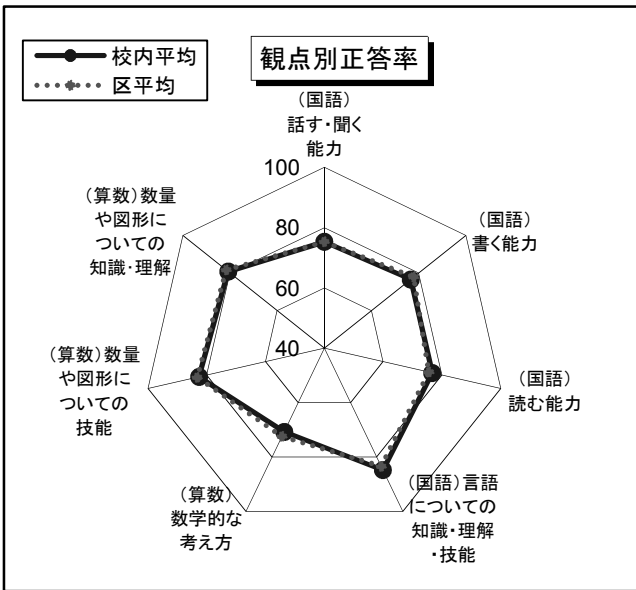
〈算数〉

- 金曜日の放課後に全学年で補習教室を開催する。東京ベーシック・ドリルや区学力テスト問題に取り組み、学年を通して系統だった補習を実施する。
- 地域巡り、個人面談期間中には、専科教員と学習ボランティアによる個別指導中心の学習教室を行う。内容は、学年の授業内容で定着できていないものを中心に進める。
- 夏季休業期間中にも個別指導中心の学習教室を開催する。課題については、各自診断テストや学力調査結果を分析して、苦手な単元を克服できるように準備する。

〈国語〉

- 低学年では、特殊音節の理解や語彙力向上のために、MIMの指導を充実させる。
- 「言語についての知識・理解・技能」を高めるために、3学年より辞書引き学習を行い語彙を増やす。漢字学習については間違い直しに力を入れ、覚えられないまで繰り返し練習をさせる。
- 読書量を増やすために、本を手元に置いていつでも読めるようにするとともに、全校で「読書マラソン」に取り組み、2,000分の読書を達成した児童を朝会で表彰する。
- どの教科でも、授業の最後に自分の言葉で感想をまとめる機会を設けたり、帰りの会で一日の振り返り日記を書かせたりするなどして自分の考えや思いを書けるようにする。

足立区立梅島小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	81.0	77.8	74.7	75.8	85.1	89.2	68.8	76.0	83.5	71.7	91.3	77.7
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	85.9	76.6	83.2	74.3	84.0	74.0	88.2	84.1	91.3	78.6	81.5	69.6
平均正答率 (H30)	81.4	79.7	85.1	83.6	84.1	85.0	75.1	81.3	81.6	73.4	81.6	76.8
平均正答率 (H29)	83.8	81.5	88.4	87.9	83.4	77.6	81.0	84.7	85.7	79.8	81.6	75.5

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

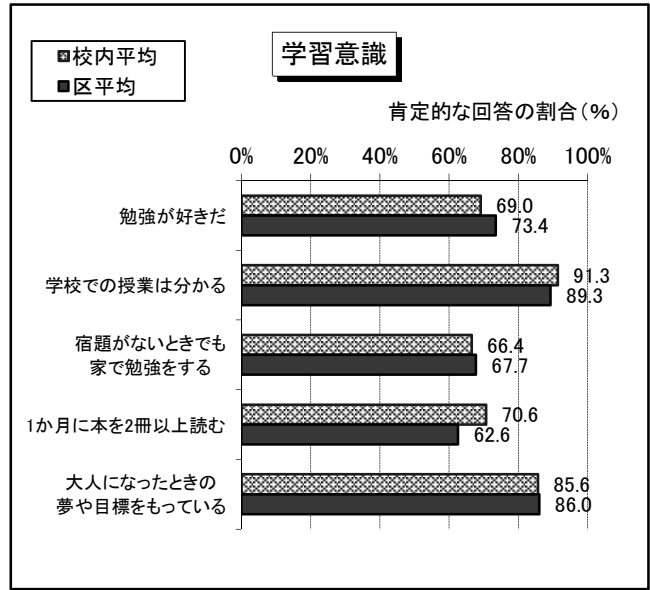
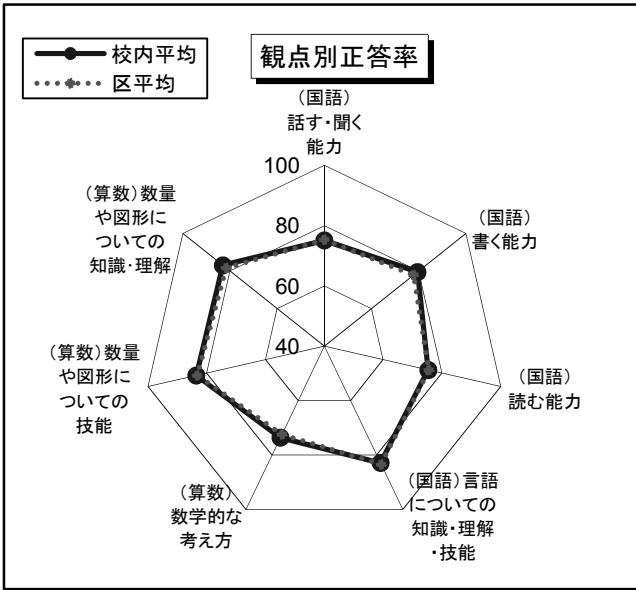
「学習定着度調査」分析結果

- 国語・算数ともに観点別正答率では区平均とほぼ同程度の結果となった。
- 国語は、昨年度と比較して平均正答率、通過率ともに学校全体の数値が低下した。
- 算数は、昨年度と比較して平均正答率が1.8ポイント低下したが、通過率は1.2ポイント上昇した。
- 国語では「書く能力」、算数では「数学的な考え方」が区平均と比較して低く、課題である。
- 4年の国語や5年の算数は、昨年度との同一集団比較で通過率が大きく減少しており、課題である。
- 4年の国語は通過率が70%を下回っており、一人ひとりに応じた手立てが必要である。
- 3年は、国語・算数とも同一集団比較で昨年度より通過率に改善が見られた。補習の成果と考える。
- 学習意識に関しては、「1か月に本を2冊以上読む」は区平均を7.1ポイント下回ったが、「宿題がないときでも家で勉強をする」は区平均を6.1ポイント上回った。それ以外は区平均を若干上回るか同程度の結果となった。
- 読書冊数については、読書への関心・意欲を高める取り組みが必要である。

学校による学力向上への主な取り組み

- 朝のパワーアップタイムにおける基礎計算の反復練習、音読、読書活動。
- 「足立スタンダード」に基づく授業における「自分の考えを書く」ことを大切に学習活動。
- SPタイムでの短文指導による、自分の考えを表現する力等の育成。
- 「梅島ミニマム」に基づく授業規律の徹底。
- 区学力調査結果のSP表分析に基づく、一人ひとりのつまずきの把握と個別指導内容の明確化。
- MIMによる低学年児童への特殊音節理解の定着。
- 放課後タイムでの個別指導による補習。
- 学習支援員による低学年児童に対する個別指導と学習規律の徹底。
- 学生ボランティアによる個別指導 (特に中学年)。
- 「チャレンジ教室」(夏季補習教室)での小集団指導、個別指導によるつまずきの解消。
- 「そだち指導」による中学年対象児童のつまずきの解消。
- 「あだち小学生夏休み学習教室」による中学年対象児童のつまずきの解消。
- 読書への興味・関心向上を目指した図書館支援員による読書活動及び年2回の読書月間。

足立区立梅島第一小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	78.8	81.4	86.1	91.7	80.0	82.5	76.7	86.0	80.0	73.5	71.4	71.4
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	81.9	84.9	85.0	77.5	86.0	93.0	73.5	94.1	83.9	87.1	80.4	76.5
平均正答率 (H30)	80.3	82.3	90.1	91.5	82.6	84.7	78.2	85.1	78.7	75.1	74.0	72.6
平均正答率 (H29)	82.4	84.4	89.0	88.4	87.9	88.1	73.9	87.2	83.7	83.9	78.9	75.9

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

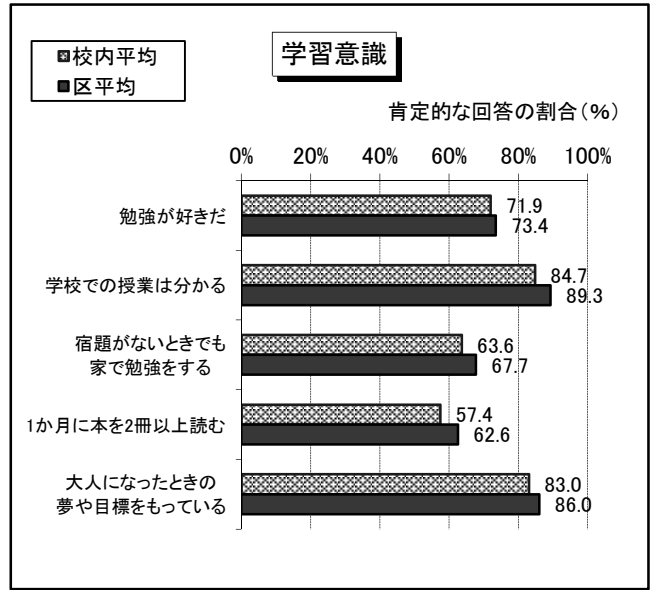
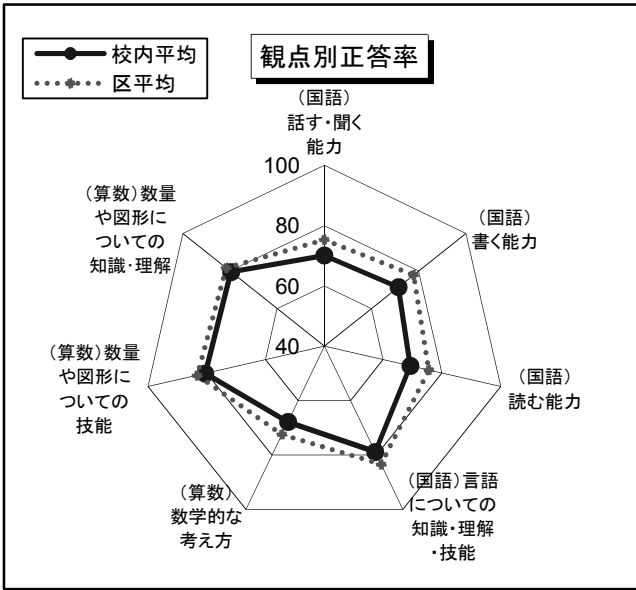
「学習定着度調査」分析結果

- 学校全体の平均正答率は、昨年度に比べ、国語・算数とも2.1ポイント下回った。また、通過率は、国語で3.1ポイント、算数で3.5ポイント下回った。昨年度より数値は下回っているが、学校全体の通過率は、2教科平均で80.1%であり、年度当初目標にしていた通過率80%以上をクリアできた。
- 国語の観点別正答率では「書く能力」は区平均を上回っているが、それ以外は区平均をわずかに下回った。差は最大でも0.5ポイントしかないので、早急に対策を行い区平均を超えるようにする。
- 算数の観点別正答率では全項目で区平均を上回った。少人数指導や補習指導が効果を上げていると考えられる。学年別に見ると通過率にばらつきがあるので、苦手な児童が多い学年にきめ細やかな指導を行い、児童の学力向上を目指したい。
- 学習意識では、「学校での授業は分かる」が、91.3%と高い数値を示した。それに比べ、「勉強が好きだ」の項目は、69.0%と区平均を下回った。日常の授業で、より楽しい、魅力的な授業を目指していくことが重要であると考えます。

学校による学力向上への主な取り組み

- 授業では足立スタンダードに基づいた展開を確実に進める。そのため、巡回指導でご指導いただいたことを次の授業で生かしていく。また、校内OJTをより活性化し、教員相互が教え合い、高め合っていく環境を醸成していく。
- 小中連携により、他校の教員と指導案検討や研究授業を行い、自らの指導力を高めていく。
- 算数では3年生以上での習熟度別指導を徹底する。全学年、単元テストで目標値に到達しなかった児童を対象に週に2回程度の放課後補習を行う。さらに夏季休業中は10回の補習も行う。
- 国語では、授業中に音読・読解・作文等の基礎的な国語力を着実に身に付けさせる。それとともに、パワーアップタイム (朝学習の時間) で現在行っている視写・読書等の指導と、金曜6校時に行っている梅一タイムでの読解問題・短作文の指導について、国語力全般の底上げを図るような仕組みを年度内に立ち上げ、全校で系統的な指導を行っていく。
- 各教科をはじめ、すべての教育活動において言語活動の充実を図る (カルタ大会・短歌・標語等)。
- 読書タイムを設定し、学年ごとに目標冊数を決め、読書の推進を図る。
- 漢字検定を校内で実施する。検定に向けて協議会主催で「チャレンジ教室」を実施する。

足立区立梅島第二小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	66.3	74.6	53.5	65.1	70.9	85.5	56.1	84.2	75.0	61.5	75.0	73.5
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	78.7	79.8	63.3	69.4	82.4	86.3	72.9	81.3	85.7	81.3	90.5	81.0
平均正答率 (H30)	74.9	78.3	79.6	79.1	78.3	85.3	69.2	83.9	75.1	68.7	74.6	73.4
平均正答率 (H29)	81.4	82.3	83.8	86.0	85.0	82.6	75.0	83.7	82.7	80.2	80.9	78.1

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

「学習定着度調査」分析結果

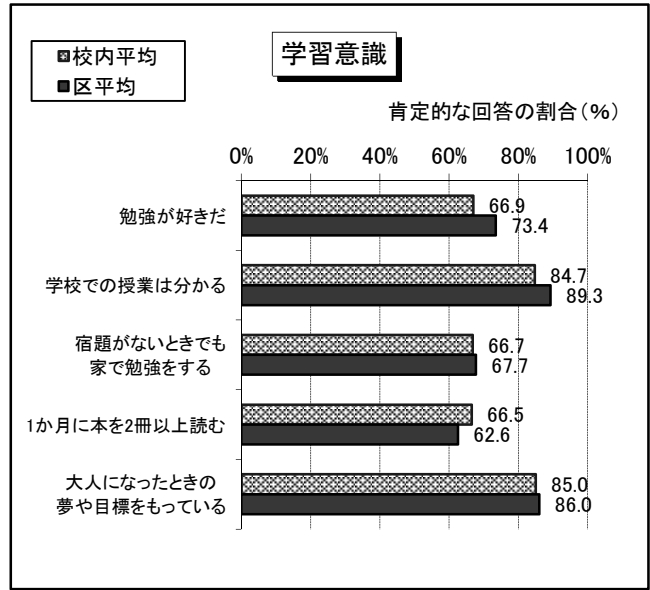
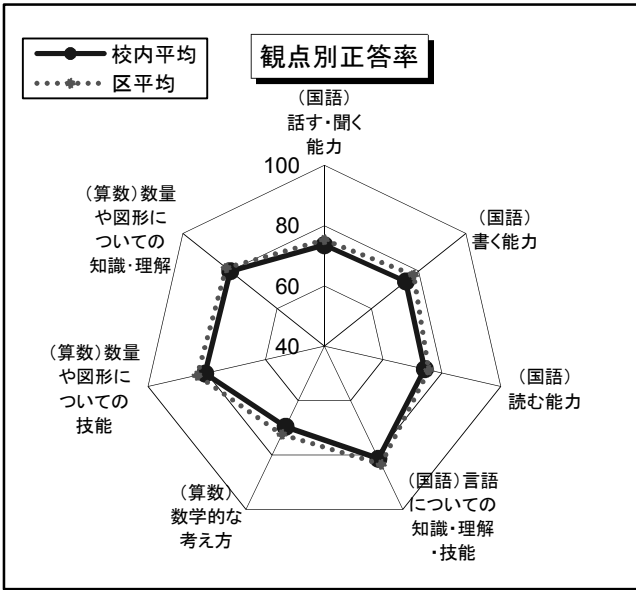
○観点別正答率及び目標値の通過率、平均正答率について
 観点別正答率は、国語・算数すべての観点で区平均を下回っている。特に、国語の「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」、算数の「数学的な考え方」で区平均との差が大きい。この四つの観点について今後の指導の重点とする。
 各学年の平均正答率、通過率ともに、3、4年生の算数以外80%に到達していない。また、2、4年生の国語の通過率については、50%台である。2、4年生の国語については、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」を重点的に、継続的に指導していく。

○学習意識について
 昨年度上昇した「1か月に本を2冊以上読む」の割合が、下降した。今年度は、学年ごとに年間の目標冊数を定めるとともに、学校図書館を積極的に活用し、読書意欲を高め、習慣化を図る。
 足立スタンダードを基本とした校内授業研修を活性化させ、児童の授業が分かる実感を高める。また、確かな学力をしっかりと定着させることで、将来の夢や目標をもつ児童を増やしていく。

学校による学力向上への主な取り組み

- 国語：詩や古典等をはっきりとした音声で、リズムよく読む力を身に付ける。多くの読み物を読むことを通して、活字に慣れさせ、語彙を増やす。文のつくり（主語・述語・目的語・修飾語等）、文と文の関係（指示語・接続語等）についての基礎を定着させる。視写を行うことにより、美しい表現や論理的な文章を味わうとともに、表現力・読解力を高める。自ら国語辞典や漢字辞典を用いて言葉の意味を調べる習慣を身に付けさせる。
- 算数：たし算・ひき算・かけ算を集中して速く正確に解く力を身に付けさせる。計算のきまりを活用して解くこと、図形を構成要素に着目して見ること、長さや重さ、かさや面積等の量の概念、感覚を身に付けさせることを丁寧に指導する。
- 学力向上の取り組み
 - ・朝学習（パワーアップタイム） ・朝読書、読書時間、お勧めの図書紹介 ・放課後補充教室
 - ・サマースクール ・チャレンジタイム ・視写 ・意味調べ ・音読活動
 - ・家庭学習がんばろう週間 ・多層指導モデルM I M ・新聞活用 ・標語、俳句づくり
 - ・漢字検定、数学検定

足立区立島根小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	72.6	74.8	80.0	75.0	69.8	69.8	71.1	81.8	78.8	80.2	65.5	67.9
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	75.1	75.8	65.9	69.4	78.0	85.4	70.8	80.9	76.1	70.5	84.9	73.3
平均正答率 (H30)	77.9	78.2	88.0	87.3	78.5	76.4	73.6	82.9	79.4	75.4	73.8	71.2
平均正答率 (H29)	79.5	80.4	84.1	84.5	82.5	82.3	74.3	83.4	78.0	76.9	80.1	74.2

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

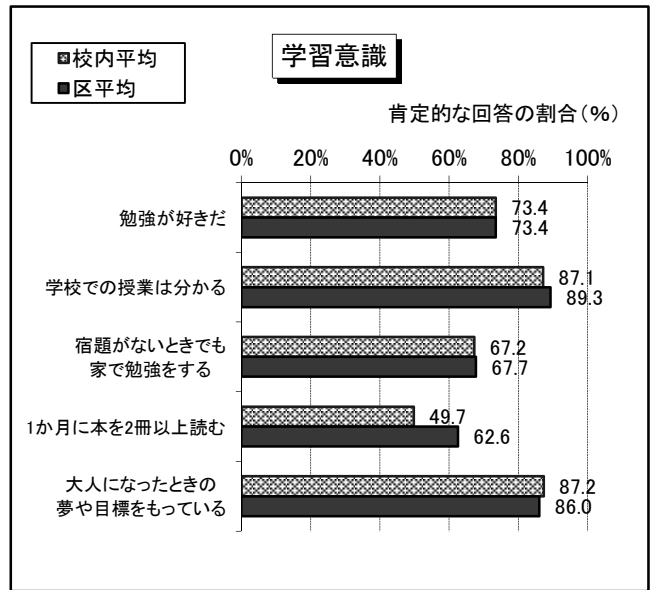
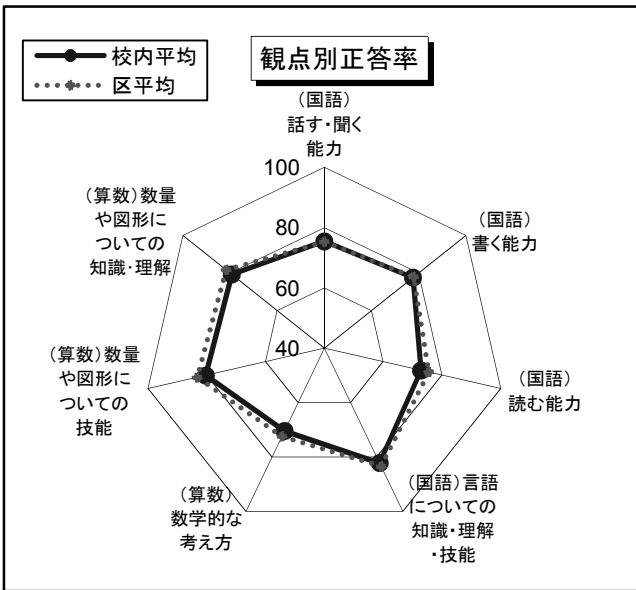
「学習定着度調査」分析結果

- 国語の学校全体の通過率は72.6%で、昨年度より2.5ポイント下降している。同一集団の経年比較をみると3、5年生は上昇しているが、4、6年生は下降している。観点別正答率では、「書く能力」に課題があり、区平均より3.4ポイント下回っている。
- 算数の学校全体の通過率は74.8%で、昨年度より1.0ポイント下降している。同一集団の経年比較をみると3年生は上昇しているが、4～6年生は下降している。観点別正答率では、「数学的な考え方」に課題があり、区平均より2.8ポイント下回っている。
- 意識調査では、「1か月に本を2冊以上読む」の項目で肯定的な回答をした児童の割合が区平均より3.9ポイント上回った。週4日の読書タイムや年2回の読書旬間の取り組みの成果と思われる。また、「勉強が好きだ」の項目で肯定的な回答をした児童の割合は、区平均より下回ったものの、昨年度より2.9ポイント上昇した。

学校による学力向上への主な取り組み

- 島根タイム…毎週火・水・金曜日の始業前15分間で、漢字・計算の復習問題に取り組み、基礎・基本の定着を図る。
- 補習タイム…毎週木曜日の放課後に、個に応じた指導を全学級で行い、全体的な底上げを図る。
- 読書タイム…毎週月・火・木・金曜日の昼休み後に10分間読書を行う。
- 夏休み補充教室…夏季休業中に補充教室を実施し、基礎的・基本的学力の定着を図る。
- あだち小学生夏休み教室 (3、4年) …外部講師による補充教室を夏季休業中に実施。
- そだち指導 (3、4年) …毎週1回、そだち指導員による個別指導を実施。定着度に合わせた教材を用いて、つまずきの解消を図る。
- 小中合同研究会…近隣校との小中連携による授業研究、指導案検討を通して、互いの授業力の向上を図る。
- 教科指導専門員による指導…教科指導専門員による定期的な授業観察と指導を受け、授業力の向上を図る。
- 校内研修会…年18回、教員の指導力向上を図るため、外国語、道徳、体育実技、生活指導、特別支援教育等、様々な内容の校内研修会を実施。

足立区立中島根小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(H30)	74.6	73.6	78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率(H30)	74.6	73.6	75.7	82.9	67.6	78.9	79.1	84.8	71.6	41.9	77.6	77.6
目標値(H29)	78.6	81.7	78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率(H29)	78.6	81.7	73.6	68.1	79.5	77.3	82.2	93.2	85.5	93.4	72.2	77.2
平均正答率(H30)	79.0	78.9	87.4	87.7	78.1	82.4	78.4	86.0	76.6	62.8	76.3	74.0
平均正答率(H29)	81.8	83.3	86.8	86.5	80.9	79.7	82.6	88.8	83.8	86.4	76.2	75.8

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

「学習定着度調査」分析結果

【国語】学校全体の通過率は昨年度より4.0ポイント下がった。平均正答率も2.8ポイント下がっている。中学年の学力定着に課題が見られる。観点別正答率では全体的に区平均と同等レベルであったが「読む能力」の正答率がやや低い。

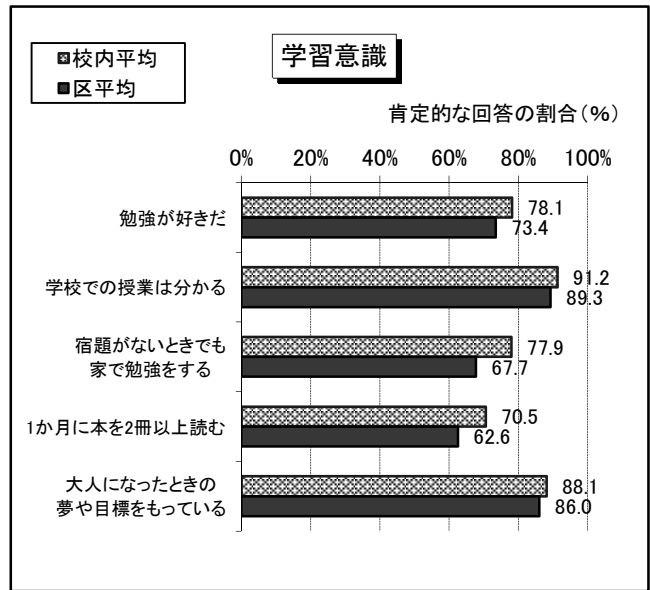
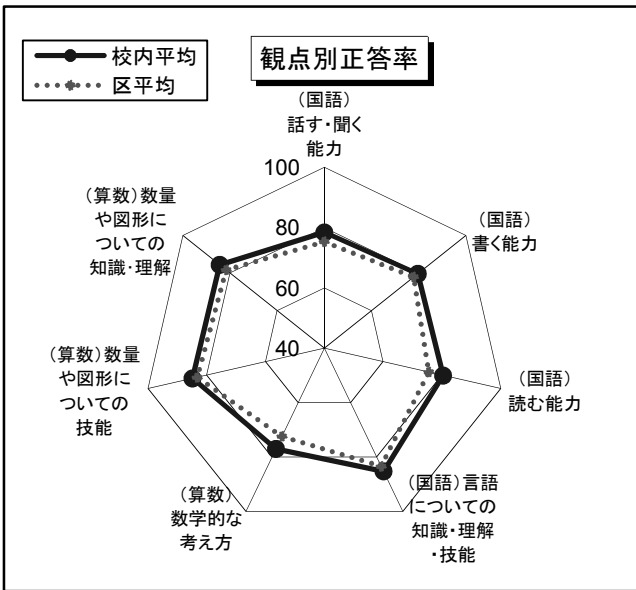
【算数】学校全体の通過率は昨年度より8.1ポイント下がった。平均正答率も4.4ポイント下がっている。中学年の学習内容の定着不足が見られ、観点別正答率ではどの観点もわずかに区平均を下回る。

【学習意識】「1か月に本を2冊以上読む」の項目で肯定的な回答をした児童の割合が、昨年度は区平均を上回っていたが、今年度は区平均を12.9ポイント下回り、継続的、重点的な働きかけが必要な項目であることが分かった。「大人になったときの夢や目標をもっている」の項目は区平均を1.2ポイント上回った。「開かれた学校づくり協議会」による「キャリア教育講座」などの成果と思われる。

学校による学力向上への主な取り組み

- 論語の素読・タオル体操…朝の時間の全校放送による論語の素読と体幹を鍛えるタオル体操を続けている。聴いて自ら声を出し、肩甲骨を中心に柔軟な体づくりをし、学習に臨む姿勢を整えていく。
- パワーアップタイム…中休み後の10分間を確保し新しい単元に必要な既習事項の復習をはじめ、視写・四則計算・短作文等に取り組み、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る。
- 放課後のハッピータイム…学力調査の結果から基礎学力の定着に課題がある児童を抽出し、全教員で指導にあたる。主に火曜日や木曜日の短縮時間で時間を確保して実施している。
- 長期休業中のハッピータイム…地域・保護者ボランティア、中学生ボランティアの協力を得て、1人の指導者が3～4人の児童の個別指導を行う。
- 家庭学習の推進…児童が興味・関心をもった学習に取り組む。展示週間を年2回設け、児童が展示を見合うことで学びを深めたり、内容の充実を図ったりして、自主的に学習する姿勢を支援していく。
- 足立スタンダード・中島根スタンダードの徹底…全学級で足立スタンダードに基づき指導を行う。また、授業規律や机上の物の置き方、ノート指導等も文書化して全校で共通認識し、児童が集中して学習に取り組む環境づくりの徹底を図る。
- 読書活動の啓発…図書ボランティアによる読み聞かせや年2回の読書旬間の設定などを通して、読書に親しむ機会を増やす。
- 校内研究…「自分の考えをもって表現する」児童を育てることをテーマに授業研究を行い、教員の授業力の改善・向上を図る。

足立区立亀田小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率(H30)	84.1	84.7	89.0	91.9	91.0	91.0	73.4	78.9	82.0	76.4	82.7	81.7
目標値(H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率(H29)	86.3	84.5	93.2	93.2	83.9	84.7	83.6	87.5	88.0	85.0	81.0	64.6
平均正答率(H30)	83.7	84.3	90.7	91.8	88.4	87.7	75.9	82.6	81.3	75.8	80.7	78.6
平均正答率(H29)	85.4	85.6	93.4	93.3	86.8	82.3	81.1	89.1	84.7	84.3	79.9	72.1

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

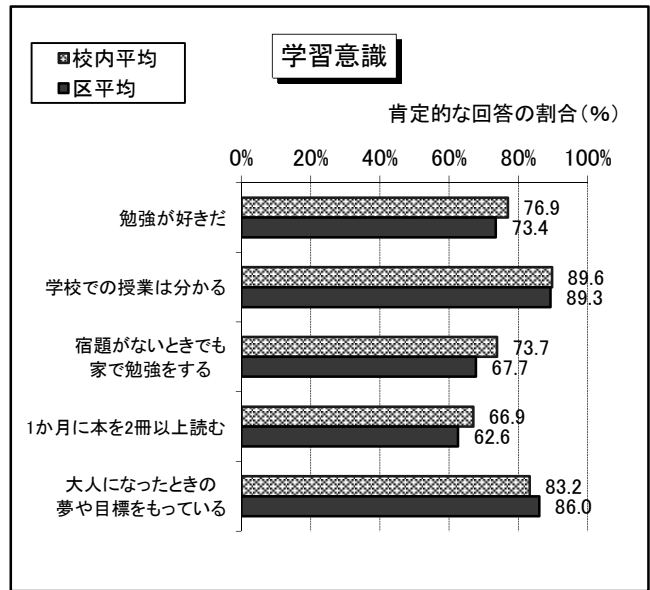
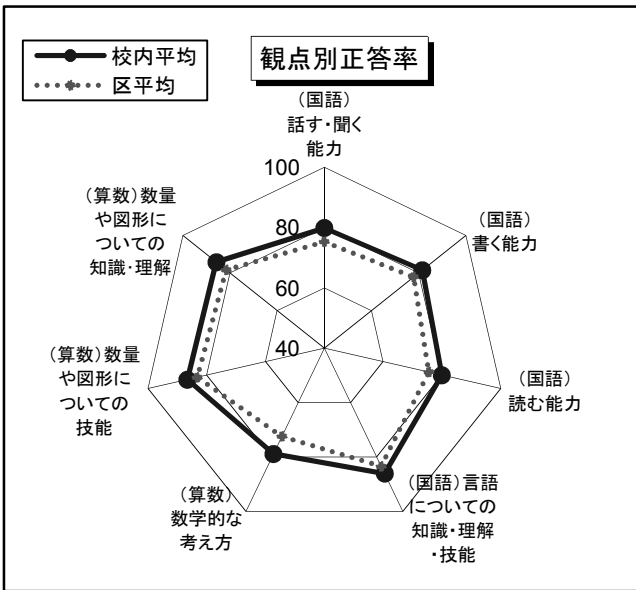
「学習定着度調査」分析結果

- 国語と算数の学校全体の通過率は、どちらも区平均通過率を5ポイント以上、上回った。
- 学年別に通過率を見ると、2、3、5、6年生の国語・算数で区平均通過率を上回った。一方、4年の国語・算数は区平均通過率を下回った。
- 観点別正答率では、どの観点も区平均を上回っている。特に、国語の「話す・聞く能力」「読む能力」、算数の「数学的な考え方」の値が高い。区平均は超えているものの、値が低い観点に関しては、今後重点的に指導すべき課題となっている。
- 学習意識調査から、今年度も学校での学習について肯定的な回答の割合が区平均を上回っており、今まで全校で取り組んできた共通指導の成果が表れてきているととらえている。
- 全校的には、基礎学力定着のための取り組みにより、一定の成果が表れてきている。しかし、目標値に達していない児童が依然として複数存在している。日常の授業などの改善から、児童にいかん学習意欲をもたせていくか、自己肯定感を高めていくかが課題である。また、非連続型テキストの読解力にも課題がある。児童の発達段階に応じて引き続き指導していく必要がある。

学校による学力向上への主な取り組み

- 全校で学習規律を整え、統一した指導を実施する。発言や発表時のルールの徹底を図る。児童が前向きに学習に臨む姿勢や態度を育て、さらに自己肯定感が高まるように環境を整える。
- パワーアップタイムの確実な実施、「百マス計算」「次へのステップ」「東京ベーシック・ドリル」等の活用、ステップ学習の充実により基礎学力定着を図る。
- 放課後補充教室、「そだち指導」「チャレンジスクール」「あだち小学生夏休み学習教室」を活用し、学習内容が十分定着していない児童へ個別指導を行う。10月には4月に実施した区学力調査を再度行い、通過率100%を目指す。
- 日常の授業では、足立スタンダードの徹底を図り、言語活動を重視した問題解決型学習をさらに推進する。児童が自力解決する時間、意見交換で考えを深める時間を十分に確保し、「分かる授業」「できる授業」を実施する。また、国語では、非連続型テキストの読解力を養うために、図と文章を比較する経験などを発達段階に応じて意図的に取り入れていく。算数では、2年生から習熟度別少人数指導により、個に応じた指導を行う。
- 家庭学習を生活習慣の中に位置付け、確実に実施させる。また、年3回の読書旬間期間や休み時間の図書室活用を設け、児童の読書量を増加させる。

足立区立栗原小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率(H30)	85.5	86.6	87.5	92.2	90.2	91.8	81.7	86.7	83.1	74.6	85.0	87.1
目標値(H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率(H29)	91.3	85.6	87.1	80.6	89.7	96.6	91.2	91.2	96.7	95.1	91.5	70.7
平均正答率(H30)	83.9	85.1	88.8	90.9	86.6	90.0	82.0	88.3	82.0	75.1	80.9	80.4
平均正答率(H29)	87.0	86.7	90.3	91.0	89.3	89.5	85.7	90.2	89.1	89.5	82.7	76.4

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

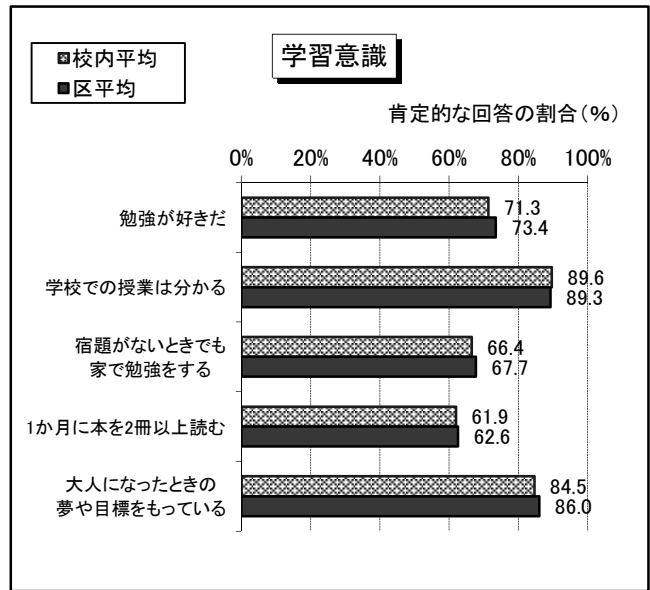
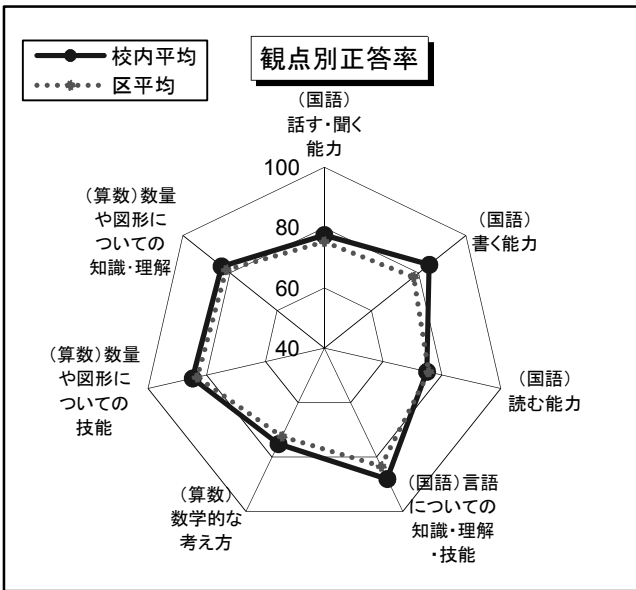
「学習定着度調査」分析結果

- ・観点別正答率は、すべての観点で、区平均を上回っている。
- ・平均正答率を前年度と比較した場合、国語で-3.1ポイント、算数で-1.6ポイントであったが、区平均正答率と比較すると、国語は3.5ポイント、算数は4.0ポイント上回った。
- ・通過率で見ると今年度の2教科平均通過率は、前年度を2.4ポイント下回ったが、区の2教科平均通過率を7.4ポイント上回っており、全体的には基礎学力の定着は高いレベルで達成できた。
- ・足立スタンダードに基づいた授業形態が定着した上に、校内研修で進めてきた問題解決型学習を徹底したことの効果も表れた。
- ・同一集団を経年で見ると、現3年生を除いて、どの学年も通過率、平均正答率ともに前年度よりも下がっている。問題の難易度が高かったことが理由と考えられるが、難しい問題にも正解できるように発展的な問題に取り組む学習をする必要がある。
- ・5年生の算数の通過率が前年度4年生時の通過率と比較して16.6ポイントも下がっている。中位層の得点が伸びずに目標値を通過できなかったと考える。

学校による学力向上への主な取り組み

- ・目標値までわずかの差で届かなかった児童は、放課後学習やそだち指導で弱点を補強する。
- ・個々の学習の不十分などを見落とさないために、単元の確認テストの後、SP表を作成して誤答の傾向を明らかにして補習を行う。
- ・足立スタンダードはほぼ定着してきているので、継続して言語活動を重視した問題解決型の「考える授業」「伝え合う授業」を行う。
- ・習熟度別の授業では、それぞれの実態に合わせた発展問題に取り組み、既習事項を生かしてより難易度の高い問題にチャレンジする学習を行う。
- ・文字数を指定する、内容を指定するなどの条件を付けた作文指導を行い文章力を高めていく。
- ・漢字の読み書きの定着を図るために、漢字の書き順や読み、成り立ちなどを意識した、質の高い漢字練習を進める。
- ・何を問われているのか、どう解答すればよいのか正確にとらえて問題に取り組み、さらに正誤を確認しながら問題を解き進めていく練習をする。

足立区立栗原北小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率(H30)	82.0	80.5	73.2	87.8	81.4	72.1	90.7	89.3	75.0	68.4	90.1	85.2
目標値(H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率(H29)	88.1	84.2	79.8	83.1	93.5	96.1	80.2	75.3	95.1	87.7	93.5	79.2
平均正答率(H30)	83.7	83.0	85.8	89.6	83.8	80.3	86.1	89.6	79.4	73.0	83.6	82.0
平均正答率(H29)	87.3	85.2	88.3	88.2	91.6	89.3	78.5	82.2	89.6	84.0	89.0	81.7

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

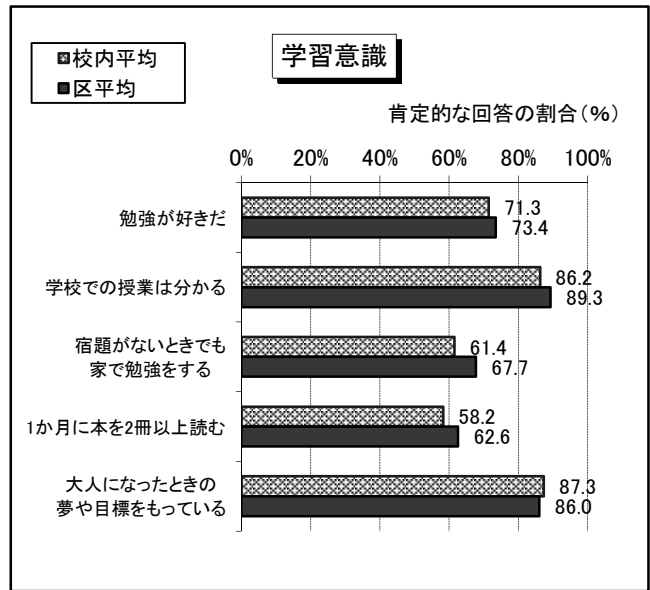
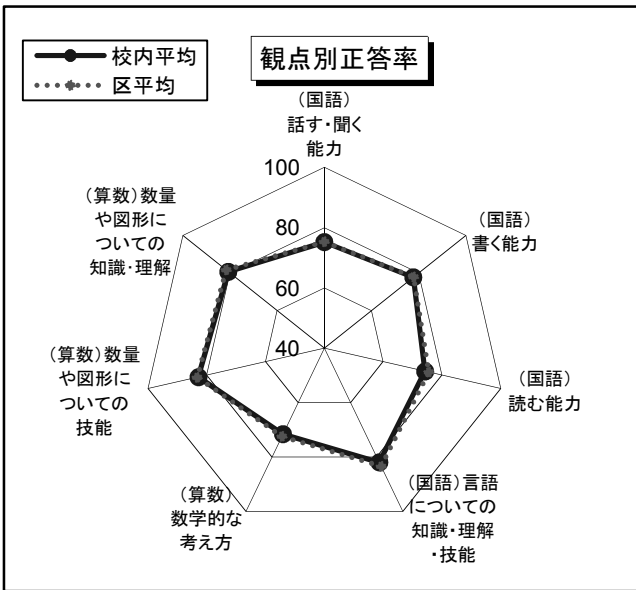
「学習定着度調査」分析結果

- 国語、算数両教科で、通過率、平均正答率ともに前年度を下回っている。
 国語 通過率…6.1ポイントダウン 平均正答率…3.6ポイントダウン
 算数 通過率…3.7ポイントダウン 平均正答率…2.2ポイントダウン
- 同一集団を経年比較すると、通過率で前年度を上回ったのは3年の国語、平均正答率で前年度を上回ったのは4年の算数と5年の国語であった。その他の学年・教科は、すべて下回っており、全体的なレベルアップが必要である。
- 全体的な下降は、前年度授業中に集中を欠く学年・学級があったためと考える。今年度は落ち着いた学習環境を維持していく。
- 観点別正答率では、概ね区平均を上回っており、前年度と同様の結果を残している。国語の「読む能力」は区平均を若干下回るがほぼ同等となっている。
- 学習意識では、どの項目も肯定的な回答の割合は前年度と大きな差異はないが、区平均との差は前年度より若干ではあるが少なくなっている。学校では授業改善に努め、「勉強好き」な児童を増やし、家庭には家庭学習の確実な実施をお願いし、学校と家庭が協創して学力向上に努めていく。

学校による学力向上への主な取り組み

- 週2回のパワーアップタイムの確実な実施と内容の工夫、「栗北検定」「次へのステップ」「東京ベリック・ドリル」等の活用により、国語・算数の基礎・基本の定着を図る。
- 放課後学習教室、サマースクールの回数・時間を確保する。また、朝学習の会や昼の計算道場を実施し、学習内容が十分定着していない児童への個別指導を行う。
- 「そだち指導」を一層充実させ、つまづきのある児童への個別指導を行い、つまづきを早期に解消する。
- 足立スタンダードを全教員が実施する。また、教科指導専門員による授業観察・指導で授業力向上を図る。
- 算数を校内研究の中心に据え、問題解決型学習を推進し、自力解決と集団検討をする時間を十分確保することで、数学的思考力を育成する。
- 学習規律を徹底し、落ち着いた学習環境をつくり出し、授業への集中力を高める。
- 家庭学習強化週間を年3回設定し、「10分×学年」の家庭学習を確実に実施させる。また、年2回の読書推進運動を実施し、児童の読書量を増加させる。

足立区立栗島小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	77.0	79.3	78.3	81.7	70.3	75.4	78.0	85.5	80.3	74.2	78.0	78.0
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	78.6	82.0	68.8	78.1	72.0	84.1	88.5	93.4	86.2	77.6	81.0	75.9
平均正答率 (H30)	79.3	80.7	85.6	86.1	77.8	79.5	77.9	84.9	79.5	73.5	77.2	77.5
平均正答率 (H29)	82.1	84.3	84.4	88.7	79.8	82.2	83.5	90.7	85.4	82.3	78.3	76.7

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

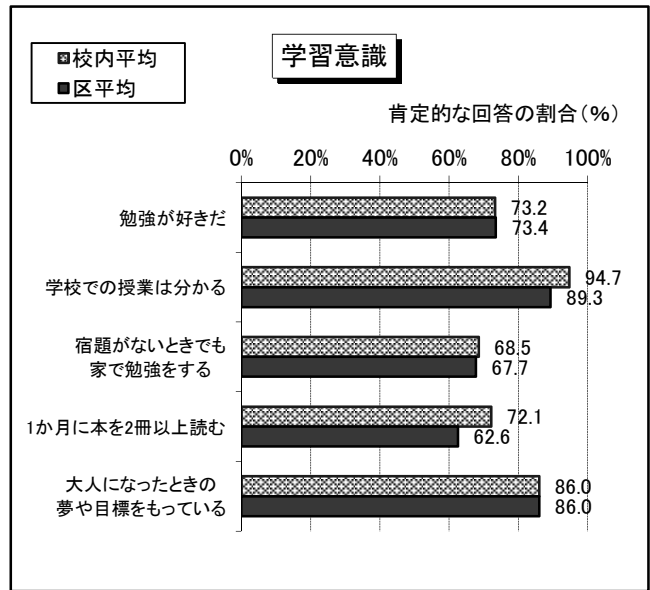
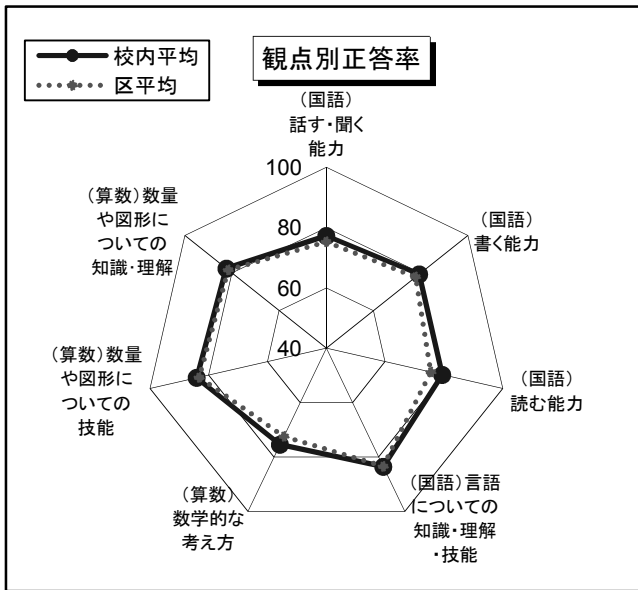
「学習定着度調査」分析結果

- 【区平均との差についての分析】観点別正答率を区平均と比べると、二つのグラフが重なるところが多く、区平均と同レベルには達成しているといえる。今後は、区平均を超えていけるように下位層への指導と、授業改善や指導力の向上に努める。また、週1回の放課後学習や本校独自の開発教材「くりしまくりかえしドリル」から東京ベーシック・ドリルとの併用も行い内容の改善に取り組む必要がある。
- 【本校の課題となる点・伸ばしていきたい点】学年別に見ると、2年生は前年度に比べて国語も算数も通過率は上回っている。しかし、3～5年生は、前年度に比べて通過率、平均正答率は下回っている。特に3年生の国語の通過率が70.3%と低く、課題として受け止める。学習意識では「大人になったときの夢や目標をもっている」では、肯定的な回答の割合が区平均を1.3ポイント上回った。しかし、「宿題がないときでも家で勉強をする」では、区平均を6.3ポイントも下回った。家庭と相談・連携し、宿題以外の学習に自主的に取り組めるようにする。
- 【前年度の取り組みからの改善点】前年度の学力向上への取り組みから、放課後学習の内容 (プリント) の見直しと改善、本校独自の開発教材「くりしまくりかえしドリル」(算数科)の内容見直しを行っていく。また、東京ベーシック・ドリルの活用を必須として取り組んでいく。

学校による学力向上への主な取り組み

- 足立スタンダード、MIMを活用した授業改善、全校一斉の「昼読書」や、「栗島学習スタンダード」を基にした基本的学習習慣の育成等の取り組みにより、学力定着の一層の充実を図る。
- 2～5年生の対象児童に対し、毎週木曜日の15:40より30分間放課後学習教室を行い、国語と算数の復習を基本に学力定着の基盤をつくる。また、学力調査の結果を参考に対象児童を絞り、全職員が少人数体制で指導を行う。また、木曜日以外の放課後も学級ごとに必要に応じ補習を行っている。
- 本校独自の開発教材「くりしまくりかえしドリル」(算数科)や全学年統一の漢字スキルを活用したテストを行い、学力の定着と向上を図る。
- そだち指導員や学習支援員による、2～4年生対象の個別指導・そだち指導等を行い、個々のつまずきを把握し、高学年に向けて苦手意識を軽減させるよう早期解消を図る。
- 算数少人数担当教員や講師による、全学年での算数習熟度別指導を行い、進度、発展問題、既習事項の確認など個に合わせた指導を行っている。
- 「栗島学習スタンダード」を各家庭に配付し、学習習慣の定着を啓発している。規則正しい生活と学習の習慣が身に付くよう指導を行っていく。

足立区立加平小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	83.7	81.2	87.7	92.5	92.6	91.6	84.4	82.7	71.6	64.2	82.8	75.0
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	81.8	80.5	78.3	78.3	85.5	85.5	80.6	83.9	90.3	85.5	73.5	63.3
平均正答率 (H30)	81.9	82.1	91.3	89.9	86.9	86.3	78.6	85.9	74.8	70.2	79.9	78.5
平均正答率 (H29)	83.3	84.4	87.4	89.3	85.9	82.7	78.5	86.1	85.5	84.1	79.2	73.7

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

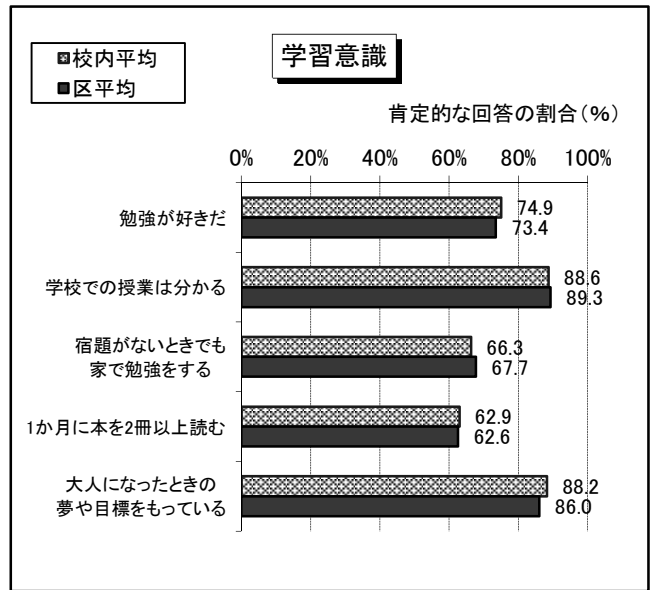
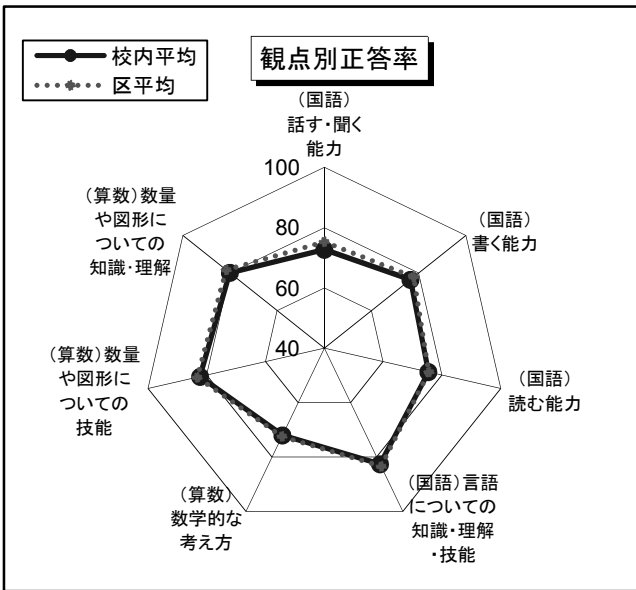
「学習定着度調査」分析結果

- 平均正答率では、昨年度と比較すると、国語は1.4ポイント、算数は2.3ポイント下回った。一方、通過率では、国語、算数とも年度当初に目標とした通過率80%以上は達成し、昨年度と比べ、国語は1.9ポイント、算数は0.7ポイント上回った。
- 国語では、正答率70%を上回る児童が82.5%であり、昨年度より2.2ポイント下回った。「読む能力」は改善されてきているが、他の3観点に課題がある。「読む能力」の向上とともに、「話す・聞く能力」の向上に向けて、自分の考えを書いたり、自分の考えを発表したり、友だちの発表を聞いて付け足しや修正をしたりする「書く活動」の充実を図る。言語事項が定着するように、漢字の読み書きの練習、音読の練習、言葉の意味調べ等の活動に力を入れるとともに、読書活動の充実を図る。
- 算数では、正答率70%を上回る児童が81.7%であり、昨年度より4.3ポイント下回った。観点別での課題として計算、図形が挙げられる。基礎的・基本的な内容の定着のために、具体物の操作等の具体的な活動を取り入れた指導を充実させる。また、思考力・判断力・表現力等の向上のために、互いの考えを学び合う活動を充実させ「分かる・楽しい授業」の創造に努める。
- 「勉強が好きだ」の項目は、昨年度と比べ1.6ポイント下回った。児童から「やってみよう・考えてみたい」と意欲を引き出すことを重視し、「分かる・楽しい授業」の創造を図る。

学校による学力向上への主な取り組み

- ・朝学習 (1日15分間の週3日間) を実施。国語の基礎・基本の力を付ける学習を中心に行う。1、2年生はMIM、3～6年生は国語の復習学習 (語彙を増やす学習、視写、漢字練習等)、進級型計算学習、百人一首を全校で計画的に実施している。
- ・読書タイム (昼休み後10分×5日間) を実施し、本に親しむ時間を設定し、読書量を増やす。
- ・放課後補充指導 (週4日)、全教職員で指導にあたるパワーアップタイム (週1日)、夏休み学習補充教室 (10日間) を実施し、個に応じた指導により基礎学力の定着を図っている。長期休業中には「東京ベーシック・ドリル」に全学年で取り組む。
- ・家庭学習 (低学年20分以上、中学年40分以上、高学年60分以上) と宿題 (全学年共通課題：国語・算数・音読) に毎日取り組ませ、学習習慣の確実な定着を図っている。
- ・かけ算九九検定 (年3回) を実施し、2年生では、かけ算九九マスター検定を実施している。
- ・学力定着の時間 (年30時間) をとり、国語と算数の基礎的な内容の指導を行っている。
- ・授業においては、全教科で児童にとって分かりやすいめあてを設定し、足立スタンダード問題解決型の学習展開を基本として授業改善を進め、学力の向上と定着とを目指している。

足立区立東栗原小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(H30)	75.2	77.0	78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率(H30)	75.2	77.0	71.7	80.3	80.0	87.7	71.0	80.3	79.4	67.6	73.2	70.4
目標値(H29)	77.7	76.6	78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率(H29)	77.7	76.6	75.4	84.6	81.0	88.9	74.3	85.7	87.0	72.5	72.3	56.6
平均正答率(H30)	79.4	79.8	84.9	86.5	83.0	85.3	74.9	84.6	80.1	71.8	75.7	71.9
平均正答率(H29)	80.5	80.9	88.5	88.9	83.1	85.0	76.2	86.1	82.1	76.9	75.6	69.2

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

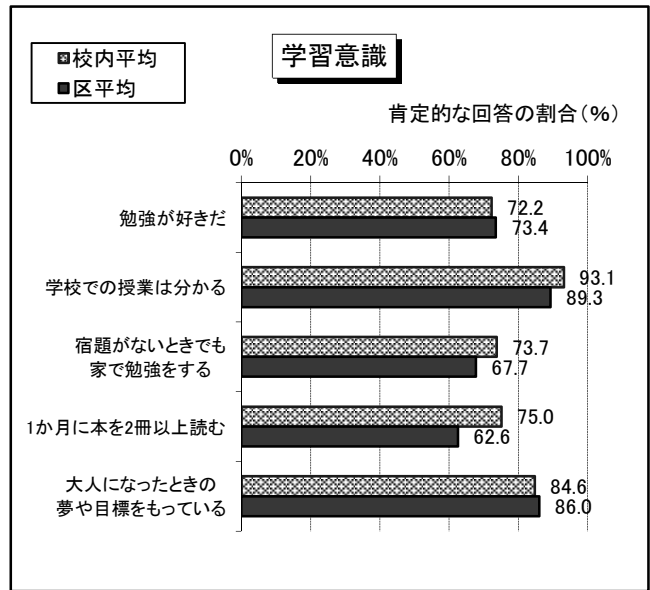
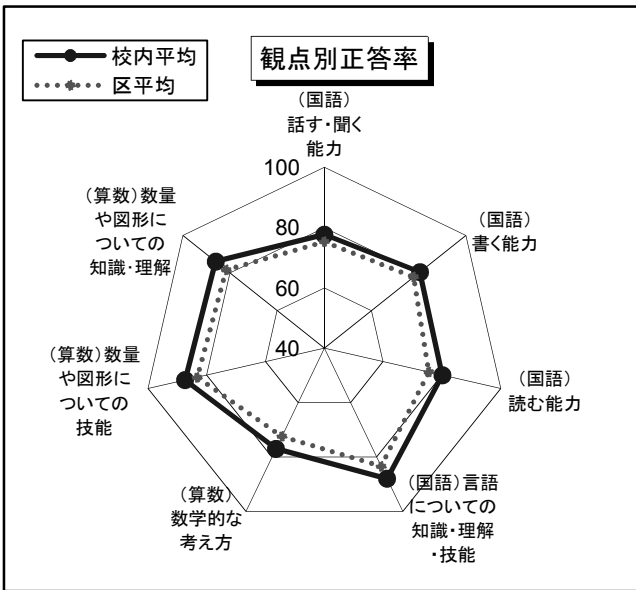
「学習定着度調査」分析結果

- 平均正答率を昨年度と比較すると、学校全体では国語が-1.1ポイント、算数が-1.1ポイントであった。学年別では、3年算数及び6年国語・算数は昨年度を上回った。2年国語・算数、4年国語・算数、5年国語・算数は1.0ポイント以上前年度を下回ったが、平均正答率はすべての学年教科で全国値を超えている。
- 観点別正答率では、国語、算数ともにほとんどが目標値を上回っている。国語「話す・聞く能力」と算数「数量や図形についての知識・理解」が弱い学年があった。
- 目標値に対する通過率は、80%の目標通過を目指したが、学校全体の通過率は、国語・算数ともに80%に達しなかった。特に、60%未満の学年はなくなったが、5年算数が70%未満であり、2年国語、4年国語、6年国語・算数は75%未満であった。
- 学習意識調査では、5項目すべてが昨年度を上回った。「勉強が好きだ」「1か月に本を2冊以上読む」「大人になったときの夢や目標を持っている」は区平均を超えている。「宿題がないときでも家で勉強をする」は、H27年度から10.8ポイント向上し、家庭学習ががんばり週間など年間を通して取り組んだ成果が表れた。

学校による学力向上への主な取り組み

- 教員全員が校内授業研究に取り組み、足立スタンダード型授業展開を研究の根底に据え授業力の向上を目指す。問題解決型の展開を工夫し、児童が自力で考え表現する、分かる授業を組み立てる。
- 学力調査から分析した結果を基に、基礎・基本を繰り返し練習させ、前学年の学習事項の定着を図り、自信をもたせる。設問に対して、読まずに答えてしまう傾向があるため、問題文にアンダーラインを引き何を求めているかはしっかり理解した上で解答させる。
- 朝のパワーアップタイム、毎週の放課後補習教室で、漢字や計算など、繰り返し学習の徹底を図る。年2回ずつの漢字・計算コンテストを実施し、習得した児童を称賛し得点力を付けさせる。
- 土曜授業で基礎・基本の練習の様子を公開する。日々の宿題に確実に取り組ませ、家庭学習ががんばり週間を毎月設定し、家庭と学校が連携して児童に家庭学習習慣を身に付けさせる。
- 国語では「既習漢字の徹底練習、文章を書く際に既習漢字を必ず使うこと」などの指導で、作文と言語事項の学力向上を図る。書く・話すと読書指導を繰り返し、表現力を高める。
- 算数では、習熟度別指導を通して、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図るとともに、自力と交流から対話的で深い学びにつながる指導を工夫する。

足立区立平野小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	84.6	88.3	74.4	82.9	84.7	93.1	93.8	93.9	91.9	83.9	80.4	88.2
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	84.1	83.6	72.2	79.2	86.2	89.2	87.5	92.2	88.9	85.5	87.7	74.0
平均正答率 (H30)	84.7	85.8	85.4	86.1	86.6	89.3	86.3	91.8	85.9	79.3	78.3	80.8
平均正答率 (H29)	85.3	84.7	86.5	87.6	86.4	85.0	85.7	90.5	85.6	85.5	82.9	75.4

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

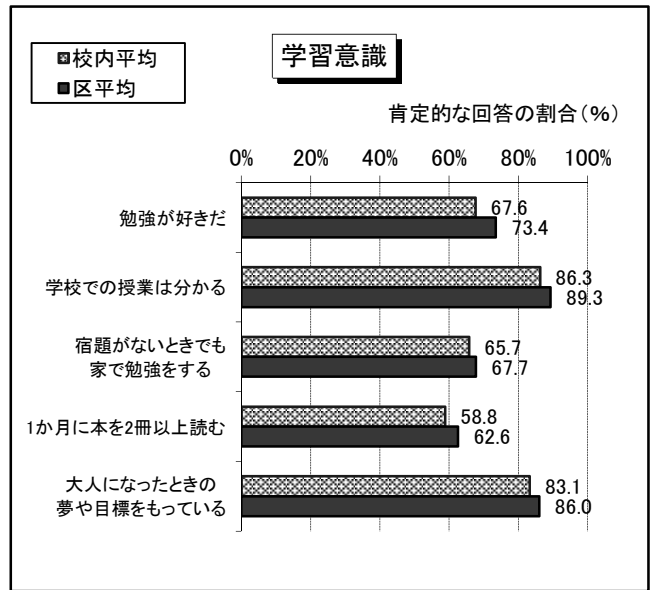
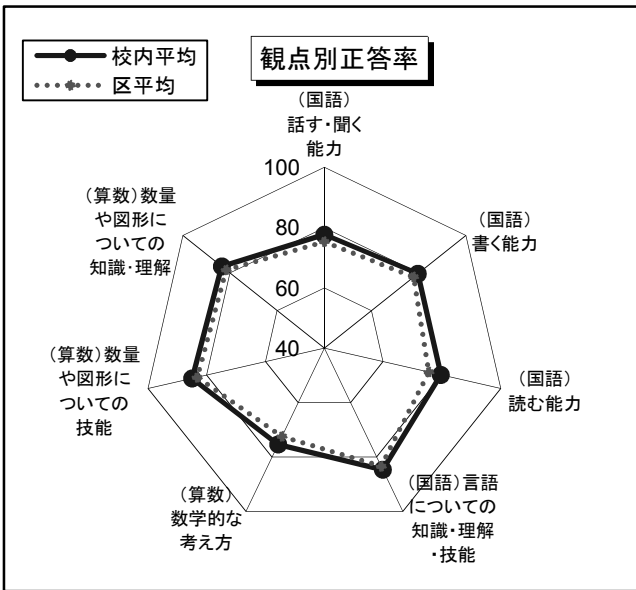
「学習定着度調査」分析結果

- 学校全体の平均正答率は、昨年度と比較して、国語は85.3%から84.7%へと0.6ポイント下がったが、算数は84.7%から85.8%へと1.1ポイント上昇している。学年別では、2年生と6年生の国語、2年生と5年生の算数が昨年度を下回っているが、他は上昇している。学校全体の通過率では、国語が84.1%から84.6%へと0.5ポイント上昇、算数が83.6%から88.3%へと4.7ポイント上昇と大きく向上した。このことから学校全体として、基礎学力が定着している児童が多くなったといえる。
- 国語の観点別正答率では、3～5年生は、どの観点も区平均を上回っている。6年生は「書く能力」が若干下回っているが、他の観点では区平均を上回っている。2年生は、「読む能力」が区平均を上回っているが、他は下回っているため、自分の考えを話したり、作文を書いたりする力を育てていくことが課題である。
- 算数の観点別正答率では、3～6年生は、どの観点も区平均を上回っている。2年生は、どの観点も下回っている。基礎的な計算問題を確実に定着させ、課題を解決するために必要な情報を的確に読み取り、筋道を立てて考える力を育成していく必要がある。

学校による学力向上への主な取り組み

- 全児童を対象に「平野スキルアップタイム」を放課後に設定し、毎日25分程度の補習を実施。
- 放課後補充教室として、算数少数・担任・学習支援ボランティアによる補習の実施。
- 区調査で目標値に達しなかった児童を対象に長期休業中の補充教室を実施。
- 中学年における「そだち指導員」による個別指導の実施。
- 低学年を対象に「MIMアセスメント」を実施し、基準点に未到達の児童に個別指導を実施。
- 朝読書 (10分間×週3回) に取り組んだり、読書旬間・月間を設けたりして、読書に親しませ、「読む力」を向上させる。学校全体で6万冊以上を年間目標と設定している。
- 足立スタンダードを基に授業展開し、問題解決学習を実践する。授業規律の徹底、めあてとまとめの提示、板書指導の工夫、ノート指導の充実、発問の工夫など授業改善を図る。
- 家庭学習の徹底 (10分×学年+αを目安に取り組みせる)。
- ICTの活用 (パソコンソフト「ランドセル」や「キーボー島アドベンチャー」の活用)。
- 土曜授業日の復習の時間に開かれた学校づくり協議会委員による丸付けボランティアの実施。
- 開かれた学校づくり協議会が主催して漢字検定を実施。

足立区立弥生小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	84.2	81.9	83.3	82.4	88.7	88.9	76.5	81.2	90.5	76.8	81.9	82.1
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	87.9	87.0	87.5	88.9	90.4	90.4	92.7	90.6	83.5	87.4	84.9	78.5
平均正答率 (H30)	82.4	82.8	87.4	88.0	86.4	87.1	79.2	85.8	83.3	77.0	77.5	76.8
平均正答率 (H29)	85.8	86.3	90.2	91.1	89.7	85.5	85.5	90.0	84.2	84.8	81.7	80.0

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

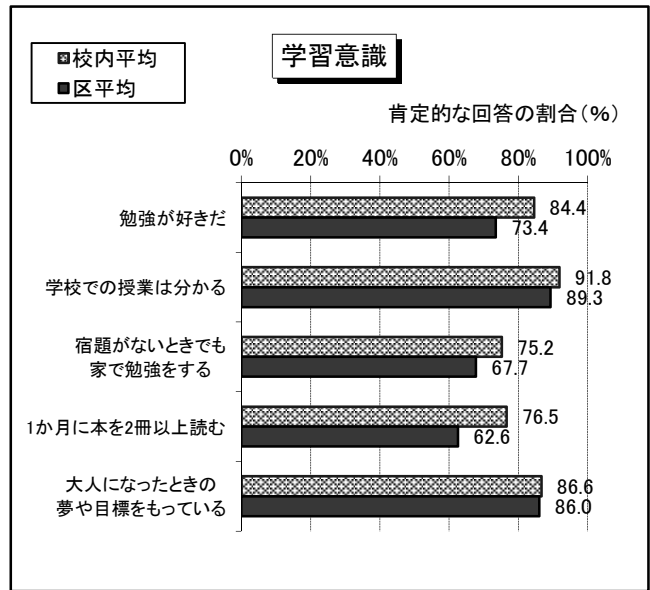
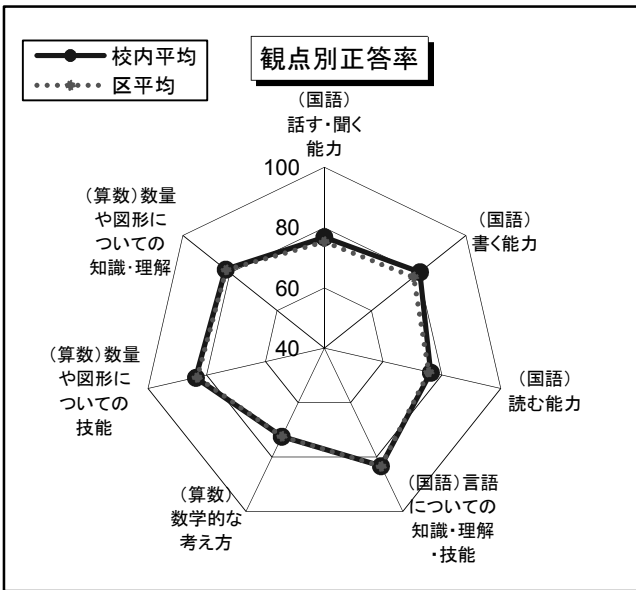
「学習定着度調査」分析結果

- ①通過率は、昨年度と今年度の推移を分析すると、国語は87.9%から84.2%、算数は87.0%から81.9%となり、それぞれ-3.7ポイント、-5.1ポイントとなった。ただし、5年国語が+7.0ポイント、6年算数が+3.6ポイントと、昨年度から上昇した。
- ②平均正答率は、昨年度と今年度の推移を分析すると、国語は85.8%から82.4%、算数は86.3%から82.8%となり、それぞれ-3.4ポイント、-3.5ポイントとなった。ただし、3年算数が+1.6ポイントと、昨年度から上昇した。
- ③観点別正答率を分析すると、算数「数学的な考え方」が他観点と比べて低く、区平均と同じ傾向にある。国語「読む能力」は区平均よりも特に高い。昨年度の正答率と比較すると、全観点とも昨年度を下回っている。
- ④学習意識調査は、どの項目でも校内平均は区平均を下回っている。昨年度と今年度の区平均との差を比較すると、5項目中4項目で差が改善している。「1か月に本を2冊以上読む」については、昨年度より肯定的な回答の割合が-1.0ポイントとなった。

学校による学力向上への主な取り組み

- ①朝学習 (ステップアップタイム) で学習内容の復習と活用を図る。
⇒ 漢字ドリル、小作文ワークシート、東京ベーシック・ドリルを活用していく。
- ②放課後個別学習で学習のつまずきや宿題忘れを放置せず確実に理解させる。
⇒ 学習した国語・算数の基礎・基本に関するつまずきを解消し、自主性や学習意欲の向上を図る。
- ③「学びの名人」で学年に応じた学び方検定を行い、学習意欲を引き出す。
⇒ かけ算九九検定、辞書引き検定、地図帳検定、歴史年表検定を学年ごとに実施する。
日々の取り組みのほか、土曜授業日の朝学習の時間に実施する。
- ④「読書名人」「音読指導」の取り組みを行い、読み取る力を養う。

足立区立弘道小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率(H30)	81.8	81.4	81.1	86.5	81.0	85.7	90.9	88.6	73.3	71.1	82.8	76.3
目標値(H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率(H29)	87.7	83.1	86.4	79.5	91.5	93.6	68.8	62.5	95.0	88.3	95.5	90.9
平均正答率(H30)	81.0	81.3	87.7	89.3	82.5	84.6	84.5	85.7	75.0	70.9	77.3	76.0
平均正答率(H29)	84.1	83.9	90.3	89.1	89.6	87.2	68.1	77.7	88.5	82.6	84.5	83.2

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

「学習定着度調査」分析結果

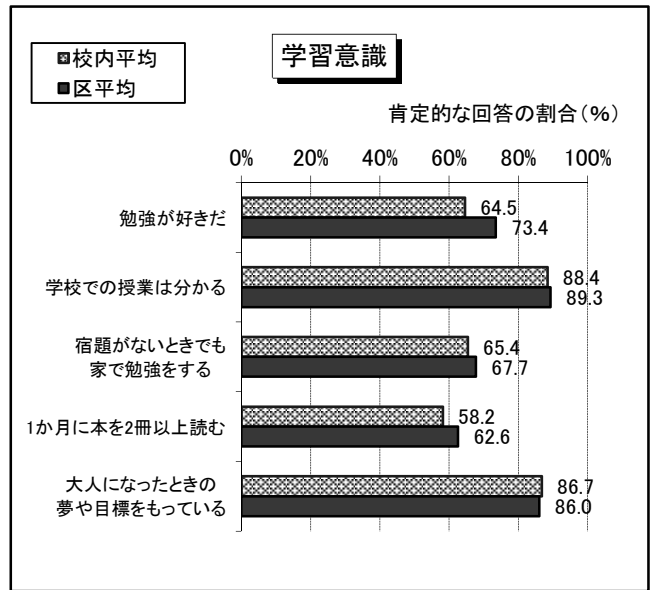
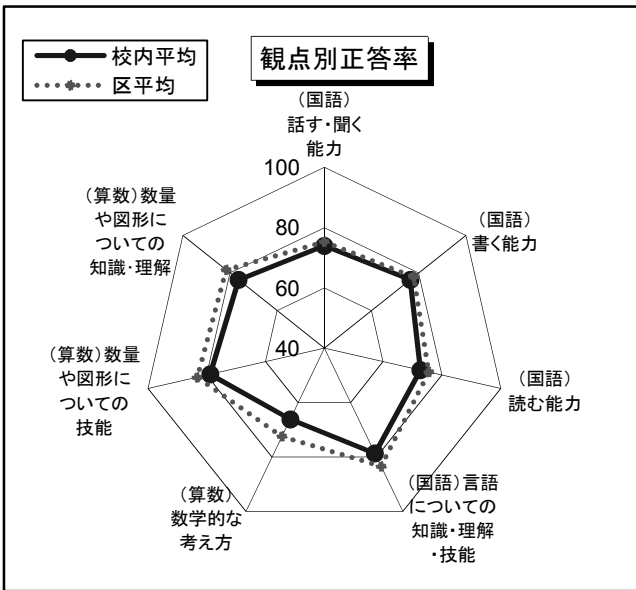
【国語】通過率は目標としていた80%を5学年中4学年で超えた。第5学年については、平均正答率が低いですが、昨年度の学年時(第4学年)と比較して通過率が4.5ポイント上昇、平均正答率が6.9ポイント上昇した。第6学年については、昨年度の学年時(第5学年)と比較して通過率、平均正答率とも10ポイント以上の下落が見られるが、領域別に見ると、すべての領域で区平均を超えている。分野別に見ると、第5学年は「言語についての知識・理解・技能」の観点と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域に課題があり、「国語への関心・意欲・態度」「書く能力」の観点が区平均と同程度であり、目標値と比べると高い。第3学年は「書く能力」の観点が区平均より3.0ポイント高く、「読む能力」の観点には課題がある。傾向に合わせた対策を行っていく。

【算数】通過率は目標としていた80%を5学年中3学年で超えた。第5学年については、昨年度の学年時(第4学年)と比較して通過率が8.6ポイント上昇した。目標値が5.9ポイント下がっているため、平均正答率の6.8ポイントの下落は横ばいの状態といえる。ただし、領域別に見ると、「図形」以外は区平均を下回っており、対策を講じることが急務である。第6学年については、昨年度の学年時(第5学年)と比較して通過率が12.0ポイント下落しているが、平均正答率を見ると全国値より8.9ポイント高く、区平均とは拮抗している。

学校による学力向上への主な取り組み

- ①各学年の正答率の傾向は従前より把握しており、学力調査を行う以前より、正答率の低い学年には重点的に教員を多く配置するなど対策を講じている。これを今後も継続する。
- ②日常の授業に重点を置き、校内研究、小中連携授業研究、教科指導専門員による教師の授業改善、足立スタンダードの有効的活用を行う。
- ③児童に対し、弘道タイム、パワーアップタイム等の復習の時間の確保、担任が与える10分間×学年の課題学習、休日の自主学習ノート1日×2ページ、放課後補充教室でのテストやプリントの確実な間違い直しや追試、常に手元に読みかけの本を携帯、年間読書目標達成率80%以上などの取り組みを継続して行っていく。
- ④すべての学年で、基礎・基本となる計算問題については、今後も繰り返しスモールステップで確認しながら学力の定着を図っていく。取り組む単元については、学年ごとに誤答分析からポイントを絞り、効果的な取り組みにつなげる。

足立区立弘道第一小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	69.8	66.2	66.7	74.1	76.5	80.8	77.2	86.0	54.1	49.2	75.8	46.0
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	81.2	79.9	84.6	81.1	78.9	86.0	72.4	89.7	95.3	89.1	73.8	54.8
平均正答率 (H30)	77.1	75.6	82.9	85.1	78.7	83.4	79.8	84.1	71.6	63.5	74.6	64.1
平均正答率 (H29)	81.5	81.1	87.2	86.1	83.4	82.7	77.0	87.0	85.6	82.8	75.8	67.2

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

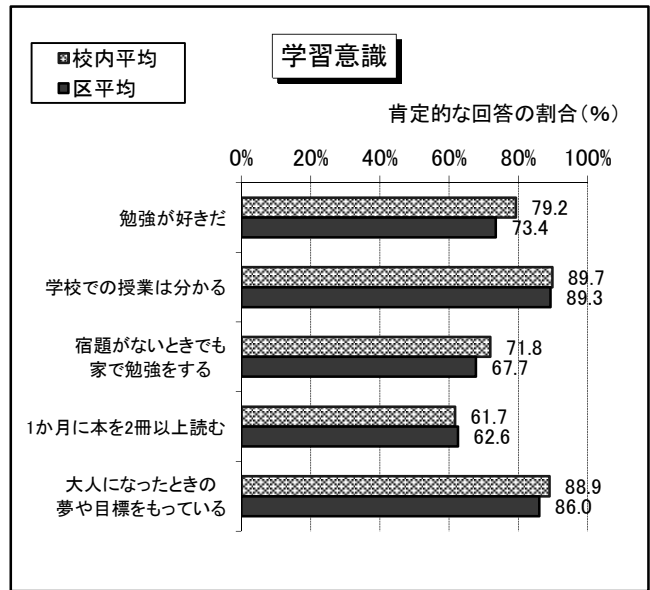
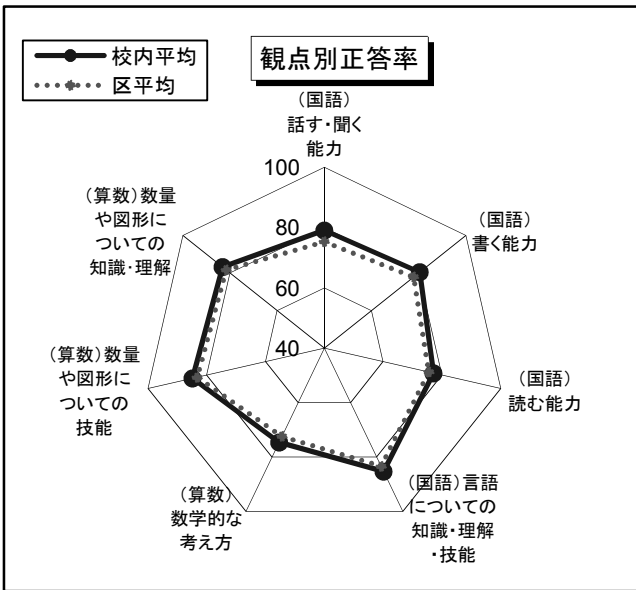
「学習定着度調査」分析結果

- 平均正答率について、国語では77.1%となり、昨年度の81.5%と比べて4.4ポイント下回った。算数では75.6%となり、昨年度の81.1%と比べて5.5ポイント下回った。
- 目標値に対する通過率について、国語では69.8%となり、昨年度の81.2%と比べて11.4ポイント下回った。算数では66.2%となり、昨年度の79.9%と比べて13.7ポイント下回った。
- 5、6年生が平均正答率と通過率ともに前学年時(4、5年生)を大きく下回っている。特に通過率に関しては両学年ともに、国語においては約20ポイント、算数においては約40ポイント下回った。算数においては過半数の児童が目標値を超えていないことで、早急に対策を講じる必要がある。
- 3、4年生は学年が上がったことにより内容が難しくなり、前学年時(2、3年生)の通過率から算数は横ばいもしくは微減だが、国語の通過率の減少が顕著であり、重点的に対策を講じる必要がある。
- 2年生は前年度の2年生(現3年生)の値と比較し、国語、算数ともに通過率が低く、特に国語に関しては17.9ポイント低い。平素の授業改善から取り組んでいく必要がある。
- 学習意識の「勉強が好きだ」の値が昨年度から5.2ポイント減少し、学習意欲の低下が見られる。
- 国語は2年生で説明的文章の読み取り問題、3、4年生で調べたことを説明する問題、5、6年生で読み取った情報から提案文を作る問題の正答率が低い。算数は3年生で複数の条件のある文章題、5年生で見取り図に関する問題、6年生で百分率とグラフに関する問題の正答率が低い。

学校による学力向上への主な取り組み

- 単元テストごとの結果をポートフォリオとして記録し、例年つまずきの見られる単元は指導時数を増やして指導を行う。
- つまずき解消のために、毎週金曜日に各学年45分の補充学習(すっきりタイム)を行う。担任だけでなく専科担当教員も含めて少人数指導・TT指導を計画的に行う。夏季休業までは区調査のつまずきの多い単元から三つに絞り取り組む。
- 火・木・金曜日に行っている朝学習(パワーアップタイム)で、既習の定着度を診断するために東京ベーシック・ドリルに取り組む。診断の結果を補充学習(すっきりタイム)のクラス編制に活用する。また、定着が見られない児童は放課後学習教室の中で個別指導を行う。
- 勉強好きの児童の割合を向上させるため、教員の授業力向上に励む。校内研修の一環として教員による相互授業観察を実施する。
- 夏季休業中の宿題を一律の内容とせず、児童一人ひとりの定着度に応じて内容を変えて作成する。

足立区立青井小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率(H30)	81.6	82.0	77.8	77.8	85.0	86.7	89.8	89.8	68.3	70.0	88.7	86.8
目標値(H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率(H29)	89.0	86.9	90.3	87.1	90.0	86.0	86.0	87.9	83.6	85.5	95.9	88.0
平均正答率(H30)	82.4	82.4	86.6	85.7	85.1	85.4	84.0	89.7	76.7	73.6	81.6	79.5
平均正答率(H29)	86.4	86.2	90.0	90.6	87.6	84.8	82.9	87.5	83.8	83.6	88.2	82.9

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

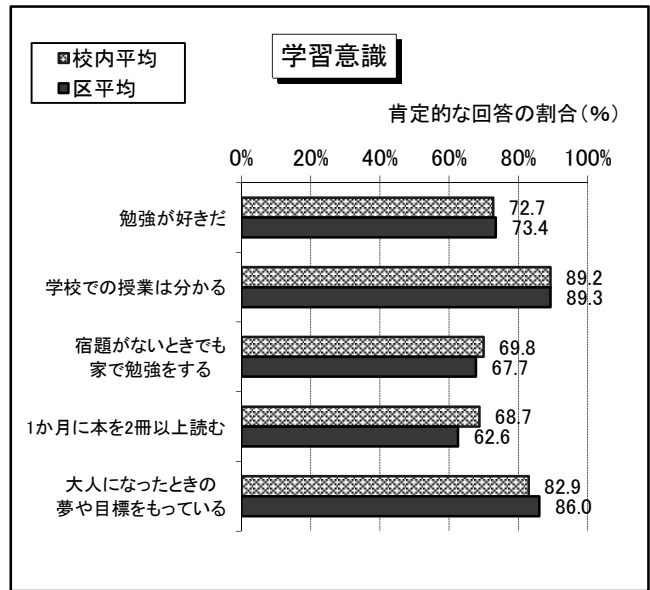
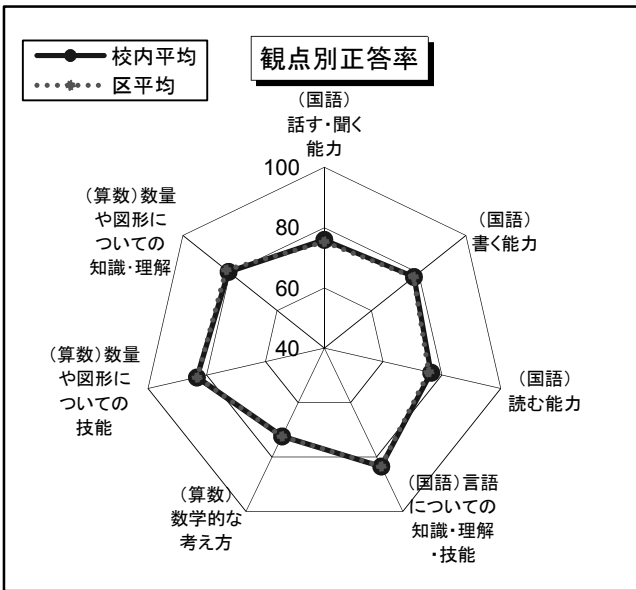
「学習定着度調査」分析結果

- すべての学年で平均正答率が目標値を大きく上回っている。学校全体として平均正答率は、国語は82.4%、算数も82.4%となっており、前年度の学習が身に付いているといえる。
- 目標値に対する通過率は国語は81.6%、算数は82.0%と前年度をやや下回る結果となっているが、概ね高い通過率を示している。
- 観点別正答率を見ると、国語、算数ともにすべての観点で区平均を超えている。国語では4観点中、「書く能力」と「言語についての知識・理解・技能」の2観点で80%を超えている。算数は「数量や図形についての技能」と「数量や図形についての知識・理解」の2観点で80%を超えている。
- 学習意識調査の結果を見ると、「学校での授業は分かる」と回答した児童は89.7%と高い数値を示しており、楽しく分かりやすい授業を目指してきた成果が表れてきたといえる。より一層児童の考えが深まる授業展開ができるよう、日々の教材研究に力を入れて、「学校での授業は分かる」児童の増加をさらに図っていく。課題として、「1か月に本を2冊以上読む」児童が、区平均を下回っている。朝読書や図書ボランティアと連携して、読書に親しむ習慣を促していくことで、さらに主体的に学ぶ力の育成に努めていく。

学校による学力向上への主な取り組み

- 平成25年度より、「青井ゆうやけ教室」という放課後補習教室を、全教員で週に一度実施している。「弱点の克服」と「できる喜び」の2点をねらいとし、達成感を得た児童は、通常の授業でも高い意欲を示して学習するようになってきている。また、今年度から放課後自習教室「学Viva」を開設し、児童が学校内で宿題などに取り組むことのできる場を設け、学習習慣の定着を図っている。
- 学力定着度を測る確認テストを年3回実施することで、児童の実態を把握し、日々の授業の改善を図っている。またその情報を学校全体で共有し、児童の実態に合った学習を展開している。
- 教育委員会が示している「足立スタンダード」を取り入れ、校内独自の教員研修なども実施することで、授業の構成が明確になってきている。また、青井ミニマムスタンダードという基準を学習指導要領の目標と内容に照らして設定し、当該学年で最低限身に付けさせたい内容を明確にし基礎学力の定着を図っている。
- 青井小学校では「金管バンド部」「男女サッカー部」「男女ミニバスケットボール部」が通年で活動している。「文武両道」の考え方がメリハリのある学校環境を構成し、高い集中力や規律の整った授業をする助けとなっている。

足立区立綾瀬小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)	77.6	76.5	78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	77.6	76.5	77.3	75.0	83.3	84.1	78.2	79.0	73.0	67.2	76.3	76.9
目標値 (H29)	81.1	79.6	78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	81.1	79.6	74.2	75.8	77.5	80.0	72.6	80.3	85.5	79.6	93.8	82.4
平均正答率 (H30)	80.7	80.7	86.2	85.2	83.5	83.6	80.8	85.1	76.2	71.6	78.2	77.8
平均正答率 (H29)	82.7	82.4	85.3	87.0	83.6	80.8	75.9	84.5	82.6	79.8	85.9	80.0

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

「学習定着度調査」分析結果

○昨年度とほとんど変わらない結果である。通過率を80%以上として目標設定したが、3年生を除き届かなかった。日常の補習学習（抽出児対象）及び本校独自の基礎学習「綾瀬ミニマム」、夏休みのサマースクール等はこれまで同様に計画的に実施してきた。時数的には十分であったにもかかわらず成果が表れにくい状況であった。

おそらく、SP表やポートフォリオを活用した「個々の学力状況の把握とそれに応じた指導」に何か問題点があったのだと推測する。今回の結果を受け、各種資料に基づいて、今一度、児童個々の苦手なポイントを各担任が把握し、ピンポイントで指導できるように努める。

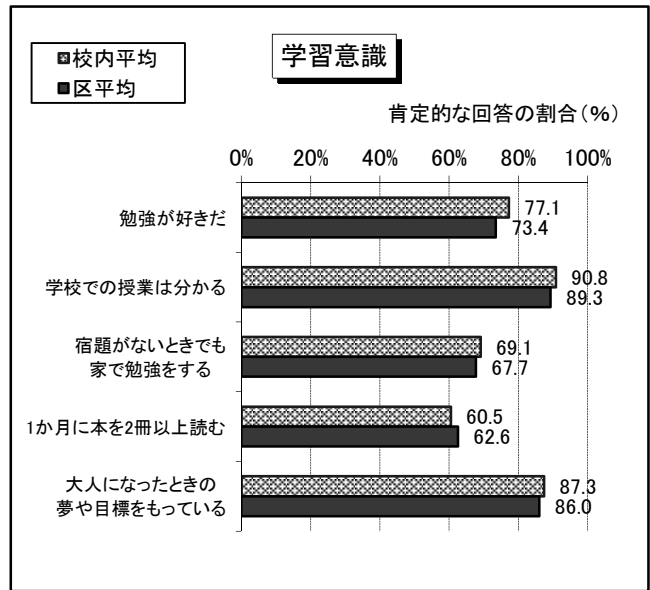
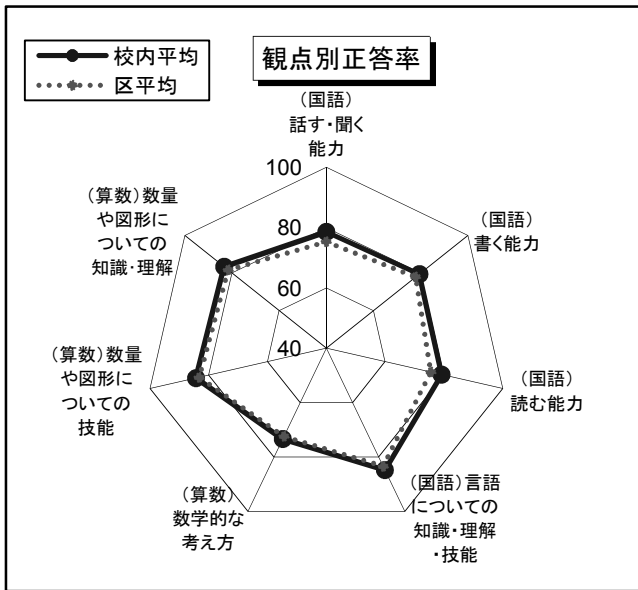
学校による学力向上への主な取り組み

○7月中旬に区調査の結果を受けたSP表を、全学年全学級で作成する。それを資料にして、夏休みサマースクールを開講して、本格的な補習学習を開始する。これを、夏休み以降の日常的な補習学習に生かす。基礎的・基本的な知識や技能の習得は日常の授業中で取り扱うが、こうした特設的な時間帯の補習を重視する。

○国語の「文学的文章の読み」を独自で研究している。この取り組みは一層活発化させていく。中でも、短時間（10～15分）で多くの文量を書かせる指導は特に重要視する。この学習指導を通して、「早い時間で想起して多くの文章を書く」という指導を継続し、文章作成力（表現力）を向上させ、学力向上の一端を担いたい。

7月現在で、4年生段階で、感想文等を10分間でノート1ページ程度は書けるようになっている。

足立区立東綾瀬小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	83.1	79.8	74.6	76.1	89.2	87.8	86.5	83.1	78.0	70.7	87.5	81.6
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	85.3	87.7	81.6	89.5	92.0	92.0	75.6	84.8	93.8	89.8	86.4	81.7
平均正答率 (H30)	82.6	82.5	86.5	85.2	84.8	86.4	82.8	87.0	79.6	74.8	80.1	77.7
平均正答率 (H29)	85.9	86.3	90.3	90.4	90.1	87.0	79.2	88.1	88.4	84.3	82.1	78.8

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

「学習定着度調査」分析結果

学校全体として、区平均と比較すると、平均正答率は国語が2.2ポイント、算数が1.4ポイント上回っている。通過率は国語が4.7ポイント、算数が0.7ポイント上回っている。学年別に見ると、2年生は、両教科において平均正答率、通過率とも区平均を下回っており、特に通過率は両教科ともに4ポイント以上下回っている。また、4年生の算数の通過率、5年生の国語の通過率は区平均との差が0.5ポイント程度であるが、下回っている。これらのことから、2年生の国語・算数、4年生の算数、5年生の国語は目標値を下回る児童が多い傾向にある。

また、前学年次と比較して、平均正答率は、5年生の国語で0.4ポイント上がり、4年生の算数は横ばいである。通過率では、3年生の国語が7.6ポイント、5年生の国語が2.4ポイント上がっているが、全体的に伸びが小さい。

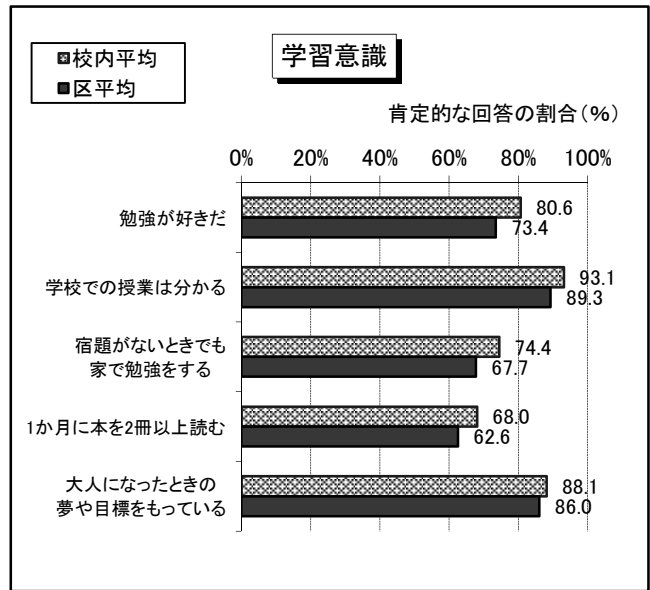
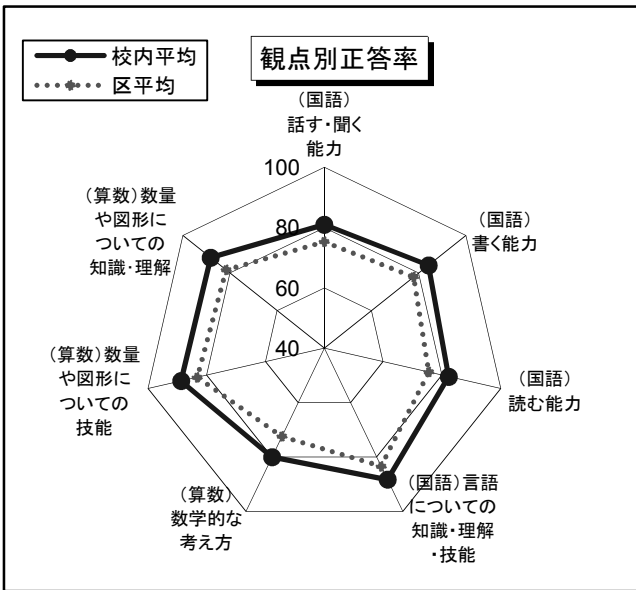
観点別正答率を区平均と比較すると、学校全体としては、国語・算数とも上回っている。特に、国語の「話す・聞く能力」は3.3ポイント、「読む能力」は3.7ポイント上回っている。学年別に見ると、2年生は、「言語についての知識・理解・技能」は0.4ポイント高いが、他の項目はすべて下回っている。3年生は、「言語についての知識・理解・技能」が0.1ポイント下回っているが、他の項目はすべて上回っている。学年によって、課題に特徴があるので、今後の取り組みを工夫して改善していきたい。

学校による学力向上への主な取り組み

今年度の課題を解決し、児童に学習したことを十分に定着させるようにするために、アクションプランの計画のうち、次の点を重視する。

- ①パワーアップタイムでは、教師が児童一人ひとりの定着の課題を把握し、TTで入る教員とも共通理解し、定着を図る。
- ②ショートパワーアップタイムでは、読書した後に感想を書くこと、定着に課題のある児童には、個別指導を十分に行う。また、月に2回程度のミニテストを行い、定着を図る。
- ③家庭学習でも効果が上がるよう家庭に協力を仰ぎ、日々の確認や声かけを行う。
- ④年4回の定着度テストでは、その都度、成果と課題を把握して、長期の休みに復習を行うようにする。国語の読解力・表現力や算数の数学的な思考力・判断力・表現力等を高めるために、小中連携や、活学力推進校の研究を通して、豊かに表現するようなノート指導等を行う。
- ⑤自分の考えを分かりやすく話す力を伸ばし、自分の考えを広げたり深めたりできるように、学び合いの指導法を工夫する。特に、多様な考えを伝え合い、共通点や相違点の意見交換が活発にできるよう、全教科で取り組むようにする。

足立区立東加平小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	93.2	91.8	97.8	97.8	91.9	94.2	96.1	96.1	93.0	87.2	87.1	83.5
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	89.0	91.3	82.8	92.0	94.7	89.3	88.9	95.6	87.8	90.2	92.5	88.1
平均正答率 (H30)	86.3	87.2	94.8	93.9	87.0	88.8	86.6	91.9	85.3	81.3	78.7	79.6
平均正答率 (H29)	86.3	88.5	89.5	92.8	90.3	85.9	83.4	91.4	83.7	86.0	85.9	83.9

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

「学習定着度調査」分析結果

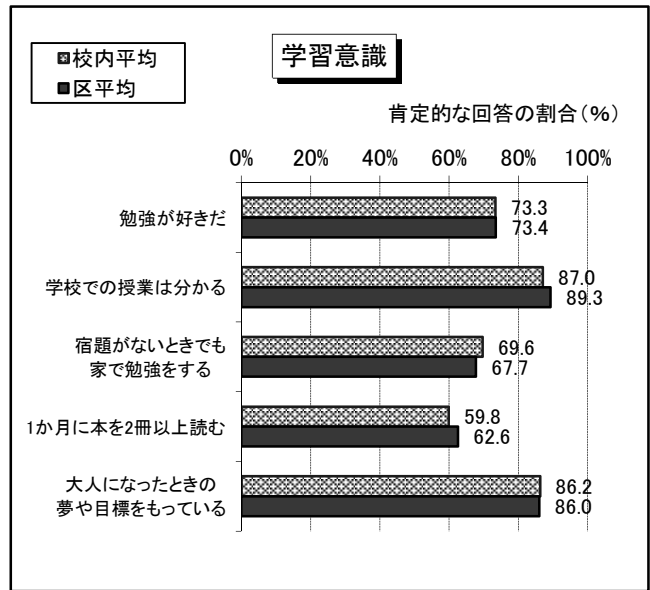
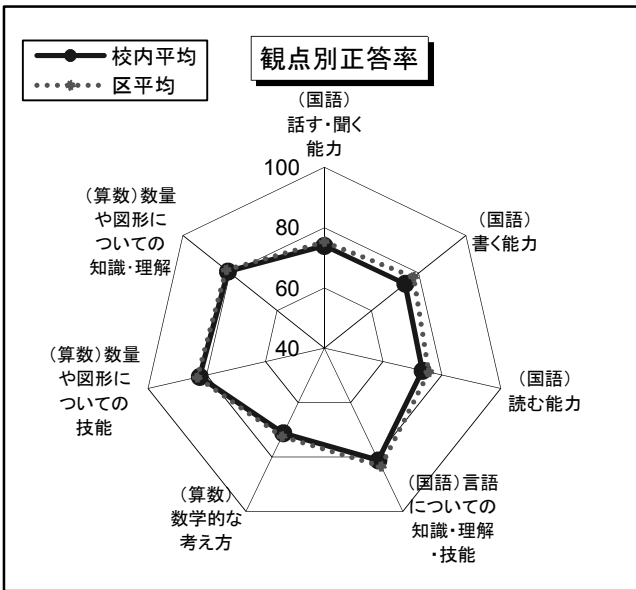
○国語
 目標値の通過率が93.2%となり、昨年度より4.2ポイント向上し、良好な結果となった。観点別に見ても、全観点の正答率が80%を超えており、学習内容が概ね身に付いているといえる。昨年度、課題に挙げた「読む能力」の正答率も82.3%と向上している。さらなる向上を図るため、足立スタンダードに基づいた授業改善、指導者の発問の工夫に取り組んでいく必要がある。

○算数
 目標値の通過率が91.8%となり、昨年度より0.5ポイント向上し、良好な結果となった。観点別に見ても、全観点の正答率が80%を超えており、学習内容が概ね身に付いているといえる。しかし、これらの観点の中では「数学的な考え方」の正答率が比較的低く、問題を筋道立てて考える力や図や表から読み取る力の定着にはまだ課題がある。本校の研究主題である「学び合う力の育成」を基にした授業を行い、「数学的な考え方」が高められる指導に取り組んでいく。

学校による学力向上への主な取り組み

- 個別指導 (指導者 担任+専科+学習ボランティア)
 少人数のグループで学習を行い、既習内容の習熟や区・都・全国の学力調査でつまずきの多い内容、発展的な学習など、習熟度に応じた内容に取り組む。
- パワーアップタイム (指導者 担任)
 木曜日を除く週4日間の昼休み終了後、10分間のパワーアップタイムを設定し、計算や漢字学習などに取り組み、基礎・基本の学習内容の定着を図る。
- 寺子屋タイム (指導者 担任+専科)
 毎週木曜日の放課後に既習内容に関して、習熟、定着していない内容の補習を行う。
- 夏季補充教室 (指導者 管理職1名+担任+専科+学習ボランティア)
 夏休み期間中の10日間に、前年度までの学習内容の補充指導を行う。
- 夏休み学習教室
 夏休み期間中5時間実施。3、4年生を対象に発展的な学習に取り組む。
- コツおはカード
 毎月2週目に生活習慣と家庭学習の内容と時間を家庭で記入してもらい、規則正しい生活と家庭学習の習慣化を促す。学習時間は低学年30分、中学年45分、高学年60分を設定している。

足立区立東洲江小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	72.5	76.1	69.1	69.1	71.3	79.1	84.3	82.4	72.4	70.9	66.4	78.9
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	79.0	77.7	65.3	69.5	93.8	89.4	78.5	85.9	80.6	70.5	77.5	73.0
平均正答率 (H30)	77.7	79.7	82.5	82.7	81.0	82.4	80.7	86.9	75.4	72.1	72.1	76.8
平均正答率 (H29)	82.0	81.3	83.5	84.5	90.5	86.2	78.8	84.7	79.5	75.7	79.9	74.3

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

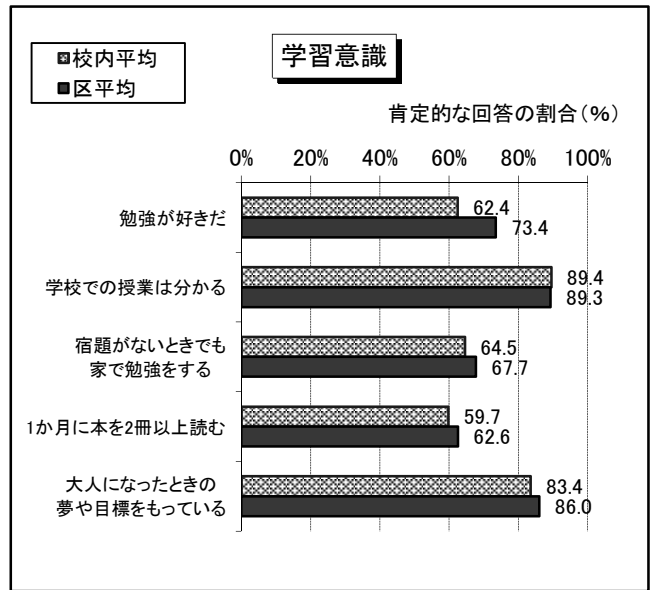
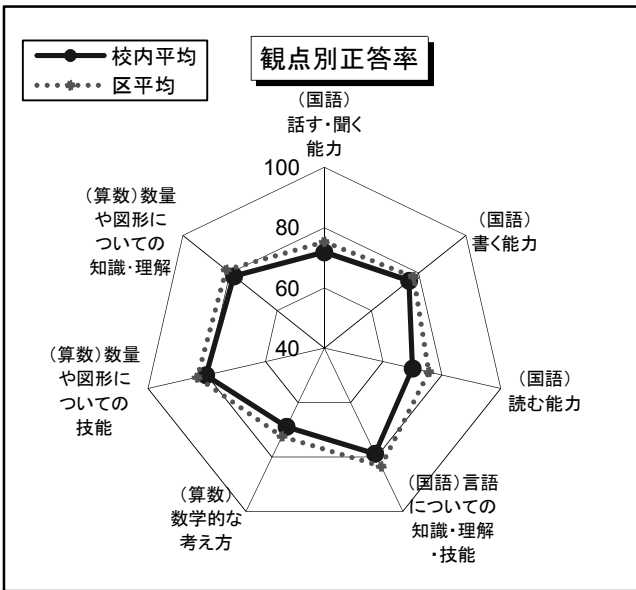
「学習定着度調査」分析結果

- 学校全体の通過率は、国語で前年度比6.5ポイント下降し72.5%、算数で前年度比1.6ポイント下降し76.1%となった。算数が前年度並みで推移したのは、少人数指導や放課後補充教室で正答率60%未満の児童に対する取り組みが下支えとなっているものと考えられる。
- 第2学年の正答率から、国語の「書くこと (95.4%)」の領域では良好な結果が得られたが、「読むこと (67.2%)」の領域に課題がある。算数では「図形 (63.9%)」の領域に課題がある。
- 第3学年は、国語では「話すこと・聞くこと (97.8%)」の領域では良好な結果が得られた。算数では「図形 (77.9%)」の領域に課題がある。
- 第4学年では、国語の通過率は前年度比5.8ポイント上昇した。算数は、通過率は前年度比3.5ポイント下降したが、平均正答率は2.2ポイント上昇した。引き続き、授業・補充教室・そだち指導等できめ細かな指導をしていく。
- 第5学年では、国語の通過率が前年度比8.2ポイント下降した。「書くこと (73.1%)」の領域の定着を強化する必要がある。算数は「活用 (57.9%)」に課題がある。
- 第6学年では、国語の通過率は前年度比11.1ポイント下降した。基礎の定着を徹底する必要がある。算数は前年度比5.9ポイント上昇し、取り組みの成果が表れている。

学校による学力向上への主な取り組み

- 第1、2学年…MIMを最大限に活用し、「読むこと」「書くこと」の基礎的な力の定着を図る。算数では具体物を使って感覚的にとらえさせ、楽しみながら理解の定着を図る。
- 第3、4学年…つまずきのある部分を見極め、放課後や夏休みの学習教室、そだち指導等で分かる喜びを味わわせ、学習意欲・学力の向上につなげる。
- 第5、6学年…短作文に多く取り組み、考えをまとめる力や表現する力を育成する。また漢字や計算練習を反復・継続し、基礎力の定着を図る。
- 全体として…月・木の放課後補充教室、火・水・金のパワーアップタイム、夏休み補充教室のさらなる充実を図る。また、夏季及び冬季休業前の1週間程度、専科教員による九九の補充教室を実施する。
- 校内研究…1年間、講師を招聘し国語 (説明文) の研究に取り組み、全教員で国語指導の充実と学力定着に努める。

足立区立中川小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	68.0	72.7	64.9	79.7	60.0	71.3	69.9	77.4	79.1	67.0	64.4	69.0
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	74.4	73.7	72.0	72.0	72.8	81.5	82.8	82.8	72.5	69.2	70.7	60.0
平均正答率 (H30)	76.2	77.6	82.6	87.9	74.0	76.8	76.2	82.3	78.2	70.8	71.4	70.7
平均正答率 (H29)	79.2	79.4	85.6	85.3	81.6	80.7	76.8	84.4	78.6	74.7	74.4	69.6

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

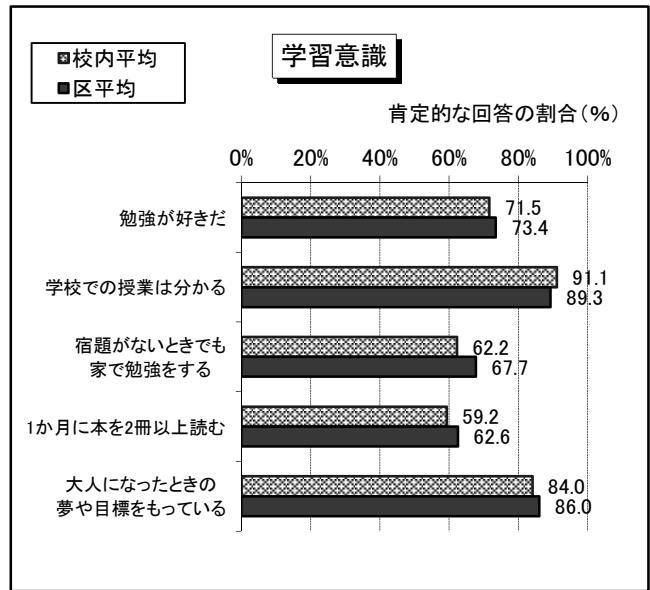
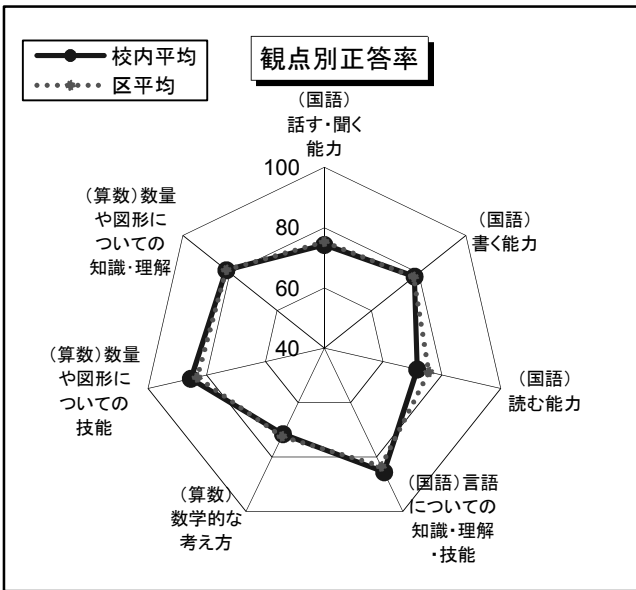
「学習定着度調査」分析結果

- 成果の表れた点
 - <国語>
漢字の書き：目標値と正答率の差を設問ごとに出して平均した数値を同学年の平成29年度と比較すると第4学年以上で上回った。昨年度から語彙を増やすために、第3学年以上で国語辞典を個人持ちにして、教科を超えて年間活用する成果が徐々に表れてきたものと考えられる。
 - <算数>
説明する力：自分の考えを説明するだけでなく、友達を立てた式についてどのように考えたのかを説明することにも取り組んできた成果として、それに関わる問題 (考え方の説明の穴埋め問題も含む) で目標値を上回る設問の割合が、平成28年度60%、平成29年度62%、平成30年度は71% (17問中12問) と上昇している。
- 課題として残る点
 - <国語>
読解力：ここ数年向上してきた読解力 (物語文・説明文) が、頭打ちまたは下降する傾向となった。
 - <算数>
「量と測定」及び「図形」：「時刻と時間」や「立体の面や辺、垂直や平行」などに関する問題において、目標値を5ポイント以上下回るものが増えた。

学校による学力向上への主な取り組み

- 読解力：朝学習や宿題で、読解力に特化したドリルやプリントに取り組む。物語文や説明文を学ぶ際に言葉や文に着目し、それを根拠に考える授業を実践する。
- 量と測定・図形 (立体) の領域の課題について、授業後も、効果の見込めるタイミングで復習していく。朝学習、放課後補習、宿題を効果的に活用し、学習内容の定着を図る。また、立体の学習について具体的な作業を通して学べるように立体の教材の一層の充実を図る。
- 国語辞典の年間活用については、今後も継続し、語彙を増やしていく。
- 説明する力：「教室は間違え所」を合い言葉に、間違いを恐れず発表する、間違いから学ぶ、友達の考えを説明する授業等を推進し、思考力・表現力等を一層育てる。
- 学びに向かう力：「学びはお金」 (学んだことは使える) という意識を、各時間や単元の振り返りの場面で育て、なぜその教科を学ぶのかについて理解させ、知識や技能を他の単元や学習に転移・応用できるものにしていく。そのことにより学ぶ意欲の向上を図る。

足立区立中川北小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	78.6	82.8	69.0	76.1	70.5	76.9	84.2	88.2	80.2	85.4	86.3	86.3
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	84.7	85.8	73.4	82.3	93.1	89.0	76.8	86.7	94.5	92.4	85.1	77.3
平均正答率 (H30)	80.4	81.7	84.3	85.4	78.9	79.6	81.3	88.4	79.5	78.2	79.0	78.0
平均正答率 (H29)	83.3	84.9	85.9	89.1	87.9	85.8	76.2	85.6	86.4	85.3	80.6	77.5

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

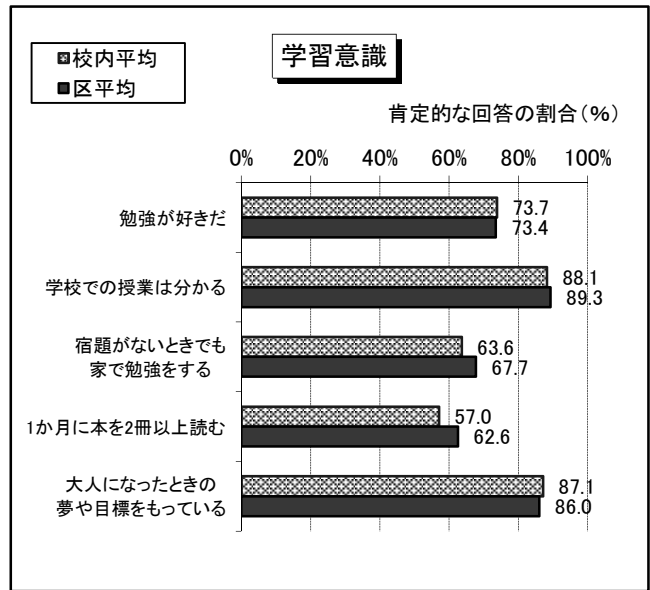
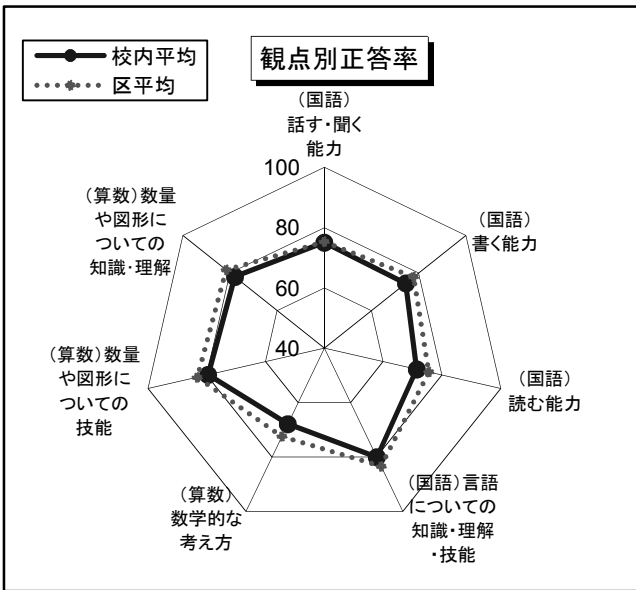
「学習定着度調査」分析結果

- 国語 目標値の通過率が78.6%となり、昨年度より6.1ポイント下落した。特に2年生と3年生の通過率が低かった。観点別正答率では、「話す・聞く能力」「読む能力」の平均正答率が区平均よりも低く、特に「読む能力」は、昨年度よりもさらに下落し、学年別では6年生以外は区平均を下回っている。
- 算数 目標値の通過率が82.8%となり、昨年度より3.0ポイント下落した。特に2年生と3年生の通過率が低かった。観点別正答率では、「数学的な考え方」の平均正答率が区平均よりも低かった。
- 国語・算数ともに2、3年生の底上げが課題であり、なおかつ「読む能力」は他教科でも礎となる力のため、全校で国語力全体の学力を育てる必要がある。
- 学習意識調査では、「学校での授業は分かる」は肯定的な回答が区平均を上回っている。この回答は昨年度より割合が上がった。全教員が授業改善に取り組み続けてきた成果として、児童の学習意欲と自己肯定感が高まったといえる。その他の回答項目では区平均を下回った。ただし経年変化で考察すると、「宿題がないときでも家で勉強をする」「1か月に本を2冊以上読む」は、0.9~1.6ポイント上昇し、昨年度の児童の学習意識調査結果を受け、全校で取り組んだ施策の結果が徐々に表出してきたといえる。

学校による学力向上への主な取り組み

- 本年度も継続して読書を励行する。朝の読書タイムでは、率先して教師も読書に励む。長期休業中は図書室を開館し本の貸し出しや読書ができることを児童や保護者に周知する。今年度は読書活動をより促進するために足立区の読書通帳を用いて、年間を通して学校でも家庭でも読書ができるようにする。読書の記録をつけることで、読了にも挑戦させてがんばった児童たちを全校朝会で紹介する。
- 新たに本年度は、全校で区学力調査問題の見直し学習日を設定する。SP表誤答分析シートから学年学級の苦手問題を分析して取り組む。把握した苦手領域を重点的に学習する時間を9月の第1週に3日間設ける。国語の見直し学習の漢字や言語事項は、東京ベシック・ドリルを活用し、長文の読解は市販のプリント集を活用する。また算数では、学力調査の算数の成績を参考にして習熟度別クラスを編成して、学習内容を少人数算数担当と詰めて実施する。3日間で重点的に取り組むが今後も当該学年の既習事項の振り返りとして1月から3月までの期間に見直し学習日を実施して定着させていく。
- 全教職員で共通理解しながらパワーアップタイムや放課後補習教室を指導する。特に放課後補習教室では、全学級で学習の遅れがちな児童や家庭学習が様々な理由でできない児童だけではなく、学習に進んで取り組みたい児童も対象にしながら指導する。

足立区立辰沼小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率(H30)	70.4	72.3	74.1	75.3	73.3	73.3	69.7	80.5	75.9	69.9	56.7	61.2
目標値(H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率(H29)	80.5	75.7	83.1	73.2	91.0	92.3	77.1	81.9	73.1	67.2	76.7	57.6
平均正答率(H30)	77.4	77.7	84.5	86.0	78.9	79.2	76.0	82.7	77.8	72.1	69.9	65.9
平均正答率(H29)	81.4	80.2	87.1	84.9	89.1	84.9	77.3	85.3	75.9	72.4	78.6	68.8

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

「学習定着度調査」分析結果

国語、算数ともに学校全体の通過率は70%を超えた。平均正答率もともに70%を超えた。

【国語】
 観点別正答率では、4観点ともに区平均は若干下回ったものの、ほぼ同程度である。低学年では「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」に課題が見られ、高学年では「書く能力」にも課題が見られる。

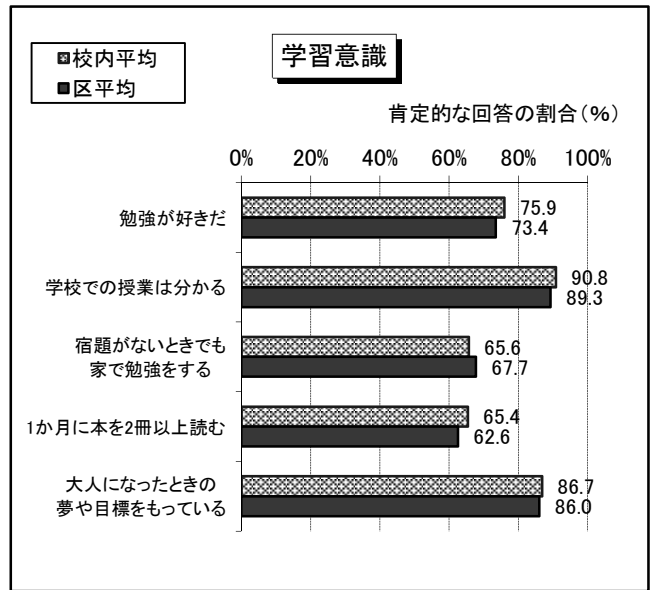
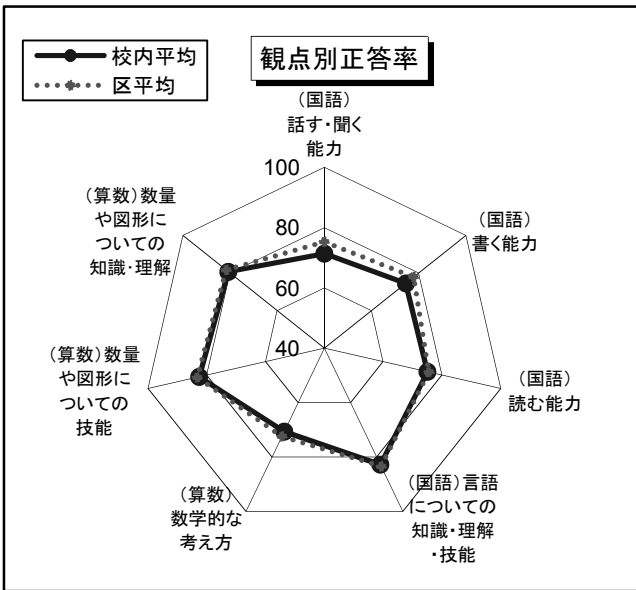
【算数】
 観点別正答率では、3観点ともに区平均を若干下回っている。「数学的な考え方」の項目が区平均と差があり、課題である。昨年度と比較すると、【2年】【5年】【6年】で通過率が上昇している。

【意識調査】
 「勉強が好きだ」「大人になったときの夢や目標をもっている」の項目は区平均を上回っている。「学校での授業は分かる」は区平均と比べるとわずかに下回っているが、昨年度と比べるとわずかに上昇している。「宿題がないときでも家で勉強をする」「1か月に本を2冊以上読む」は区平均を大きく下回っている。家庭学習や読書の習慣を身に付けさせる具体的な改善策を講じる必要がある。

学校による学力向上への主な取り組み

- 朝学習(パワーアップタイム)・・・前年度のポートフォリオや区学力調査の結果を基に、前年度児童が苦手とした学習内容の確認・復習を行う。本校児童が苦手とする読解プリントにも取り組ませる。金曜日は読書タイムとし、読書の機会を設ける。月に数回担任やボランティアによる読み聞かせを行い、多様な本への興味を高める。
- 「放課後補習教室[辰沼塾]」「サマースクール(夏期学習教室)」・・・区学力調査で目標値未到達の児童を対象に、つまずきをさかのぼり、習熟度別少人数授業もしくは個別指導を行う。
- 「家庭学習のすすめ」「自主学習展」・・・より確かな学力を身に付けるために家庭学習を啓発する。手引きを発行したり、ノートを掲示し、ノートづくりの参考にできるようにする。
- 漢字・計算コンテスト・・・既習の漢字や四則計算の定着を目指す。全児童が正答率90%以上の結果を出せるように繰り返し指導する。
- 校内研究・小中連携・・・「足立スタンダード」に基づいた授業研究・授業改善を行うことで教員一人ひとりの指導力の向上を図る。

足立区立中川東小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率(H30)	77.3	79.6	76.9	82.1	82.7	83.0	77.1	89.6	81.1	73.6	67.4	70.2
目標値(H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率(H29)	78.8	77.1	71.2	86.5	89.4	89.4	80.4	80.4	73.9	63.0	79.6	65.3
平均正答率(H30)	78.9	79.9	84.5	87.7	83.2	84.1	78.7	88.0	78.1	71.2	71.9	69.8
平均正答率(H29)	80.9	82.3	86.7	89.7	87.2	88.6	77.2	84.3	77.4	74.7	77.7	72.0

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

「学習定着度調査」分析結果

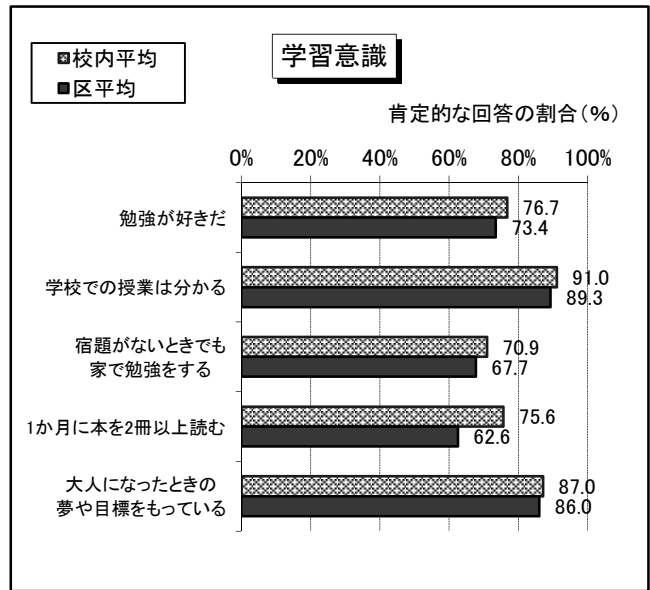
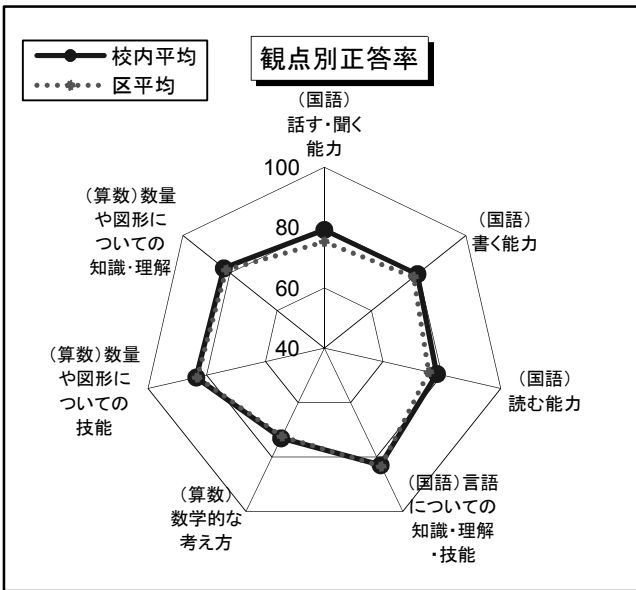
【国語】平均正答率を見ると、全学年が目標値を上回っている。同一集団の経年変化を見ると、通過率が昨年度より向上しているのが3、5年生である。これは、SP表等の分析を行い、児童一人ひとりに合った課題を設定し、それを克服した結果と考えることができる。また、同一学年の昨年度と今年度の通過率を比較すると、2、5年生が昨年度の結果より今年度の結果の方が向上している。これは、教材分析を日常から熱心に行い、各学年において身に付けるべき力を共通理解した結果であると考えられる。通過率が75%を超えているのが、2～5年生である。日々の授業内容をきちんと積み上げた結果であるといえる。

【算数】平均正答率を見ると、全学年が目標値を上回っている。同一学年の昨年度と今年度の通過率を比較すると、4～6年生で向上している。習熟度別指導において、身に付けるべき力をきめ細かく児童一人ひとりに適した方法で指導した結果であるといえる。また、観点別正答率を見ると、「数学的な考え方」が特に区平均を下回っていることが分かる。今後、日々の授業実践の中で、線分図、アレイ図等を活用しながら、立式の根拠等を発表する場面を設けていく。また、授業内で本校の研究主題「めざそう主体的・対話的で深い学び」の実践を通して、「数学的な考え方」の力を向上させていく。

学校による学力向上への主な取り組み

- ①パワーアップタイム(東京ベシック・ドリル等の活用)
 - ・実施日：毎週火・木・金曜日の朝15分間(火…漢字・文法、木…計算等、金…読書)
- ②花丸教室
 - ・実施日・対象：毎週火・木曜日の放課後に全学年で一斉実施、各学級で8名程度
 - ・内容：国語…説明文と物語文の読解、文法等 算数…既習事項の復習
- ③サマースクール(夏季補習教室)
 - ・実施日：7月23日～31日、8月29日～31日(各学年60分間・土日を除く10日間)
- ④教員の授業力向上・小中連携
 - ・OJTや校内研究による若手教員の授業力向上を目指す。
 - ・足立スタンダードによる各教科の授業を実践し、学力向上に向けた授業改善に取り組む。
- ⑤家庭との連携
 - 全学年で家庭学習カードに毎月取り組み、全児童が宿題・自主学習に取り組む。

足立区立北三谷小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率(H30)	82.1	80.8	86.5	86.5	75.8	72.7	86.4	89.8	80.0	74.0	80.7	77.2
目標値(H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率(H29)	83.8	77.7	72.1	66.2	90.9	92.0	83.7	77.6	87.7	82.5	83.3	66.7
平均正答率(H30)	81.8	82.3	88.3	88.9	81.3	79.8	82.4	88.3	80.3	74.9	77.6	75.4
平均正答率(H29)	84.3	82.4	85.8	84.9	90.2	86.3	78.8	84.7	83.3	81.3	80.8	73.1

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

「学習定着度調査」分析結果

【国語】通過率は1.7ポイント、平均正答率は2.5ポイント、昨年度を下回った。しかし、観点別正答率では本年度は「話す・聞く能力」で4.0ポイント、「書く能力」で1.5ポイント、「読む能力」で2.8ポイント、区平均を上回っている。一方「言語についての知識・理解・技能」は区平均を0.4ポイント下回った。確実な定着を図っていく。

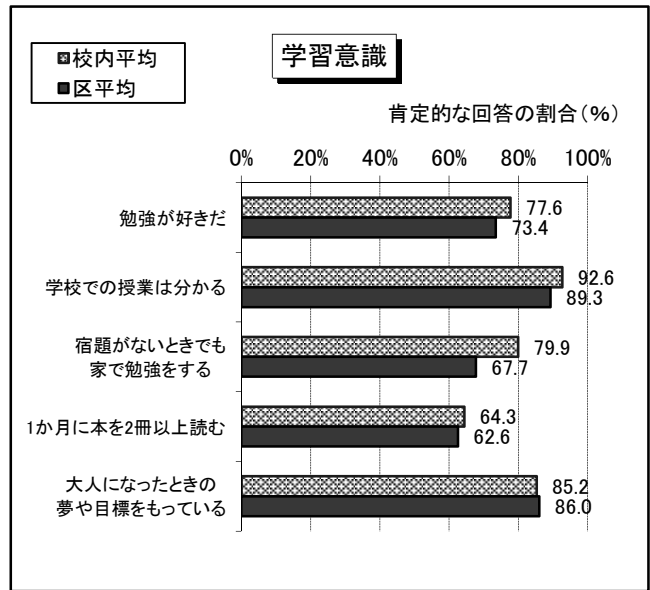
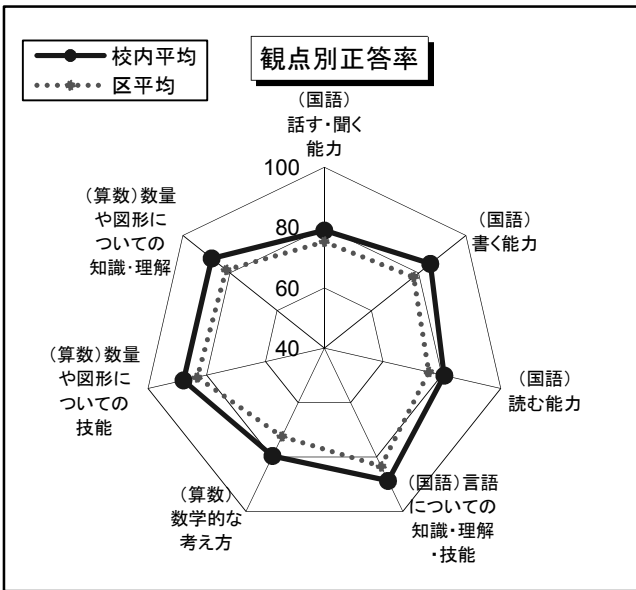
【算数】通過率は昨年度より3.1ポイント上昇し、初めて80%を超えた。平均正答率は昨年度を0.1ポイント下回ったが、観点別正答率では3項目とも区平均を上回った。授業での指導の個別化・多層化を一層推進するとともに、既習事項の定着が不十分な児童のフォローアップを徹底していく。

【学習意識】5項目とも区平均を上回った。しかし、「勉強が好きだ」「1か月に本を2冊以上読む」「大人になったときの夢や目標をもっている」と回答した児童の校内平均がそれぞれ昨年度を1.7ポイント、1.8ポイント、0.9ポイント上回った一方で、「学校での授業は分かる」では1.2ポイント、「宿題がないときでも家で勉強をする」では6.1ポイントも昨年度を下回った。授業改善と家庭学習の啓発の一層の徹底を図っていく。

学校による学力向上への主な取り組み

- パワーアップタイム(週3回朝15分間)を計画的に実施する(国語:漢字・作文・読解・音読、算数:計算)。
- 「北三谷スタンダード」に基づく授業の共通実践を徹底する。
- 各学力調査等の結果を分析し、学習集団の全体的な傾向や児童個々の状況の把握に努め、定着の十分でない学習内容を明確にする。
- 各教科の単元テストの達成状況について「学習個人カルテ」を作成し、それに基づき、振り返り教材等を活用した指導を行う。
- 「土曜授業により生じた時間」「放課後補習」などを活用して、個に応じた指導の充実を図る。
- 第3、4学年では、「そだち指導」を効果的に活用するなど、個に応じた指導を徹底し、つまずきの改善を図る。
- 第1、2学年では、多層指導モデル(MIM)に基づく特殊音節の指導とアセスメントの確実な実施を通して、「流暢な読み」の確実な定着を図る。
- 年間3回、家庭学習強化週間を設定するなど、家庭と連携を図りながら家庭学習の習慣化を図る。
- 個人面談期間の放課後を活用して、専科教員が補習を行う。

足立区立大谷田小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	90.0	91.9	86.0	95.3	96.1	98.0	88.6	93.3	91.7	75.7	87.2	93.6
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	93.1	95.4	96.2	94.2	97.7	100.0	91.9	100.0	87.8	95.9	91.7	86.1
平均正答率 (H30)	85.6	87.2	90.9	91.9	88.0	92.4	84.5	89.5	85.9	76.6	80.1	82.9
平均正答率 (H29)	88.8	89.8	93.4	92.2	91.6	89.7	88.0	93.9	85.5	87.5	85.9	84.8

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

「学習定着度調査」分析結果

観点別正答率の全項目において区平均を上回り、国語・算数ともに基礎は概ね定着している。日々の授業や補充学習への真剣な取り組み、家庭での学習習慣の定着に支えられている。

①国語

- 平均正答率は、全学年で80%を超えている。
- 初見の文章で大切な言葉を読み落とす傾向がある。特に説明文を読む機会を増やす必要がある。
- 出題の意図に正対し、自分の言葉や適切な表現で文章を書くことが苦手な傾向がある。
- 複数の記述を基にして自分の考えをまとめる力を養うことが課題である。
- 日常的に辞書を使う習慣を付けるなど、語彙を増やす取り組みを全校で展開する必要がある。

②算数

- 平均正答率は、5年生を除いて80%を超えている。
- 数学的な思考力及び表現力が低い傾向が見られる。発表ボードを活用して、根拠や理由を明確にして行う話し合いや発表の場を増やす。
- 5年生の通過率を、昨年度より約20ポイントも下げた。早急に授業改善が必要である。

学校による学力向上への主な取り組み

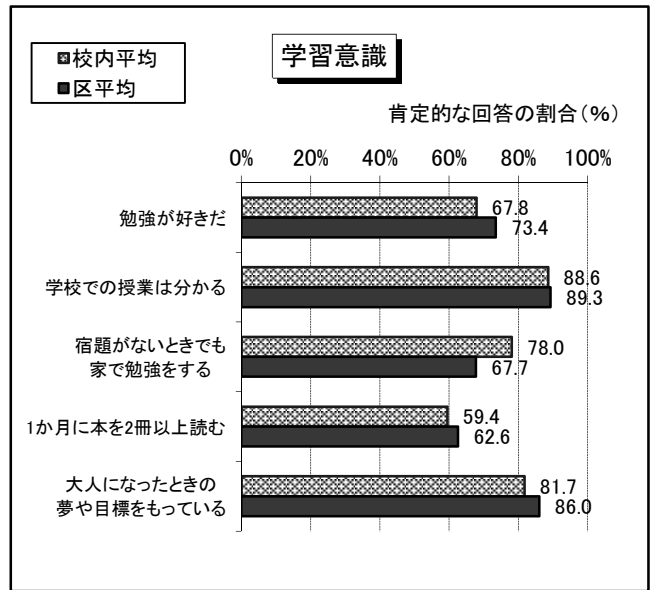
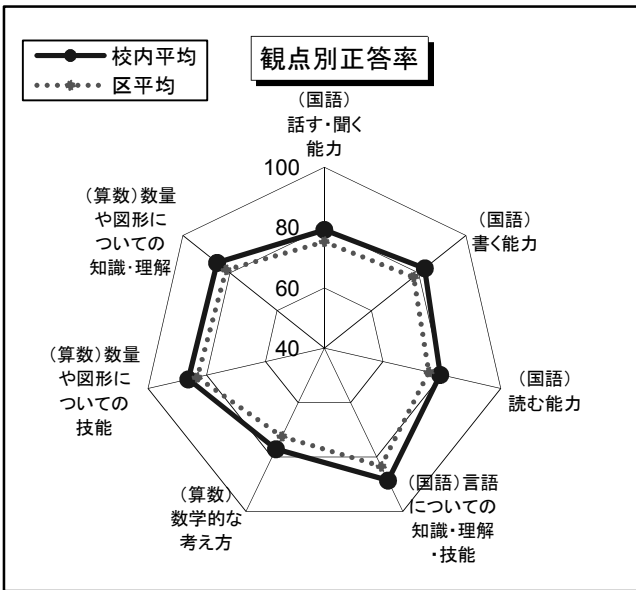
①国語

- 全教科で言語活動 (自分の言葉で書ききる、話し合う等) を明確にした授業の展開を図る。
- 読書指導では、ただ読ませるだけでなく、ブックトークなど児童が本の楽しさを自分の言葉で発信する機会や、文献を活用して学びを深める発展的な調べ学習の指導を進める。
- 言語事項については、未定着な内容に焦点を当てたドリルタイムを週3回実施し、繰り返すことで確実な定着を図る。

②算数

- 基礎的な処理、技能の習熟は引き続き大事に行う。
- 習熟度別指導の発展コースにおいては、教科書に終始せず、学習したことを活用する学習場面や複合的な処理判断を要する問題に取り組む。
- 根拠や理由を明確にして自分の考えを表現できるよう、ノート指導と言語活動を大切にする。
- 5年生の算数は補充学習体制の見直しを図り、週2回の補習に専科教員を配置し、未定着の内容を確実に理解させる。

足立区立長門小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	85.8	83.9	86.8	89.5	86.8	86.8	89.5	93.0	88.9	79.6	79.1	74.6
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	91.5	87.5	83.3	83.3	98.2	100.0	96.2	90.6	84.8	80.3	94.4	83.3
平均正答率 (H30)	83.9	83.9	90.4	89.9	88.2	86.1	85.5	90.3	84.2	78.8	77.1	77.5
平均正答率 (H29)	87.8	87.0	90.1	91.3	93.7	90.7	87.5	90.9	84.3	82.0	85.7	81.5

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

「学習定着度調査」分析結果

①国語・算数 ○観点別正答率を分析すると、両教科とも目標値を十分に達成している。
 ●基礎・活用の平均正答率を分析すると、思考・判断力、表現力の活用力ともに高学年において課題が見られる。

②国語 ○各学年の平均正答率は、目標値に対して、約10ポイント以上高い成果を残している。
 ●全体として観点別「読む能力」の正答率が他の観点に比べて低く、高学年は活用が低い。

③算数 ○各学年の平均正答率は、目標値に対して、約10ポイント以上高い成果を残している。
 ●高学年の「算数への関心・意欲・態度」が低くなっている。また、活用力における「表現力」は高学年で正答率40%未満である。

④学習意識 ○「宿題がないときでも家で勉強をする」は区平均より10ポイント以上高く、高学年ほどその傾向がある。
 ●「1か月に本を2冊以上読む」習慣が区平均よりも3.2ポイント低い。
 ●「自分にはよいところがある」と肯定的に思っている割合は、全体の約70%である。

学校による学力向上への主な取り組み

①言語力向上を目指して ◆朝読書タイム 毎週火・木・金(土) 8:20-8:35 ◆全教員による読み聞かせの定期的実施 ◆言語環境づくり：廊下・トイレに詩、百人一首、ことわざ・四字熟語などの掲示

②3年生以上担任交換授業 ◆社会科/理科での教師の専門性を生かした、充実した授業実践

③国語科研究授業 ◆活用力推進校としての実践 ◆伝え合い・学び合うことのできる児童の育成～話すこと・聞くことの指導を通して～ 学んだコミュニケーション力の様々な場面での積極的活用

④組織的補充学習教室 ◆朝読書、パワーアップタイム、給食前などの隙間の時間、放課後、1～3年生の6時間目が無い枠を活用 ◆担任・専科・管理職で担当し、計画的・継続的な指導の実現

⑤漢字・計算コンテスト ◆6、12、3月実施 ◆個人・学級の表彰 ◆「コンテストへの道」だより発行

⑥サマースクール ◆夏季休業中10日間(全学年対象) あだち学習教室5日間(2～5年対象)

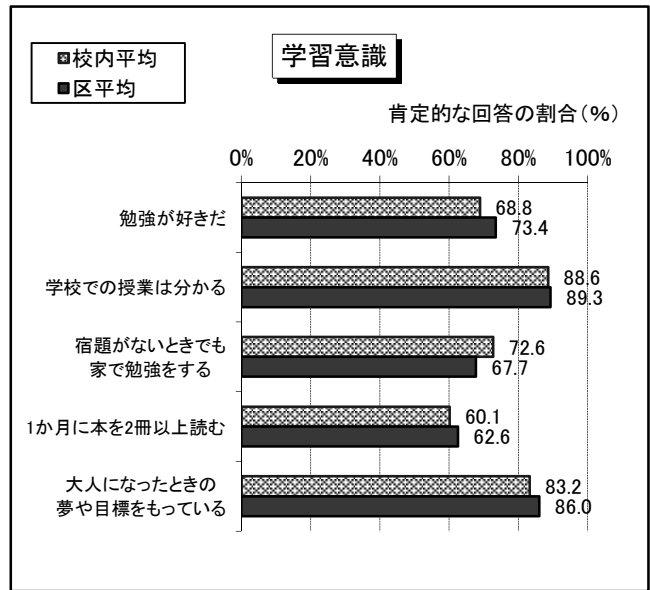
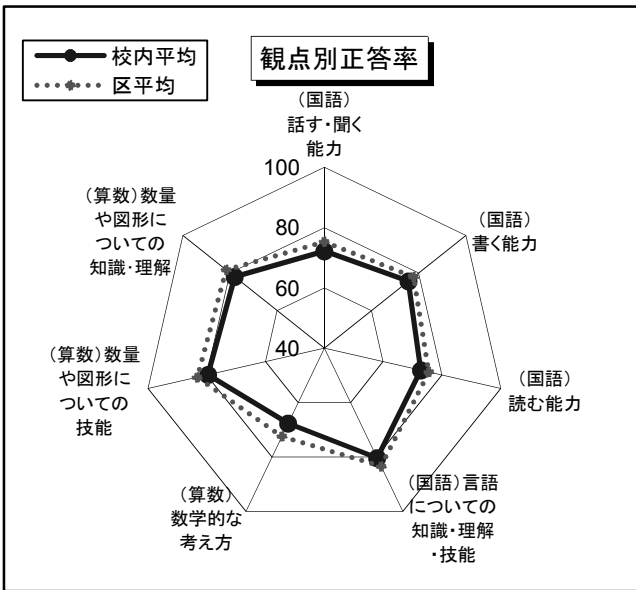
⑦パワーアップタイム ◆毎週火・木・金13:30～13:45 ◆基礎・基本の習熟度別課題学習の実施

⑧全校授業 ◆5/9、7/18、9/12、12/19実施 ◆言語力・数量感覚的な問題 ◆縦割りによる学び合い学習

⑨1年生からの少人数算数指導の実施 ◆1年生4時間、2年生5時間 ◆2学級3分割習熟度別指導

⑩音声学習 ◆昼の放送を利用し、様々な言語(日本語・英語)に慣れ親しみ日常化を図る

足立区立花畑小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	71.6	72.0	75.4	74.6	83.1	88.1	67.9	73.2	72.4	71.2	60.6	55.2
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	80.6	73.9	83.3	86.7	75.4	71.9	81.7	81.7	80.6	61.2	81.8	69.1
平均正答率 (H30)	77.3	77.1	85.3	85.0	83.1	83.4	75.3	81.0	76.5	71.5	69.5	65.6
平均正答率 (H29)	80.8	79.3	88.6	89.7	78.2	76.9	80.2	84.8	79.1	70.3	79.2	73.9

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

「学習定着度調査」分析結果

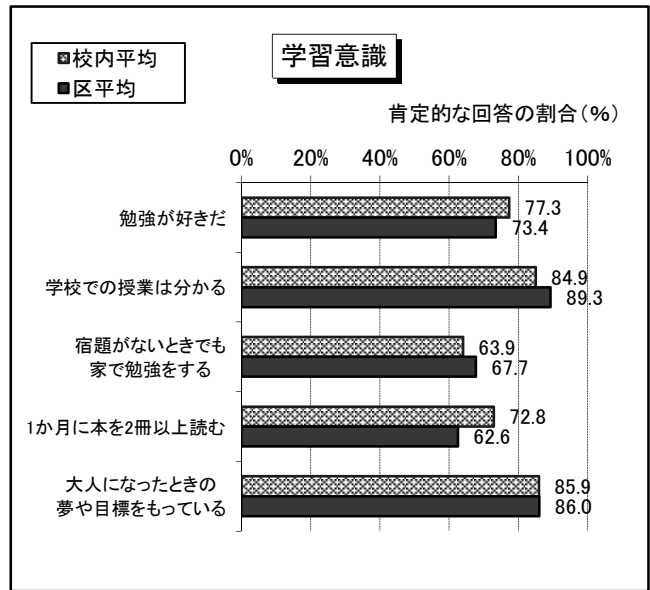
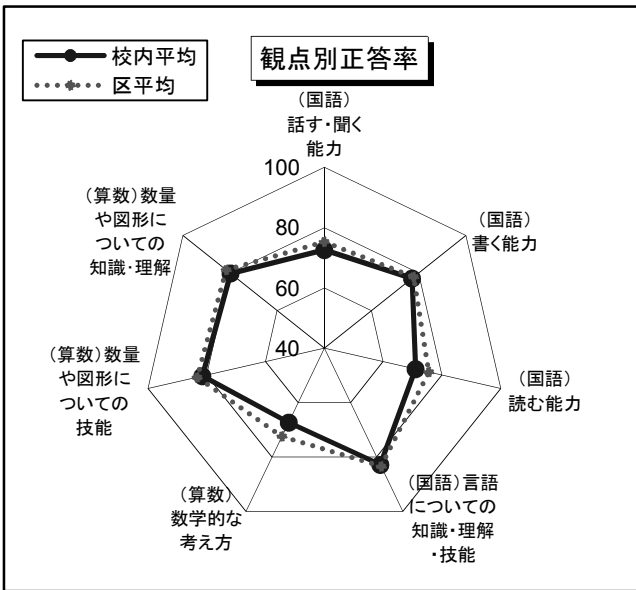
観点別正答率を見ると、国語「言語についての知識・理解・技能」と算数「数量や図形についての技能」が80%前後となった。これは朝や放課後の補充学習で、漢字や計算の練習に繰り返し取り組ませたり丸付けボランティアの協力による課題の即時返却・解説を行ったりした成果であると考えられる。一方、国語「話す・聞く能力」「読む能力」、算数「数学的な考え方」は80%を大幅に下回る結果となった。また、各学年の通過率を前学年時と比較すると、高学年ほど国語・算数ともに大幅に低下している。これは、4年生の学習内容に多くのつまづきを抱えているといえる。既習事項の活用、根拠の明確化により、説明する学習を行う必要がある。また、「足立スタンダード」は定着しつつあるが、個別学習やグループ交流等を通して自分や周りの考えを深めさせる授業を行う必要がある。

学習意識は「大人になったときの夢や目標をもっている」の項目で肯定的な回答の割合が昨年度より向上した。しかし「勉強が好きだ」「1か月に本を2冊以上読む」の項目は昨年度より低下し、区平均を下回った。学習への動機付けや達成感を味わわせる授業展開の工夫が必要である。また、読書習慣を身に付け文章に慣れさせることで、言語による的確な表現を身に付けさせるよう指導していきたい。

学校による学力向上への主な取り組み

- 【朝学習】校内漢字検定→家庭学習で取り組み、練習の成果を逐一評価する。さかのぼり学習→つまづきのある単元の問題を東京ベシック・ドリルから抜粋し取り組む。さらに、丸付けボランティアによる採点をし、即時返却・解説を行う。
- 【放課後・長期休業補充学習】各種テストの結果から個々のつまづきに対応する。
- 【自由学習教室】放課後と土曜授業後、長期休業中に自主学習を行う教室を開放する。
- 【読書の時間】毎週月曜日の朝学習で読書や保護者ボランティアによる読み聞かせを行う。
- 【ニュース見つけた】新聞から興味のある記事を選び、内容と自分の考えをまとめる。
- 【天声人語(6年)】天声人語を視写し、見出し・要約・感想をまとめる。
- 【家庭学習】小中連携で作成した「家庭学習の手引き」を基に10分×学年の家庭学習を行う。
- 【校内研究】「基礎・基本の定着を図る授業づくり」をテーマに教員全員が足立スタンダードを確実に身に付けた授業づくり・授業改善について研究し、研究授業として実施する。
- 【区調査後の分析】自校採点后、各学年で児童のつまづき分析をし指導課題を5月中旬までにまとめる。それを基に朝学習と補充学習で取り組む問題を作成し、個別指導を行う。

足立区立花畑第一小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	73.1	74.1	74.2	75.8	72.4	71.9	67.3	77.4	85.2	71.7	66.0	73.6
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	78.4	79.3	64.7	63.5	74.1	87.0	86.5	86.8	81.5	77.8	84.9	81.1
平均正答率 (H30)	78.9	79.3	83.9	84.8	77.6	78.4	75.2	84.2	82.6	72.4	74.6	74.6
平均正答率 (H29)	82.6	82.9	83.8	83.0	83.7	82.5	82.1	88.0	80.6	81.7	83.0	79.3

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

「学習定着度調査」分析結果

【国語】昨年度比で通過率は5.3ポイント、平均正答率は3.7ポイント低下した。通過率は5年生が区平均を6.8ポイント上回っているほかは、区平均を下回り、3、4、6年生は区平均を8.9～10.4ポイント下回っている。領域別では、「読むこと」(2～4、6年生)、「話すこと・聞くこと」(2～4年)に課題が顕著である。文章を正確に読み、内容を理解する力を育てなければならない。

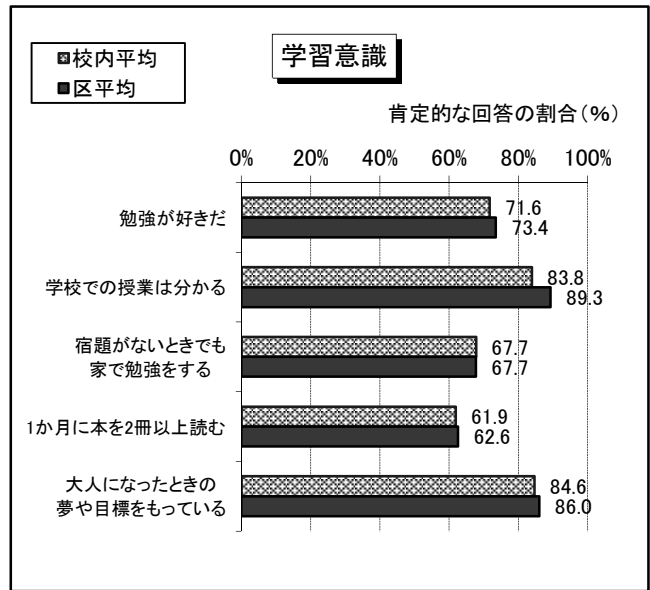
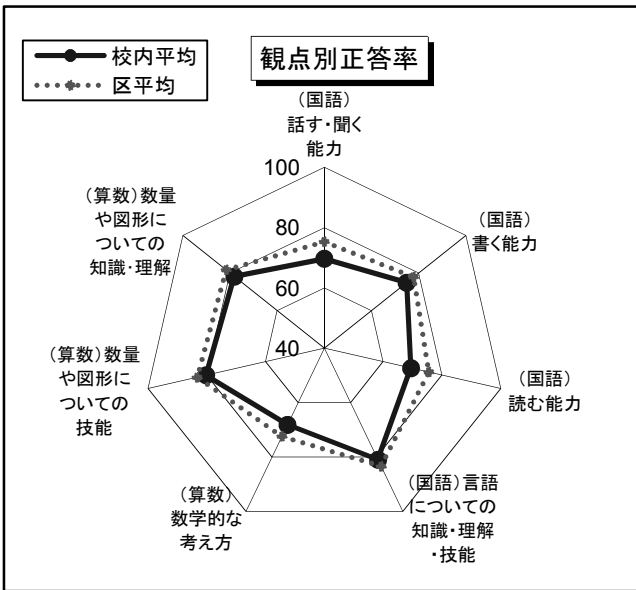
【算数】昨年度比で通過率は5.2ポイント、平均正答率は3.6ポイント低下した。通過率は5年生を除く各学年が、区平均を下回り、特に2～4年生は区平均を6.2～10.9ポイント下回っている。領域別では「図形」(2、3、6年)、「数量関係」(4、6年)、観点別では「数学的な考え方」(2～4、6年)、「数量や図形についての技能」(2、3年)に課題がある。「問題文を正確に読み問題場面を把握すること」や「学習したことを自ら言語化すること」が必要である。

【学習意識】「学校での授業は分かる」は、区平均より4.4ポイント低い。「分かる授業」に向けた授業改善及び、教員の授業力向上を図らなければならない。また、「宿題がないときでも家で勉強をする」は、区平均に比べ3.8ポイント低く、児童の家庭学習習慣の定着に向けて指導をしていかなければならない。

学校による学力向上への主な取り組み

- 区学力調査や国語・算数の単元テストの結果をSP表で分析し、課題のある学習内容、児童を絞り込む。補習計画を作成し、計画的に補習・補充学習を実施する。
- ・単元の学習の習熟が十分でない児童に専科教員などを交えた全職員で、補習計画に基づき放課後補充教室(週4回30分ずつ)を行う。
- ・専科教員と管理職が中心となり、定着が不十分な内容について個人面談期間に補充学習を行う。
- ・区学力調査で目標値未通過児童に「サマースクール」を開設し、焦点を絞って補習をする。定着が不十分な児童には、「学習室」を開設し、宿題等の指導をするなど長期休業期間中の補習を行う。
- ・授業開始前にパワーアップタイム(週3回15分ずつ)を設定し、基礎的・基本的な問題を繰り返して学習し定着を図る。また、学習への構えをつくる。
- ・毎週水曜5校時にステップアップタイムを設定し、全校で国語・算数の現学年及び前学年の定着が十分でない内容について学習を行う。
- 若手教員等に学力定着指導員による授業観察・指導を行い、足立スタンダードに則った授業実践を進める。

足立区立花畑西小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	68.7	72.4	57.4	48.1	82.1	85.7	67.2	88.1	72.4	65.5	63.2	73.9
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	75.4	74.9	77.6	86.2	86.6	88.1	65.9	73.6	79.4	63.2	71.0	64.5
平均正答率 (H30)	76.1	77.0	80.8	75.1	83.1	85.3	75.0	86.4	74.3	70.3	71.2	71.1
平均正答率 (H29)	78.1	79.5	86.3	87.1	85.1	84.6	70.5	81.1	78.2	73.7	75.8	69.6

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

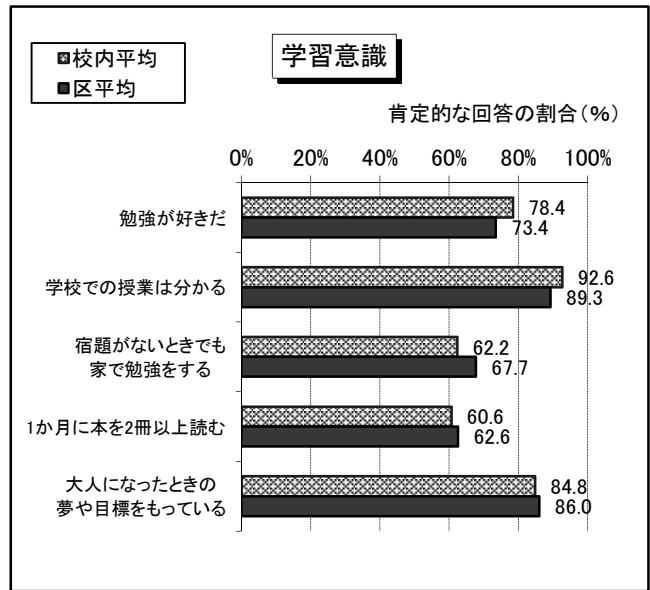
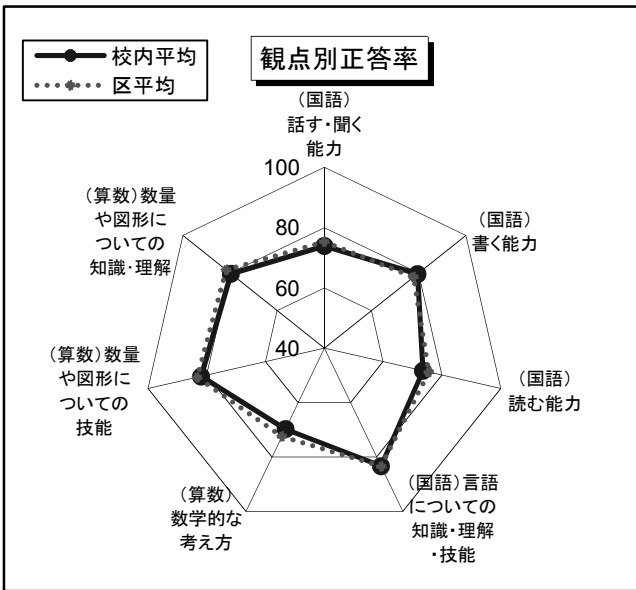
「学習定着度調査」分析結果

- 区平均との差についての分析
 - ・国語、算数の観点別正答率では、すべての項目で区平均を2.4～6.0ポイント下回った。
- 自校の課題となる点・伸ばしていきたい点
 - ・算数では、「数学的な考え方」に課題がある。特に、「与えられた情報から読み取ったことを基に説明すること」に課題があるので、正確に問題文を読み取らせ、問題に正対する答えを書けるように指導する。国語では、「話す・聞く能力」「読む能力」に課題がある。「話す・聞く能力」において、低・中学年では、「大事なことを落とさないように聞き取ること」、高学年では、「相手の発言内容についての質問をすること」に課題があるので、目的をもって聞き取るように指導する。「読む能力」では、「文章の内容を的確に読み取ること」に課題があるため、的確に教科書等の内容を読み取らせる。
- 昨年度からの取り組みの成果が表れた点
 - ・全学年において、国語・算数の平均正答率が70%を上回った。特に、第4学年の平均正答率が前年度と比較して、国語・算数ともに約5ポイント向上した。

学校による学力向上への主な取り組み

- 授業改善と授業力向上
 - ・児童が分かる授業を展開するために、日々の教材研究に努める。管理職、学力定着推進委員、学習支援員等が課題について共有し、具体的な手立てを考え、実施する。
 - ・基本的な学習事項を定着させるために、主体的・対話的で深い学びの研修を充実させ児童の学力の向上を目指す。
- つまずきの早期把握と対応
 - ・習熟度に応じた立ち戻りを強化する。日々の授業において、定着が図られていない児童を把握し、その日の放課後に10分程度補習をし、次の授業に意欲を高めるようにする。また、区学力調査を分析し、前年度の既習事項については、7月までに定着を図る。マスタータイムや放課後の取り出し指導を徹底する。算数の発展学習の場を設定する。
- 家庭学習の充実と徹底
 - ・習熟度に応じた課題を学年で設定し確実に実施する。

足立区立桜花小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(H30)	75.5	73.4	78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率(H30)	75.5	73.4	70.0	78.3	75.0	68.3	74.2	80.6	85.4	72.9	75.0	66.1
目標値(H29)	77.0	77.2	78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率(H29)	77.0	77.2	67.2	67.2	75.7	77.1	78.4	80.4	81.4	81.4	83.9	81.0
平均正答率(H30)	80.1	79.7	84.5	87.3	80.0	76.6	79.7	85.7	82.6	75.3	74.6	71.3
平均正答率(H29)	80.5	82.2	84.5	84.1	81.0	79.6	78.2	87.4	79.4	80.7	79.6	79.9

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)]の平均値

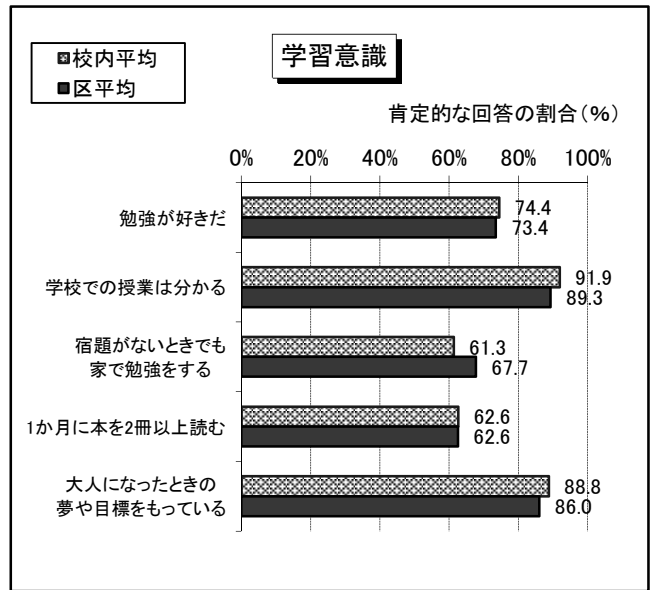
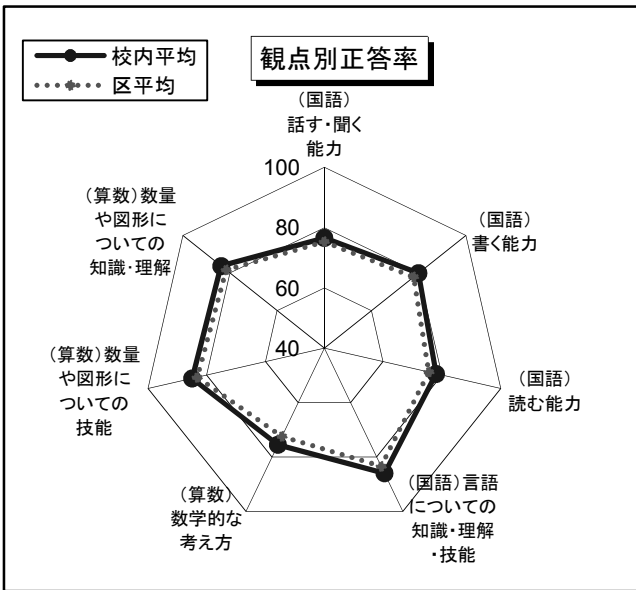
「学習定着度調査」分析結果

- 学校全体の通過率は、対前年度比で国語は1.5ポイント、算数は3.8ポイント下回った。
- 学校全体の平均正答率は、対前年度比で国語は0.4ポイント、算数は2.5ポイント下回った。
- 観点別正答率の状況を区平均と比較すると、国語の「書く能力」が上回っているほかは、ほぼ区平均と同程度と思われる状況である。特に国語の「読む能力」、算数の「数学的な考え方」においては、前年度同様、区平均を若干下回り、かつ平均正答率も低く、本校の課題といえる。
- 学年別の課題として、第3学年の算数で平均正答率は76.6%、通過率は68.3%、第6学年の算数で平均正答率は71.3%、通過率は66.1%となり、それぞれ平均正答率では7割を超えるが、通過率では7割を下回っている。以上のことから、第3学年と第6学年の算数においては、潜在的に目標値を通過できる児童が多いという点を踏まえ、指導の工夫を図っていく必要がある。
- 学習意識調査においては、「勉強が好きだ」「学校での授業は分かる」が区平均を上回っている。一方、「宿題がないときでも家で勉強をする」は5.5ポイント、「1か月に本を2冊以上読む」は2.0ポイント、「大人になったときの夢や目標をもっている」は1.2ポイント、それぞれ区平均を下回っていることから、学校以外での学習習慣や読書習慣をどう定着させていくかが今後の課題である。

学校による学力向上への主な取り組み

- 「読む能力」「数学的な考え方」の力を支える「読解力」の向上を目指し、また、児童においては「楽しく物語が読める」という側面を伸ばさせるよう、学校全体で国語科における「読解力」の向上を目的とした授業研究を実施する。
- 学習の習慣化と読書による読解力の向上を目指し、「家庭学習の習慣」「読書の習慣」の取り組みを充実させる。
- 第3学年、第6学年の算数においては、個別の習熟の状況が様々であり、定着の状況に課題が見られる。単元を終えた後、数週間後に再度、定着状況を確認するための問題に取り組みさせ、確実な定着を目指す。
- 第2学年の国語においては、学力調査の形式に慣れていない点が課題であり、第1学年の復習を兼ねて、12月より定期的にテスト形式の問題に取り組みさせる。
- 個々の児童の課題を把握するために、学力ポートフォリオを活用し、当該学年での課題を把握し、一人ひとりの習熟度に合わせた指導を適宜実施する。

足立区立花保小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率(H30)	82.9	84.3	81.4	91.4	89.7	87.6	85.1	89.7	79.8	78.6	77.3	75.0
目標値(H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率(H29)	86.7	86.5	85.9	87.9	93.2	94.3	85.0	87.5	82.0	77.8	87.4	84.9
平均正答率(H30)	82.5	82.9	89.0	91.8	85.3	86.7	81.8	87.4	81.3	74.2	77.5	75.0
平均正答率(H29)	85.7	85.5	89.7	89.7	89.3	87.7	82.9	87.8	83.9	80.2	83.0	81.0

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

「学習定着度調査」分析結果

○本校の通過率は、昨年度と比較して、国語は-3.8ポイント、算数は-2.2ポイントとなっているが、区平均通過率も国語は-4.1ポイント、算数は-2.5ポイントとなっているので問題の難易度も関係していると考えられる。「正答率度数分布」より、3年生以上になると正答率70%以下の児童の割合が徐々に高くなっている。できるだけ早い時期に学習のつまずきを解消していくことが、基礎学力の定着には欠かせないので、学習支援員や学習ボランティアを含めた全教員で連携して指導にあたる。

○国語・算数ともに平均正答率について、基礎問題及び活用問題の思考・判断力においては全学年目標値を上回っている。一方、活用問題の表現力は2～4年生は目標値を上回っているが、5、6年生は目標値と同等もしくは下回っている。抽象的な思考を伴い学習の難易度が上がる4年生以降の授業等において、表現力を高めるためのより丁寧な指導が必要であるため、改善に努めていく。

○学習意識調査の結果からは、「学校での授業は分かる」という児童が9割以上であるのに対して、「勉強が好きだ」という児童が全体の四分之三、「宿題がないときでも家で勉強をする」という児童は全体の三分の二であり、「1か月に本を2冊以上読む」児童も全体の三分の二となっている。学ぶことに対する興味・関心を高め、主体的に学ぼうとする意欲を児童から引き出していくことが、本校における今後の課題である。

学校による学力向上への主な取り組み

<朝学習(15分間)>原則として週3回実施(学校予定により時間が確保できない場合でも5分間は実施)。漢字、次へのステップや東京ベーシック・ドリルを活用した算数、読書に取り組む。また、これらの内容は、水曜5校時「花保ステップタイム」(月2回程度)でも行う。

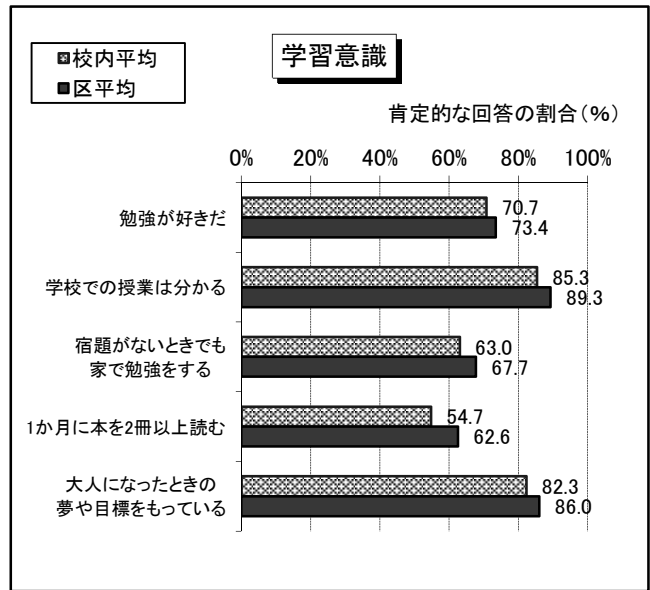
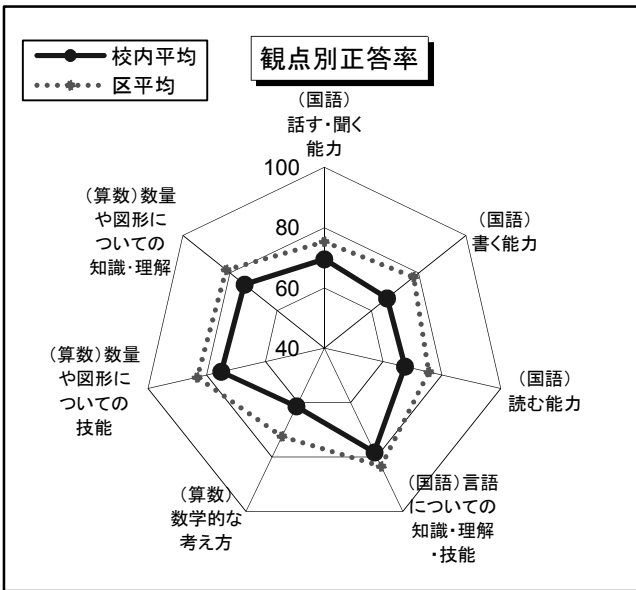
<放課後学習>学習内容の復習及び基礎学力の定着が十分でない児童の個別指導を行う。

<放課後補習>家庭訪問及び個人・三者面談期間に個々に必要な課題を補充指導する。

<家庭学習>10分×学年の数の時間を原則として宿題に取り組みせ、家庭学習の習慣化を図る。内容は、国語(漢字や作文等)や算数、音読、自主学習を行う。なお、自主学習(ノート)については、調べ学習のほか、自分の力を伸ばす学習(漢字テストに向けた練習、計算等の練習問題)等、児童の自主性を大切にしながら、2年生後期より指導を始める。

<夏季チャレンジ教室>夏季休業中の10日間実施。学習教室では、学力調査結果から分かったつまずきを改善し、基礎学力の定着を図る。児童の実態に応じて「そだち指導」「あだち小学生夏休み学習教室」を含む4コースに分かれて学習する。また、学習教室とは別の時間帯に自学教室も設ける。

足立区立六木小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(H30)	73.7	72.6	78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率(H30)	62.8	60.0	76.2	70.2	57.0	59.5	58.3	73.6	69.9	57.8	50.6	39.0
目標値(H29)	70.9	69.6	78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率(H29)	70.9	69.6	65.5	70.2	84.1	88.4	66.3	69.9	63.9	57.8	77.2	64.6
平均正答率(H30)	73.7	72.6	84.8	83.3	73.7	72.4	68.4	80.5	76.4	65.2	65.5	60.4
平均正答率(H29)	78.1	78.1	84.6	86.1	84.5	81.4	75.0	80.8	70.7	68.5	78.2	72.5

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

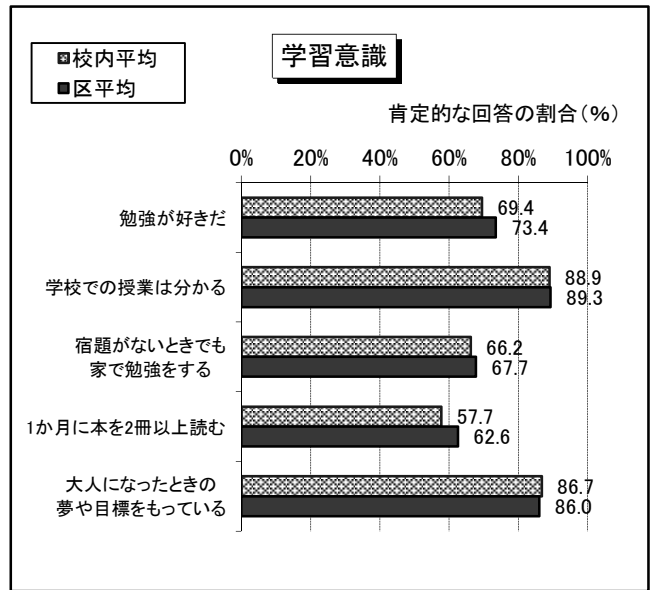
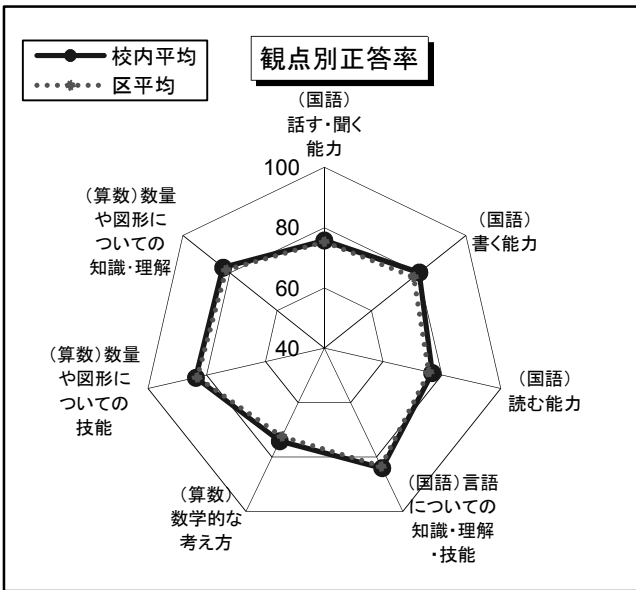
「学習定着度調査」分析結果

- 平成29年度比で、国語通過率-8.1ポイント、算数通過率-9.6ポイントであった。学年と教科別で見ると、2年国語と4年算数に成果が見られる。逆に、3年と6年は2教科とも、4年は国語、5年は算数に大きなつまずきがある。
- 4年の国語は漢字の書き取り、3年の国語は語彙力の弱さが大きな課題となっている。
- 3、4、6年の国語においては、読み取る力がまだ不足しており、文章を読み込んでいく経験がさらに必要である。
- 3、5、6年の算数は、基礎的・基本的な問題における誤答が多く、目標値未達成の大きな要因となっている。
- 本校の目標(通過率75%)を達成するためには、学級平均3~4名、学年平均10名以上、目標値を通過させる必要がある。
- 平均正答率は70%を超えている。また、算数では、目標値を達成できなかった児童のうち、50%以上正答できている児童が2~6学年において100人を超えている。このような50%以上正答できている児童のつまずき部分を解消していくことが目標を達成するための有効な手段となる。

学校による学力向上への主な取り組み

- 算数のつまずき部分を解消するため、50%以上正答していて目標値を達成できなかった児童を対象に、放課後補充教室や給食準備時間校長室補充を行っている。校長室では、つまずきの多かった6年からスタートし、夏季休業日まで4、5年、前期の間に2、3年の補充を完了する。
- 「自分の考えをもち説明できる子の育成」を目標に、算数科で校内研究に取り組む。既習事項をしっかり想起させながら、児童全員が自分なりの考えをもち、意見として発表する場面を充実させた授業をつくっていく。
- 火・木・金曜日の朝にパワーアップタイムを設定し、漢字・読書・計算等の基礎的・基本的な学力の定着を図っている。
- 夏休み補充教室・夏休みそだち指導・あだち小学生夏休み学習教室を実施し、個別の課題に応じた補充を行う。
- 九九の習熟が未定着な児童に対して九九の補充を行っている。
- 後期の校長室補充では、文章の読み取り方を身に付けることを一番大きな柱として国語の補充を行う。

足立区立渚江小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率(H30)	82.2	79.2	75.0	79.2	95.1	100.0	80.3	82.0	84.8	68.7	77.0	67.2
目標値(H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率(H29)	79.9	79.0	80.0	88.4	87.5	86.1	84.8	87.9	66.7	77.3	79.8	59.5
平均正答率(H30)	81.5	82.2	84.5	86.9	87.5	90.6	80.5	85.5	80.5	74.6	75.4	72.9
平均正答率(H29)	81.4	82.7	87.4	91.2	85.2	83.3	83.1	87.7	74.1	80.1	78.8	72.0

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

「学習定着度調査」分析結果

昨年度比で、国語は通過率が+2.3ポイント、平均正答率は+0.1ポイント。算数は通過率では+0.2ポイント、平均正答率が-0.5ポイントと好転した。

観点別正答率を見ると、区平均との比較では、国語「話す聞く能力」+0.4ポイント、「書く能力」+2.4ポイント、「読む能力」+1.2ポイント、「言語についての知識・理解・技能」+0.7ポイント、算数「数学的な考え方」+1.8ポイント、「数量や図形についての技能」+0.5ポイント、「数量や図形についての知識・理解」+1.3ポイントと、区平均を上回った。

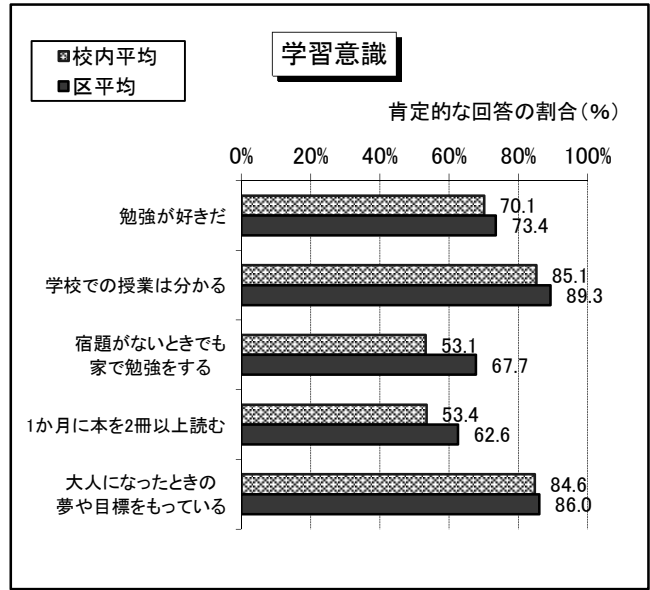
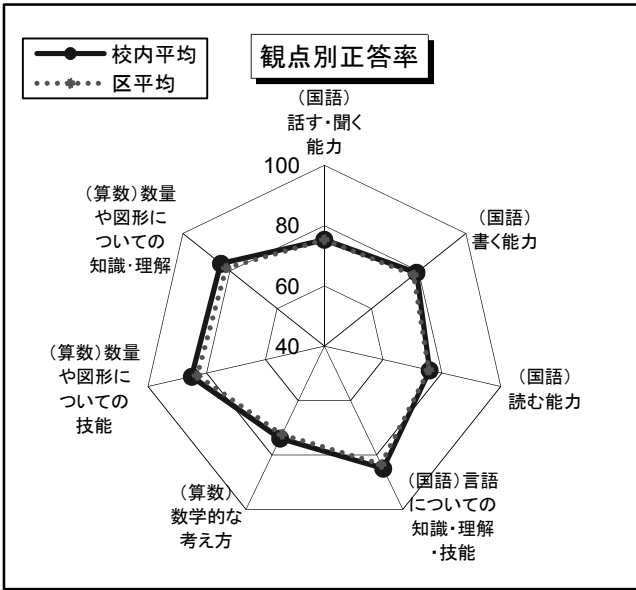
学習意識では、5項目中3項目の、「勉強が好きだ」-4.0ポイント、「宿題がないときでも家で勉強をする」-1.5ポイント、「1か月に本を2冊以上読む」-4.9ポイントで、区平均とかなりの差が見られる。

以上の結果から、学力調査結果からは学校全体としては区平均を上回ったものの、学年ごとには課題がある。また、学習に対する興味や意欲、読書習慣が区平均を下回り来年度への課題である。

学校による学力向上への主な取り組み

- 基礎・基本の定着を図るため、算数は全学年で習熟度別少人数指導を行う。また、学年の段階に応じた反復学習の徹底や、系統的な指導や学年間の円滑な接続を重視した算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的な知識・技能を着実に身に付けさせる。
- 教員の指導力向上のため、今年度は特に新学習指導要領の理解とそれに伴った授業改善を図る。「何がどのようになるのか」「どのように学ぶか」という二つの視点を軸に、年間7回の研究授業を実施する。
- 毎週金曜日を「放課後けやき教室」とし、学習内容につまずきが見られる児童への補充教室を実施する。実施内容は学力向上委員会が中心となり、学習の定着度の分析から計画的に教材を選定する。実施の際は専科教員とも連携を図り円滑に実施できるようにする。
- 朝のパワーアップタイム(20分)を計画的に実施する。火曜日の計算タイムで定着度の低い問題に、金曜日の書き取りタイムで漢字や文章の読み取りに関する問題に取り組みせ、基礎学力の定着を図る。
- 水曜日の読書タイム、図書ボランティアによる読み聞かせや読書週間で集中的に読書に取り組ませることで、読む能力を伸ばし、本に親しむ態度を身に付けさせる。
- 家庭と連携した家庭学習の充実を図る。個人面談などで家庭学習への啓発(宿題以外の自学自習のすすめ)をし、個に応じた家庭学習課題を設定し、取り組ませる。

足立区立渚江第一小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	82.1	84.7	77.9	75.6	91.7	92.9	86.0	96.0	73.0	73.0	81.9	84.5
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	78.6	84.4	76.7	82.6	84.6	92.3	69.0	84.5	79.5	88.9	80.9	71.6
平均正答率 (H30)	81.2	82.9	87.3	88.0	85.8	86.4	81.6	89.9	75.4	72.8	78.8	78.0
平均正答率 (H29)	81.3	84.0	86.2	88.5	86.4	86.1	74.4	85.9	81.7	83.9	78.0	75.2

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

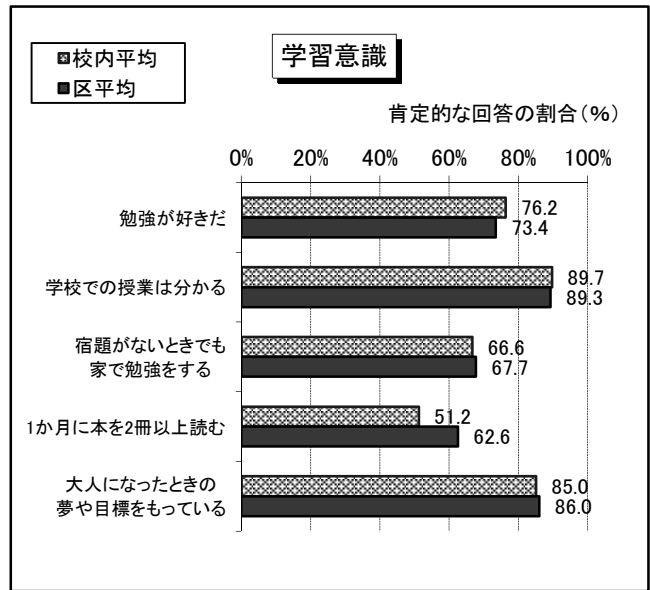
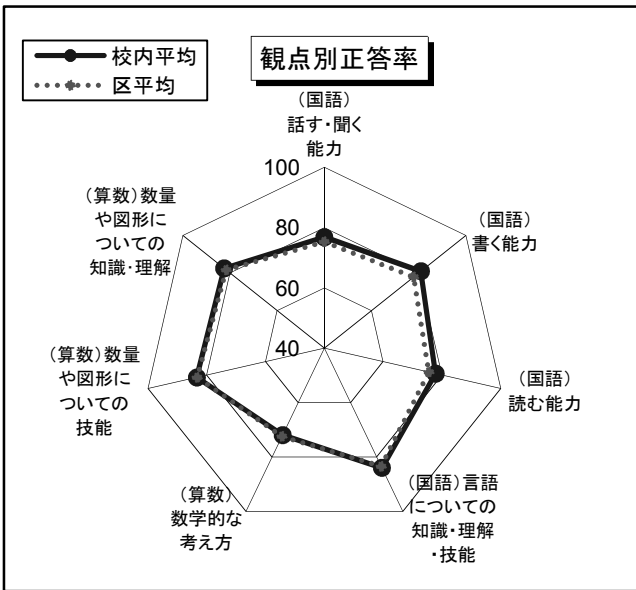
「学習定着度調査」分析結果

- 各学年の通過率 (経年変化)
 国語で、昨年度同一集団と比べて3年生+15.0ポイント、4年生+1.4ポイント、5年生+4.0ポイント、6年生+2.4ポイントとなり、定着状況は大幅に向上している。また、算数では、3年生+10.3ポイント、4年生+3.7ポイント、5年生-11.5ポイント、6年生-4.4ポイントとなった。4、5年生の国語、算数では正答率の二極化が見られる。本年度は、特に高学年算数の学習定着度をより確かなものにするのが課題である。
- 思考・判断力、表現力に関する結果
 国語、算数ともに、2年生から4年生までの思考・判断力、表現力の結果は概ね良好である。5、6年生の表現力 (国語と算数) で平均正答率が目標値に至らなかった。
 4年生以降の学習ではより抽象的で論理的な思考が求められる。文章や情報の意味を理解し思考する読解力を組織的・計画的に育成することが課題である。

学校による学力向上への主な取り組み

- ◎指導と評価の一体化によって「履修主義」から「習得主義」へ授業観を転換する。
- 授業力向上…生活科、社会科、理科の授業研究を通して、分かる授業・楽しい授業の充実を図る。
- パワーアップタイム…始業前15分間の学習時間を週3回以上確保する。漢字練習を含む言語事項の復習問題やつまづきが多い算数の問題など、学習内容を精選して取り組む。
- 放課後学習…国語及び算数で学習につまづきがある児童を対象に実施する。担任及び専科教員などが個別に指導する。必要に応じて授業の間の時間を活用してプリントに取り組むなど、個に応じた指導を徹底する。
- かけ算九九テストを2年生以上で行い (年2回)、計算力の基礎を確実にする。75点未満の児童は個別に補習指導する。
- 長期休業中の家庭学習として振り返り漢字プリントを出題する。
- 「どの子供が、どんな内容につまづいているか」を明確に把握して、そだち教室、日本語教室、夏季補充教室などと連携して担当指導者間の指導の一貫性を保ち、ブレのない指導を進める。

足立区立西保木間小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率(H30)	79.5	81.6	83.9	74.2	93.3	96.7	75.0	77.3	85.0	77.5	66.7	84.4
目標値(H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率(H29)	86.0	82.7	80.8	96.2	75.6	84.4	97.3	94.7	86.0	76.7	89.8	70.0
平均正答率(H30)	80.9	80.7	87.4	84.0	87.8	90.1	79.5	81.1	83.1	77.0	72.5	74.7
平均正答率(H29)	84.6	82.6	90.7	92.1	82.1	81.5	88.6	92.3	83.7	79.3	81.8	73.3

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

「学習定着度調査」分析結果

○国語について…今年度の児童の通過率は、79.5%であった。昨年度に比べ6.5ポイント下降したが、平均正答率は、わずかであるが区平均を上回り、観点別正答率も目標値を上回ることができた。国語の「書く能力」について改善が見られた。今年度、初調査対象の第2学年は、平均正答率が目標値を上回っているが、「話す・聞く能力」「読む能力」に課題があるので重点的に指導を行う。

○算数について…今年度の児童の通過率は、81.6%であった。昨年度に比べ1.1ポイント下降したが、観点別平均正答率は、いずれも区平均を上回るか同程度であった。算数の「数量や図形についての技能」は他の観点に比べて定着度が高かった。第2学年は、平均正答率が目標値を上回っているが、「算数への関心・意欲・態度」「数学的な考え方」に課題があるため、重点的に指導を行う。

○学習意識
 昨年度と比較して、「勉強が好きだ」「宿題がないときでも家で勉強をする」で肯定的な回答の割合が伸びており、児童が学習に意欲的に取り組んでいる様子が分かる。一方、「1か月に本を2冊以上読む」や「大人になったときの夢や目標をもっている」は、昨年度より肯定的な回答の割合が減少していた。読書習慣の定着や今勉強していることを将来に結び付けていくような取り組みも意識的に行っていきたい。

学校による学力向上への主な取り組み

今年度も学力向上委員会を中心に、各学年の課題に応じた指導改善を組織的に行う。児童の実態を常に分析を重ね、的確な指導を徹底し、児童が自主的に日々の学習を進められるように努める。

【日常の授業改善】①足立スタンダードによる授業の実施 ②会議の厳選と短縮による教材研究の時間の確保 ③習熟度別指導の充実 ④教科指導専門員による授業観察・個別指導 ⑤管理職による授業観察及び個別指導 ⑥そだち指導員による個別指導 ⑦相互授業観察及び意見交換 ⑧西保OJT研修会

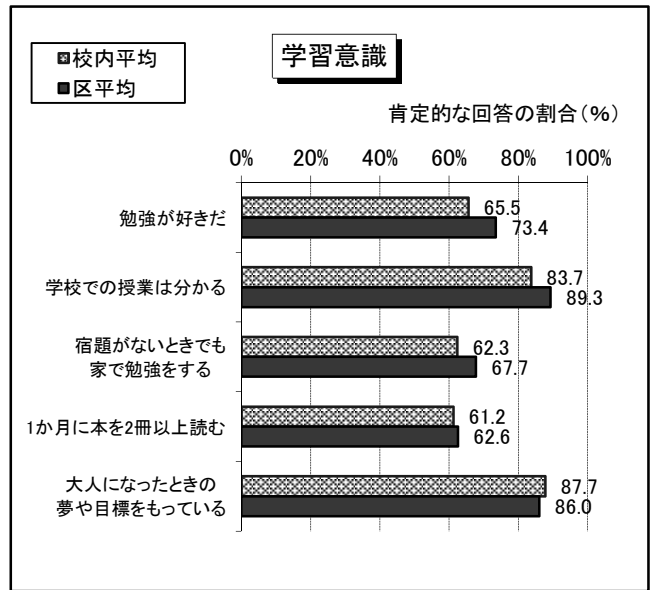
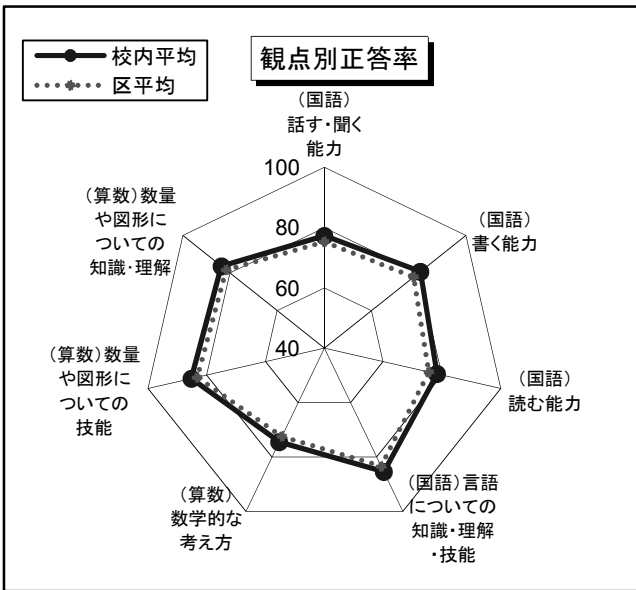
【小中連携を通じた授業改善】①年8回以上の小中連携の日に教科ごとの分科会の実施 ②各分科会で9年間の系統性を踏まえた授業の実施 ③小・中学校協同での指導案づくりと検証授業の実施

【校内研究を通じた授業改善】①年3回の研究授業の実施 ②低・中・高学年の研究協議と指導案作成

【時程等の工夫】①朝学習(パワーアップタイム)：漢字・計算プリント ②放課後の補充学習：つまずきを克服する個別または少人数指導 ③学年ばっちりタイム：学年全体のつまずきを克服する演習 ④夏季長期休業日を利用した各種補充教室：「夏季補充学習」「自主トレーニング」「あだち小学生夏休み学習教室」児童の習熟度に応じた補習指導の実施 ⑤冬季・春季休業日の補充教室の実施

【家庭学習の充実】①「家庭学習のてびき」の作成、活用 ②「家庭学習定着強化週間」の実施

足立区立保木間小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	85.7	82.1	91.1	88.9	89.1	80.4	95.0	93.3	76.6	68.8	79.7	81.3
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	76.0	78.8	70.0	78.0	80.6	90.3	69.7	77.3	78.3	72.5	80.0	76.9
平均正答率 (H30)	82.0	82.4	90.5	91.9	86.4	84.2	86.7	90.6	77.3	70.8	74.6	77.6
平均正答率 (H29)	79.7	80.7	86.0	87.4	84.5	84.5	73.4	81.3	77.3	76.0	80.4	75.7

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

「学習定着度調査」分析結果

○本校における学習定着度の経年変化
 学校全体の通過率は、平成29年度に新校長を迎え、新体制で「学力向上」と「心と体の健全育成」を柱に取り組み、昨年度の1年間で大きな成果を上げることができた。一昨年度から国語+18.6ポイント、算数+20.6ポイントも上昇した。結果、本校では国語・算数の全観点で区平均を上回ることであった。昨年度は国語は全観点で下回っており、算数も全観点で下回っていたにもかかわらずである。
 学習意識のグラフを見ると、「勉強が好きだ」は区平均を下回るが、昨年度比+2.1ポイント、「学校での授業は分かる」は昨年度比+2.4ポイントであり、徐々にではあるが上がってきている。そして、何より顕著に変化が表れたのが「大人になったときの夢や目標をもっている」で、区平均を上回る87.7%の肯定的な回答を得た。これも、昨年度比+2.0ポイントの伸びである。

○各学年ごとの分析
 学年比では、2～4年生の通過率が高く80～90%、5、6年生の通過率はやや低めの約70～80%となったが、特に3、4年生の国語の前学年次からの伸びは群を抜いており、3年生で+19.1ポイント、4年生で+14.4ポイントとなった。

学校による学力向上への主な取り組み

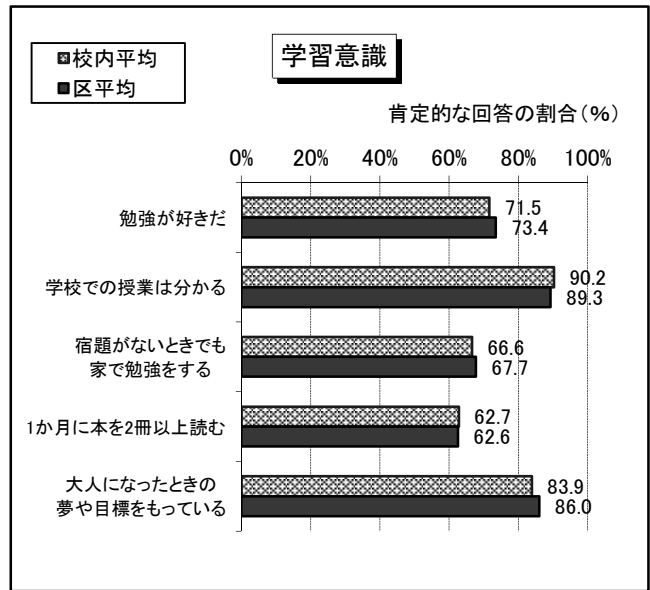
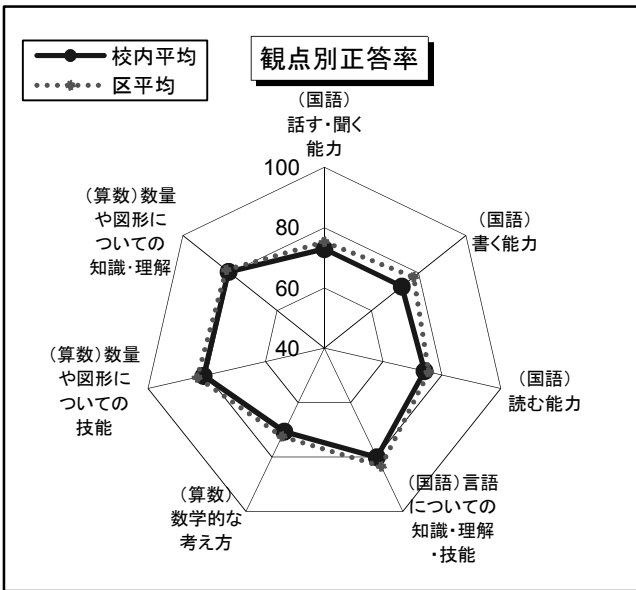
○教員の指導力向上：児童の学力を向上させる最大の取り組みは、教員の授業力を向上することである。校長や教科指導専門員による授業観察、校内研究による指導技術の研修、小中連携による指導の一貫性の追究などにより、指導力の向上を図る。「分かる授業」の実践により、児童の集中力を高め「知・徳・体」をバランスよく鍛える取り組みを年間を通じて行っている。

○朝の帯学習「保木間タイム」の実施：基礎・基本の学習を繰り返し確認しながら、児童の学力の定着を図っている。毎週火・水・金曜の朝10分間（5分間の朝ジョギング後）に習熟学習の時間を確保し、各学年既習事項の強化と徹底を図っている。

○放課後の補習教室：一斉指導では効果が上がりづらい児童や基礎・基本のより一層の徹底が必要な児童を抽出し、放課後に個別指導を実施している。各種学力調査、ワークシートを活用して、苦手な単元・領域の克服を目指す。

○家庭学習の習慣化：自宅での宿題を、学年に応じた時間配分（目安：学年×10分）で「家庭学習」として毎日課す。家庭学習指導については保護者と連携してあたることを年度当初に説明し、ご協力いただいている。

足立区立竹の塚小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率(H30)	71.9	77.0	84.4	97.8	72.5	84.0	64.4	83.1	69.5	69.5	71.4	56.1
目標値(H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率(H29)	83.2	84.3	70.8	89.8	93.1	91.4	83.3	85.0	79.2	73.6	87.0	81.5
平均正答率(H30)	76.9	78.7	89.1	90.9	79.4	82.2	74.0	83.3	76.2	71.5	70.6	67.9
平均正答率(H29)	83.9	84.3	87.4	89.9	89.6	86.0	79.7	86.2	80.9	78.8	83.4	79.7

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

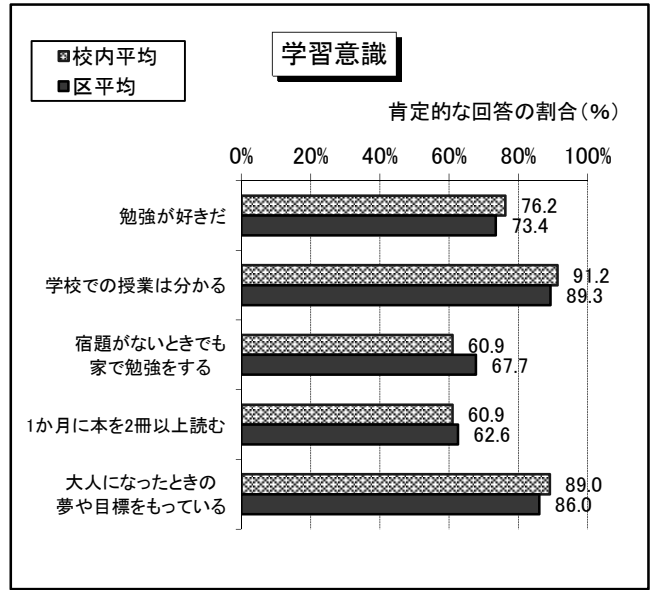
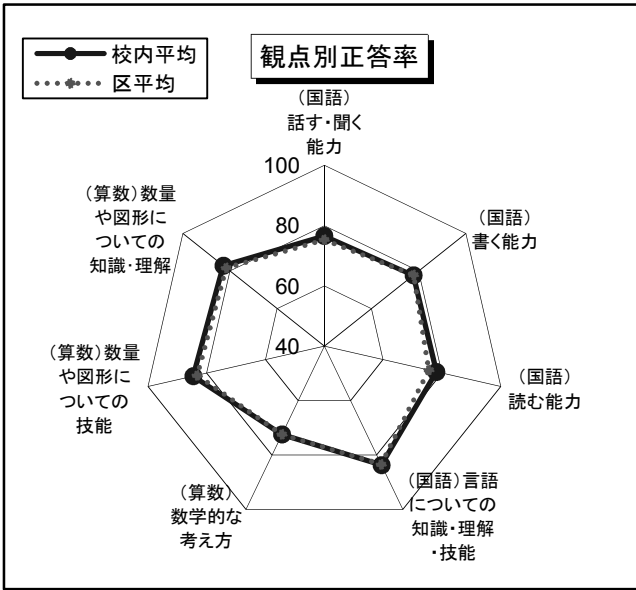
「学習定着度調査」分析結果

- 観点別正答率の分析
 観点別正答率は、国語の「書く能力」と「言語についての知識・理解・技能」で、区平均との差が大きい。その他の観点は区平均から1～2ポイント程度下回っている。特にこの二つの観点を今後の指導の重点とする。
- 学習意識の分析
 「学校での授業は分かる」と答えた児童が区平均を上回ったのは、全校で足立スタンダードを基にした「分かる授業」を徹底したことの効果ととらえられる。「宿題がないときでも家で勉強をする」という児童は、昨年度より5.5ポイント下回った。学校での授業力の向上に加え、家庭にも家庭学習の確実な実施をお願いし、学校と家庭が協創して学力向上に努めていく。
- 通過率と平均正答率の分析
 学校全体の通過率、平均正答率は2教科平均で、ともに昨年度を6ポイント以上下回った。特に、学校全体の国語の通過率は11.3ポイント下回り、国語の通過率が上昇したのは2年生だけである。同一集団での通過率の経年比較をすると、現3年生の国語を除いて、すべての学年で前学年の通過率を下回った。基礎学力の定着を図るためにも、基礎・基本を徹底していく必要がある。

学校による学力向上への主な取り組み

- 週1時間の「竹小タイム」で、区学習定着度調査でつまづいた内容の解消を図る授業を行う。
- 朝のパワーアップタイムで、漢字や計算、読書に取り組みせ、基礎的・基本的な学習内容の定着と学習及び読書の習慣付けを図る。
- 各学級で放課後補充教室(竹の子タイム)を週2回以上実施し、学習内容の定着に課題のある児童を対象として個別指導を行うとともに、漢字・言語・計算等の基礎学力の定着について定期的に効果測定を行う。
- 足立スタンダードに基づき、問題解決型の学習を取り入れ、児童が思考する時間を多くする。
- 単元計画や1単位時間の流れを工夫し、体験的・主体的な学習内容とすることで、児童が意欲をもって学ぶことができるようにする。
- 家庭学習の充実のために、勉強時間の目標(学年×10分+10分)を示したり、区学力定着度調査でつまづいた点を補充する課題に学年で共通して取り組ませたりする。

足立区立伊興小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率 (H30)	79.8	82.5	75.2	79.2	86.0	94.2	76.5	84.5	75.7	69.9	86.5	87.5
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	85.5	87.5	80.9	94.4	88.8	87.6	81.2	89.2	93.5	85.1	83.7	81.6
平均正答率 (H30)	81.1	81.9	86.0	85.7	86.9	86.7	78.8	86.1	76.7	73.0	78.8	79.3
平均正答率 (H29)	85.5	86.1	88.6	92.1	88.4	85.5	80.1	87.3	86.9	84.1	84.7	80.8

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

「学習定着度調査」分析結果

<平成29年度と平成30年度における通過率及び平均正答率から>

- 通過率については、ほぼすべての学年・教科で75%を超えている。ただ、平成29年度との比較では、数値が下回った学年や教科が多くある。問題が変わったことを踏まえても、10ポイント以上下回った学年・教科も見られた。学力向上への取り組みは一定の成果を上げていると考えるが、安定して力が発揮できる「確かな学力」を学校全体として根付かせることが課題である。

<観点別正答率から>

- 国語・算数とも多くの観点で区平均を上回っている。昨年度と比較すると、国語「書く能力」「言語についての知識・理解・技能」、算数「数学的な考え方」で区平均との差が低下し課題が残った。児童が意欲的に活動できる授業を継続して行き、観点別に焦点を当てた取り組みの充実を図る必要がある。

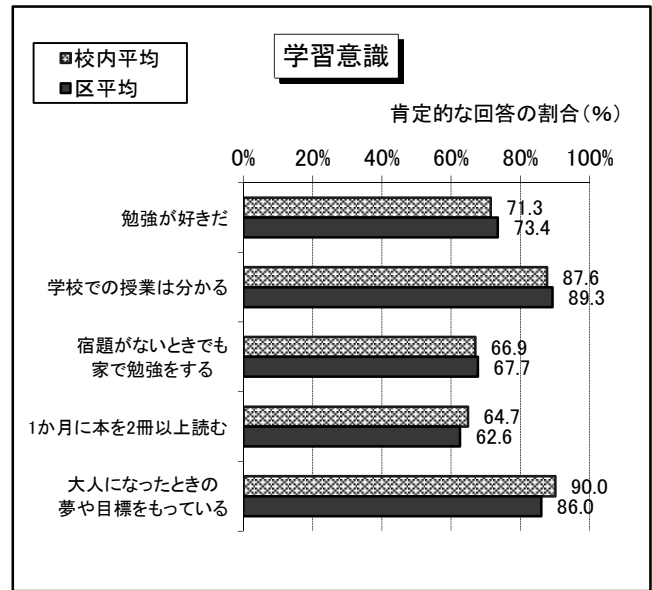
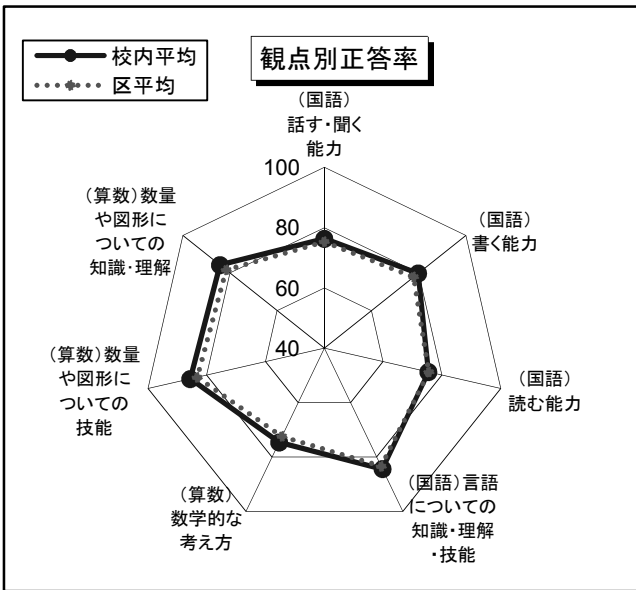
<学習意識から>

- 「勉強が好きだ」「学校での授業は分かる」「大人になったときの夢や目標をもっている」は、区平均より高い。「宿題がないときでも家で勉強をする」「1か月に本を2冊以上読む」は、区平均より低い。家庭学習の協力を促し、読書の習慣を付けさせることが必要である。

学校による学力向上への主な取り組み

- 校内研修を活用し、日々の授業改善を行う。授業の質を上げるために、足立スタンダードに基づいた「ねらいの提示」「考えさせる発問」「関わり合う場の設定」「自己評価の場の設定」を各授業で取り入れ学習を進めることができるようにする。
- 読書の時間を確保する。図書室での読書のほか、朝読書、読み聞かせを活用し、本への興味を高め、読書する習慣を付けさせる。
- 朝学習では、学年共通のプリントを活用し、全員が正答率80%以上の結果が出せるようにする。火曜日は国語の漢字、水曜日は算数の既習事項確認テストを行う。
- 放課後学習教室では、つまずきが見られる児童への補習を行う。個別対応ができるように、なるべく少人数指導とし、一人ひとりの確実な定着を図る。
- 夏がんばり教室では、学年ごとに教員がつき少人数指導を進める。夏休み前までの学習内容及び既習事項でつまずきが顕著な部分を重点的に指導する。
- 学級集団に関する評価を行い、学級や児童の実態に応じて、学年・学級で意図的・計画的に肯定的な関わりを育む取り組みを展開していく。

足立区立東伊興小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(H30)			78.5	80.0	74.0	74.0	68.5	75.0	68.9	67.4	67.3	66.7
通過率(H30)	81.6	84.1	83.5	88.6	80.0	80.0	82.5	88.5	81.1	78.9	80.7	84.1
目標値(H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率(H29)	88.4	88.4	83.5	86.3	90.2	94.2	91.6	93.7	84.4	85.6	91.1	81.1
平均正答率(H30)	81.1	83.5	88.3	90.5	81.5	82.7	79.7	87.8	81.0	76.5	77.4	79.5
平均正答率(H29)	86.4	86.7	88.4	90.0	89.4	87.8	85.8	90.5	83.8	85.4	85.0	79.1

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

「学習定着度調査」分析結果

○観点別正答率は、国語、算数ともほぼすべての観点で区平均を上回る結果となった。朝のパワーアップタイムや放課後ステップアップ教室などで基礎的な力が身に付いてきている。学習意識は、「勉強が好きだ」「学校での授業は分かる」「宿題がないときでも家で勉強をする」意識を高めていくために、分かる授業、勉強が好きになる学習の進め方、知りたい、調べたいなどの児童の興味・関心を引き出す授業づくりの充実を図ることが大切である。区平均を上回った項目として、「1か月に本を2冊以上読む」「大人になったときの夢や目標を持っている」の高い意識を、さらに学力向上を支える主体的な学びへと結び付けることが課題である。

学校による学力向上への主な取り組み

- 朝のパワーアップタイム
国語と算数の基礎力アップを図る時間として、漢字の小テストや百マス計算、読書を行う。結果を一覧表に記録し、書けなかった文字を宿題などで反復させて慣れさせる。
- 放課後ステップアップ教室
既習の内容につまずきのある児童の学力定着を図る。児童の基礎力向上を図るよう補充プリントなどを用意し、取り組ませる。また、専科教員も指導に入り、全身体制で指導を行う。
- 家庭学習の推進
「学年×10分」を目標に家庭学習を進める。「ひがし学習週間」(前・後期各1回)を設け、取り組みカードを配付し、どの程度家庭学習を行っているか実態を把握し、今後に生かせるようにする。
- 学力調査後の取り組み
夏季休業期間中に目標値に達していない児童を10日間集中して指導する基礎習得コースと、自分で学習を進める自主学習コースに分けて指導する。学年、学級で学力調査の分析を行い、問題に取り組む。
- 児童主体型の分かる授業づくり
国語科の校内研究では、「思考する力を育てる指導の工夫～対話しよう言葉と自分と友達と～」を研究主題とし、対話を通して自分の考えを深め伝える力を習得させる。また、足立スタンダード習得研修を行い授業力向上を目指す。幼保小中連携では、交流研修を行い課題や改善策を共有し系統性を意識した授業研究を進める。キャリア教育では、講話から自分の将来について考えさせ、このことを通して主体的に学ぶ意欲の向上につなげていく。

中学校の調査結果概要と学力向上への取り組み

第一中学校	152	竹の塚中学校	170
千寿桜堤中学校	153	東綾瀬中学校	171
千寿青葉中学校	154	青井中学校	172
第四中学校	155	花畑中学校	173
第五中学校	156	蒲原中学校	174
第六中学校	157	西新井中学校	175
第七中学校	158	入谷中学校	176
第九中学校	159	江北桜中学校	177
第十中学校	160	伊興中学校	178
第十一中学校	161	花畑北中学校	179
第十二中学校	162	谷中中学校	180
第十三中学校	163	花保中学校	181
第十四中学校	164	栗島中学校	182
江南中学校	165	扇中学校	183
新田中学校	166	加賀中学校	184
鹿浜菜の花中学校	167	入谷南中学校	185
東島根中学校	168	六月中学校	186
浏江中学校	169		

【各校ページの語句の説明】

観 点：国が定めた学習指導要領に基づき、学習の評価を行うポイント

正答率：出題された問題の中で、何問正解したかの割合（正答数÷出題数×100）

目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が理解できていれば正解できると期待される値（目標正答率のこと）。

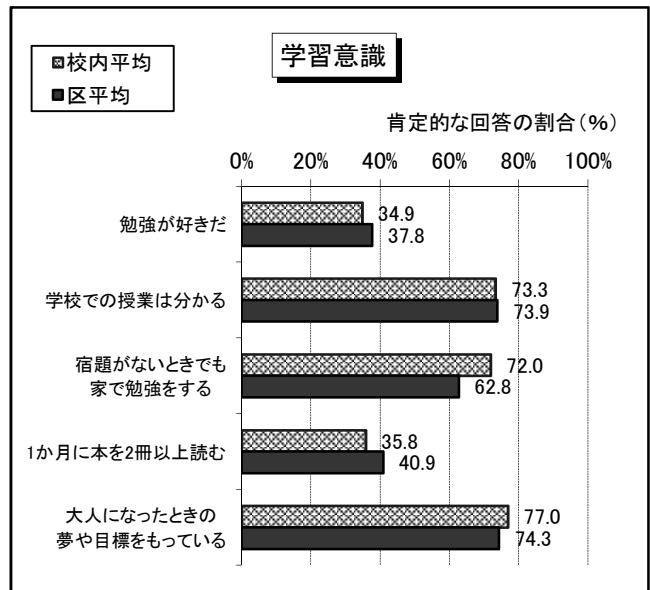
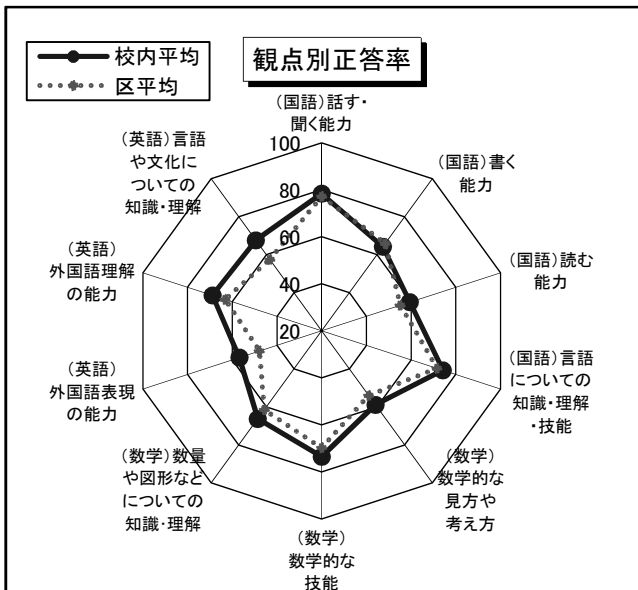
この値は、設問ごとに設定されており、組み合わせた設問からテスト全体の目標値を導き出しています。

通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合（目標値以上の児童・生徒÷受検者数×100）

平均正答率：本調査を受検した対象者の正答率の平均値

※ 各グラフの指標は%（パーセント）。

足立区立第一中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値 (H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率 (H30)	67.6	68.1	67.5	70.0	68.9	70.0	72.9	72.9	60.7	60.7	60.7
目標値 (H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率 (H29)	74.9	65.8	64.6	87.5	75.0	66.1	66.1	71.4	69.0	56.3	59.2
平均正答率 (H30)	69.0	70.3	66.3	68.5	75.8	71.6	68.0	65.7	66.5	64.4	67.1
平均正答率 (H29)	75.2	67.2	67.4	81.3	75.3	69.6	62.4	66.6	73.5	62.8	68.0

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

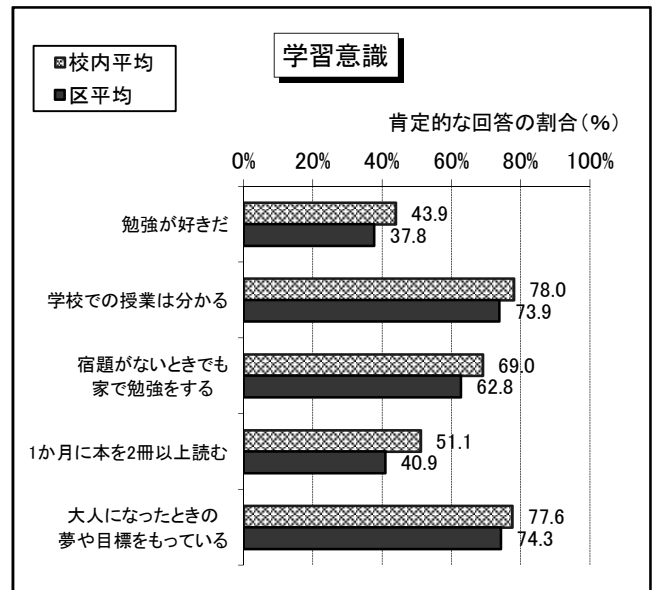
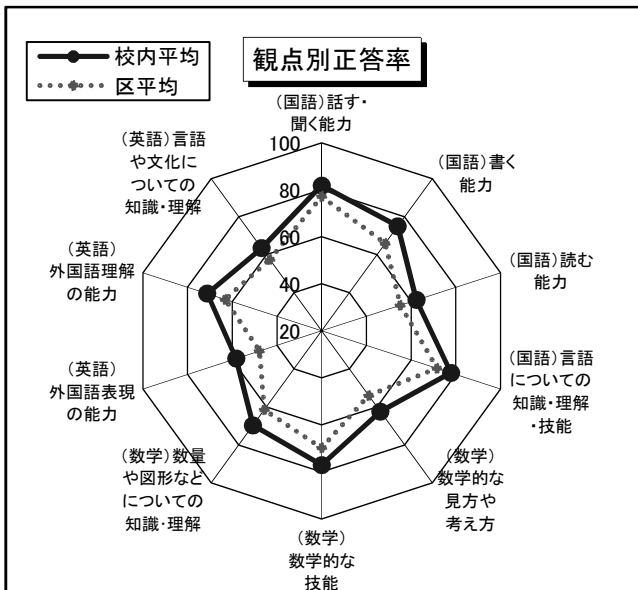
「学習定着度調査」分析結果

- 国語科は、観点別正答率は、ほとんどの観点で目標値を通過している。しかし、1年生では漢字を読むこと、2年生は文法の知識と古文の歴史的仮名遣い、3年生も文法の知識が目標値を下回っている。また、「読む能力」は全学年目標値を上回ってはいるが、説明文や文学作品の内容を読み取ることで誤答が多く、正答率が低い。基礎的な知識が十分に身に付いておらず、長文読解にも時間がかかると思われるので、「基礎的な知識」と「読む力」の向上を図ることが課題である。
- 数学科は、観点別正答率がすべての観点において、区平均を上回っており良好である。2、3年生の通過率は経年比較で上昇しているが、1年生では低下している。1年生は整数の性質、平面図形、量と測定の問題、2年生は比例・反比例、3年生は1次関数などの関数の領域が、具体的な課題である。
- 英語科は、「表現力」に焦点を当て分析を行った。自分の考えを表現するためには、基本的な語彙力、文構造の定着が必要である。しかし、語彙力や文構造の定着に課題がある中、自分の考えを英文で述べるということは難易度が高い。3文作文自体に取り組まないという無解答も目立った。また、基本的な知識・理解が身に付いていないため、長文問題に対して苦手意識をもつ生徒も目立った。基礎段階から、知識・理解と並行して活用練習をすることが課題であると考えられる。

学校による学力向上への主な取り組み

- 国語科は、小テスト (復習テスト、漢字・文法など) による反復学習を取り入れ、家庭学習習慣を定着させる。適宜小テスト等を実施し、知識の定着を図る。「読む力」を育てるために、文章を読む機会や自分の意見や考えをまとめる機会を充実させる。また、文章を理解し、評価しながら読む力を高める取り組みを充実させ、基礎知識の定着への動機付けとする。
- 数学科は、1年生については、関係する領域を扱う際に集中的に振り返り、確認していく。2年生の比例・反比例では、文章問題を積極的に扱い、文章を読み理解すること、関係を見つけて式で表すことを繰り返し練習する。3年生の1次関数では、2次関数を学習する際、振り返りの確認として、動点の問題や、座標軸上に頂点をもつ図形の面積を求める問題などを集中的に行う。
- 英語科は、授業改善である。上記の課題解決のためには、「話すこと」と「書くこと」を関連させた指導をすることが必要である。自分の気持ちや考えをまとめて話せるようになるために、つながりのある文を3文以上書くことを、授業の中で段階的に実践していく。3文作文を書かせた後は、ただ原稿を読むのではなく、自分の思考で発表するという習慣をしたい。また、語彙力や文法構造の定着のために、小テストを継続的に行ったり、補習を行ったりするなどのきめ細やかな指導が必要である。

足立区立千寿桜堤中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値 (H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率 (H30)	76.4	73.7	66.0	77.0	75.2	85.1	75.2	69.6	67.3	70.9	62.4
目標値 (H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率 (H29)	79.0	72.7	62.6	90.2	83.5	79.6	70.4	67.9	67.1	64.0	57.3
平均正答率 (H30)	73.8	72.8	66.6	75.2	81.8	76.8	71.9	67.1	69.3	64.8	66.2
平均正答率 (H29)	79.6	71.9	67.0	85.6	80.2	78.1	68.2	67.3	75.0	67.2	66.6

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

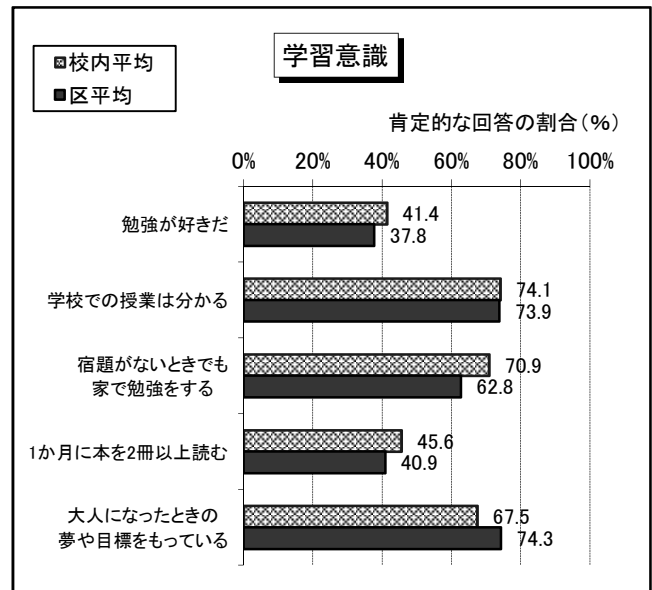
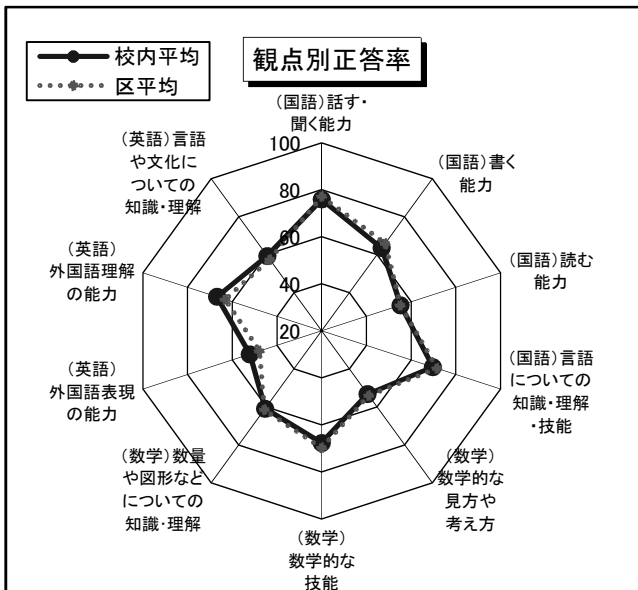
「学習定着度調査」分析結果

○どの学年もすべての教科で区平均・全国値を大幅に上回っており、学習の定着に向けた取り組みの成果が表れている。学年・教科・内容別では、1学年国語の「作文」+13.0ポイント、2学年国語の「文法・語句に関する知識」+11.5ポイント、3学年国語の「資料をもとにレポートを書く」+7.6ポイント、1学年数学の「いろいろなグラフの読み取り」+11.2ポイント、2学年数学の「資料の散らばりと代表値」+12.8ポイント、3学年数学の「1次関数」+11.0ポイント、2学年英語の「3文以上の英文作文」+20.8ポイント、3学年英語の「さまざまな英文の読み取り」+8.2ポイント、区平均を大きく上回っている。ただし、課題として、若干名であるが家庭学習習慣や基礎学力が身に付いていない生徒が見られるので、今後とも粘り強く指導を続けていく必要がある。

学校による学力向上への主な取り組み

- 国語の取り組みとして、朝礼や学年朝礼後に内容や感想を道徳ノートに書かせ提出させる。学校行事や学年行事ごとに作文を書かせる。スピーチコンテストや年3回の漢字コンテストの実施。毎日の朝読書タイム。図書室やパソコン室を利用した調べ学習。百人一首大会の開催。学期ごとの個人反省・班反省・クラス反省で話し合い発表。
- 数学の取り組みとして、委員会や学年のアンケート集計で表・グラフ作成。習熟度別少人数指導。年3回の計算コンテストや単元ごとに小テストの実施。パソコンや教材器具を利用した目で見える学習を実施。
- 英語の取り組みとして、国際理解教育の一環で留学生との交流。ALTとの会話を重視した授業。年3回のスピーキングコンテストの実施。レッスンごとに小テストの実施。イングリッシュフライデーとして昼の放送をすべて英語で実施。
- また、理科・社会も含め、どの教科も補充学習の時間を利用した基礎・基本の定着指導と放課後の質問教室や再テスト、夏季休業中のサマースクールの実施など、学力向上に向けた指導に継続的に取り組んでいる。

足立区立千寿青葉中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値 (H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率 (H30)	60.4	59.8	58.8	57.4	63.2	62.9	58.1	54.0	60.0	58.8	64.7
目標値 (H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率 (H29)	73.0	65.9	75.7	78.0	63.4	73.8	69.2	71.2	67.2	65.6	79.5
平均正答率 (H30)	65.6	63.5	61.5	65.1	72.6	66.5	60.5	57.1	65.0	58.6	66.8
平均正答率 (H29)	75.8	67.5	71.4	77.8	70.2	74.1	64.4	67.6	75.2	67.4	74.6

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

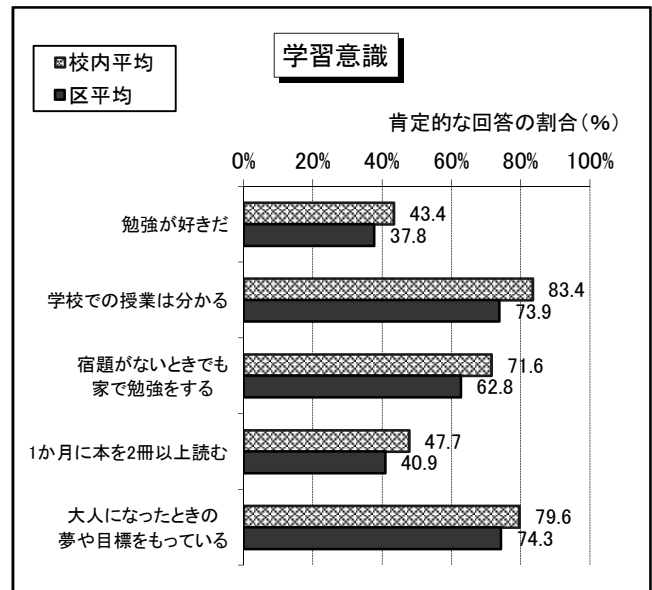
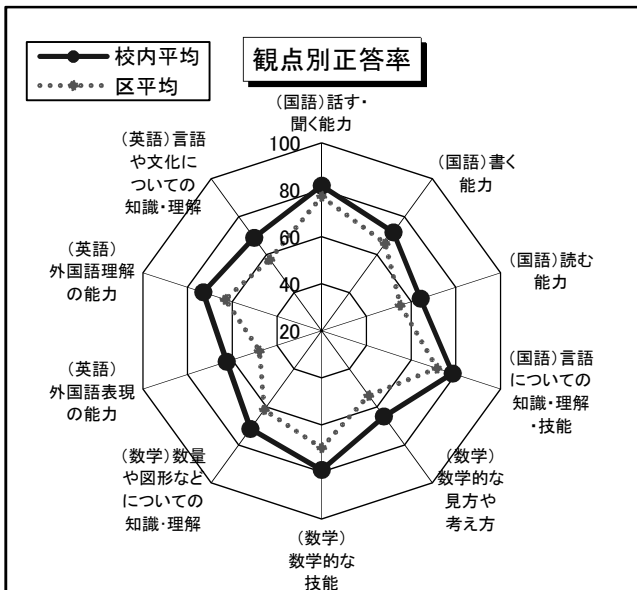
「学習定着度調査」分析結果

- 国語の観点別正答率では、1、2年生の「書く能力」、3年生の「話す・聞く能力」が区平均よりもやや低い。
- 数学の観点別正答率では、1年生でどの観点も区平均を下回り、3年生ではどの観点も上回っている。1年生では基礎的な内容を振り返りながら授業を進めていく必要がある。
- 英語の観点別正答率では、2年生でどの観点も区平均と同等であり、3年生では区平均を大きく上回った。2年生も会話力が高いので、今後「書く能力」を高めると向上が期待できる。
- 「勉強が好きだ」という生徒は区平均を超えているものの、4割程度にとどまっている。生徒の興味・関心・意欲を高めるような授業改善をし、5割を超えるようにする。

学校による学力向上への主な取り組み

- 1年生の通過率・平均正答率が区平均を下回っている。国語については、朝のA S Tの時間に読書を取り入れているが、さらに読んだ内容をまとめるような取り組みを取り入れ、読解力を高めていく。また、漢字コンテストを行い、漢字の読み書きがきちんとできるようにする。数学については、区学力調査正答率60%未満の生徒について放課後の補充教室を繰り返し行い、基礎的な計算力の定着を図った。
- 夏季休業期間にサマースクールを実施し、学力の補充を図る。1、2年生では区学力調査正答率60%未満、または前期中間考査40点未満の生徒を対象に数学と英語の2教科について実施する。3年生では、国語・社会・数学・理科・英語の5教科で補充教室を希望する生徒全員を対象に学習に取り組ませる。学年の教員全員が指導者となり、定期考査の得点が50点に満たない生徒の割合を20%未満にすることを目標として、基礎・基本の定着を図る。
- 「宿題がないときでも家で勉強をする」割合は7割になっているが、多くは1時間未満である。定期考査前の学習をきっかけとして、家庭での自学自習の習慣化を図る。原則テスト2週間前を家庭学習定着月間とする。担任が家庭学習記録表および生徒の自己申告により確認する。家庭学習が不十分な生徒に対しては、定期考査前の期間に放課後自主学習をさせる。
- 5教科で時期を決めて、基礎学力に関するコンクール形式のテストを行う。基礎学力の定着とともに学習意欲の向上がねらいである。基準に達していない生徒に対しては課題を課したり、A S Tで放課後学習をしたりする。
- 年度末に区学力調査の問題に取り組ませ、今年度学習したことが定着しているか確認する。基準に達していない生徒に対しては春季休業期間に課題を課す。

足立区立第四中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値 (H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率 (H30)	75.6	77.5	74.2	74.2	73.1	79.8	75.8	68.2	72.6	83.6	80.4
目標値 (H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率 (H29)	83.6	77.3	79.6	88.2	79.4	88.0	85.9	87.0	74.4	66.7	72.3
平均正答率 (H30)	73.9	74.8	69.8	72.9	79.6	75.2	72.3	64.5	73.5	72.7	75.3
平均正答率 (H29)	80.9	74.8	75.1	83.2	77.0	82.1	77.2	78.4	77.1	70.0	71.9

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

「学習定着度調査」分析結果

【全体】各教科の平均正答率がほぼ7割であり、概ね良好な結果であったが、問題の難易度や出題傾向の変化により昨年度より目標値・通過率ともに低下している。どのような傾向でも対応できる十分な力が定着していないことがうかがえる。数学は学校全体での重点的な取り組み項目であり、その成果が出ている。国語については、学校生活の中の日常の会話やいろいろな教科でのノートなどの文章の作成など、生活に密着した言語活動の指導をしていく必要がある。その指導を継続し、読み解く力や論理的な思考力を身に付けさせたい。

【1年】国語では10.9ポイント、数学では7.2ポイント、平均正答率が目標値を上回った。小学校での取り組みが定着している。学習に対する基本的な構え(よい姿勢で授業に取り組むこと。文字や数字を丁寧に書くことなど)などの指導を継続し、定着させ、授業に集中する態度や学習に意欲的に取り組む態度を身に付けさせ、自ら学ぶ姿勢を養っていく必要がある。

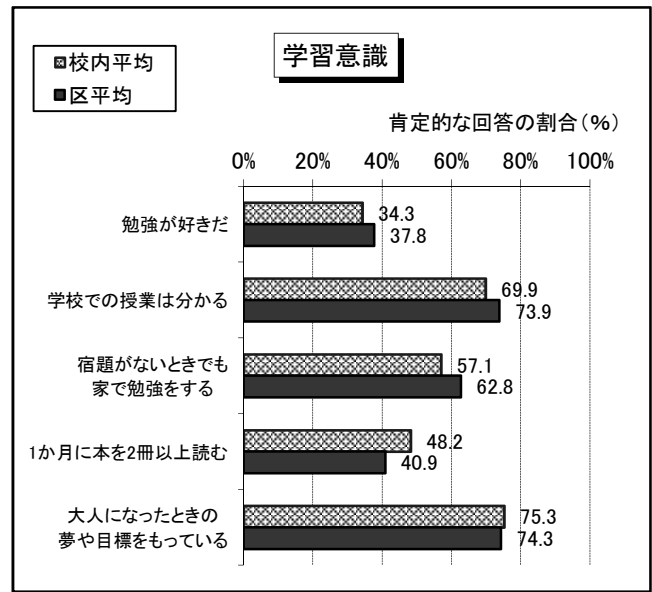
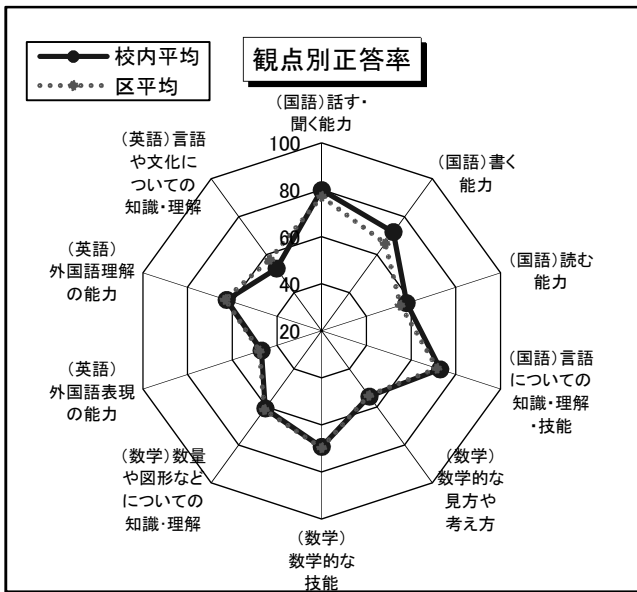
【2年】国語では11.6ポイント、数学では14.2ポイント、英語では9.4ポイント、平均正答率が目標値を上回った。特に数学は、学習ウィークなどの取り組みの成果が出てきている。さらに向上させるために、家庭学習を含む「自学」への取り組みの意識を向上させていく必要がある。

【3年】国語では10.8ポイント、数学では15.8ポイント、英語では14.7ポイント、平均正答率が目標値を上回った。数学、英語ではそれぞれ知識・理解の観点で正答率が高いことが特徴である。これは自主的な学習、授業での対話的な取り組みの成果と考える。集団として学習への取り組みの意欲や集中力をさらに高め、学習効果が向上するように指導を継続していく。

学校による学力向上への主な取り組み

- 朝学習、朝読書を実施し、落ち着いて授業に臨む姿勢を養っている。
- 「学習ウィーク」という取り組みで、朝学習の時間に既習事項の確認を行い、理解の不十分な生徒には学年体制で放課後補習を行っている。
- 教員や学習支援ボランティアによる学力補充を毎週行っている。
- 定期考査前や長期休業中に、補習教室や質問教室を実施し、基礎的な内容の定着を図っている。
- 生徒が授業や家庭学習に自主的に取り組めるよう、「学習の手引き」を配付している。
- 校内研修などを通して、授業改善に全職員が取り組んでいる。

足立区立第五中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値 (H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率 (H30)	67.0	59.0	50.0	65.7	73.1	76.4	54.2	51.4	60.4	52.2	48.9
目標値 (H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率 (H29)	75.9	59.5	62.2	90.8	71.1	74.7	52.1	60.6	65.7	57.6	63.6
平均正答率 (H30)	70.0	64.3	57.2	67.3	76.2	74.8	61.7	54.5	68.2	57.5	59.3
平均正答率 (H29)	77.1	64.2	68.3	85.6	74.2	75.0	58.1	66.8	72.5	62.4	69.7

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

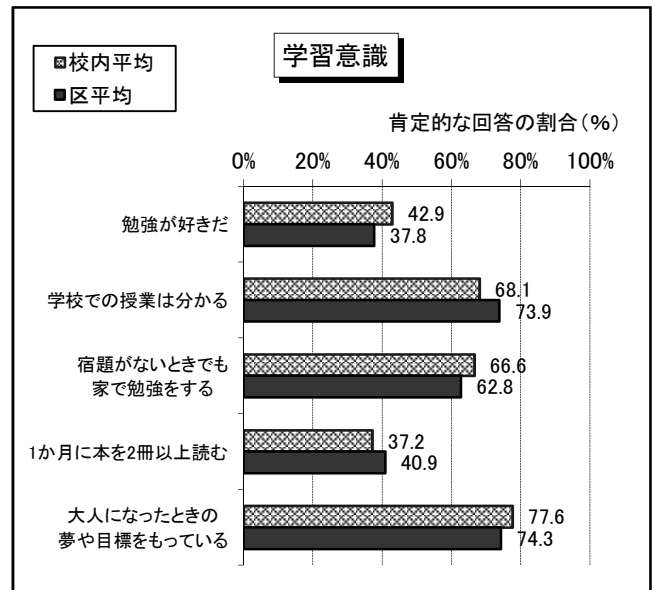
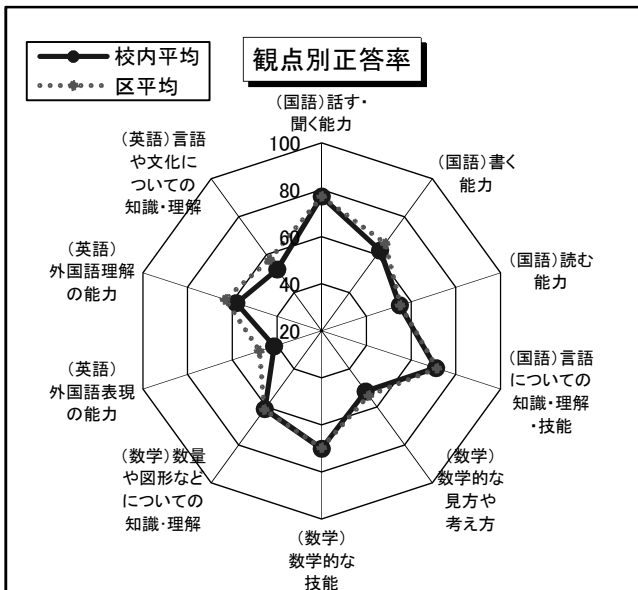
「学習定着度調査」分析結果

- 国語 観点別正答率ほどの観点も概ね良好であり、平均正答率は各学年とも区平均や全国値を上回っているが、昨年度と比べ平均正答率、通過率ともにほとんどの学年で下がってしまった。今後も基礎・基本の定着を図る授業を継続するとともに、生徒がより主体的に取り組む授業展開を目指していく。
- 数学 観点別正答率ほどの観点も区平均と同レベルであるが、「数学的な見方や考え方」が正答率60%を下回っており、向上すべき課題である。特に2年生の関数領域での正答率が低く、比例・反比例の関係について理解を深めさせることが課題である。今後も習熟度別少人数授業を活用して、基礎・基本の徹底を図るとともに、課題解決型の問題にも取り組み応用力の向上を図っていく。
- 英語 「外国語表現の能力」と「言語や文化についての知識・理解」の観点が正答率60%を下回っており、向上すべき課題である。特に、語形・語法を理解させることや英作文に力を入れていく。今後も少人数形態を活用し、表現活動を多く取り入れた授業に、より一層取り組んでいく。
- 学習意識 宿題の量が多いわりに、きちんと提出する生徒の割合は高いものの、「宿題がないときでも家で勉強をする」が区平均を下回っており、家庭学習の充実が課題である。本に親しみ読書が好きな生徒が多いので、今後も朝読書等を通して読書習慣を身に付けさせていく。

学校による学力向上への主な取り組み

- 足立スタンダードを基盤とした、すべての生徒が「分かる授業」の共通実践に取り組んでいる。
- 数学、英語においては、少人数授業を展開し、個に応じたきめ細かい指導を行っている。
- 基礎・基本の定着を図るために、国語、数学、英語は朝学習で課題別に小テストを行い、理解が不十分な生徒を対象に、放課後補充教室を行っている。
- 学習ボランティアを活用して、自主学習教室を毎週1回、金曜日の放課後に行っている。
- 国語、数学、英語、社会・理科の学習コンテストをそれぞれ年1回行い、事前・事後学習を充実させることで、基礎・基本の定着と学習意欲の向上を図っている。
- 夏季休業中に、全学年で7日間サマースクール(補充教室・質問教室)を開設し、特に1、2年生は数学特訓教室を設け、基礎・基本の定着を図っている。
- 漢字検定・英語検定を年3回、数学検定を年2回実施し、土曜スクールで模擬テストを行っている。
- 毎日2ページを課題とした家庭学習ノートを提出させ、自学自習の習慣付けに取り組んでいる。
- 教科ごとに連携した小中合同の研修会を年6回実施するとともに、校内では「分かる授業」を実践するため、副校長を中心に組織的にOJTに取り組み、授業力向上や指導法改善を図っている。

足立区立第六中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値(H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率(H30)	60.9	56.7	44.0	56.3	52.1	67.7	64.5	50.0	56.1	50.7	35.8
目標値(H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率(H29)	70.6	50.6	44.5	77.1	66.7	72.7	48.5	45.5	63.6	37.4	43.9
平均正答率(H30)	66.2	65.1	53.6	64.3	70.7	67.6	66.4	53.7	66.4	57.4	53.4
平均正答率(H29)	74.0	60.3	58.9	76.4	70.1	74.2	56.9	57.5	71.7	53.6	59.8

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

「学習定着度調査」分析結果

<国語> 2、3年生は区平均正答率との差が1ポイント程度で差はないが、1年生は2.9ポイント下回った。2、3年生は漢字の読み書きを繰り返し指導してきた成果があり、2年生は「漢字を書く」で区平均を2.0ポイント、3年生は「漢字を読む」で6.7ポイント上回った。また、3年生では「作文」の分野で区平均を3.8ポイント上回っている。書く取り組みを授業で取り入れている成果が表れたと考えられる。しかし、「文法・語句に関する知識」が区平均を2.7ポイント下回った。単純な暗記ではなく、意味を理解させ、活用の練習を行い、定着させることを授業で徹底していく。

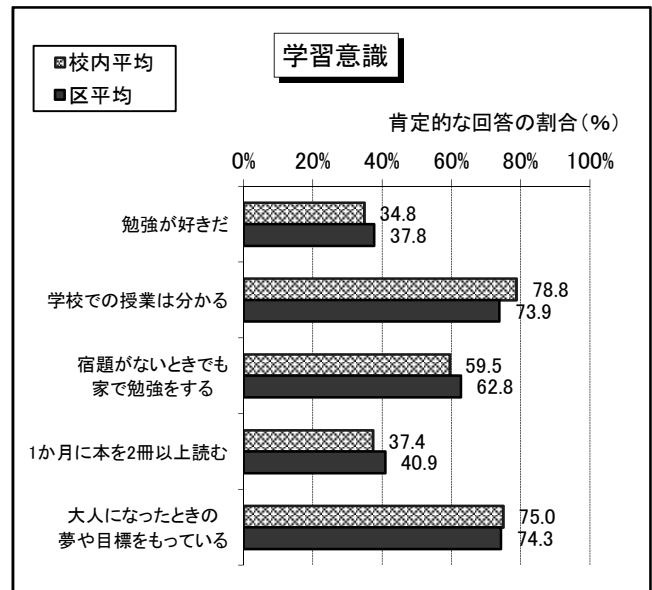
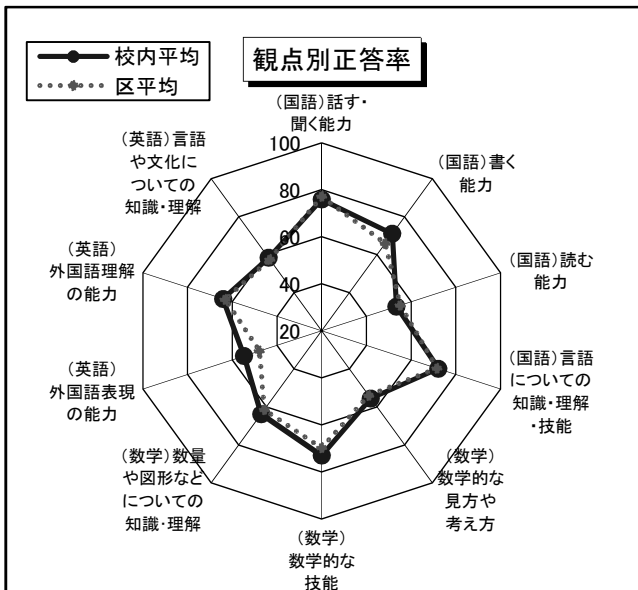
<数学> 全学年で通過率50%以上を達成し、2年生では昨年度と比べて16.0ポイント上がった。また、昨年度との比較において、平均正答率が1年生では0.6ポイント、2年では9.5ポイント、3年では3.8ポイント上昇していることから、着実に力を付けてきていることが分かる。区平均との比較では、2年生では3.8ポイント上回り、3年生は区平均と同率となったものの、1年生は5.0ポイント下回る。小学校段階での「小数・分数の計算」や「平面図形」が区平均との比較で約5ポイント低いことから、関連単元での授業時の復習を計画的に行っていく必要がある。

<英語> 2年生で3.3ポイント、3年生で7.1ポイント区平均正答率を下回っている。特に「外国語表現の能力」では6.6ポイント、「言語や文化についての知識・理解」では5.3ポイント区平均を下回っている。毎時間、「書くこと」をねらいとした小テストを継続し、さらに基礎的な知識・理解の定着を図るとともに、話したり書いたりする表現能力を高める計画的な学習を行う必要がある。

学校による学力向上への主な取り組み

- 数学科、英語科では、全学年で習熟度別少人数指導を取り入れ、個々の生徒の定着度に応じたきめ細かな指導を行っている。
- 毎日の朝学習(10分間)、週3回の放課後補充教室(40分間)を全教員による指導体制で実施している。特に、放課後の補習については、本校の課題である数学と英語を中心に実施している。学生ボランティアなどの支援を得ながら、一人ひとりの定着度に応じた個別指導を取り入れている。
- 英検、漢検、数検(校内で年3回程度実施)、校内コンテスト(漢字・計算・スペリング)を行い、目標をもって取り組む姿勢を大切にしている。コンテスト週間を設定し、全教員協力のもと、基礎・基本の徹底と学習意欲を高める環境づくりに取り組んでいる。
- 学習意識では「勉強が好きだ」「宿題がないときでも家で勉強をする」「大人になったときの夢や目標をもっている」で区平均を上回る。校内研修で教員の授業力を高め、分かる授業を追求していく。

足立区立第七中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値 (H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率 (H30)	63.7	63.2	54.7	68.0	60.2	59.0	76.2	48.4	64.9	51.8	61.4
目標値 (H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率 (H29)	69.0	58.4	57.1	72.0	64.0	65.0	53.8	63.2	69.9	56.9	51.2
平均正答率 (H30)	67.6	67.8	60.5	69.8	71.7	65.4	71.3	56.3	68.1	60.8	65.1
平均正答率 (H29)	73.6	64.5	63.8	74.7	71.2	71.3	59.2	66.1	74.9	62.6	61.7

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

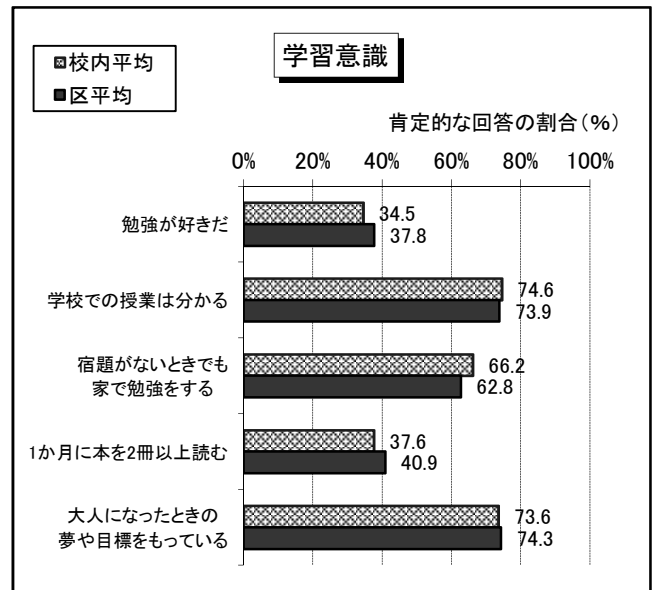
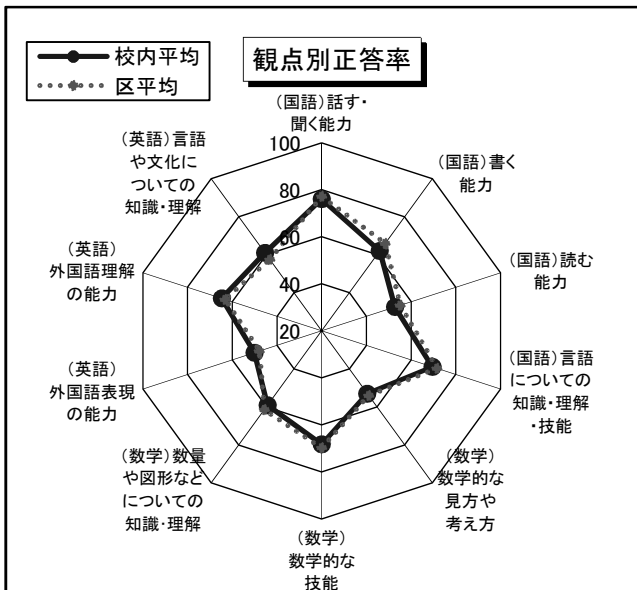
「学習定着度調査」分析結果

昨年度までの傾向として数学に課題があったので放課後補充教室やサマースクールで意図的に「数学特訓」を実施し集中して取り組んだ。平成27年度からの3年間のスパンで傾向を見ると、国語通過率55.4% (H27) →68.3% (H28) →69.0% (H29) →63.7% (H30) と4年間で8.3ポイントの上昇、数学通過率56.2% (H27) →57.6% (H28) →58.4% (H29) →63.2% (H30) と4年間で7.0ポイントの上昇、英語通過率40.8% (H27) →50.8% (H28) →57.1% (H29) →54.7% (H30) と4年間で13.9ポイントの上昇を示しており着実に成果が上がっている。特に今年度は数学の伸びが顕著に表れた。国数英3教科の平均値と比較しても通過率・正答率ともに区全体の平均値より数ポイント上回り、ほぼ区平均値と同じ値であった昨年度より向上している。観点別正答率のレーダーチャートでこれまで課題視された「外国語表現の能力」が今年度は区平均レベルを大きく上回っていることは「表現力」の育成に取り組んできた成果である。調査結果が上昇傾向にあることはうれしいことだが、安心することなく、より一層の授業改善を実践していく。

学校による学力向上への主な取り組み

- (1) 「読み解く力を付ける指導」の充実を図った。長文を粘り強く読み解くことを指導の重点とし指導体制を確立した。さらに漢字コンテストの時期には100題の漢字テストの合格点80題以上正解に向けて全員で取り組み、クリアできない生徒は放課後補充等で徹底的に練習させるなど、基礎学力を徹底させる内容にも活用できるようにした。スペリングコンテスト・計算コンテストも実施している。
- (2) 「放課後補充教室」等の通年の継続実施を推進した。「数学特訓」を学年教員全員で個別少人数指導体制をとっている。時間は20分程度に留め、生徒も教員も1年間粘り強く続けるように行っている。使用する教材開発等にも工夫した。平成28年度より、前年1年間の学習内容の確認テストを補充の時間に実施し得点の対比により成果検証を行っている。今年度の夏休みのサマースクールでは1年生は「数学特訓」、2年生は「数学特訓」「英語特訓」、3年生は「5教科特訓」を完全少人数制で実施し、事前テストと事後テストの得点の対比によりその成果を検証した。
- (3) 課題解決型の授業をさらに推進する。本校には教科指導専門員(数学・英語)が配置されている。教員は授業後指導を受けている。特に「課題解決型の授業展開の工夫」を盛り込んだ授業改善を行うよう教員の資質向上もあわせて推進していく。また、今年度も小中連携授業等で「課題解決型の授業展開の工夫」を実践し小中教員の参考となる授業づくりを深化させる。

足立区立第九中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値(H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率(H30)	57.4	54.7	54.8	53.9	57.3	65.1	57.2	61.4	53.7	49.7	48.6
目標値(H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率(H29)	69.0	60.0	65.7	74.1	68.8	73.0	59.2	67.8	60.0	52.3	63.6
平均正答率(H30)	64.6	63.7	60.7	63.6	72.7	66.8	63.3	62.0	63.5	55.0	59.4
平均正答率(H29)	73.7	65.2	66.4	76.9	71.9	72.9	63.0	65.8	71.5	60.8	67.1

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

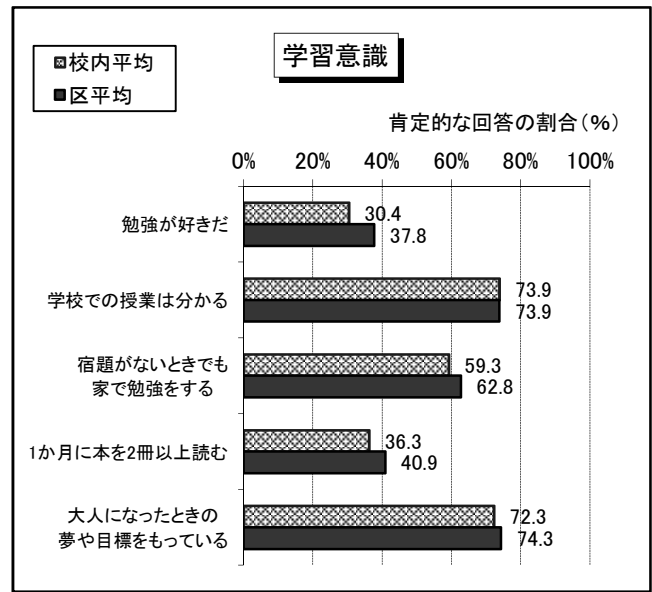
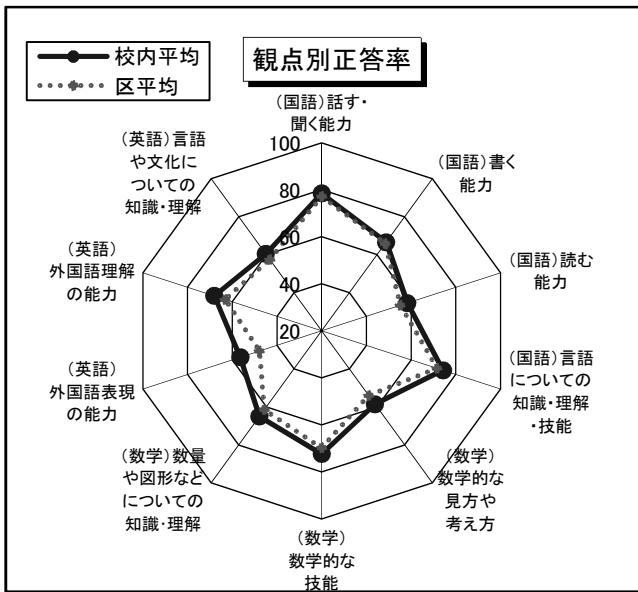
「学習定着度調査」分析結果

- 学校全体の通過率は、本校が目指している通過率65%を大きく下回った。第1学年においては、昨年度、2教科ともに70%前後の通過率であったが、今年度については、55%程度と入学当初から学力が低いことが分かる。第2学年においては、国語の通過率が65%を超えたが、数学については昨年度の同一集団比較で約10ポイント低下した。第3学年においては、通過率が3教科ともに大きく低下した。
- 平均正答率においては、全学年ともにほぼ全教科で目標値を超えている。しかし、第3学年の数学と英語で目標値を下回った。
- 観点別正答率においては、3教科のすべての観点において、ほぼ区平均と一致している。
- 学習意識調査においては、「学校での授業は分かる」「宿題がないときでも家で勉強をする」が区平均を上回ったが、「勉強が好きだ」や「大人になったときの夢や目標をもっている」及び「1か月に本を2冊以上読む」が区平均を下回っている。
- 平均正答率が目標値を上回っているが、通過率が低下している。基礎学力や進んで学習する生徒とそうでない生徒の二極化が見られる。

学校による学力向上への主な取り組み

- 国語では、朝学習や定期考査前後のプリント学習を通して漢字等の反復練習を行っている。その成果を検証するため、各学年とも教科コンテストや小テスト等を適宜行い、成績優秀者を発表するなどし、意欲の向上を図る。また、「読む能力」を高めるため、問題の真意をつかむための練習や読書活動等の工夫を継続的に行っていく。
- 数学では、朝学習で基本的な計算練習を行い、日々の授業でも定期的に課題を出し、小テストを繰り返し実施する。また、各学年とも教科コンテストを定期的に行い、基礎的な計算能力の向上を図っている。さらに、第1、3学年では少人数授業を実施し、習熟度に合わせて演習課題に取り組みさせていく。
- 英語では、テーマを決めた会話活動を行い、活動の最後にそのテーマについての英作文課題を出すなど、正確な英文を書く力の定着を図る。また、第1、2学年の復習として、基本文をペア活動で行う時間をつくり、コンテストなどでその成果を確認する。
- 生徒の主体的に学ぶ態度を育成するために、学ぶことの意味や学び方の指導を行うとともに、家庭との連携により学習習慣の確立を図っていく。

足立区立第十中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値(H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率(H30)	67.5	66.1	61.9	63.3	65.1	77.0	71.0	58.0	62.2	62.2	66.0
目標値(H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率(H29)	80.5	66.5	76.9	87.7	71.0	75.8	58.0	74.5	78.0	70.4	79.2
平均正答率(H30)	69.3	68.5	63.7	67.9	75.7	73.7	67.6	60.3	66.2	61.8	67.2
平均正答率(H29)	78.4	69.0	73.7	82.4	72.8	75.3	63.0	69.8	77.3	70.9	77.6

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

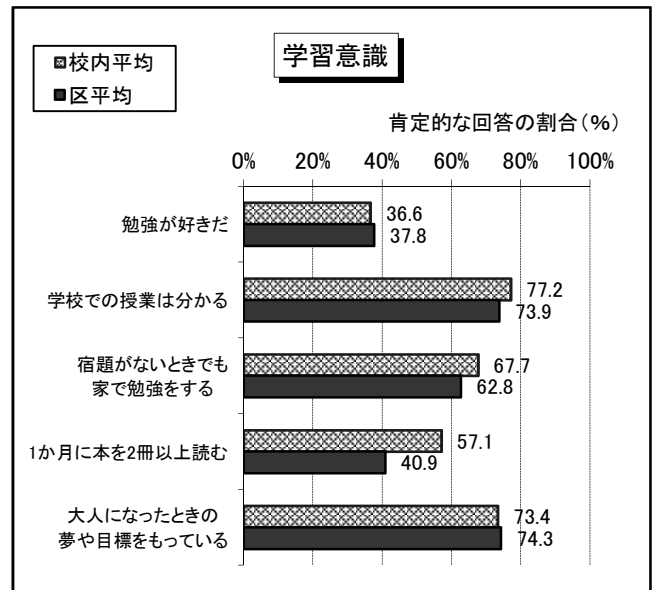
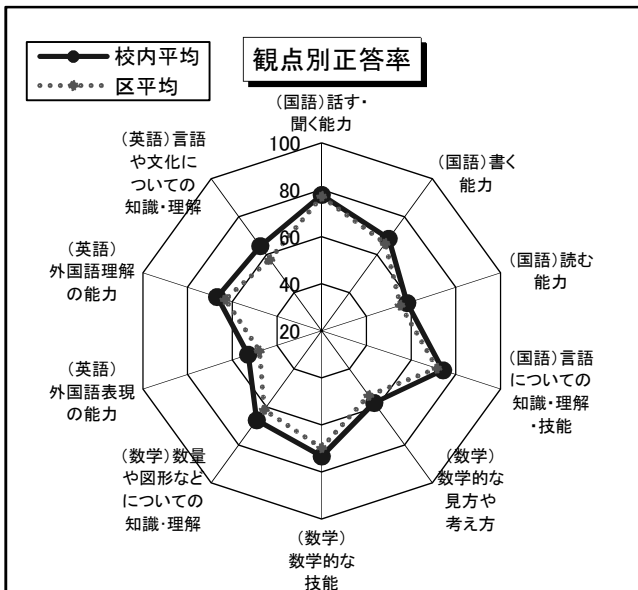
「学習定着度調査」分析結果

- 各教科の観点別正答率は、すべてにおいて区平均を上回っているが、学年によっては区平均を下回る観点があった。学年・教科別では、平均正答率は昨年度をほぼ下回っているにもかかわらず、区平均を上回っているのは、全体的に問題の難易度が高い傾向にあったと考えられる。
- 国語：学校全体の正答率は各観点で区平均より高い。しかし、学年別に見ると3年生の「書く能力」が区平均より5ポイント近く下回る。問題の難易度にも関係するが、今年度の1年生の通過率は、昨年度の1年生と比べると24.4ポイントも下回る。基礎の定着が低い。
- 数学：学校全体の平均正答率は各観点で区平均より高く、通過率も現状を維持できている。今年度の1年生は、数学では昨年度の平均正答率を上回っている。計算の基礎は定着していると考えられる。2年生の通過率は昨年度1年生の時と同率、3年生の通過率は昨年度2年生の時を4.2ポイント上回っている。習熟度別授業を中心とした日頃の積み重ねの学習成果が上がっている。
- 英語：昨年度に比べ2、3年生とも正答率が10ポイント程度低い。両学年とも、目標値が下がっているにもかかわらず通過率は15ポイント程度下回っている。英語力全体の底上げが必要である。観点別では区平均よりも全体的に高いが英語の表現力を高めていくことが課題となる。
- 学習意識：各項目とも区平均より低い傾向がある。将来の目標をもって、家庭学習(読書活動)を充実できるように啓発していくことが課題である。

学校による学力向上への主な取り組み

- 英語・数学の少人数指導で習熟度別によるグループ分けを同様に行い、個に応じた授業を実施する。
- 朝学習(10分間)で集中して取り組ませることを徹底し、基礎的な学力の定着と学習に向かう気持ちをつくる。朝学習のまとめテストを定期的実施し、目標点の80%に達するまで繰り返し指導する。
- 放課後の20分間の補充学習を行っている。生徒を数名抽出し、個に応じた指導を行い、他の生徒は別の課題を与え学習に取り組ませている。原則5日間実施し、基礎学力の定着を図る。
- 夏季休業中の最初の7日間、補充教室(サマースクール・数学特訓)を実施する。生徒は抽出で行い、基礎・基本に取り組むグループ、難易度の高い課題に取り組む発展グループを併設して実施する。
- 休み時間に教員が廊下・教室で生徒を見守り、声かけを行い、授業規律の徹底を全校体制で図る。
- 「毎日の記録」の提出・点検、定期考査前の学習計画書の作成指導により家庭学習習慣の定着を図る。
- 各種コンテスト(漢字・計算・スペリング)を年2回実施し基礎学力の定着を図る。
- 全校英語スピーチ集会(Welcome to Tokyo)の取り組みによる「英語表現能力」の育成を図る。

足立区立第十一中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値 (H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率 (H30)	67.5	66.0	61.6	68.4	71.5	71.6	69.7	60.2	62.7	57.6	63.0
目標値 (H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率 (H29)	76.2	60.9	62.0	81.3	69.9	74.2	61.0	71.4	72.6	50.8	51.8
平均正答率 (H30)	69.5	69.2	63.6	69.4	77.9	72.4	70.1	62.6	66.8	60.6	64.6
平均正答率 (H29)	76.9	66.5	65.2	79.5	74.5	75.4	63.5	68.2	75.7	60.9	62.0

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

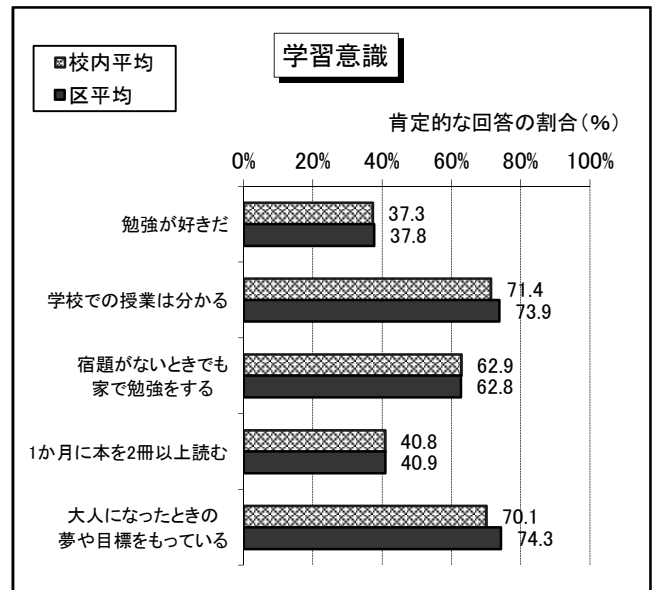
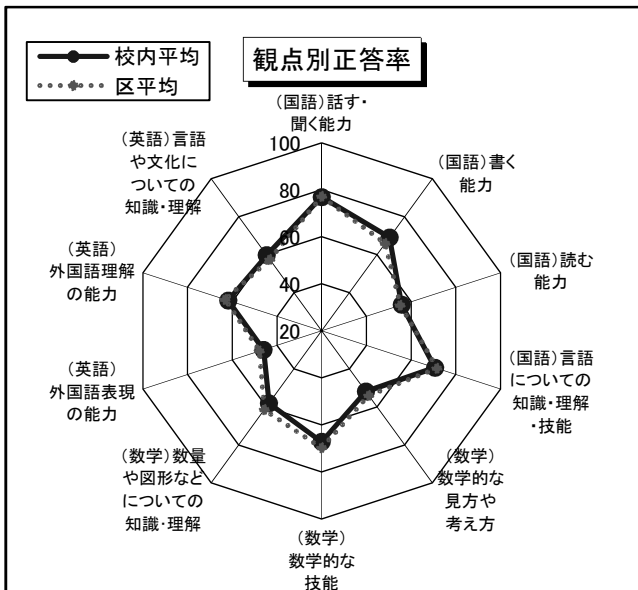
「学習定着度調査」分析結果

- 校内平均通過率は65.0%で、昨年度比1.4ポイント下回ったが、区平均通過率を6.7ポイント上回り、区平均との差は昨年度比で2.6ポイント上昇した。校内平均正答率は67.5%で、昨年度比で2.0ポイント下回ったが、区平均正答率は3.9ポイント上回り、区平均との差は昨年度比で1.9ポイント上昇した。
- 学習意識の結果では、読書量、家庭学習、「学校での授業は分かる」が区平均を上回った。昨年度に比べると、「学校での授業は分かる」が2.7ポイント上昇した。
- 国語 平均正答率69.5%、校内通過率67.5%である。全学年で、区平均通過率、区平均正答率を上回った。観点別正答率も全項目で校内平均が区平均を上回った。
- 数学 平均正答率69.2%、校内通過率66.0%である。全学年で、区平均通過率、区平均正答率を上回った。観点別正答率も全項目で校内平均が区平均を上回った。特に、校内通過率は昨年度比5.1ポイント上昇した。
- 英語 平均正答率63.6%、校内通過率61.6%である。全学年で、区平均通過率、区平均正答率を上回った。観点別正答率も全項目で校内平均が区平均を上回った。

学校による学力向上への主な取り組み

- 全学年朝読書に取り組み、年間30冊以上、3年間で100冊以上の本を読むことを目標にした読書活動を実施する。
- 数学は2、3年生で、生徒の理解や習熟の程度等に応じて指導を行う少人数授業を実施する。
- 漢字検定、英語検定、数学検定や校内コンテスト、単元テストを計画的に実施し、基礎学力の定着と、応用・発展学習の充実を図る。
- 学習につまずいている生徒を対象に放課後の補習学習を行う。また、夏季休業中に、基礎学力の定着を目的とした全学年7日間のサマースクールを行う。特に、1年生の数学・英語は、既習内容でつまづきのある生徒を対象に、指導者1名に対して生徒1、2名の個別指導を行う。
- 毎月1回、土曜日に自学自習の勉強の場として学習支援ボランティアを活用した「サタデースクール」を実施する。
- 家庭学習習慣を定着させるため、生徒全員に家庭学習ノートを用意させ、最低でも1時間の家庭学習をするよう個別指導と点検を実施する。
- 小中連携事業で、「主体的、対話的で深い学びを導く授業の工夫」をテーマに研修し、授業力の向上を図る。

足立区立第十二中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値 (H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率 (H30)	66.8	55.7	51.0	72.8	69.6	73.2	47.1	53.7	53.8	52.1	47.9
目標値 (H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率 (H29)	70.4	54.0	53.9	85.0	77.9	70.2	41.9	54.8	53.7	38.8	52.9
平均正答率 (H30)	67.6	62.1	58.2	70.2	78.8	69.9	54.9	57.0	62.4	54.3	59.6
平均正答率 (H29)	73.6	61.5	62.9	81.5	75.2	70.7	54.4	63.1	67.2	53.1	62.8

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

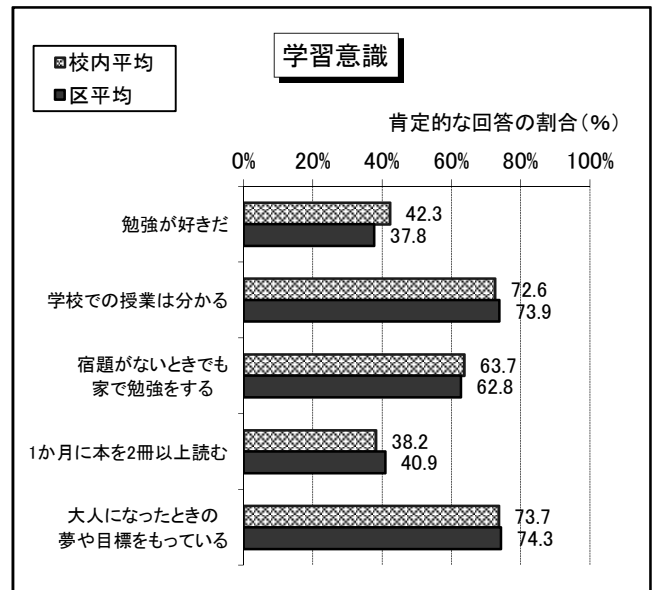
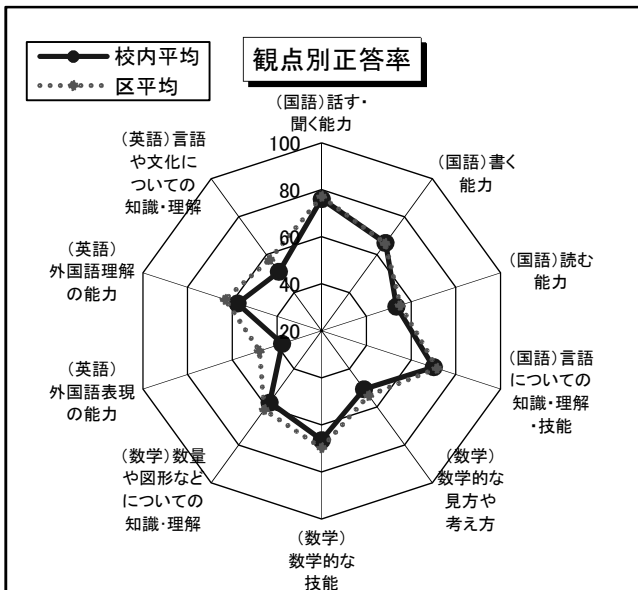
「学習定着度調査」分析結果

- 国語 昨年度と比較すると、通過率は1学年で約12ポイント低下し、2学年で3.0ポイント、3学年が若干上昇したが、平均正答率は各学年とも下がっている。観点別正答率は3観点で区平均と同程度であるが、1学年で全観点、2学年で3観点で区平均を上回っている。全体として概ね改善傾向にあり、3学年での学習意欲の維持のために指導方法を工夫し、読書に親しむ指導もさらに力を入れていく。
- 数学 学校全体では、昨年度より若干ではあるが通過率の上昇が見られた。特に3学年は昨年度と比べて10ポイント以上通過率が上昇した。また、観点別に見ると、昨年度同様、「数学的な見方や考え方」が低くなっている。通常の授業の中で「数学的な見方や考え方」を伸ばすことを心がけたい。
- 英語 昨年度に比べて2、3年生ともに通過率が下がり、特に3年生は5.0ポイント下がっている。「外国語理解の能力」で、3年生は3.5ポイント区平均を下回っているものの、逆に「言語や文化についての知識・理解」では3.1ポイント上回っており、「外国語表現の能力」でも若干上回っていることから、区平均程度の結果と思われる。2年生は「外国語表現の能力」で区平均を4.5ポイント下回っているものの、他項目では上回っており、表現力を高める指導を行うことで改善が期待される。

学校による学力向上への主な取り組み

- 学力向上委員会で家庭学習・補充学習・学習コンテストの実施方法や改善策を検討し、学力向上へとつながるような環境づくりを行っている。
- 3年生の「宿題がないときでも家で勉強をする」の項目が8ポイント以上区平均より低く、自分から学習することが少ない生徒が多い。昨年度から始まった、全校体制の家庭学習ノートの取り組みの成果か、同項目の1、2年生の割合は区平均を超えている。来年度は始めてから3年目となるので、定着が期待される。
- 3教科(国・数・英)の学習コンテストを年にそれぞれ一度ずつ行い、家庭学習及び、朝や放課後の時間を使って生徒の学習意欲を高めるよう努めている。
- サマースクールを行い、それまでの基礎・基本の定着が不十分な生徒の指導に全教員で協力して指導にあたっている。
- 学力調査プレテストを行い、十分習得できていない分野の確認と復習を行わせた。
- 開かれた学校づくり協議会と連携し、毎土曜日にサタデースクールを実施、基礎・基本の定着を図っている。
- 英検・漢検・数検など、各学習検定の受検を積極的に奨励している。

足立区立第十三中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値 (H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率 (H30)	61.8	51.8	41.5	63.4	59.9	67.0	49.0	38.7	54.5	48.0	44.6
目標値 (H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率 (H29)	68.5	52.2	43.0	76.2	59.9	61.5	51.9	42.8	67.0	43.8	43.2
平均正答率 (H30)	66.2	61.2	51.8	66.0	74.2	68.3	58.0	47.7	63.7	53.9	56.4
平均正答率 (H29)	73.7	61.7	56.6	77.6	70.0	70.1	57.4	55.2	72.9	57.0	58.0

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

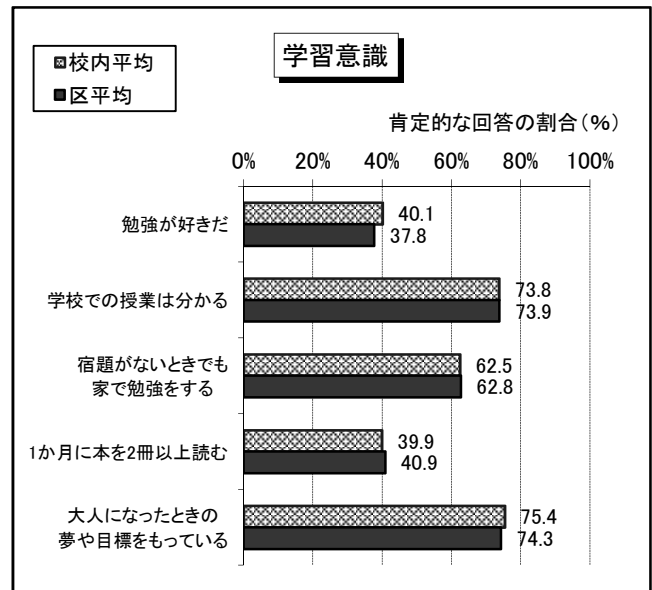
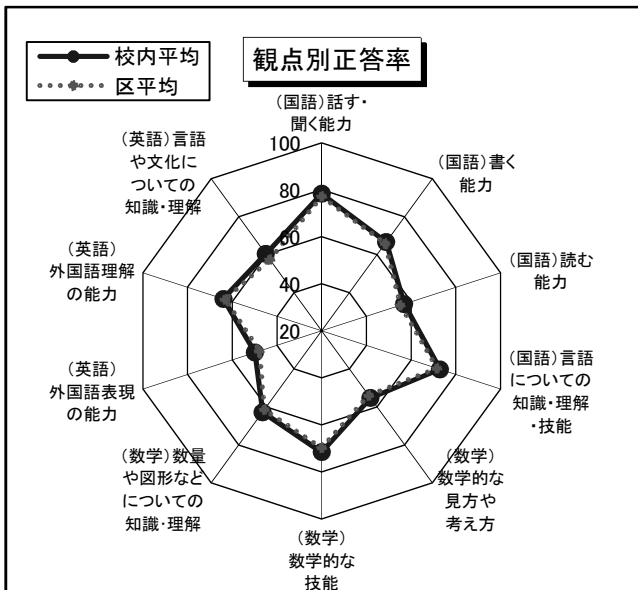
「学習定着度調査」分析結果

- 国語… 2、3年生については、アクティブ・ラーニングを活用した授業を実施したが、結果に結び付かず同一集団比較で前学年時と比べ通過率は7～9ポイント程度低下している。また、1、3年生の漢字の読み取りと2年生の活用の数値が低い。模写の活動を通じて文章力・語彙力を向上させ、培った表現力をグループ学習でアウトプットさせていくことが課題克服のための取り組みとして必要である。
- 数学… 2、3年生ともに平均正答率が目標値に届いていない。3年生は同一集団比較で前学年時より通過率が3.9ポイント低く、「数学への関心・意欲・態度」の値も目標値より10ポイント以上低い。また、「数学的な見方や考え方」についても7ポイント以上低い。生徒の意欲・関心が高まるような分かる授業を展開していくことが必要である。また、基礎的な用語等の理解を深めさせ、文章題に対応できる力を身に付けさせる必要がある。
- 英語… 3年生の通過率は昨年度より若干上がっているものの、平均正答率は2、3年ともに目標値に4～7ポイント程度届いていない。また、英語を書くような活用問題の正答率は2、3年ともに低くなっている。知識を習得させるだけでなく、活用できる力を身に付けさせるべく、授業の振り返りの場面等で書くことの取り組みに力を入れていく必要がある。

学校による学力向上への主な取り組み

- 足立スタンダードに基づいた分かる授業の確立を目指して、小中連携を軸とした授業研究、各種学力調査の分析、生徒授業アンケートの結果分析等による授業改善の取り組みを進めている。
- 放課後補充教室を有効活用し、基礎・基本の定着、学び残しの解消に努めるとともに、サマースクール等の長期休業中の補習教室を7日間以上実施している。
- 定期考査前に、学習計画への助言・支援、特別補習や質問教室を実施している。定期考査後には再テストややり直し支援を行うことで基礎学力の定着を図っている。
- 朝学習・朝読書に集中させることにより、落ち着いて授業に臨める環境づくりに努めている。朝学習と放課後補充教室をリンクさせた取り組みを実施している。
- 家庭学習の習慣化を図るため、「自習ノート」「デイリーノート」を活用して生徒個々への支援を行うとともに、保護者への啓発に努めている。
- 国・数・英を中心に各種コンテストやまとめテストを実施し、全員合格を目指した取り組みを行っている。
- 漢字検定等の各種検定の受検を奨励し、発展的な学習への動機付けを行っている。

足立区立第十四中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値 (H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率 (H30)	65.8	62.0	55.0	69.7	69.7	65.5	62.9	57.4	62.6	54.5	52.5
目標値 (H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率 (H29)	74.8	64.3	54.5	84.2	79.3	69.9	57.2	57.6	69.9	56.0	51.4
平均正答率 (H30)	68.2	66.1	60.5	70.1	77.3	68.3	65.1	59.6	66.6	57.4	61.4
平均正答率 (H29)	76.3	67.6	61.7	81.5	77.0	73.4	61.6	61.6	73.8	63.7	61.7

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

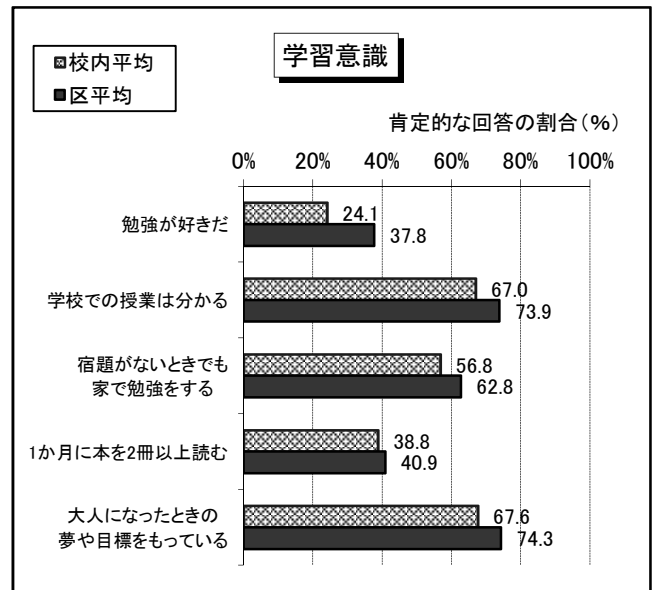
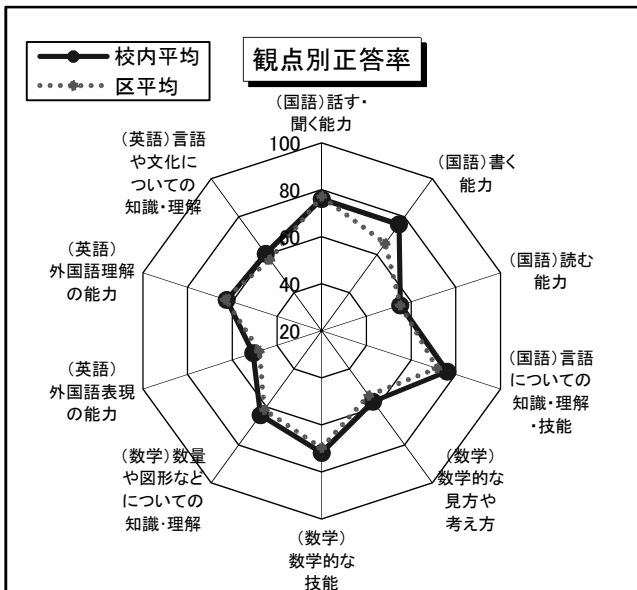
「学習定着度調査」分析結果

- [国語] 1年生は、すべての領域で目標値を上回っている。特に「書くこと」の領域では、15.8ポイント上回っている。2年生もすべての領域で目標値を上回っており、特に「書くこと」の領域については、7.4ポイント上回っている。大問6の記述問題の意図が分かりづらいにもかかわらず、数値が上回っているのは日頃の授業での「書くこと」の指導によるところが大きい。3年生も1、2年生と同様に、すべての領域で目標値を上回っており、特に、「書くこと」の領域については、10.6ポイントと大幅に上回っている。
- [数学] 全学年ともに、全体的には目標値を上回っているが、領域によって課題が見られる。1年生は「合同な三角形」の正答率が、9.8ポイント目標値を下回っている。2年生は「絶対値と整数」が8.9ポイント、「関数の応用問題」が6.9ポイント、それぞれ目標値を下回っている。3年生は「連立方程式の立式」「記述式の証明」「1次関数」の問題で正答率が目標値を下回っている。
- [英語] 2年生は、「語形・語法の知識・理解」のみ、1.4ポイント目標値を下回ったが、その他の領域では、2.1~13.1ポイント目標値を上回っている。語形・語法については、さらに注意深く継続して指導する必要がある。3年生は、全体的に目標値は上回ったものの、通過率は国語や数学に比べ低く、定着が十分でない生徒も多いため、さらなる基礎・基本の定着が必要である。一方、「単語の並べ替えによる英作文」では正答率が目標値を10.2ポイント、「リスニング」や「語形・語法の知識・理解」「語彙の知識・理解」では、正答率が目標値を1.2~3.8ポイント上回っており、授業内外の取り組みの成果が見られる。今後は、「読解力」や「作文力」の基礎学力の一層の定着を目指していく。

学校による学力向上への主な取り組み

- ① 定期考査前や放課後の補充教室、サマースクール等で、基礎的・基本的な内容について定着を図る。また、質問教室を充実させ、分からない問題を分からせるまで指導を行う。
- ② 漢字・英単語・計算コンテストを実施し、語彙力・計算力の向上を図る。
- ③ 家庭学習の習慣を定着させるために、自学自習の指導を徹底する。
- ④ 小中連携教育の充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業を推進する。
- ⑤ 足立スタンダードの徹底を図るとともに、授業改善のスタイルを推進する。特に、めあての提示やまとめの充実を視覚化し、学校全体で共通実践を行う。
- ⑥ 朝学習の取り組みとして、5教科の演習問題に取り組みせ、基礎的・基本的な内容の定着を図る。
- ⑦ 教科部会を定期的に行い、進捗状況の確認や教員同士の授業改善の取り組みなどについて話し合い、授業への還元を図る。
- ⑧ 英語検定、数学検定、漢字検定を、年3回ずつ、校内で実施する。

足立区立江南中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値 (H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率 (H30)	73.1	62.2	51.7	75.0	81.3	85.4	78.0	77.5	60.9	34.8	29.8
目標値 (H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率 (H29)	75.0	47.4	50.7	90.2	70.7	69.6	30.4	54.3	62.1	41.4	44.8
平均正答率 (H30)	70.4	66.0	59.2	71.7	82.1	74.7	69.3	68.7	65.5	51.7	51.2
平均正答率 (H29)	74.9	60.4	60.2	80.2	74.0	72.5	51.6	56.7	71.2	55.2	65.7

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

「学習定着度調査」分析結果

国語は、2、3年生は無解答率が低いが、1年生は高い設問が多少ある。3学年とも30%未満の生徒は少ないが、60%未満は1年生で20%以上、3年生は30%以上いる。3学年とも説明文の読解が課題である。3年生は基礎的な漢字の間違いも目立った。また、段落の場面の分け方が苦手である。2年生は説明文の読解の中でも、段落の役割、文章の表現が弱い。1年生は活用的な問題が弱い。

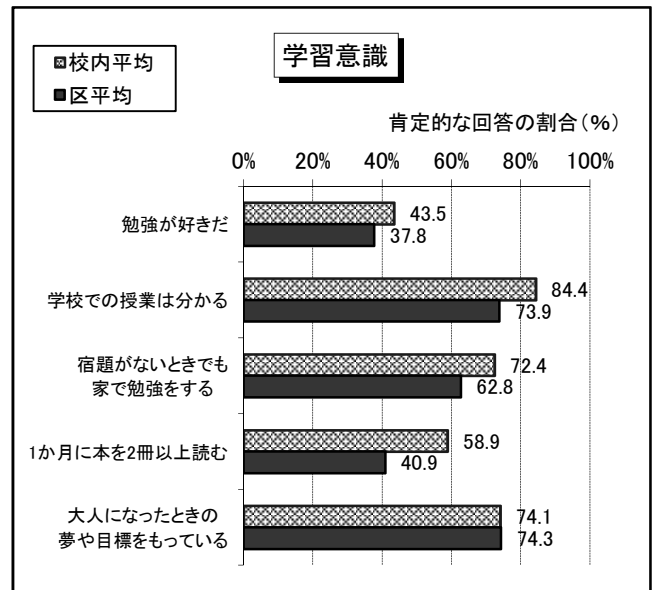
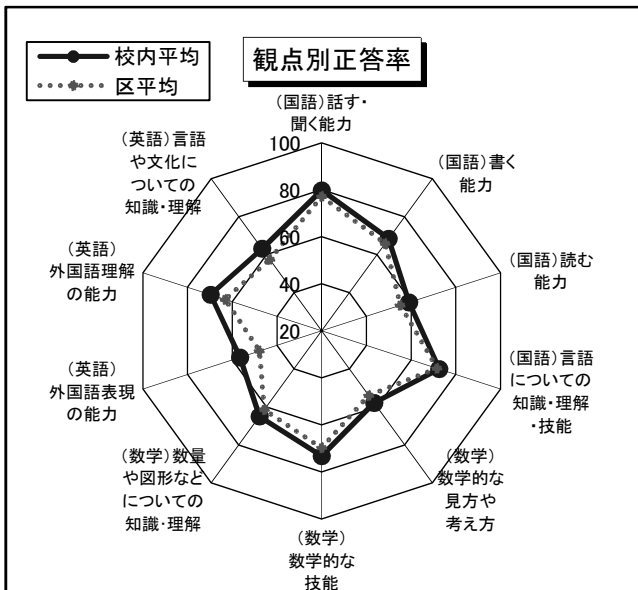
数学は、正答率50%未満の生徒が、1年生6%、2年生20%、3年生50%程度である。1年生は算数、2年生は前年度の既習事項の基礎・基本の定着が課題である。3年生の正答率50%未満の生徒が50%以上いることは深刻な状況である。3年生は前年度の既習事項の基礎・基本の定着のみならず、その前段階として、学習に取り組む姿勢の改善とモチベーションの向上も課題である。また1、2年生の正答率の高い生徒をさらに伸ばすことも課題である。

英語は、3年生は正答率60%未満の生徒が70.2%おり、大半の生徒の理解が不十分であることが分かった。2年生は正答率60%未満の生徒が27.5%おり、理解が不十分な生徒がいることが分かった。3年生は正しい語順で英文を書くことができない生徒が多く、2、3年生全体を見ると単語を正しいスペルで書くこと、自由英作文が課題である。

学校による学力向上への主な取り組み

- 朝読書 毎朝10分間読書に取り組み、出てきた言葉を記録し、その言葉を使って作文を書かせたり、新聞を活用したりして、語彙力や読解力の向上を図り、言語活動の充実に生かす。
- 放課後補充教室 ①区調査・学力考査の結果がよくなかった項目について、(月曜日)全生徒に小テストに取り組みさせる。(火～金曜日)不合格だった生徒に解き方を説明して、できなかった問題や類似問題に取り組みさせる。第2週も同様の流れでつまづきを解消して確実に定着させる。
②定期考査前やコンテスト前には全校生徒を対象に演習に取り組みさせる。
- サマースクール (7月)前半期の内容のつまづきを解消するために、少人数指導のもと問題の解き直しや理解が完全でない内容の補充問題を行う。1年生は数学の特訓授業を行う。(8月)前期期末考査に向けた学習をさせる。また夏季休業中の課題が終了していない生徒は取り組みさせる。
- 家庭学習 家庭学習ノートを使って、その日の授業でできなかったことを学習する習慣を付ける。担任が毎日チェックする。
- スモールステップ学力確認テスト 1年生を中心に全教科で指導内容の切りのよいところで1～2週間に1回程度確認テストを行い、学力定着を図るとともに、教員が学力定着状況を把握する。

足立区立新田中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値 (H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率 (H30)	67.7	63.4	62.5	69.1	65.8	62.8	59.0	56.4	72.1	65.9	69.8
目標値 (H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率 (H29)	76.5	63.5	74.2	83.8	65.6	77.3	64.3	76.0	63.0	58.7	71.7
平均正答率 (H30)	69.1	68.9	64.8	69.4	77.3	66.9	64.5	60.1	71.6	64.5	70.5
平均正答率 (H29)	76.5	67.7	71.2	77.5	71.7	77.4	66.0	70.4	73.5	63.4	72.4

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

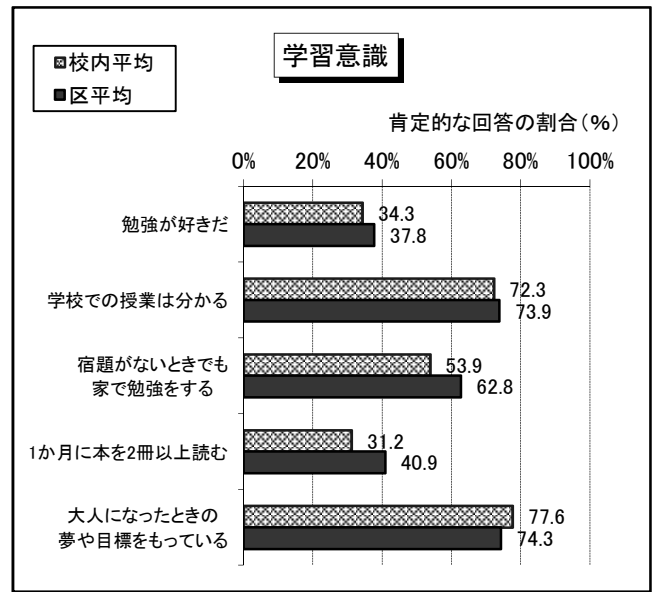
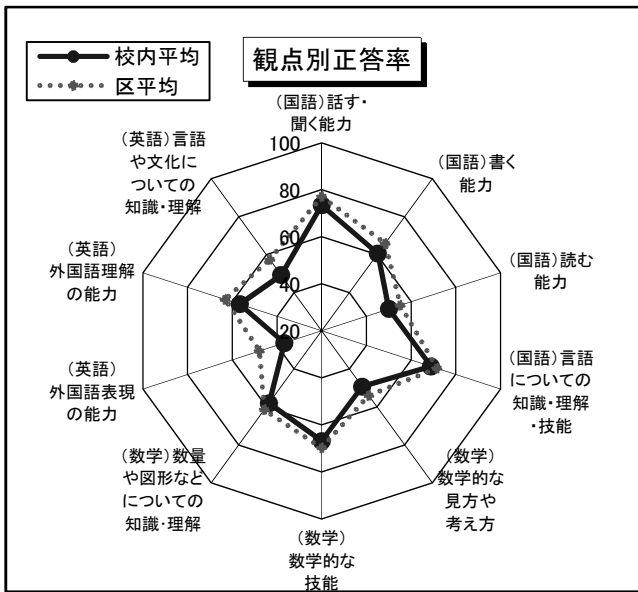
「学習定着度調査」分析結果

- 平均正答率は、すべての学年及び教科において目標値を上回った。今回、特に3年生の数学については、昨年度より通過率が上昇している。学校全体では数学については通過率はほぼ横ばいであるが、国語と英語は課題を残した結果となった。
- 国語科では、特に2年生が昨年度との同一集団比較では通過率で21.0ポイント、3年生についても5.2ポイント下げた。原因として、特に、読解問題での理解力不足が見られた。今後、誤答分析を行い、ねらいを明確にした授業展開を図るとともに、放課後等に個々に応じた支援を行う。
- 数学科では、2年生は昨年度との同一集団比較では通過率で6.6ポイント下げ、3年生は1.6ポイント上昇した。また、1年生については、通過率は昨年度との比較では、ほぼ横ばいであった。さらに生徒の活動や思考の時間をとり、1年次より、計画的に補充教室等で弱点対策を取り入れた授業展開を行う。
- 英語科では、2、3年生とも区平均正答率を上回っているが、3年生では昨年度との同一集団比較で通過率を6.2ポイント下げた。また、2年生においては、通過率が56.4%となった原因として、読解が苦手な傾向が見られた。今後、授業の工夫・改善を図るとともに個に応じた指導を徹底する。
- 学習意識調査では、朝の読書の取り組みもあり、読書への意識は高い。

学校による学力向上への主な取り組み

- 小中一貫校として、9年間の学習の継続性を視点とした計画を立て、実践する。
- 英語科において全学年で習熟度別少人数指導を行い、生徒の現状把握に努めるとともに、個に応じた指導を行う。
- 数学科・英語科で教科指導専門員に授業を参観していただき、指導方法の工夫・改善に向けた指導を継続的に実施する。
- 読書週間や推薦図書を紹介等、読書の習慣化を図る。
- 各教科の授業力の向上を目指し、校内研修の充実を図るとともに、日常的に教員相互の授業観察ができるようにOJTの推進を図る。

足立区立鹿浜菜の花中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値 (H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率 (H30)	53.5	54.4	38.8	63.9	64.5	49.6	47.3	44.3	47.0	50.6	34.5
目標値 (H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率 (H29)	64.5	47.0	42.5	81.8	71.2	63.8	38.7	47.9	50.3	34.9	36.8
平均正答率 (H30)	63.2	62.1	50.9	67.4	76.0	60.5	55.2	50.6	61.4	54.5	51.1
平均正答率 (H29)	71.2	56.6	55.0	79.7	72.6	69.8	51.2	57.2	65.5	48.3	52.5

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

「学習定着度調査」分析結果

○通過率から見た分析結果

通過率の経年変化を見ると、同一集団 (H29年度1年=H30年度2年、H29年度2年=H30年度3年) において、国語、英語は各学年とも低下が見られた。しかし数学については、H29年度1年は低下したものの、H29年度2年は38.7%であったのに対し、H30年度3年は50.6%と、10ポイント以上の上昇が見られた。昨年度より数学の学力向上に力を入れてきた成果が表れたといえる。

○平均正答率から見た分析結果

平均正答率の経年変化を見ると、同一集団 (同上) において、国語、英語においては低下しているのに対し、数学はH29年度2年51.2%からH30年度3年54.5%と3ポイント以上の上昇が見られた。異集団比較 (H29年度とH30年度の同学年) をしても、数学については全学年において上昇している。数学に関しては確実に学力が向上していると分析できる。

○総合的に

全体的に数学については取り組みの成果が表れている。一方、国語、英語については中学校で身に付けるべき学力が十分に身に付いていないことが課題である。

学校による学力向上への主な取り組み

○本校学力向上アクションプランに基づき、以下の取り組みを実施している。

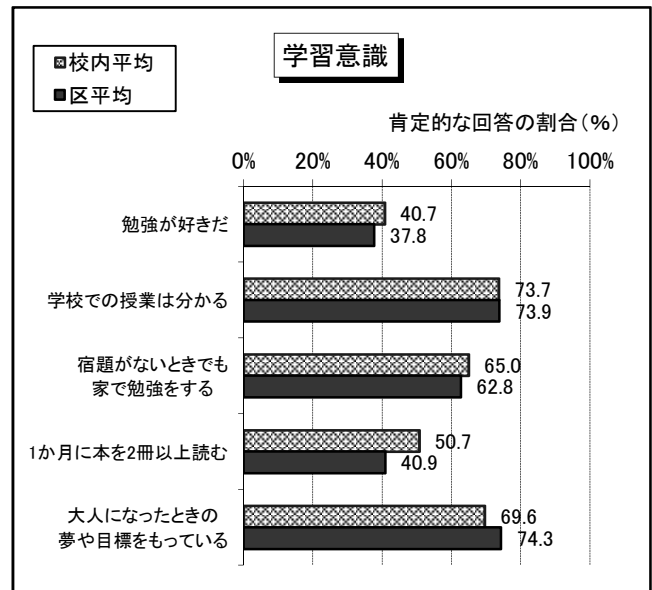
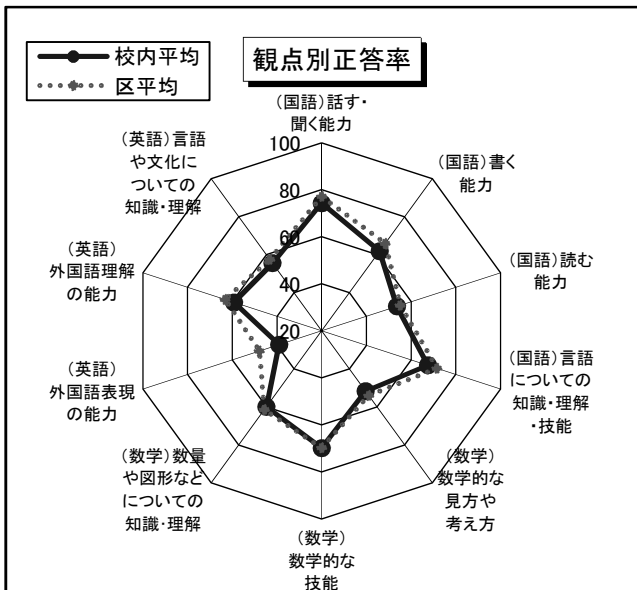
★鹿浜菜の花タイム：朝学習まとめテストや学習コンテストで目標に達しなかった生徒を対象に、個に応じた指導や学び合いを通して、つまずきの原因を解決し、各々の学習目標達成を目指す。

★全校朝学習：国語・社会・数学・理科・英語について始業前の10分間学習を実施。

★サマースクール：前学年及び夏季休業までの学習内容の補充を行う。サマースクール開始前にプレテストを実施し、個々のつまずきや基礎学力の定着度を把握する。解けなかった問題を中心に補充学習を行い克服を図る。サマースクール終了後には確認テストを行い、学習内容の定着を確かめる。

★家庭学習の充実：自学自習の習慣化を目指し取り組み内容の工夫・充実を図るため、学習ノートを使用することを基本とする。実践例などを紹介し、取り組みの見通しをもつためのガイダンスを行う。生徒は登校時にノートを提出し、教員が内容の点検を行う。生徒の実態に応じて、副教材以外の問題集への取り組みも認める。

足立区立東島根中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値 (H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率 (H30)	56.0	61.6	47.8	61.7	76.6	58.9	54.7	39.6	46.4	49.5	56.7
目標値 (H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率 (H29)	69.1	48.8	52.8	78.4	58.6	68.4	50.0	62.2	57.3	34.1	41.5
平均正答率 (H30)	64.1	65.5	54.1	66.9	78.4	64.8	59.7	48.4	60.0	54.9	60.4
平均正答率 (H29)	73.3	60.8	59.9	77.9	70.6	70.8	58.5	61.5	70.1	50.3	58.0

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

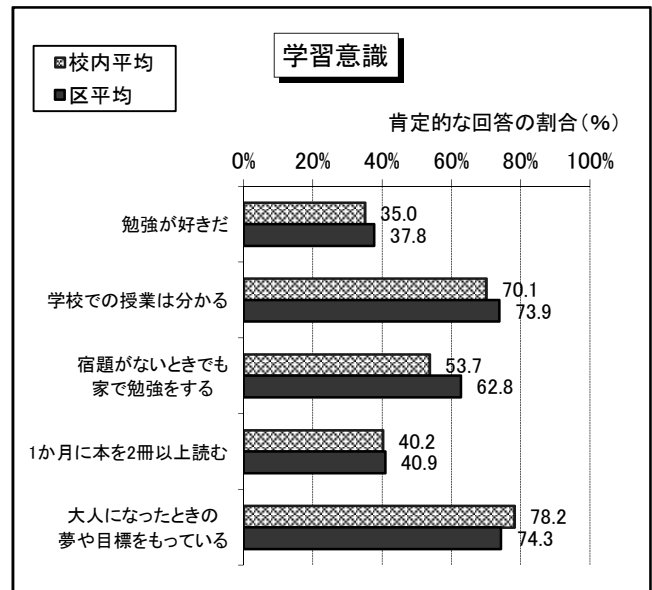
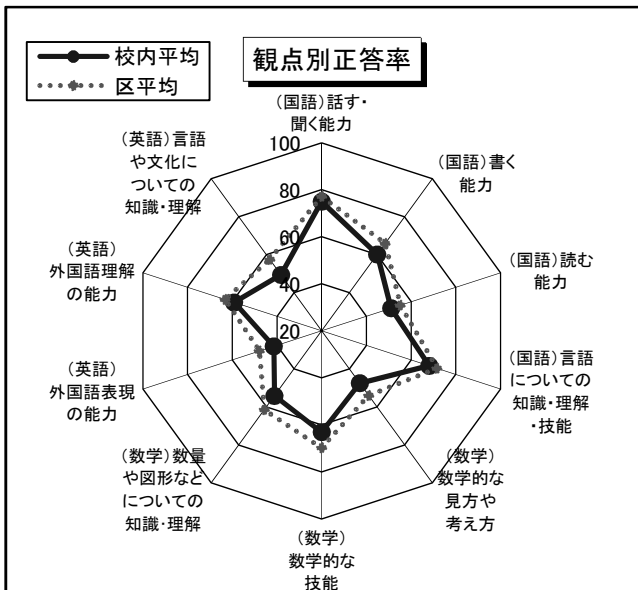
「学習定着度調査」分析結果

- 国語は、学校全体の通過率が昨年度と比較して13.1ポイント下落してしまった。平均正答率も昨年度に比べ下落している。しかし、観点別正答率を区平均と比較すると大きな差異はなく、基礎的な力は身に付いてきていると考えられる。
- 数学の通過率は学校全体で12.8ポイント上昇した。全学年で通過率が上昇しており、特に1年生と3年生が大きく上昇している。観点別正答率を見ると「数学的な技能」が区平均を上回っており、現在の取り組みを継続的・発展的に実践していく。
- 英語は、学校全体の通過率が5.0ポイント下落してしまった。しかも2年生の通過率だけが、他教科も含め唯一40%を下回った。昨年度に比べて3年生の通過率は15.2ポイント上昇している。観点別正答率を見ると、昨年度に比べて区平均との差が多少小さくなっているものの「外国語表現の能力」がまだまだ低い。特に2年生が低いので、授業や補習学習において、今まで以上に基礎・基本の学習内容の定着と表現の練習を積み重ねていく必要がある。

学校による学力向上への主な取り組み

- 英語の授業においてICT機器を活用し、生徒の意欲と学力の向上に努めている。
- 原則として週3日程度、全教員が担当して放課後補習教室を30分間実施している。基礎学力の定着を目標に、定期テスト前5日間の自主学習教室(国・社・数・理・英)、英語検定・漢字検定受検者への指導、授業内での理解等が不十分な生徒への居残り学習等を実施している。
- 年間9回、全校統一で学習コンテストを実施している。事前の反復学習、当日のテスト、事後の補習学習を通して基礎学力の向上を図っている。
- 国語・数学・英語を中心に、基礎学力定着を目指して7日間のサマースクールを全学年で実施する。特に1年生は数学特訓コースを設けて小学校の算数の復習を含めた取り組みを行う。
- 指導方法の工夫改善に向け、数学・英語の少人数・習熟度別指導を実施している。すべての学年に数学と英語の教員を1名以上配置し、学年単位の補習学習等での個別指導の充実を図っている。
- 区の施策の一つである教科指導専門員(数学・英語)に教員が定期的に指導を受け、さらに小中連携による研究授業を行うことで、教員の授業力向上に努めている。
- 家庭学習習慣を定着させるために家庭学習ノート作成・提出の取り組みを行っている。毎日教員が点検を行うとともに、生徒に自分のこれまでの取り組みが分かるチェックシートを付けさせることで家庭学習への意欲喚起につなげている。

足立区立洲江中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値 (H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率 (H30)	55.7	46.9	43.5	55.5	60.4	55.9	36.6	37.1	55.6	45.4	49.5
目標値 (H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率 (H29)	65.5	46.3	44.8	71.9	61.9	72.8	48.8	47.8	53.0	30.0	42.1
平均正答率 (H30)	63.3	57.6	53.2	61.9	72.8	63.3	49.4	46.9	64.4	52.8	59.3
平均正答率 (H29)	71.4	57.9	58.2	74.3	68.2	74.7	57.9	57.9	65.8	48.8	58.4

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

「学習定着度調査」分析結果

【学習意識】結果から、授業は分かるが、「勉強が好きだ」という生徒が少ない。授業改善の成果ではあるが、勉強が好きな生徒をいかに増やすかが今後の課題である。

【国語】平均正答率は1、2年生で目標値をやや下回っている。3年生では目標値を上回っている。観点別正答率では3学年とも「書く能力」において目標値を上回っており、「読む能力」においては3学年とも目標値を下回っており、成果と課題のはっきりと出た。

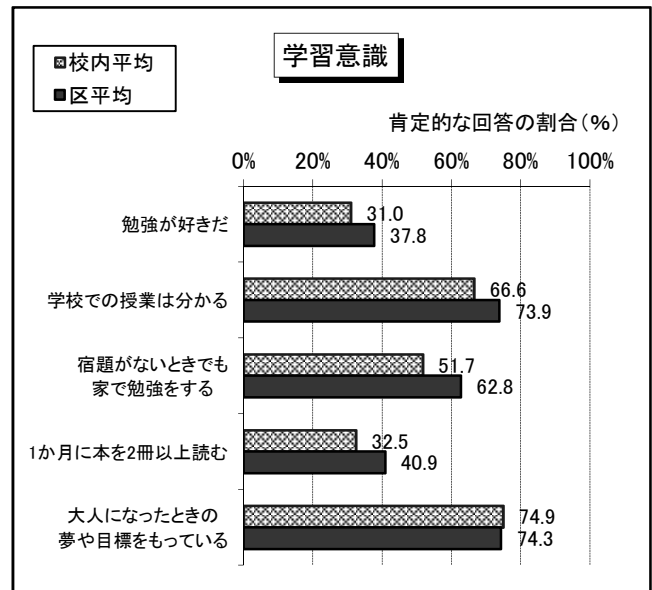
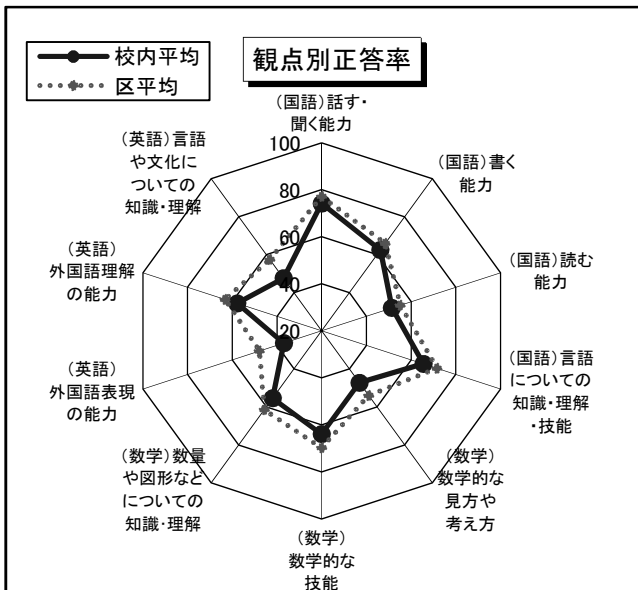
【数学】平均正答率は1年生は目標値を上回り、2、3年生は下回っている。特に2年生は全領域で目標値を下回っており、1年生の内容の学び直しが必要である。2、3年生については正答率40%前後の生徒の割合が区平均より高い。したがってこの層の正答率を上げる必要がある。

【英語】平均正答率は2、3年生とも目標値を下回っている。しかし、3年生については昨年度よりも平均正答率が上がり目標値との差も縮まっている。今年度も「言語や文化についての知識・理解」については2学年とも目標値を下回っている。基本語彙や文型の定着が不足しているために英文の内容を理解したり、英語で正確に表現したりすることが十分にできないことが課題である。

学校による学力向上への主な取り組み

- 年間を通じて、ベーシックテスト (年5回) を行い、基礎学力が不足している生徒へ全教員で東京ベーシック・ドリルを用いて放課後補充教室を実施している。
- 全学年を対象とした学習コンテスト (年5回) を実施している。基礎的な問題から発展的な問題まで幅広く出題し、全員合格を目指し、補充学習や朝学習などきめ細かく指導し、学習内容の定着を図っている。本年度は事前補充を拡張し、生徒の達成感を高める。
- 基礎学力の不足を補いたいと考えている生徒を対象に自主学習を行う部活動を創設し、週に2回、教員や学習支援ボランティアが指導し、基礎・基本の徹底を図っている。
- 朝読書を実施し、読書への意欲を喚起し、読む力と考える力の向上を図っている。
- 定期考査1週間前は、考査前特別補充教室を実施し学習の場を提供している。
- 家庭学習の習慣化を図るため、授業でのノート指導及び授業のまとめ方指導等を工夫し家庭学習の充実を図る。
- 「Learning 洲江」という学習指針を配付し、身に付けるべき学習目標を明確にした。
- 英検、数検、漢検に挑戦させ、合格者は朝礼で顕彰し、学習意欲の向上を図っている。
- 全教員が年間2回の研究授業を行い、授業改善に取り組んでいる。

足立区立竹の塚中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値 (H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率 (H30)	54.6	45.9	38.3	56.0	48.0	54.5	49.1	43.6	53.8	42.3	34.6
目標値 (H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率 (H29)	70.9	48.1	43.2	83.1	64.4	65.0	38.8	41.3	67.6	45.3	45.3
平均正答率 (H30)	62.9	58.4	51.6	60.5	67.1	65.8	58.4	49.9	62.3	52.7	52.8
平均正答率 (H29)	74.1	59.9	58.9	79.9	72.5	70.8	53.8	56.0	73.2	56.6	61.9

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

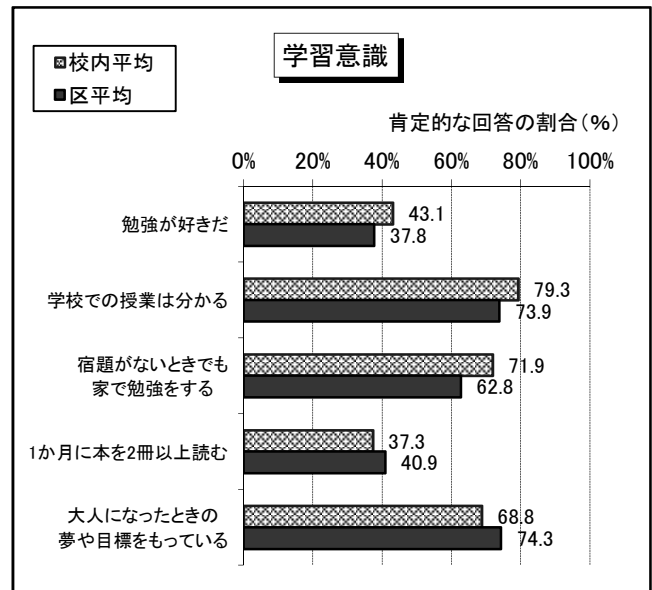
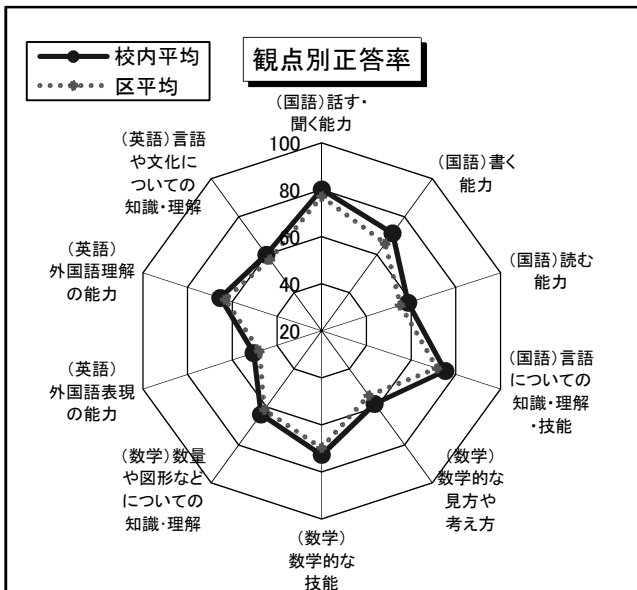
「学習定着度調査」分析結果

- 国語・・・1年生の平均正答率は目標値を1.5ポイント下回っている。「作文」は13.6ポイント上回り、「書くこと」も目標値を上回っている。「調べたことをもとに話し合う」「漢字」については課題が見られる。2年生の平均正答率は目標値を2.2ポイント上回っている。「漢字を書く」「文法・語句に関する知識」の2項目が目標値を下回っている。3年生の平均正答率は目標値を0.4ポイント下回っている。「作文」は目標値を14.8ポイント上回り、「書くこと」も上回っている。「漢字」「読み取る」ことに関する問題に課題が見られる。
- 数学・・・1年生の平均正答率は目標値を5.3ポイント下回っている。小数・分数の計算以外の全設問で目標値を下回っている。特に「整数の性質」「平面図形」「百分率」に課題が見られる。2年生の平均正答率は目標値を0.3ポイント上回っている。「数と式」「図形」は目標値を上回っているが、「関数」「資料の活用」に課題が見られる。3年生の平均正答率は目標値を4.2ポイント下回っている。「計算の復習」以外の項目は目標値を下回っており、特に「活用」に課題が見られる。
- 英語・・・2年生の平均正答率は目標値を5.2ポイント下回っている。「リスニング (内容理解)」「語彙の知識・理解」「長文の読み取り」の3項目は目標値を上回っているが他は下回っている。特に「英作文」に課題がある。3年生の平均正答率は目標値を7.8ポイント下回っている。「リスニング (内容理解)」は目標値を上回っているが他は下回っており、特に「英作文」に課題が見られる。

学校による学力向上への主な取り組み

- 放課後補充教室：【対象】指名された生徒 【教科】数学、英語 【時期】月～金、放課後20分 【指導体制】全教員 【内容】個人のレベルに合わせ授業の理解や定期テストの結果に結び付く内容。
- 学習コンテスト：【対象】全学年 【教科、時期】国語 (5月)、数学 (9月)、英語 (1月) 【指導体制】教科を中心に全教員 【内容】基礎学力の定着を目指して国語は漢字、数学は計算力、英語は単語・熟語を中心に問題し、達成感をもたせるために繰り返し練習すれば定着して得点も上がる内容。
- サマースクール：【対象】指名された生徒 【教科】国語、数学、英語 【時期】夏季休業中の7月 【指導体制】全教員 【内容】夏季休業までの学習内容の復習を行い、定着を図る内容。
- 家庭学習の習慣化：【対象】全学年 【教科】5教科 【時期】毎日 【指導体制】全教員 【内容】家庭学習の手引きを配付し、生徒個人の課題に応じて行う。

足立区立東綾瀬中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値(H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率(H30)	71.6	68.2	55.7	77.4	75.6	76.7	73.8	63.0	61.0	55.7	48.1
目標値(H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率(H29)	73.3	55.9	58.1	81.2	71.2	69.7	46.5	59.2	67.7	47.8	56.8
平均正答率(H30)	70.9	67.9	61.4	72.2	78.7	73.6	68.9	62.9	66.8	57.1	59.7
平均正答率(H29)	76.3	64.0	64.2	81.2	74.6	73.9	57.8	63.2	73.3	58.1	65.4

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

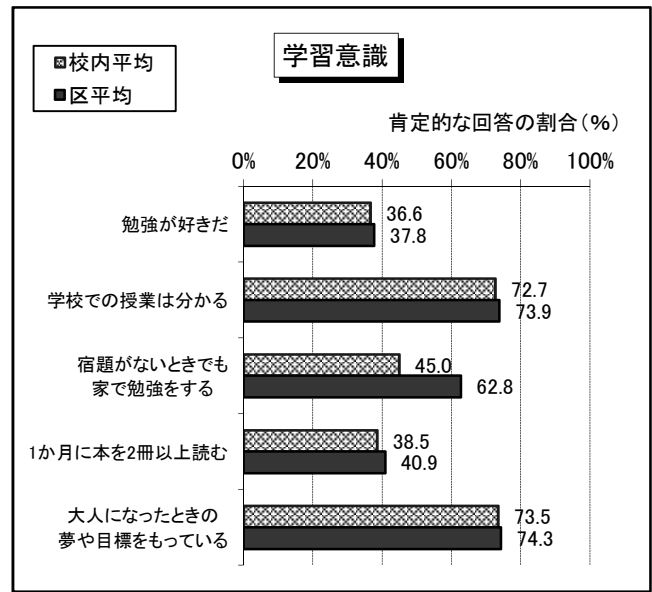
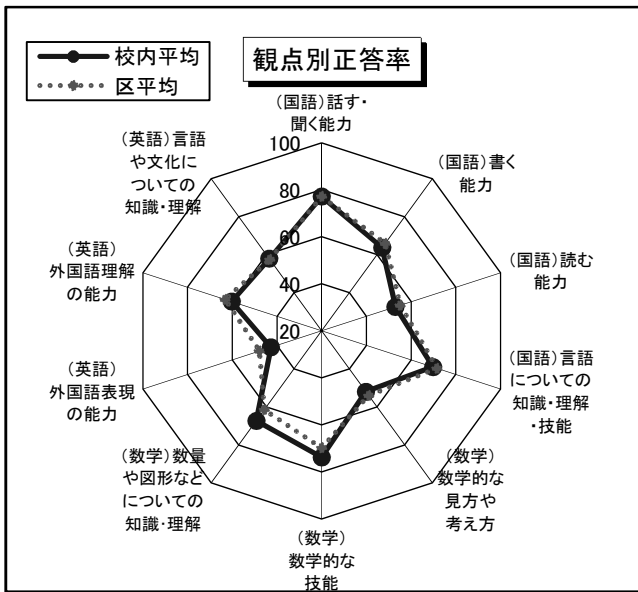
「学習定着度調査」分析結果

- 学校全体としては平成29年度同様、通過率はすべて50%を上回っており、3教科とも半数以上の生徒が目標値を上回っている。3年生数学の通過率では、昨年度からの同一集団生徒で比較すると46.5%から55.7%に9.2ポイント上昇している。2年生数学の通過率においても昨年度からの同一集団生徒で比較すると71.2%から73.8%に2.6ポイント上昇している。これは昨年度の学習定着度調査の結果に基づいて、1、2年生の基本的内容をしっかりと定着させる学習に取り組んできたからである。
- 学年別に同一集団生徒で比較すると、3年生英語の通過率では11.1ポイント低下、3年生国語では8.7ポイント低下している。2年生国語では4.5ポイント低下している。中学校での基本的な内容の定着が足りないと考えられるので、課題がどこにあるのか原因を把握し授業展開を行っていく。1年生は、国語、数学とも通過率が75%を超えており、小学校段階で学習して身に付けるべき学力が概ね備わっている。
- 学習意識の「大人になったときの夢や目標をもっている」について、区平均に比べ5.5ポイント下回っている。キャリア教育を充実させ、自ら学習意欲がもてるような指導を行っていく。

学校による学力向上への主な取り組み

- 家庭学習の充実
 - ・家庭学習の充実と学習習慣の定着を図り、基礎的・基本的な学力の定着を図る。
 - 1・2年生…家庭学習用課題プリント(数・英)→翌週、課題確認テスト実施→確認テスト
※確認テスト30%未満の生徒(補習教室)
 - 3年生…大学ノートに1日1ページ家庭学習を行い、翌日提出・チェック。自分に合った勉強法を身に付ける。
- 放課後補充教室(全学年)
 - 7月までは区学力調査の結果や家庭学習プリント、9月以降は確認テスト等の結果を基に指名抽出し、基礎学力の定着を目的に実施する。
- サマースクール(全学年)
 - 基礎的な内容の補充が必要な生徒について夏休みに10日間実施。少人数制で行い基本的な内容についてつまづきがどこにあるのかを確認し解消を図る。9月に行われる期末考査に成果を実感できるように指導する。

足立区立青井中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値 (H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率 (H30)	59.6	65.7	54.8	59.5	54.1	65.0	90.0	40.0	57.1	64.3	61.9
目標値 (H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率 (H29)	68.8	69.9	70.4	63.6	50.0	70.0	77.5	82.5	71.0	74.2	54.8
平均正答率 (H30)	65.3	68.2	59.1	66.0	73.3	66.0	70.1	49.4	64.4	62.9	63.8
平均正答率 (H29)	73.7	70.3	67.8	73.4	64.8	72.6	72.6	71.0	75.3	71.3	63.6

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

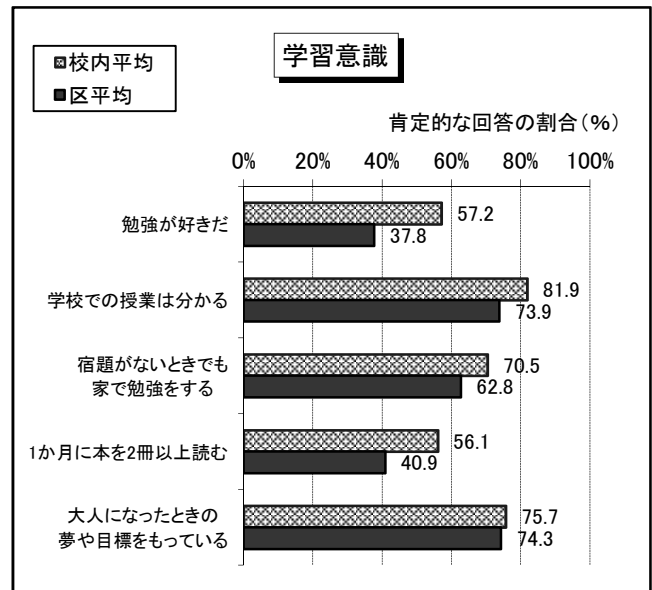
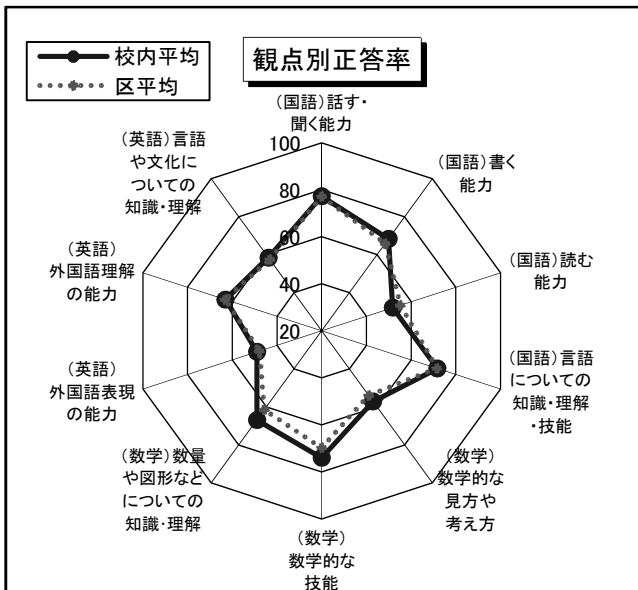
「学習定着度調査」分析結果

- 校内研修を通じた授業改善、全校体制の補充教室、毎日の家庭学習に取り組んだが、2、3年生は昨年度(1、2年のとき)と比べ、ほとんどの教科で通過率が下がった。取り組みを見直すと同時に生徒の課題を改めて把握し、サマースクールをはじめとした振り返りの機会の強化・充実を図る。
- 観点別正答率は数学では一部で区平均を上回っているが、特に英語では区平均を大きく下回っている観点がある。放課後のリーディングをはじめ、発表する機会を増やしていく。
- 平均正答率は2、3年生の全教科で低下している。特に2年生の英語が約20%以上、3年生の数学が約10%と大きく低下した。領域と観点別ごとに細かく分析し、生徒の課題に沿った授業改善や、教科担当による放課後や家庭学習の取り組みの改善を図っていく。
- 学習意識では全項目で区平均を下回った。特に家庭で学習する場所・習慣が確立していない生徒が多く見られる。主体的に学ぼうとする意欲を育むこと、目標をもって前向きに努力する姿勢を養うことなど、生涯学習の基盤となる力を養っていく。

学校による学力向上への主な取り組み

- 出張等に伴う補講や授業カットがないように計画的に授業時数確保に取り組んでいる。
- 各授業者が授業のねらいを明確にして授業を行っている。研修の一環として、授業見学週間を設け、教員同士が互いに授業を見合い、授業改善が図られるようにしている。また、小中連携研修テーマを「課題解決型学習」として、楽しく分かりやすい授業づくりに取り組んでいる。
- 数学・英語における習熟度別少人数指導により、個に応じた指導の充実が図られている。
- 数学・英語を中心とした家庭学習、補充教室を実施している。家庭学習は基礎的な内容を中心に教科担当が生徒の実態に合わせて課題を作成している。補充教室は全校体制で取り組み、下位層の生徒を教員が1対1で支援できる体制で行っている。
- 国語・数学・英語ではコンテストを実施し、基礎的・基本的な学力の向上を図っている。
- グループ学習で1人が音読し、他の生徒が正誤を確認することで相互に高め合い、英語に対する親しみや語彙力の向上を目的とした音読トレーニングを実施している。
- 毎朝10分間、朝読書を実施している。
- ライフスキル教育を行い生徒の自己肯定感を高め、何事にも前向きな姿勢を養っている。

足立区立花畑中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値 (H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率 (H30)	65.9	66.5	52.5	70.2	66.7	67.5	77.5	55.0	59.0	59.0	50.8
目標値 (H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率 (H29)	63.3	52.5	58.8	71.4	57.1	64.6	50.8	61.5	50.0	50.0	53.1
平均正答率 (H30)	66.3	70.1	58.8	66.5	76.1	69.8	71.5	60.1	63.6	61.0	58.0
平均正答率 (H29)	70.9	61.3	62.0	74.9	65.9	70.0	58.5	60.8	67.2	60.9	64.3

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

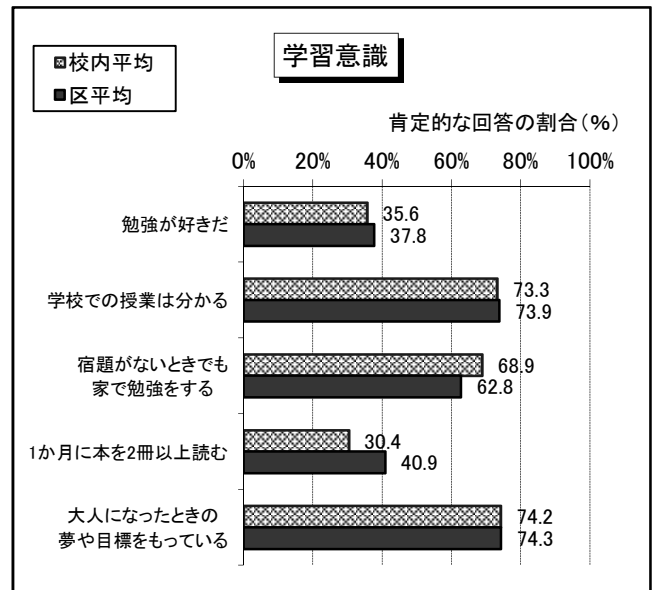
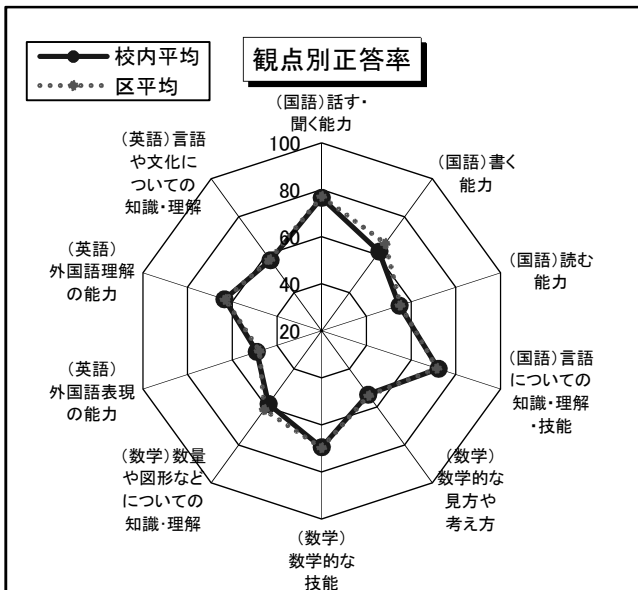
「学習定着度調査」分析結果

- 国語は語彙力は少しずつ身に付いてきて、書くことにも慣れてきてはいるが、筋道を立てて正しく文章を読み取る力が不足していることが課題である。今後は文章の構成を理解させ、正しく読み取る力を身に付けるとともに、構成を考え正しく文章を書く力にもつなげていく指導が必要である。
- 数学は昨年度、基礎学力の定着として授業の補充プリントに取り組ませた結果、基礎的な計算力が身に付いている生徒が増えた。しかし、文章読解の力が弱く、課題把握ができない生徒が多いため、応用問題の正答率が低い。理解する力、表現する力を身に付けさせることが今後の課題である。
- 英語は昨年度、4技能の中でも特に「聞くこと」「話すこと」の活動により重点を置いた。その結果、自己表現の場面や書く活動が量的に不足してしまった感があり、表現の能力をさらに鍛えることができなかった。今年度は4技能のバランスを考え、「書くこと」の改善を図りたい。単語や文法等、基本的な内容の定着のため、教科書本文を用いたディクテーションや単元ごとの確認テストに継続して取り組んでいく必要がある。
- 学校全体として平均正答率が目標値を上回る教科が昨年度よりも増加した。今後も日々の実践を継続するとともに、生徒一人ひとりの学習内容到達度を効果測定を通して把握し、個別指導の方法も見直した上で、さらに基礎・基本の定着を図る必要がある。また、家庭学習の取り組み方や内容についても指導を行い実施させる。

学校による学力向上への主な取り組み

- すべての授業において「聴く力、まとめる力、伝える力」の育成を目指し、個々の生徒の習熟の度合いを検証し、個別指導計画を策定して学力の定着を図る。
- 全学年の数学と英語の授業で習熟度別少人数指導を展開し、定期考査の結果を基にS P表分析を実施し、指導方法の確認をし、クラス分けを行い、学力の定着を図る。
- 家庭学習の内容を向上させ、毎日学習ノートを提出させ、連続30回提出した生徒を表彰する。
- 年間平均15冊以上の読書を目指すよう10分間全員が読書をし、放課後、基礎学力の定着に課題のある生徒に対して20分の補習学習を実施。生徒2名に対し教員1名が付き指導にあたる。
- 花畑第一小、花畑西小との連携を通して、9年間を見通した指導計画、指導方法を策定し、低学年・中学年・高学年・中学校の身に付けるべき内容を明確にし、基礎学力の定着を徹底する。
- 定期考査1週間前や三者面談期間中、放課後、全校生徒に対して学習時間を確保し、学習した成果や達成感を体感させる。

足立区立蒲原中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値(H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率(H30)	62.3	57.3	51.7	60.2	68.7	62.7	53.6	58.3	63.7	50.0	46.2
目標値(H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率(H29)	70.4	56.5	62.8	75.5	60.9	68.1	62.3	69.0	68.1	46.0	55.8
平均正答率(H30)	66.2	63.9	59.0	65.7	77.0	67.5	60.8	60.4	65.5	54.5	57.8
平均正答率(H29)	73.8	63.6	64.3	76.5	69.4	72.9	63.8	64.3	72.5	58.1	64.3

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

「学習定着度調査」分析結果

【国語】観点別正答率では、「書く能力」で区平均を下回ってしまったが、残り3観点については区平均と同程度の結果となった。しかし、平均正答率を目標値と比較すると、1年生が+3.7ポイント、2年生が+3.9ポイント、3年生が+2.8ポイントと全学年とも上回っていることから、集団内での学力差に課題があると考えられる。正答率50%を下回る生徒が1年生で22.3%、2年生で13.7%、3年生で19.2%いることから、基礎学力の向上を図る取り組みを強化していく。

【数学】1年生は、平均正答率、通過率ともに昨年度を上回る結果となった。小学校の学力は概ね身に付いていると考える。2年生は前学年次と比較し平均正答率、通過率ともに減少、昨年度の2年生と比較しても減少傾向にあることが分かる。3年生は前学年次と比較し平均正答率、通過率ともに減少したが、昨年度の3年生の通過率と比較すると増加傾向にある。

【英語】通過率について昨年度と比較すると11.1ポイント下回る結果となったが、観点別正答率に注目すると、いずれの観点も正答率が区平均並みとなっている。昨年度より地道に続けている活動を中心とした反復練習の結果が表れていると考える。3年生は平均正答率が目標値に対して大きく下回る結果となっている。今後はまず問題の復習・解説を行い、授業改善を行っていく。

学校による学力向上への主な取り組み

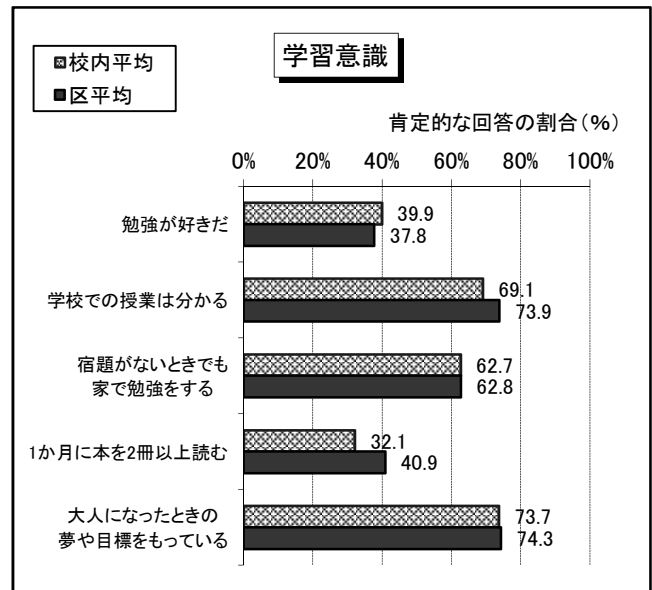
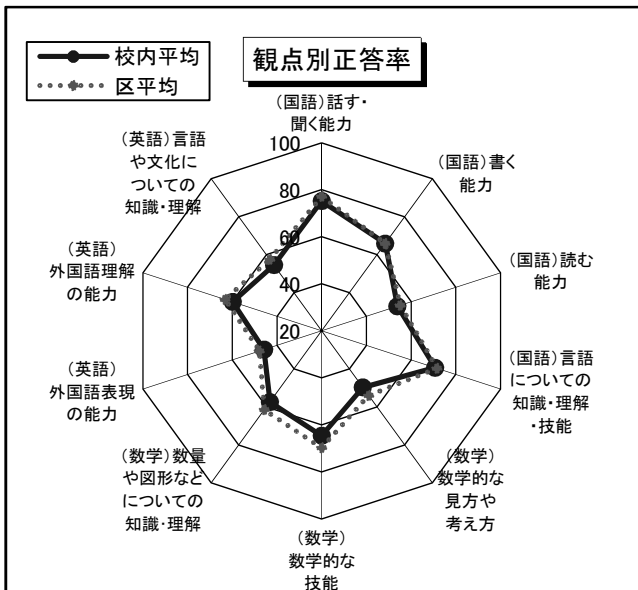
【学びタイム(朝)】出欠の確認後、8:25から30分間の学びタイムを毎日実施している。対象は全学年で全教員の指導のもと、基礎学力定着を目的としている。国語・数学・英語を中心とし、国語は「漢字・語句・語彙練習」を、数学は「基礎計算練習」を、英語は「英語スペリング習得」の内容で取り組んでいる。また、漢字コンテスト、計算コンテスト、スペリングコンテストを行い、合格者については表彰している。学習定着度により個別に指導する必要がある生徒については、取り出し学習をしている。

【放課後補充教室】各学年で提出物の状況や授業での理解度により指名をし、放課後補充教室を適時実施している。学習の習慣、基礎・基本の定着を図るため繰り返し学習を中心に行っている。

【サマースクール】夏季休業中の7日間に、指名制・希望制で補充教室を全学年実施している。

【小中連携】学区域内にある東湊江小学校と北三谷小学校と連携し、9教科の分科会に分かれての指導案検討や、お互いの授業見学を通して授業改善と生徒の実態に応じた指導法の工夫を行っている。

足立区立西新井中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値(H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率(H30)	61.5	48.9	46.5	62.8	58.1	69.3	52.7	52.4	53.0	37.5	41.0
目標値(H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率(H29)	66.4	46.6	55.4	78.8	60.9	56.5	34.2	53.2	64.4	45.0	57.7
平均正答率(H30)	66.4	60.1	55.9	65.1	72.6	70.0	60.4	56.6	64.0	49.1	55.2
平均正答率(H29)	72.3	59.0	63.1	78.0	70.5	68.2	51.0	60.0	70.9	55.8	66.4

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

「学習定着度調査」分析結果

学校全体の平均正答率では、昨年度より上がったのが数学のみで、わずか1.1ポイントだった。国語は5.9ポイント下がり、英語は7.2ポイントも下がった。昨年度は、国語が6.3ポイント上がったが、今年度はまた下がってしまった。

学年別では、2年生は昨年度の同一学年と比較して、国語と数学の2教科の平均正答率が上がっており、昨年度1年生時も一昨年度の同一学年より高かった。3年生は昨年度の同一学年と比較して、3教科で約7ポイントから約11ポイント下がっており、昨年度2年生時も一昨年度の同一学年より低い状況であった。通過率では、1、3年生は昨年度より低く、2年生が国語・数学で昨年度より高い。

教科では、国語で平均正答率が上がったのは2年生のみである。数学では、1、2年生が上がっている。英語は、2、3年生ともに下がっている。特に3年生は11.2ポイントも下がった。

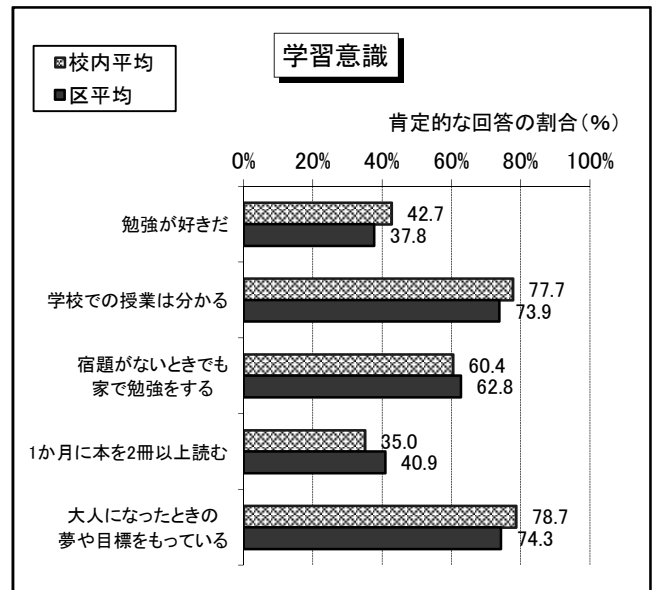
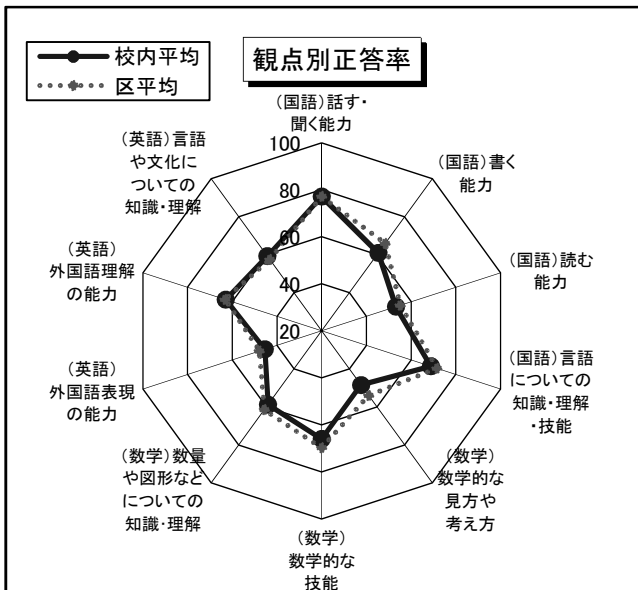
観点別正答率では、国語の校内平均は区平均とほぼ同じであるが、数学では3観点とも下回っている。英語もやや下回る状況であった。特に数学の「数学的な技能」、英語の「外国語表現の能力」が低い。

学習意識では、「勉強が好きだ」が区平均を2.1ポイント上回るが、「学校での授業は分かる」が4.8ポイント下回る。際立つのが、「1か月に本を2冊以上読む」が8.8ポイントも下回っている。

学校による学力向上への主な取り組み

- 【朝学習】毎朝8:15から15分程度、国・数・英を中心に学習し、その結果を放課後補充教室に活用する。
- 【授業の改善】区学力調査や定期考査からのSP表の作成や、補充教室で小テストを行い、学習のつまずきや課題を把握し授業改善を行う。
- 【習熟度別少人数授業】数学では、2クラス3展開、1クラス2展開の授業を実施する。
- 【ALTとの授業】英語では、コミュニケーション活動の充実、表現力を高める授業を実践している。
- 【放課後補充教室】月・火・木・金曜日の15:35から25分間、全学年で国・数・英の補充教室を実施する。全教員で指導にあたっている。
- 【西新井チャレンジ】水曜日14:35から1時間30分全学年を集め、放課後学習教室を実施する。学習ボランティアの講師2名が指導にあたる。
- 【足立スタンダードの徹底】足立スタンダードの「めあて」と「振り返り」を大切に授業を実践している。また、全教員が生徒の興味・関心を高め、やる気を育てる授業を展開する。
- 【家庭学習ノート】家庭で予習復習等勉強した内容をノートにまとめ毎日提出する。全学年で実施。
- 【サマースクール】長期休業中に7日間、数学と英語の補充教室を行う。指名クラスと希望クラスに分かれ1日2時間全教員で指導にあたる。

足立区立入谷中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値(H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率(H30)	57.8	50.9	58.9	62.5	65.0	70.8	38.5	53.8	46.7	45.7	61.7
目標値(H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率(H29)	58.3	46.6	63.2	75.0	50.0	51.1	53.3	71.1	53.3	33.3	51.6
平均正答率(H30)	63.5	62.0	60.3	65.1	75.3	68.0	56.0	52.9	59.5	53.9	64.4
平均正答率(H29)	70.6	58.6	66.1	78.4	68.2	67.8	58.6	66.8	67.3	49.6	65.1

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

「学習定着度調査」分析結果

【国語科】2、3年生ともに、昨年度の学年次の通過率から4ポイント程度下がっている。3年生の通過率は50%を下回っている。学年が上がるごとに通過率が下がる傾向があるので、理解できていないところを積み残さないように対策していく必要がある。

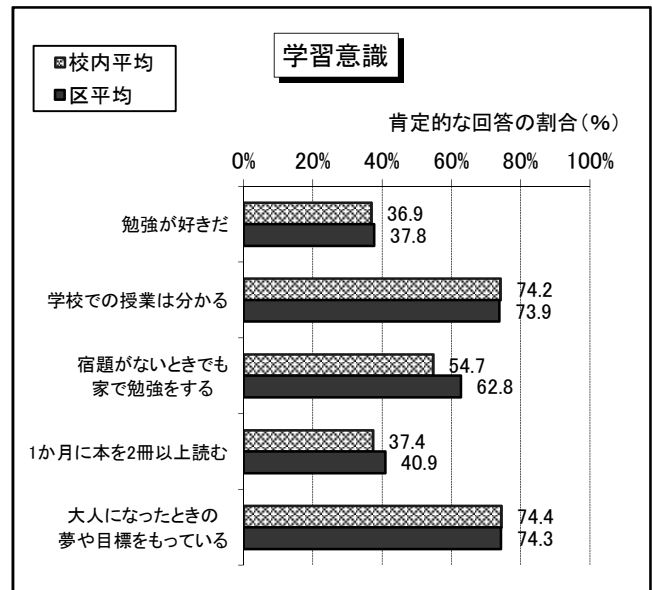
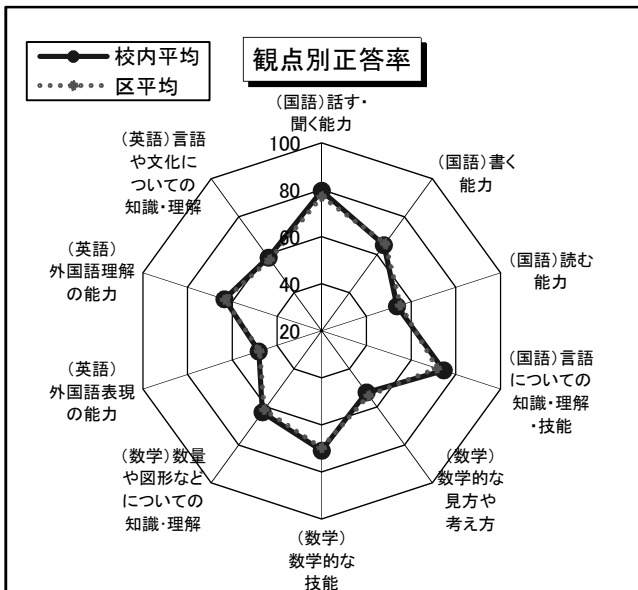
【数学科】昨年度の学年次と比較すると、2、3年生ともに通過率が10ポイント程度下がっている。学校で内容を理解できても、その後の復習に課題があることが考えられる。家庭での学習や補習により、きめ細やかな指導を行っていく。

【英語科】3年生の通過率は昨年度の2年時より9.4ポイント下がったが、平均正答率は2.4ポイントしか下がっていない。これは目標値付近の生徒の正答率がわずかに下がったことによる。区平均を下回った「外国語理解の能力」の育成を中心に中間層のレベルアップが必要である。2年生の通過率は53.8%で、3観点のバランスが取れた指導により総合的な英語力の向上を目指す。

学校による学力向上への主な取り組み

【朝学習】毎朝、始業前15分、語彙力の育成に向け、国語の学習を実施。
 【わくわくクラブ】英語・数学 学校行事期間以外の放課後30分、全教員により個別指導。
 【わくわく補習教室】5教科 定期考査前1週間・三者面談期間 全教員補充問題実施。
 【夕焼け学習教室】定期考査前1週間放課後90分、生徒の自主的活動、互いに教え合う。
 【サマースクール】全学年5教科 夏休み期間中の7日間を指名制・希望制で実施している。
 【国語科】朝学習で漢字の練習、朝読書に取り組み、対義語や類義語の学習を行う。コンテストなどを行い、目標をもって学習に取り組ませる。授業の最初に漢字の小テストや、古典の暗唱テストなどをしていく。さらに、朝礼での話を短作文としてまとめたり、行事の感想文を書いたりして書く力を高める。俳句や短歌の創作などを通して語彙力も高めていく。
 【数学科】単元ごとの小テスト、問題集提出などにより一人ひとりの定着度合いを見ている。それに不足があると感じられる生徒には放課後補習や夏休み補習などでフォローを行っている。授業内に積極的に説明をさせることで、計算技能と同時に数学的な表現の力を伸ばしていく。
 【英語科】基礎学力の定着のために、全学年で共通した単語指導とテストを行う。教科書のリーディング指導は昨年度から引き続きスタンプカードを利用し、全員がしっかりと読めるまで指導する。これを家庭学習へとつなげ、宿題以外の勉強を自主的にできるようにする。パフォーマンステスト、ライティング活動を定期的に行い、積極性と表現の能力を高めていく。

足立区立江北桜中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値(H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率(H30)	67.0	61.7	51.5	64.5	63.4	71.9	66.7	61.5	64.0	53.3	38.7
目標値(H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率(H29)	72.0	60.2	45.5	81.8	76.8	66.2	41.6	36.4	65.4	57.7	54.4
平均正答率(H30)	67.9	66.5	59.6	65.4	73.3	70.3	66.2	61.8	68.0	58.5	56.8
平均正答率(H29)	74.3	66.2	58.5	78.5	77.5	71.3	55.0	54.7	72.0	62.7	62.2

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

「学習定着度調査」分析結果

【国語】平均正答率は目標値を1年生3.4ポイント、2年生6.7ポイント、3年生5.3ポイント上回り、学校全体では基礎学力について概ね良好といえるが、1年生は区平均を下回っている。3学年とも「読む能力」が目標値程度という結果のため、文を細分化して正確に読み取らせる指導を行っている。

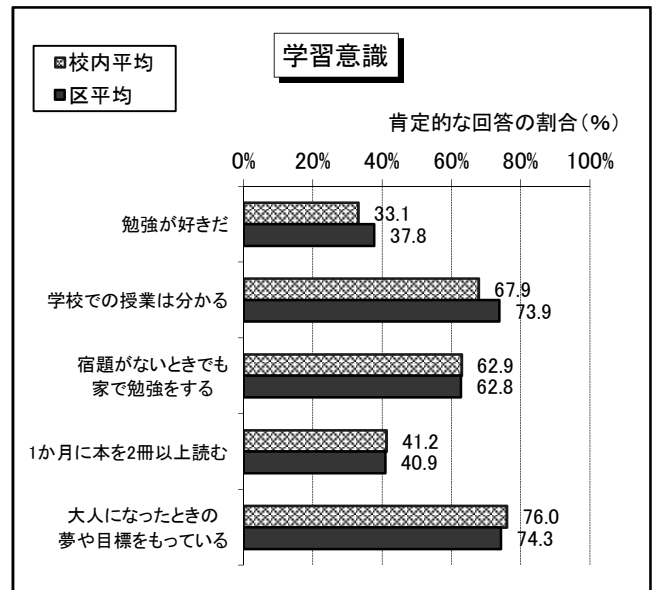
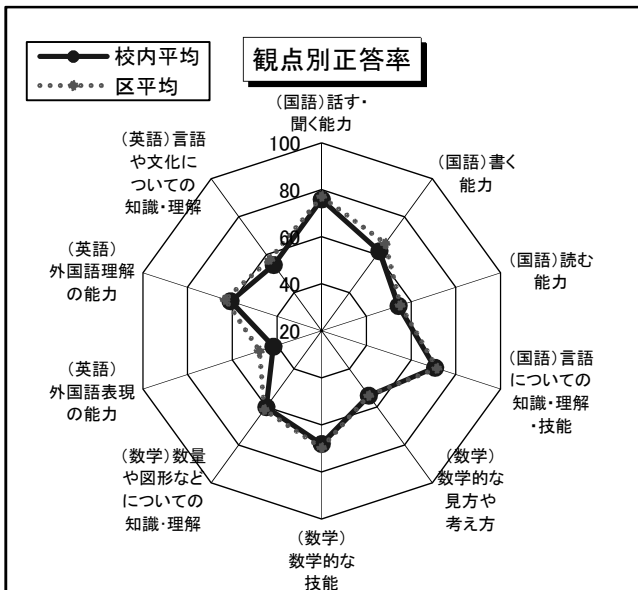
【数学】1年生は平均正答率が目標値を0.9ポイント上回っているが、区平均からは2.4ポイント下回っている。小数や分数の計算、面積の問題において小学校での学習内容を忘れていた生徒が多く見られる。2、3年生においては記述式で解答する問題の正答率が低くなっており、授業内で説明する活動を多く取り入れた指導を行っている。既習内容は、授業や数学Weekの取り組みにおいて繰り返し学習し、定着を目指す。

【英語】3年生は昨年度同一集団比で通過率が2.3ポイント上昇した。しかしながら平均正答率は目標値に3.8ポイント達していない。特に長文問題において全体をとらえて解答を導くことに課題が見られる。2年生においては、平均正答率は区平均を4.8ポイント上回ったが、質問を理解してその問いに答えるという理解力、複合的な要素を結び付けて考えるところに課題がある。

学校による学力向上への主な取り組み

- 「ベーシックタイム」(月～土、8:30～8:40) 国語・数学・英語の3教科で実施
 国語(年3回、読書活動を通して、読書の習慣を身に付け、想像力を豊かにするとともに、語彙力・読解力の強化を図り、感想文を書く活動により、自分の考えをまとめ、表現する力を育成する。)、数学(1か月に1週間、数学Weekを設定し基礎的な学力の定着を図る。)、英語(通年、英語の諸活動を通して、英単語力など英語の基礎的な能力を身に付ける。)
- 放課後補充(月～金、15:35(14:35)～16:00(15:00)、対象生徒もしくは全員)
 国語(文法教室、漢字検定対策、漢字コンテスト対策)、数学(数学Weekの追指導、レベルアップ塾、計算コンテスト対策)、英語(基礎的内容の追指導、スピーキングコンテスト対策)、社会(基礎力テスト)、理科(確認テスト)等を実施し、5教科の基礎学力の充実を図っている。
- 全校で「家庭学習ノート」に取り組み、学年教員が点検すると同時に個別の学習課題に応じた学習の仕方の指導を行っている。
- 確認テスト(前年度履修事項)、学年当初の授業内復習、復習テスト(9月・前年度履修事項の追確認)等において過去の学力調査を活用し、繰り返し復習をして、基礎学力の定着を図っている。

足立区立伊興中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値 (H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率 (H30)	61.4	56.7	44.6	68.3	72.1	55.7	43.8	44.3	59.9	53.7	44.9
目標値 (H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率 (H29)	67.2	53.4	53.6	75.8	65.3	68.4	52.6	50.0	57.2	41.7	56.7
平均正答率 (H30)	65.5	64.3	55.2	68.7	79.3	63.5	54.3	53.5	64.3	58.3	57.5
平均正答率 (H29)	72.7	61.4	60.5	76.2	71.8	72.4	58.9	57.9	69.2	52.4	62.7

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値

「学習定着度調査」分析結果

①国語

1年生の平均正答率は目標値を6.7ポイント上回り、通過率は68.3%。2年生の平均正答率は目標値を0.1ポイント下回り、通過率は前学年次より20.1ポイント下回る。3年生の平均正答率は、目標値を1.6ポイント上回り、通過率は前学年次より8.5ポイント下回る。2年生では中間層がやや減少したと見られる。全体として下層の底上げを目標としたい。

②数学

1年生の平均正答率は目標値を6.9ポイント上回り、通過率は72.1%。2年生の平均正答率は目標値を3.8ポイント下回り、通過率は前学年次より21.5ポイント下回る。上位層から下位層までまんべんなく分布している。3年生の平均正答率は目標値を1.4ポイント上回り、通過率は前学年次より1.1ポイント上回る。正答率が目標値の半分を下回る生徒が13.6%いるが、正答率80%以上の上位層は23.8%おり、健闘している。

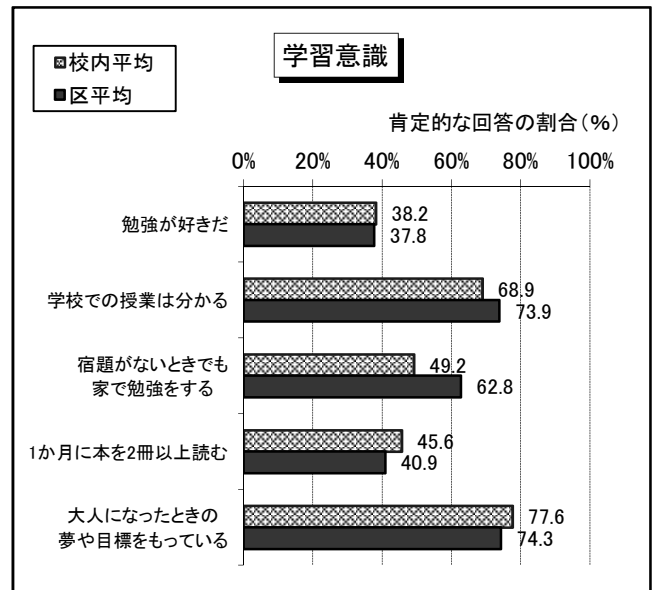
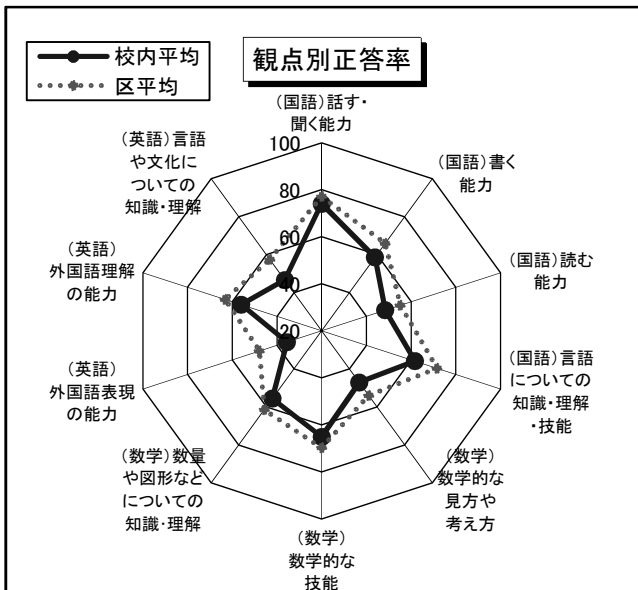
③英語

2年生の平均正答率は目標値を1.6ポイント下回り、通過率は44.3%。下位層と上位層の二極化が見られる。3年生は平均正答率は目標値を3.1ポイント下回り、通過率は44.9%で上位層から下位層までまんべんなく存在している。

学校による学力向上への主な取り組み

- 各学年ともに家庭学習ノートを2ページ以上実施し、担任が指導している。優れた家庭学習ノートについては、表彰している。
- 放課後補充教室を国語・数学・英語で週4回行っている。全校体制で指導にあたっている。また、試験期間には質問教室を設け、授業や問題集などで分からないことを気軽に質問できる環境をつくっている。さらに、サマースクールを7日間行っている。
- 小中連携研究授業を年3回行い、授業改善を図っている。
- 朝読書の取り組みで、静かな落ち着いた環境で授業を開始するようにしている。
- 足立スタンダードを活用し、授業規律、板書、ノート指導などを行っている。
- 9月から朝読書を朝学習(数・英)に変え、小テストを行い、補充を行う。

足立区立花畑北中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値 (H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率 (H30)	49.2	50.8	35.5	60.0	57.5	37.5	47.5	32.5	50.0	48.1	37.7
目標値 (H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率 (H29)	64.1	49.7	52.7	73.2	51.2	67.3	48.1	50.0	55.0	50.0	55.0
平均正答率 (H30)	59.7	59.6	50.2	60.7	72.0	57.9	53.8	45.5	60.2	54.4	53.7
平均正答率 (H29)	69.6	58.6	59.5	73.1	64.8	69.3	55.3	58.4	67.5	57.3	60.5

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

「学習定着度調査」分析結果

平成30年度は、大きく課題を残す結果となった。国語は、平均正答率において約10ポイント、通過率において約15ポイント昨年度を下回っている。観点別に分析すると、「読む能力」に著しく落ち込みがある。授業における読解指導に加え、読書指導に力を入れなければならない。また、「言語についての知識・理解・技能」も区平均を大きく下回っており、反復練習の確保も必要である。

英語は通過率が35.5%であり、全校体制で補充学習が必要なレベルである。特に「外国語表現の能力」の正答率が35.5%ということは、授業で学習した表現が身に付いていないことを示している。覚えて活用するための、地道な反復練習をすることが大切である。

数学は、通過率は区平均と比べると下回っているが、平成29年度の校内結果と比べると、通過率そのものは微増している。授業を工夫し、少人数規模の学校であることを生かした結果であると考えられる。

「数学的な技能」については区平均に近付いているが、「数学的な見方や考え方」の平均正答率が落ち込んでいることから、さらなる授業改善が求められる。

全体を通じて、組織的な授業改善を進める一方で、生徒たちに学習習慣を身に付けさせる家庭学習の取り組みを進めていくことも急務である。

学校による学力向上への主な取り組み

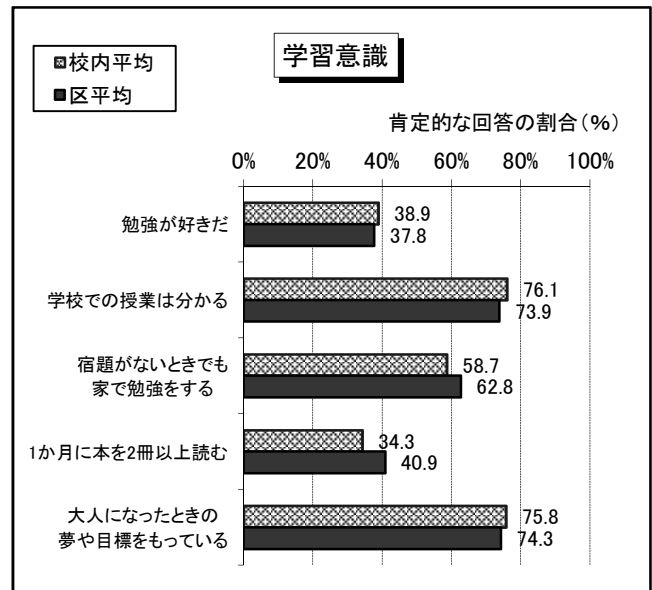
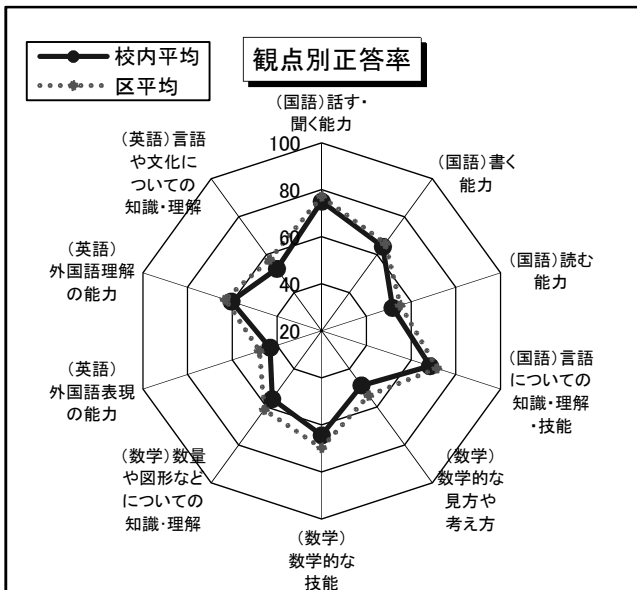
○組織的な補充体制

現状で、全学年の、学習内容を身に付けられていない生徒の補充が最優先課題であるとして、学校全体で補充学習を進めている。具体的には、目的 (都調査や定期考査など) と期間 (2週間程度) を設定し、各種調査やテスト結果などの分析から、はっきりとした対象生徒を限定する。教員1人につき生徒3人程度のグループを構成し、分析結果から抽出した問題などをスモールステップで「できる」状態にする。1回の補充を15分に限定することで、生徒たちに自信をもたせ、学習習慣を身に付けさせる取り組みを始めている。

○組織的な授業改善

生徒たちの考える力を伸ばし、学習意欲を高めるために、生徒が主体的に学ぶ授業スタイルを統一するよう、組織的な改善を進めている。具体的には、その時間における目標をはっきりさせ、考えたり、話し合ったり学び合ったりしながら、主体的に課題に取り組む授業スタイルである。統一された授業スタイルになるような指導案を検討したり、校内研修においてもこのスタイルになるよう改善を進めている。

足立区立谷中中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値 (H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率 (H30)	57.8	47.0	46.3	58.5	63.1	62.4	40.3	50.0	52.9	40.1	42.7
目標値 (H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率 (H29)	68.6	56.1	57.3	72.5	59.1	65.4	51.3	57.1	68.1	58.1	57.5
平均正答率 (H30)	64.5	59.3	55.1	63.8	74.4	65.5	54.5	53.1	64.2	51.5	57.0
平均正答率 (H29)	74.0	63.6	64.5	74.7	69.1	72.8	56.1	63.0	74.5	65.6	66.0

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

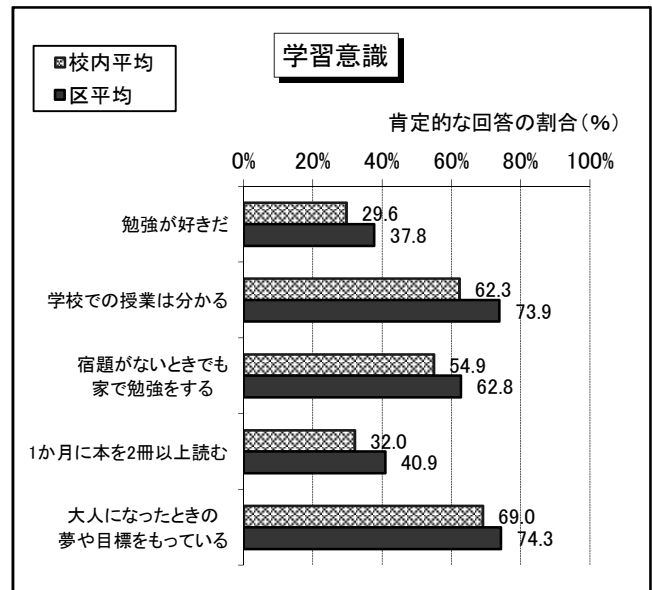
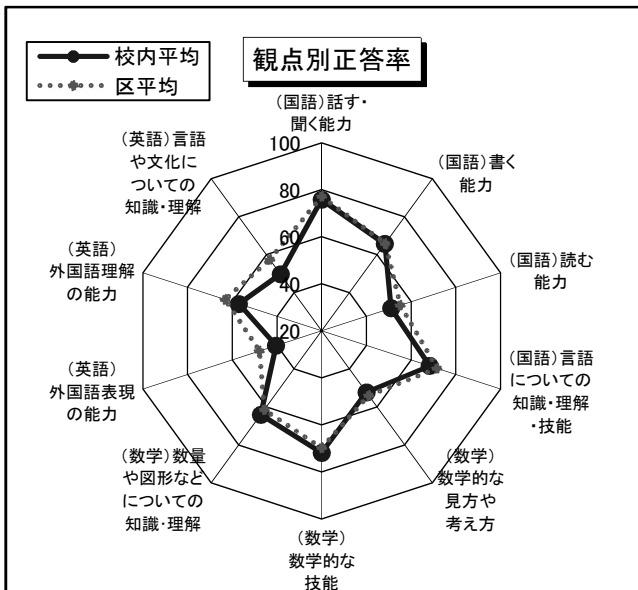
「学習定着度調査」分析結果

- 第1学年
 - 国語科 平均正答率は昨年度より10.9ポイント下がった。また通過率も14.0ポイント下がった。
 - 数学科 平均正答率は昨年度より5.3ポイント上がった。また通過率も4.0ポイント上がった。
- 第2学年
 - 国語科 平均正答率は昨年度より7.3ポイント下がった。また通過率も3.0ポイント下がった。
 - 数学科 平均正答率は昨年度より1.6ポイント下がった。また通過率も11.0ポイント下がった。
 - 英語科 平均正答率は昨年度より9.9ポイント下がった。また通過率も7.1ポイント下がった。
- 第3学年
 - 国語科 平均正答率は昨年度より10.3ポイント下がった。また通過率も15.2ポイント下がった。
 - 数学科 平均正答率は昨年度より14.1ポイント下がった。また通過率も18.0ポイント下がった。
 - 英語科 平均正答率は昨年度より9.0ポイント下がった。また通過率も14.8ポイント下がった。
- 学習意識において、「勉強が好きだ」「学校での授業は分かる」「大人になったときの夢や目標をもっている」の項目では区平均より高いものの、「宿題がないときでも家で勉強をする」は区平均より低い。また「1か月に本を2冊以上読む」でも区平均より低い。

学校による学力向上への主な取り組み

- 今年度から数学、英語で少人数クラスが導入され、個に応じた指導を充実させている。
- 国語における読解力や、各教科における問題への読解力を上げるために、朝読書を行っている。
- 基礎的な知識・技能を定着させるため、全校一斉でスペリングコンテスト、漢字コンテスト、計算コンテストを行う。
- 生徒全員が、家庭学習ノートを活用し、毎日の家庭学習習慣の定着を図っている。
- 放課後の補充教室を利用して、学習方法の定着と工夫を促し、基礎学力の伸長を目指している。
- サマースクールにおいて、指定して参加させる数学特訓、英語特訓とともに、希望者による補充教室を行う。

足立区立花保中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値 (H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率 (H30)	59.7	69.9	39.2	68.2	69.7	64.6	76.9	47.7	43.6	61.8	29.1
目標値 (H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率 (H29)	63.2	53.7	27.5	71.4	45.7	54.7	71.7	24.5	61.2	47.8	29.9
平均正答率 (H30)	64.9	67.5	52.2	66.5	73.3	67.4	70.0	54.2	59.8	57.6	49.9
平均正答率 (H29)	70.6	63.0	49.7	75.8	63.5	65.3	66.4	50.7	69.2	59.8	49.0

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

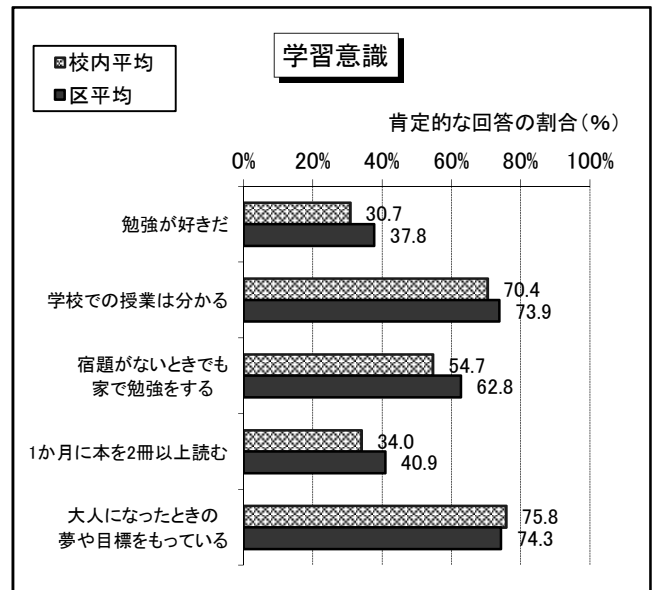
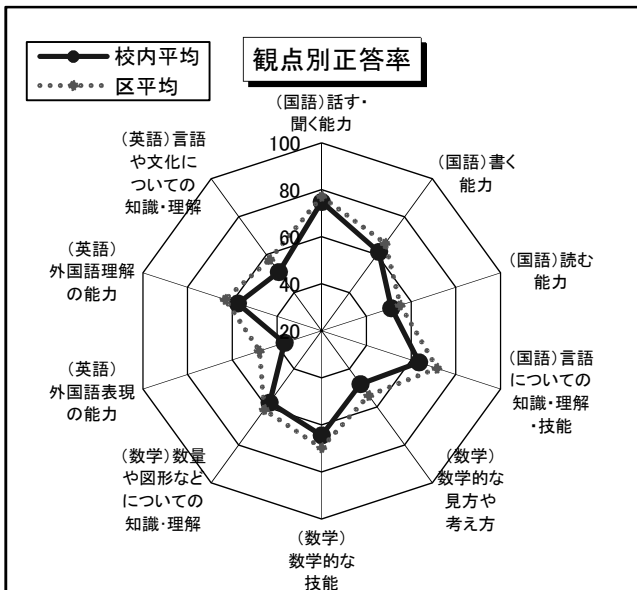
「学習定着度調査」分析結果

- 国語…学校全体の通過率は、昨年度と比較して3.5ポイント低下している。学年別では、3年生が43.6%と、他学年の通過率を20ポイント近く下回っている結果であった。全問無解答の生徒や適当に記号を埋める生徒がいたことも要因の一つと考えられる。観点別正答率では、その他の観点が区平均と同等であるのに対して、「読む能力」が低く、全学年を通しての苦手分野であることが分かる。
- 数学…学校全体の通過率は、昨年度と比較して16.2ポイント向上した。学年別では、前年度の同学年と比較して、1学年は24.0ポイント向上、2学年は5.2ポイント向上、3学年は14.0ポイント向上した。観点別正答率に注目すると、「数量や図形などについての知識・理解」において、昨年度は区平均を下回っていたが、今年度はやや上回ることができた。今後の課題としては、「数学的な見方や考え方」の正答率が区平均と同等ではあるが、苦手分野といえる。
- 英語…2、3年生ともに目標値通過率は50%を下回っている。特に3年生の通過率が昨年度に続き30%を下回っている。観点別正答率については、「外国語表現の能力」が最も低い、区平均と比べてその差が顕著なのが「言語や文化についての知識・理解」である。この結果から、単語や文法(語順)など、「覚える」学習を苦手としていることが読み取れる。

学校による学力向上への主な取り組み

- 国語…既習漢字の定着を図るため、毎回の授業で漢字練習・テストを導入し、朝学習・漢字コンテストなどにおいては定着度を把握し、形成的評価を行っている。「書く能力」「読む能力」の観点では、各授業での読解問題の取り組み、高校入試に向けた対策を通して、「記述に線を引かせ、根拠を基に考えさせる」クリティカル・シンキングを用いた指導を行い、能力向上を図っている。
- 数学…数学的な知識及び技能について、1単位時間の授業の中で「考え方の理解→演習問題に取り組む→確認テスト→採点間違い直し」を行い、確実に習得するよう構成している。また、毎回家庭学習の課題を出し、次の授業でチェックと答え合わせを行っている。個別の支援を必要とする生徒には、放課後補充教室を行い、達成するまで教員が付き、早期の苦手克服を図っている。
- 英語…入門期の1年生で、文字と音声のつながりを意識させるため、フォニックスの指導を授業に取り入れている。文法材料の導入に関しては繰り返し発話することと、「書く」活動を取り入れることで定着を図っているが、ただ繰り返すだけでは生徒が飽きてしまうので、いかに「飽かさず」「定着するまで」反復練習をさせるかが現在の課題である。「授業ならではの活動的学習」と、「家庭でできる学習」の内容を分け、効率的・効果的な学習を進めていきたい。

足立区立栗島中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値 (H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率 (H30)	46.7	51.2	39.3	38.1	46.5	50.0	43.1	29.8	49.2	61.5	47.7
目標値 (H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率 (H29)	65.0	45.6	50.0	74.2	50.0	64.6	41.5	47.7	58.2	45.6	51.9
平均正答率 (H30)	61.9	59.5	52.0	58.5	66.6	62.3	55.5	45.6	63.8	58.4	57.6
平均正答率 (H29)	71.4	58.7	59.1	75.5	64.1	70.6	55.2	56.3	68.8	57.4	61.5

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

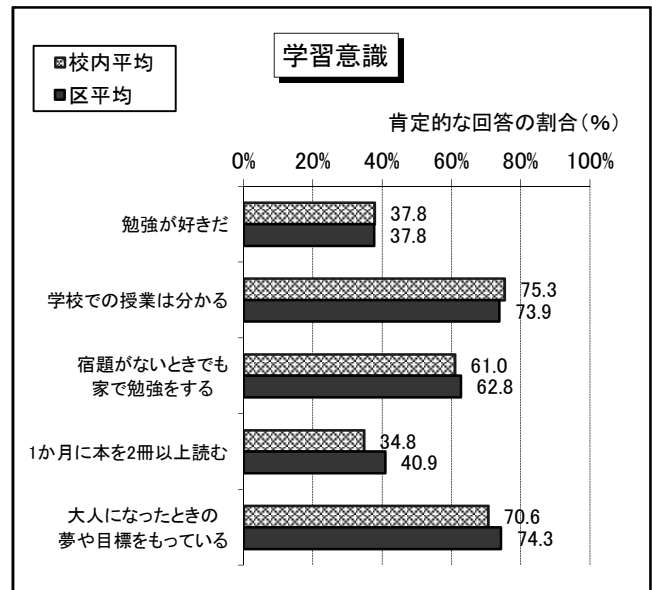
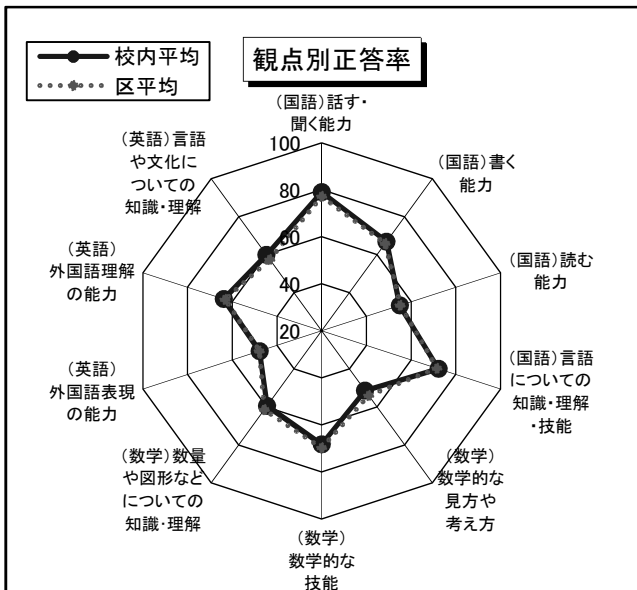
「学習定着度調査」分析結果

- 国語…平均正答率は全学年低下し、学校全体としても約10ポイント低下した。通過率においては、学校全体で20ポイント程度低下し、50%を下回った。観点別正答率においては、ほとんど区平均と同程度であるが、やや「言語についての知識・理解・技能」の平均正答率が低い。全学年で基礎学力に課題があるため、授業における継続的な指導を心がけていく。
- 数学…2、3年生で目標値に対する通過率が、前年度を上回った。また、3年生では2年生時より通過率が20.0ポイント上昇した。授業内で、考え、書き、伝え合うということに重点を置いた授業改善に取り組んだ成果と考える。また、宿題の提出状況が改善してきていることも要因と思われる。
- 英語…昨年度と比較して、2、3年生ともに通過率が下降した。家庭学習を定着させる取り組みや授業の充実が急務であると考え。観点別では特に「外国語表現の能力」が区平均と比較して低い。そこで、表現の能力を向上させるため、自己表現活動をできるだけ多く取り入れ、自分の考えを英語で表す力を身に付けさせたい。さらに、語彙力を強化させるため、単語テストを多く実施し、英語のインプットを増やしていく。

学校による学力向上への主な取り組み

- 区調査の活用
区調査の解き直しを7月に行い、その分析結果をサマースクール、学力アップタイムに生かす。
- 学力アップタイム (補充学習) の充実
朝と帰りの学力アップタイムでは、自作ワークシートを活用し、インプットを増加することにより、基礎・基本をしっかりと身に付けさせる。また小テストを活用し、その定着具合を測る。
- 各コンテストの取り組み
漢字・計算・単語を中心とした学習コンテストを行うことにより、到達度テスト (定期テスト) 後も学習に対するモチベーションを下げることなく、学力向上を目指すことができる。各コンテストの通過率80%以上を目指す。また、努力賞・満点賞を設け、生徒のやる気を増進させる。
- サマースクール
当該年度の前半期の内容でのつまづきを解消する。教科担任を中心とした少人数指導のもと、苦手意識のある問題への取り組みを中心に実施する。確認テストでの正答率80%以上を目指す。

足立区立扇中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値 (H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率 (H30)	62.0	53.9	52.1	64.4	69.5	78.3	43.3	54.2	48.8	50.6	50.6
目標値 (H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率 (H29)	72.3	58.2	61.8	85.5	69.4	69.0	52.3	48.9	66.3	56.2	74.4
平均正答率 (H30)	67.2	62.5	60.1	67.5	78.4	72.7	55.5	58.4	62.9	56.6	61.2
平均正答率 (H29)	74.3	63.8	66.0	80.0	73.7	72.6	58.4	60.1	71.8	62.1	71.8

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

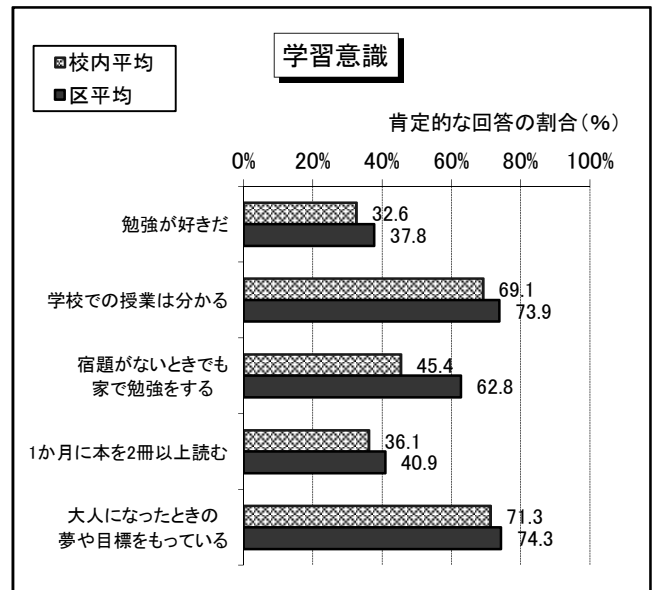
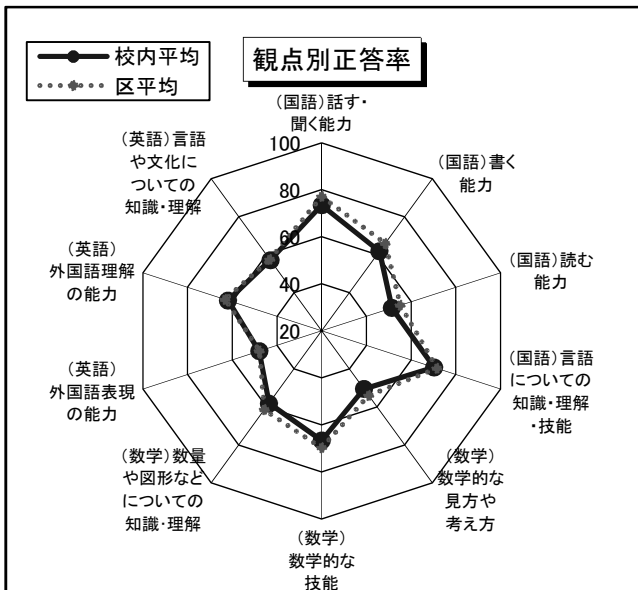
「学習定着度調査」分析結果

- 国語 2年生の通過率が大幅に向上した。一方、3年生の通過率は50%を下回った。観点別では昨年度課題であった「話す・聞く能力」が向上した。授業において話し合いや発表する機会を多くした効果が表れ始めている。読書活動を強化した結果、意識調査における「読書」に関する肯定的な回答の割合が昨年度から3.2ポイント向上した。読書や新聞に親しむ機会を確保し、読む力、書く力をさらに向上させる。
- 数学 2、3年の通過率が昨年度を下回った。特に2年生は9.0ポイント下回った。平均正答率は2.9ポイントの下降にとどまっていることから、学力の二極化が進んでいる。観点別では「数学的な見方や考え方」が低い。基礎学力定着が十分でない生徒が多いことで深く考えることができていない。少人数習熟度別授業においてさらに個に応じた指導を進めるとともに、放課後補充学習の内容の改善に努める。
- 英語 2、3年生ともに通過率が50%をやや上回るにとどまった。2年生は昨年度の通過率を5.3ポイント上回った。観点別では「外国語表現の能力」が低い。少人数習熟度別授業による授業改善により、基礎学力が少しずつ定着している。表現する機会をさらに確保するとともに、放課後補充学習により基礎学力が定着していない生徒の支援を行う。

学校による学力向上への主な取り組み

- 区学力調査結果のSP表を分析し、明確になった生徒のつまずきに対して教科で対策を考え、授業実践を行う。
- 授業において前時の内容の振り返りや既習事項を頻繁に盛り込むことを意識的に行う。発問や授業形態を工夫し、主体的で深い学びの授業の実践を意識的に行う。
- 土曜授業前1週間の始業前・放課後10～20分、朝と放課後、学習内容の復習・確認を行うとともに、漢字、英単語、計算等の基礎学力向上を図る。学習成果をコンテストを行うことで確認する。
- 放課後20分補充学習を充実させる。つまずきをさかのぼり、演習を中心に、個別、1対2、少人数指導を実施する。タブレットを活用して上級生が下級生を教える学習方法を行う期間を設ける。
- 夏季休業日中の7日間をサマースクールとして、定期テストで解けなかった問題の直しや週の授業内容で理解が完全でない内容の補充問題を行う。
- 家庭学習ノートを毎日提出させることで、学習習慣の定着化を図る。
- 「興本扇の45冊」を選定し読書への関心を深めさせる。読書旬間として年2回、読書活動を推進する期間を設けることで、読書活動の充実を図る。

足立区立加賀中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値 (H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率 (H30)	54.0	52.4	52.3	59.3	61.0	61.3	66.1	64.5	42.4	31.8	40.9
目標値 (H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率 (H29)	69.0	51.5	50.4	73.8	60.0	64.2	31.3	47.8	69.1	63.2	52.9
平均正答率 (H30)	64.2	61.6	58.1	66.0	73.7	67.2	65.3	60.6	59.7	47.3	55.7
平均正答率 (H29)	73.0	61.5	59.7	74.7	70.5	70.1	49.4	56.4	74.2	64.9	63.0

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数 ÷ 受検者数 × 100 (%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数 ÷ 出題数 × 100 (%)]) の平均値

「学習定着度調査」分析結果

<国語>

学校全体の平均正答率が64.2%。1、2年生は平均正答率65%を超えており、正答率60%未満の生徒が1年生37.3%、2年生32.3%である。1、2年生ともに説明文の読み取り問題の正答率の低さが目立ち、こうした問題を解き慣れていないことが分かる。

<数学>

1年生の平均正答率が70%を超えている。また、正答率40%未満の生徒が6.8%。中間層が比較的厚いことから、さらなる工夫で学力向上を見込む。2年生は平均正答率65.3%で正答率40%未満の生徒が14.5%。学力の定着がうかがえる。3年生の平均正答率は47.3%。正答率40%未満の生徒が40.9%で、学力の未定着が課題である。3年生は、繰り返し問題演習を行い自信を付けさせる指導を徹底する。

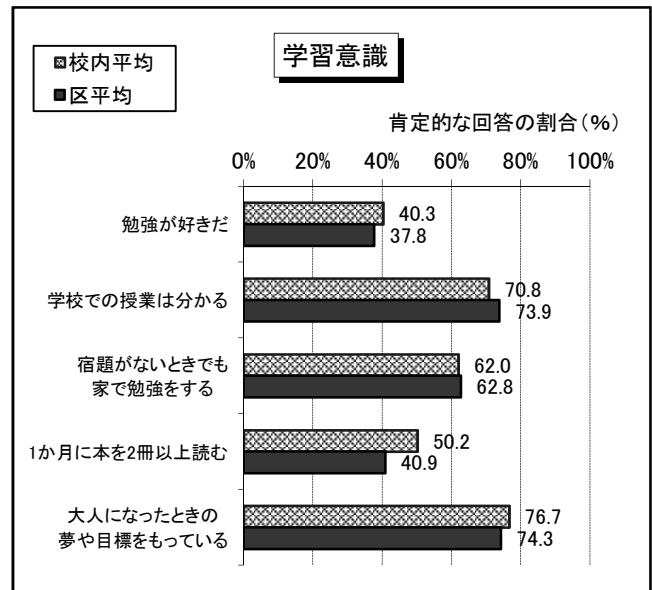
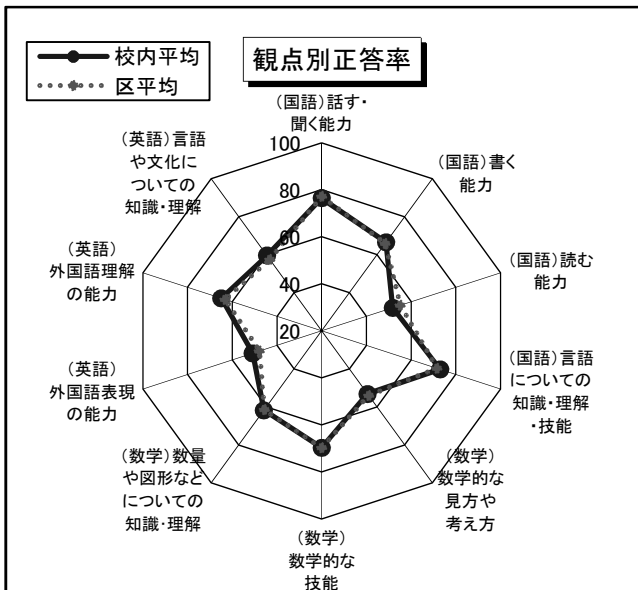
<英語>

2、3年生は、平均正答率が60%前後であり、正答率30%未満の生徒がそれぞれ16.1%、15.2%と比較的少ない。これは、中間層が厚いことが原因であり、今後も基礎・基本の定着に向けた授業を徹底する。また、3年生の通過率が低いので、個々の生徒の課題に寄り添った指導等、さらなる工夫で学力を上げることが課題である。

学校による学力向上への主な取り組み

- 国語科では新聞を活用した書き取り練習、数学科では継続的な計算問題演習、英語科では定期的な単語テスト・小テストをそれぞれ朝学習や授業内で実施し、区調査での課題克服に向けて指導を積み重ねる。【通年】
- 数学科・英語科に特化した補充教室を行う。【通年】
 - ・放課後補充教室：火曜日1年生、木曜日2年生、金曜日3年生を原則とし実施する。数学科は正答率60%未満の生徒を対象とし、数学的な見方や考え方の定着を目指す。英語科は正答率50～60%の生徒を対象とし、語順整序問題を中心に演習を行う。
 - ・サマースクールにおいて、全校体制で基礎・基本の定着を目指す。対象は両教科とも正答率40%未満の生徒。足立区から配付された復習問題などを活用する。最終日に区調査問題を参考にした課題に取り組みせ、定着度を測る。
- 読書強化月間を年間2回設けて、生徒の「読み取る力」の伸長を図る。【7月・12月】

足立区立入谷南中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値 (H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率 (H30)	60.7	60.7	56.5	59.2	74.5	67.6	58.1	61.0	54.7	49.5	51.6
目標値 (H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率 (H29)	67.8	55.8	68.1	80.9	73.6	64.6	43.8	70.8	57.7	48.6	65.8
平均正答率 (H30)	66.9	65.0	60.9	66.2	77.4	68.7	61.1	59.9	65.5	56.4	62.0
平均正答率 (H29)	74.0	63.9	68.9	80.4	75.5	72.6	58.3	67.7	68.8	57.3	69.9

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数÷出題数×100(%)]) の平均値

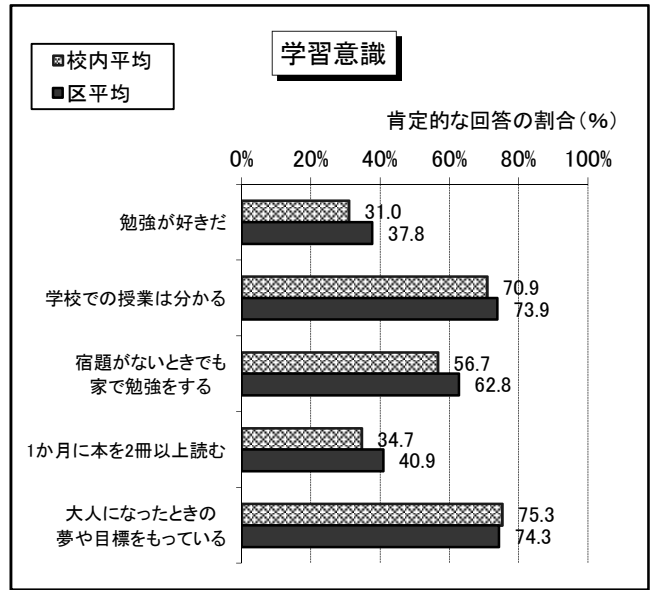
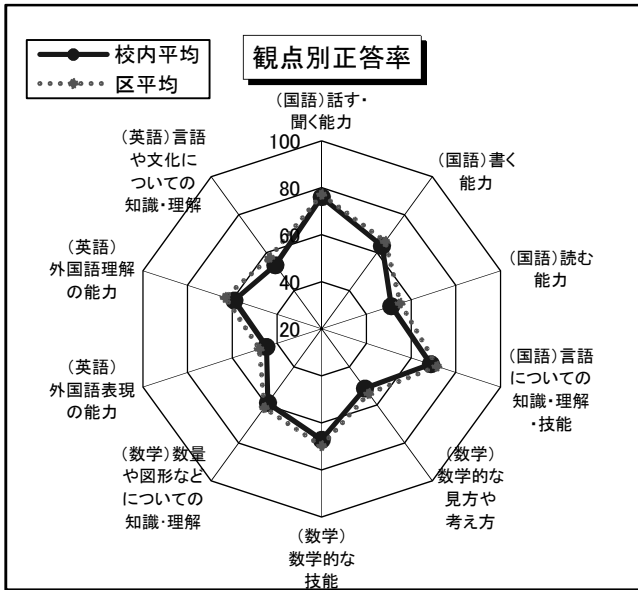
「学習定着度調査」分析結果

- 3教科すべて、校内平均正答率が、区平均と同程度か、それを上回る結果であった。
- 学習意識調査における「勉強が好きだ」と「大人になったときの夢や目標をもっている」は、区平均を上回るとともに、昨年度の本校結果をも上回った。意欲・情操面での伸びが見られる。
- 【国語】
 - 全学年とも平均正答率が目標値を上回った。また、2、3年生は区平均と同程度か、それを上回る良好な結果であった。
 - 全体として、漢字、語句の理解や作文力に優れている。課題は、文章の読み取りに見られる。
- 【数学】
 - 平成28年度から3年間、平均正答率、通過率ともに着実に向上している。(平均正答率：60.7%→63.9%→65.0%、通過率：48.1%→55.8%→60.7%)
 - 全体的に、基礎的な計算力や文字式の理解に優れている。「数学的な見方や考え方」に課題があり、1、2年生では「図形」「関数」、3年生では「連立方程式」「証明」で誤答が見られる。
- 【英語】
 - 全学年とも、平均正答率、通過率ともに目標値や区平均を上回り、良好な結果である。
 - 2、3年生どちらもほぼ全分野に優れているが、疑問詞を適切に用いて英作文する問題で誤答がやや多い。

学校による学力向上への主な取り組み

- 数学科・英語科において全学年習熟度別少人数授業を実施し、個に応じた指導を行っている。
- 朝の読書活動を毎日実施し、読み取る力の向上と落ち着いた教室環境づくりを図っている。
- 計算・漢字・英単語の各コンテストを全校で実施し、基礎・基本の定着を図っている。
- 数学・英語で対象生徒を選抜し、放課後補習教室(パワーアップタイム)を実施している。
- 定期考査前に各教科で質問教室を実施し、生徒の学ぶ意欲を支援している。
- 夏季休業中、サマースクールを全学年7日間実施し、既習内容の確実な定着を図っている。
- 家庭学習ノートの提出・確認を通して、日常的に家庭学習をする習慣づくりに努めている。
- 三者面談・二者面談を春・夏・冬の3回(3年生は春・夏・秋・冬の4回)実施し、学習の成果や課題、今後の目標などを定期的に確認しながら学習指導を進めている。
- 各種検定(漢検・英検・数検)を学校会場で実施し、事前の対策学習などを通して、基礎学力の定着、及び、学習意欲の向上を図る。

足立区立六月中学校



	学校全体			1年		2年			3年		
	国語	数学	英語	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
目標値 (H30)				62.0	72.4	63.6	58.1	55.1	62.7	56.9	60.6
通過率 (H30)	57.2	55.6	45.0	52.2	56.6	66.1	53.2	38.4	53.1	57.1	52.0
目標値 (H29)				68.3	66.3	67.2	58.0	59.1	67.8	60.1	64.1
通過率 (H29)	70.2	62.6	56.7	79.3	73.6	63.6	56.9	59.0	67.2	56.3	54.3
平均正答率 (H30)	64.4	62.8	54.9	60.9	70.0	67.9	60.4	49.7	64.1	57.8	60.2
平均正答率 (H29)	74.5	66.7	63.0	78.3	72.6	72.4	62.9	62.3	72.4	64.2	63.8

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
 ◎平均正答率：本調査を受検した児童・生徒の正答率 (出題数中何問正解したかの割合 [正答数÷出題数×100(%)]) の平均値

「学習定着度調査」分析結果

- 平成29年度と今年度の平均正答率を比べると、3年生、2年生ともに各教科において大幅に低下している。国語では「読む能力」、数学では「数学的な見方や考え方」、英語では「外国語表現の能力」の観点特に低い。
- 意識調査においては、各項目に肯定的に回答した生徒の割合を区平均と比較すると、「大人になったときの夢や目標をもっている」は1.0ポイント高く、キャリア教育の全体計画や年間指導計画を綿密に作成し、全校体制で充実を図っている本校の取り組みの成果が継続的に表れているといえる。しかし、昨年度と比較して、「勉強が好きだ」が10.4ポイント、「宿題がないときでも家で勉強をする」が12.1ポイント下がっている。
- 今後は全教員が生徒の学力向上に向けた「分かる授業」を目指し、小中の連携を軸に足立スタンダードに基づいた授業をより推進していく。

学校による学力向上への主な取り組み

- 【家庭学習の習慣化】全学年・全学級で家庭学習ノートを毎日（毎登校日）に提出する取り組みを行ってきた。取り組みには担任教師だけでなく、学年の全教員が関わり、生徒一人ひとりの成長や努力を見取る丁寧な指導を続けている。月ごとにパーフェクト賞を設け、毎月該当生徒を学年通信等の紙面で表彰している。年間パーフェクト賞の該当生徒は全校集会で表彰される。毎年、生徒と教員に対するアンケート調査の結果を進路学習部で検討し、より効果的で、持続可能な取り組みを目指して改善を重ねている。
- 【朝学習 (Gタイム)】朝の始業前の時間を使って国語、数学、英語の3教科の学習を行っている。習熟の遅い生徒を対象に必要なに応じて個別指導を行い、基礎・基本の定着を図っている。
- 【学習ポートフォリオ (学習の記録)】定期考査に向けて、2週間分の学習計画を生徒が立て、計画通りに進められたかを毎日振り返る取り組みを行っている。一昨年度からは「家庭学習の手引き」とあわせて1冊にまとめ、年間を通して学習について振り返ったり、記録したりできるものになっている。
- 【授業改善】意識調査において、「勉強が好きだ」や「宿題がないときでも家で勉強をする」が下がっていることから、発展的な内容だけでなく、コミュニケーション活動やグループ活動を導入する。また、つまづきを未然に防ぐ指導計画の作成や学習が楽しいと感じさせる授業の工夫を心がける。

平成30年度
足立区基礎学力定着に関する総合調査
調査結果報告書

発行年：平成30年8月
発行 者：足立区教育委員会
編 集：足立区教育委員会
教育指導部 学力定着推進課
〒120-8510 東京都足立区中央本町1-17-1
電話(03)3880-6597(直通)
データ作成・印刷：東京書籍株式会社